秋田県文化財調査報告書第392集

向　様　田　Ｄ　遺　跡

－ 森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅻ －

２００５・３

秋田県教育委員会

序

本県には、これまでに発見された約4,600か所の遺跡のほか、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、これまで大きな洪水や渇水の被害に見舞われてきた米代川や阿仁川の流域では、そうした自然災害の脅威や不安を解消するためのダム建設が長く望まれ、洪水被害の軽減、灌漑用水・水道用水の供給、水辺環境の保全などを目的とする森吉山ダムの建設事業が行われております。本教育委員会ではこれら地域開発との調和を図りながら、埋蔵文化財を保存し、活用することに鋭意取り組んでおります。

本報告書は、森吉山ダム建設に先立って、平成13年度に森吉町において実施した向様田Ｄ遺跡の発掘調査成果についてまとめたものであります。調査では縄文時代晩期の大量の遺物などが発見され、当時の人々の生活の一端が明らかになりました。

本書がふるさとの歴史資料として広く活用され、埋蔵文化財保護の一助となることを心から願うものであります。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本報告書の刊行にあたり、御協力いただきました国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所、森吉町、森吉町教育委員会など関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成17年３月

秋田県教育委員会

教育長　小 野 寺　清

例　言

1　本書は、森吉山ダム建設事業に係る、秋田県北秋田市(旧北秋田郡森吉町)森吉字向様田家ノ下モに所在する向様田Ｄ遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は、国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所と秋田県との委託契約にもとづき、秋田県埋蔵文化財センターが平成13年５月から10月にかけて実施した。

3　向様田Ｄ遺跡の調査結果については、平成13年度刊行の『向様田Ｄ遺跡発掘調査資料』、同『秋田県埋蔵文化財センター年報』20において、整理作業途上の所見を元にその概要を報告している。上記資料と本報告とで相違ある部分は、本報告をもって訂正したものとする。

4　本書の執筆は、第１章から第３章を三浦俊成、第４章･第６章を榮　一郎がそれぞれ分担した。また、第５章は委託した分析結果報告を掲載した。表現の統一をはじめとした全体の編集は榮が行った。なお、第５章については挿図・表番号を統一したほかは、原則として原報告の体裁のままである。

5　平成17年３月22日に北秋田郡森吉町・合川町・鷹巣町・阿仁町の４町が合併し、「北秋田市」が発足した。本遺跡が所在する旧森吉町については「北秋田郡森吉町」の表記を「北秋田市」と読み替える住所表示の変更となったため、例言・抄録を除く本報告書本文中において、「(北秋田郡)森吉町」と表記した行政名称については、「北秋田市」と読み替えていただきたい。なお報告書抄録中の市町村コードについては合併前の旧コードを記載した。

6　土層断面図等の土色の表記は、農林水産省農林水産技術会議監修　財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帳』に拠った。

7　本書第１図は、国土地理院発行1/50,000地形図「鷹巣」・「米内沢」・「大葛」を複製して作成した。また、第２図・第３図は森吉山ダム工事事務所提供の1/1,000平面図をもとに作成した。

8　遺跡空中写真撮影は株式会社シン技術コンサルに委託した。

9　自然科学的分析等は以下の機関に委託した。なお、本書では樹種同定・^{14}Ｃ年代測定および石器石質肉眼鑑定については本文中に分析結果を引用するにとどめた。

^{14}Ｃ年代測定：パリノ・サーヴェイ株式会社
土器胎土分析：株式会社パレオ・ラボ
石器石質肉眼鑑定：パリノ・サーヴェイ株式会社
黒曜石産地同定：有限会社遺物分析研究所
樹種同定：パリノ・サーヴェイ株式会社

10　遺物の洗浄・実測・製図および写真撮影の一部は、下記に委託した。

遺物洗浄：有限会社アイテックス(平成13年度・平成14年度)
土器実測・製図：株式会社シン技術コンサル(平成14年度・平成15年度・平成16年度)
石器実測・製図：三航光測(平成14年度)・株式会社アルカ(平成15年度)
遺物写真撮影：株式会社シン技術コンサル(平成14年度)・いろは写房(平成15年度・平成16年度)

11　発掘調査および整理作業において、国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所・県内の教育委員会をはじめとした諸機関のほか、以下の方々および機関から御指導・御助言を賜った。記

して感謝申し上げる。（順不同、敬称略）

阿部明彦　五十嵐俊雄　岡村道雄　小林圭一　小林達雄　高木　晃　高野芳宏　手塚　均
林　謙作　森谷昌央　財団法人山形県埋蔵文化財センター　東北歴史博物館

凡　　例

1　本書に掲載した平面図の方位は日本測地系平面直角座標第Ｘ系座標北である。
　　本文および巻末の報告書抄録記載の経緯度は世界測地系に基づく。

2　各遺構等に付している略記号は以下の通りである。
　　ＳＩ　：竪穴住居跡
　　ＳＫ　：土坑
　　ＳＫＰ：柱穴・小穴
　　ＳＭ　：盛土
　　ＳＮ　：焼土遺構
　　ＳＱ　：配石遺構
　　ＳＲ　：土器埋設遺構
　　ＳＴ　：捨て場

3　遺構内等の遺物出土状況図では、場合により土器・土器類は●、石器・石製品は■で表記した。

4　挿図中の網掛けの凡例は、以下の通りである。下記以外の場合は各挿図中に直接説明を記載した。

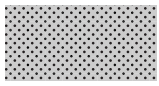
遺構

焼土

遺物

磨面

浅い敲打痕

盲孔状敲打痕 

赤色顔料（石器）

アスファルト

5　遺構図・写真図版・遺物一覧表等において、遺物実測図中の遺物を指示する場合、例えば第１図１の遺物では、１－１のように略記する。

6　土器・土製品に赤色顔料が付着する場合は、実測図には直接示さず、土器・土製品一覧中に記載するにとどめた。

7　土器・土製品一覧においては、ヘラ等の硬質工具によるナデ調整と判断できる場合はヘラナデと記載した。ヘラナデにはいわゆるハケメ状の調整痕、沈線状の調整痕等も含めた。また、ミガキ調整のうち、狭小な調整単位を認めることができる場合は、ヘラミガキとした。

このほか、深鉢形土器・鉢形土器については炭化物の付着状況について記載した。炭化物付着もしくは被熱痕跡を認めることができない場合は使用痕不明とした。他の器種については炭化物が付着する場合のみ記載した。

8　石器・石製品一覧における上下左右等は特に断りのない場合、実測図のそれに対応する。石器類では、左側平面を表面、右側平面を裏面と呼ぶ。

9　図版中の遺物写真の縮尺は任意である。

10　本文掲載の出土炭化材の ^{14}C 年代測定は AMS 法による。^{14}C 年代測定値は、^{14}C の半減期を 5,568 年とした計算値を試料の ^{13}C 濃度測定値と標準試料ＰＤＢ（白亜紀のベレムナイト類の化石）測定値とのずれに基づいて補正したものである。

目　　次

序
例言
凡例
目次
挿図目次
表目次
図版目次

第１章　はじめに…… 1
　第１節　調査に至る経過 …… 1
　第２節　調査要項…… 2
第２章　遺跡の環境…… 4
　第１節　遺跡の位置と立地 …… 4
　第２節　遺跡の歴史的環境 …… 4
第３章　発掘調査の概要 ……12
　第１節　遺跡の概観 ……12
　第２節　調査の方法 ……12
　１　野外調査……12
　２　室内整理……14
　第３節　調査の経過 ……15
第４章　調査の記録 ……18
　第１節　層序……18
　第２節　検出遺構と出土遺物……22
　１　概要 ……22
　２　竪穴住居跡……23
　３　土坑 ……25
　４　土器埋設遺構……29
　５　配石遺構……29
　６　焼土遺構……30
　７　柱穴・小穴……30
　８　遺物集中地点……32
　第３節　その他の出土遺物 ……43
第５章　自然科学的分析 ……298
　第１節　土器の胎土材料 ……298
　第２節　向様田Ｄ遺跡出土黒曜石製石器の原材産地分析 ……317

第６章　まとめ……333
報告書抄録……445

挿図目次

第１図　向様田Ｄ遺跡の位置と周辺の遺跡……6
第２図　向様田遺跡群の範囲……13
第３図　向様田Ｄ遺跡周辺の旧地形と土層柱状図位置……19
第４図　土層柱状図（１）……20
第５図　土層柱状図（２）……21
第６図　向様田Ｄ遺跡遺構配置図……46
第７図　SI03竪穴住居跡……47
第８図　SI12竪穴住居跡……48
第９図　SK04・10・13・14土坑……49
第10図　SK19・23・25土坑……50
第11図　SK25・26土坑……51
第12図　SK43S・43N土坑……52
第13図　SK61土坑、SR06土器埋設遺構、SQ09配石遺構……53
第14図　SN05・24焼土遺構、SKP15・16・17・18・21W・21E・27・30柱穴・小穴……54
第15図　SKP31・32・33・34・35・36・38・40・42・44・45・46・47・48・49・50柱穴・小穴…55
第16図　SKP51・52・53・54・55・56・57・58・59・62・63・64・65・66・67・68柱穴・小穴…56
第17図　SM60盛土南北土層……57
第18図　SM60盛土東西土層……58
第19図　SM60盛土礫群平面分布と周辺遺構……59
第20図　SM60盛土下位礫群垂直分布……60
第21図　SM60盛土南北畦土器分布……61
第22図　ST70捨て場……62
第23図　ST70捨て場……63
第24図　出土遺物（１）(SI03・12)……64
第25図　出土遺物（２）(SK19・23)……65
第26図　出土遺物（３）(SK25①)……66
第27図　出土遺物（４）(SK25②)……67
第28図　出土遺物（５）(SK25③)……68
第29図　出土遺物（６）(SK25④)……69
第30図　出土遺物（７）(SK25⑤)……70
第31図　出土遺物（８）(SK25⑥)……71
第32図　出土遺物（９）(SK26・43S)……72
第33図　出土遺物(10)(SK43N・61①)……73

第34図　出土遺物(11)(SK61②) ……74
第35図　出土遺物(12)(SR06・SQ09①) ……75
第36図　出土遺物(13)(SQ09②・SN24) ……76
第37図　出土遺物(14)(SKP21W・31・34・35・44) ……77
第38図　出土遺物(15)(SKP45・54・64・67) ……78
第39図　出土遺物(16)(SM60①) ……79
第40図　出土遺物(17)(SM60②) ……80
第41図　出土遺物(18)(SM60③) ……81
第42図　出土遺物(19)(SM60④) ……82
第43図　出土遺物(20)(SM60⑤) ……83
第44図　出土遺物(21)(SM60⑥) ……84
第45図　出土遺物(22)(SM60⑦) ……85
第46図　出土遺物(23)(SM60⑧) ……86
第47図　出土遺物(24)(SM60⑨) ……87
第48図　出土遺物(25)(SM60⑩) ……88
第49図　出土遺物(26)(SM60⑪) ……89
第50図　出土遺物(27)(SM60⑫) ……90
第51図　出土遺物(28)(SM60⑬) ……91
第52図　出土遺物(29)(SM60⑭) ……92
第53図　出土遺物(30)(SM60⑮) ……93
第54図　出土遺物(31)(SM60⑯) ……94
第55図　出土遺物(32)(SM60⑰) ……95
第56図　出土遺物(33)(SM60⑱) ……96
第57図　出土遺物(34)(SM60⑲) ……97
第58図　出土遺物(35)(SM60⑳) ……98
第59図　出土遺物(36)(SM60㉑) ……99
第60図　出土遺物(37)(SM60㉒) ……100
第61図　出土遺物(38)(SM60㉓) ……101
第62図　出土遺物(39)(SM60㉔) ……102
第63図　出土遺物(40)(SM60㉕) ……103
第64図　出土遺物(41)(SM60㉖) ……104
第65図　出土遺物(42)(SM60㉗) ……105
第66図　出土遺物(43)(SM60㉘) ……106
第67図　出土遺物(44)(SM60㉙) ……107
第68図　出土遺物(45)(SM60㉚) ……108
第69図　出土遺物(46)(SM60㉛) ……109
第70図　出土遺物(47)(SM60㉜) ……110

第71図　出土遺物(48)(SM60㉝) …… 111
第72図　出土遺物(49)(SM60㉞) …… 112
第73図　出土遺物(50)(SM60㉟) …… 113
第74図　出土遺物(51)(SM60㊱) …… 114
第75図　出土遺物(52)(SM60㊲) …… 115
第76図　出土遺物(53)(SM60㊳) …… 116
第77図　出土遺物(54)(SM60㊴) …… 117
第78図　出土遺物(55)(SM60㊵) …… 118
第79図　出土遺物(56)(SM60㊶) …… 119
第80図　出土遺物(57)(SM60㊷) …… 120
第81図　出土遺物(58)(SM60㊸) …… 121
第82図　出土遺物(59)(SM60㊹) …… 122
第83図　出土遺物(60)(SM60㊺) …… 123
第84図　出土遺物(61)(SM60㊻) …… 124
第85図　出土遺物(62)(SM60㊼) …… 125
第86図　出土遺物(63)(SM60㊽) …… 126
第87図　出土遺物(64)(SM60㊾) …… 127
第88図　出土遺物(65)(SM60㊿) …… 128
第89図　出土遺物(66)(SM60(51)) …… 129
第90図　出土遺物(67)(SM60(52)) …… 130
第91図　出土遺物(68)(SM60(53)) …… 131
第92図　出土遺物(69)(SM60(54)) …… 132
第93図　出土遺物(70)(SM60(55)) …… 133
第94図　出土遺物(71)(SM60(56)) …… 134
第95図　出土遺物(72)(SM60(57)) …… 135
第96図　出土遺物(73)(SM60(58)) …… 136
第97図　出土遺物(74)(SM60(59)) …… 137
第98図　出土遺物(75)(SM60(60)) …… 138
第99図　出土遺物(76)(SM60(61)) …… 139
第100図　出土遺物(77)(SM60(62)) …… 140
第101図　出土遺物(78)(SM60(63)) …… 141
第102図　出土遺物(79)(SM60(64)) …… 142
第103図　出土遺物(80)(SM60(65)) …… 143
第104図　出土遺物(81)(SM60(66)) …… 144
第105図　出土遺物(82)(SM60(67)) …… 145
第106図　出土遺物(83)(SM60(68)) …… 146
第107図　出土遺物(84)(SM60(69)) …… 147

第108図　出土遺物(85)(SM60㊿)……148
第109図　出土遺物(86)(SM6051)……149
第110図　出土遺物(87)(SM6052)……150
第111図　出土遺物(88)(SM6053)……151
第112図　出土遺物(89)(SM6054)……152
第113図　出土遺物(90)(SM6055)……153
第114図　出土遺物(91)(SM6056)……154
第115図　出土遺物(92)(SM6057)……155
第116図　出土遺物(93)(SM6058)……156
第117図　出土遺物(94)(SM6059)……157
第118図　出土遺物(95)(SM60㊿)……158
第119図　出土遺物(96)(SM6061)……159
第120図　出土遺物(97)(SM6062)……160
第121図　出土遺物(98)(SM6063)……161
第122図　出土遺物(99)(SM6064)……162
第123図　出土遺物(100)(SM6065)……163
第124図　出土遺物(101)(SM6066)……164
第125図　出土遺物(102)(SM6067)……165
第126図　出土遺物(103)(SM6068)……166
第127図　出土遺物(104)(SM6069)……167
第128図　出土遺物(105)(SM60㊿)……168
第129図　出土遺物(106)(SM6061)……169
第130図　出土遺物(107)(SM6062)……170
第131図　出土遺物(108)(SM6063)……171
第132図　出土遺物(109)(SM6064)……172
第133図　出土遺物(110)(SM6065)……173
第134図　出土遺物(111)(SM6066)……174
第135図　出土遺物(112)(SM6067)……175
第136図　出土遺物(113)(SM6068)……176
第137図　出土遺物(114)(SM6069)……177
第138図　出土遺物(115)(SM60㊿)……178
第139図　出土遺物(116)(SM6061)……179
第140図　出土遺物(117)(SM6062)……180
第141図　出土遺物(118)(SM6063)……181
第142図　出土遺物(119)(SM6064)……182
第143図　出土遺物(120)(SM6065)……183
第144図　出土遺物(121)(SM6066)……184

第145図　出土遺物(122)(SM60㊼)……185
第146図　出土遺物(123)(SM60㊽)……186
第147図　出土遺物(124)(SM60㊾)……187
第148図　出土遺物(125)(SM60㊿)……188
第149図　出土遺物(126)(SM60(51))……189
第150図　出土遺物(127)(SM60(52))……190
第151図　出土遺物(128)(SM60(53))……191
第152図　出土遺物(129)(SM60(54))……192
第153図　出土遺物(130)(SM60(55))……193
第154図　出土遺物(131)(SM60(56))……194
第155図　出土遺物(132)(SM60(57))……195
第156図　出土遺物(133)(SM60(58))……196
第157図　出土遺物(134)(SM60(59))……197
第158図　出土遺物(135)(SM60(60))……198
第159図　出土遺物(136)(SM60(61))……199
第160図　出土遺物(137)(SM60(62))……200
第161図　出土遺物(138)(SM60(63))……201
第162図　出土遺物(139)(SM60(64))……202
第163図　出土遺物(140)(SM60(65))……203
第164図　出土遺物(141)(SM60(66))……204
第165図　出土遺物(142)(SM60(67))……205
第166図　出土遺物(143)(SM60(68))……206
第167図　出土遺物(144)(SM60(69))……207
第168図　出土遺物(145)(SM60(70))……208
第169図　出土遺物(146)(SM60(71))……209
第170図　出土遺物(147)(SM60(72))……210
第171図　出土遺物(148)(SM60(73))……211
第172図　出土遺物(149)(SM60(74))……212
第173図　出土遺物(150)(SM60(75))……213
第174図　出土遺物(151)(SM60(76))……214
第175図　出土遺物(152)(SM60(77))……215
第176図　出土遺物(153)(SM60(78))……216
第177図　出土遺物(154)(SM60(79))……217
第178図　出土遺物(155)(SM60(80))……218
第179図　出土遺物(156)(SM60(81))……219
第180図　出土遺物(157)(SM60(82))……220
第181図　出土遺物(158)(SM60(83))……221

第182図　出土遺物(159)(SM60⑭)……222
第183図　出土遺物(160)(SM60⑮)……223
第184図　出土遺物(161)(SM60⑯)……224
第185図　出土遺物(162)(SM60⑰)……225
第186図　出土遺物(163)(SM60⑱)……226
第187図　出土遺物(164)(SM60⑲)……227
第188図　出土遺物(165)(SM60⑳)……228
第189図　出土遺物(166)(SM60㉑)……229
第190図　出土遺物(167)(SM60㉒)……230
第191図　出土遺物(168)(SM60㉓)……231
第192図　出土遺物(169)(SM60㉔)……232
第193図　出土遺物(170)(SM60㉕)……233
第194図　出土遺物(171)(SM60㉖)……234
第195図　出土遺物(172)(SM60㉗)……235
第196図　出土遺物(173)(SM60㉘)……236
第197図　出土遺物(174)(SM60㉙)……237
第198図　出土遺物(175)(SM60㉚)……238
第199図　出土遺物(176)(SM60㉛)……239
第200図　出土遺物(177)(SM60㉜)……240
第201図　出土遺物(178)(SM60㉝)……241
第202図　出土遺物(179)(SM60㉞)……242
第203図　出土遺物(180)(SM60㉟)……243
第204図　出土遺物(181)(SM60㊱)……244
第205図　出土遺物(182)(ST70①)……245
第206図　出土遺物(183)(ST70②)……246
第207図　出土遺物(184)(ST70③)……247
第208図　出土遺物(185)(ST70④)……248
第209図　出土遺物(186)(ST70⑤)……249
第210図　出土遺物(187)(ST70⑥)……250
第211図　出土遺物(188)(遺構外①)……251
第212図　出土遺物(189)(遺構外②)……252
第213図　出土遺物(190)(遺構外③)……253
第214図　出土遺物(191)(遺構外④)……254
第215図　出土遺物(192)(遺構外⑤)……255
第216図　出土遺物(193)(遺構外⑥)……256
第217図　出土遺物(194)(遺構外⑦)……257
第218図　胎土分析試料(1)……258

第219図　胎土分析試料（２）……259
第220図　土器胎土中の粒子組成図……306
第221図　土器薄片の顕微鏡写真（１）……313
第222図　土器薄片の顕微鏡写真（２）……314
第223図　土器胎土中に含まれる微化石類の顕微鏡写真……315
第224図　土器胎土中に含まれる岩石片の顕微鏡写真……316
第225図　黒曜石原産地……324

表目次

第１表　周辺遺跡一覧（１）…… 7
第２表　周辺遺跡一覧（２）…… 8
第３表　遺構一覧……23
第４表　柱穴・小穴一覧……31
第５表　復元土器一覧……35
第６表　破片土器（口縁部・台部）器種別出土量……35
第７表　破片土器地区別出土量（１）……36
第８表　破片土器地区別出土量（２）……37
第９表　破片土器取り上げ層別出土量……38
第10表　南北畦破片土器取り上げ層別出土量……38
第11表　石器・石製品組成……41
第12表　土器・土製品一覧（１）……260
第13表　土器・土製品一覧（２）……261
第14表　土器・土製品一覧（３）……262
第15表　土器・土製品一覧（４）……263
第16表　土器・土製品一覧（５）……264
第17表　土器・土製品一覧（６）……265
第18表　土器・土製品一覧（７）……266
第19表　土器・土製品一覧（８）……267
第20表　土器・土製品一覧（９）……268
第21表　土器・土製品一覧（10）……269
第22表　土器・土製品一覧（11）……270
第23表　土器・土製品一覧（12）……271
第24表　土器・土製品一覧（13）……272
第25表　土器・土製品一覧（14）……273
第26表　土器・土製品一覧（15）……274
第27表　土器・土製品一覧（16）……275
第28表　土器・土製品一覧（17）……276

第29表　土器・土製品一覧(18) ……277
第30表　土器・土製品一覧(19) ……278
第31表　土器・土製品一覧(20) ……279
第32表　土器・土製品一覧(21) ……280
第33表　土器・土製品一覧(22) ……281
第34表　土器・土製品一覧(23) ……282
第35表　土器・土製品一覧(24) ……283
第36表　土器・土製品一覧(25) ……284
第37表　土器・土製品一覧(26) ……285
第38表　土器・土製品一覧(27) ……286
第39表　土器・土製品一覧(28) ……287
第40表　土器・土製品一覧(29) ……288
第41表　土器・土製品一覧(30) ……289
第42表　土器・土製品一覧(31) ……290
第43表　石器・石製品一覧(１) ……291
第44表　石器・石製品一覧(２) ……292
第45表　石器・石製品一覧(３) ……293
第46表　石器・石製品一覧(４) ……294
第47表　石器・石製品一覧(５) ……295
第48表　石器・石製品一覧(６) ……296
第49表　石器・石製品一覧(７) ……297
第50表　胎土分析を行った土器試料の詳細と肉眼的特徴 ……299
第51表　土器胎土中の粒子組成一覧表 ……305
第52表　胎土中岩石片の分類と組み合わせ……307
第53表　土器胎土中の粘土と砂粒および鉱物の特徴 ……309
第54表　秋田地域の新生界の対比 ……312
第55表　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(１) ……325
第56表　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(２) ……326
第57表　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(３) ……327
第58表　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値(４) ……328
第59表　黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(１) ……329
第60表　黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(２) ……330
第61表　黒曜石製遺物群の元素比の平均値と標準偏差値(３) ……331
第62表　向様田Ｄ遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果……332
第63表　向様田Ｄ遺跡出土黒曜石製遺物の原材産地分析結果……332

図版目次

図版１　１　向様田遺跡群全景（東から）
　　２　向様田Ｄ遺跡全景（上が南）
図版２　１　SI03竪穴住居跡完掘状況（北から）
　　２　SI03竪穴住居跡複式炉（南から）
　　３　SI03竪穴住居跡複式炉石組部底面円礫確認状況（南から）
図版３　１　SI12竪穴住居跡確認状況（北から）
　　２　SI12竪穴住居跡完掘状況（北から）
　　３　SI12竪穴住居跡石囲土器埋設炉土層断面（北から）
図版４　１　SK04土坑完掘状況（北から）
　　２　SK10土坑土層断面（北から）
　　３　SK13土坑確認状況（西から）
　　４　SK13土坑土層断面（西から）
　　５　SK14土坑土層断面（北から）
　　６　SK14土坑完掘状況（北から）
　　７　SK19土坑土層断面（東から）
　　８　SK23土坑遺物確認状況（南から）
図版５　１　SK25土坑確認状況（東から）
　　２　SK25土坑底面直上遺物確認状況（東から）
　　３　SK25土坑土盛り（10層）直上石棒確認状況（東から）
　　４　SK25土坑完掘状況（東から）
　　５　SK26土坑遺物確認状況（西から）
　　６　SK43N土坑遺物確認状況（西から）
　　７　SK43S土坑確認状況（北西から）
　　８　SK43S土坑土層断面（北西から）
図版６　１　SK61土坑土層断面（南から）
　　２　SR06土器埋設遺構確認状況（東から）
　　３　SQ09配石遺構北半側確認状況（北から）
　　４　SQ09配石遺構確認状況（北から）
　　５　SN05焼土遺構炭化材確認状況（北東から）
　　６　SKP44（右）・SKP45（左）小穴土層断面（西から）
　　７　SM60盛土確認状況（北から）
　　８　SM60盛土西側確認状況（南から）
図版７　１　SM60盛土クロ２層遺物確認状況（北から）
　　２　SM60盛土下位礫群確認状況（北から）
　　３　SM60盛土南北畦土層断面（西から）
　　４　SM60盛土NP37・38区南北畦土層断面（西から）

5　SM60盛土NP36区南北畦土層断面（西から）
6　SM60盛土NP38区南北畦土層断面（東から）
7　SM60盛土NR36区クロ１層遺物確認状況（東から）
8　SM60盛土NQ36区クロ２層遺物確認状況（南から）
図版８　1　SM60盛土NQ35区クロ２層遺物確認状況（南から）
2　SM60盛土NQ36区クロ２層遺物確認状況（東から）
3　SM60盛土NR36区クロ３層遺物確認状況（西から）
4　SM60盛土NR36区クロ３層遺物確認状況（北西から）
5　SM60盛土NR・NS36区クロ３層遺物確認状況（南から）
6　SM60盛土NR36区クロ４層遺物確認状況（南東から）
7　SM60盛土NS37区クロ２層壺形土器確認状況
8　SM60盛土NR37区クロ４層壺形土器確認状況
図版９　1　SM60盛土NQ38区クロ４層注口土器確認状況
2　SM60盛土NP38区クロ４層香炉形土器確認状況
3　SM60盛土NP38区クロ２層土偶確認状況
4　SM60盛土NR36区クロ２層土偶確認状況
5　SM60盛土NP38区クロ３層土偶確認状況
6　SM60盛土NQ36区クロ３層土偶確認状況
7　SM60盛土NO36区クロ４層土偶確認状況
8　SM60盛土NO37区クロ４層土偶確認状況
図版10　1　SM60盛土NQ38区クロ４層土偶確認状況
2　SM60盛土NQ38区クロ４層土偶確認状況
3　SM60盛土NR38区クロ４層土偶確認状況
4　SM60盛土NO37区クロ４層有孔石製品確認状況
5　ST70捨て場遺物確認状況（東から）
6　ST70捨て場遺物確認状況（南から）
7　SM60盛土調査状況（北から）
8　SM60盛土調査状況（西から）
図版11　1　出土遺物（SI03・12、SK25）
図版12　1　出土遺物（SK25・26・43N、SR06、SN24、SM60）
図版13　1　出土遺物（SM60）
図版14　1　出土遺物（SM60）
図版15　1　出土遺物（SM60）
図版16　1　出土遺物（SM60）
図版17　1　出土遺物（SM60）
図版18　1　出土遺物（SM60）
図版19　1　出土遺物（SM60）

図版20　1　出土遺物(SM60)
図版21　1　出土遺物(SM60)
図版22　1　出土遺物(SM60)
図版23　1　出土遺物(SM60)
図版24　1　出土遺物(SM60)
図版25　1　出土遺物(SM60)
図版26　1　出土遺物(SM60)
図版27　1　出土遺物(SM60)
図版28　1　出土遺物(SM60)
図版29　1　出土遺物(SM60)
図版30　1　出土遺物(SM60)
図版31　1　出土遺物(SM60)
図版32　1　出土遺物(SM60)
図版33　1　出土遺物(SM60)
図版34　1　出土遺物(SM60)
図版35　1　出土遺物(SM60)
図版36　1　出土遺物(SM60)
図版37　1　出土遺物(SM60)
図版38　1　出土遺物(SM60)
図版39　1　出土遺物(SM60)
図版40　1　出土遺物(SM60)
図版41　1　出土遺物(SM60)
図版42　1　出土遺物(SM60)
図版43　1　出土遺物(SM60)
図版44　1　出土遺物(SM60)
図版45　1　出土遺物(SM60)
図版46　1　出土遺物(SM60)
図版47　1　出土遺物(SM60)
図版48　1　出土遺物(SM60)
図版49　1　出土遺物(SM60)
図版50　1　出土遺物(SM60)
図版51　1　出土遺物(SM60)
図版52　1　出土遺物(SM60)
図版53　1　出土遺物(SM60)
図版54　1　出土遺物(SM60)
図版55　1　出土遺物(SM60)
図版56　1　出土遺物(SM60)

図版57　1　出土遺物(SM60)
図版58　1　出土遺物(SM60)
図版59　1　出土遺物(SM60)
図版60　1　出土遺物(SM60)
図版61　1　出土遺物(SM60)
図版62　1　出土遺物(SM60)
図版63　1　出土遺物(SM60)
図版64　1　出土遺物(SM60、ST70)
図版65　1　出土遺物(ST70)
図版66　1　出土遺物(SK19・23)
　　2　出土遺物(SK25)
図版67　1　出土遺物(SK25)
　　2　出土遺物(SK25)
図版68　1　出土遺物(SQ09)
　　2　出土遺物(SQ09)
図版69　1　出土遺物(SKP21W・31・34・35・44)
　　2　出土遺物(SKP45・54・64・67)
図版70　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版71　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版72　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版73　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版74　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(土器胎土分析試料)
図版75　1　出土遺物(土器胎土分析試料)
　　2　出土遺物(土器胎土分析試料)
図版76　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版77　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版78　1　出土遺物(SM60)
図版79　1　出土遺物(SM60)
図版80　1　出土遺物(SM60)
図版81　1　出土遺物(SM60)

図版82　1　出土遺物(SM60)
図版83　1　出土遺物(SM60)
図版84　1　出土遺物(SM60)
図版85　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版86　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版87　1　出土遺物(SM60)
図版88　1　出土遺物(SM60)
図版89　1　出土遺物(SM60)
図版90　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版91　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版92　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版93　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版94　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版95　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版96　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版97　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版98　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版99　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版100　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版101　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版102　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(SM60)
図版103　1　出土遺物(SM60)

図版104　1　出土遺物(SM60)
図版105　1　出土遺物(SM60)
図版106　1　出土遺物(SM60)
図版107　1　出土遺物(SM60)
図版108　1　出土遺物(SM60)
　　2　出土遺物(ST70)

第１章　はじめに

第１節　調査に至る経過

昭和47年７月５日～９日にわたり米代川流域に降り続いた雨は、総降雨量の多い所は800㎜近くにも達し、特に支川藤琴川及び阿仁川流域に豪雨が集中した。このため、鷹巣町から下流では全川的に計画高水位を突破したほか、二ツ井町及び能代市内の本川堤防が決壊し大被害が発生した。(註１)

昭和48年３月、この大洪水を機に「米代川工事実施基本計画」の計画流量の見直しが行われた。それによると、計画規模を超過率1/100（100年に１回の確率で起こるであろう洪水を計画の対象にすること）とし、二ツ井基準地点での基本高水のピーク流量を9,200㎥/Sとし、上流ダム群で1,000㎥/Sの洪水調節を行い、8,200㎥/Sとするというものだった。この上流ダム群の一つとして阿仁川の右支流、小又川に建設されることになったのが森吉山ダムである。(註２)

森吉山ダムは、治水・利水を目的とする中央コア型ロックフィルダムである。昭和63年に公示された「森吉山ダムの建設に関する基本計画」によれば、森吉山ダムは、流域の洪水調節のほか、流水の正常な機能維持、灌漑用水・水道用水の供給、水力発電等を目的とする多目的ダムとされている。

森吉山ダム建設に伴い、事業対象区域内の住民の移転が進む中、事業主体である建設省東北地方建設局森吉山ダム工事事務所は、文化財保護法に基づき、秋田県教育委員会に対し貯水池流域面積248.0㎢の遺跡分布調査を依頼した。秋田県教育委員会は、遺跡分布調査を平成４年・５年の２か年にかけて実施し、その結果、桐内遺跡（縄文時代前期・後期）、二重鳥遺跡（縄文時代後期）、漆下遺跡（縄文時代後期）、栩岱（とちたい）遺跡（縄文時代後期・晩期）、砕渕遺跡（縄文時代）、丹瀬口遺跡（縄文時代後期）の新発見の遺跡６か所が開発区域に係ることを確認した。(註３)その後も遺跡分布調査および確認調査を実施し、現在、貯水予定地周辺地域では60遺跡が存在することを確認している。(註４)平成８年には本遺跡をはじめとした向様田Ａ～Ｆ遺跡（以下、向様田遺跡群と呼ぶ）の確認調査を実施し、向様田Ｄ遺跡は縄文時代晩期の遺物包含地であることが判明している。(註５)

森吉山ダム関連の工事は、平成元年の下流工事用道路から開始され、平成７年には事業地内の材料運搬路に移り、平成14年にはダム本体工事が着手された。このほか、平成７年には奥森吉で第12回日本ジャンボリーが平成10年に開催されることが決定し、これに伴って中心会場のノロ川への幹線道路として、森吉山ダムの工事用道路を一部供用することとなった。これを受けて、森吉町教育委員会によって、平成７年に日廻岱Ａ遺跡(註６)・砕渕遺跡(註７)、平成８年に上悪戸Ｄ遺跡(註８)・深渡遺跡(註９)・地蔵岱遺跡(註10)・森吉家ノ前Ｂ遺跡(註11)・天津場Ｃ遺跡(註12)のアクセス道路線部の発掘調査が実施された。

森吉山ダム建設事業に係る発掘調査については、確認調査を行った遺跡の中から、記録保存の必要なものについて、工事工程に合わせて発掘調査を実施する合意が森吉山ダム工事事務所と秋田県教育委員会の間でなされている。秋田県教育委員会では、平成９年から平成12年かけての４年間で、深渡遺跡(註13)、姫ヶ岱Ｃ・Ｄ遺跡(註14・15)、桐内Ａ～Ｄ遺跡(註16～18)、桐内沢遺跡(註19)、日廻岱Ａ遺跡(註20)の発掘調査を実施した。向様田Ｄ遺跡は、平成13年に向様田Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｅ・Ｆ遺跡、砕渕遺跡、漆下遺跡の一部とともに発掘調査を実施することとなった。

第２節　調査要項(※職名等は当時のものである)

遺　跡　名	向様田Ｄ遺跡(略号２ＭＳＤ－Ｄ)
所　在　地	秋田県北秋田郡森吉町森吉字向様田家ノ下モ14-1外
調査期間	平成13年５月17日～10月19日
調査目的	森吉山ダム建設事業に係る発掘調査
調査対象面積	2,800㎡
調査面積	2,600㎡
調査主体者	秋田県教育委員会
調査担当者	榮　　一郎(秋田県埋蔵文化財センター学芸主事)
	三浦　俊成(秋田県埋蔵文化財センター学芸主事)
	松尾　睦子(秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員)
	松岡　忠恭(秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員)
総務担当者	佐藤　　悟(秋田県埋蔵文化財センター総務課長)
	嶋田　敏輝(秋田県埋蔵文化財センター主査)
	佐々木敬隆(秋田県埋蔵文化財センター主事)
	成田　　誠(秋田県埋蔵文化財センター主事)
調査協力機関	国土交通省東北地方整備局森吉山ダム工事事務所
	森吉町
	森吉町教育委員会

註１　建設省東北地方建設局能代工事事務所　『能代工事事務所60年のあゆみ』　1997(平成９)年

註２　川村公一　『子孫に残す歴史の記録　森吉路　過去から未来へ』　モリトピア選書２　建設省東北地方建設局森吉山ダム工事事務所　1993(平成５)年

註３　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第251集　1994(平成６)年

註４　註３文献
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第259集　1995(平成７)年
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第267集　1996(平成８)年
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第270集　1997(平成９)年

註５　註４秋田県教育委員会1997文献

註６　森吉町教育委員会　『平成７年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　1996(平成８)年

註７　註６文献

註８　森吉町教育委員会　『上悪戸Ｄ遺跡発掘調査報告書　～比内森吉線地方道改良工事に係る発掘調査～』　1997(平成９)年

註９　森吉町教育委員会　『平成８年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　1997(平成９)年

註10　註９文献

註11　註９文献

註12　註９文献

註13　秋田県教育委員会　『深渡遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』　秋田県文化財調査報告書第286集　1999(平成11)年

註14　秋田県教育委員会　『姫ヶ岱Ｃ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－』　秋田県文化財調査報告書第287集　1999(平成11)年

註15　秋田県教育委員会　『姫ヶ岱Ｄ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－』　秋田県文化財調査報告書第300集　2000(平成12)年

註16　秋田県教育委員会　『桐内Ｃ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－』　秋田県文化財調査報告書第299集　2000(平成12)年

註17　秋田県教育委員会　『桐内Ｂ遺跡・桐内Ｄ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ－』　秋田県文化財調査報告書第318集　2001(平成13)年

註18　秋田県教育委員会　『桐内Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－』　秋田県文化財調査報告書第334集　2002(平成14)年

註19　秋田県教育委員会　『桐内沢遺跡・日廻岱Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ－』　秋田県文化財調査報告書第335集　2002(平成14)年

註20　註19文献

第２章　遺跡の環境

第１節　遺跡の位置と立地

向様田Ｄ遺跡（北緯40°２′25″、東経140°28′28″）は、森吉山の北麓を西流する小又川中流部右岸段丘上の向様田地区に位置する。森吉町北部の米内沢地区にある森吉町役場より南東約11.8㎞、秋田内陸縦貫鉄道阿仁前田駅から南東約5.5㎞の距離にある。向様田地区には向様田Ｄ遺跡の他に、向様田Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｅ・Ｆ遺跡の５遺跡が隣接して所在している。

遺跡の所在する森吉町は秋田県の内陸北部に位置し、町西部を北流する阿仁川と鹿角市境から流れ出て阿仁川に合流する小又川の流域からなる。東は鹿角市・仙北郡田沢湖町、北は北秋田郡比内町・鷹巣町・合川町、西は北秋田郡上小阿仁村と接する。南の北秋田郡阿仁町との境に、町名の由来となった標高1,454mの森吉山があり、その東側一帯は森吉山県立自然公園となっている。森吉山の北側には、谷底平野である小又川低地を挟んで、北北東に小繋森（標高1,010m）、北に高烏帽子（標高764m）、北西に源五郎岳（標高559m）などが東西に連なっており、森吉山頂上からの距離は、いずれも約10～11㎞である。これらの山地は分水嶺をなし、行政区分上も鷹巣町や比内町との境界をなしている。

本遺跡近くを流れる小又川は、北秋田郡・仙北郡・鹿角市の境界をなす三ツ又森（標高1,119m）・柴倉岳（標高1,178m）に源を発し、六郎沢・粒様沢・ノロ川・連瀬沢などの支川を合わせ、森吉山北麓を蛇行しながら西流し、阿仁前田地内で阿仁川と合流する。

小又川沿いには集落や耕作地が分布する段丘面が認められ、向様田Ｄ遺跡が位置する中流部周辺では六段の段丘面が確認される(註１)。山麓の段丘面縁辺部は、一般に集村形態をとる集落の居住地として利用され、段丘面の多くは畑地や水田として利用されていた。向様田Ｄ遺跡は小又川右岸の最低位の段丘面上に立地する。当該段丘面は東西約480m、南北約200mにわたって広がり、標高は134m～138m前後、小又川との比高は10～15m前後である。段丘面上には鳥越軽石質火山灰層などのテフラ起源の堆積物は明確ではなく、完新世初頭前後に形成された段丘面の可能性が強い(註２)。段丘崖下には標高133m前後の極めて狭小な段丘面も存在し、向様田Ｃ遺跡が立地する。また、段丘面北側の標高150m～159m前後のより高位の段丘面には向様田Ｅ遺跡が立地する。向様田Ｄ遺跡が立地する最低位の段丘面は、小又川に面する南半側が微高地部となり、北半側は後背湿地となっている。南半側微高地部は、大勢として西から東に向かって標高が増し、西から順に、向様田Ｄ遺跡、向様田Ａ遺跡、向様田Ｂ遺跡、向様田Ｆ遺跡が位置している。向様田Ｄ遺跡は当該地域の最も低位部に立地し、その標高は134m前後である。東隣の向様田Ａ遺跡の間には南西方向に開析された埋没谷が存在し、両遺跡の比高は１～２m前後である。また、本遺跡と小又川との比高は15m前後である。

第２節　遺跡の歴史的環境

『秋田県遺跡地図（県北版）』（1991年発行）によると、森吉町には58か所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が周知されており、これらのほとんどは阿仁川の河岸段丘上に立地する(註３)。その後、秋田県教育委員会

による、平成４年～平成５年の２か年にかけて実施した森吉山ダム建設事業に係る分布調査[註４]と、平成６年からの同事業に係る確認調査[註５～９]によって、合計60遺跡が小又川流域の根森田・森吉両地区で新しく発見され、町の遺跡分布図は大幅に塗り替えられた。

旧石器時代の遺物は、今まで森吉町では出土していなかったが、平成６年からの確認調査により二重鳥Ａ遺跡(第１図100、以下第１図は省略)より掻器１点、二重鳥Ｂ遺跡(101)よりナイフ形石器１点、ネネム沢Ａ遺跡(119)より旧石器時代の遺物がそれぞれ出土したことが報告されている。

縄文時代になると遺跡数は比較的増加する。早期以前では貝殻沈線文・条痕文の土器が出土した桂の沢遺跡(73)、尖底土器の底部が出土した姫ヶ岱Ｄ遺跡(87)、日廻岱Ｂ遺跡(89)がある。前期では長野岱Ｉ遺跡(30)・日廻岱Ｂ遺跡(89)・地蔵岱遺跡(127)・深渡遺跡(132)、そして平成元年の秋田県教育委員会による確認調査で、前期から後期にかけての大規模な集落跡(推定面積15万㎡)が確認された狐岱遺跡(42)などがある。中期から晩期にかけては、上悪戸Ｄ遺跡(78)・桐内Ａ遺跡(79)・砕渕遺跡(131)・深渡遺跡(132)・白坂遺跡(49)・向様田Ａ～Ｄ遺跡(109～112)などがある。これらの遺跡の中で、深渡遺跡の石棺様組石・白坂遺跡の『笑う岩偶』・向様田Ａ遺跡の環状配石は、大きく報道され話題となった。また、向様田Ｆ遺跡では後期末から晩期初頭前後の竪穴住居跡２軒、深渡遺跡では晩期前半の竪穴住居跡１軒がそれぞれ確認されており、縄文時代晩期の向様田Ｄ遺跡および向様田Ａ・Ｂ遺跡の成立を考える上で注目すべきであろう。

弥生時代では長野岱Ｉ遺跡(30)・上悪戸Ｂ遺跡(76)で遺物が出土しているが、明瞭なかたちでの遺構検出例は僅少である。

古代では、狐岱遺跡(42)や諏訪岱遺跡(39)などで平安時代の集落跡、地蔵岱遺跡(127)で製鉄関連遺構が確認されており、その他天津場Ａ遺跡(116)・ネネム沢Ａ遺跡(119)・森吉家ノ前Ａ遺跡(122)でも古代の遺構・遺物が確認されている。

中世では、いわゆる中世城館が町全域で10か所確認されている[註10]。前田地区には、前田館(60)、花館(71)、天館(72)、仲ノ又館(74)があり、仲ノ又館には空堀や見張り台跡がある。森吉山ダム建設区域では、中世の城館跡は確認されていないものの、森吉家ノ前Ｂ遺跡(123)で室町時代に属すると思われる珠洲系陶器が出土しており、当該地域の中世の様相を示す数少ない資料となっている。

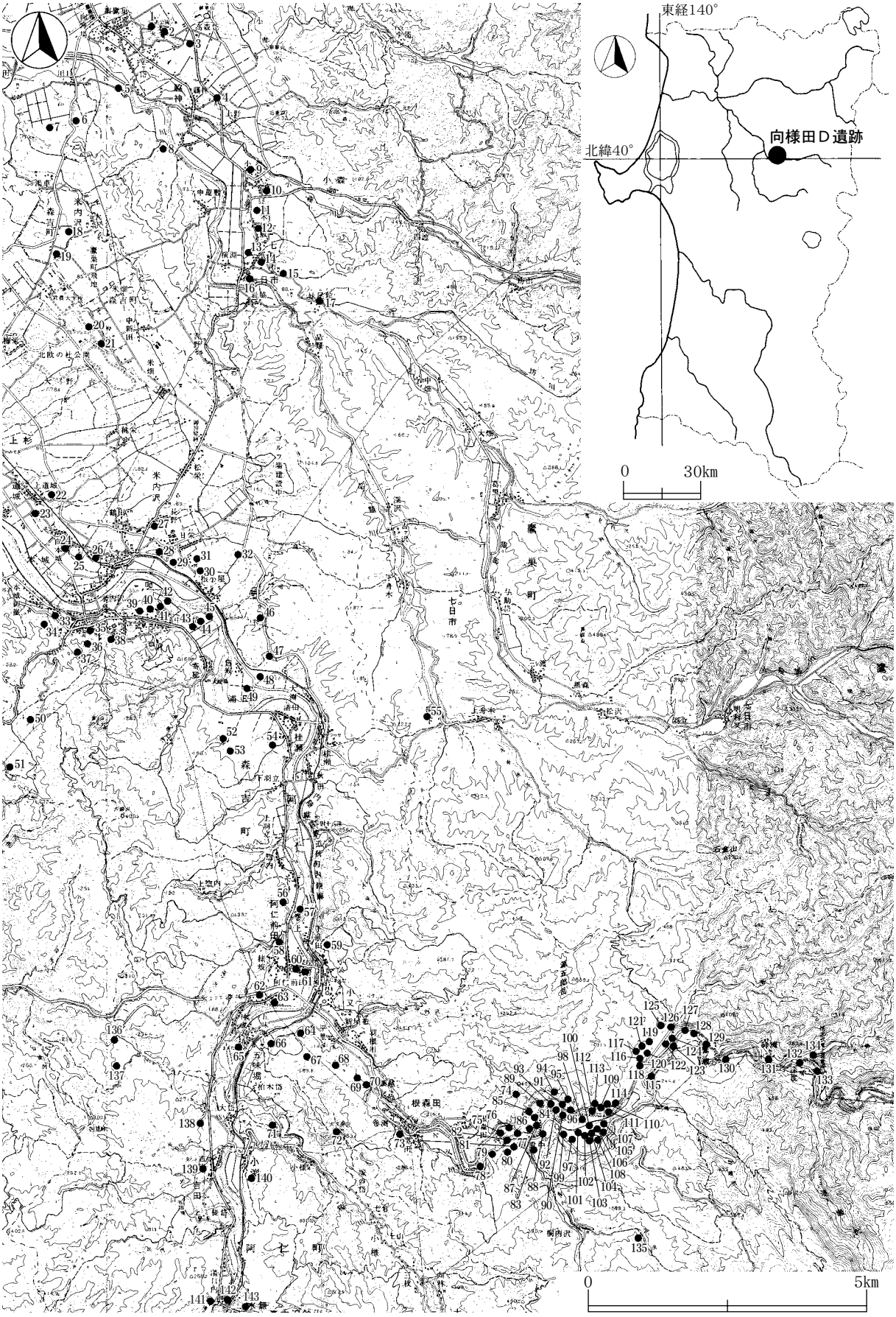
近世では、日廻岱Ａ遺跡(88)で掘立柱建物跡が２棟検出されている。小又川流域での掘立柱建物跡の報告は初例であると思われることから、建造物としての構造や、近世の集落の様相等を考察する数少ない資料となっている。

註１　川村公一　『子孫に残す歴史の記録　森吉路　過去から未来へ』　モリトピア選書２　建設省東北地方建設局森吉山ダム工事事務所　1993(平成５)年

註２　向様田Ｅ遺跡SK27土坑覆土のテフラ分析においては、向様田Ｅ遺跡が立地する相対的に高位の段丘面を構成する火砕流堆積物が完新世初頭前後に噴出した鳥越火砕流である可能性を示唆している。
パリノ・サーヴェイ株式会社　「第３章　自然科学的分析　第１節　テフラ分析」
秋田県教育委員会『向様田Ｂ遺跡　向様田Ｃ遺跡　向様田Ｅ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ－』　秋田県文化財調査報告書第347集　2003(平成15)年

註３　秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図(県北版)』　1991(平成３)年

註４　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第251集　1994(平成６)年



第１図　向様田Ｄ遺跡の位置と周辺の遺跡

第１表　周辺遺跡一覧(1)

地図番号	遺跡名	遺　跡　所　在　地	主な時代	遺　構　・　遺　物	文　　献
1	石の巻岱Ⅰ	鷹巣町脇神字石の巻岱60	縄文	縄文土器片(晩期)	14
2	石の巻岱Ⅱ	鷹巣町脇神字石の巻岱65	縄文	縄文土器(後期)、香炉形土器	14
3	高森岱	鷹巣町脇神字高森岱16	縄文	縄文土器片(前期・中期)、遮光器土偶	14・17
4	藤株	鷹巣町脇神字藤株塚ノ岱43-4	縄文	縄文土器(前期・後期～晩期)、竪穴住居跡、陥し穴、土製品、石器、石製品	7
5	法泉坊沢Ⅱ	鷹巣町脇神字法泉坊沢49外	縄文・古代	縄文土器片、フラスコ状土坑、土坑(縄文･古代)、竪穴住居跡(古代)、竪穴状遺構、鍛冶炉、布掘り溝、柱列(板塀)、石器、土師器、須恵器、鉄製品、鉄滓、羽口	28
6	からむし岱Ⅰ	鷹巣町脇神字からむし岱21	縄文・古代	縄文土器片(後期･晩期)、土坑(縄文･古代)、陥し穴、焼土遺構、竪穴住居跡(古代)、掘立柱建物跡(古代・近世)、溝跡、火葬墓(中世)、土師器、須恵器、陶磁器、石器、石製品	43
7	からむし岱Ⅱ	鷹巣町脇神字からむし岱93	縄文	続縄文土器片、壺形土器	14
8	脇神館跡	鷹巣町脇神字タタラノ沢31外	旧石器・縄文・古代・中世・近世・近代	旧石器、縄文土器片(前期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、焼土遺構、溝跡、空堀、土塁、塚、炭窯跡、鉄製品、鉄滓、石器、土師器、須恵器、羽口	31
9	タモノ木	鷹巣町小森字タモノ木17	縄文	縄文土器片(中期)	14
10	小森	鷹巣町小森字小森88-1	縄文	縄文土器片(晩期)	14
11	根木屋敷岱Ⅰ	鷹巣町七日市字根木屋敷岱20	古代	土師器	14
12	根木屋敷岱Ⅱ	鷹巣町七日市字根木屋敷岱61	縄文	縄文土器片(後期・晩期)	14
13	山の上	鷹巣町七日市字山の上57	縄文	縄文土器片(中期)	14
14	石倉岱	鷹巣町七日市字石倉岱3-1	縄文	縄文土器片(中期)	14
15	伊勢堂岱	鷹巣町七日市字伊勢堂岱8-4	縄文	縄文土器片(前期・中期・後期)	3・14
16	囲の内	鷹巣町七日市字囲の内80	縄文	縄文土器片(後期)、環状列石	14
17	野尻	鷹巣町七日市字野尻8-2	縄文	縄文土器片(後期)	3・14
18	大沢岱A	森吉町米内沢字大沢岱148-8	縄文	縄文土器片(後期)、石器	11・14
19	大沢岱B	森吉町米内沢字大沢岱202－30	縄文	縄文土器片(後期)、石器	11・14
20	赤坂Ⅱ	合川町上杉字赤坂217外	縄文	縄文土器(前期)	14
21	赤坂Ⅰ	合川町上杉字赤坂206外	縄文	縄文土器(前期･後期)	14
22	大野	合川町上道城字大野１	縄文	縄文土器片(中期)	14
23	小堤岱	合川町道城字小堤岱51-2	縄文・古代	縄文土器片(後期)、須恵器片	14
24	向本城	森吉町米内沢字本城向屋敷3	縄文	縄文土器片、石匙	14
25	桐木岱A	森吉町米内沢字桐木岱41～65	縄文	縄文土器片(晩期)、石器	14
26	桐木岱B	森吉町米内沢字桐木岱20～23	縄文	縄文土器片、土偶	14
27	長野Ⅱ	森吉町米内沢字長野91-3外	古代	竪穴住居跡、土坑、井戸跡、土師器、鉄製品	44
28	長野岱Ⅲ	森吉町米内沢字長野岱149-2外	縄文・古代	縄文土器(中～晩期)、フラスコ状土坑、竪穴住居跡(古代)、鍛冶炉、土坑(古代)、焼土遺構、炭窯、柱穴様ピット、石器、土師器、鉄製品、鉄滓、鉄塊	40
29	長野岱Ⅱ	森吉町米内沢字長野岱346-1	縄文	縄文土器片(中期)	14
30	長野岱Ⅰ	森吉町米内沢字長野岱56-1	縄文・弥生・古代	縄文土器片(前期・中期)、竪穴住居跡、円形ピット、組石群、土坑、磨製石斧、土師器杯、陥し穴、石器	3・4
31	根小屋館	森吉町米内沢字長野岱56-1	中世	空堀	6・8
32	根小屋岱	森吉町米内沢字根小屋1-34	縄文・古代	縄文土器片(前期・中期・後期)、土師器片、石器	14
33	御嶽	森吉町米内沢字御嶽62-1	古代	土師器片	14
34	御嶽館	森吉町米内沢字高御嶽2	中世	空堀、土塁	8・14
35	寺ノ上Ⅰ	森吉町米内沢字寺ノ上12-28	縄文	縄文土器片(晩期)、石鏃、石匙	14
36	寺ノ上Ⅱ	森吉町米内沢字寺ノ上27-1	古代	土師器片	14
37	米内沢城	森吉町米内沢字倉ノ沢出口99-5、寺ノ上77-1	中世	空堀、土塁、井戸跡	8・14
38	伊勢の森	森吉町米内沢字伊勢ノ森52-57	古代	土師器片	14
39	諏訪岱	森吉町米内沢字諏訪岱1-1外	縄文・古代	竪穴住居跡、縄文土器片、土師器、須恵器、鉄製品	16・21
40	諏訪岱Ⅱ	森吉町米内沢字諏訪岱111外	縄文・古代	縄文土器(中～晩期)、土器埋設遺構、陥し穴、竪穴住居跡(古代)、土坑(古代)、焼土遺構(古代)、柱穴様ピット(古代)、石器、土師器、銭貨(古代～中世)	12・21
41	冷水岱	森吉町米内沢字冷水岱77-1	縄文・古代	縄文土器片(前期･中期･後期)、竪穴住居跡、土師器、石器、磨製石斧、土製品、石匙、石槍、石錐、石鏃、石鍾、凹石、石皿、石製品	21
42	狐岱	森吉町米内沢字狐岱88	縄文・古代	縄文土器片(前期･中期･晩期)、竪穴住居跡(縄文･古代)、土坑、配石墓、配石遺構、土師器、石鏃、石匙、石錘、磨製石斧他	1・2・9・12
43	山崎	森吉町米内沢字山崎57-1	縄文	縄文土器片、土坑、配石遺構	9・14
44	吉野Ⅰ	森吉町米内沢字吉野13-1	縄文・弥生	縄文土器片、弥生土器片、土坑	9・14
45	吉野Ⅱ	森吉町米内沢字吉野5-1	古代	土師器片	9・14
46	浦田うるし沢	森吉町浦田字うるし沢50-1	縄文	縄文土器片、石器	14
47	比内道下山根	森吉町浦田字白坂山根92	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
48	塚の岱	森吉町浦田字塚の岱80	縄文	縄文土器(晩期)、注口土器、鉢形土器、壺形土器、土偶、岩偶他	5・14
49	白坂	森吉町浦田字白坂上岱19-22	縄文	縄文土器(後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、焼土遺構、土器埋設遺構、掘立柱建物跡、柱穴列、溝跡、足跡、捨て場、岩偶、石器、土製品、遮光器土偶、注口土器、双口注口土器	13・18
50	長下A	森吉町米内沢字長下2-7	縄文	縄文土器片(後期)	14
51	長下B	森吉町米内沢字長下148	縄文	縄文土器片(後期)	14
52	愛宕堂	森吉町浦田字稲荷沢40	縄文	縄文土器片(中期)、石器	14
53	浦田館	森吉町浦田字愛宕堂下44	中世	館跡	8・14
54	石倉坂	森吉町浦田字石倉坂3	縄文	縄文土器片(前期・中期)、石器	14
55	若木岱	鷹巣町七日市字若木岱9-2	縄文	縄文土器片、石器	14
56	焼山	森吉町阿仁前田字道行沢136-1	縄文	縄文土器片	14
57	下野上野岱	森吉町阿仁前田字下野上野岱345	縄文	縄文土器片	14
58	高館	森吉町阿仁前田字道行沢118	中世	空堀	8・14
59	下前田下山根	森吉町阿仁前田字下前田下山根36	縄文	縄文土器片、石器	14
60	前田館	森吉町阿仁前田字八幡森1-1	中世	館跡	6・8・14
61	八幡森	森吉町阿仁前田字八幡森1-1	縄文	縄文土器片(前期・中期)、石器	14
62	陣場岱Ⅱ	森吉町阿仁前田字陣場岱15、字菅ノ沢7	縄文	縄文土器片	14
63	陣場岱Ⅰ	森吉町阿仁前田字陣場岱140－1	縄文	縄文土器片(前期・中期)、石鏃、石匙、石槍	14
64	五味堀高屋布	森吉町五味堀字下タ大久保岱174	縄文	縄文土器片	14
65	五味堀	森吉町五味堀字五味堀1	縄文	縄文土器片、石器	14
66	ボサツ堂	森吉町五味堀字堂ノ前45-46	縄文	縄文土器片(晩期)	3・14
67	五味堀大久保岱	森吉町五味堀字大久保岱20	縄文	縄文土器片(後期)、独鈷石	14
68	小又小平里A	森吉町小又字涌坪74	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
69	小又小平里B	森吉町小又字上岱9	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
70	片平館	森吉町根森田字片平館3	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
71	花館	森吉町五味堀字野崎1-82	中世	空堀	8・14
72	天館	森吉町五味堀字天館101	中世	館跡	8・14
73	桂の沢	森吉町根森田字桂ノ沢13	縄文	縄文土器(早期～晩期)、竪穴住居跡、土坑、配石遺構、焼土遺構、土器埋設遺構、捨て場、土製品、石器	15・19
74	仲ノ又館	森吉町根森田字仲ノ又75	中世	空堀	8・14

第２表　周辺遺跡一覧(2)

地図番号	遺跡名	遺跡所在地	主な時代	遺構・遺物	文献
75	上悪戸Ａ	森吉町根森田字上悪戸4-1外	縄文	縄文土器片(後期)、土坑、石器	30
76	上悪戸Ｂ	森吉町根森田字上悪戸8-12	弥生	弥生土器片、土坑、石器	25・35
77	上悪戸Ｃ	森吉町根森田字上悪戸7外	縄文	縄文土器片(後期)、土坑、溝跡、柱穴様ピット、石器	25・35
78	上悪戸Ｄ	森吉町根森田字上悪戸34-33外	縄文	縄文土器片(後期・晩期)、竪穴住居跡、竪穴状遺構、土坑、石囲炉、柱穴様ピット、石器、土製品	27
79	桐内Ａ	森吉町森吉字桐内前田5-1外	縄文・弥生・近世	縄文土器(早期・中期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土器埋設遺構、フラスコ状土坑、土坑、溝跡、配石遺構、窯跡、柱穴様ピット、土製品、石器、石製品、弥生土器、陶磁器	25・41
80	桐内Ｂ	森吉町森吉字桐内家ノ下16外	縄文	縄文土器片(前期～晩期)、土器埋設遺構、石器	25・39
81	桐内Ｃ	森吉町森吉字桐内家ノ上ミ岱11外	縄文	縄文土器(前期・中期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、土器埋設遺構、石囲炉、焼土遺構、柱穴様ピット、土製品、石器、石製品、トランシェ様石器	22・36
82	桐内Ｄ	森吉町森吉字桐内家ノ上川反19外	縄文	縄文土器片(早期～晩期)、竪穴住居跡、土器埋設遺構、土器埋設焼土遺構、土坑、溝跡、柱穴様ピット、土製品、石器	22・39
83	桐内沢	森吉町森吉字桐内沢字関下タ103	縄文	縄文土器(前期・中期・後期)、竪穴住居跡、土器埋設遺構、フラスコ状土坑、竪穴状遺構、捨て場、石器	22・42
84	姫ヶ岱Ａ	森吉町根森田字姫ヶ岱8外	縄文	縄文土器片(前期)、土坑、配石遺構、石器	25・35
85	姫ヶ岱Ｂ	森吉町根森田字姫ヶ岱14-10外	縄文	縄文土器、土坑、柱穴様ピット、石器	25・35
86	姫ヶ岱Ｃ	森吉町根森田字姫ヶ岱12-2外	縄文	縄文土器(中期・後期・晩期)、竪穴住居跡、フラスコ状土坑、土坑、石囲炉、焼土遺構、石器	25・33・35
87	姫ヶ岱Ｄ	森吉町根森田字姫ヶ岱12－31外	縄文	縄文土器片(早期～晩期)、竪穴住居跡、土坑、配石遺構、土器埋設遺構、焼土遺構、柱穴様ピット、石器	25・37
88	日廻岱Ａ	森吉町森吉字日廻岱65外	縄文・近世	縄文土器(前期・中期・後期・晩期)、焼土遺構、土坑、掘立柱建物跡(近世)、溝跡、柱穴様ピット、石器、土製品、石製品、陶磁器、銭貨、砥石	23・24・42
89	日廻岱Ｂ	森吉町森吉字日廻岱86外	縄文	縄文土器片(早期・前期・後期)、竪穴住居跡、土坑、石器	54
90	橋場岱Ａ	森吉町森吉字橋場岱48外	縄文	縄文土器片(中期・後期)、竪穴住居跡、土坑、石器	25
91	橋場岱Ｂ	森吉町森吉字橋場岱69外	縄文	縄文土器片(後期・晩期)、土坑、溝跡、石器	25
92	橋場岱Ｃ	森吉町森吉字橋場岱42外	縄文	縄文土器片(後期・晩期)、配石遺構、土坑、石器	25
93	橋場岱Ｄ	森吉町森吉字橋場岱110-1	縄文	縄文土器片(晩期)、竪穴住居跡、土坑、溝跡、配石遺構、石器	25
94	橋場岱Ｅ	森吉町森吉字橋場岱109	縄文	縄文土器片、竪穴住居跡、竪穴状遺構、土坑、配石遺構、石器	25
95	橋場岱Ｆ	森吉町森吉字橋場岱101外	縄文	縄文土器片(晩期)、土坑、石器	25
96	橋場岱Ｇ	森吉町森吉字橋場岱6-1外	縄文	縄文土器片(後期)、石器	25
97	漆下	森吉町森吉字漆下2-1外	縄文	縄文土器(前期・中期・後期)、捨て場、フラスコ状土坑、土器埋設遺構、土坑、溝跡、土製品、石器、石製品	23
98	上ハ岱Ａ	森吉町森吉字上ハ岱102外	縄文	縄文土器片(中期～晩期)、竪穴住居跡、土坑、石器	23
99	上ハ岱Ｂ	森吉町森吉字上ハ岱70外	旧石器・縄文	旧石器、縄文土器片(後期)、竪穴住居跡、土坑	23
100	二重鳥Ａ	森吉町森吉字二重鳥31-1外	旧石器・縄文	旧石器、縄文土器片(前期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、石器	23
101	二重鳥Ｂ	森吉町森吉字二重鳥11外	旧石器・縄文	旧石器、縄文土器片(前期～晩期)、竪穴住居跡、土坑、焼土遺構、石器	23
102	二重鳥Ｃ	森吉町森吉字二重鳥93外	縄文	縄文土器片(前期～後期)、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土器埋設遺構、フラスコ状土坑、土坑、焼土遺構、柱穴様ピット、石器	23・50
103	二重鳥Ｄ	森吉町森吉字二重鳥39	縄文	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡、土坑、石器	45
104	二重鳥Ｅ	森吉町森吉字二重鳥65外	縄文	縄文土器片(前期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、石器	45
105	二重鳥Ｆ	森吉町森吉字二重鳥124-1外	縄文	土坑	45
106	二重鳥Ｇ	森吉町森吉字二重鳥80外	縄文	縄文土器片(中期・晩期)、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土器埋設遺構、土坑、焼土遺構、柱穴様ピット、石器	23・50
107	二重鳥Ｈ	森吉町森吉字二重鳥6外	縄文	縄文土器片(晩期)、土坑、石器	14・23
108	水上ミ	森吉町森吉字水上ミ42-1外	縄文	縄文土器片(中期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、石器	23
109	向様田Ａ	森吉町森吉字向様田家ノ下モ8外	縄文	縄文土器(晩期)、竪穴住居跡、土坑、焼土遺構、土器埋設遺構、環状配石遺構、柱穴様ピット、捨て場、石器、石製品、土製品	46・51
110	向様田Ｂ	森吉町森吉字向様田67-1外	縄文	縄文土器(晩期)、石器、土坑、配石遺構	47
111	向様田Ｃ	森吉町森吉字向様田76外	縄文	縄文土器(後期・晩期)、石器、土坑、配石遺構	47
112	**向様田Ｄ**	森吉町森吉字向様田家ノ下モ14-1外	縄文	縄文土器(中期・後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、盛土、捨て場	本書
113	向様田Ｅ	森吉町森吉字向様田家ノ下モ36外	縄文・古代	縄文土器(後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑、石器、掘立柱建物跡、土師器、須恵器	47
114	向様田Ｆ	森吉町森吉字向様田58外	縄文	縄文土器(後期・晩期)、竪穴住居跡、土坑	48
115	惣瀬	森吉町森吉字惣瀬86外	縄文・古代	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡(古代)、土坑、石器	29
116	天津場Ａ	森吉町森吉字天津場15-3	縄文・古代	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡、土坑、石器、須恵器	23
117	天津場Ｂ	森吉町森吉字天津場16-1	縄文	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡、石囲炉、土坑、石器	23
118	天津場Ｃ	森吉町森吉字天津場87-1外	縄文	縄文土器片(後期)、土坑、石器	26
119	ネネム沢Ａ	森吉町森吉字ネネム沢26外	旧石器・縄文・古代	旧石器、縄文土器片(後期)、土器(古代)、竪穴住居跡、土坑、焼土遺構	23
120	ネネム沢Ｂ	森吉町森吉字ネネム沢17外	縄文	縄文土器片(後期)、焼土遺構、石器	23
121	ネネム沢Ｃ	森吉町森吉字ネネム沢6-1	縄文	縄文土器片(晩期)、土坑	23
122	森吉家ノ前Ａ	森吉町森吉字家ノ前50外	縄文・古代	縄文土器片(前期・後期)、竪穴住居跡、石囲炉、土坑、石器、土師器、須恵器、羽口	23
123	森吉家ノ前Ｂ	森吉町森吉字家ノ前138外	縄文・中世	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡(中世)、土坑、焼土遺構、配石遺構、石器、石冠、木器、中世陶器、鉄器	26
124	森吉家ノ前Ｃ	森吉町森吉字家ノ前101-1外	中世	掘立柱建物跡、陶磁器	53
125	森吉Ａ	森吉町森吉字森吉95	縄文	縄文土器片(後期)、土坑、石組、火葬墓、石器	23
126	森吉Ｂ	森吉町森吉字森吉69	縄文	縄文土器片(後期)、石器	23
127	地蔵岱	森吉町森吉字地蔵岱74外	縄文・古代	縄文土器片(中期・後期)、竪穴住居跡(縄文・古代)、土坑、焼土遺構、溝跡、捨て場、石器、石製品、土製品、土師器、須恵器、羽口、鉄滓	26・29
128	地蔵岱Ａ	森吉町森吉字地蔵岱124外	縄文	縄文土器片(中期・後期)、土坑、焼土遺構	29
129	鷲ノ瀬	森吉町森吉字鷲ノ瀬80外	縄文	縄文土器片(後期)、竪穴住居跡、土坑、フラスコ状土坑、土器埋設遺構、貝風呂、石器	29・34
130	栩岱	森吉町森吉字栩岱74外	縄文	縄文土器片(後期・晩期)	20
131	砕渕	森吉町森吉字砕渕124外	縄文	縄文土器(中期・後期)、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、フラスコ状土坑、土坑、土器埋設遺構、焼土遺構、石器	24・49
132	深渡	森吉町森吉字深渡家ノ前102-1外	縄文	縄文土器(中期～晩期)、竪穴住居跡、フラスコ状土坑、土坑、土器埋設遺構、柱穴様ピット、焼土遺構、石棺様組石、掘立柱建物跡、石器	26・29・32・52
133	深渡Ａ	森吉町森吉字深渡29外	縄文	縄文土器(後期・晩期)、土坑、陥し穴、石器、トランシェ様石器	29
134	丹瀬口	森吉町森吉字丹瀬2-1外	縄文	縄文土器片(後期)	20
135	桐内沢清兵衛岱	森吉町森吉字清兵衛岱46	縄文	縄文土器片(後期・晩期)	14
136	冷水沢Ａ	上小阿仁村仏社字冷水沢	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
137	冷水沢Ｂ	上小阿仁村仏社字冷水沢	縄文	縄文土器片(後期)、石器	14
138	風張城	阿仁町吉田字寺屋布1-7	中世	空堀、井戸跡	14
139	家の上	阿仁町吉田字家ノ上	縄文	縄文土器片、石鏃	14
140	高田城	阿仁町小淵字山ノ内65-32	中世	空堀	14
141	熊堂	阿仁町水無字湯口内451の1	縄文	縄文土器片(中期)、石鏃	14
142	上岱Ⅱ	阿仁町水無字上岱135-2	縄文	縄文土器片(中期)	14
143	上岱Ⅰ	阿仁町水無字字上岱136-1	縄文	縄文土器(中期)、竪穴住居跡(縄文中期)、土坑、石器	10

註５　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第259集　1995(平成７)年
註６　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第267集　1996(平成８)年
註７　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第270集　1997(平成９)年
註８　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第281集　1998(平成10)年
註９　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第291集　1999(平成11)年
註10　秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』　秋田県文化財調査報告書第86集　1981(昭和56)年

第１・２表文献(表中の番号は文献番号に対応する。)

１　大和久震平　『北秋田郡森吉町米内沢狐岱遺跡調査報告』　秋田県文化財保護協会　1958(昭和33)年
２　大和久震平　「円筒上層式の細分」　『秋田考古学』　第16号　1960(昭和35)年
３　秋田県　『秋田県史考古編』　1960(昭和35)年
４　奥山潤・高橋昭悦　『長野岱Ⅰ遺跡』　森吉町教育委員会　1967(昭和42)年
５　加賀利男　「塚の岱遺跡発掘調査に就いて」　『広報もりよし』　第131号　1969(昭和44)年
６　沼館愛三　『出羽諸城の研究』　1980(昭和55)年
７　秋田県教育委員会　『藤株遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第85集　1981(昭和56)年
８　秋田県教育委員会　『秋田県の中世城館』　秋田県文化財調査報告書第86集　1981(昭和56)年
９　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第179集　1989(平成元)年
10　秋田県教育委員会　『上岱Ⅰ遺跡発掘調査報告書－国道105号改良工事に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第184集　1989(平成元)年
11　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第201集　1990(平成２)年
12　大野憲司　「狐岱遺跡について～1989年の範囲確認調査から～」　『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』　第５号　1990(平成２)年
13　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第217集　1991(平成３)年
14　秋田県教育委員会　『秋田県遺跡地図(県北版)』　1991(平成３)年
15　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第226集　1992(平成４)年
16　森吉町教育委員会　『諏訪岱遺跡～堤沢川流路溝工事に係る発掘調査報告～』　1992(平成４)年
17　鷹巣町史編さん委員会　『鷹巣町史』第一巻　1992(平成４)年
18　秋田県教育委員会　『白坂遺跡発掘調査報告書－県営圃場整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第244集　1994(平成６)年
19　秋田県教育委員会　『桂の沢遺跡発掘調査報告書－小滝阿仁前田停車場線地方道改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査－』　秋田県文化財調査報告書第247集　1994(平成６)年
20　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第251集　1994(平成６)年
21　森吉町教育委員会　『諏訪岱・柳田・冷水岱～仮称「ふるさと村整備事業」に係る遺跡範囲確認調査報告～』　1994(平成６)年
22　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第259集　1995(平成７)年
23　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第267集　1996(平成８)年
24　森吉町教育委員会　『平成７年度　埋蔵文化財発掘調査報告書～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　1996(平成８)年
25　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第270集　1997(平成９)年
26　森吉町教育委員会　『平成８年度　埋蔵文化財発掘調査報告書～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　1997(平成９)年

27　森吉町教育委員会　『上悪戸Ｄ遺跡発掘調査報告書～比内森吉線地方道改良工事に係る発掘調査～』　1997（平成９）年

28　秋田県教育委員会　『法泉坊沢Ⅱ遺跡－地方特定道路整備工事鷹巣町湯車工区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第278集　1998（平成10）年

29　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第281集　1998（平成10）年

30　森吉町教育委員会　『平成９年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　上悪戸Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査－』　1998（平成10）年

31　秋田県教育委員会　『脇神館跡－県道木戸石鷹巣線建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』　秋田県文化財調査報告書第284集　1999（平成11）年

32　秋田県教育委員会　『深渡遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』　秋田県文化財調査報告書第286集　1999（平成11）年

33　秋田県教育委員会　『姫ヶ岱Ｃ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－』　秋田県文化財調査報告書第287集　1999（平成11）年

34　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第291集　1999（平成11）年

35　森吉町教育委員会　『平成10年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　上悪戸Ｂ・Ｃ遺跡　姫ヶ岱Ａ・Ｂ・Ｃ遺跡～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　1999（平成11）年

36　秋田県教育委員会　『桐内Ｃ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－』　秋田県文化財調査報告書第299集　2000（平成12）年

37　秋田県教育委員会　『姫ヶ岱Ｄ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－』　秋田県文化財調査報告書第300集　2000（平成12）年

38　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第308集　2000（平成12）年

39　秋田県教育委員会　『桐内Ｂ遺跡・桐内Ｄ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅴ－』　秋田県文化財調査報告書第318集　2001（平成13）年

40　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第324集　2001（平成13）年

41　秋田県教育委員会　『桐内Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ－』　秋田県文化財調査報告書第334集　2002（平成14）年

42　秋田県教育委員会　『桐内沢遺跡・日廻岱Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅶ－』　秋田県文化財調査報告書第335集　2002（平成14）年

43　秋田県教育委員会　『からむし岱Ⅰ遺跡－大館能代空港アクセス道路整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－』　秋田県文化財調査報告書第339集　2002（平成14）年

44　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第342集　2002（平成14）年

45　森吉町教育委員会　『平成12年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　二重鳥Ｄ・Ｅ・Ｆ遺跡～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　2002（平成14）年

46　秋田県教育委員会　『向様田Ａ遺跡　遺構編－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ－』　秋田県文化財調査報告書第346集　2003（平成15）年

47　秋田県教育委員会　『向様田Ｂ遺跡　向様田Ｃ遺跡　向様田Ｅ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅸ－』　秋田県文化財調査報告書第347集　2003（平成15）年

48　秋田県教育委員会　『向様田Ｆ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ｘ－』　秋田県文化財調査報告書第348集　2003（平成15）年

49　秋田県教育委員会　『砕渕遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XI －』　秋田県文化財調査報告書第349集　2003（平成15）年

50　森吉町教育委員会　『平成13年度　埋蔵文化財発掘調査報告書　二重鳥Ｃ・Ｇ遺跡～森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査～』　2003(平成15)年

51　秋田県教育委員会　『向様田Ａ遺跡　遺物篇－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅻ－』　秋田県文化財調査報告書第370集　2004(平成16)年

52　秋田県埋蔵文化財センター　「深渡遺跡」　『秋田県埋蔵文化財センター年報』　22　平成15年度　2004(平成16)年

53　秋田県教育委員会　『森吉家ノ前Ｃ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅣ－』　秋田県文化財調査報告書第393集　2005(平成17)年

54　秋田県教育委員会　『日廻岱Ｂ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書ⅩⅤ－』　秋田県文化財調査報告書第394集　2005(平成17)年

第３章　発掘調査の概要

第１節　遺跡の概観

向様田Ｄ遺跡は、小又川右岸の段丘上に立地し、標高は約134m前後である。この段丘は東西の長さが約480m、南北の長さが約200mあり、向様田Ｄ遺跡はその西端近くに位置している。向様田Ｄ遺跡の東側には埋没谷があり、その東側には向様田Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｆの各遺跡が続いている。また、向様田Ｄ遺跡北側の標高約145～159mの上位の段丘上に向様田Ｅ遺跡がある。かつて、向様田Ａ～Ｄ・Ｆ遺跡は水田として、向様田Ｅ遺跡は畑として利用されていた。

向様田地区では平成８年度に秋田県教育委員会が遺跡確認調査を行い、向様田Ａ遺跡(7,600㎡)、向様田Ｂ遺跡(5,400㎡)、向様田Ｃ遺跡(1,100㎡)、向様田Ｄ遺跡(2,800㎡)、向様田Ｅ遺跡(4,200㎡)、向様田Ｆ遺跡(2,700㎡)の６遺跡を確認した(第２図)。今回、向様田Ｄ遺跡については、2,800㎡の調査を予定していたが、精査不要範囲を除外した結果、2,600㎡を調査した。一方、北側の工事用道路下には、遺跡北端部およそ500㎡が係ることが判明した。当該地点については、森吉山ダム工事事務所との調整の結果、平成17年度以降に追加調査することとなった。

第２節　調査の方法

１　野外調査

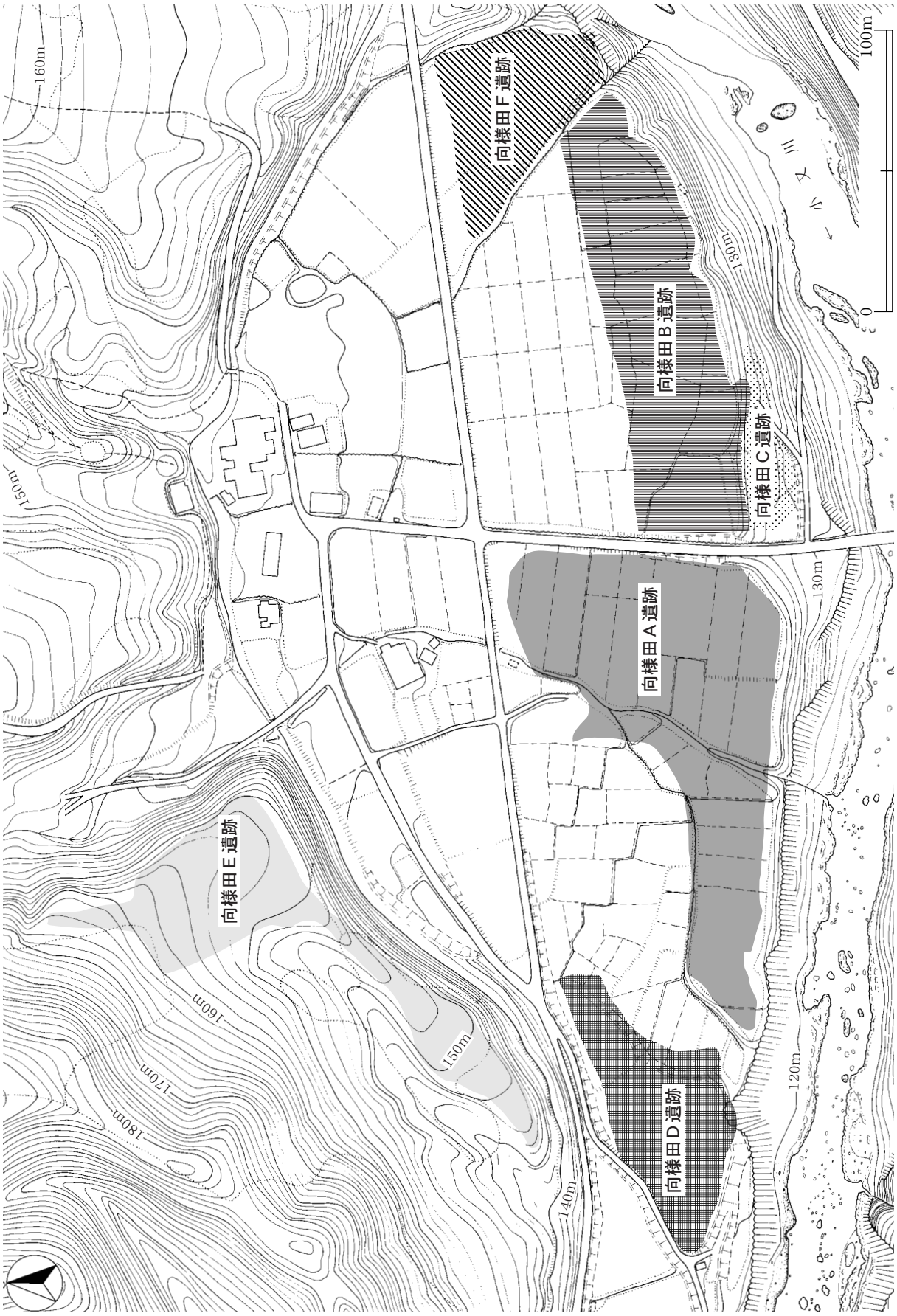
調査に際しては向様田遺跡群全域に共通のグリッドを設定することとし、平成12年度に向様田Ａ遺跡で設定した基準原点ＭＡ50(日本測地系Ｘ＝4316,000、Ｙ＝－30145,000)を同じく基準原点とした。建設省が打設した４級基準点ＤＴ１とＤＴ２から、この基準原点(ＭＡ50)を通る日本測地系平面直角座標第Ｘ系Ｘ軸(南北線)およびＹ軸(東西線)に沿った４×４m方眼を調査区内に組んだ。基準原点ＭＡ50から、南北線には東から西にＭＡ、ＭＢ、ＭＣのようにアルファベットの２文字を、東西線には南から北へ50、51、52のようにアラビア数字を、それぞれ昇順に付した。なお、アルファベットはＡからＴまでの20文字の繰り返しである。各方眼区画は、南東隅を画する両線の組み合わせで、ＭＡ50、ＭＢ51、ＭＣ52のように呼ぶこととした(第６図)。

遺構は検出順に連番で遺構番号を付けた。調査は、原則として半截するか、もしくは十字に土層断面観察用のベルトを残す、２分割法または４分割法による精査を行った。

遺物は、４m方眼区画単位で取り上げ、出土した層位、地区名または遺構名、年月日を記入した耐久性荷札を添付した。

平面図及び断面図は、原則として１/20の縮尺で作成し、細部状況を表すために適宜１/10の拡大図も作成した。また、特に盛土・捨て場の調査においては、インスタントカメラで遺物出土状況を測量用基準点を含めて撮影し、インスタント写真に遺物番号等を記載し、平面図作成に代えた場合もある。

写真は、主に35㎜カメラを使用し、場合によりブローニー版の中型カメラを併用した。フィルムはモノクロ、カラーリバーサル(スライド用)、ネガカラーを使用した。また、10月には、軽飛行機およ



第２図　向様田遺跡群の範囲

びラジコンヘリコプターによる遺跡の空中写真撮影を行った。

２　室内整理

整理作業は、平成13年度、15年度、16年度は埋蔵文化財センター北調査課で、平成14年度は埋蔵文化財センター北調査課および南調査課で実施した。各年度の担当者は以下の通りである。

平成13年度

整理担当：榮　一郎（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　三浦　俊成（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　松尾　睦子（秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員）
　　松岡　忠恭（秋田県埋蔵文化財センター非常勤職員）
総務担当：佐藤　悟（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）
　　嶋田　敏輝（秋田県埋蔵文化財センター主査）
　　佐々木　敬隆（秋田県埋蔵文化財センター主事）
　　成田　誠（秋田県埋蔵文化財センター主事）

平成14年度

整理担当：櫻田　隆（秋田県埋蔵文化財センター南調査課長）
　　榮　一郎（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
　　三浦　俊成（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
総務担当：佐藤　悟（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）
　　嶋田　敏輝（秋田県埋蔵文化財センター主査）
　　高橋　修（秋田県埋蔵文化財センター主任）
　　成田　誠（秋田県埋蔵文化財センター主事）

平成15年度

整理担当：榮　一郎（秋田県埋蔵文化財センター学芸主事）
総務担当：金　義晃（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）
　　池端　徹（秋田県埋蔵文化財センター副主幹）
　　高橋　修（秋田県埋蔵文化財センター主任）
　　田口　旭（秋田県埋蔵文化財センター主事）

平成16年度

整理担当：榮　一郎（秋田県埋蔵文化財センター主任学芸主事（兼）調査班長）
総務担当：渡辺　憲（秋田県埋蔵文化財センター総務課長）
　　池端　徹（秋田県埋蔵文化財センター副主幹）
　　高橋　修（秋田県埋蔵文化財センター主任）
　　田口　旭（秋田県埋蔵文化財センター主事）

なお、平成14年度は南調査課で土器の接合復元作業を櫻田隆南調査課長の指導で行い、その他の作業を北調査課で行った。

各遺構は、現場で作成した図をもとに平面図と断面図の組み合わせた図を第２原図とした。

遺物は、洗浄・注記後、報告書に掲載する遺物の選別を行い、その後基本的に１／１で実測図を作成し、報告書に記載するにあたっては適宜縮小して製図した。また、土器片などは拓影図の作成を併せて行い、これらの作業後写真撮影を行った。

また、遺物の洗浄・実測・製図および写真撮影の一部は、下記の機関等に委託した。

遺物洗浄：有限会社アイテックス（平成13年度・平成14年度）

土器実測・製図：株式会社シン技術コンサル（平成14年度・平成15年度・平成16年度）

石器実測・製図：三航光測（平成14年度）・株式会社アルカ（平成15年度）

遺物写真撮影：株式会社シン技術コンサル（平成14年度）・いろは写房（平成15年度・平成16年度）

第３節　調査の経過

発掘調査を開始する前に、５月７日～14日まで重機による表土除去を行った。発掘調査は、当初、平成13年５月17日から８月９日まで行い、その後、引き続き、向様田Ｆ遺跡の調査を行う予定であった。しかし、多量の遺物を包含する盛土が存在し、当初予想を上回る遺物が出土したことから、調査期間を10月19日まで延長した。８月下旬以降は向様田Ｆ遺跡の調査と併行して調査を行った。以下、週ごとに主な調査経過を記載する。

第１週（５月17日～18日）

17日から調査員４名、作業員38名の体制で、向様田Ｄ遺跡の発掘調査を開始する。発掘機材を搬入し、周辺環境整備等を行う。

第２週（５月21日～25日）

調査区西端側および東端側高位部の両側から掘り下げを開始する。東端側高位部からは、縄文時代晩期中葉の遺物が出土する。また、調査区東南部の低位部を重機により、試掘溝を掘削する。低位部は埋没谷であることが判明する。遺構・遺物は確認できず、調査の必要はないと判断する。

第３週（５月28日～６月１日）

引き続き、調査区西半側および東側高位部を調査する。杉渕北調査課長現地指導（29・30・31日）。

第４週（６月４日～８日）

調査区西半側および東半側の調査を継続する。調査区西南端（OH27区）で複式炉を検出し、縄文時代中期後葉の竪穴住居跡（SI03）が存在するものと判断する。東半側高位部では縄文時代晩期中葉の遺物が集中して出土する。鈴木文化財保護室長・大野同副主幹・杉渕北調査課長・嶋田主査現地視察（７日）。

第５週（６月11日～15日）

調査区南西側の遺構を調査する。SI03竪穴住居跡は竪穴長径３ｍ前後の小規模なものと判明する。調査区東半部高位部の掘り下げも継続する。

第６週（６月19日～22日）

調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。調査区南西側（OK30・31区）で土器埋設遺構（SR06）を確認する。SI03竪穴住居跡の調査を完了する。遺存状態は不良であった。

第７週（６月25日～29日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。調査区中央西寄り（OF・OG32区周辺）で縄文時代晩期中葉の小規模な遺物集中地点（ST70捨て場）を検出する。
第８週（７月２日～６日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。東半側高位部の遺物包含層は厚さ30㎝以上あることが判明する。
第９週（７月９日～13日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。森吉山ダム開放セミナー現場見学（13日）。
第10週（７月16日～19日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。東半側高位部の遺物包含層は層厚最大40㎝を越え、下位には縄文時代晩期前葉の遺物が出土する傾向が認められた。芳賀埋蔵文化財センター所長・杉渕北調査課長現地視察（17日）
第11週（７月23日～27日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。調査区南端（OA・OB27・28区）で土器埋設石囲炉を伴う縄文時代後期の竪穴住居跡（SI12）を確認する。
第12週（７月30日～８月３日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。小林達雄國學院大學教授一行現地視察（３日）。
第13週（８月６日～10日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。８月11日から19日までの盆休みによる現場休止期間に備え、調査区とその周辺地域の養生を行う。森吉山ダム探検隊遺跡見学（７日）。
第14週（８月20日～24日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を再開する。23・24日は台風接近のため、現場作業を休止する。
第15週（８月27日～31日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。調査区中央南端部（OB・OC27・28区）で確認したSQ09配石遺構から石剣類破片が出土した。三澤北教育事務所長来跡（30日）。谷地文化財保護室学芸主事現地視察（31日）。
第16週（９月３日～７日）
調査区南西側と東半側高位部の調査を継続する。東半側の遺物包含層は微高地上に形成されたものではなく、全体が最大高70㎝を越える盛土（SM60）であったことが判明する。
第17週（９月10日～14日）
調査区南側の遺構調査およびSM60盛土の掘り下げと盛土下面遺構調査を行う。南側の調査はほぼ完了する。11日午後および12日は台風接近のため現場作業を休止する。芳賀埋蔵文化財センター所長・杉渕北調査課長現地視察（13日）
第18週（９月17日～21日）
SM60盛土断面実測と盛土下面の遺構調査を行う。秋元・佐々田県教育次長・大野文化財保護室副主幹・芳賀埋蔵文化財センター所長・杉渕北調査課長現地視察（18日）

第19週（９月26日～28日）

SM60盛土掘り下げと盛土下面の遺構調査を行う。向様田Ａ遺跡を中心とした遺跡見学会の報道発表(26日)。なお、29日(土)には、向様田遺跡群の見学会を行った。約400名の見学者の参加があった。

第20週(10月１日～５日)

SM60盛土掘り下げと盛土下面の遺構調査を継続する。１日、降雨のため午後現場作業休止。

第21週(10月９日～12日)

SM60盛土掘り下げと盛土下面の遺構調査を継続する。盛土下で確認したSK25土坑は盛土形成直前前後の長径約1.8mの大形土坑墓の可能性が強いものと想定する。森吉町教育委員会一行来跡（９日)。鷹巣町歩こう会一行来跡(10日)。

第22週(10月15日～19日)

SM60盛土下の遺構調査および調査区地山面の地形測量を行う。18日にラジコンヘリコプターおよび軽飛行機による空中写真撮影を行う。17日・19日に出土遺物および発掘機材を埋蔵文化財センター北調査課に搬出し、19日に向様田Ｆ遺跡とともに発掘調査を完了した。岡村道雄文化庁主任調査官・谷地文化財保護室学芸主事・杉渕北調査課長現地指導(17日)。芳賀埋蔵文化財センター所長・杉渕北調査課長・児玉副主幹来跡(19日)。

第４章　調査の記録

第１節　層序

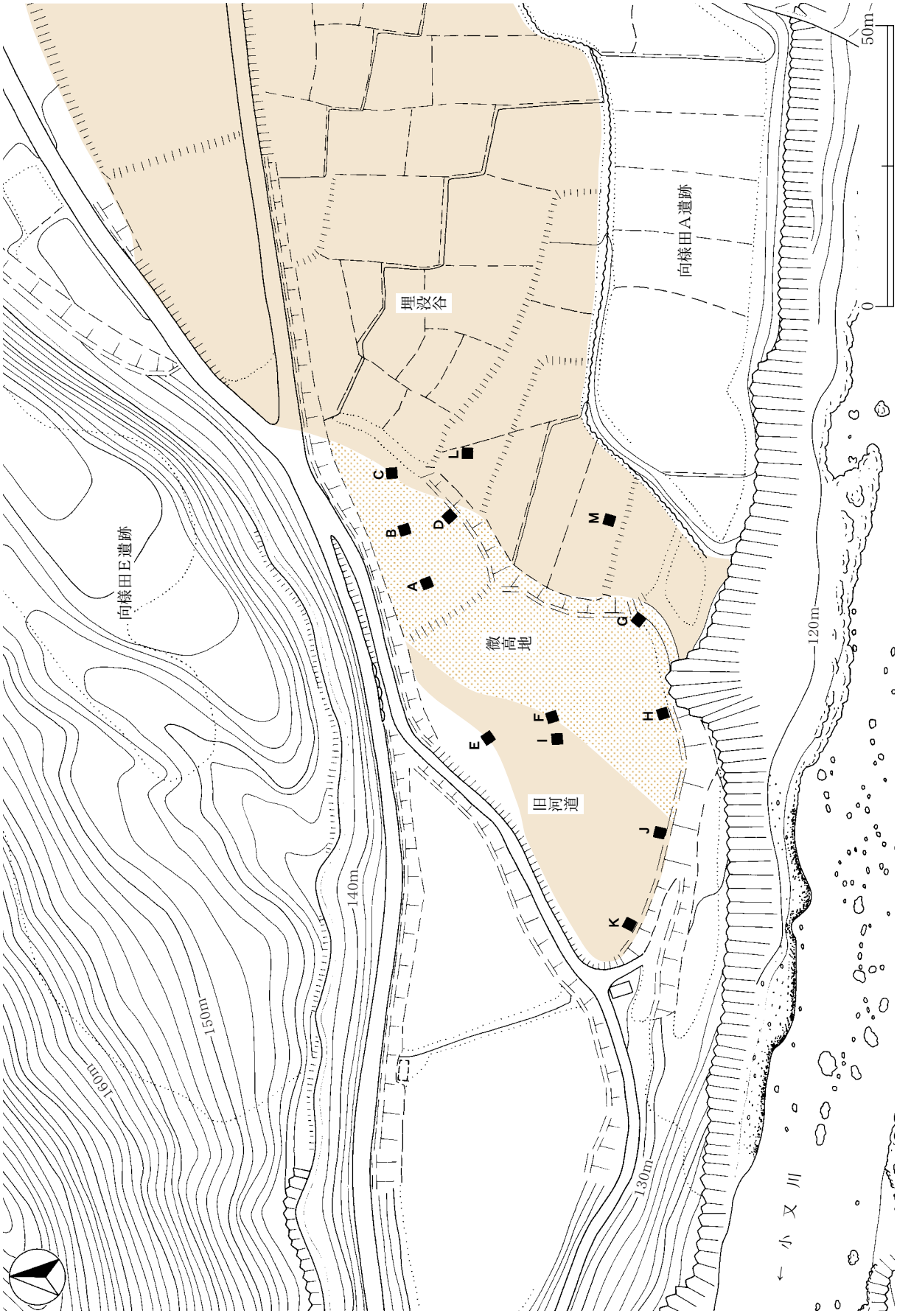
向様田Ｄ遺跡は、小又川右岸の標高134～138m前後の最低位段丘面西端部に位置する。この段丘面は第２章第１節で触れたように、完新世初頭前後に形成された可能性が強い。向様田Ｄ遺跡の調査前の現況は、北東側が一段高くなる上下２枚の休耕田であった。北東側の標高が134.4m前後、南東側の標高は133.4m前後である。遺跡の北西隣は現状で１～２m前後高い休耕田であり、小規模な段丘面が形成されていた可能性がある。また、遺跡の南縁崖下には小又川が西流し、北側には向様田Ｅ遺跡が立地する高位の段丘面の段丘崖が迫っている。一方、本遺跡と大きくはほぼ同一面に立地する東隣の向様田Ａ遺跡との間には北東から南西方向に延びる幅30m前後の埋没谷が存在する。

調査の結果、水田造成によって遺跡形成時の地表面は、その過半が削平されていることが判明した。また、遺跡中央北側から南西側に向かって旧河道が存在し、当該地点はグライ化したシルトが堆積する低地部となり、これに対し、北東側から中央南側にかけてが砂質土を基質とする微高地部に相当することも確認した(第３図)。

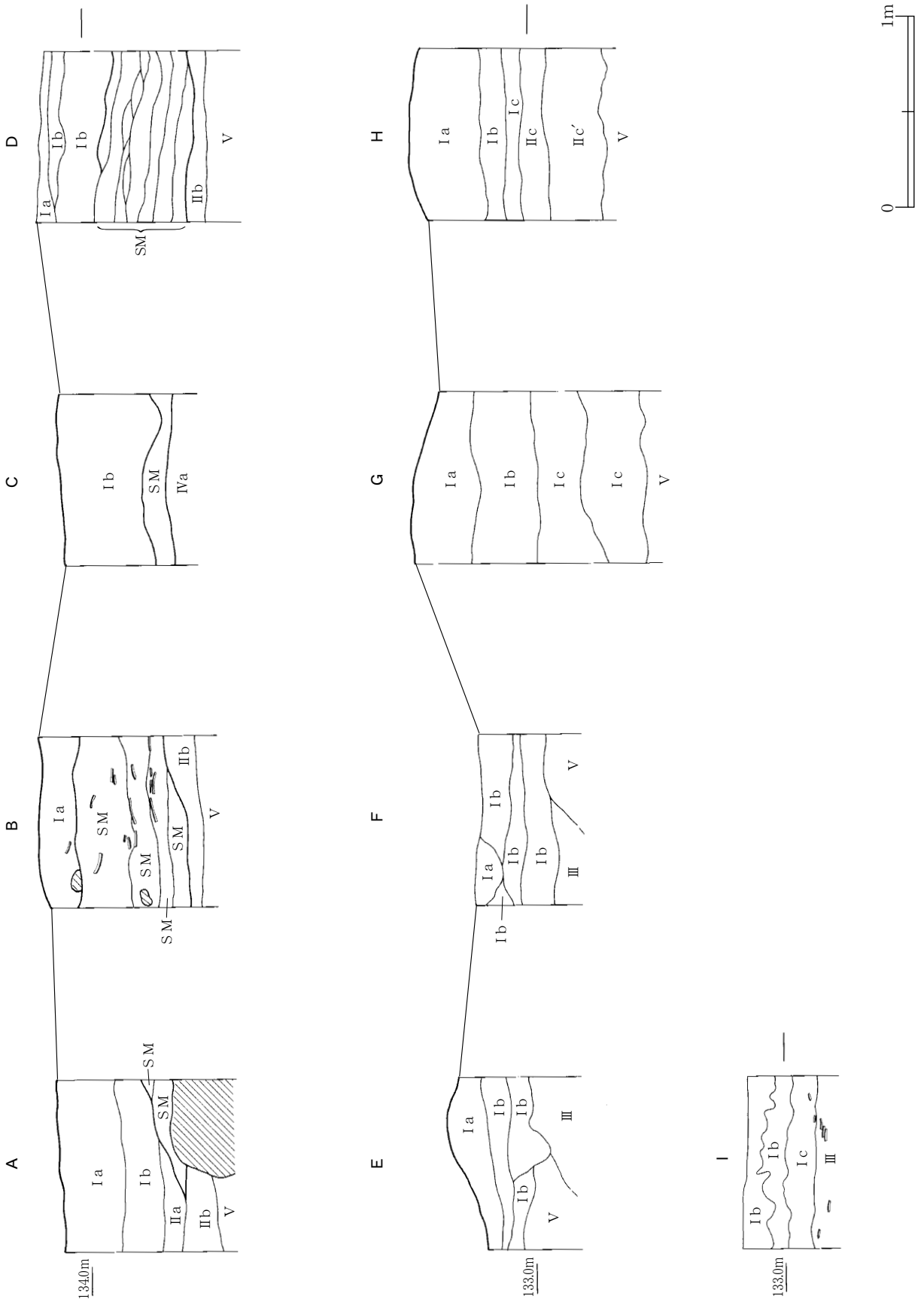
向様田Ｄ遺跡周辺の基本層序は、主に推定堆積時期と堆積環境とをもとにⅠ～Ⅴ層に大別した。Ⅰ層は現表土と近現代の水田耕作土および水田造成土とをまとめた。本層は現表土もしくは水田耕作土をⅠa層、水田造成土をⅠb層、旧水田耕作土をⅠc層に細分した。Ⅱ層はⅠ層と後述する遺跡基盤土もしくは旧河道・埋没谷を埋積するグライ土との間の層準に相当する層をまとめた。土質は混礫土からシルトまで変異があるが、基質は大勢として黒色～黒褐色の色調を呈し、腐植を多量に含有する。遺跡周辺がほぼ離水した段階に、土壌化もしくは堆積した層である。本層は、上位の段丘崖際に分布し、崖錐性堆積の可能性があるⅡa層、遺跡北東部に分布するやや黒泥状のシルト質を呈するⅡb層、微高地部南側に主として分布する基盤の砂質土が土壌化して生成したと推定するⅡc層(土壌層位Ａ層)およびⅡc′層(土壌層位ＡＢ層)、遺跡東隣の埋没谷上位に堆積するⅡd層とに細分した。Ⅲ層は遺跡中央北側から南西側に存在する旧河道を埋積するグライ化したシルト層、Ⅳ層は東隣の埋没谷を埋積するグライ化したシルト層、Ⅴ層は微高地基盤の砂質土～シルト層である。このうち、Ⅳ層は礫の混入度の差によって、Ⅳa層とⅣb層とに細分した。

以下、遺跡周辺の基本層序についてＡ～Ｍ地点の土層柱状図をもとに記述する(第４・５図)。

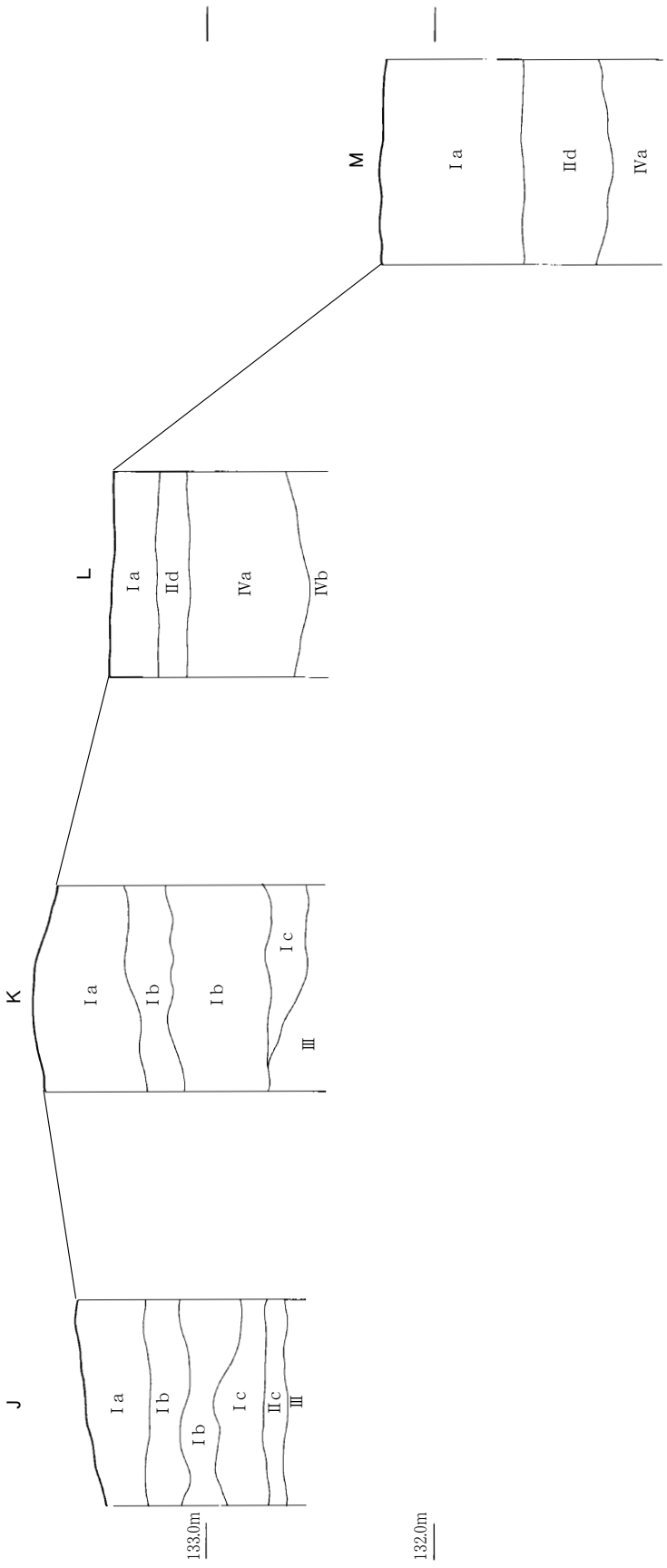
Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ地点は上位の休耕田に対応する。これらの地点には、本章第２節で記述する縄文時代晩期前半に形成されたSM60盛土が分布する。盛土は中心付近では現状で厚さ50～80㎝前後である(Ｂ・Ｄ地点SM層)。東隣の埋没谷際を除く盛土直下には厚さ10～20㎝前後の黒泥状シルトが堆積する(Ａ・Ｂ・Ｄ地点Ⅱb層)。当該層はほとんど遺物を含まず、本層上面が盛土形成時の地表面である。Ａ地点では本層直上から盛土(SM層)直上にかけて、北側に位置する上位段丘起源の崖錐性堆積の可能性がある黒色混礫土層が存在する(Ⅱa層)。Ａ・Ｂ・Ｄ地点のⅡb層下には、褐色砂質土(Ⅴ層)が堆積する。一方、東隣の埋没谷に接するＣ地点では、盛土直下には埋没谷を埋積するグライ化したシルト(Ⅳa層)が堆積している。調査では、NP37区Ⅴ層上面から縄文中期深鉢形土器の大形破片(第39図



第３図　向様田Ｄ遺跡周辺の旧地形と土層柱状図位置



第４図　土層柱状図(1)



Ia　表土・水田耕作土
Ib　水田造成土
Ic　旧水田耕作土
IIa　黒色混礫土(10YR2/1)　亜角礫含む　粘性強　しまり強　崖錐性堆積土
IIb　黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり中
IIc　黒褐色砂質シルト(10YR2/2)　炭化物粒含む　粘性中　しまり強
IIc′　暗褐色砂質土(10YR3/3)　粘性弱　しまり弱
IId　黒色シルト(2.5Y2/1)　粘性中　しまり中　埋没谷埋積土
III　暗緑灰色シルト(10G3/1)　粘性中　しまり強　旧河道埋積土
IVa　暗オリーブ灰色シルト(5GY3/1)　粘性強　しまり強　埋没谷埋積土
IVb　暗オリーブ灰色混礫シルト(5GY3/1)　亜角礫含む　粘性強　しまり強　埋没谷埋積土

第5図　土層柱状図(2)

12)が出土した以外には、基本的に遺物は出土せず、両層は遺跡の基盤層と判断する。また、Ⅴ層上面では縄文時代晩期の遺構のほかに縄文時代中期後葉に属するSK43N土坑を確認した。前者の覆土がⅡb層類似の黒色シルトを基質とするのに対し、後者の覆土は暗褐色土を基質とする。このことから、Ⅱb層は縄文時代後期前後に堆積した可能性が強い。一方、基盤のⅤ層堆積および離水の確実な下限時期は、遺構分布状況からは、縄文時代中期後葉である。ただし、SM60盛土中からは、縄文前期土器破片が僅かながら出土している(第39図１～４)ことから、縄文時代前期には既に離水していた可能性も想定し得る。

Ｅ・Ｆ・Ｇ・Ｈ・Ｉ地点は下位休耕田の中央部に当たる。いずれの地点も水田造成時に大きく削平されており、Ｈ地点周辺で僅かに縄文時代表土層に相当すると推定できる黒褐色砂質シルト(Ⅱc層)および暗褐色砂質土(Ⅱc′層)が遺存している程度である。Ｈ・Ｇ地点では基盤は褐色砂(Ⅴ層)である。Ｅ地点とＦ地点間およびＩ地点には旧河道起源の低地を埋積するグライ化した砂質シルト(Ⅲ層)が分布する。Ⅴ層とⅢ層との層界は漸移的であり、その上下関係も必ずしも一様ではない。また、Ｉ地点周辺のⅢ層上位には本章第２節で記述する縄文時代晩期中葉に属するST70捨て場が形成されている。このことから、Ⅲ層堆積の下限時期は部分的には縄文時代晩期中葉前後まで下ることも想定し得る。ただし、ST70捨て場出土遺物はⅢ層上面に廃棄された後に、より下位に沈下した可能性も想定できるため、必ずしも確実ではない。

Ｊ・Ｋ地点は下位休耕田南西端側に当たる。水田造成時に大きく削平されており、Ｊ地点で僅かに縄文時代表土層と推定できる黒褐色の砂質シルト(Ⅱc層)が遺存しているに過ぎない。本地点のⅡc層が微高地南側のⅡc層に直接対比できるかは明確ではない。基盤は上述した旧河道起源の低地を埋積するグライ化したシルト(Ⅲ層)である。

Ｌ・Ｍ地点は向様田Ａ遺跡との間に位置する埋没谷に当たる。最上位(Ⅰa・Ⅱd層)を除き、グライ化したシルトが堆積する(Ⅳ層)。上位(Ⅳa層)に比べ、下位(Ⅳb層)は小亜円礫の混入量が相対的に多い。これらの小亜円礫は北側の上位段丘基盤起源の可能性があることから、この埋没谷は支流性の可能性があろう。Ⅳa・Ⅳb層の両層からは、いずれも遺物は出土せず、遅くとも縄文時代晩期には埋積されていたものと推定する。

向様田Ｄ遺跡が立地する最低位段丘面は、完新世初頭前後に形成された以後も小又川本流あるいは支谷の浸食もしくは堆積作用を受けていたものと推定できる。向様田Ｄ遺跡周辺の離水時期の下限は、現状では縄文時代中期後半前後である。その段階では遺跡北東部から中央南側にかけてが微高地、中央北側から南西側にかけてが低地となっていたものと推定できる。縄文時代中期後半から晩期およびそれ以降の遺構は、一部を除き前者の微高地上に分布している。近年の水田造成により、遺跡形成時の地表面の過半は削平されているものの、調査で確認した遺構分布は微高地の範囲とほぼ対応する。現状の遺構分布は、向様田Ｄ遺跡の本来の遺構分布を反映している可能性が強いものと推定できよう。

第２節　検出遺構と出土遺物

１　概要

今回の調査で検出した遺構は以下の通りである(第３表)。なお、ここでは、柱穴状の掘り込みのほ

かに平面長径が0.9m未満の小形の落ち込みを小穴とし、両者を併せて柱穴・小穴として一括する。また、今回２か所検出した遺物集中地点は、遺物とともに土が堆積し小山状を呈するものを盛土(SM60)、まとまった土の堆積が認められないものを捨て場(ST70)とし、いずれも本節で記述する。

第３表　遺構一覧

	縄文時代	古代	時期不明	計
竪穴住居跡(SI)	2			2
土坑(SK)	8	2	1	11
土器埋設遺構(SR)	1			1
配石遺構(SQ)	1			1
焼土遺構(SN)	1		1	2
柱穴・小穴(SKP)	22		18	40
盛土(SM)	1			1
捨て場(ST)	1			1

前節で触れたように、遺構分布は遺跡北東部から中央南側にかけての微高地部に集中している(第６図)。このうち、２軒の竪穴住居跡はいずれも遺跡南縁の段丘崖際に位置し、それぞれ縄文時代中期後葉と縄文時代後期後半に属する。土坑は遺跡東半側に分布し、縄文時代中期後葉に属するものが１基、縄文時代晩期に属する可能性が強いものが７基、古代に属すると推定するものが２基ある。後者のうちの１基は古代の炭焼成遺構であった可能性も想定し得る。残る時期不詳の土坑１基も、古代以降の炭焼成遺構であった可能性がある。土器埋設遺構は遺跡中央の低地部に位置し、縄文時代中期後半前後に属すると推定する。配石遺構は遺跡中央南端に位置し、縄文時代晩期前半に属する。その他の焼土遺構、柱穴・小穴は時期決定の明確な根拠を欠くものが多いものの、周辺の遺構・遺物検出状況を勘案すると、多くは縄文時代晩期に属する可能性がある。盛土は遺跡北東部の微高地部に、捨て場は遺跡中央の低地部にそれぞれ分布する。前者は縄文時代晩期前半、後者は縄文時代晩期中葉にそれぞれ形成されたものである。

検出遺構は少数であることから、以下では時期別ではなく、遺構の種類ごとに記述する。

２　竪穴住居跡

SI03竪穴住居跡(第７図)

OH・OI27・28区に位置する。当初、OH27区Ⅴ層上面精査中に土器埋設部と石組部とから成る複式炉を確認し、竪穴住居跡が存在することを想定した。この時点では、当該炉周辺は水田造成時に大きく削平されていたことから、縄文時代遺構の基盤層であるⅤ層上面まで既にほとんど掘り下げていた。さらに炉の北側には水田造成に伴う攪乱坑が存在することもあって、竪穴掘り込みは南壁側の一部と北西壁側の一部とをそれぞれ確認したにとどまった。

竪穴は南壁および北西壁の確認状況から、径３m前後のやや不整の円形平面をなすと推定できる。床面には明瞭な硬化範囲や貼床面等を認定することはできず、若干の凹凸がある。中でも北西側では基盤の段丘礫が露出している部分も存在する。壁は大きく開きながら立ち上がり、確認面から床面ま

での深さは最大0.12m前後に過ぎない。

竪穴覆土は黒褐色土を基質とし、炭化物粒を多量に包含している。覆土はごく一部を確認したにとどまったため、その由来・成因等の詳細な性格は特定し難い。

竪穴南壁寄りには、ほぼ南北方向に主軸をとる複式炉が存在する。南側の石組部は、長軸0.6m、短軸0.5m、深さ0.1mの掘り込み底に扁平な小円礫を積み重ね、その上に長さ20㎝前後の板状礫７個を竪穴南壁方向に開口する「コ」字形に組んで構築している。石組外法は南北0.43m、東西0.50m、内法は南北0.30m、東西0.28m前後である。炉石は一部安山岩円礫を含むものの、ほとんどが凝灰岩の亜角礫もしくは亜円礫である。掘り込みおよび石組内の覆土は黒褐色土を基調とし、後者には少量の焼土粒を含む。石組部の北隣には深鉢形土器を炉体土器とする土器埋設部がある。炉体土器は、全周の約1/2を打ち欠いた深鉢形土器体部破片で、打ち欠いた側を石組部に接して正位に埋設している。土器内覆土は黒色土単一層である。炭化物粒を少量含むものの、焼土面や焼土粒を認めることはできない。石組部・炉体土器ともに炉使用に伴う被熱痕は明瞭ではない。また、石組部南側の壁寄りには前庭部に相当する掘り込みは確認できなかった。

このほか、柱穴、壁溝等は未確認である。

複式炉炉体土器は現状で胴高約23㎝、復元胴径23㎝である（第24図１）。体部に単軸絡条体を縦位回転施文する特徴から、縄文時代中期後葉大木10式に属すると判断する。このほかに本竪穴住居跡に伴う遺物はない。

本竪穴住居跡は、複式炉炉体土器から縄文時代中期後葉大木10式に属すると判断する。

SI12竪穴住居跡（第８図）

OB27・28区周辺Ⅴ層上面で確認した。竪穴上位の大半は水田造成により削平されているほか、南～東側も水田に伴う水路等により破壊されている。

竪穴は直径3.5m前後の円形平面をなすと推定する。壁は開き気味に立ち上がり、壁高は最大で約0.1mである。床面は若干の凹凸がある。遺存する竪穴覆土は、炭化物粒を多量に含む黒褐色土単一層である。現状ではその由来および成因は判然としない。

床面中央部には石囲土器埋設炉が存在する。主として径20㎝前後の輝石安山岩円礫を径約70㎝の円形に巡らし、内側に粗製深鉢形土器を炉体土器として正位に埋設する。深鉢形土器は現状では口縁部を欠損している。炉体土器上端と炉石の一部には被熱痕が残る。炉体土器内覆土およびその周囲には若干の焼土粒が分布するが、明瞭な焼土面は遺存していない。

竪穴床面北西側には、平面長径0.18～0.37m、深さ0.24～0.57m前後の小形の落ち込み５基（Ｐ１、Ｐ４～Ｐ７）がある。西壁際のＰ１以外は極めて不整な形態をなし、本竪穴住居に伴う柱穴とは断定し難い。また、北壁に沿って、床面からの深さ20㎝程度の不整楕円形の落ち込み２基（Ｐ２・３）が存在する。出入り口施設の痕跡である可能性も想定し得るが、確実ではない。

本竪穴住居跡からは、炉体土器（第24図２）のほか、炉内から被熱した頁岩製剥片１点、Ｐ４から頁岩製剥片１点が出土した。

本竪穴住居跡は炉体土器から、縄文時代後期後半に属すると判断する。

３　土坑

SK04土坑（第９図）

OC・OD27区Ⅱc′層上面で確認した。長径1.68m、短径1.60mの正円に近い楕円形平面をなす。掘り込み全体は擂り鉢形で、壁は大きく開きながら立ち上がる。底面には凹凸があり、確認面から底面までの深さは0.50mである。西壁の一部は僅かに被熱により焼土化している。

覆土は１層～６層に分けた。その層相と断面形状とから、大きくは底面直上に堆積する下層群（５・６層）とその上位の上層群（１～４層）とにまとめることができる。下層群は黒色～黒褐色土と暗褐色土との混合土を基質とする。両者の混合度の差で二分したが、層界は漸移的である。異なった由来の土が混在することから、連続した埋め戻し土であったと推定する。上層群は黒褐色土と黒色土の薄層の互層状堆積である。本層群は、断面形状から、周囲からの流入土と推定する。

土坑南壁際の下層群中からは、長さ40～60㎝前後の大形炭化材２点が出土した。このほかの出土遺物はない。

本遺構は、西壁の一部に被熱痕があることと大形炭化材が出土したことから、炭焼成遺構であった可能性も想定できる。上述の覆土出土炭化材のうちの１点については、樹種同定および^{14}Ｃ年代測定を実施した。試料はクリ材で、補正年代は1050±50BP（Code.No.IAAA-10181）であった。^{14}Ｃ年代測定結果から、本遺構は古代に属する可能性が強い。

SK10土坑（第９図）

OA28区Ⅴ層上面で確認した。掘り込みは長径1.26m、短径1.06mの不整楕円形平面をなす。壁は、東半側が急傾斜に、西半側が緩やかに開きながらそれぞれ立ち上がり、最上位で大きく開く。底面は東に向かって傾斜し、確認面から底面までの深さは0.30mである。また、底面東端側には長径0.18m、深さ0.10mの小穴がある。

覆土は１層～５層に分けた。底面直上に堆積する５層は僅かに褐色を呈する砂層である。基盤の褐色砂層（Ⅴ層）との層界は漸移的である。４層は底面東端側の小穴内覆土である。杭痕もしくは樹根痕の可能性があろう。２・３層はともに黒色土を基質とし、地山砂の混入度の差で分けた。３層断面形状は不整塊状を呈しており、両層は一連の堆積であろう。２層中には炭化物粒が目立つ。最上位の１層は土坑中央底に向かって傾斜した断面形態を示す黒褐色土である。土坑過半埋没後の上面のくぼみに流入した堆積と判断する。

本土坑からの出土遺物はない。なお、覆土出土炭化材１点の^{14}Ｃ年代測定と樹種同定を実施した。年代測定結果は補正年代1320±50BP（Code.No.IAAA-10182）、樹種はモミ属であった。

本土坑の詳細な性格は判然としない。形態が不整であること、覆土中には炭化物粒が目立つことなどから、樹根などによって形成された自然の落ち込みの可能性もあり得よう。^{14}Ｃ年代測定結果からは、古代に形成されたと想定する。

SK13土坑（第９図）

OC27区Ⅴ層上面で確認した。縄文時代晩期前半に属するSQ09配石遺構の南西端部を一部掘り込む。掘り込みは長径1.15m、短径0.94mの楕円形平面をなす。平面長軸方位はほぼ南北方向である。壁は開きながら立ち上がり、底面は凹凸がある。確認面から底面までの深さは、現状で最大0.06m程度に過ぎない。覆土は炭化物粒を含む黒色土である。壁際には炭化物粒が特に集中し、２層として分離した。

ただし、両層の境界は漸移的で、その基質は共通する。両者とも焼土粒は含まず、壁面および底面にも焼土面は認めることができない。覆土中からの出土遺物はない。

本遺構は覆土に炭化物粒を多量に含むことから、炭焼成遺構の可能性も想定し得る。しかし、全体に遺存状態が不良であり、断定できない。SQ09配石遺構との切り合い関係から、縄文時代晩期前半が上限時期となる。炭焼成遺構とするならば、古代以降に属する可能性が強い。

SK14土坑（第９図）

OC27区Ⅴ層上面で確認した。当初、縦位に埋まった大形円礫を確認し、立石遺構と想定した。試掘溝を掘り下げ、精査した結果、当該円礫は楕円形平面の土坑の一端に立てられたものと判断し、全体として、遺構は西端上面に立石状の配石を伴う土坑と認定した。

土坑は、長径1.00m、短径0.78mの不整楕円形平面をなす。平面長軸方位はＮ－87°－Ｅである。東側の壁は大きく開き気味に、西側壁は比較的急傾斜にそれぞれ立ち上がる。底面には凹凸がある。確認面から底面までの深さは0.18mである。土坑西端底面には長径35㎝の閃緑岩円礫を立石状に立てている。覆土は地山土塊を多量に含む黒褐色土単一層であり、円礫を据える際に土坑掘削土を一気に埋め戻したものと判断する。本土坑からの出土遺物はない。

本遺構は、配石の存在と土坑形態とから、西端に立石状配石を伴う土坑墓であった可能性も想定し得る。しかし、土坑覆土には遺体埋葬の明瞭な痕跡を認めることはできず、断定し難い。また、詳細な時期は不明である。

SK19土坑（第10図）

OC32・33区Ⅴ層上面で確認した。掘り込みは長径1.60m、短径0.70mの不整楕円形平面をなす。平面長軸方位はＮ－31°－Ｗである。壁は開きながら立ち上がり、底面中央は一段深くなる。確認面からの深さは、北西壁際で0.08m、南東壁際で0.15m、中央部で0.30mである。

覆土は黒褐色土単一層である。糸根状酸化鉄が沈着するが、混入物は少ない。中央部の覆土中位～下位から縄文晩期土器小破片が約10点出土した（第25図１・２）。

本遺構は、形態が不整であり、樹根痕跡等の自然の落ち込みであった可能性も想定し得る。現状では詳細な性格は不明である。出土土器破片から、上限時期は縄文時代晩期である。

SK23土坑（第10図）

OB・OC31・32区Ⅴ層上面で確認した。掘り込みは北西－南東長1.63m、北東－南西長1.55mの四方に突出部がある不整形平面を呈する。壁は開き気味に立ち上がり、底面中央は一段深くなる。確認面からの深さは、北西壁際で0.15m、南東壁際で0.14m、中央部で0.32mである。

覆土は黒褐色土単一層である。覆土は比較的均質で、基盤層との層界は漸移的である。土坑東半側の覆土中からは縄文土器破片約80点（第25図３～23）、頁岩製剥片１点が出土した。出土土器はいずれも小破片である。深鉢形土器破片が大半を占め、ほかに浅鉢形土器破片１点（第25図20）、台部破片（同23）などがある。深鉢形土器破片は、０段多条の可能性あるRL縄文が縦走する縄文施文の特徴から、いずれも縄文時代晩期中葉の大洞C1式もしくは大洞C2式に属する可能性が強い。

本遺構は、形態が極めて不整で、覆土と基盤層との層界が漸移的であることから、樹根痕跡等の自然の落ち込みもしくは倒木痕であった可能性も想定し得る。ただし、調査時にはその性格を特定することはできなかった。本遺構の上限時期は出土土器から縄文時代晩期中葉と推定する。

SK25土坑（第10・11図）

SM60盛土掘り下げ中に、盛土南北畦の土層断面で盛土土層の陥没部分を認め、当該地点周辺に落ち込みが存在することを予想していた。最終的にNP37区北西側周辺のSM60盛土直下（Ⅱb層上面）で土坑掘り込みを確認した。掘り込みは長径1.95m、短径1.68mの正円に近い大形楕円形平面をなす。平面長軸方位は北西方向である。壁は開き気味に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。掘り込み確認面から底面までの深さは0.62mである。

土坑本来の覆土は黒色土単一層（①層）である。その上位の７～９層はSM60盛土堆積層に由来する。土坑は、当初、当時の地表面である11層（Ⅱb層）上面まで埋め戻され、その後、土坑内覆土が断続的に陥没し、盛土５層堆積時点でほぼ完全に埋没したものと判断する。土坑覆土①層は基質が当時の表土層であるⅡb層（11層）に類似することから、主として土坑周辺の表土層を埋め戻したものと判断する。また、土坑西半側とその周囲には褐色砂質土（10層）が堆積している。当該層は周辺の基盤土（Ⅴ層）に由来することから、調査時には詳細な形状は確認できなかったが、土坑掘削土を土坑の西半側に盛った土盛りであったと推定する。この10層上面からは逆位状態の深鉢形土器（第28図４）、大形石棒頭部破片（第31図５）などが出土しており、これらは、土盛り造成時に意図的に置いたと想定しておく。

本土坑からは、全体で縄文晩期土器破片約200点、石鏃１点、石錐１点、石匙３点、スクレイパー６点、二次加工ある剥片１点、剥片60点、凹石類３点などが出土した（第26～32図）。このうち、覆土①層出土遺物が上述した10層上面出土遺物とともに本土坑に本来伴ったものと判断する。ただし、後述するように①層出土遺物には、既に周辺に分布していた遺物が埋め戻し時に混入したものが含まれる可能性も強い。土坑底面直上からは、深鉢形土器（第26図４）、大洞B2式の大形台付鉢形土器破片（第27図１）、台付鉢形土器（同２・第28図11）、凹石類（第31図３）などが出土した。さらに、径20㎝前後の円礫３点が底面直上から出土している。このほか、①層中からは、大洞B1式深鉢形土器破片（第26図１）、大洞B2式深鉢形土器破片（同９）、大洞BC式浅鉢形土器（第27図３・４）、大洞BC式注口土器（第28図３）、石鏃１点（第29図１）、石錐１点（同２）、石匙１点（同５）、スクレイパー４点（同８、第30図１～３）、二次加工ある剥片１点（第31図１）などが出土した。また、①層直上からはほぼ完形の壺形土器（第28図２）が出土している。遺存状況から、土坑上面に置いたものと判断する。

本遺構は、形態および覆土の特徴などから、小規模の土盛りを伴う土坑墓であった可能性が強いと推定する。また、周囲の地表面から覆土上面には深鉢形土器、壺形土器、大形石棒頭部破片等の遺物が供献されていた可能性も想定できる。本土坑は掘り込み面から、SM60盛土の本格的な造成以前に営まれたものと判断できる。覆土①層出土土器の過半は、大洞B2式～大洞BC式に属する。このうち、大洞B2式台付鉢形土器（第27図１）や浅鉢形土器（同５）の一部の破片は周囲のSM60盛土に係わる堆積層中からも出土しており、これらの土器は、①層埋め戻し時に周囲に分布していたものが混入したと判断する。このように大洞B2式期以前の出土遺物は土坑埋め戻し時に混入したものと判断し、本土坑の構築時期は大洞BC式期と想定する(註１)。また、土坑構築以前に、周囲には大洞B2式に属する遺物集中地点が形成されていた可能性が強い。

SK26土坑（第11図）

OD30・31区Ⅴ層上面で確認した。確認時には西端部は既に掘り下げて削平していた。現状から、掘り込みは南北長2.8m以上、東西幅2.17mの極めて不整な孤状平面をなす。壁は全体に開き気味に

立ち上がり、底面には凹凸がある。確認面から底面までの深さは最大0.18m前後である。

覆土は暗褐色土単一層である。比較的均質で、基盤層（Ⅴ層）との境界は漸移的である。土坑北東側と南西側の２か所から、あわせて縄文土器破片が約20点出土した（第32図１～５）。北東側出土遺物には縄文後期前葉蛍沢式切断調整壺形土器の口頸部～体部上半部および底部破片（第32図１）、南西側出土遺物には縄文晩期前半深鉢形土器破片（同２～５）がある。深鉢形土器破片の多くは同一個体に属する。

本遺構はその形態が不整であること、基盤層との境界が漸移的であること、異なる時期の遺物が地点を異にして出土していることなどから、倒木痕等の自然の落ち込みであった可能性も想定し得る。出土土器からその上限時期は縄文時代晩期前半である。

SK43S土坑（第12図）

SM60盛土掘り下げ後のNQ37区Ⅴ層上面で確認した。SK43N土坑を掘り込む。土坑北端部は確認調査試掘溝により削平されている。掘り込みは、推定長径0.9m前後、同短径0.60mの楕円形平面をなす。平面長軸方位はＮ－35°－Ｅである。壁はやや開き気味に立ち上がり、底面は若干凹凸がある。確認面から底面までの深さは0.11mである。覆土上面東側には石皿破片（第32図６）と径約20㎝の輝石安山岩円礫を据えている。

覆土は地山土（Ⅴ層）塊を含む黒褐色土単一層である。上面に石皿の大形破片等を据えていることから、覆土は一括の埋め戻し土と判断する。覆土中からは、縄文土器破片が２点出土した。極小破片のため、図示していないが、うち１点は縄文晩期深鉢形土器破片の可能性がある。

本遺構は、形態と覆土の特徴、さらに円礫等の確認状況から、上面に石皿破片と大形円礫とからなる配石を施した土坑墓の可能性が強いものと判断する。出土土器破片と確認面とから、本土坑はSM60盛土形成開始前後の縄文時代晩期前葉に属すると推定する。

SK43N土坑（第12図）

SM60盛土掘り下げ後のNQ37区Ⅴ層上面で確認した。SK43S土坑、SKP42・45・62柱穴・小穴に掘り込まれる。掘り込みは、長径2.04m、短径1.08mの両側がくびれた楕円形平面をなす。長軸方位はほぼＮ－9°－Ｗである。掘り込みは、両側のくびれと対応し、北側が浅く、南側が一段深くなる。壁はいずれもやや開き気味に立ち上がる。底面は比較的平坦である。確認面から底面までの深さは、北側で0.18m、南側で0.35mである。

覆土は北側底面直上層を色調の差で分離したが、基本的に均質な暗褐色土である。ややいびつな掘り込み形態からは、２基の土坑が重複している可能性も想定し得るが、覆土の観察では認定することはできなかった。土坑南東側からは、破片となった縄文中期後葉深鉢形土器１個体（第33図２）が出土している。口縁を南側に向けて埋めた完形の深鉢形土器が、土圧によって壊れたものと判断する。土器内部からは出土遺物はない。このほか、掘り込み南東際から縄文前期円筒下層式深鉢形土器体部破片１点（第33図１）が出土している。本土坑覆土から出土した可能性があるが、確実ではない。

本遺構は、掘り込み形態と遺物出土状況とから、深鉢形土器を横位に埋めて副葬した土坑墓であった可能性を想定し得る。出土深鉢形土器から、本土坑は縄文時代中期後葉に属する。

SK61土坑（第13図）

SM60盛土掘り下げ後のNQ37区、NR37・38区Ⅴ層上面で確認した。確認面では長径1.17m、短

径0.74mの不整楕円形平面をなす。長軸方位はＮ－8°－Ｗである。掘り込みは確認面から約0.2m下位で一端くびれる。くびれ部分では、内径0.56～0.67mである。くびれ部以下では、西側壁が広がり、東側壁はほぼ垂直である。底面はほぼ平坦で、底面内径は0.55～0.67mである。確認面から底面までの深さは0.39mである。

覆土は上下２層に分けた。底面上に堆積する２層は黒褐色シルト質土を基質とし、SM60盛土形成直前の旧表土であるⅡb層と類似する。上位の１層は黒褐色土を基質とする。多量の土器破片等を含み、全体に土坑底に向かって傾斜する。土坑埋没後、その上位に堆積した盛土層が土坑覆土上位とともに陥没したものと判断する。

１層からは、縄文土器破片20点（第33図３～12）、石核１点（第34図１）、凹石類１点（同２）、剥片８点が出土した。上述のように、本来、SM60盛土に伴った遺物と推定する。一方、２層中からの出土遺物はない。なお、東西の壁際の底面直上からは、それぞれ径８㎝前後の円礫と亜角礫各１点が出土している。

本土坑は、確認面と覆土の特徴とからSM60盛土形成開始前後の縄文時代晩期前葉に構築されたものと判断する。詳細な性格は不明である。

４　土器埋設遺構

SR06土器埋設遺構（第13図）

OK30・31区水田造成土下のグライ化したシルト（基本層序Ⅲ層）上面でほぼ正位状態の深鉢形土器底部を確認した。確認時点では、深鉢形土器は底部のみが複数の破片となっていた。土器の周囲は大きく掘り下げていたため、埋設のための掘り込みが存在したか等の詳細な出土状況は確認できなかった。よって、掘り込み内に深鉢形土器を据えた土器埋設遺構とは必ずしも断定できない。しかし、周辺には他に出土遺物がなく、遺物包含層中の遺物とは想定し難いこと、本来、完形であったと判断できる深鉢形土器底部が正位状態で出土していることから、ここでは土器埋設遺構として報告する。

出土土器は底部全周と体部下位のおよそ1/4が遺存する（第35図１）。残存高は約８㎝である。現状では明瞭な使用痕を認めることはできない。詳細な時期は判断し難いが、形態・胎土の特徴等から縄文時代中期後半前後に属すると推定する。

５　配石遺構

SQ09配石遺構（第13図）

OB・OC27・28区Ⅴ層上面で、東西約2.5m、南北約1.8mの範囲に集中する径10～70㎝前後の円礫もしくは亜角礫約80点を確認した。調査の結果、礫群は、長径3.0m、短径1.9m、深さ0.25m前後の不整な掘り込み内に充填されたものと判断した。礫群の南西端部はSK13土坑に掘り込まれている。調査時には、礫群の意図的な配置を認定することはできなかった。礫群は安山岩円礫を主体とし、凝灰岩亜円礫などが伴う。このほかに、赤玉２点、石英５点などもある。赤玉のうちの１点は長さ25㎝ほどの亜角礫で、礫群西端側に位置する。

掘り込み内覆土は上下２層に分けた。下位の２層は、基盤のシルト質土と近似し、基盤層との境界は不整かつ漸移的である。掘り込み掘削時の残土の可能性があろう。上位の１層は地山土粒混じりの

黒褐色土で、礫群とともに埋め戻された堆積層である。

礫群中には凹石類４点(第35図８～11)、石剣類破片１点(第36図１)、大形石棒破片１点(同２)、一端に敲打痕ある大形柱状礫(同３)などを含んでいる。このほか詳細な状況は不明であるが、縄文時代晩期前半の深鉢形土器および壺形土器などの小破片６点(第35図２～７)が出土している。

出土石剣類破片から、本遺構は、縄文時代晩期前半に属すると推定する。本遺構は、下部の掘り込み形状から、隣接する東西２基の土坑墓上に礫群を配した配石墓の一種と捉えることもできるかもしれない。しかし、向様田遺跡群の他の配石墓・土坑墓と比較すると、その形態はかなり不整である。遺物出土状況や覆土の特徴などからは、現時点では配石墓とは断定し難く、ここでは配石遺構と報告しておく。

６　焼土遺構

SN05焼土遺構(第14図)

OG30区Ⅲ層上面で確認した。長軸0.48m、短軸0.34mほどの不整形に焼土が広がり、その周囲から下位にかけて炭化材および炭化物粒を含む黒褐色土が分布する。当該層を掘り上げた結果、長軸0.78m、短軸0.55m、深さ0.07mの不整形の落ち込みとなった。本来、確認面上で焚き火と灰等の掻き出しを反復し、最終的に浅い窪みとなったものと推定する。炭化材は遺存状態が不良で、取り上げることができなかった。このほかの出土遺物はない。また、周囲には竪穴掘り込み、柱穴等の関連する可能性ある遺構は確認できなかった。

本遺構の時期および性格は不明である。

SN24焼土遺構(第14図)

NQ37区SM60盛土直下、Ⅱb層上面で確認した。現状で、東西約0.3m、南北約0.2m、深さ0.07mの範囲に焼土面が広がる。焼土の平断面形状は極めて不整で、明瞭な掘り込みは認定できない。さらに焼土は部分的に塊状を呈し、炭化物粒が目立つ。これらのことから、本遺構は、確認位置である当時の旧地表面上で、焚き火とその際に生成した焼土・炭化物・灰等の掻き出しとが反復されたことによって形成されたものと判断する。

本遺構は、確認面からSM60盛土形成の初期段階、もしくはその前後の時期に形成されたものと推定する。また、本遺構の西北西約60㎝には、逆位状態で完形の小形深鉢形土器(第36図４)が出土している。深鉢形土器内部には炭化物粒を多量に含む暗褐色土が堆積していたが、遺物は伴わない。当該深鉢形土器は大洞BC式前後に属する可能性が強い。焼土遺構とほぼ同一面上からの出土であり、両者は同時に併存したとしても不都合ではない。本焼土遺構形成は、焚き火を伴う儀礼的行為によるものであり、深鉢形土器はその際に供献されたものとする想定もあり得ようか。このほか、焼土周辺からは、頁岩製の小形石核１点(第36図５)が出土している。ただし、当該資料には被熱痕跡はなく、本焼土遺構に伴ったかは断定し難い。

７　柱穴・小穴(第14～16図)

冒頭で述べたように、ここでは柱穴状の掘り込みのほか、平面長径0.9m未満の小形の落ち込みも一括する。調査区東半部で合計40基を確認した。そのうちには柱痕跡は確認できないものの、円筒状

に掘り込まれ、柱穴の可能性が強い例のほか、楕円形あるいは不整形平面をなし、確認面からの深さが0.1m程度の浅いものなどもあり、その形態は多様である。柱穴状を呈するものについては、建物を構成すると判断し得るような有意な配置を認めることはできない。また、その他のものについてもその性格は判然としない。なお、時期を特定できる例は僅かであるが、上述したように、今回検出した遺構・遺物の過半は縄文時代晩期前半に属することから、ここでの柱穴・小穴群の過半も同時期に属する可能性が強いものと推定しておく。特に、SM60盛土と重複する柱穴・小穴群はいずれもⅤ層上面で確認しており、縄文時代晩期前葉に属するものと判断する。

以下、個々の柱穴・小穴群の記述は柱穴・小穴一覧(第４表)に替える。

第４表　柱穴・小穴一覧

番　号	地　区	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)	備　　考
SKP15	OF27	円形	38	36	40	132.60	Ⅱc′層上面確認　柱穴状
SKP16	OE27	円形	32	30	29	132.40	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP17	OF・OG27	円形	28	28	20	132.48	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP18	OA33	不整円形	45	43	28	132.72	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP21W	OB31	不整楕円形	86	64	16	132.74	Ⅴ層上面確認　浅い小穴状　縄文晩期土器破片2　石剣類破片１
SKP21E	OB30・31	円形	72	67	13	132.72	Ⅴ層上面確認　浅い小穴状
SKP27	OB31	不整形	46	37	19	132.72	Ⅴ層上面確認　小穴状
SKP30	OA・OB32	楕円形	43	27	17	132.78	Ⅴ層上面確認　小穴状
SKP31	OA32	円形	50	41	28	132.72	Ⅴ層上面確認　柱穴状　縄文晩期前葉土器破片3
SKP32	OA32	楕円形	42	34	29	132.72	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP33	OA31・32	楕円形	42	30	15	132.75	Ⅴ層上面確認　浅い小穴状
SKP34	OA33	円形	36	33	27	132.72	Ⅴ層上面確認　柱穴状　縄文晩期前葉土器破片1
SKP35	NT33	楕円形	71	45	14	133.93	Ⅴ層上面確認　浅い小穴状　凹石類1
SKP36	OB33	円形	33	27	28	132.70	Ⅴ層上面確認　杭痕状
SKP38	OB33	不整形	70	44	31	132.72	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP40	OB33	円形	31	25	24	132.76	Ⅴ層上面確認　柱穴状
SKP42	OB33	楕円形	35	27	14	132.81	Ⅴ層上面確認　浅い柱穴状
SKP44	NS36	不整楕円形	73	67	30	132.88	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　底面凹凸ある不整小穴状　覆土Ⅱb層由来　縄文土器破片約60(大洞C1式含む)　円盤状石製品1　剥片1　縄文晩期前半
SKP45	NS36	不整楕円形	44	32	12	133.06	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　SK43Nを掘り込む　浅い小穴状　覆土Ⅱb層由来　縄文土器破片12　剥片１　縄文晩期前半
SKP46	NQ37	円形	10	9	22	133.08	Ⅴ層上面確認　SK43Nを掘り込む　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　杭痕状　縄文晩期前半
SKP47	NQ37	楕円形	22	18	20	133.10	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP48	NQ37	楕円形	27	20	21	133.10	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP49	NQ38	楕円形	74	50	11	133.18	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　小規模土坑墓状　縄文晩期前半
SKP50	NR38	不整円形	24	21	38	133.02	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　杭痕状　縄文晩期前半
SKP51	NR38	不整形	49	39	20	133.20	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　小穴状　縄文晩期前半
SKP52	NR37	楕円形	21	13	20	133.18	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP53	NR・NS37	不整楕円形	35	28	7	133.12	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　小穴状　縄文晩期前半
SKP54	NR37	円形	25	25	28	133.02	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　大洞B2式注口土器破片出土　縄文晩期前半
SKP55	NS37	楕円形	28	22	21	133.08	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP56	NS37	楕円形	36	30	27	132.92	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　斜めに落ち込む　根痕状　縄文晩期前半
SKP57	NQ36	円形	15	12	10	133.20	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP58	NQ35	楕円形	23	15	15	133.04	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP59	NQ35	不整楕円形	47	34	13	133.08	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　小穴状　縄文晩期前半
SKP62	NQ37	不整円形	17	15	18	133.10	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　SK43Nを掘り込む　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　二次加工ある剥片1　縄文晩期前半
SKP63	NR37	楕円形	38	28	7	133.21	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土黒褐色土上下二層　浅い小穴状　縄文晩期前葉土器破片約30　縄文晩期前半
SKP64	NR37	楕円形	44	30	7	133.23	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土黒褐色土・褐色土上下二層　浅い小穴状　縄文晩期前葉土器破片約30　二次加工ある剥片1　剥片3　縄文晩期前半
SKP65	NR37	円形	18	18	8	133.18	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP66	NR37	円形	18	16	14	133.16	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　覆土Ⅱb層由来　柱穴状　縄文晩期前半
SKP67	NP・NQ35	楕円形	40	31	33	132.86	Ⅴ層上面確認　SM60と重複　柱穴状　石鏃1　縄文晩期前半
SKP68	NS34・35	不整形	52	42	34	132.86	Ⅴ層上面確認　底面凹凸ある不整小穴状

８　遺物集中地点

向様田Ｄ遺跡では、遺跡北東側と中央やや西寄りとの２か所で縄文時代晩期の遺物集中地点を確認した。両者は、形成時期、全体の構造、遺物の構成などには違いがあり、それぞれの性格は大きく異なると推測できる。

北東側の遺物集中地点は北東から南西に向かって開析された埋没谷の右岸に位置する。遺物集中地点形成直前の地表面は遺跡内では最も高位地点に当たる。当時の地表面は南西方向に緩やかに傾斜し、標高は133.5～133.6m前後である。当該地点では主として縄文時代晩期前葉大洞B2式期から大洞C1式期にかけて、土器・石器等の大量の遺物および土が廃棄される。遺物と土の積み上げにより、最終的に高さおよそ0.8m、基底長径およそ20mの小山状を呈している。以下では、当該地点を盛土（SM60）として扱う。

一方、遺跡中央やや西寄りの遺物集中地点は標高132.8～133.0m前後の相対的に低位部に位置する。グライ化したシルト層中に縄文晩期中葉大洞C2式土器破片が東西約10m、南北約４mの範囲に分布する。土器破片の垂直分布範囲は最大で厚さ10㎝程度であり、当時の地表面上に土器破片を散布したかのような出土状況を呈する。以下では、当該地点を捨て場（ST70）として扱う。

SM60盛土（第17～21図）

〈確認状況〉平成８年度に実施した範囲確認調査において、遺跡北東部に縄文時代晩期の遺物包含層（報告では生活用具廃棄場所）を確認していた(註２)。しかし、遺物包含層の分布範囲や層厚等詳細な状況は必ずしも明確ではなく、今回の調査前の時点ではNR38区からNN34区周辺の埋没谷沿いの比高１m前後の微高地部および埋没谷北西側に、最大で厚さ数10㎝前後の遺物包含層が形成されているものと予想していた。しかしながら、調査の結果、当該地点は自然の営力により形成された微高地ではなく、北東から南西に向かって僅かに傾斜する標高133.5～133.6m前後のほぼ平坦面（基本層序Ⅱb層上面）上に、遺物および土が人力により積み上げられた盛土であることが判明した。

〈調査方法〉盛土にはNP35区からNQ38区にかけて幅１mの南北畦を設定し、盛土の南北断面を観察・記録した。これとあわせて、調査区北壁を東西断面として観察・記録した（第19図）。南北断面は盛土のほぼ中心を通るが、東西断面は盛土の中心よりも北側にずれている。調査では、完形土器もしくは大形の土器破片等の出土状況は原則として平面実測することとし、当初、手作業により実測作業を行った。その後、作業効率化のため、図化用基準点を含めてインスタント・カメラで遺物出土状況を撮影し、撮影したインスタント写真に遺物番号、レベル読み値等を直接記入して遺物を取り上げ、整理作業時にこれらのインスタント写真をもとに作業用の遺物出土状況図面を作成した。

盛土は遺物分布密度が高いため、掘り下げ面を平滑に清掃し、平面的に土の堆積単位を認定することはできなかった。結果的に、盛土は大きくは表面地形に沿って、深さ10～20㎝前後ごとに分けて掘り下げることとなり、遺物はこの掘り下げ単位ごとに取り上げた。盛土は全体として黒色から黒褐色の色調を呈することから、盛土土層は大きくは「クロ」層と呼称し、最終的に上からクロ１層・クロ２層・クロ３層・クロ４層に四分した掘り下げ単位ごとに遺物を取り上げることとなった。

〈規模・形状〉盛土は北端側の未調査部分を除くと、東端がNN37・38区周辺、南端がNP・NQ35区周辺、西端がNS36～38区周辺に及ぶ。盛土基底長軸（東北東－西南西方向）は約20m、基底短軸（西北西－東南東）は14m以上、基底面積は250㎡以上である。盛土高さは現状で最大80㎝前後に達する。盛土

体積は全体でおよそ200㎥前後と推測する。盛土の周辺には多量の遺物を含み、盛土削平土由来と判断できる造成土(遺物取り上げ時にはクロ上層と呼称)が堆積することから、本来、盛土はより大規模であったであろう。一方、埋没谷では、埋積土上位から僅かに大洞BC式～大洞C1式期前後の遺物が出土したに過ぎず、盛土形成時には谷は既に埋積されていたものと判断する。

〈層序〉(第17・18図))盛土形成直前の地表面は、基本層序Ⅱb層とした黒色シルト層(南北断面40層、東西断面60層)上面である。このⅡb層は均質で混入物が少ないが、その上位からは部分的に縄文時代晩期遺物が出土する。本層はかなり軟質であり、当該遺物は本層堆積後により上位から沈み込んだ可能性も想定できることと層相とから、この黒色シルト層は本来無遺物層であったと判断しておく。

盛土南北断面では７層から38層、東西断面では50層から59層までが盛土に関わる堆積層である。これらの層は黒色～黒褐色系の土を基質とする。多量の遺物のほか、炭化物粒、基盤土(基本層序Ⅴ層)起源の可能性ある赤褐色～明赤褐色土を包含する。ただし、焼土粒は顕著ではない。

東西断面では明瞭ではないが、南北断面中央部下位～中位では基盤土起源土あるいは炭化物粒の混入度等の違いから、厚さ５～10㎝前後の薄層が累積した堆積状況を認めることができる(８層～38層)。一方、盛土上位周辺部では薄層状の堆積は顕著ではない。南北断面７層や東西断面52層は層厚が20㎝を越え、かつ相対的に広範囲に分布する。前者の薄層群では各層が廃棄の単位にほぼ相当し、盛土堆積時の状態を比較的留めているのに対し、後者の層群は盛土形成段階もしくはそれ以降の二次堆積層であった可能性もあろう。ただし、断面土層の観察では、盛土中位から下位では、遺構掘り込み、整地面あるいは不整合面など、盛土が大規模に攪乱された痕跡を認めることはできない。明瞭な旧地表面や焼土面なども確認することはできなかった。なお、南北断面29層およびその直下の34層・39層周辺がくぼむのは、SK25土坑覆土が陥没したことによるものである。

上述したクロ１層からクロ４層までの遺物取り上げ層位は盛土断面土層とは整合しないが、大きくは盛土南北断面では７層上位と８層がクロ１層に、７層下位と９層がクロ２層に、10～33層がクロ３層に、34～38層がクロ４層に相当する。ただし、遺物取り上げにおいては、SK25土坑に伴う土盛りと判断した39層もクロ４層に含めている。一方、東西断面土層は盛土の周辺部に位置することから、NQライン以東およびNSライン以西では南北断面でのクロ３層相当層(57層)がⅡb層(60層)直上に堆積するなど、盛土中央部とは異なった層序を示す。このため、取り上げ層位との対応関係は判然としない。

〈重複〉基本層序Ⅱb層上面ではSK25土坑、SN24焼土遺構を確認している。さらに、Ⅱb層直下の基本層序Ⅴ層(南北断面42層、東西断面62層)上面では、SM60盛土分布範囲と重複して、SK43S・SK43N・61土坑、柱穴もしくは小穴22基などを確認している(第19図)。縄文時代中期に属するSK43N土坑を除き、覆土の特徴などから、これらの遺構群もⅡb層上面が本来の確認面であった可能性が強く、盛土形成直前もしくは形成の初期段階に属すると推定する。いずれの遺構もSK25土坑よりも西側に位置するが、有意な分布状況を認めることはできない。柱穴状を呈するものにも建物を構成するようなまとまりは認定できない。現状では、土坑としたものについては、土坑墓であった可能性が強いと推測する。また、小穴としたSKP49は長径0.74mの楕円形平面をなし、小形の土坑墓であった可能性も想定できる。この他の柱穴もしくは小穴群の性格は判然としない。柱穴状のものについては、木柱状の墓標もしくは記念物等の痕跡であったとする想定もあり得るものの、具体的根拠が乏しい。

全体として、SM60盛土と重複する遺構群の分布密度は低く、SK25土坑を除くと、いずれも小規模

な遺構である。また、土坑、柱穴・小穴、焼土遺構等は盛土上位から中位では確認できず、盛土形成の盛行時には併行して土坑などが営まれることはほとんどなかったものと判断する。

〈礫群〉Ⅱb層上面から盛土下位にかけて、径20～50㎝前後の安山岩を主体とする円礫群が全体で300点以上分布する（第19・20図）。礫群の中には、石皿（第189図１・２）や台石（第190図１・３）などの礫石器も存在する。このうち第189図１の石皿は３分割された破片が接合したものである。円礫は小又川の現河床礫もしくは最低位段丘礫に由来し、調査では有意な配置を明確に認定することはできなかったが、盛土内に意図的に持ち込まれたものと判断できる。また、円礫群は盛土のより上位ではほとんど分布せず、盛土形成の直前段階から初期段階にかけて集中的に持ち込まれたものと判断できる。

〈出土遺物〉以下では、造成土、攪乱層出土遺物は除き、基本層序Ⅱb層出土遺物はSM60盛土出土遺物に含めて報告する。出土土器・土製品は推定破片数20万点前後、総重量約2,600kgである。少量の縄文晩期初頭大洞B1式土器、縄文晩期中葉大洞C2式土器なども存在するものの、盛土出土土器のほとんどは縄文時代晩期前半の大洞B2式から大洞C1式に属する。このほかに縄文前期土器（円筒下層a式～円筒下層d式）、縄文中期土器（円筒上層a式～円筒上層d式、大木８b式～大木10式）、縄文後期土器（十腰内Ⅰ式～十腰内Ⅴ式）なども存在する（第39・40図）。これらは縄文晩期前半土器と混在する状態で出土しており、その本来の分布地点は不明であるが、盛土形成時に混入したものと判断する。また、土偶破片46点、円盤状土製品17点、装飾品などその他の土製品８点も出土している。一方、出土石器・石製品は2,476点、剥片約19,700点である。

本報告では、土器・土製品については、器形が判明するものを中心に、文様・器形等の類例が少ない破片を加えて、全体で800点余りを選択し、図化・掲載した。出土石器・石製品は定型的な剥片石器と遺存状態の良好な石製品を中心に全体で600点余りを選択し、図化・掲載した。

〈土器整理〉整理作業体制の都合から、出土土器の接合復元作業を平成14年度に南調査課において優先的に行った。接合・復元後に残った土器破片（以下、破片土器と呼ぶ）については、平成15年度以降、型式または時期・器種・部位ごとに分類し、破片の点数計数と重量計測とを行った。平成14年度に復元した600点余りの土器（以下、復元土器と呼ぶ）については、エポキシ樹脂充填による復元前に重量計測することができなかったため、分類集計からは除いた。また、破片点数計数では原則として最大長１㎝以下のものは省いた。分類に際しては、縄文時代晩期前半の土器群については、大洞B1式、大洞B2式、大洞BC式、大洞C1式、大洞C2式の各型式に型式比定した。型式比定が困難な資料については、晩期前半などのように一括した。器種は、深鉢形土器（器高／口径比１以上）、鉢形土器（器高／口径比0.5以上１未満）、浅鉢形土器（器高／口径比0.5未満）、壺形土器（口頸部最小径／体部最大径比0.75未満）、注口土器、香炉形土器および台部破片とに分けた。しかしながら、小破片では、器形を判定することが困難な場合も少なくなかった。中でも体部破片では、鉢形土器や縄文地文の壺形土器などの多くは深鉢形土器に分類している可能性が高い。底部のみの破片についても、鉢形土器、壺形土器底部破片の多くを深鉢形土器に分類したものと推測する。また、口縁部から底部まで、または口縁部から体部までが遺存する破片は口縁部破片に、体部から底部までが遺存する破片は底部破片に分類した。なお、台付例は別に分離せず、各器種に分類し、器種分類不能の破片は単独で台部とした。結果的に、破片資料に基づく器種分類は深鉢形土器の占める割合が過大となっている可能性が強い。

〈土器器種組成〉復元土器は全体で628点である。残存度には差があるものの、各資料を１点として計

数した内訳は第５表の通りである。計数では器種ごとに大きさで細分は行わず、一括している。

第５表　復元土器一覧

	深鉢形土器	鉢形土器	浅鉢形土器	壺形土器	注口土器	香炉形土器	台部	小計
大洞 B1 式	0	2	0	0	0	1	0	3
大洞 B2 式	2	10	3	3	0	0	3	21
大洞 BC 式	30	55	45	32	25	0	5	192
大洞 C1 式	34	42	89	21	3	0	0	189
大洞 C2 式	0	0	6	0	0	0	0	6
縄文晩期前半	59	64	11	63	0	0	20	217
合計	125	173	154	119	28	1	28	628

復元土器では、大洞BC式例と大洞C1式例とがほぼ同数で、全体の過半を占める。両者の器種組成を比較すると、大洞BC式例では注口土器が目立つのに対し、大洞C1式例では注口土器が少なく、浅鉢形土器が多量に出土する傾向を認めることができる。

一方、破片土器は、総点数約186,000点、総重量約2,477kgである。このうち、型式比定した土器破片はすべての部位を含めて、15,737点、193,907.2ｇ、縄文時代晩期前半と一括した土器破片は2,283,431.0ｇ、170,270点である。型式比定した破片土器は、重量比・点数比とも全体のおよそ８％に過ぎない。破片土器では、体部および底部破片は分類の信頼度が低いと推定することから、口縁部および台部破片の点数と重量とから器種組成を検討する（第６表）。

第６表　破片土器（口縁部・台部）器種別出土量　　（点／ｇ）

	深鉢形土器	鉢形土器	浅鉢形土器	壺形土器	注口土器	香炉形土器	台部
大洞 B1 式	18 ／ 667.0	9 ／ 155.8	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
大洞 B2 式	289 ／ 5,570.1	564 ／ 8,028.6	11 ／ 393.0	14 ／ 83.9	4 ／ 39.4	0 ／ 0	2 ／ 32.0
大洞 BC 式	131 ／ 4,359.4	1,634 ／ 22,542.4	249 ／ 3,795.0	205 ／ 2,428.3	352 ／ 3,795.3	2 ／ 29.2	46 ／ 1,736.2
大洞 C1 式	327 ／ 10,463.2	4,101 ／ 44,716.8	2,446 ／ 27,855.5	306 ／ 3,050.6	50 ／ 1,225.0	3 ／ 135.2	189 ／ 3,135.1
大洞 C2 式	0 ／ 0	11 ／ 197.2	9 ／ 156.2	3 ／ 17.6	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
縄文晩期前半	6,027 ／ 197,906.8	3,260 ／ 44,623.3	447 ／ 5,276.4	2,129 ／ 37,589.0	15 ／ 263.9	4 ／ 78.1	1,461 ／ 39,854.7

型式比定した資料では、大洞C1式例が卓越し、大洞BC式例がこれに次ぐ。深鉢形土器および台部破片については型式比定できなかった資料が大半であるので、それ以外の器種組成を見ると、大洞C1式では鉢形土器と浅鉢形土器とが多出し、大洞BC式では大洞C1式よりも注口土器が多出することを認めることができる。なお、縄文晩期前半と一括した資料では、深鉢形土器が卓越することから、全体としては、深鉢形土器が組成の過半を占めるものと予想できる。また、詳細は不明であるが、台部破片が多量に出土していることから、台付の鉢形土器なども一定量存在することが推測できる。

以上から、大洞BC式から大洞C1式期にかけては深鉢形土器が器種組成の主体をなし、これに一定量の鉢形土器が伴う可能性が高いこと、大洞C1式期には浅鉢形土器が大量に出土するのに対し、注口土器が減少することなどを認めることができる。

〈土器出土状況〉各区の取り上げ層ごとの破片土器出土量を集計した（第７・８表）。大洞B2式は全体に出土量は少ないが、NP37区からNQ38区周辺で比較的まとまって出土している。大洞BC式はNP37・

第７表　破片土器地区別出土量(1)　（点／ｇ）

区	取り上げ層	大洞 B1 式	大洞 B2 式	大洞 BC 式	大洞 C1 式	大洞 C2 式	縄文晩期前半
NN37	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 14.2
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 17.0	0 ／ 0	53 ／ 589.8
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 5.4	0 ／ 0	0 ／ 0	34 ／ 370.2
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	4 ／ 35.1	34 ／ 453.7	0 ／ 0	511 ／ 6,932.7
	全体	0 ／ 0	1 ／ 11.8	16 ／ 256.3	174 ／ 2,014.1	0 ／ 0	2,222 ／ 37,774.4
NN38	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	Ⅱb	0 ／ 0	7 ／ 121.1	18 ／ 159.3	32 ／ 517.0	0 ／ 0	779 ／ 8,240.7
	全体	0 ／ 0	8 ／ 123.5	31 ／ 563.5	103 ／ 2,300.2	0 ／ 0	1,294 ／ 18,309.8
NO36	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	9 ／ 176.2	21 ／ 199.5	0 ／ 0	368 ／ 2,971.8
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	19 ／ 463.8	11 ／ 89.5	0 ／ 0	298 ／ 4,523.1
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	5 ／ 53.4	27 ／ 257.3	0 ／ 0	494 ／ 6,259.5
	クロ４	0 ／ 0	2 ／ 21.0	24 ／ 672.9	28 ／ 301.1	0 ／ 0	775 ／ 15,912.0
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 44.6	20 ／ 596.4	0 ／ 0	434 ／ 6,878.8
	全体	0 ／ 0	2 ／ 21.0	59 ／ 1,410.9	115 ／ 1,561.2	0 ／ 0	2,520 ／ 39,971.8
NO37	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 14.4	7 ／ 92.0	58 ／ 671.6	0 ／ 0	666 ／ 10,177.3
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	8 ／ 107.0	36 ／ 362.3	0 ／ 0	362 ／ 4,817.9
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	10 ／ 247.2	103 ／ 1,382.8	0 ／ 0	2,120 ／ 27,260.4
	クロ４	0 ／ 0	1 ／ 59.7	4 ／ 47.4	36 ／ 528.7	0 ／ 0	370 ／ 6,156.5
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	12 ／ 68.8	0 ／ 0	5 ／ 105.2
	全体	0 ／ 0	4 ／ 93.6	36 ／ 606.3	305 ／ 3,702.8	0 ／ 0	4,494 ／ 67,573.6
NO38	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 7.2	0 ／ 0	39 ／ 543.6
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	6 ／ 29.6	68 ／ 638.5	0 ／ 0	573 ／ 6,144.3
	クロ３	0 ／ 0	5 ／ 49.4	52 ／ 339.7	141 ／ 1,028.5	0 ／ 0	1,961 ／ 19,188.0
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	16 ／ 146.8	14 ／ 114.8	0 ／ 0	528 ／ 5,954.7
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 15.6
	全体	0 ／ 0	67 ／ 734.8	121 ／ 1,424.3	414 ／ 3,465.6	0 ／ 0	6,659 ／ 75,452.2
NP35	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	5 ／ 21.0	0 ／ 0	69 ／ 566.0
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	18 ／ 179.4	3 ／ 55.4	0 ／ 0	186 ／ 1,693.3
	クロ３	0 ／ 0	1 ／ 10.0	34 ／ 571.6	20 ／ 375.8	0 ／ 0	492 ／ 6,393.6
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	123 ／ 906.0
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	0 ／ 0	1 ／ 10.0	55 ／ 899.0	28 ／ 452.2	0 ／ 0	924 ／ 10,407.6
NP36	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 5.2	36 ／ 406.2	29 ／ 256.2	0 ／ 0	839 ／ 9,171.2
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	18 ／ 212.6	16 ／ 164.9	0 ／ 0	472 ／ 4,936.8
	クロ３	7 ／ 245.6	6 ／ 119.8	40 ／ 463.5	43 ／ 472.6	0 ／ 0	1,375 ／ 18,967.3
	クロ４	0 ／ 0	10 ／ 198.8	51 ／ 528.0	27 ／ 372.5	1 ／ 10.0	997 ／ 14,957.3
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	7 ／ 245.6	33 ／ 698.0	208 ／ 2,538.1	195 ／ 2,393.3	1 ／ 10.0	4,729 ／ 68,789.5
NP37	クロ１	0 ／ 0	29 ／ 255.8	38 ／ 412.5	22 ／ 170.0	0 ／ 0	544 ／ 6,795.4
	クロ２	0 ／ 0	69 ／ 699.4	19 ／ 199.9	20 ／ 417.2	0 ／ 0	379 ／ 4,979.3
	クロ３	1 ／ 6.4	93 ／ 1,116.1	104 ／ 1,021.7	136 ／ 1,481.9	0 ／ 0	3,321 ／ 40,104.5
	クロ４	2 ／ 50.5	39 ／ 350.2	90 ／ 1,092.4	15 ／ 157.5	0 ／ 0	2,070 ／ 25,733.8
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	34 ／ 595.6
	全体	13 ／ 376.5	297 ／ 4,183.3	400 ／ 4,232.2	243 ／ 2,767.0	0 ／ 0	8,700 ／ 119,383.2
NP38	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 14.6	12 ／ 92.6	0 ／ 0	186 ／ 2,095.1
	クロ２	0 ／ 0	2 ／ 41.4	30 ／ 482.6	253 ／ 2,809.6	5 ／ 60.2	2,767 ／ 32,254.9
	クロ３	0 ／ 0	2 ／ 28.9	61 ／ 801.8	168 ／ 1,872.6	0 ／ 0	3,193 ／ 38,670.9
	クロ４	6 ／ 170.8	21 ／ 487.4	77 ／ 1,065.5	55 ／ 976.5	0 ／ 0	1,624 ／ 23,032.4
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	22 ／ 202.5
	全体	6 ／ 170.8	70 ／ 1,225.8	335 ／ 4,669.6	785 ／ 10,806.4	8 ／ 65.7	11,931 ／ 170,259.8
NQ35	クロ１	0 ／ 0	2 ／ 10.5	5 ／ 37.0	70 ／ 546.4	0 ／ 0	746 ／ 6,832.5
	クロ２	0 ／ 0	2 ／ 16.0	6 ／ 49.4	213 ／ 1,898.2	0 ／ 0	1,836 ／ 17,698.1
	クロ３	0 ／ 0	2 ／ 62.0	27 ／ 234.9	106 ／ 914.2	0 ／ 0	1,710 ／ 17,576.1
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 21.8	5 ／ 66.0	0 ／ 0	37 ／ 524.8
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	15 ／ 138.8
	全体	0 ／ 0	6 ／ 88.5	75 ／ 930.8	630 ／ 7,553.9	0 ／ 0	7,890 ／ 107,756.1
NQ36	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	14 ／ 191.2	87 ／ 934.1	0 ／ 0	1,208 ／ 13,490.7
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	25 ／ 292.1	86 ／ 869.7	0 ／ 0	1,354 ／ 13,104.7
	クロ３	3 ／ 68.9	26 ／ 431.7	64 ／ 862.0	116 ／ 1,215.4	0 ／ 0	2,559 ／ 32,039.7
	クロ４	0 ／ 0	12 ／ 368.3	8 ／ 106.0	45 ／ 662.3	0 ／ 0	513 ／ 7,588.1
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	3 ／ 68.9	78 ／ 1,538.7	198 ／ 2,861.7	616 ／ 8,679.1	0 ／ 0	10,400 ／ 152,862.0
NQ37	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 17.6	15 ／ 83.5	0 ／ 0	237 ／ 2,146.9
	クロ２	0 ／ 0	1 ／ 18.6	14 ／ 240.2	75 ／ 669.8	0 ／ 0	822 ／ 8,798.6
	クロ３	0 ／ 0	3 ／ 23.5	31 ／ 334.9	104 ／ 1,119.9	0 ／ 0	1,838 ／ 23,332.1
	クロ４	2 ／ 61.2	30 ／ 451.7	106 ／ 1,172.3	111 ／ 965.5	0 ／ 0	3,342 ／ 49,096.4
	Ⅱb	0 ／ 0	6 ／ 55.1	4 ／ 52.5	1 ／ 12.6	0 ／ 0	188 ／ 1,834.8
	全体	3 ／ 75.7	101 ／ 1,277.0	320 ／ 4,316.4	556 ／ 6,622.3	0 ／ 0	14,116 ／ 225,441.7

第８表　破片土器地区別出土量(2)　（点／ｇ）

区	取り上げ層	大洞 B1 式	大洞 B2 式	大洞 BC 式	大洞 C1 式	大洞 C2 式	縄文晩期前半
NQ38	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 18.5	3 ／ 28.9	114 ／ 1,303.6	3 ／ 41.7	1,461 ／ 14,212.6
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 88.9	0 ／ 0	9 ／ 166.1
	クロ３	0 ／ 0	2 ／ 21.5	10 ／ 111.6	107 ／ 1,179.6	2 ／ 19.6	1,042 ／ 12,337.3
	クロ４	0 ／ 0	33 ／ 426.1	170 ／ 2,132.7	156 ／ 1,946.5	0 ／ 0	4,349 ／ 60,432.1
	Ⅱb	0 ／ 0	1 ／ 27.0	0 ／ 0	6 ／ 102.5	0 ／ 0	43 ／ 1,011.6
	全体	9 ／ 310.7	399 ／ 5,604.9	687 ／ 7,903.0	489 ／ 5,820.2	5 ／ 61.3	15,598 ／ 215,725.8
NR35	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 5.5	2 ／ 28.6	31 ／ 199.5	1 ／ 14.4	478 ／ 2,719.9
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	3 ／ 28.9	171 ／ 1,353.2	0 ／ 0	1,966 ／ 14,488.1
	クロ３	0 ／ 0	15 ／ 118.0	20 ／ 263.8	90 ／ 919.1	0 ／ 0	1,656 ／ 14,674.0
	クロ４	0 ／ 0	1 ／ 21.6	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	53 ／ 398.0
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 12.4
	全体	0 ／ 0	32 ／ 438.4	101 ／ 1,397.4	866 ／ 7,376.3	1 ／ 14.4	9,058 ／ 95,892.2
NR36	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 4.3	10 ／ 168.4	105 ／ 924.5	0 ／ 0	1,073 ／ 9,204.2
	クロ２	0 ／ 0	1 ／ 13.2	6 ／ 50.9	169 ／ 1,207.3	0 ／ 0	2,082 ／ 16,545.0
	クロ３	0 ／ 0	4 ／ 102.4	46 ／ 410.1	243 ／ 2,563.0	1 ／ 3.2	2,209 ／ 26,730.2
	クロ４	0 ／ 0	8 ／ 107.6	25 ／ 330.9	16 ／ 161.8	0 ／ 0	1,228 ／ 13,904.5
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	0 ／ 0	60 ／ 1,149.0	387 ／ 4,949.8	1,230 ／ 12,987.0	1 ／ 3.2	17,380 ／ 235,404.4
NR37	クロ１	0 ／ 0	1 ／ 15.0	1 ／ 22.0	32 ／ 182.5	0 ／ 0	683 ／ 5,933.7
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	13 ／ 107.5	120 ／ 1,174.5	0 ／ 0	1,247 ／ 13,061.3
	クロ３	0 ／ 0	1 ／ 11.4	26 ／ 459.6	216 ／ 2,067.5	0 ／ 0	2,149 ／ 23,947.9
	クロ４	0 ／ 0	8 ／ 140.4	198 ／ 2,420.3	279 ／ 2,872.7	0 ／ 0	3,661 ／ 45,697.5
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	0 ／ 0	20 ／ 397.7	557 ／ 8,699.9	1,352 ／ 15,078.3	5 ／ 75.6	18,339 ／ 260,750.4
NR38	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 16.9	24 ／ 142.4	0 ／ 0	361 ／ 2,297.1
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	7 ／ 123.8	49 ／ 415.6	0 ／ 0	510 ／ 7,157.4
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	7 ／ 95.2	93 ／ 1,083.7	0 ／ 0	672 ／ 8,040.6
	クロ４	0 ／ 0	3 ／ 272.6	65 ／ 752.9	169 ／ 2,108.9	0 ／ 0	1,934 ／ 29,357.6
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	0 ／ 0	19 ／ 431.2	221 ／ 2,300.6	528 ／ 6,248.2	0 ／ 0	6,422 ／ 96,586.7
NS36	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 3.1	10 ／ 66.4	0 ／ 0	302 ／ 2,665.0
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 6.2	16 ／ 77.8	0 ／ 0	878 ／ 3,387.5
	クロ３	0 ／ 0	3 ／ 23.5	41 ／ 851.1	269 ／ 2,826.1	2 ／ 29.4	3,655 ／ 31,794.9
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	2 ／ 49.8	9 ／ 72.6	0 ／ 0	299 ／ 4,365.0
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	16 ／ 175.5	0 ／ 0	221 ／ 2,364.8
	全体	0 ／ 0	7 ／ 54.7	123 ／ 3,102.3	518 ／ 5,490.9	2 ／ 29.4	8,887 ／ 86,069.3
NS37	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	22 ／ 100.7	1 ／ 9.6	418 ／ 2,098.7
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	1 ／ 9.9	96 ／ 771.1	0 ／ 0	1,520 ／ 10,155.5
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	6 ／ 54.1	149 ／ 1,312.5	2 ／ 22.7	1,735 ／ 15,907.1
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	19 ／ 204.3	292 ／ 2,688.7	4 ／ 73.8	4,729 ／ 39,504.7
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	24 ／ 229.0
	全体	0 ／ 0	17 ／ 347.9	131 ／ 1,995.3	1,008 ／ 10,351.9	10 ／ 219.1	16,218 ／ 164,414.3
NS38	クロ１	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ２	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	6 ／ 59.0	0 ／ 0	120 ／ 777.2
	クロ３	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	クロ４	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	Ⅱb	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0
	全体	0 ／ 0	0 ／ 0	0 ／ 0	6 ／ 59.0	0 ／ 0	120 ／ 777.2

38区からNR37・38区周辺にかけて多量に出土している。これらの地区ではクロ４層で出土量が最大となる傾向があり、NP37区などでは大洞C1式よりも多出している。ただし、NR38区クロ４層では大洞C1式が大洞BC式を大きく上回っている。大洞C1式はNR36・37区からNS37区周辺にかけて多量に出土している。また、大洞C1式は盛土東端のNN37・38区からNO36・37区にかけて、およびNS36区、NQ37・38区などのⅡb層中から少量ではあるが出土している。

次に各取り上げ層ごとの破片土器出土量を集計した(第９表)。まとまった量が出土した大洞B2式・大洞BC式・大洞C1式の出土量を見ると、大洞B2式および大洞BC式は下位になるに従って出土量が増加するのに対し、大洞C1式は盛土中位にほぼ相当するクロ３層で出土量が最大となる。しかし、量の多寡はあるものの、大洞B2式から大洞C2式土器はクロ１層からクロ４層の各層にわたって出土している。特に大洞C1式はクロ４層においても大洞BC式・大洞B2式よりも多量に出土しているほか、Ⅱb層でも一定量出土している。

第９表　破片土器取り上げ層別出土量　（点／ｇ）

	大洞 B1 式	大洞 B2 式	大洞 BC 式	大洞 C1 式	大洞 C2 式
クロ１層	0 ／ 0	37 ／ 329.2	130 ／ 1,615.2	658 ／ 5,901.7	5 ／ 65.7
クロ２層	0 ／ 0	75 ／ 788.6	194 ／ 2,583.8	1,410 ／ 13,139.5	5 ／ 60.2
クロ３層	11 ／ 320.9	163 ／ 2,118.2	584 ／ 7,176.2	2,131 ／ 22,072.5	7 ／ 74.9
クロ４層	10 ／ 282.5	168 ／ 2,905.4	858 ／ 10,749.4	1,257 ／ 13,996.1	5 ／ 83.8
Ⅱｂ層	0 ／ 0	14 ／ 203.2	28 ／ 291.5	121 ／ 1,926.5	0 ／ 0

一方、NP35区からNP38区にかけて幅１ｍ、長さ約13ｍにわたって設定した南北畦出土遺物の垂直分布を南北土層断面と重ねると、大洞B2式土器は基本層序Ⅱｂ層(40層)からクロ４層にまとまるのに対し、大洞C1式土器はクロ３層にまとまる傾向を認めることができる(第21図)。大洞BC式土器はクロ４層からクロ３層の両層にまたがって分布する。大勢として、各型式と垂直分布とが対応する傾向を認めることができる。また、型式比定可能な破片土器の各取り上げ層ごとの出土量を見ると(第10表)、クロ２層では大洞C1式土器破片が多出するのに対し、クロ３層では大洞BC式土器破片出土量と大洞C1式土器破片出土量がほぼ拮抗し、クロ４層では大洞BC式土器破片が卓越し、これに大洞B2式土器破片と大洞C1式土器破片とが伴っている。南北畦においては、全体量が少ないため、確実性はやや乏しいものの、盛土層序と主体となる出土土器型式の変遷とがある程度対応する可能性も認めることができる。

第10表　南北畦破片土器取り上げ層別出土量　（点／ｇ）

	大洞 B1 式	大洞 B2 式	大洞 BC 式	大洞 C1 式	大洞 C2 式
クロ１層	0 ／ 0	3 ／ 105.2	12 ／ 173.8	0 ／ 0	0 ／ 0
クロ２層	0 ／ 0	1 ／ 23.4	7 ／ 78.5	46 ／ 781.4	2 ／ 33.5
クロ３層	0 ／ 0	2 ／ 26.9	52 ／ 574.2	55 ／ 566.8	0 ／ 0
クロ４層	0 ／ 0	34 ／ 334.1	102 ／ 1,171.9	22 ／ 280.5	0 ／ 0

一方、土器等の接合復元作業では、異なった地区間の接合作業を組織的に行えなかったため、遺物接合関係は盛土形成過推定の根拠とはなり難い。現状で確認した異なった地区間の接合例には、NN38区Ⅱb層とNQ36クロ３層間の大洞B2式深鉢形土器例(第41図７)[(註３)]、NQ38区クロ３層とNR38区クロ３層間の大洞C1式浅鉢形土器例(第95図２)、NO37区クロ４層とNP38区クロ４層間の土偶例(第127図１)、NR36区クロ２層とNR37区クロ４層間の土偶例(第126図５)、NR37区クロ４層とNR38区クロ４層間の土偶例(同２)などがある過ぎない。ほとんどが隣接地区間での接合例であるが、NN38区Ⅱb層とNQ36クロ３層間の大洞B2式深鉢形土器破片(第41図７)の接合例は盛土形成過程を推定する上で注意すべきであろう。既述のようにNN38区Ⅱb層からは大洞C1式土器も出土していることから、盛土東端に当たる当該地区は大洞C1式期においても依然としてⅡb層上面周辺が大洞B2式土器から大洞C1式土器などが混在して分布する地表面であった可能性が想定できる。この可能性を認めるならば、盛土周縁部の表土層がそこに分布する遺物とともにおそらくは大洞C1式期に盛土中央側のNQ38区周辺に盛られたとする想定もあり得よう。

このような土器出土状況からは、南北畦を設定したNP36区からNP38区周辺では遺物の廃棄と土の積み上げとが大洞BC式期以降大洞C1式期まである程度継続的に行われた可能性があろう。これに対

し、より東側では土の積み上げは主として大洞C1式期に行われたと推定する。一方、西側は遺物の混在傾向がより著しく、盛土形成時の遺物の二次的な移動を考慮すべきであろう。遺物取り上げにおいて、傾斜して堆積する層を結果的に水平に近い人工層位で取り上げている可能性も勘案すべきであるものの、盛土からの土器出土状況は、時期により遺物の廃棄および土の積み上げの中心地点の変動があり、また、各型式の土器が混在することや上述した大洞B2式土器破片の接合状況からは、その形成過程は遺物の二次的な移動を含む、かなり複雑なものであったことを示唆する。ただし、現時点では周辺に大規模な土取りを行った痕跡を認めることはできず、また、盛土形成過程における削平や掘削の痕跡は明確にできなかった。今回、未調査であった調査区北側の工事用道路下地点周辺から土が供給された可能性、あるいは他地点の遺物包含層掘削土が搬入廃棄された可能性も想定すべきかもしれない。

〈土器使用痕跡〉掲載土器個々の記述は土器・土製品一覧（第12～42表）にまとめる。土器全体の特徴を検討する準備はないため、ここでは土器の使用痕跡のうちの煮沸痕についてのみ略述する。

今回は土器の煮沸痕跡は土器内面もしくは外面に付着する炭化物によって認定し、土器外面に被熱痕が存在するのみの例は煮沸痕跡を残す例からは省いた(註４)。掲載した縄文晩期土器のうち、深鉢形土器では155点中81点（52％）に煮沸痕跡を残す。鉢形土器では286点中155点（54％）に同じく煮沸痕跡を認めることができる。対象とした土器には部分的な破片資料も含むことから、炭化物付着例の占める割合はより大きいものと想定できる。一方、台が付かない鉢形土器のうち、体部にも施文する例（第68図１・４など）や体部が無文で全面ミガキ調整を施す例（同10～15など）には一般に煮沸痕を認めることができない。また、浅鉢形土器、壺形土器、注口土器にも煮沸痕跡を残す例はほとんどない。ただし、大形の壺形土器には煮沸痕跡を残す例が僅かにある（第114図10、第117図３など）。

今回、定量的な検討はできなかったものの、鉢形土器では大洞BC式～大洞C1式期にかけては容量１リットル以下の小形の台付鉢形土器が目立つ。これらの土器の多くには内外面に多量の炭化物が付着し、明瞭な煮沸痕跡を残している。その容量と出土量とから、当該期には小形の台付鉢形土器が個人用の煮沸容器として定着していたものと想定できる。また、これらの台付鉢形土器はほとんどがいわゆる精製土器であることから、日常での煮沸容器としてではなく、主として祝宴のような儀礼的行為の場で参加者銘々の煮沸容器として使用されたとする想定もあり得よう。

〈土器胎土分析〉盛土および盛土削平土（クロ上層）出土土器30点について株式会社パレオ・ラボに土器胎土分析を委託し、その分析結果報告は第５章第１節に掲載した。以下では、これらの土器胎土分析結果と試料の製作上の特徴との関係について触れておく。

30点の分析試料は大洞B2式から大洞C2式までの縄文時代晩期前半に属し、いずれも口縁部に文様を施した鉢形もしくは浅鉢形土器破片である（第218・219図、図版74－２・75）。これらの土器は、文様が一定の太さの沈線等により原則として規則的に描かれているもの（正整）と施文の沈線等の太さが一定せず、文様の規則性に乱れがあるもの（不整）とに２分する。前者はいわゆる精製土器に相当し、器面のミガキ調整が顕著な例が多数を占める。これに対し、後者ではナデ調整のみでミガキ調整は施さない(註５)。前者の正整例は試料番号１・２・４・５・７～11・13・14・17・20～22・24・25・28・30、後者の不整例は試料番号３・６・12・15・16・18・19・23・26・27・29である。

分析結果報告では試料に含まれる微化石をもとに材料粘土を４群に、試料の砂粒組成を９群にそれ

ぞれ分類している。さらに砂粒組成と微化石の特徴とを組み合わせて、３大群10小群からなる土器胎土の総合分類を提示している。この総合分類では胎土中の大型砂粒から推定した起源岩の組成をもとに３群に大別している。しかしながら、起源岩の推定には不確定要素があり、また、その組成は必ずしも明瞭には分類し難いようである。上記の正整例・不整例と総合分類とには明瞭な相関関係は認め難く、現時点では土器胎土の総合分類に土器製作面からの明解な解釈を与えることは困難である。

ただし、今回の分析では、いくつか注目すべき点がある。ひとつは胎土中に含まれる微化石類の特徴から、７試料の素材粘土が海水成粘土、４試料の素材粘土が海水種珪藻化石等を含む淡水成粘土と判断でき、これらの粘土は向様田Ｄ遺跡近隣では分布しないことが指摘されている点である。当該試料は周辺地域外から搬入された(もしくは搬入された粘土を材料とした)こととなる。これらには先の正整例と不整例の両者を含んでおり、周辺地域出土例と斉一性の強い前者を搬入品、周辺地域に類例が乏しい後者を在地製作品とは単純に捉えられないことを示している。

また、火山ガラスを多量に含む試料(総合分類Ⅲ群)が存在することも注目すべきである。いずれも正整例で、灰黄褐色から褐色の色調を呈する。このような火山ガラスを多量に含む精製土器が縄文時代晩期に存在することは西田泰民が山内村虫内Ⅰ遺跡出土縄文晩期土器類の胎土分析などにおいて既に指摘している。西田は、虫内Ⅰ遺跡では精製の皿形および浅鉢形土器などに顕著であるほか、土偶にも該当例があることを認めている。さらに、まとまった火山灰層が虫内Ⅰ遺跡近辺に分布しないことから、これらは搬入品もしくは搬入原材料による製作品と想定している(註６)。今回の胎土分析では、火山ガラスの供給源が特定されていないこともあって断定はできないが、当該試料が虫内Ⅰ遺跡と同様に搬入品もしくは搬入原材料による製作品であった可能性も想定すべきであろう。

今回の胎土分析の結果、30試料中少なくとも11点は搬入品もしくは搬入原材料による製作品であったと推定でき、さらにこのほかにも同様例が存在することも予想できよう。今回は口縁部に文様を施文した鉢形および浅鉢形土器に限定した分析であることに留意する必要があるものの、これらのことから、SM60盛土出土土器中には周辺地域外からの搬入品が一定量含まれる可能性が高いものと想定すべきであろう。

〈石器・石製品〉石器・石製品については、掲載資料個々の記述は石器・石製品一覧(第43～49表)にまとめる。以下では石器の組成と一部の資料の石材構成について触れるにとどめる。

主要石器･石製品組成は以下の通りである(第11表)。ただし､石鏃と石槍との区分やこれらの破損品･未成品としたものなどと二次加工ある剥片との区分等、器種認定には問題が少なくない。また、一覧では凹石類は敲打痕が残るもののほか、磨痕が残るものも一括している。このほか、頁岩を主体とする剥片約19,700点が出土している。このうちNO・NP38区周辺のクロ３層では、同一母岩から剥離された可能性がある頁岩製剥片が概算で約230点、約2.8kgがまとまって出土している。また、赤色顔料原料となる赤色礫(赤玉)が全体で約19.4kg出土している(図版108－1)。

石器組成では、定型的な剥片石器である石鏃・石錐・石匙が多出すること、スクレイパーはこれらの剥片石器群に比べると多くはないこと、石篦は極めて僅かで、打製石斧は出土していないこと、大形の礫石器である石皿・台石が少ないことなどが特徴的である(註７)。なお、既述のように第189図１の石皿は３点の破片が接合したものである(第19図)。破片の内の１点はSK25土坑直近から出土しており、SK25土坑造営時の儀礼的行為に関わって分割して廃棄された可能性もあり得よう。また、二次加工

ある剥片は具体的な性格が判然としないものが多いが、中には石鏃未成品、石槍未成品などと想定できる例(第165・166図など)がある。また、荒い二次加工によって縁辺が鋸歯状を呈する特徴的な一群もある(第171・172図１など)。鋸歯縁石器とすることも可能であろうが、当該資料には肉眼観察では縁辺に使用痕を認めることはできない。

第11表　石器・石製品組成　　※(　)内の数字は掲載点数

石鏃	346(161)	異形石器	18(18)
石槍	8(5)	石核	69(20)
石錐	181(64)	凹石類	120(43)
石匙	232(65)	敲石	2(0)
石篦	5(4)	石皿	5(3)
スクレイパー	197(28)	台石	3(3)
楔形石器	61(7)	磨製石斧	25(23)
二次加工ある剥片	1097(76)	礫器	7(6)
石剣類	32(30)	小玉	4(4)
岩版	19(17)	有孔石製品	17(17)
円盤状石製品	24(19)	その他石製品	4(2)

次に一部の資料について石材構成の特徴について略述する。磨製石斧には珪質頁岩や輝石安山岩など在地産石材を素材とすると推定できる例がある一方で、非在地性石材と推定できる曹長岩製例などがある。磨製石斧には未成品を認めることはできないが、少なくとも後者については完成品が周辺地域外から搬入された可能性があろう。また、石製品のうち、搬入品と判断できるひすい製品は小玉と有孔石製品の各１点のみ(第203図１・５)である。石剣類では、その石材構成は菫青石ホルンフェルス15点、ホルンフェルス３点、黒色千枚岩３点、緑色千枚岩２点、砂質千枚岩２点、珪質千枚岩２点、細粒砂質千枚岩１点、細粒砂岩１点、凝灰岩１点、デイサイト１点、流紋岩１点となり、過半を菫青石フォルンフェルスもしくはフォルンフェルスが占める。石剣類のうち、細粒砂質千枚岩製の第193図１と菫青石ホルンフェルス製の同２は破損していたが、接合の結果、いずれもほぼ完形となった。一方、第197図２・３のような菫青石フォルンフェルス製石剣類の小破片を再加工したと推定できる例もあるものの、石剣類の未成品、あるいはホルンフェルス等の素材となる原石は出土していない。現状からは、石剣類は完成品もしくはその破損品として搬入された可能性が強いと想定できる。ただし、円盤状石製品にはホルンフェルス角礫を素材とすると推定できる例が２点存在する(第200図４・６)。これらは石剣類の破片を再加工したものではなく、板状の角礫を素材としている。他の円盤状石製品はいずれも輝石安山岩など在地産と推定できる石材を素材とすることから、ホルンフェルスも遺跡東北東約10㎞の小繋森周辺に分布する先第三系古期堆積岩類(註８)層から直接採取した可能性があろう。これらのことから石剣類の一部は遺跡周辺で製作された可能性も想定できよう。

〈**小結**〉上述したような盛土土層の層相、礫群および遺構の確認状況、さらには遺物の出土状況等を勘案すると、最終的な盛土の形成に至るまでには数段階の変遷を想定することができる。当該地点周辺

では大洞B2式期から遺物の集中的な廃棄行為が開始されたものと推定できる。破片土器出土量からは、NQ38区周辺が当該期の遺物廃棄の中心地点となろう。SK25土坑掘り込み面がⅡb層上面であることから、盛土形成は大洞BC式期(註9)以降であり、また、盛土出土土器は大洞C1式土器が主体をなすことからは、大洞C1式期が盛土形成の盛行時期であったと推定できる。盛土形成直前の地表面であるⅡb層上面には、このSK25土坑のほか、若干の土坑・柱穴等、SN24焼土遺構などが分布し、本格的な盛土形成前には土坑墓の造営やこれと関わる儀礼が執行されたことも想定できよう。さらに、Ⅱb層上面から盛土下位にかけては円礫群が分布し、盛土形成の初期段階には、搬入円礫によって儀礼的施設が構築されたこと、もしくは円礫搬入を伴う儀礼が行われたことが推測できる。これに対し、盛土中位から上位にかけては、土坑墓や焼土遺構、あるいは礫群などの儀礼的施設の痕跡は認めることはできない。おそらく大洞C1式期においては、遺物廃棄と土の積み上げが集中的に行われたと想定できる。

このように、SM60盛土形成においては、遺物廃棄とともに土坑墓の造営や儀礼的施設などが構築された大洞B2式期から大洞BC式期にかけての段階と遺物廃棄と土の積み上げが集中的に行われた大洞C1式期の段階とに大きくは二分することができる。ともに遺物廃棄は継続的に行われているものの、両段階では盛土形成地点の性格が変容していると推測できる。土器器種組成では、大洞C1式期になると注口土器が激減するのに対し、浅鉢形土器が多量に出土するようになる。一方、詳細な組成は不明ではあるが、破片土器においては小形の台付鉢形土器が大洞B2式期から大洞C1式期までを通じて主体をなす可能性がある。現状では土器器種組成からは、遺物廃棄行為の性格が変容しているかは判断し難い(註10)。

今回の調査では、盛土形成土の主要な供給地点は明確に特定できなかった。北側の上位段丘面上に立地する向様田Ｅ遺跡南西部には大量の土を供給した可能性ある遺構あるいは土取り痕跡等は確認できない。また、遺跡西隣のより高位の段丘面は地山面まで削平されており、遺跡は未確認である(註11)。今回未調査であった北側の工事用道路部分が供給地点であった可能性も現時点では否定できず、当該地点の調査結果をもとに改めて検討する必要がある。

ST70捨て場(第22・23図)

OF～OH32区周辺に位置する。当該地点周辺は旧河道起源の低地部にあたり、水田造成土(基本層序Ⅰb層)下にはグライ化したシルト(基本層序Ⅲ層)が分布している。このⅢ層上位から多量の縄文晩期土器破片が出土した。Ⅲ層は淘汰良好で均質なグライ化したシルト層で、土層断面では、土器破片が出土する上位部分とそれ以下とで明瞭な層相変化を認めることはできない。また、土器破片出土地点周辺では掘り込み等の遺構は確認できなかった。これらのことから、当該地点を捨て場と判断した。

土器破片は全体で東西約10m、南北約４ｍの範囲に広がる。土器破片出土層位はⅢ層上面から深さ10㎝前後までである。当時の沼沢地上面に散布した土器破片の一部が下方に沈み込んだ分布状況である可能性があろう。また、土器破片の分布はOF32区を中心とした外径3.6m前後の環状に分布する地点とOG32区からOH32区にかけての径3.7mの範囲に点在する地点とに分けることもできる。しかし、両地点の出土土器には型式や器種組成の顕著な相違は認め難いことから、ここでは、両地点をまとめて１か所の捨て場として報告する。

出土土器破片は大半が縄文時代晩期の粗製深鉢形土器破片である。また、石器類等の土器破片以外の遺物は出土していない。出土土器の総重量は約171.4kgで、このうち、深鉢形土器と判断したもの

は約170kｇである。土器破片は遺存状態が極めて不良で、全体の器形が明らかになるまで復元できた例は僅少である。ほぼ器形が復元できた深鉢形土器は４点にとどまる(第205図１、第206図４・５、第207図１)。当該復元例では接合した土器破片の分布はいずれも小範囲にまとまることから、土器は完形もしくは大形の破片の状態で廃棄された後、ほぼその位置で壊れて細片となった可能性があろう。上述した土器破片沈み込みの可能性も勘案すると、これらは、土器廃棄後の人の踏み込みに起因するとの想定もあり得よう。

また、器形復元した４点の深鉢形土器は口縁部径20～30㎝前後、底部径７～９㎝前後、器高31～37㎝前後である。これら４個体の土器は全体の４割から最大で９割程度遺存しているにとどまるため信頼性は低いものの、遺存率から推定した４点の平均重量は約2.8kgとなる。この推定平均重量で上述した深鉢形土器破片重量を除すると、深鉢形土器の推定個体数はおよそ61個体となる。一方、深鉢形土器底部破片と認定したものは137点である。この数値は、原則として個体識別は行わず、破片数をそのまま計数したものである。ここでは、問題は残るものの、前者の数値を最小個体数に、後者の数値を最大個体数にそれぞれ近似的にとらえおくこととする。

出土した深鉢形土器は、口縁部に横位沈線等の文様を加える例(第206図１～３、第208図１)が僅かに存在するものの、ほとんどが縄文を回転施文するのみである。縄文はRL原体がほとんどで、条が縦走する例が目立つ。0段多条原体と推定できる例も多い。また、土器焼成後に底部を穿孔したと判断できる底部破片が４点ある(第209図11～14)。このほかに鉢形土器６個体前後(第210図１～12)、浅鉢形土器２個体前後(同13～18)、壺形土器３個体前後(同19～21)の破片が僅かに出土している。

ST70捨て場は、出土土器から大洞C2式期に形成されたものと判断できる。出土土器の過半、推定個体数比ではおよそ85～93％、重量比では約99％を深鉢形土器が占め、その器種組成に著しい偏りがあることが大きな特徴である。精製の鉢形土器や浅鉢形土器などはほとんど伴わず、明瞭な儀礼的行為の痕跡を指摘することはできない。一方、本捨て場の東側には砂質土を基質とする微高地が広がるものの、当該期に属すると特定できる遺構・遺物等も確認できない。さらに石器類が伴わないこともあって、本捨て場が居住活動に伴う遺物廃棄地点であったとは想定し難い。また、上述した土器破片の分布・接合状況を人の踏み込みに起因するとする想定からは、沼沢地上面に整地目的で土器を敷いたとの解釈もあり得るかもしれない(註12)。しかしながら、やはり周辺には関連する遺構を認めることができないことから、整地を行う具体的な目的は判然としない。

第３節　その他の出土遺物

今回の出土遺物のほとんどは２か所の遺物集中地点であるSM60盛土およびST70捨て場からのものである。これら遺物集中地点と遺構からの出土例のほかには、まとまった遺物出土地点はない。

縄文時代晩期前半の土器破片は遺構外全体で、154,312.8ｇ、16,360点、このうち、SM60盛土起源の二次堆積層および攪乱層出土例を除くと、64,432.1ｇ、7,140点である。大洞B2式土器破片は同様に261.0ｇ、15点、大洞BC式土器破片は1,326.5ｇ、115点、大洞C1式土器破片は2,700.2ｇ、260点である。大洞C2式土器破片は113.9ｇ、10点がSM60盛土の二次堆積層もしくは攪乱層から出土している。遺構外出土土器も大勢としてSM60盛土の構成比と対応すると言える。このほか、未掲載で

あるが、OK31・OL30区からは大木９式土器破片が出土している。また、土偶破片３点がSM60盛土攪乱層中から出土している(第211図４～６)。

石器・石製品の内訳は以下の通りである。(　)内の数字はSM60盛土の攪乱層もしくは二次堆積層出土点数である。

石鏃72(46)
石錐24(16)
石匙36(25)
石篦１(0)
スクレイパー 37(17)
楔形石器８(６)
二次加工ある剥片172(119)
石核17(６)
凹石類25(７)
磨製石斧５(４)
礫器１(０)
異形石器１(０)
石剣類３(２)
岩版１(０)
小玉２(２)
円盤状石製品３(３)
その他の石製品２(１)

遺構外出土遺物については、一部を図示するにとどめる。

註１　SK25土坑出土の大洞BC式土器は、例えば第28図３の注口土器では口頸部に右傾の羊歯状文、肩部に入組三叉文が巡るなど、全体として金子昭彦や小林圭一による大洞BC式古段階である大洞BC1式に相当する。本土坑の時期も大洞BC式期の古段階まで遡ると想定できる。
金子昭彦　「大洞B2式の磨消縄文について(上)」『紀要』　XI　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1991(平成３)年
金子昭彦　「大洞B2式の磨消縄文について(中)」『紀要』　XII　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1992(平成４)年
金子昭彦　「大洞B2式の磨消縄文について(下)」『紀要』　XIII　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1993(平成５)年
小林圭一　「東北北半における縄文晩期前葉の注口土器」『研究紀要』　創刊号　財団法人　山形県埋蔵文化財センター　2003(平成15)年

註２　秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第270集　1997(平成９)年

註３　NP36区クロ３層出土大洞B2式土器破片(第41図８)も同一個体の可能性が強い。

註４　精製の壺形土器には第111図３例のように器表面が被熱により剥落する例がある。これらは、儀礼的行為において被熱したものと推定する。

註５　ここでの不整例は岩手県久慈市大芦Ⅰ遺跡発掘調査報告書において、縄文時代晩期前葉から中葉段階の異系統土器とされたものと類似する。

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター『大芦Ⅰ遺跡発掘調査報告書　ふるさと農道緊急整備事業大芦地区関連発掘調査』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第306集　1999(平成11)年

註６　西田泰民「第７章　分析結果報告　第６節　虫内Ⅰ遺跡出土縄文土器・土製品の胎土」秋田県教育委員会『虫内Ⅰ遺跡－東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書XXⅢ－』秋田県文化財調査報告書第274集　1998(平成10)年

註７　ほぼ同時期に併存した向様田Ａ遺跡の捨て場出土の石器類の組成では、剥片石器ではスクレイパーが3,074点と卓越する(石核を含む石器全体の約28％)。また、石篦が128点、石皿・台石が合わせて96点出土するほか、石核が1,108点と多出する。スクレイパーや石核については、ここでの認定基準と多少異なる点もあるものの、向様田Ａ遺跡の捨て場石器組成はSM60盛土の石器組成とはその特徴が異なる可能性があろう。

秋田県教育委員会『向様田Ａ遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書XII－　遺物篇』秋田県文化財調査報告書第370集　2004(平成16)年

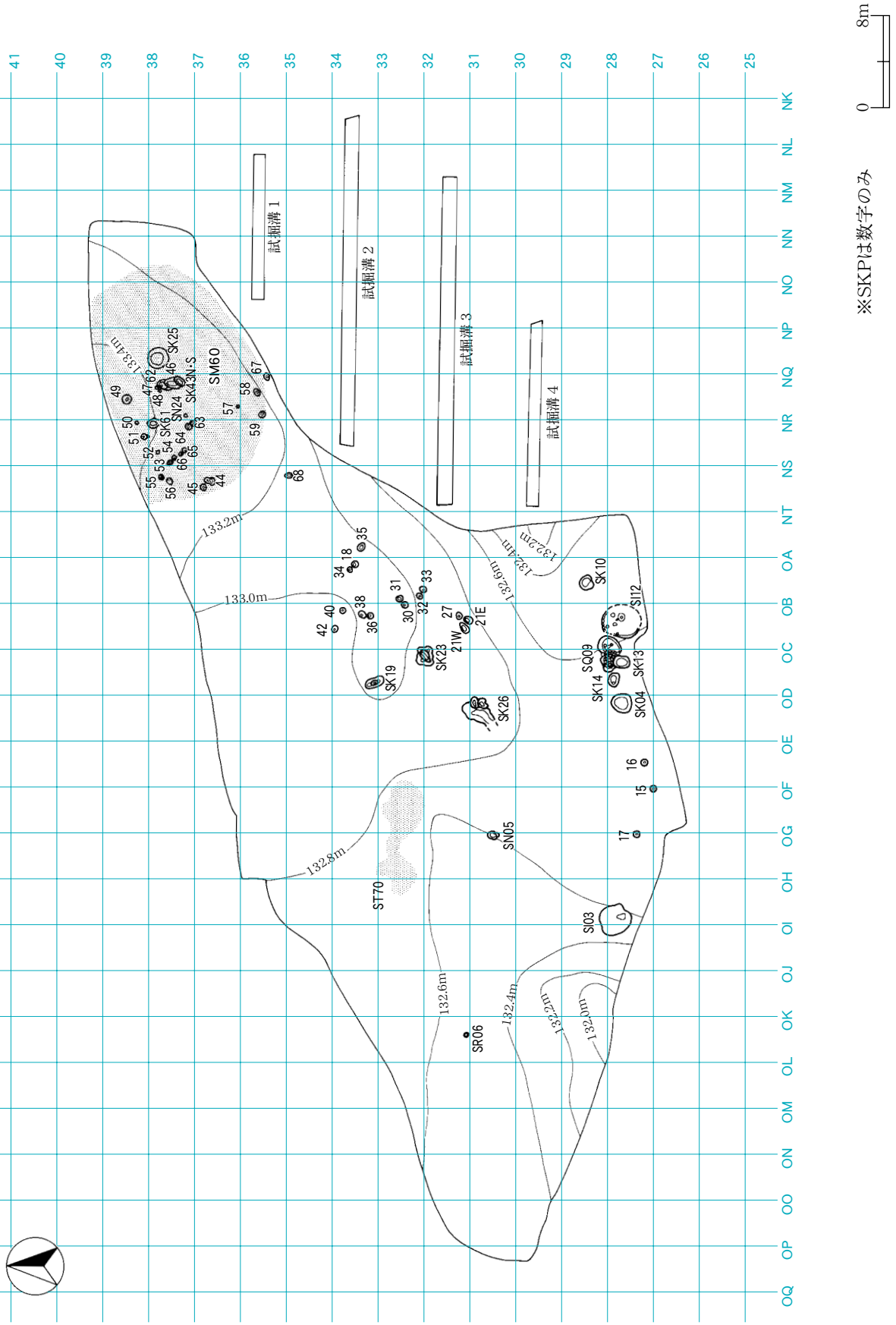
註８　秋田県農政部農村振興課『土地分類基本調査　大葛』1995(平成７)年

註９　註１で触れたように、SK25土坑は金子昭彦らによる大洞BC1式期に属すると判断できることから、盛土形成の上限時期は大洞BC式期のうちの古段階である。現時点においては、大洞BC式の新段階には盛土形成が盛行していた可能性も否定できない。

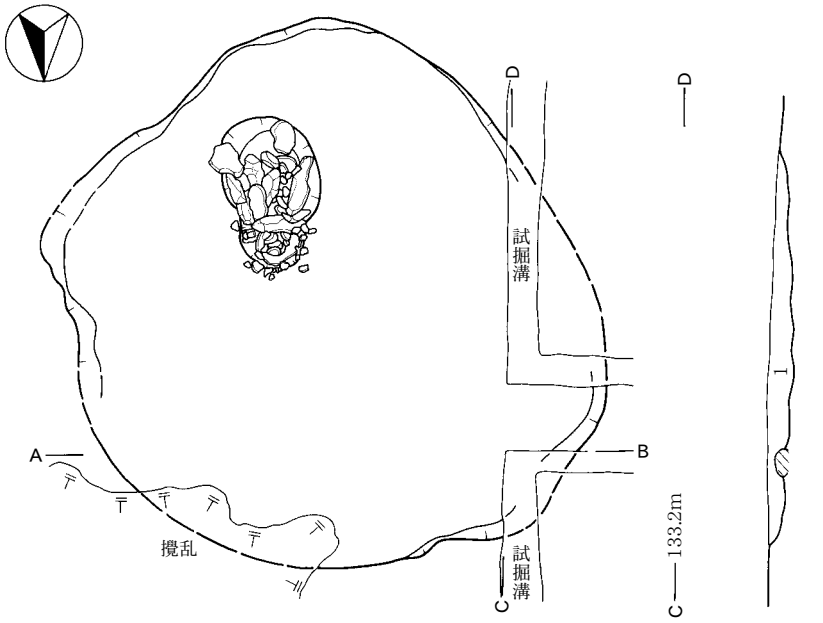
註10　遮光器土偶はいずれも大洞BC式に属する。一方、大洞C1式に属する可能性ある土偶は中実で特異な形態をなす。出土量が少ないため確実ではないが、このような土偶の出土状況は遺物廃棄行為の性格の変容を反映している可能性があるかもしれない。

註11　秋田県教育委員会『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第291集　1999(平成11)年

註12　林謙作氏の教示による。

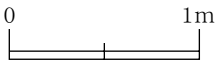


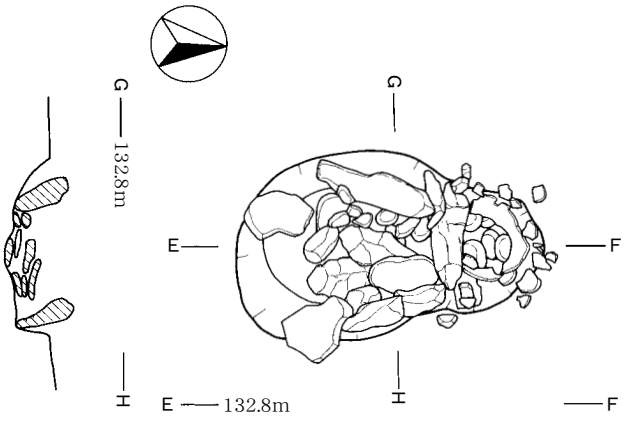
第６図　向様田Ｄ遺跡遺構配置図



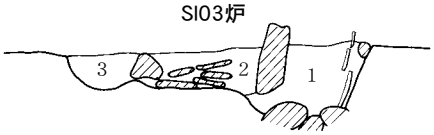
SI03

SI03
1　黒褐色土(10YR2/3)　炭化物多　粘性中　しまり強



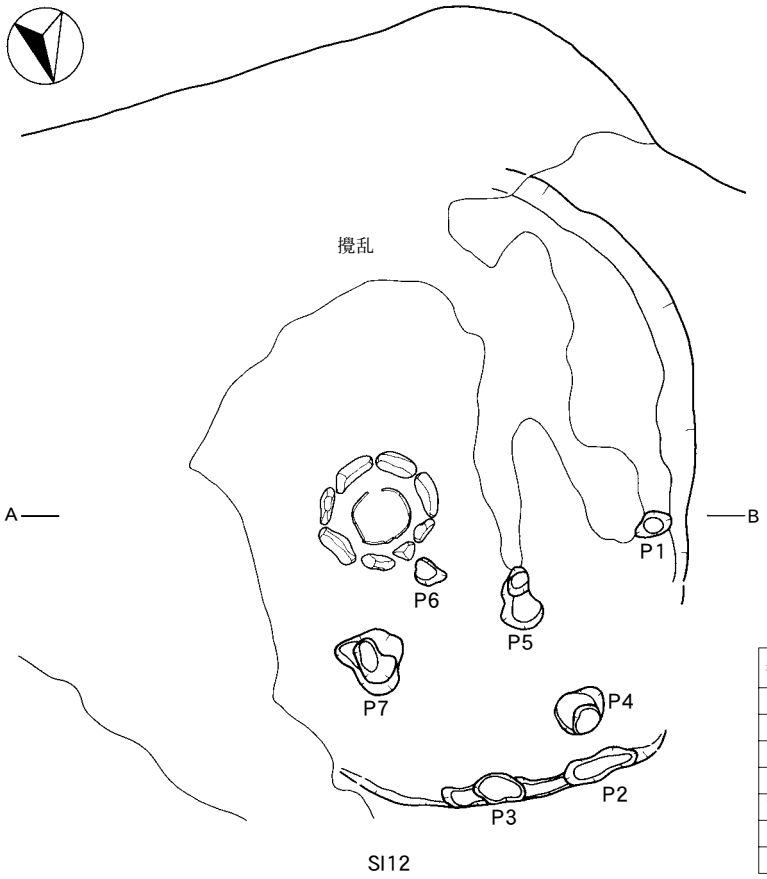


SI03炉



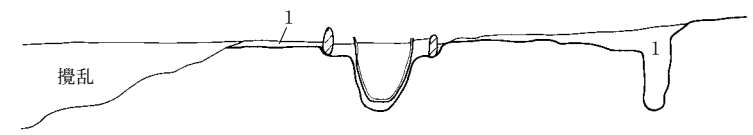
SI03炉
1　黒色土(10YR2/1)　炭化物粒少　粘性弱　しまり弱
2　黒褐色土(10YR3/1)　焼土粒少　粘性弱　しまり中
3　黒褐色砂質土(10YR3/2)　粘性弱　しまり強

第７図　SI03竪穴住居跡

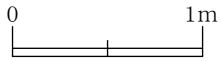


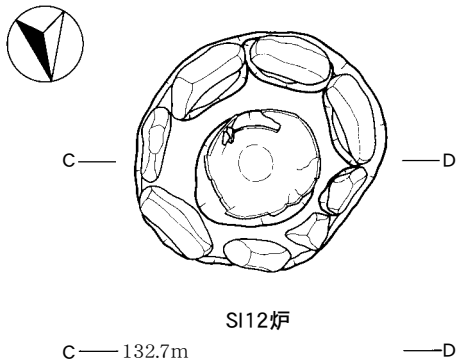
SI12 落ち込み一覧

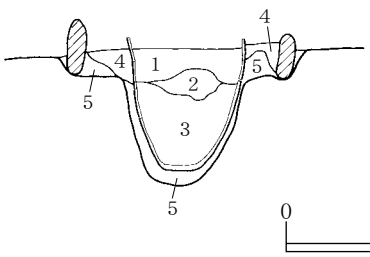
番号	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	底面標高(m)
P1	楕円形	21	12	48	132.00
P2	不整楕円形	40	12	20	132.23
P3	不整楕円形	28	17	24	132.16
P4	不整円形	28	23	44	131.99
P5	不整楕円形	32	24	57	131.85
P6	不整円形	18	15	24	132.17
P7	不整円形	37	34	30	132.05



SI12
1　黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒多
　地山土粒少　粘性弱　しまり中

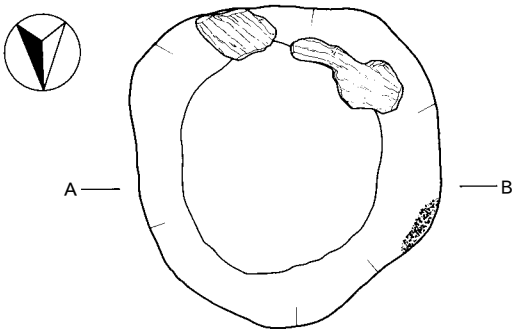




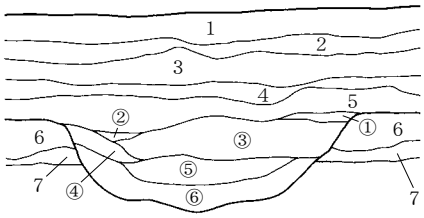


SI12炉
1　黒色土(10YR2/1)　焼土粒少　粘性中　しまり中
2　黒褐色土(10YR3/2)　焼土粒少　炭化物粒少　地山土塊多　粘性中　しまり中
3　黒色土(10YR1.7/1)　焼土粒少　地山土塊少　粘性中　しまり強
4　黒褐色土(10YR2/3)　焼土粒少　炭化物粒少　粘性弱　しまり強
5　褐色土(10YR4/4)　地山土塊多　粘性弱　しまり強

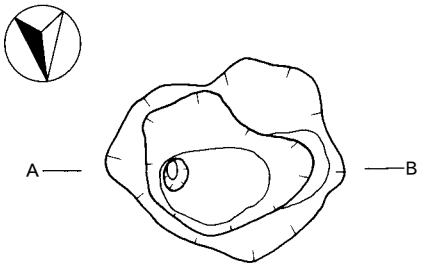
第８図　SI12竪穴住居跡



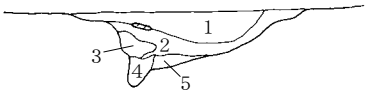
SK04



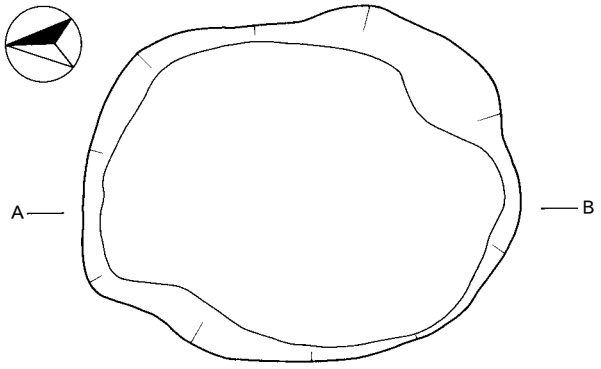
SK04
① 黒褐色土(10YR2/2)　暗褐色砂質土(10YR3/4)少　炭化物粒少　粘性弱　しまり弱
② 黒褐色砂質土(10YR2/2)　粘性弱　しまり弱
③ 黒色土(10YR2/1)　暗褐色土(10YR3/3)少　炭化物粒少　粘性中　しまり弱
④ 黒褐色砂質土(10YR2/2)　粘性弱　しまり弱
⑤ 黒色土(10YR2/1)　暗褐色土(10YR3/3)中　粘性中　しまり弱
⑥ 黒褐色砂質土(10YR3/2)　暗褐色砂質土(10YR3/3)多　炭化物粒少　粘性弱　しまり弱
1 黒褐色土(10YR2/3)　粘性中　しまり弱　表土(Ⅰa層)
2 黒褐色土(10YR3/1)　粘性中　しまり弱　造成土(Ⅰb層)
3 黒色土(7.5YR2/1)　粘性中　しまり中　旧水田耕作土(Ⅰc層)
4 極暗褐色土(7.5YR2/3)　炭化物粒少　粘性中　しまり中
旧水田床土直下土(基本層序Ⅱc層上位)
5 黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒多　粘性弱　しまり強
遺物包含層(基本層序Ⅱc層中位～下位)
6 暗褐色土(10YR3/3)　炭化物粒少　粘性弱　しまり弱
漸移層(基本層序Ⅱc′層)
7 暗褐色土(10YR3/4)　炭化物粒少　粘性弱　しまり弱
基盤層(基本層序Ⅴ層)



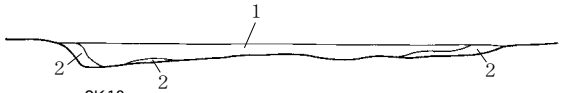
SK10



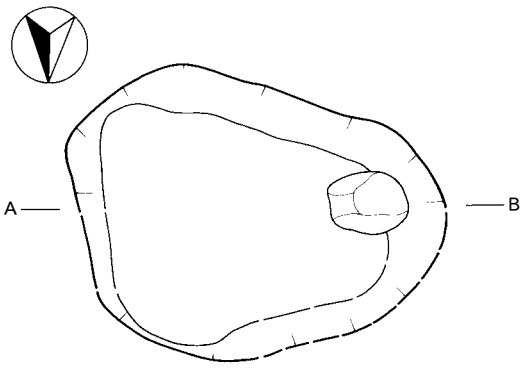
SK10
1 黒褐色土(7.5YR3/1)　炭化物粒少　粘性中　しまり中
2 黒色土(10YR2/1)　炭化物粒中　地山砂少　粘性中　しまり弱
3 黒色土(10YR2/1)　地山砂多　粘性弱　しまり弱
4 黒褐色土(10YR3/1)　粘性弱　しまり弱
5 灰黄褐色砂質土(10YR4/2)　粘性弱　しまり弱



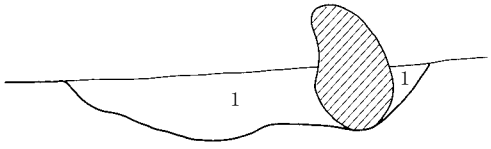
SK13



SK13
1 黒色土(10YR1.7/1)　炭化物粒多　粘性弱　しまり弱
2 黒色土(10YR2/1)　炭化物粒中　粘性中　しまり弱

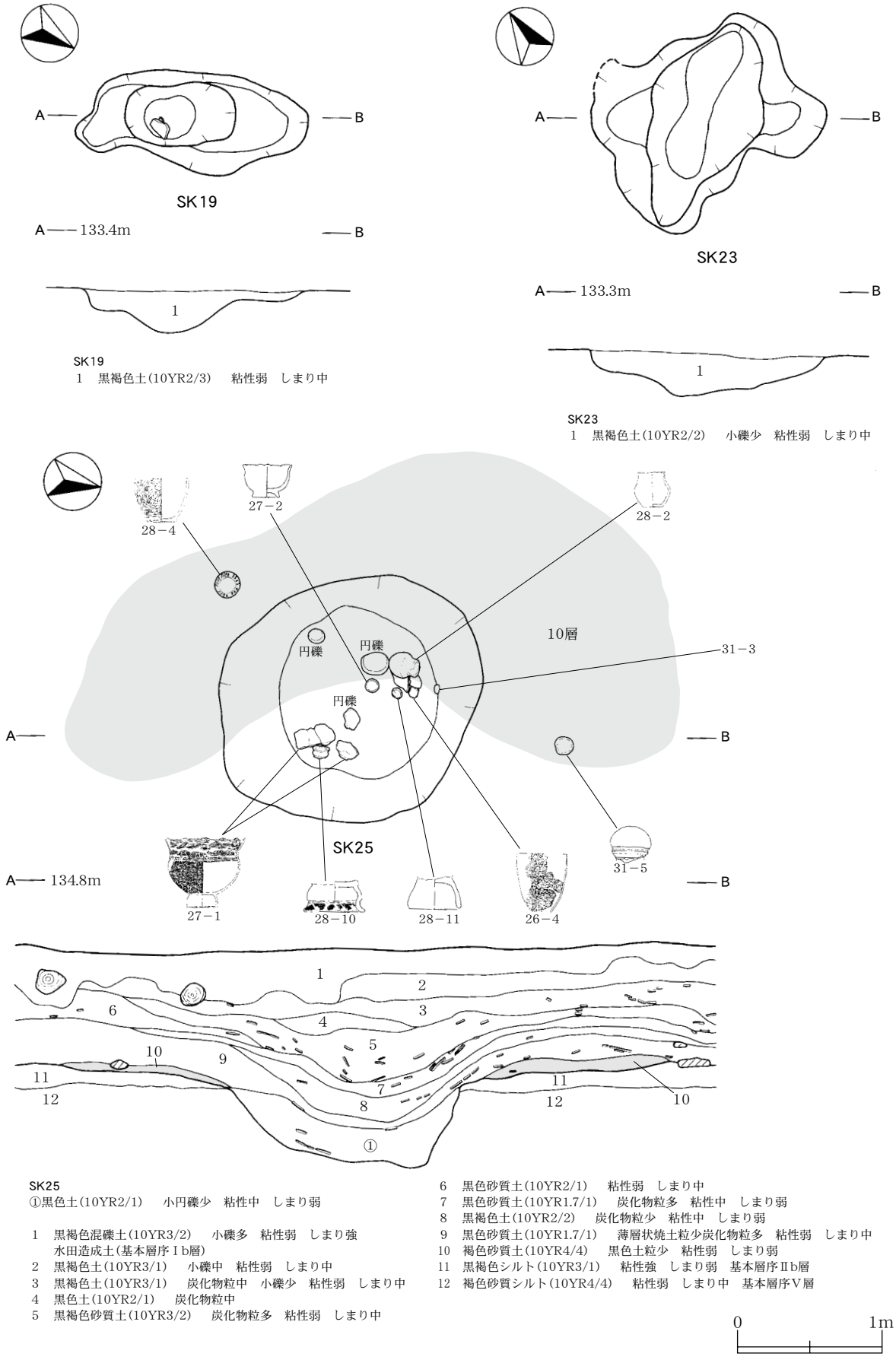


SK14

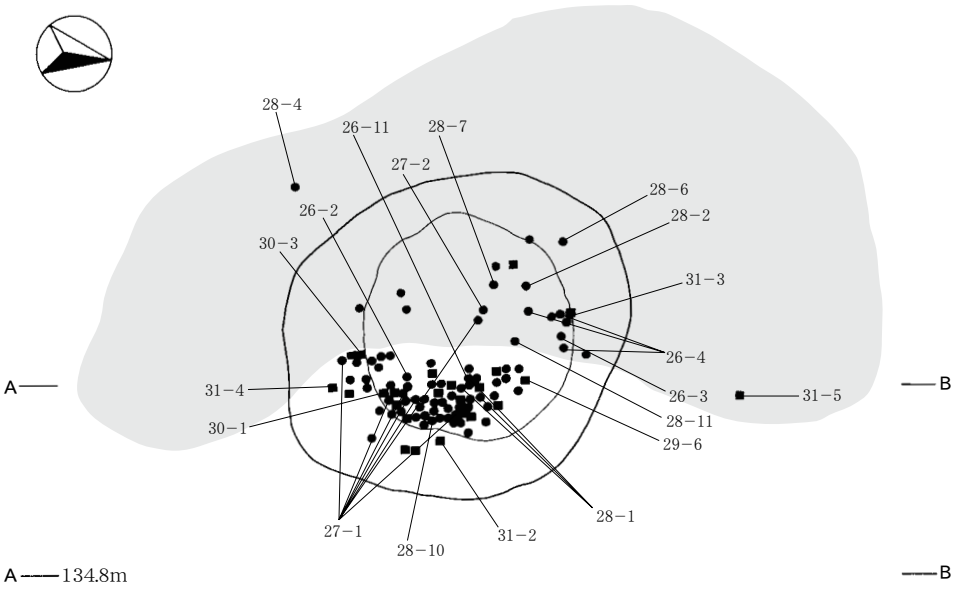


SK14
1 黒褐色土(10YR3/2)　地山土塊多　粘性弱　しまり中

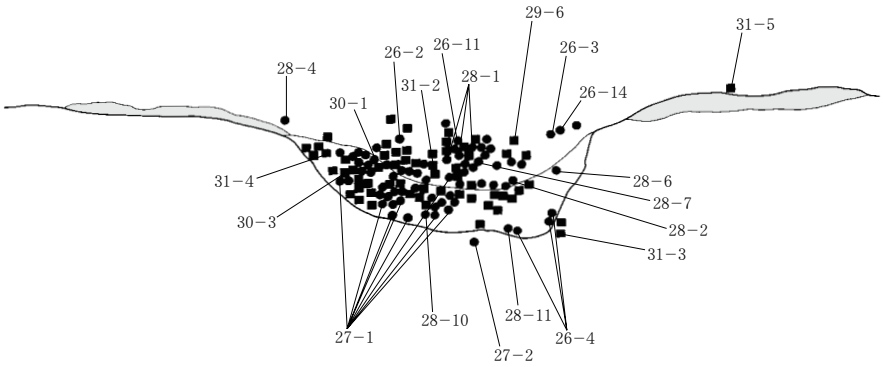
第９図　SK04・10・13・14土坑

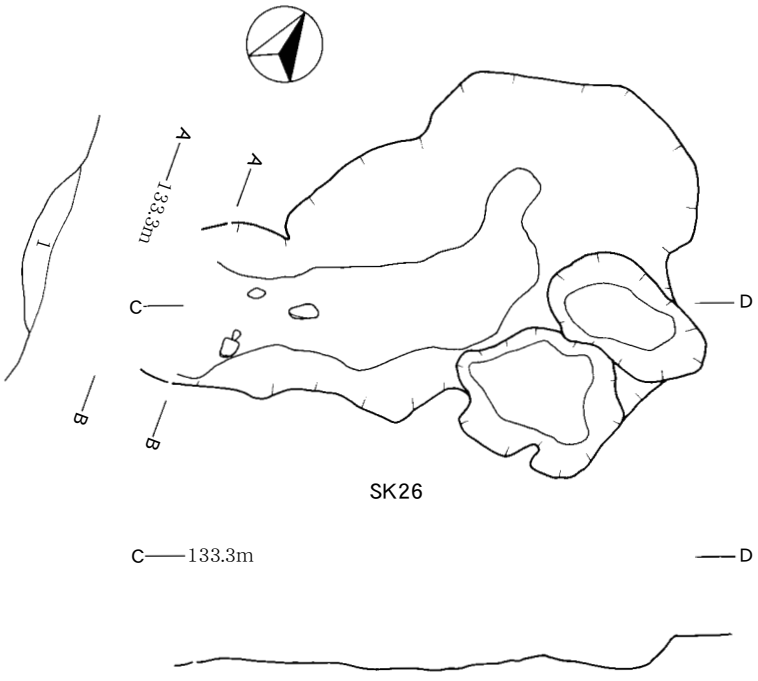


第10図　SK19・23・25土坑



SK25遺物分布





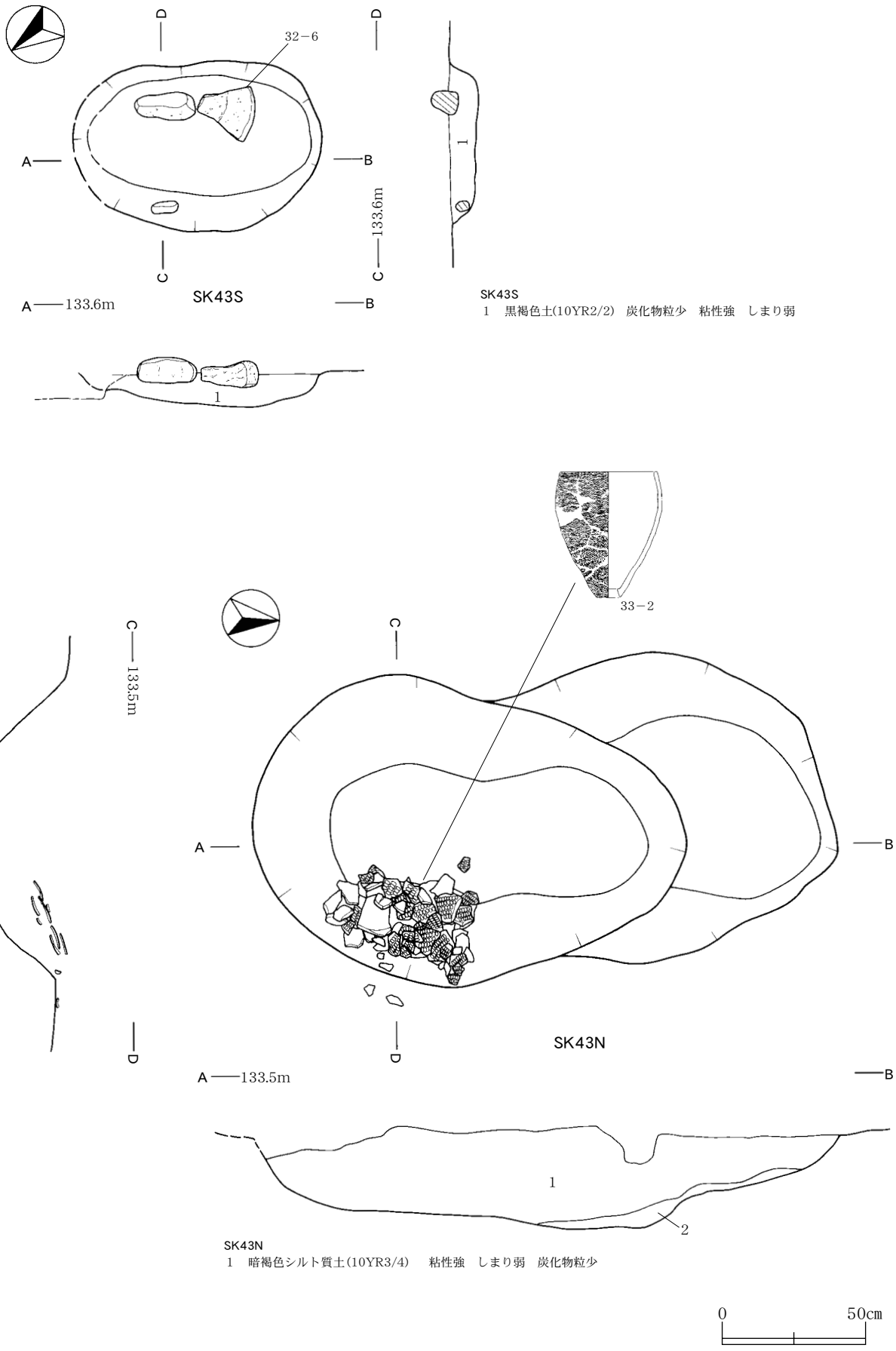
SK26

C——133.3m——D

SK26
1　暗褐色土(10YR3/2)　粘性弱　しまり弱

0　1m

第11図　SK25・26土坑

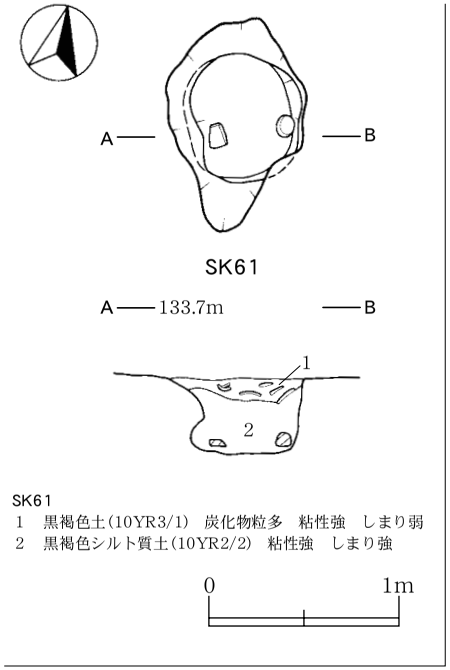


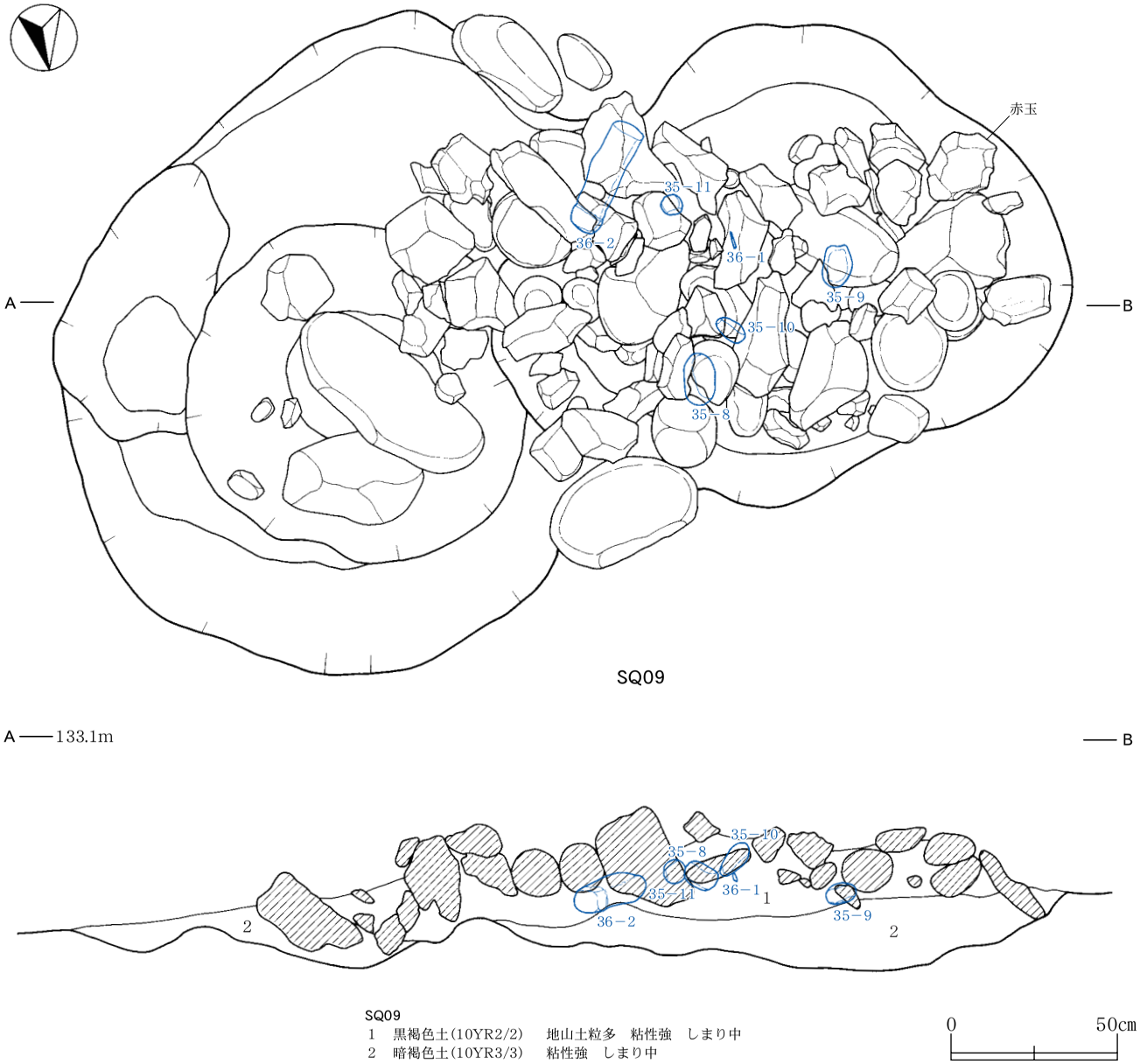
SK43S
1　黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒少　粘性強　しまり弱

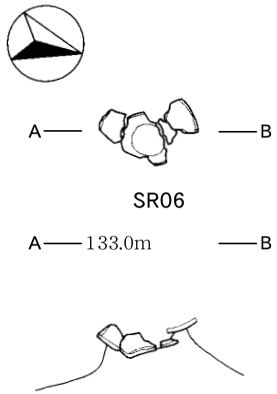
SK43N
1　暗褐色シルト質土(10YR3/4)　粘性強　しまり弱　炭化物粒少

0　50cm

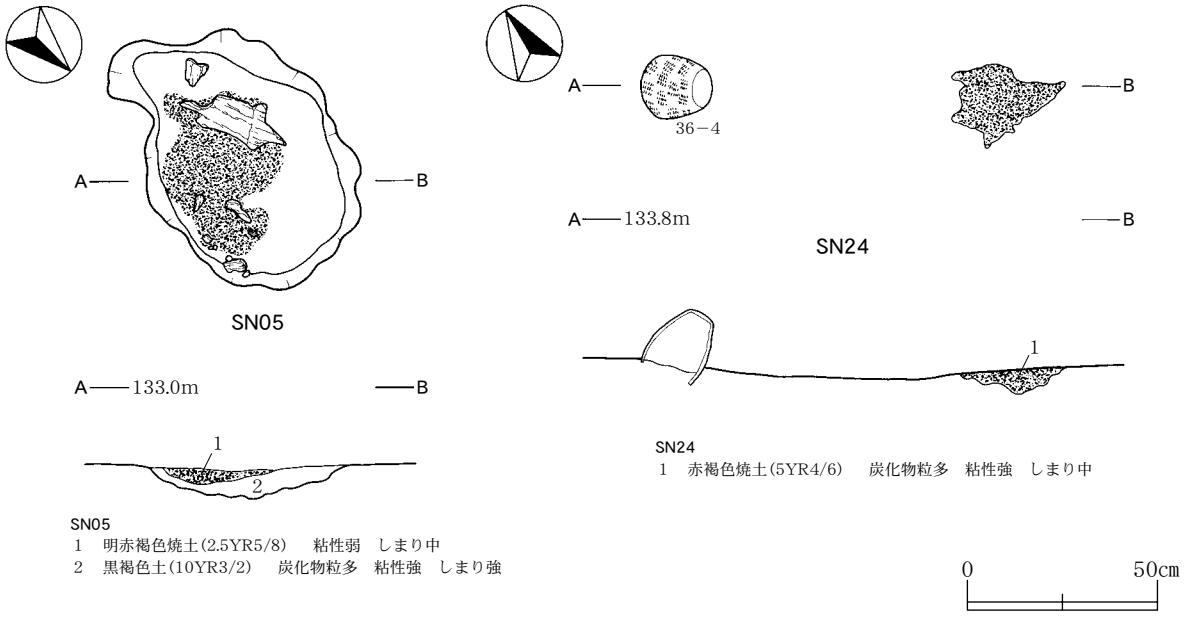
第12図　SK43S・43N土坑

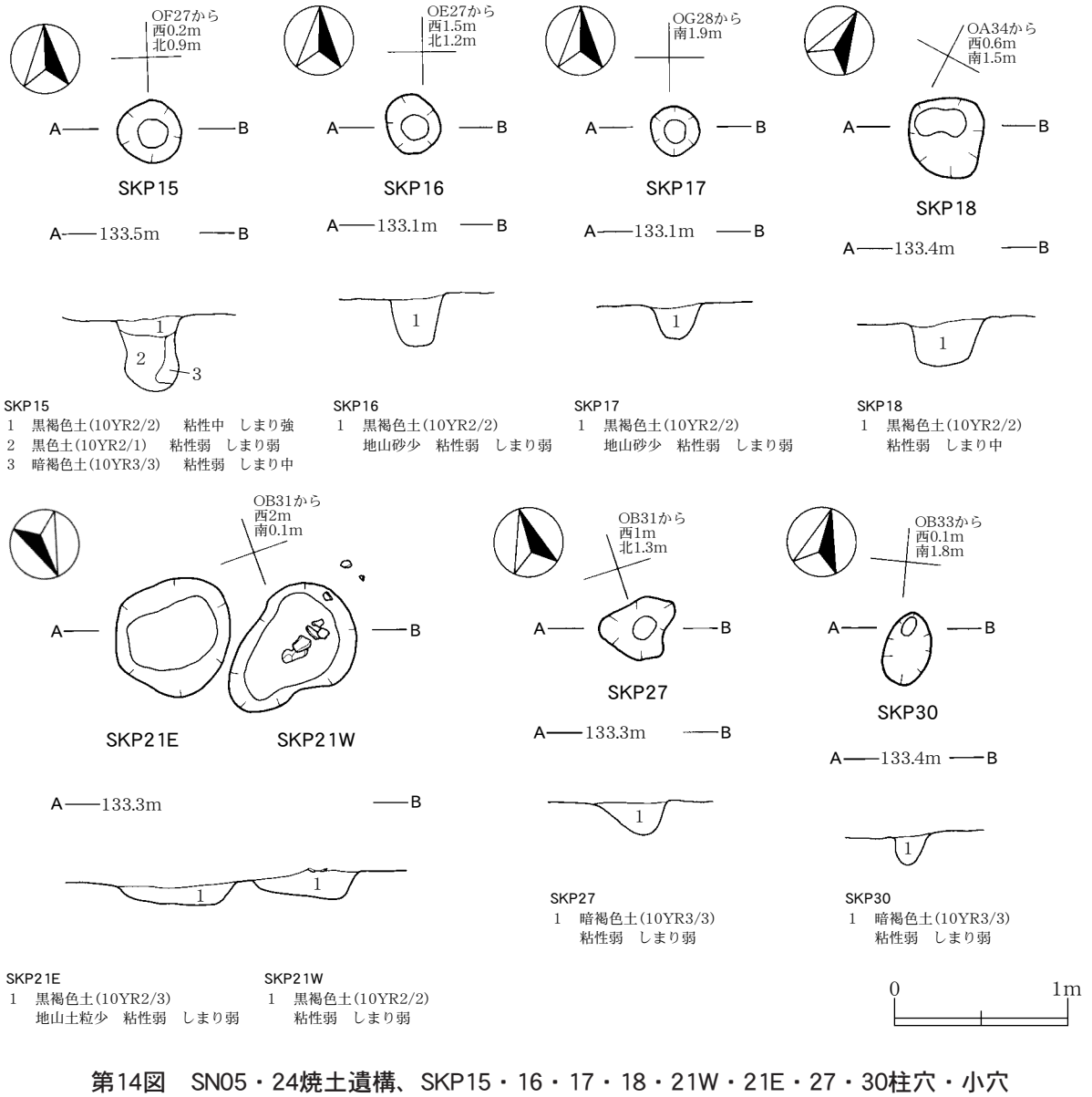




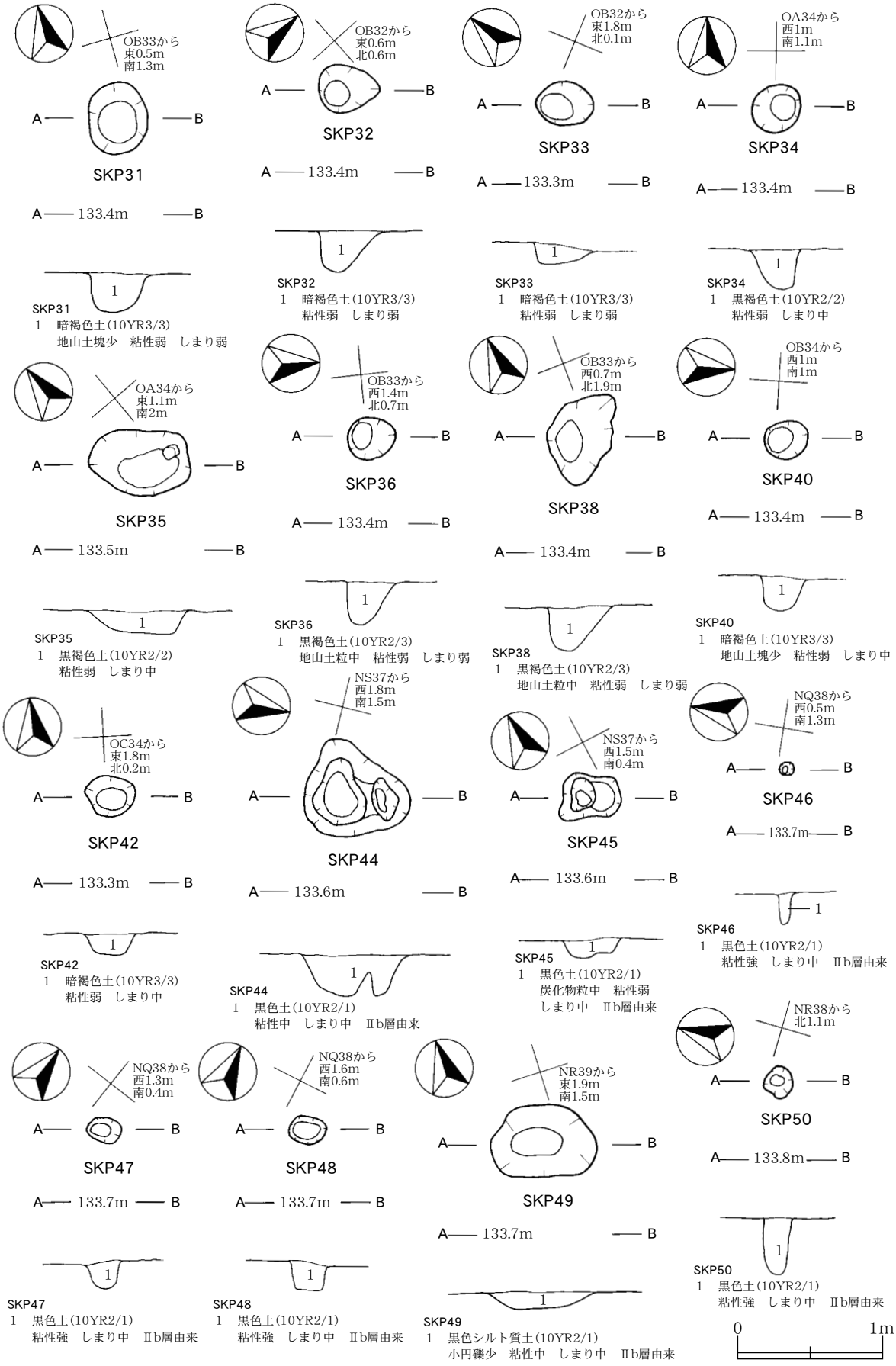


第13図　SK61土坑、SR06土器埋設遺構、SQ09配石遺構

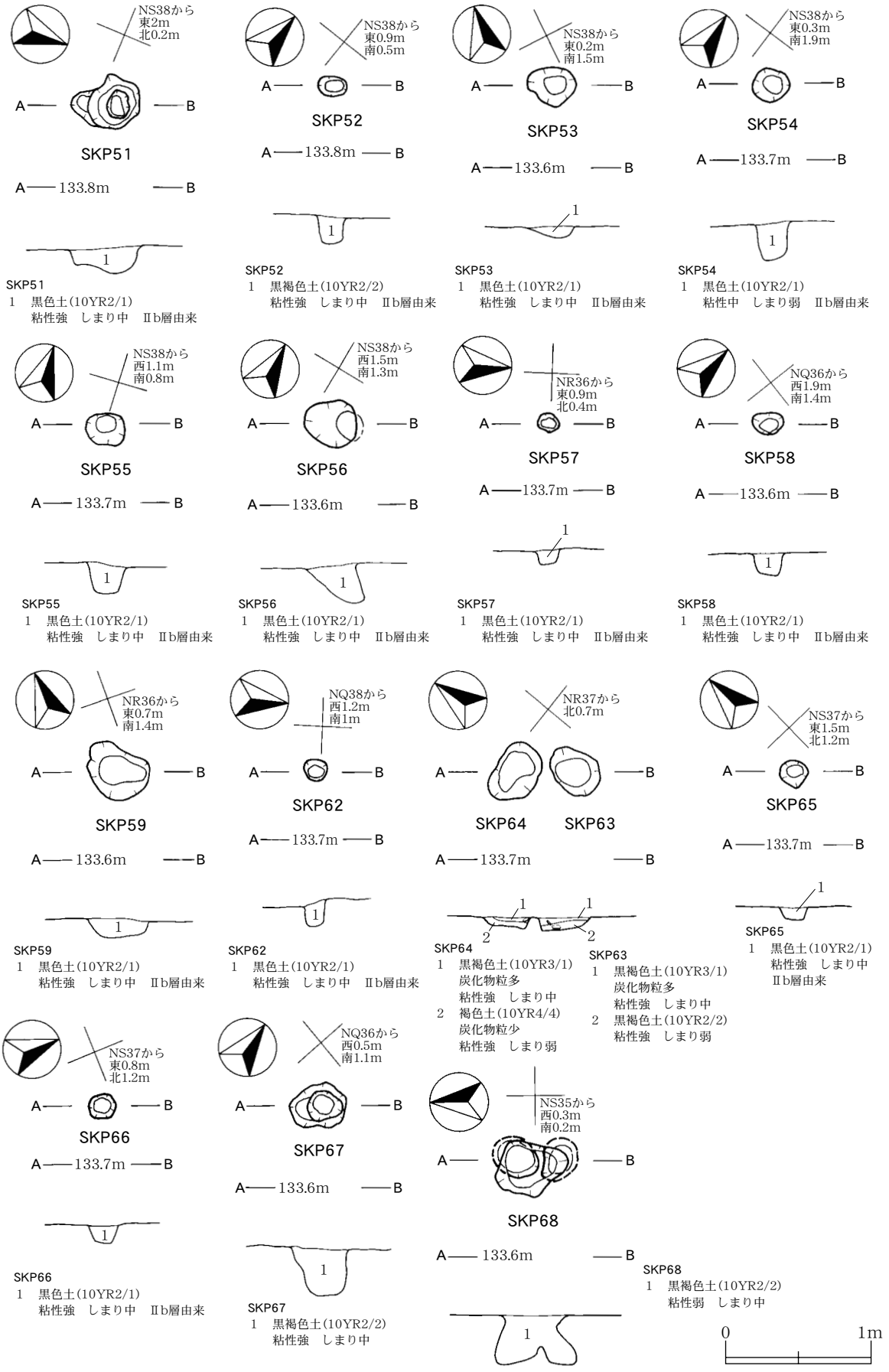




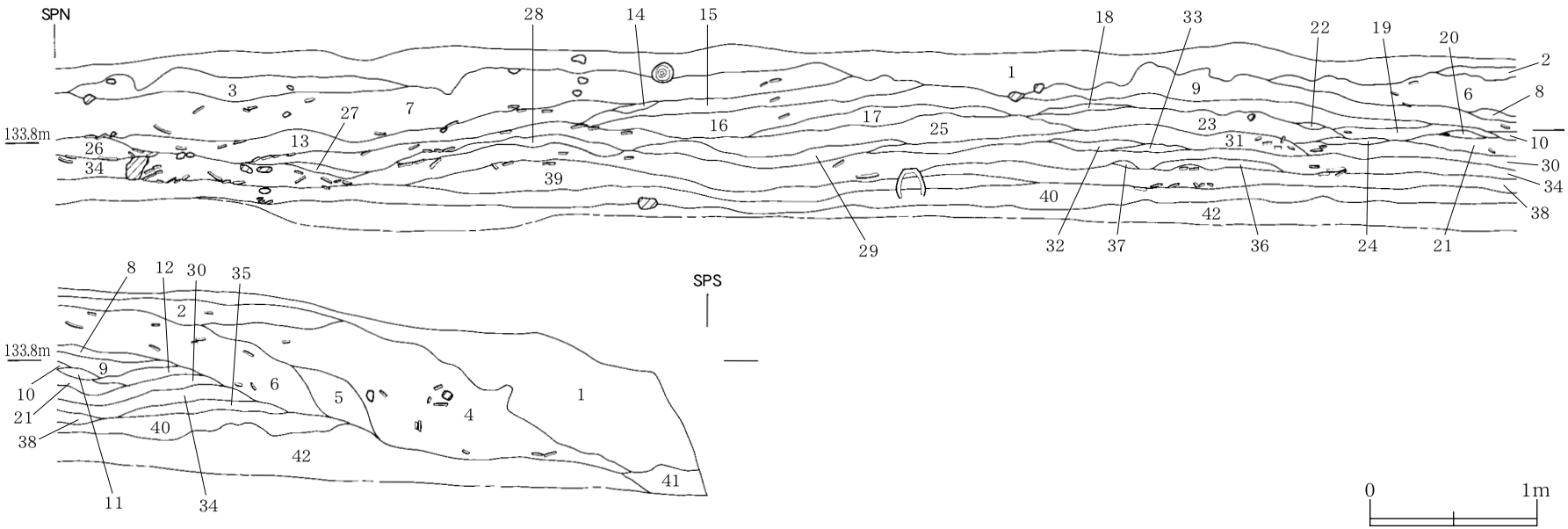
第14図　SN05・24焼土遺構、SKP15・16・17・18・21W・21E・27・30柱穴・小穴



第15図　SKP31・32・33・34・35・36・38・40・42・44・45・46・47・48・49・50柱穴・小穴

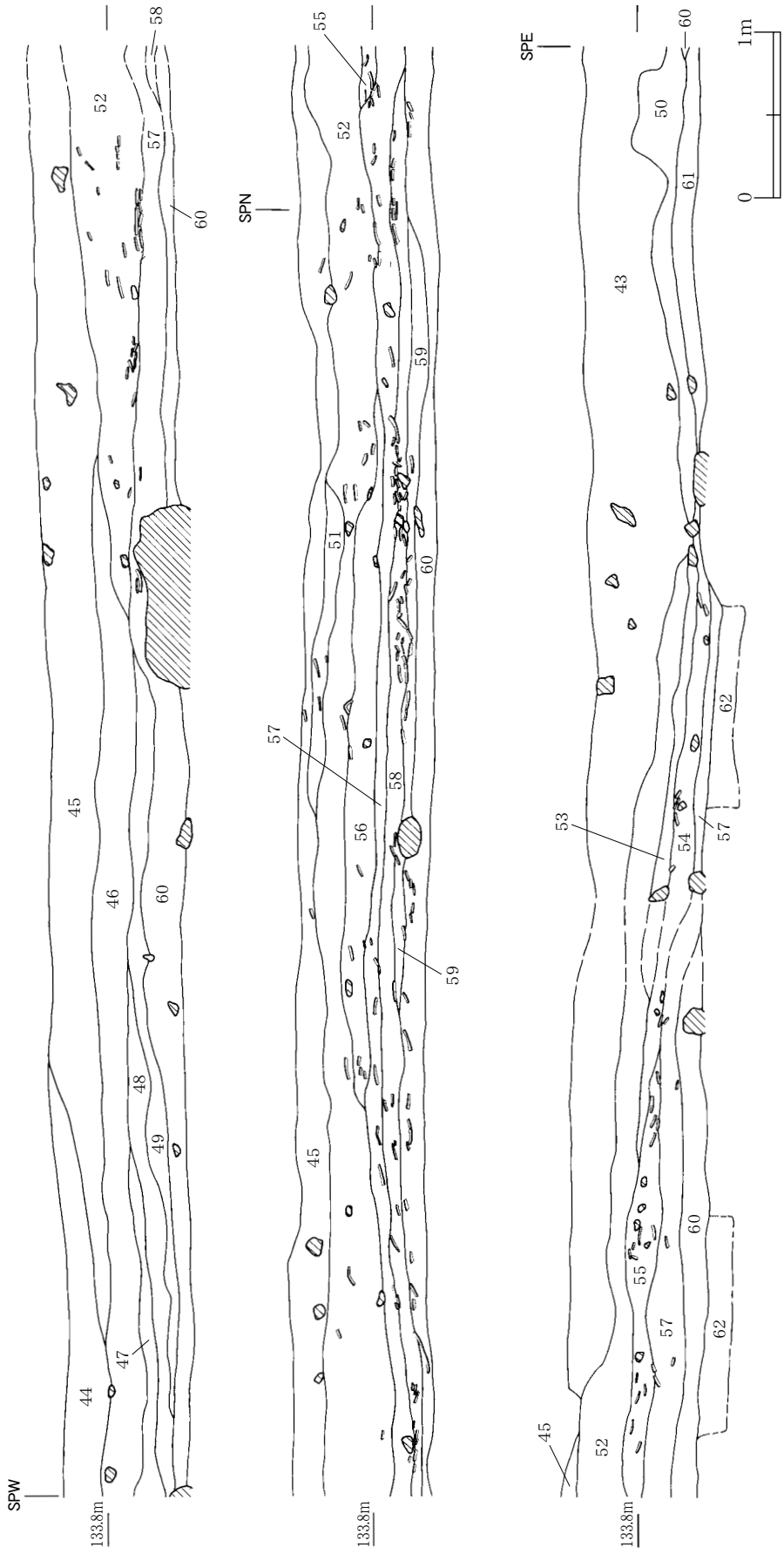


第16図　SKP51・52・53・54・55・56・57・58・59・62・63・64・65・66・67・68柱穴・小穴

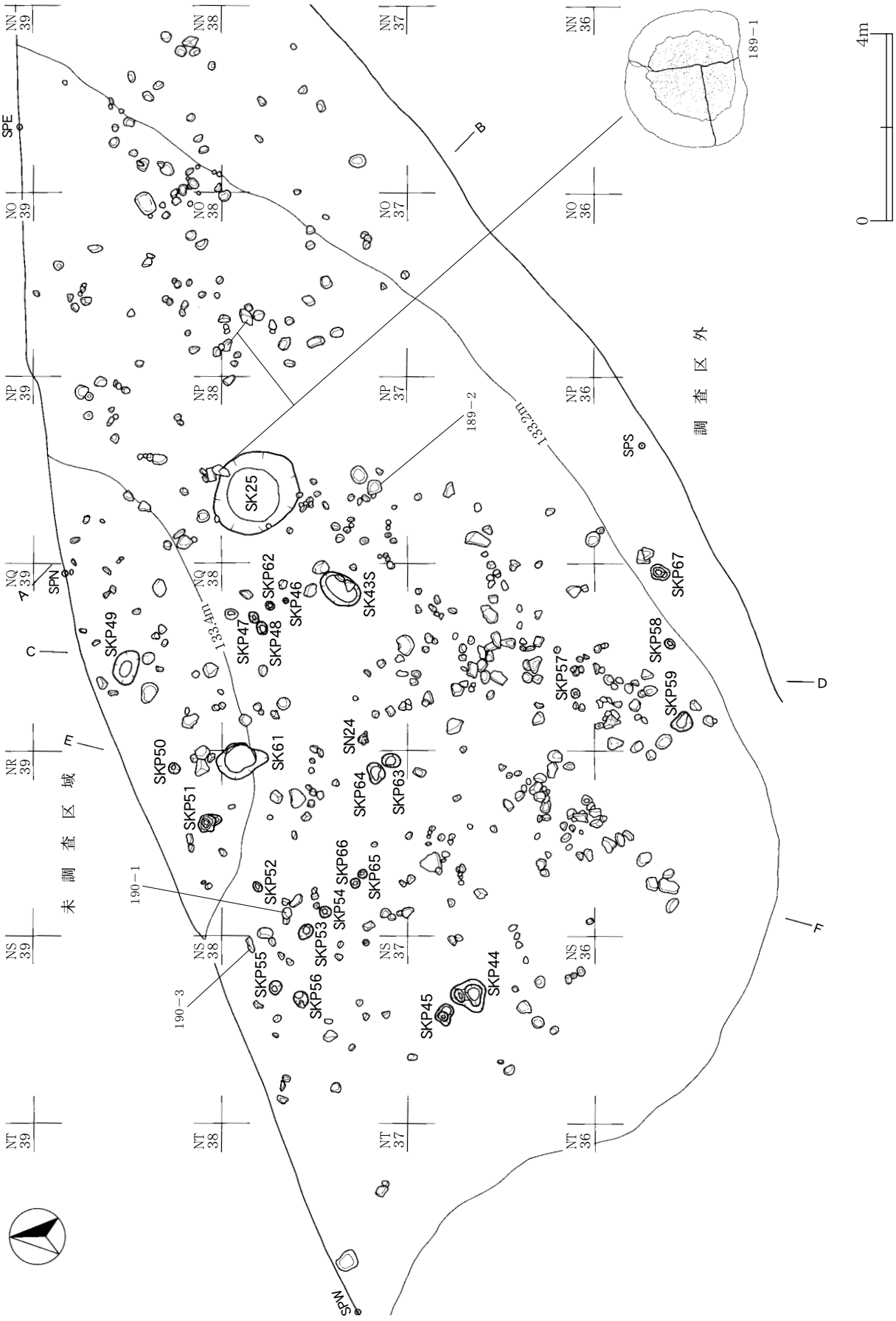


第17図　SM60盛土南北土層

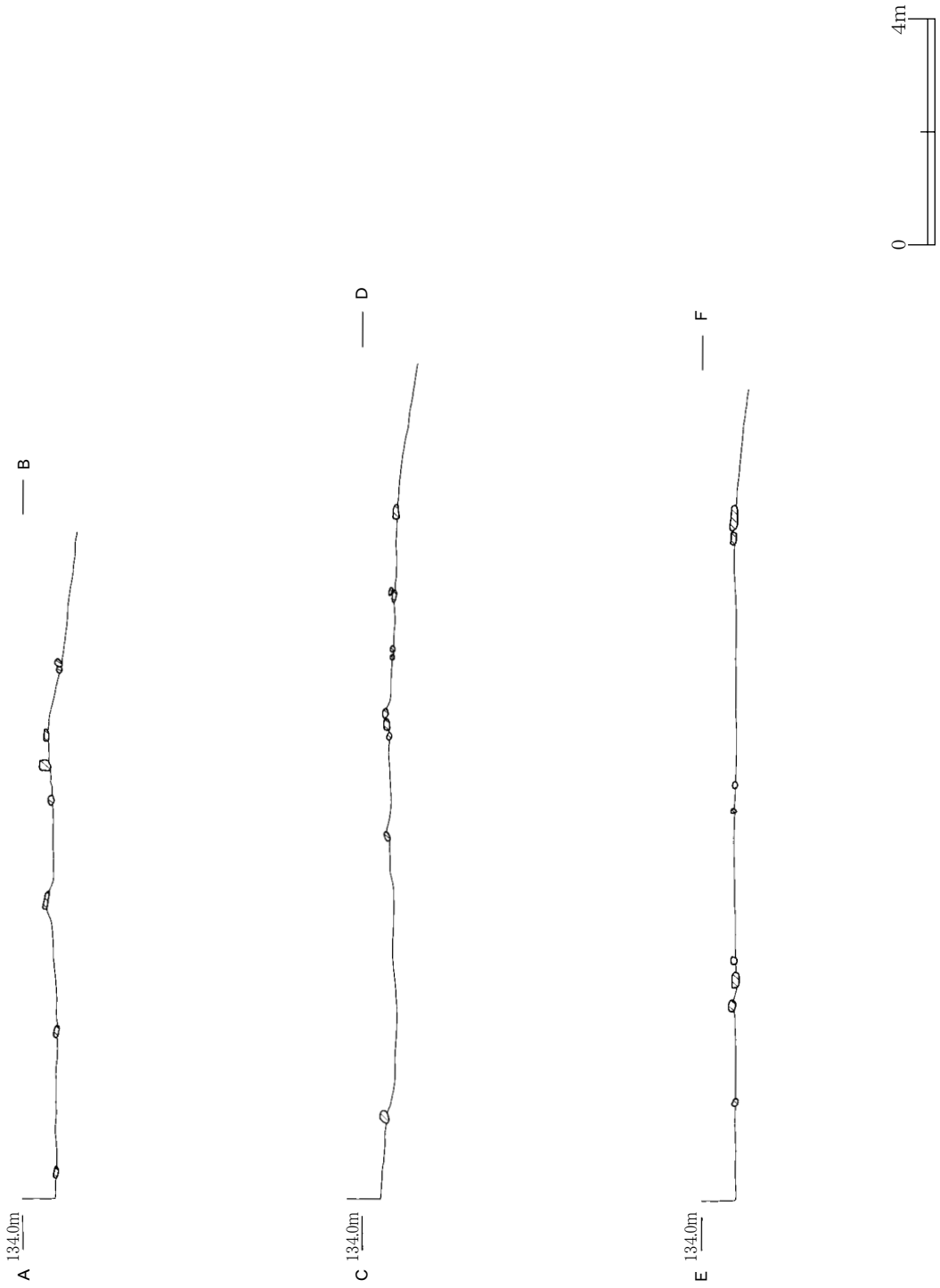
1　黒褐色土(10YR3/2)　粘性弱　しまり中
水田耕作土(基本層序Ⅰa層)
2　暗褐色土(10YR3/3)　礫少　粘性弱　しまり強
水田造成土(基本層序Ⅰb層)
3　黒色土(10YR2/1)　炭化物粒多　粘性弱
しまり強　水田造成土(基本層序Ⅰb層)
4　黒褐色土(10YR2/3)　炭化物粒多　粘性中
しまり中　水田造成土(基本層序Ⅰb層)
5　暗褐色土(10YR3/4)　粘性強　しまり弱
水田造成土(基本層序Ⅰb層)
6　黒褐色土(10YR2/2)　遺物含む　炭化物粒多
粘性中　しまり中　水田造成土(基本層序Ⅰb層)
7　黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒中
粘性中　しまり強　東西断面52層
8　暗褐色土(10YR3/4)　赤褐色土(10YR3/4)多
炭化物粒少　粘性中　しまり弱
9　黒褐色土(10YR2/2)　明赤褐色土(5YR5/8)中
炭化物粒多　粘性中　しまり中
10　黒褐色土(10YR2/3)　赤褐色土(5YR4/8)中
炭化物粒多　粘性中　しまり強
11　黒褐色土(10YR2/3)　赤褐色土(5YR4/8)多
炭化物粒多　粘性中　しまり強
12　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR5/8)中
炭化物粒多　粘性中　しまり中
13　黒褐色土(10YR2/3)　炭化物粒多　粘性中　しまり強
14　暗褐色土(10YR3/3)　炭化物粒少　粘性弱　しまり中
15　黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒中　粘性中　しまり強
16　黒褐色土(10YR2/2)　炭化物粒中　粘性中　しまり中
17　黒褐色土(10YR2/2)　赤褐色土(5YR4/6)少
炭化物粒少　粘性強　しまり強
18　黒褐色土(10YR2/2)　赤褐色土(5YR4/6)少
炭化物粒少　粘性強　しまり強
19　黒褐色土(10YR2/2)　赤褐色土(5YR4/6)多
炭化物粒中　粘性中　しまり強
20　黒褐色土(10YR2/3)　赤褐色土(5YR4/8)中
炭化物粒多　粘性中　しまり中
21　黒褐色土(10YR2/2)　赤褐色土(5YR4/6)中
炭化物粒中　粘性中　しまり強
22　黒褐色土(10YR2/3)　赤褐色土(5YR4/8)多
粘性弱　しまり強
23　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR5/8)中
炭化物粒多　粘性中　しまり強
24　黒褐色土(10YR2/3)　赤褐色土(5YR4/8)多
粘性弱　しまり強
25　黒色土(10YR2/1)　炭化物粒多　粘性弱　しまり強
26　黒色土(10YR2/1)　炭化物粒中　粘性強　しまり強　東西断面57層
27　暗褐色土(10YR3/3)　炭化物粒中　粘性強　しまり中
28　暗褐色土(10YR3/3)　炭化物粒中　粘性強　しまり中
29　暗褐色土(10YR3/3)　炭化物粒中　粘性強　しまり弱
30　黒褐色土(10YR2/2)　赤褐色土(5YR4/6)中　炭化物粒中　粘性中　しまり強
31　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR4/6)中　炭化物粒多　粘性中　しまり強
32　黒褐色土(10YR2/2)　明赤褐色土(5YR5/6)中　炭化物粒多　粘性中　しまり強
33　黒褐色土(10YR3/2)　炭化物粒少　粘性強　しまり強
34　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR4/6)中　炭化物粒多　粘性強　しまり強
東西断面58層
35　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR5/6)中　炭化物粒多　粘性強　しまり中
36　黒褐色土(10YR3/2)　炭化物粒中　粘性強　しまり強
37　黒褐色土(10YR3/2)　炭化物粒中　粘性強　しまり強
38　黒色土(10YR2/1)　明赤褐色土(5YR5/6)中　炭化物粒多　粘性強　しまり中
39　暗褐色土(10YR3/3)　褐色土(10YR4/4)多　粘性強　しまり弱　SK25土坑掘削土土盛り層
40　黒色シルト(10YR2/1)　粘性強　しまり中　基本層序Ⅱb層
41　黒色シルト(10YR2/1)　粘性弱　しまり中　基本層序Ⅱd層
42　褐色砂質土(10YR4/4)　粘性弱　しまり中　基本層序Ⅴ層



第18図　SM60盛土東西土層

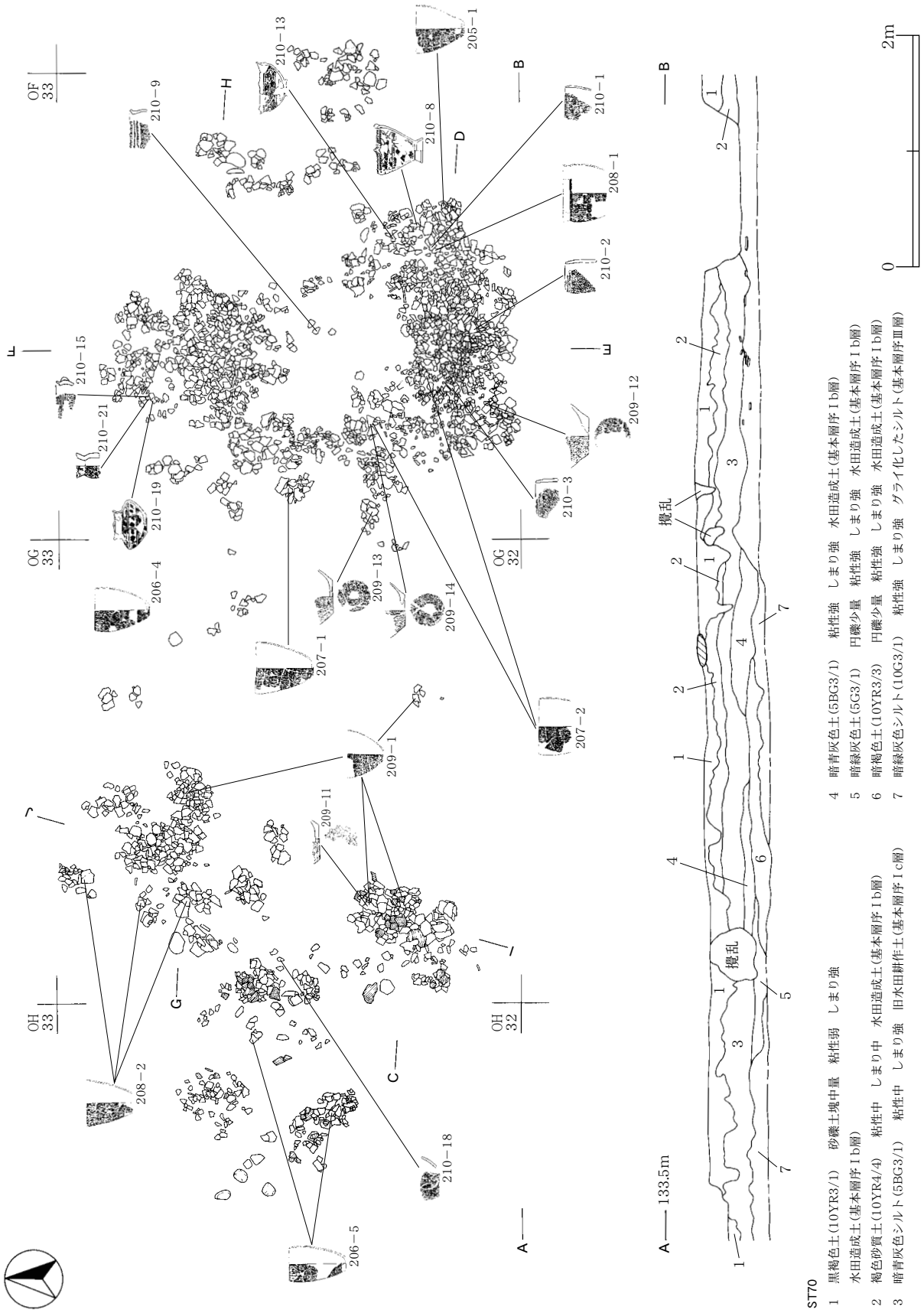


第19図　SM60盛土礫群平面分布と周辺遺構

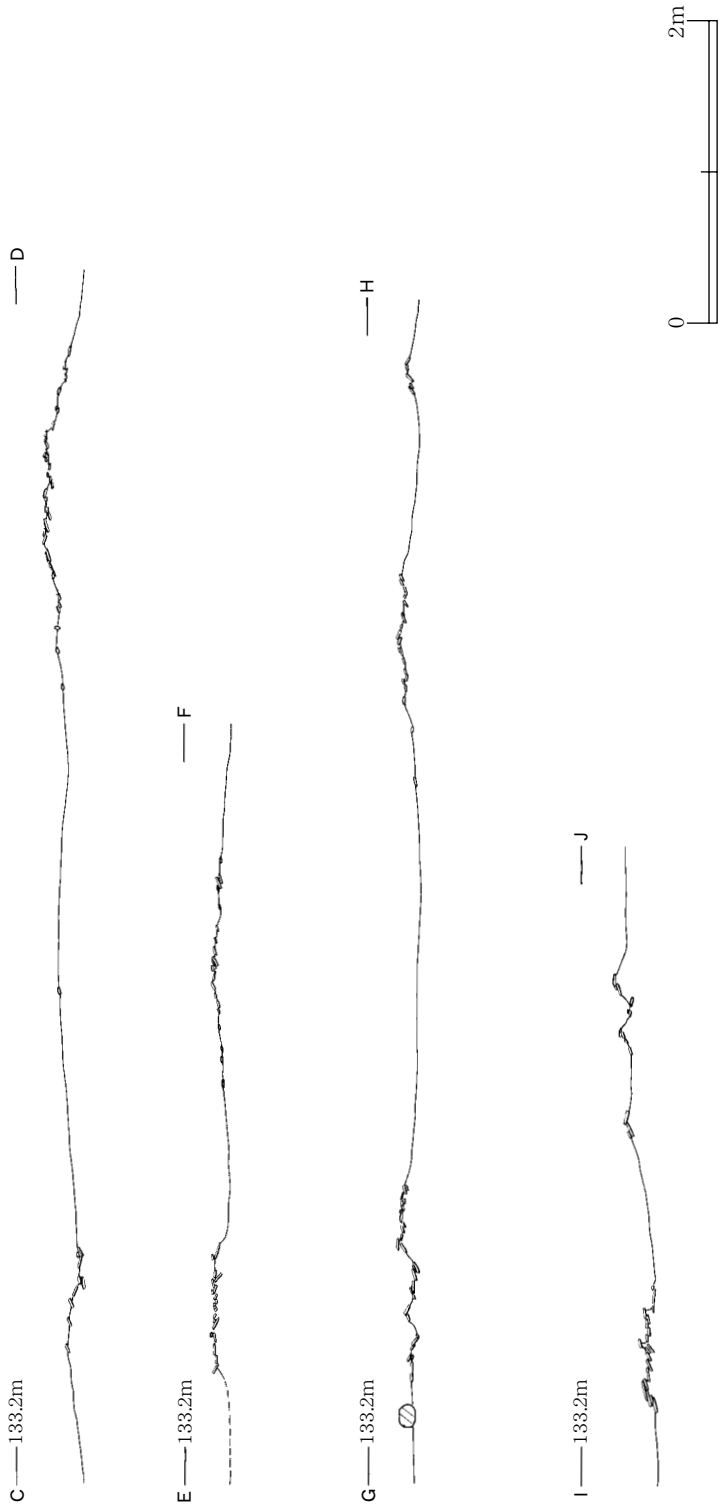


第20図　SM60盛土下位礫群垂直分布

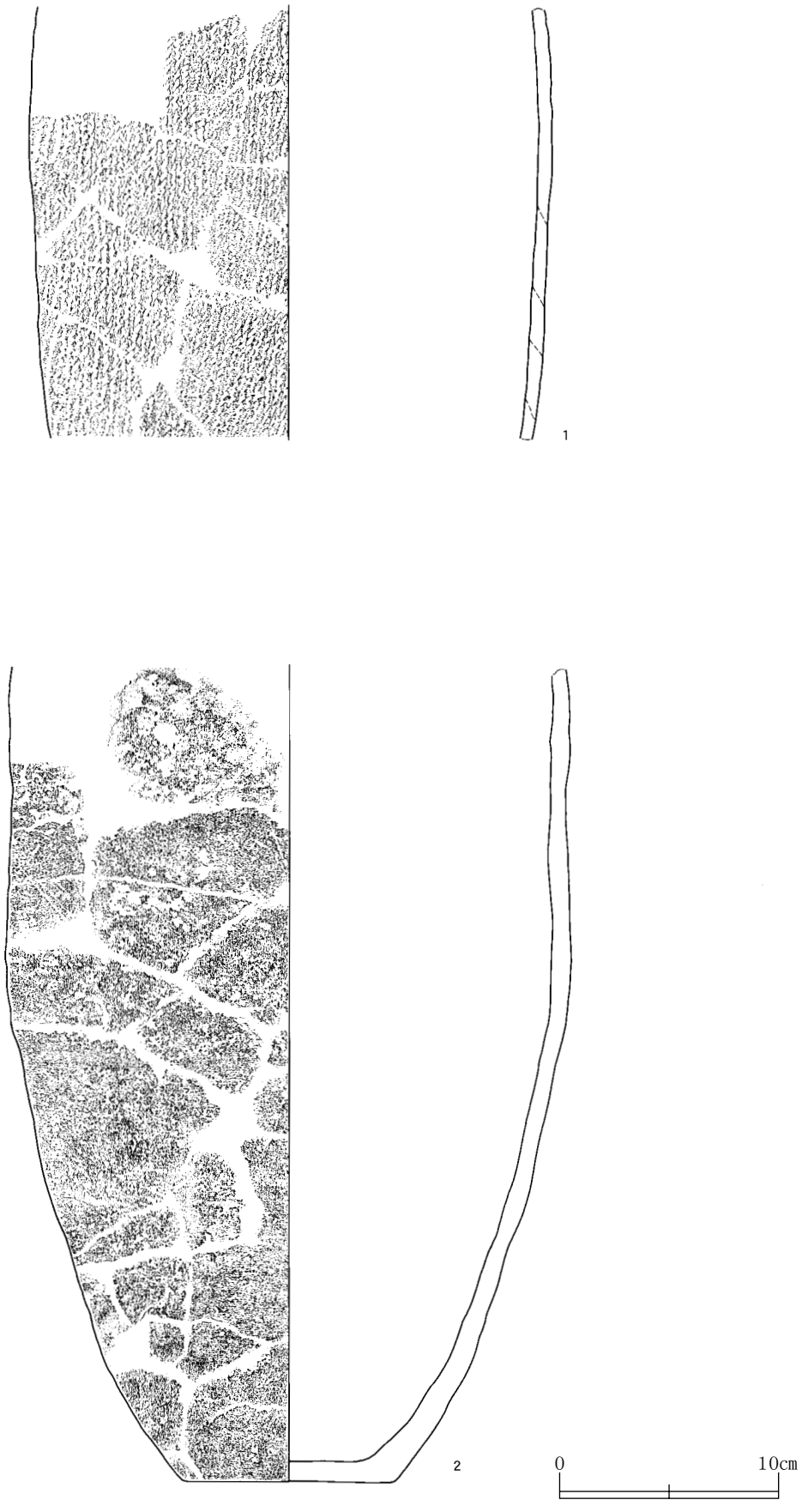
第21図　SM60盛土南北畦土器分布



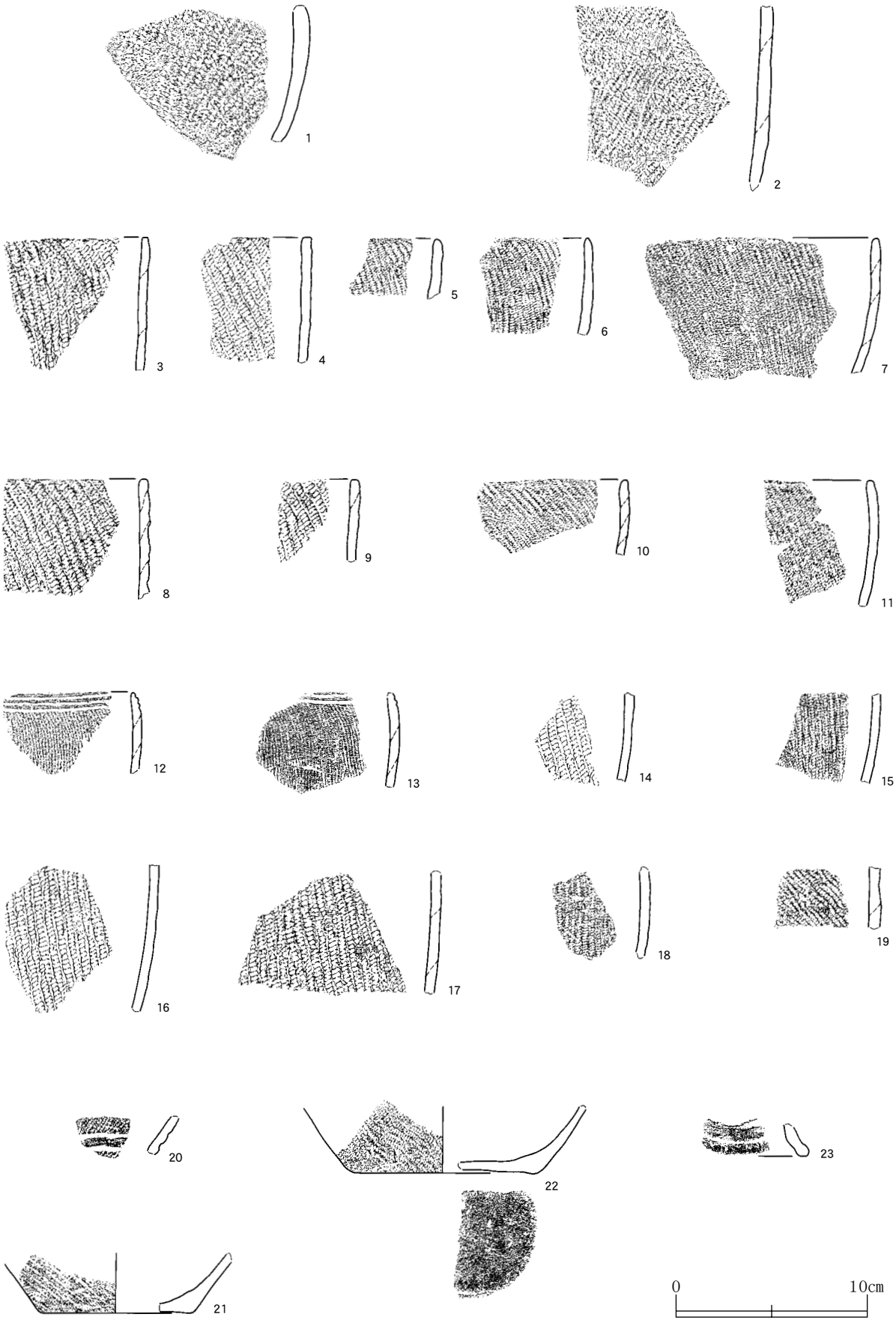
第22図　ST70捨て場



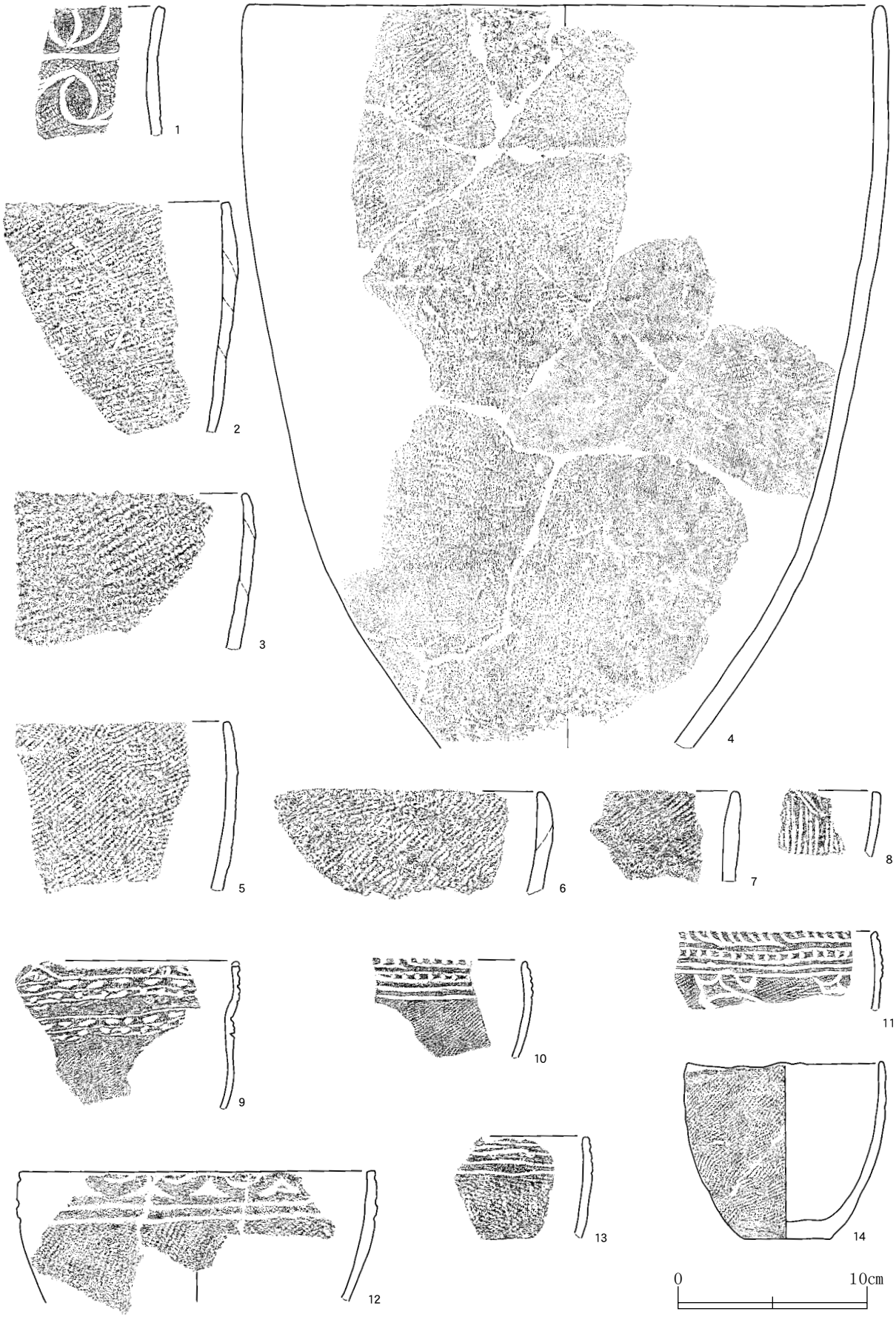
第23図　ST70捨て場



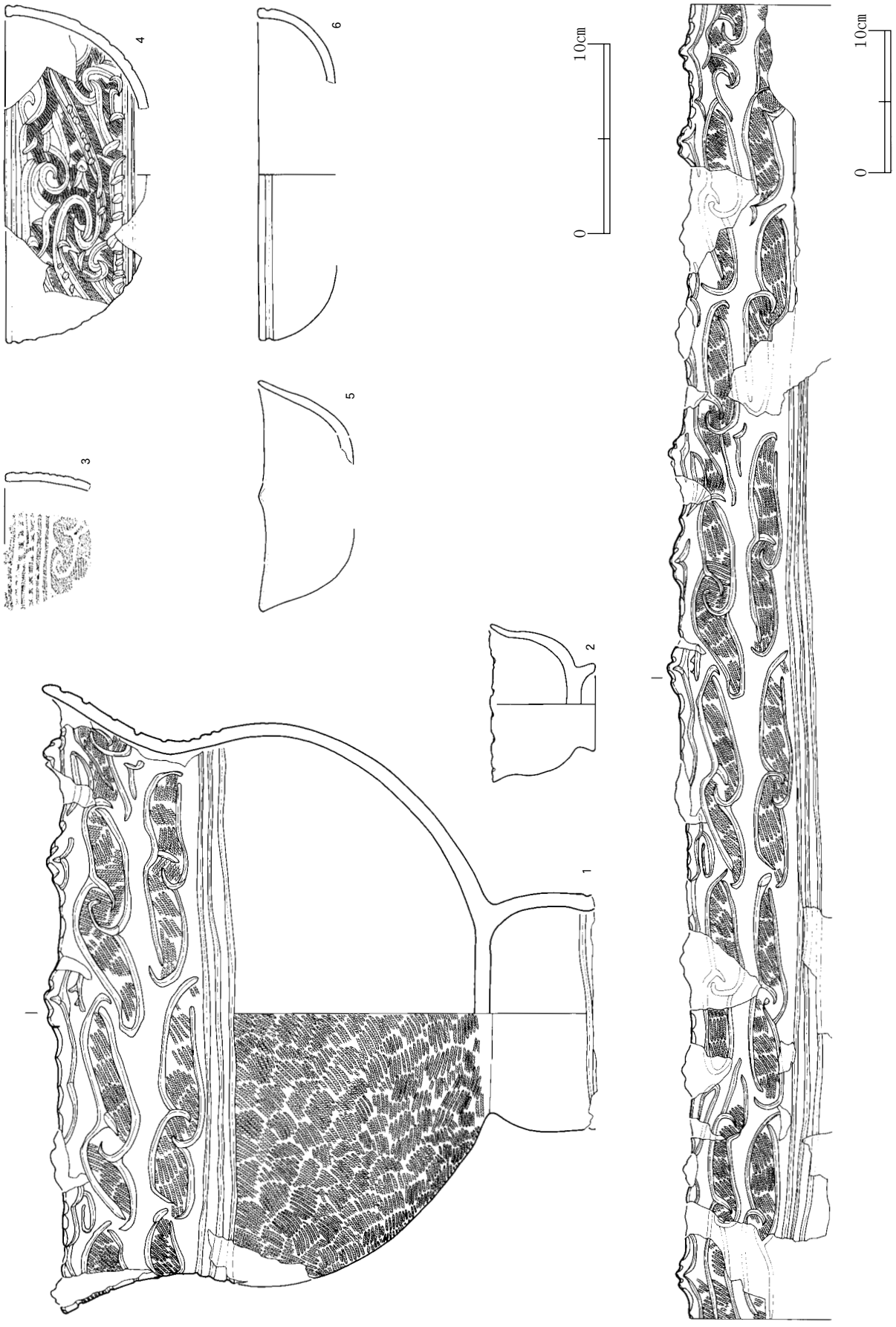
第24図　出土遺物（1）（SI03・12）



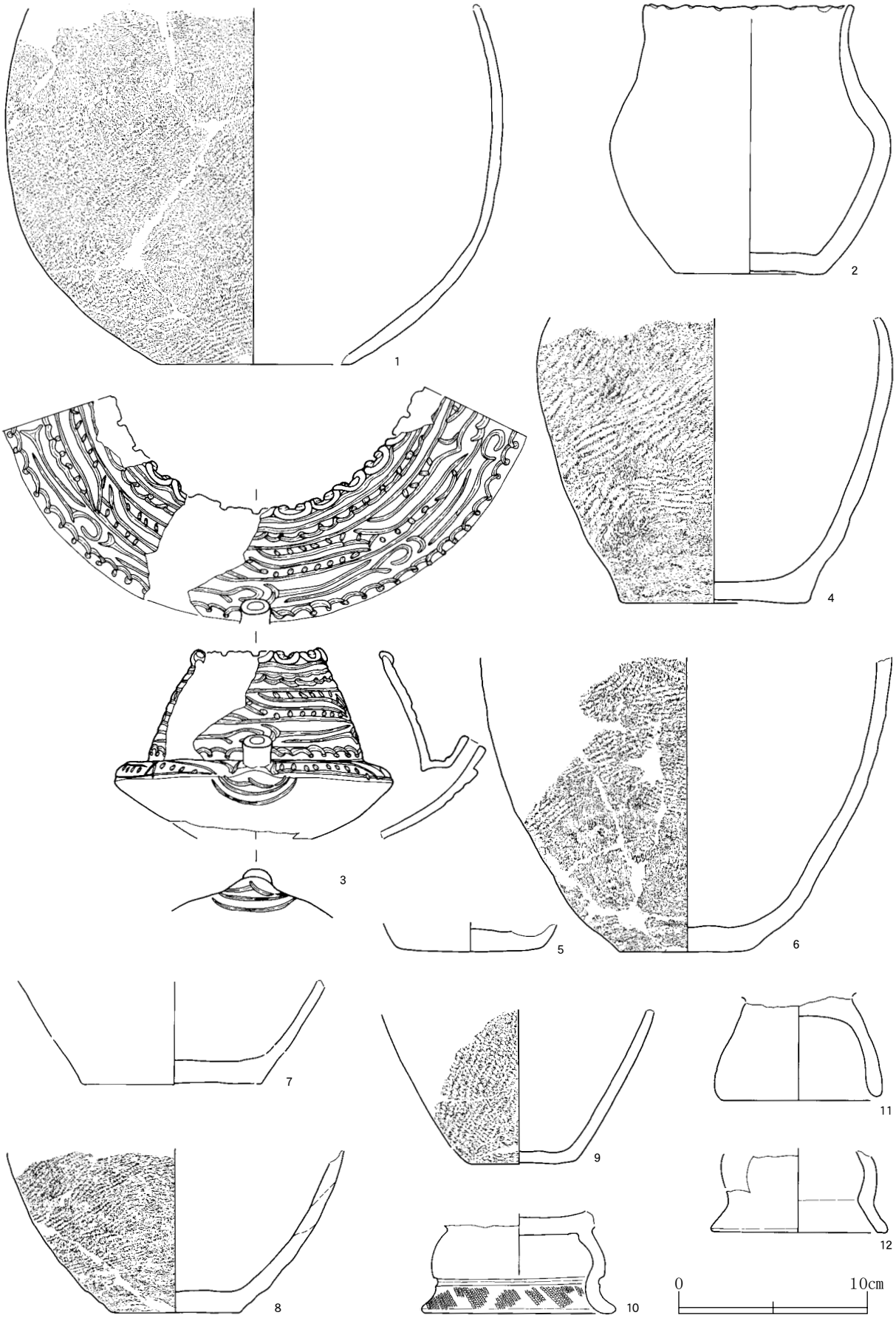
第25図　出土遺物 (2) (SK19・23)



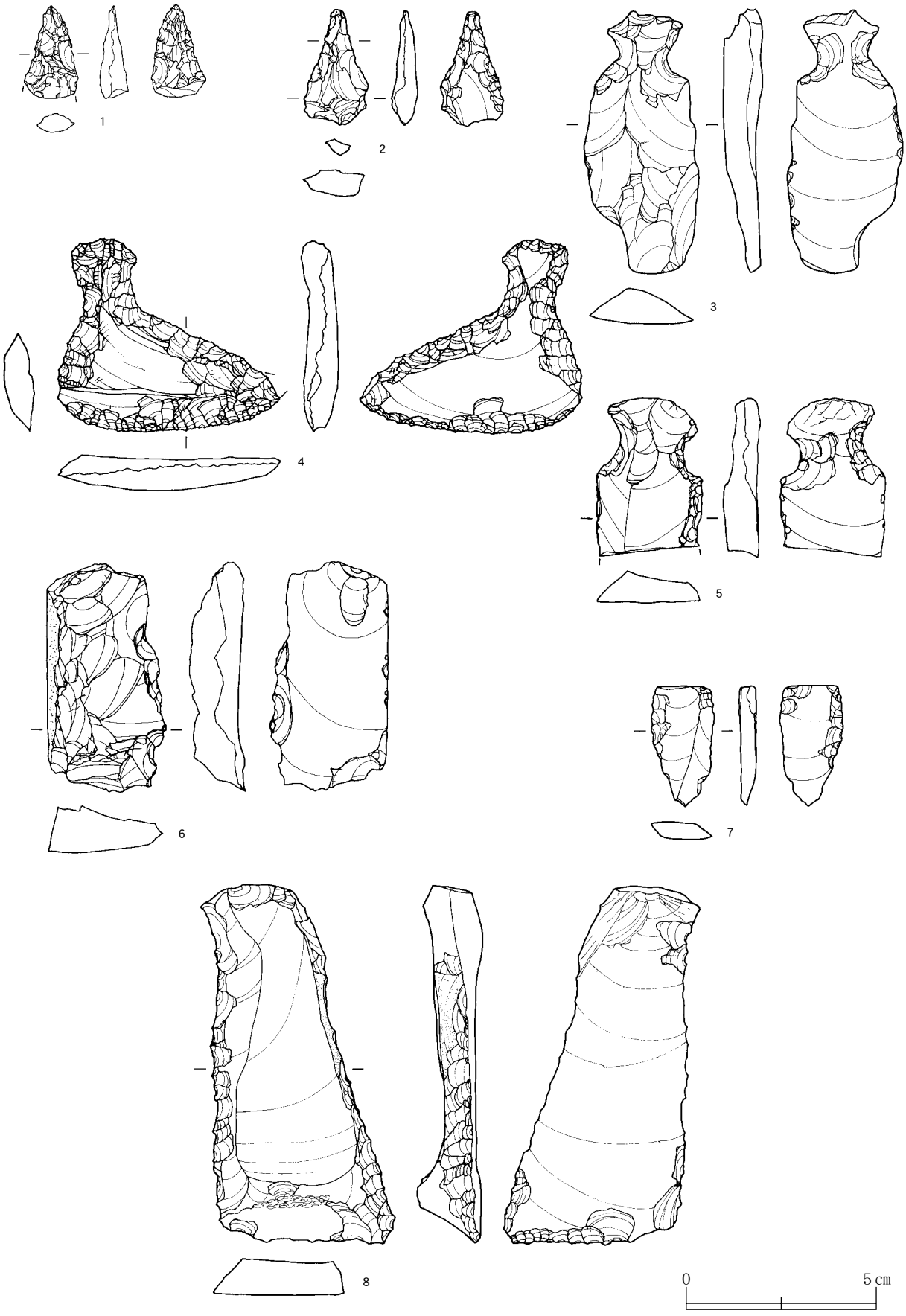
第26図　出土遺物 (3) (SK25①)



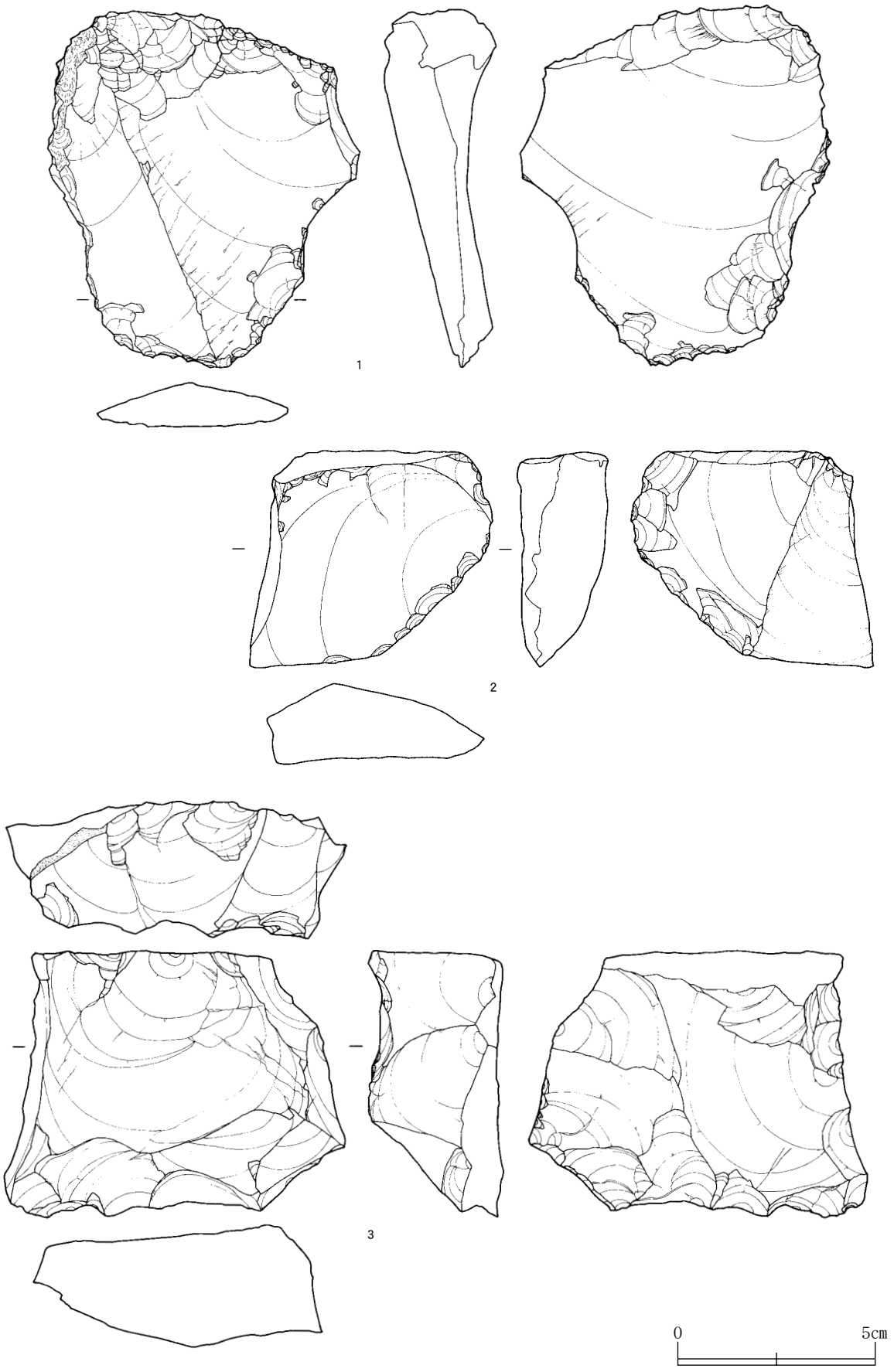
第27図　出土遺物 (4) (SK25②)



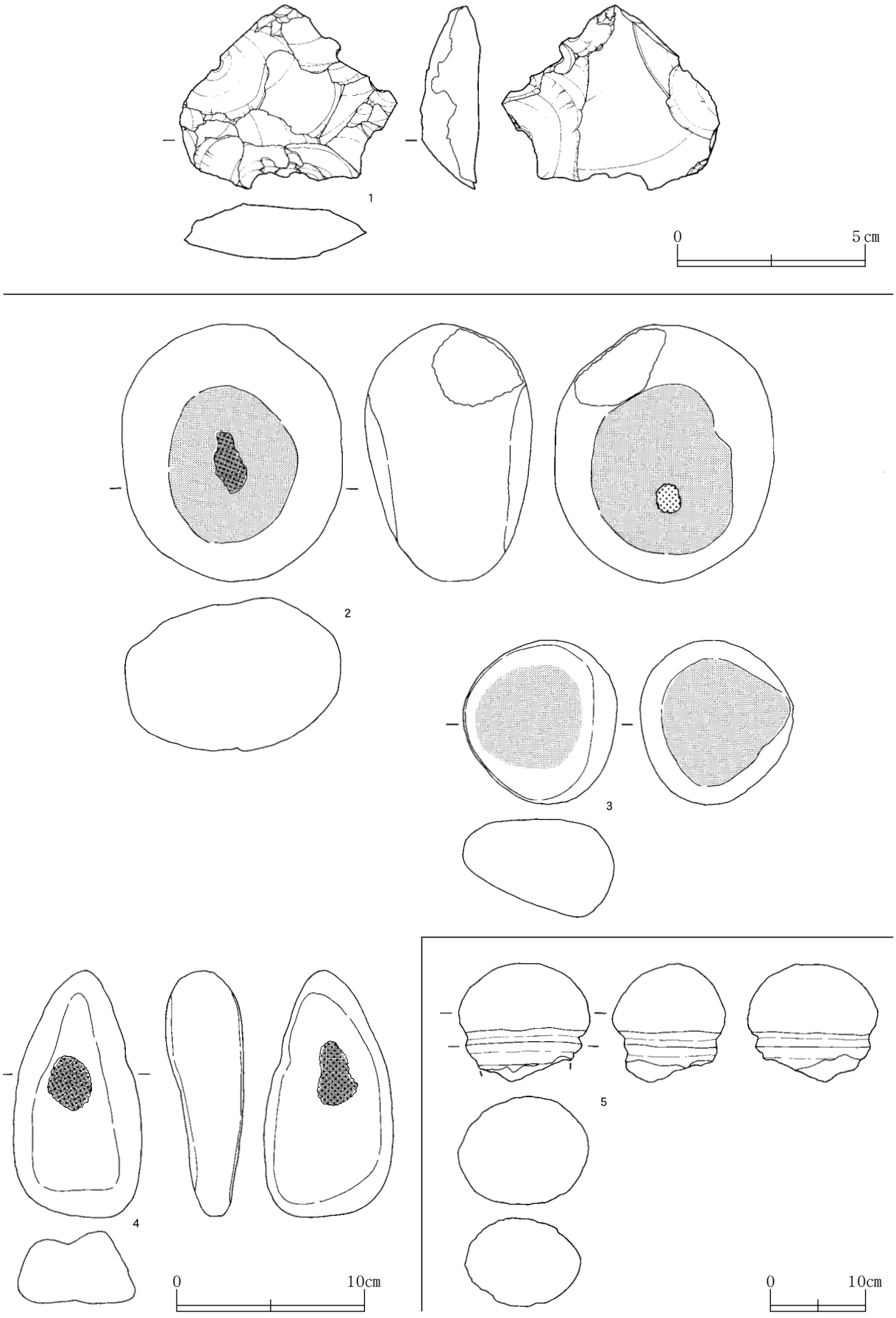
第28図　出土遺物 (5) (SK25③)



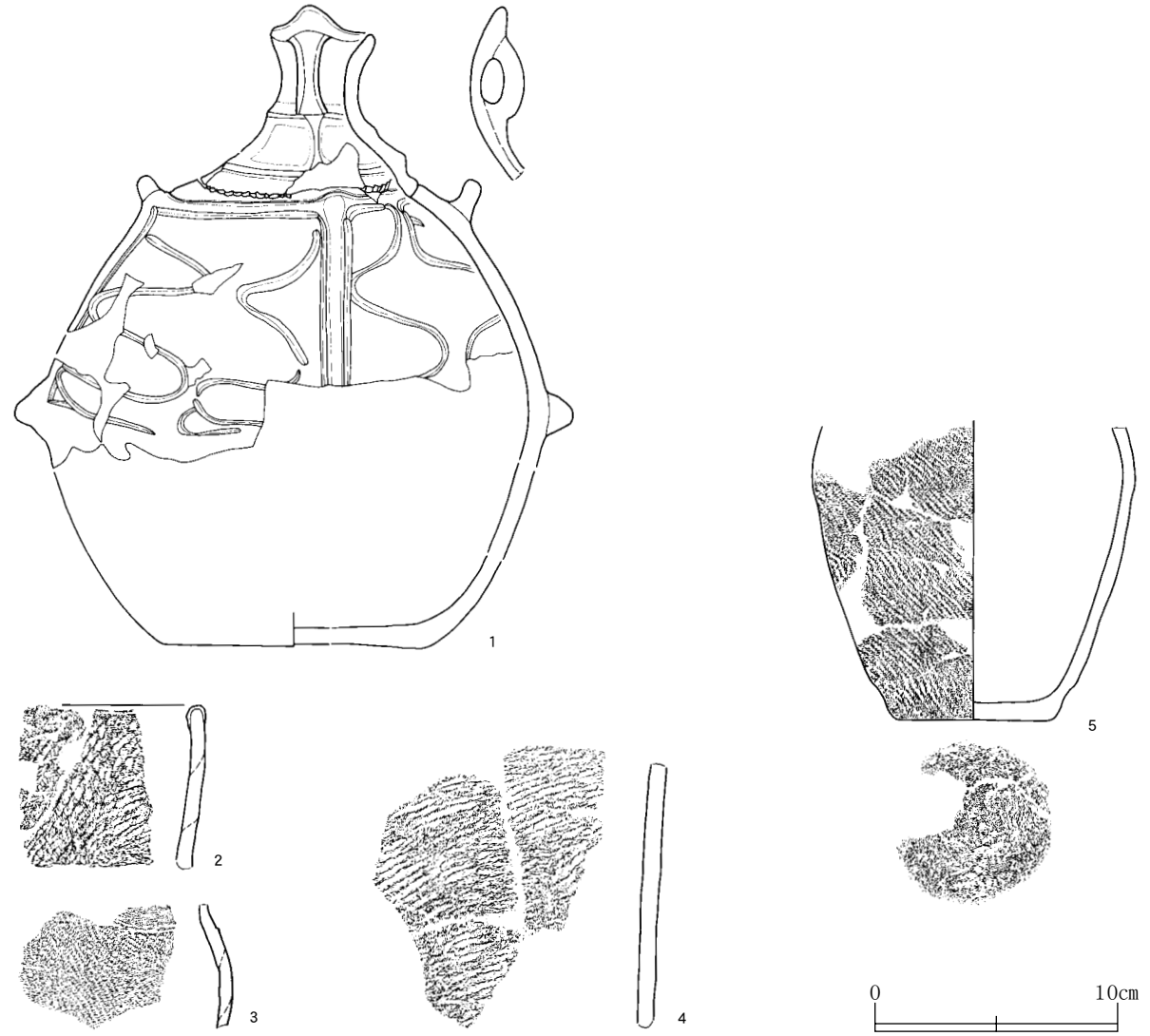
第29図　出土遺物 (6) (SK25④)

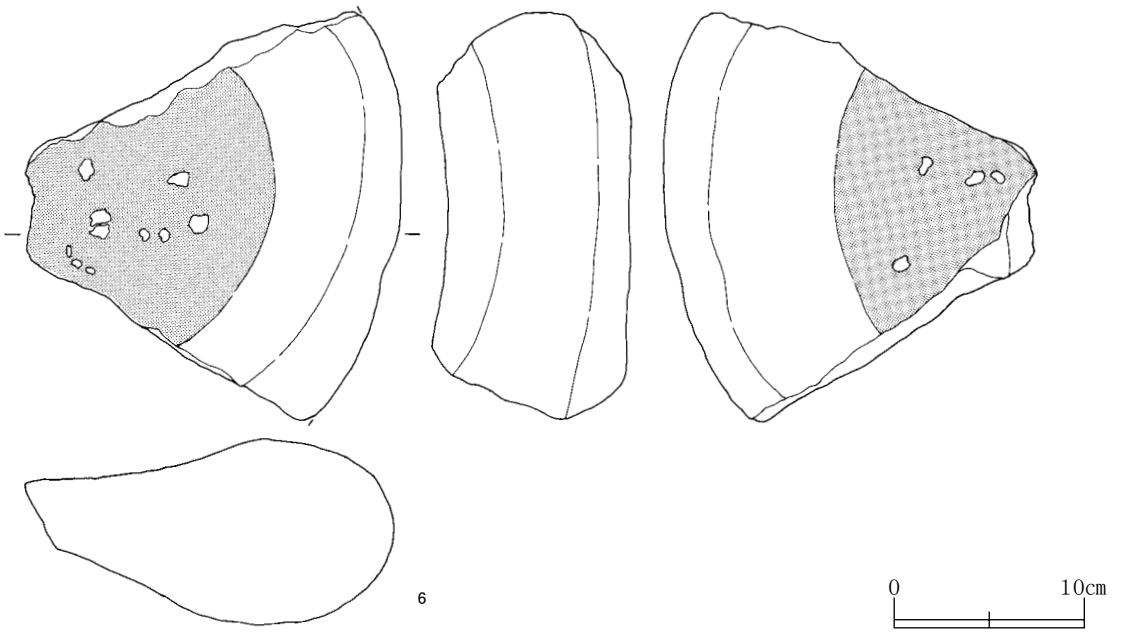


第30図　出土遺物（7）（SK25⑤）

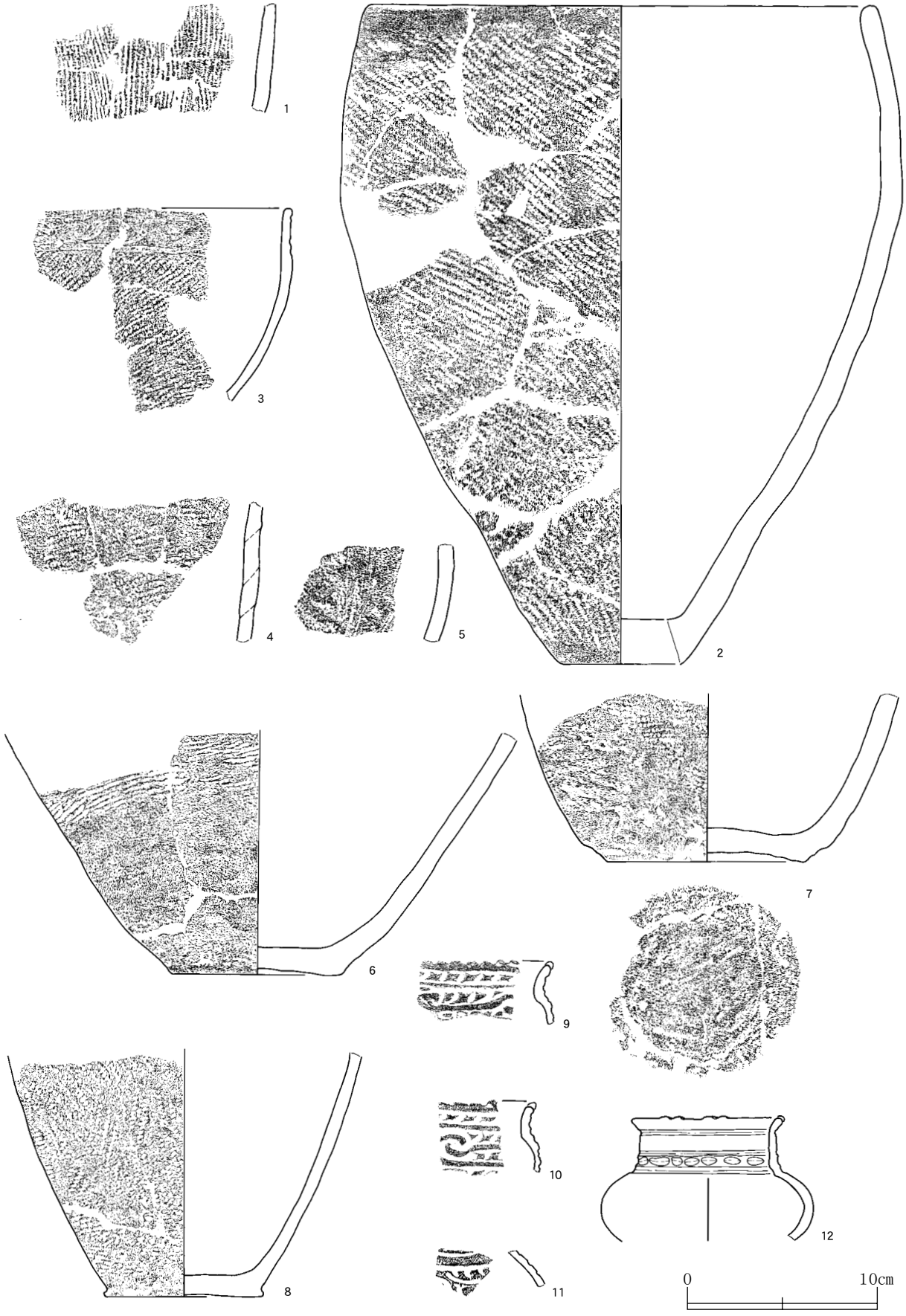


第31図　出土遺物 (8) (SK25⑥)

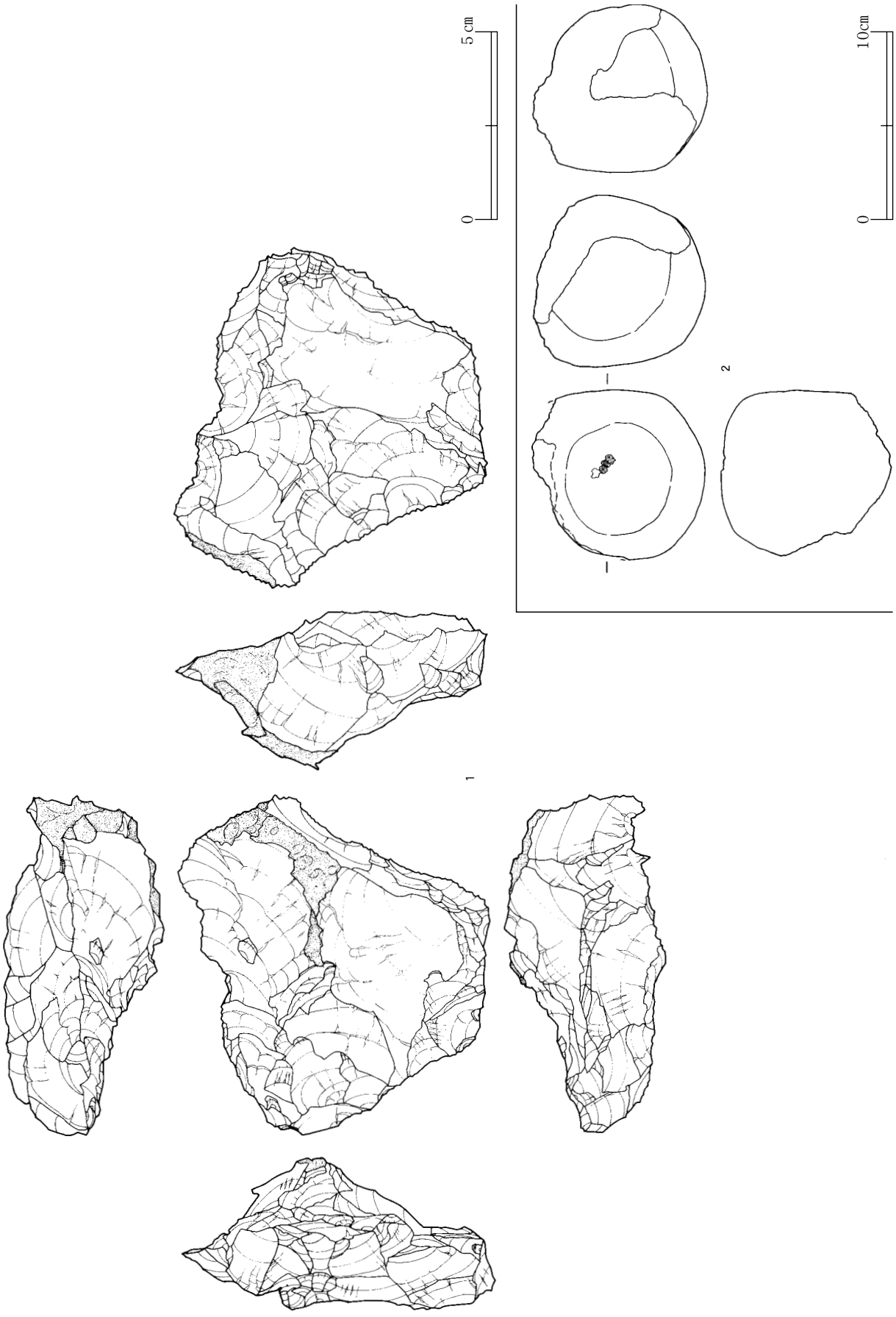




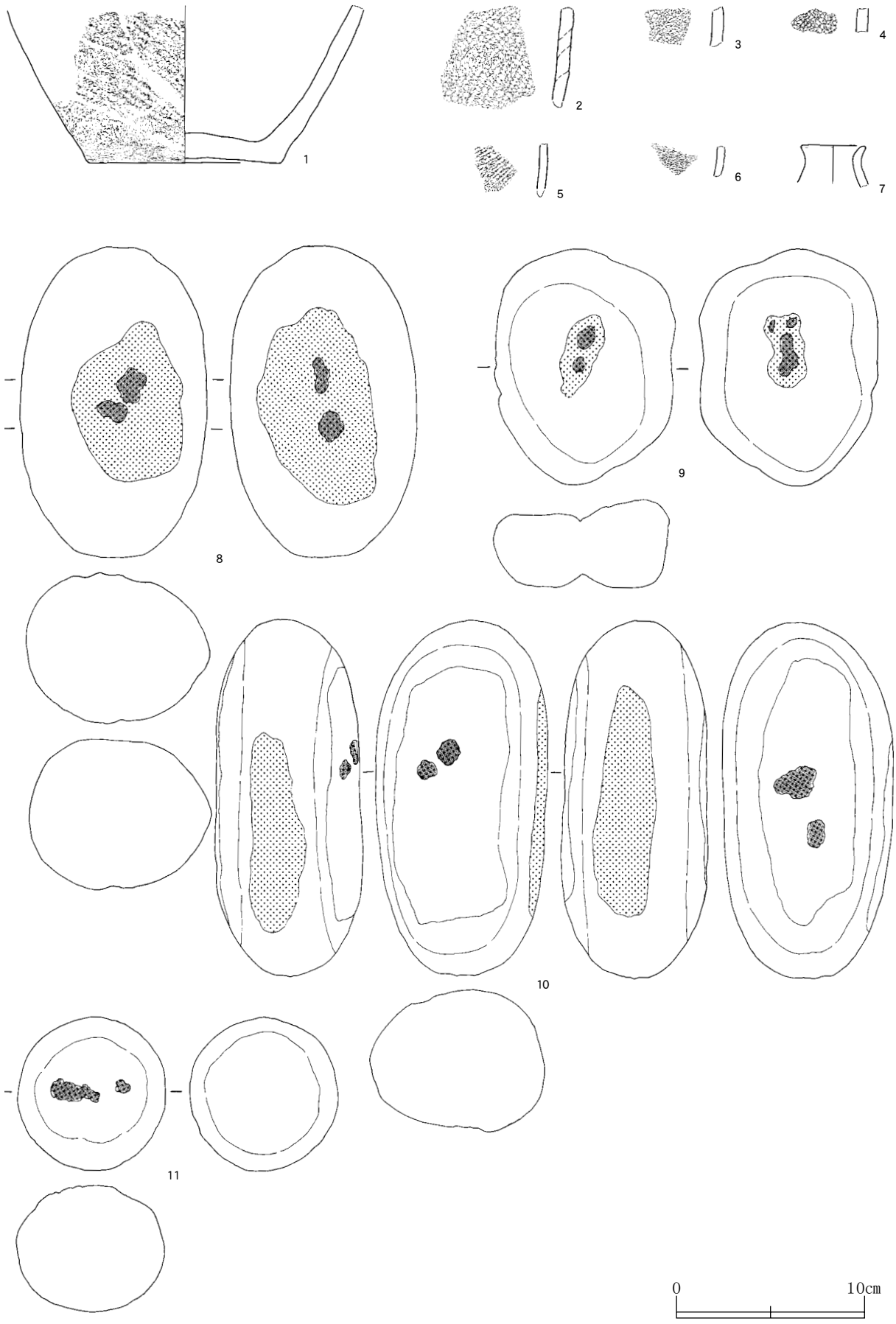
第32図　出土遺物 (9) (SK26・43S)



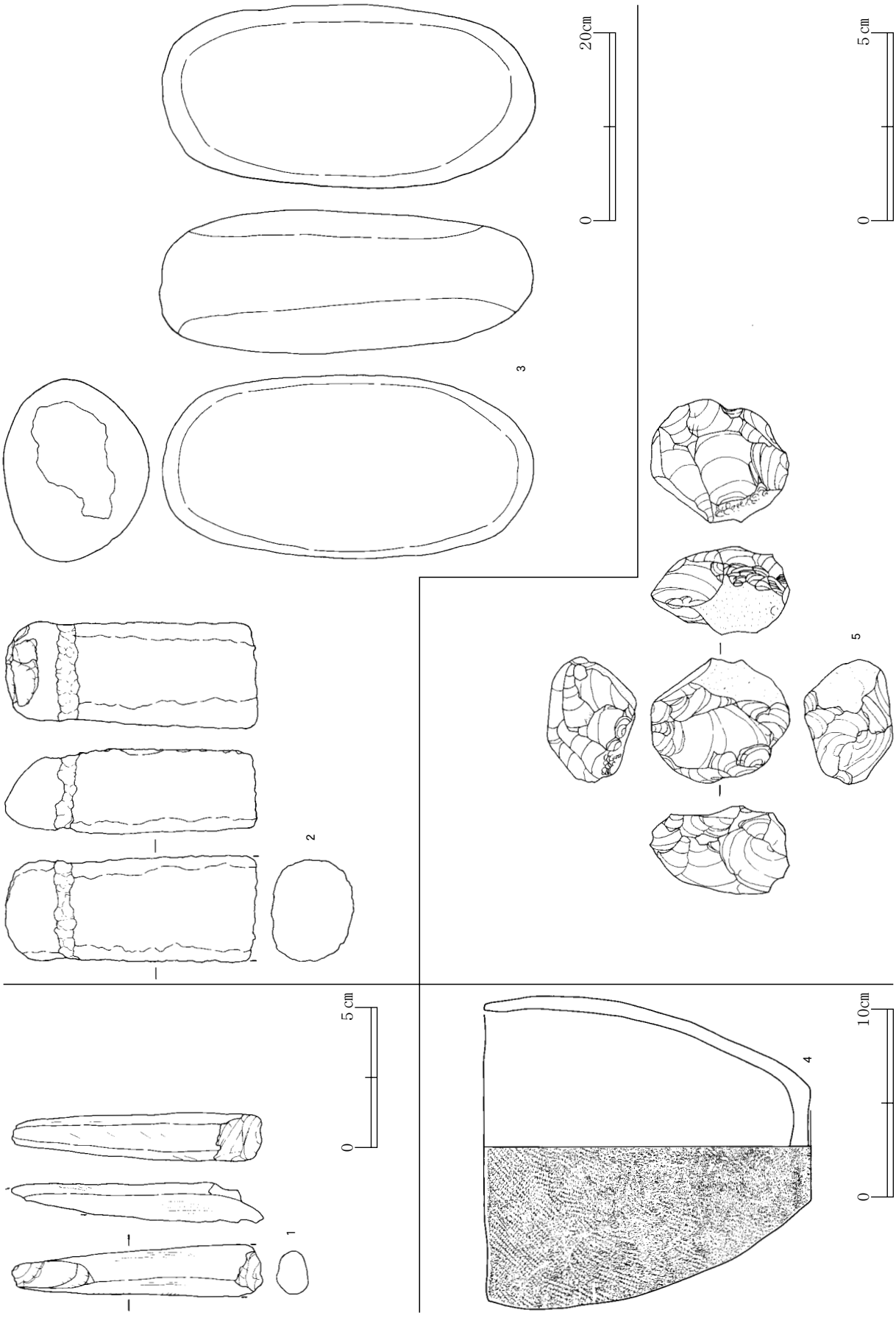
第33図　出土遺物（10）（SK43N・61①）



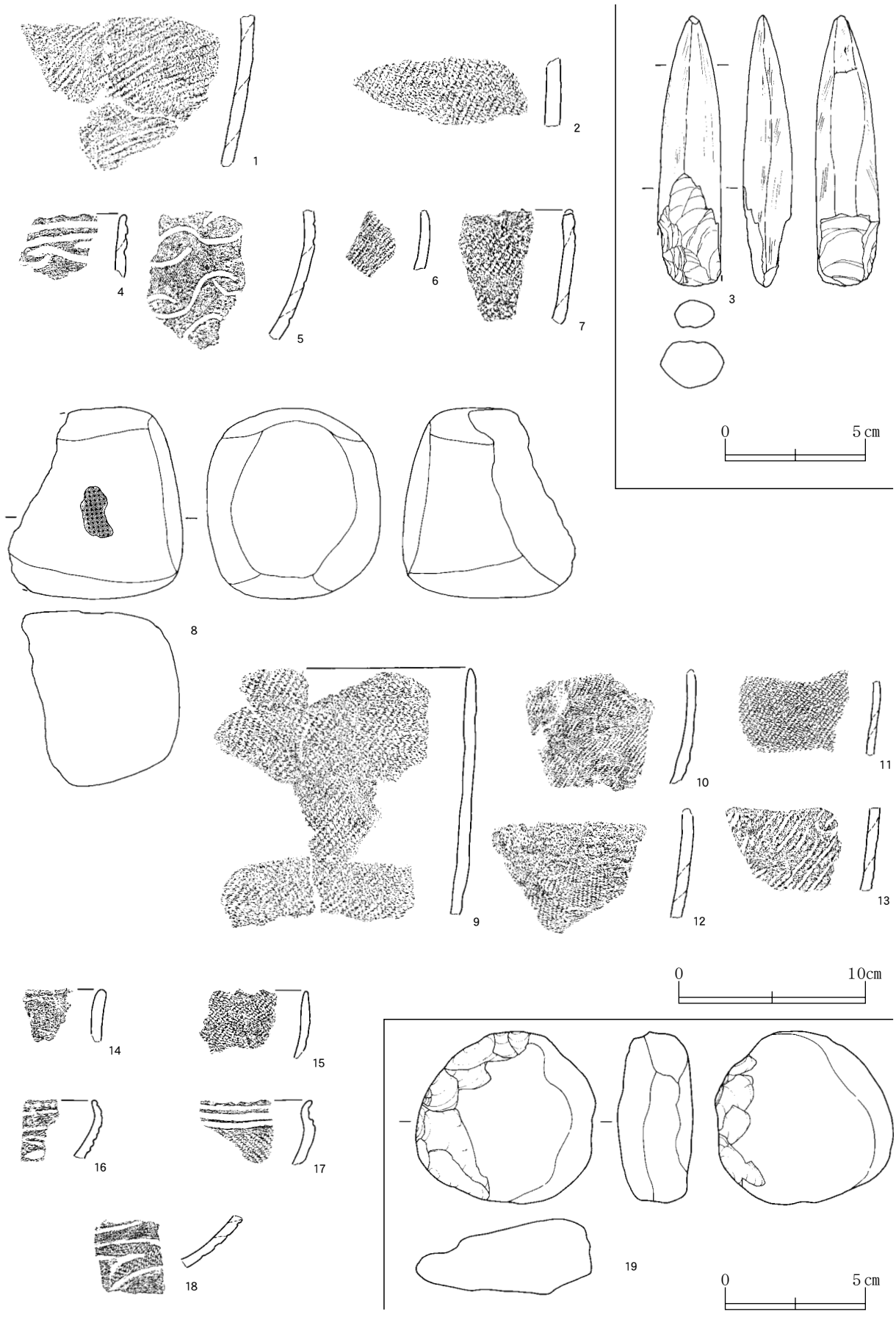
第34図　出土遺物（11）(SK61②)



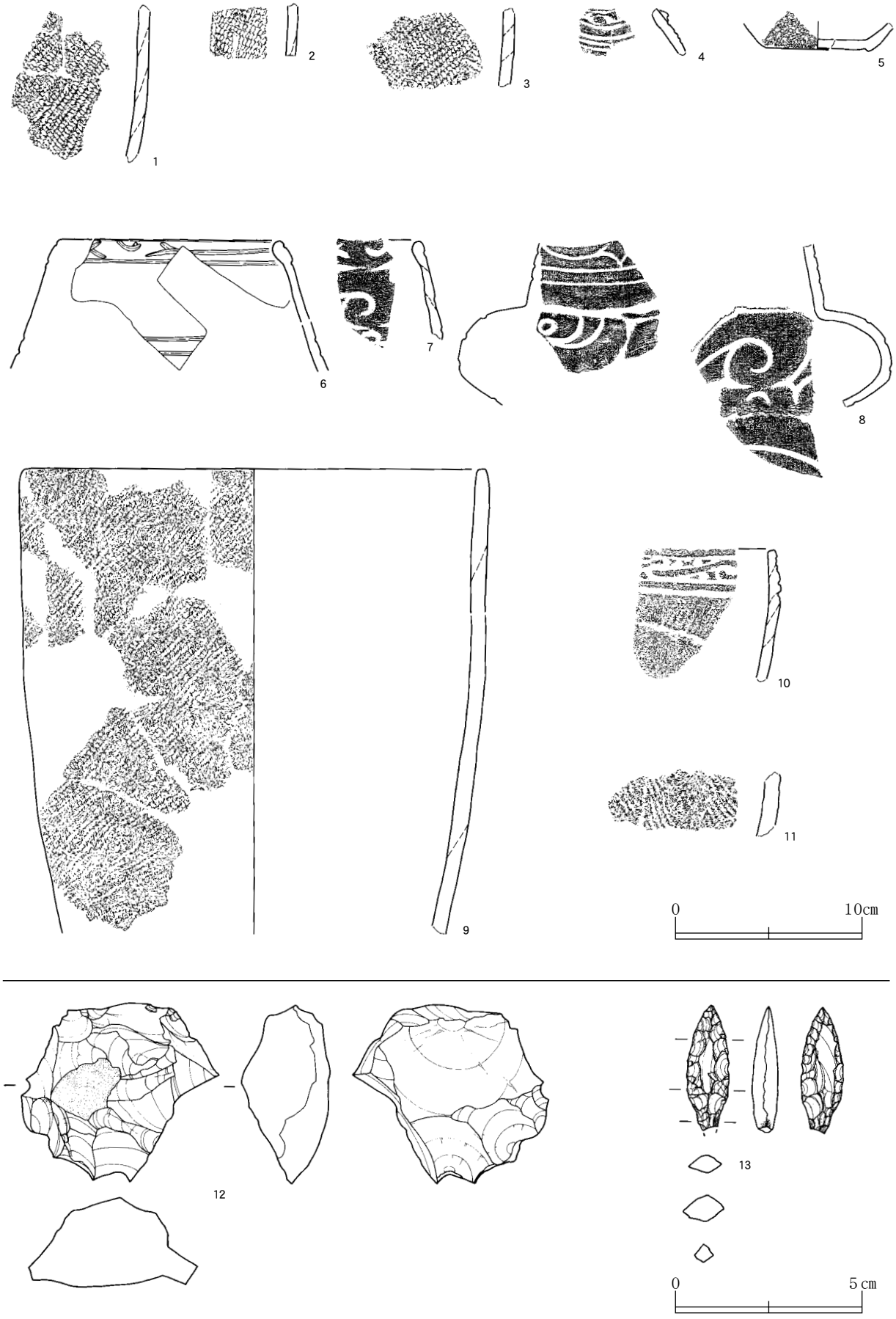
第35図　出土遺物（12）（SR06・SQ09①）



第36図　出土遺物（13）（SQ09②・SN24）

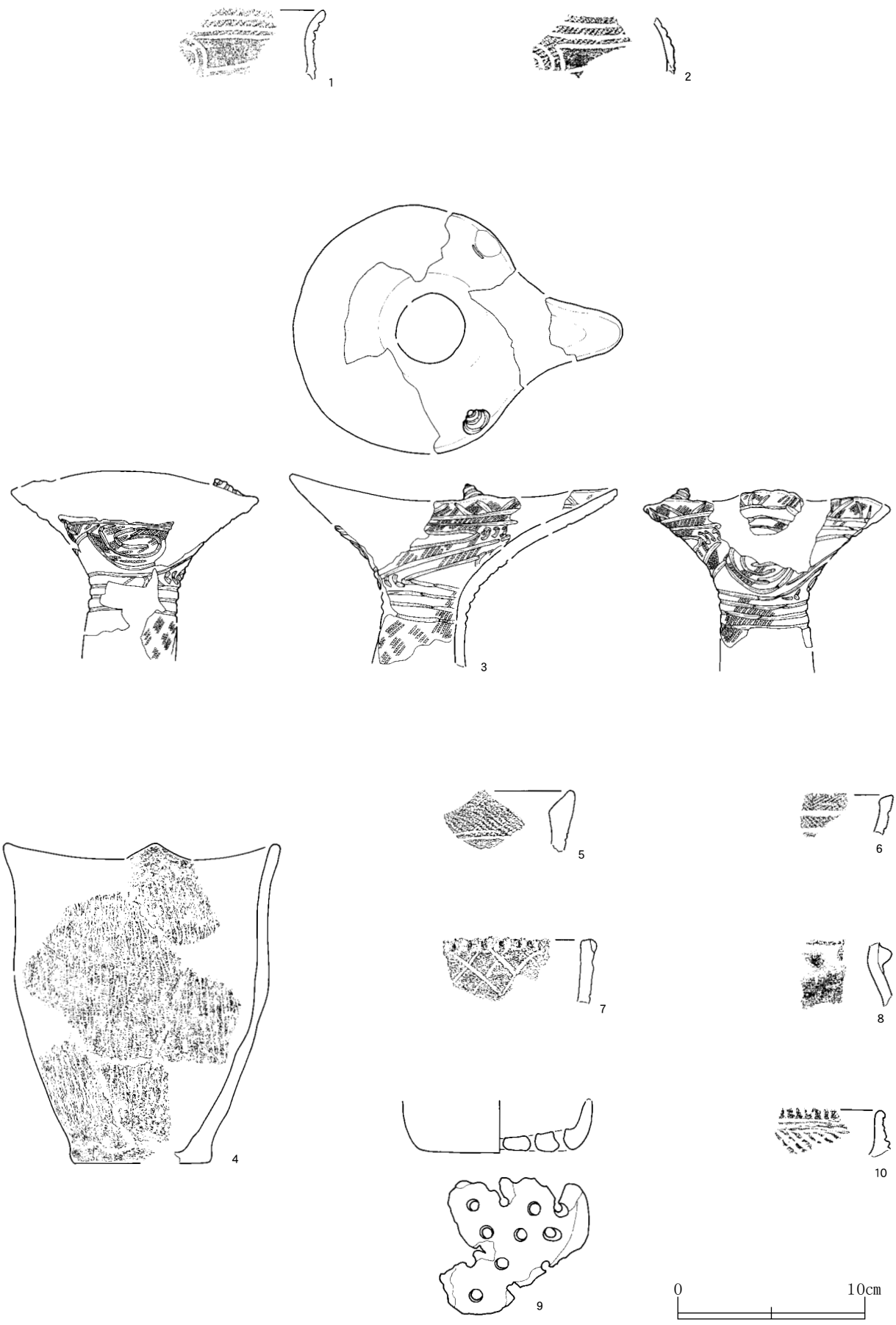


第37図　出土遺物（14）(SKP21W・31・34・35・44)

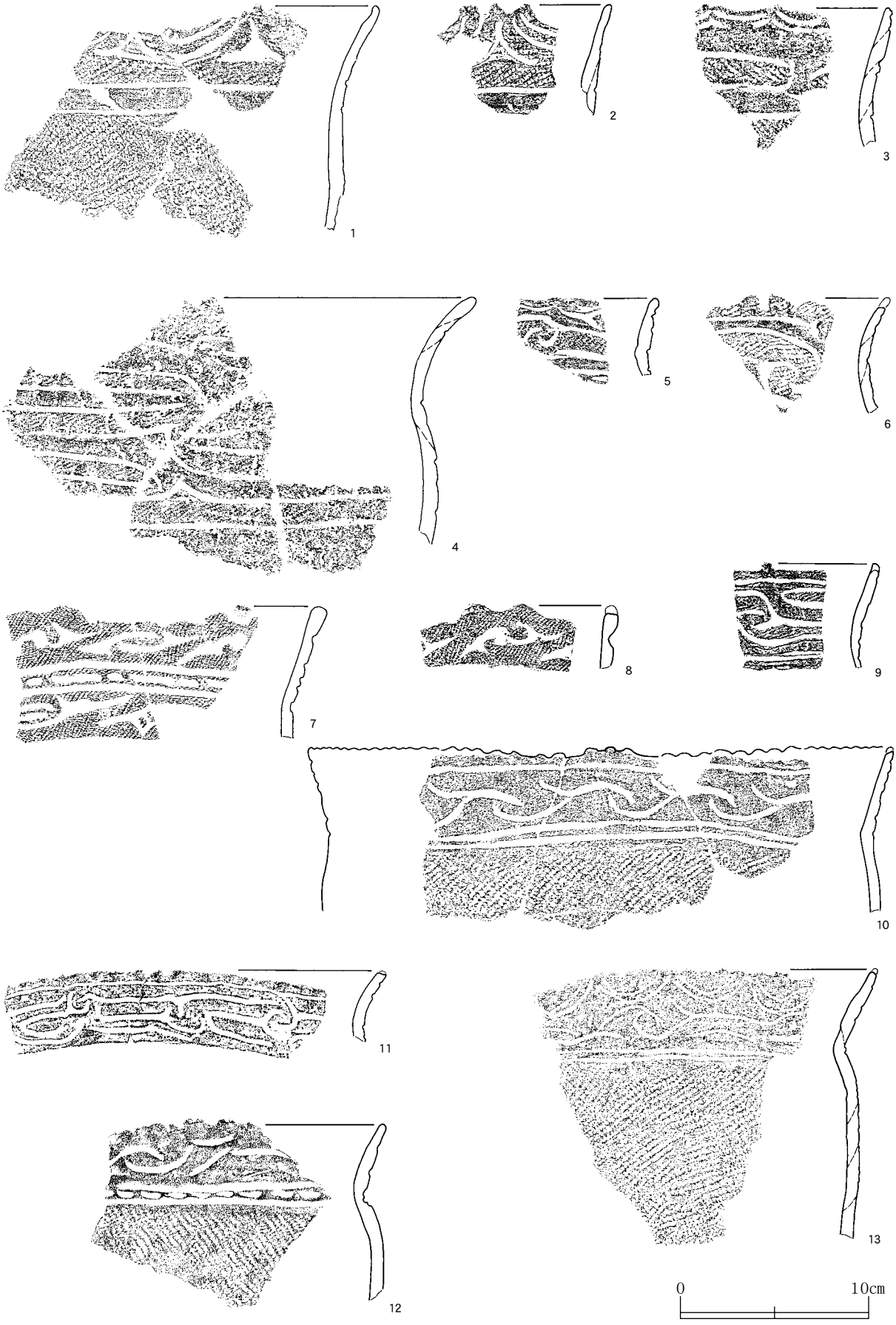


第38図　出土遺物（15）（SKP45・54・64・67）

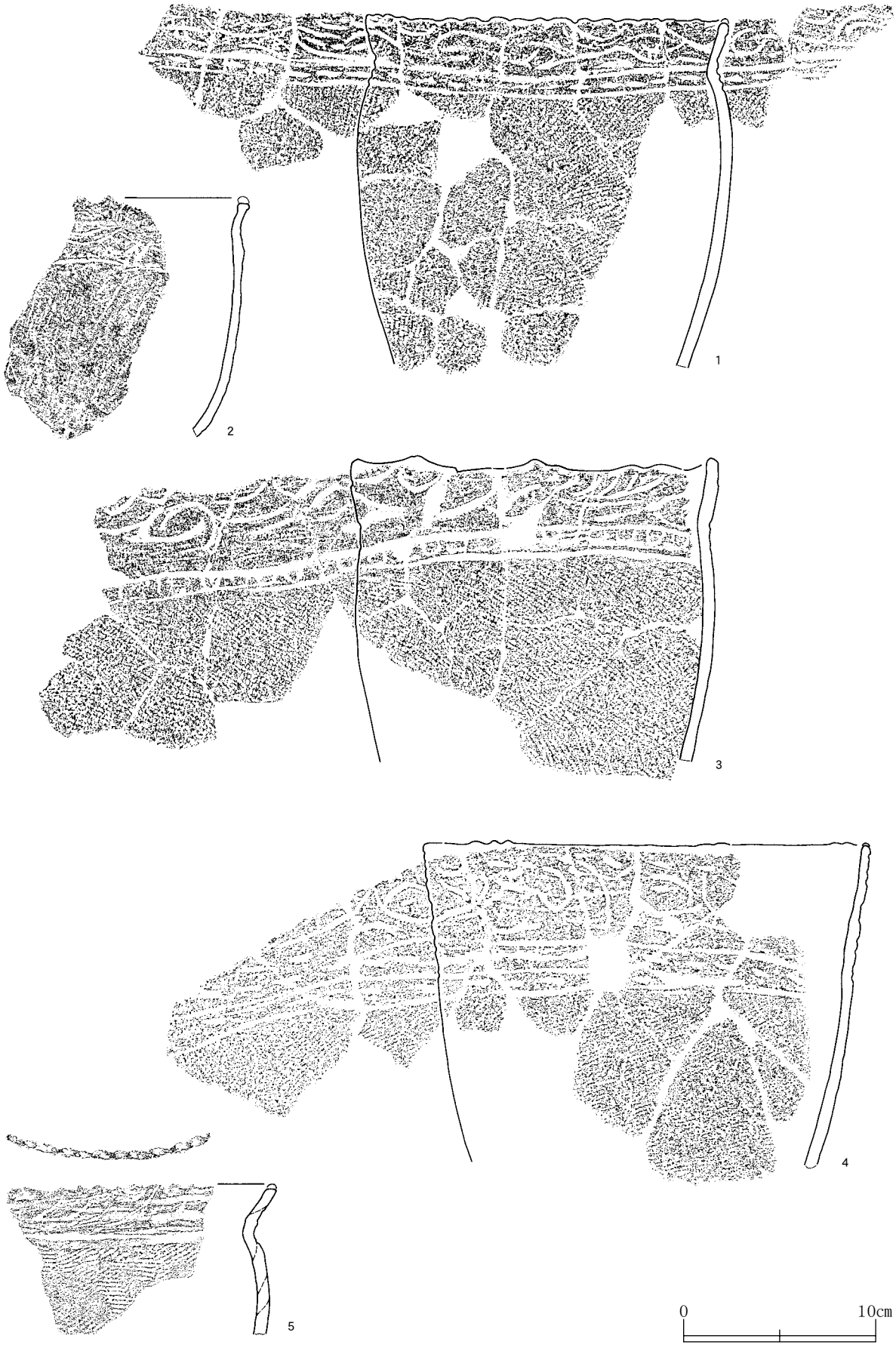
第39図　出土遺物（16）(SM60①)



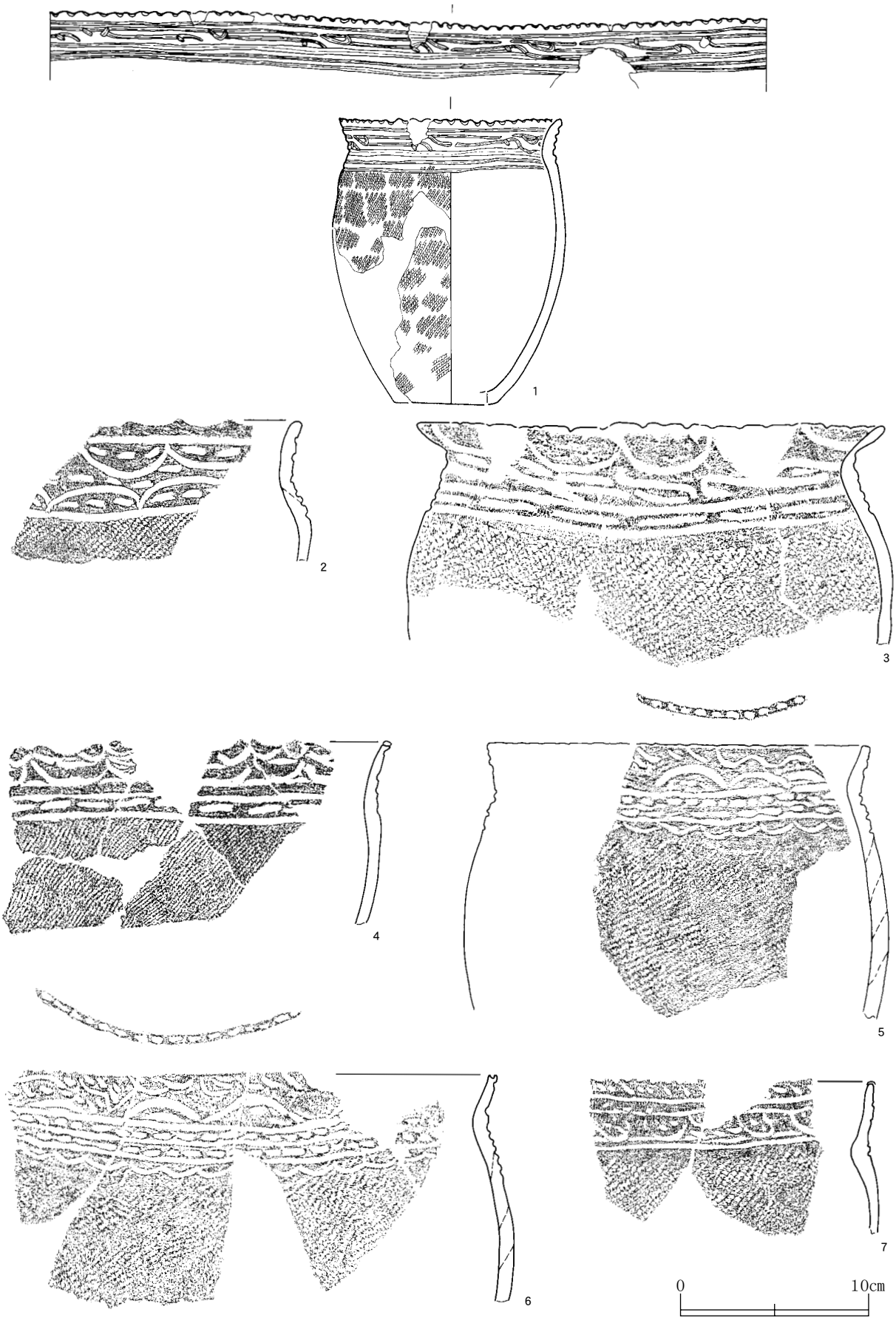
第40図　出土遺物（17）（SM60②）



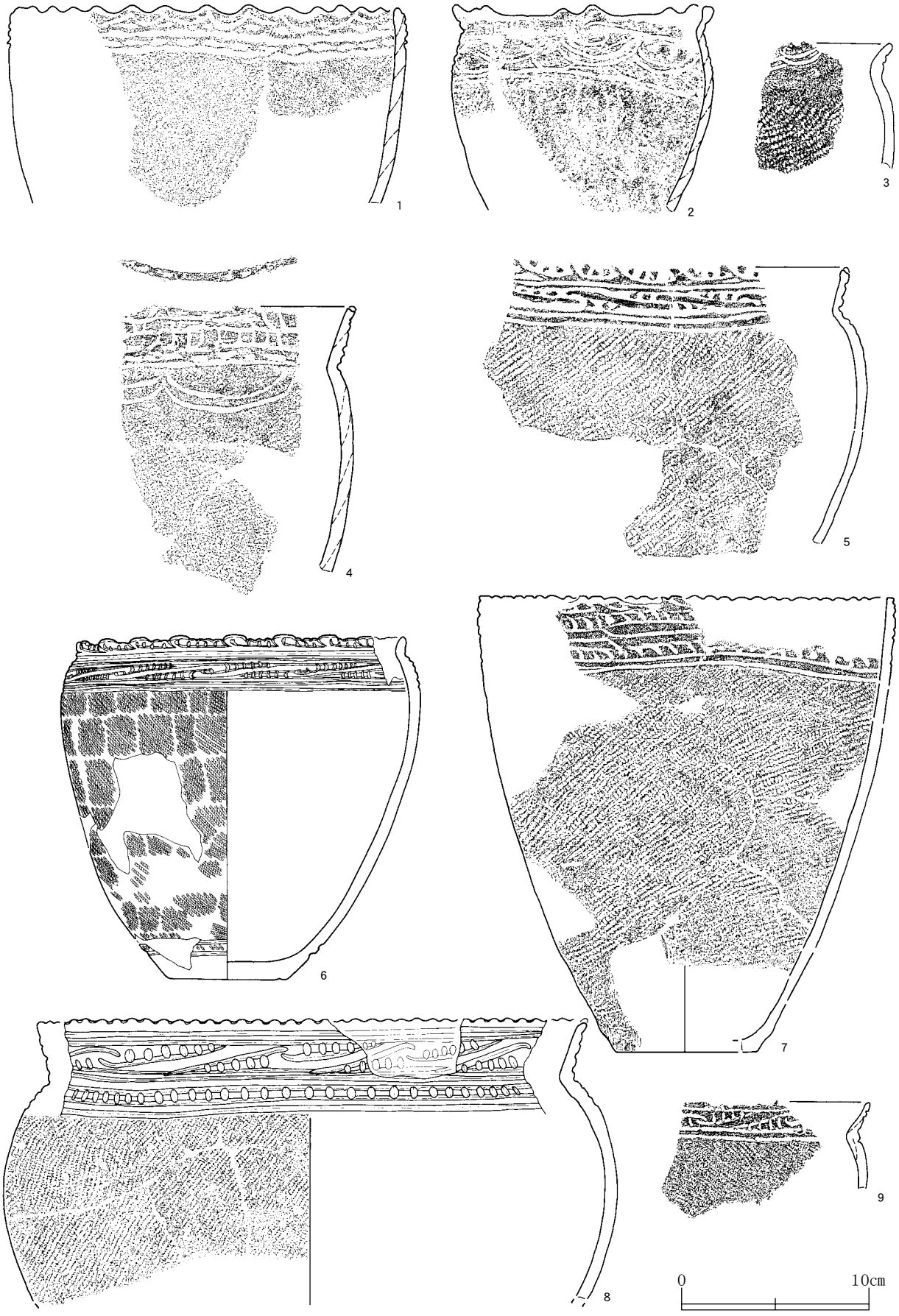
第41図　出土遺物（18）(SM60③)



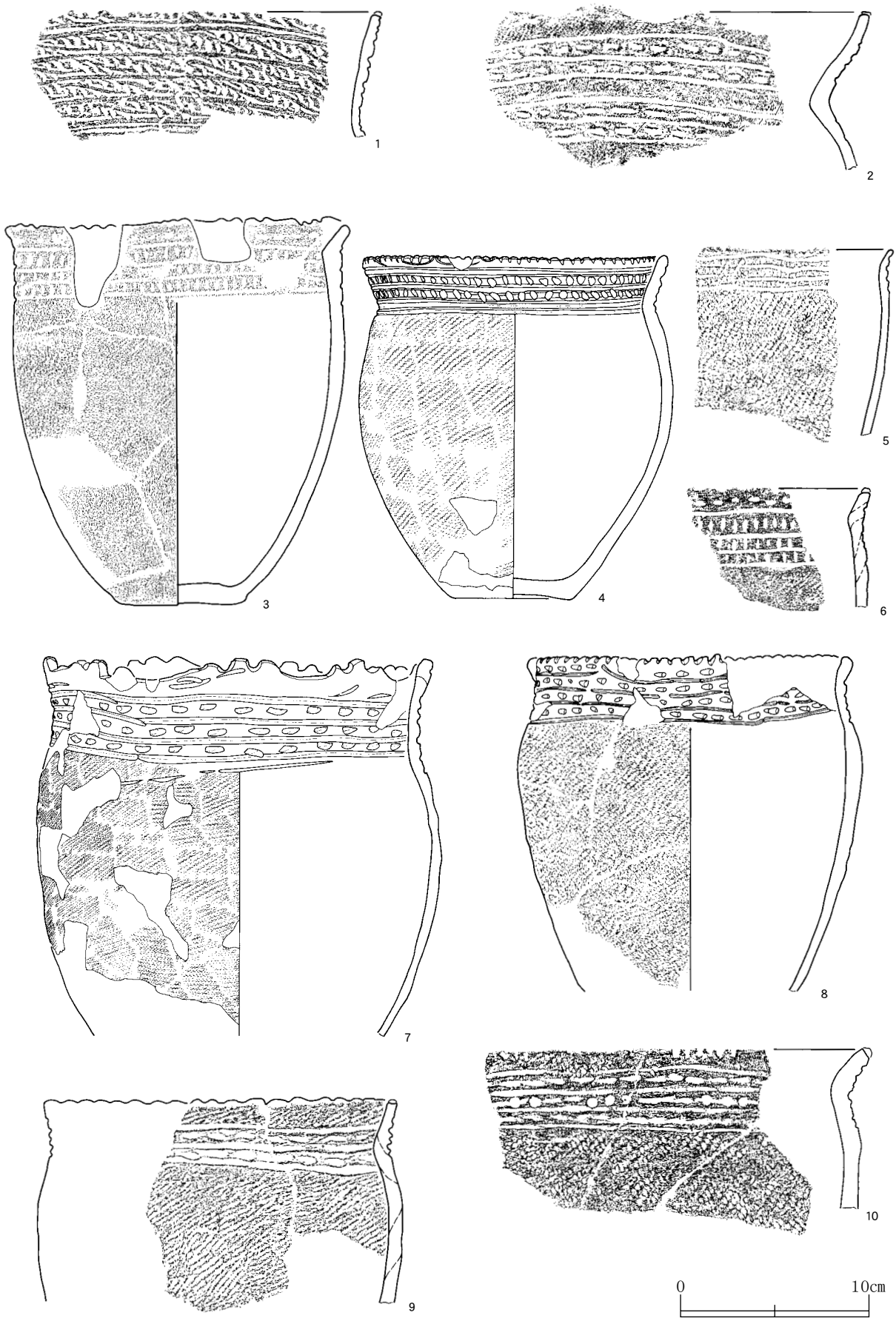
第42図　出土遺物（19）（SM60④）



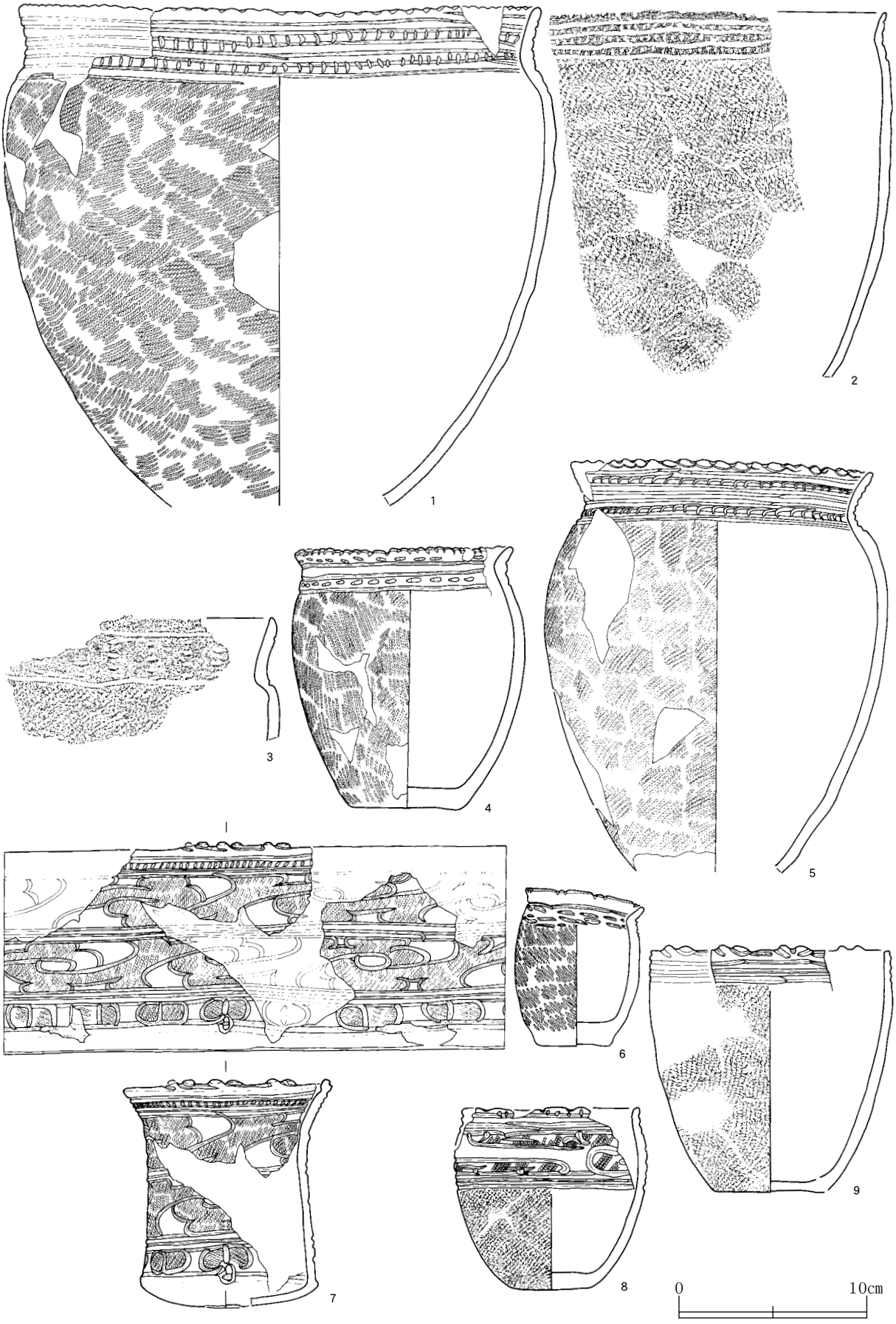
第43図　出土遺物 (20) (SM60⑤)



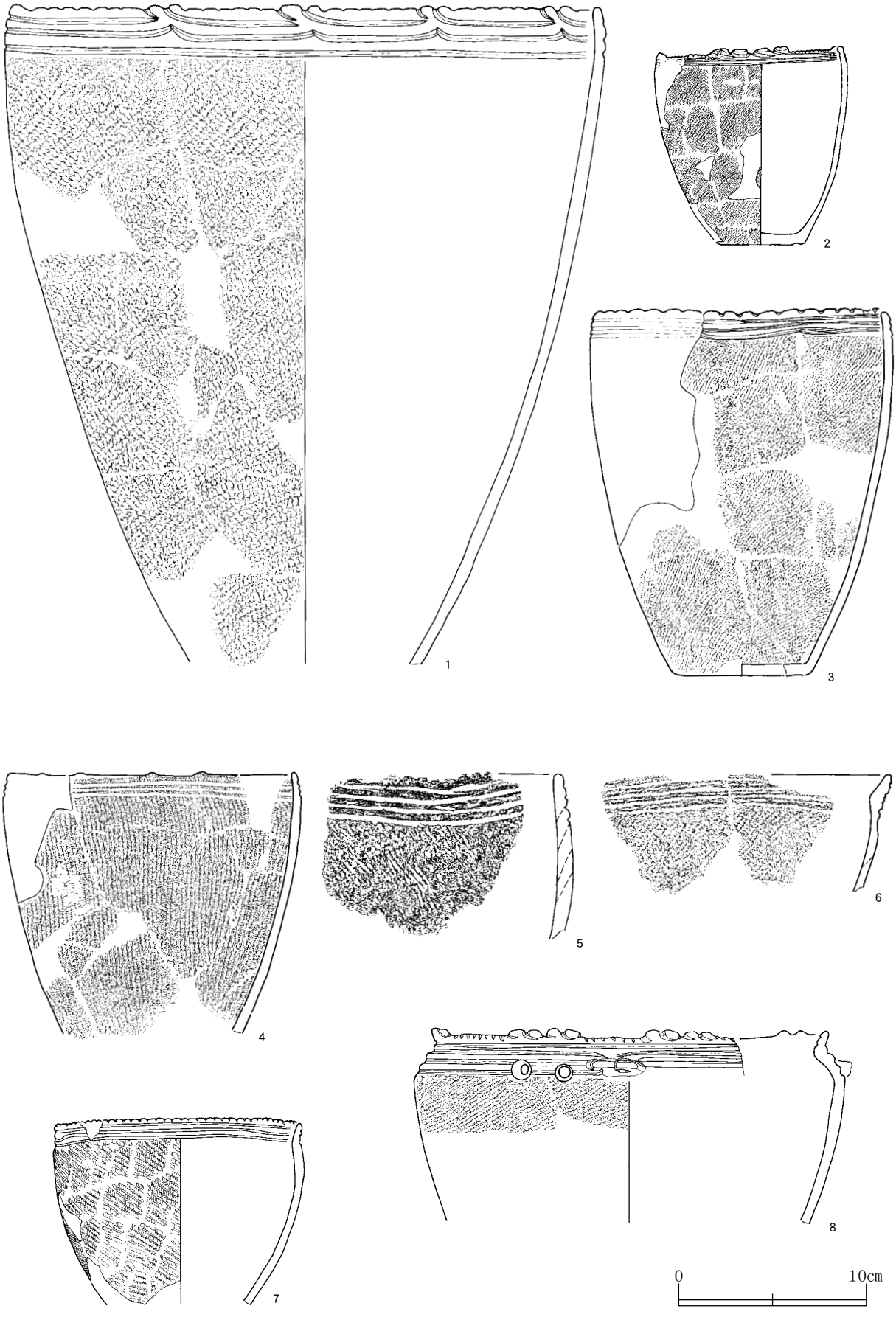
第44図　出土遺物 (21) (SM60⑥)



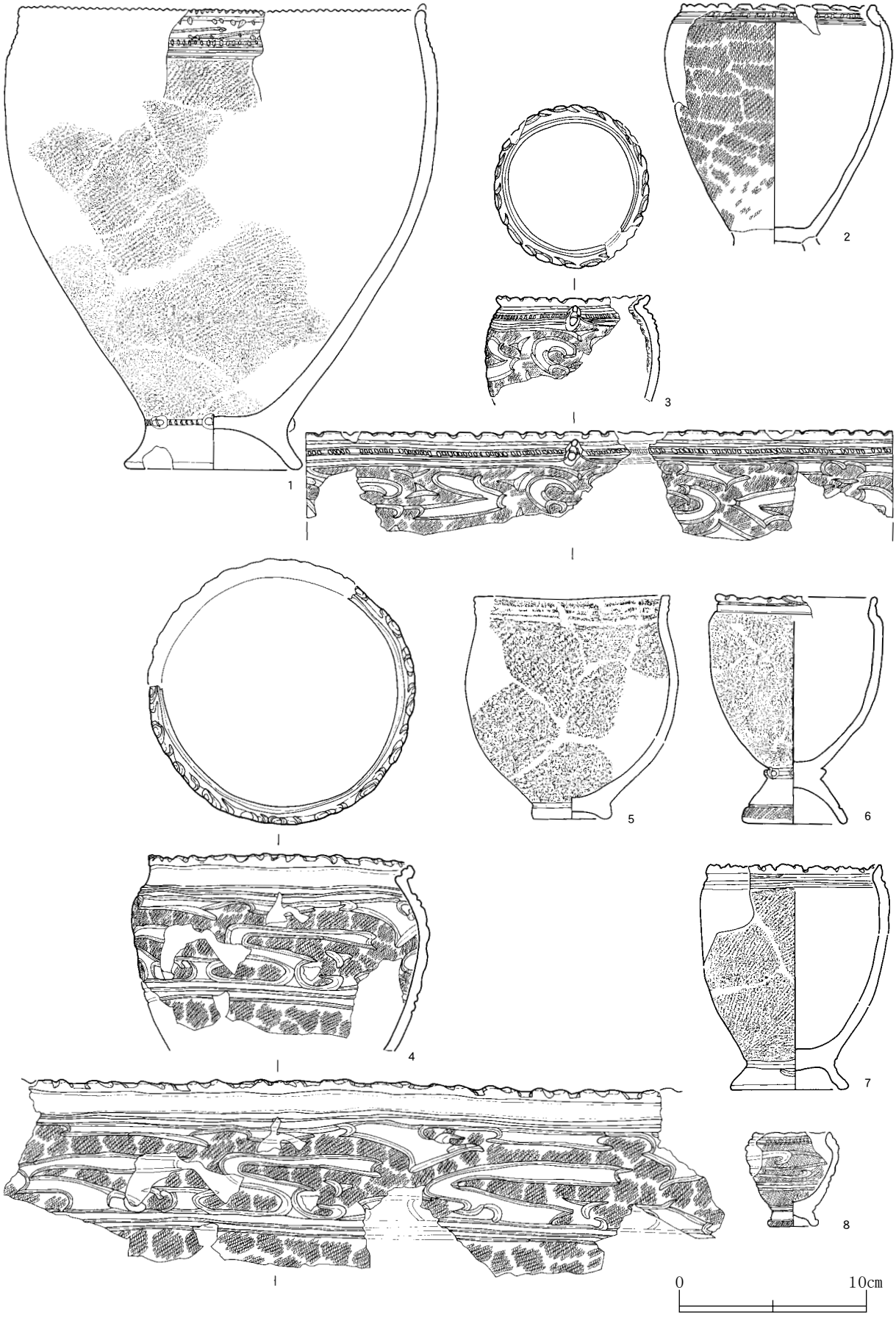
第45図　出土遺物 (22) (SM60⑦)



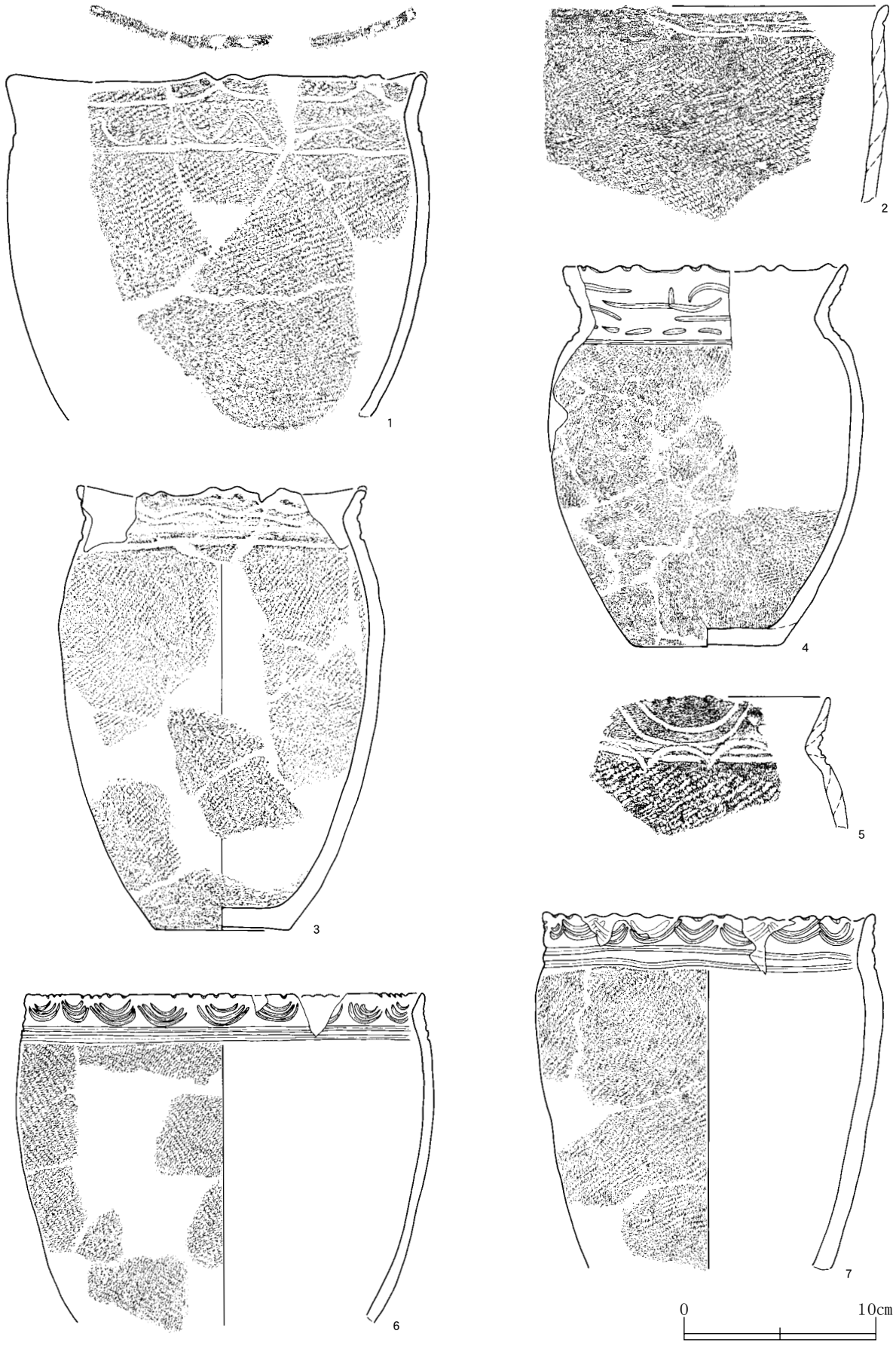
第46図　出土遺物 (23) (SM60⑧)



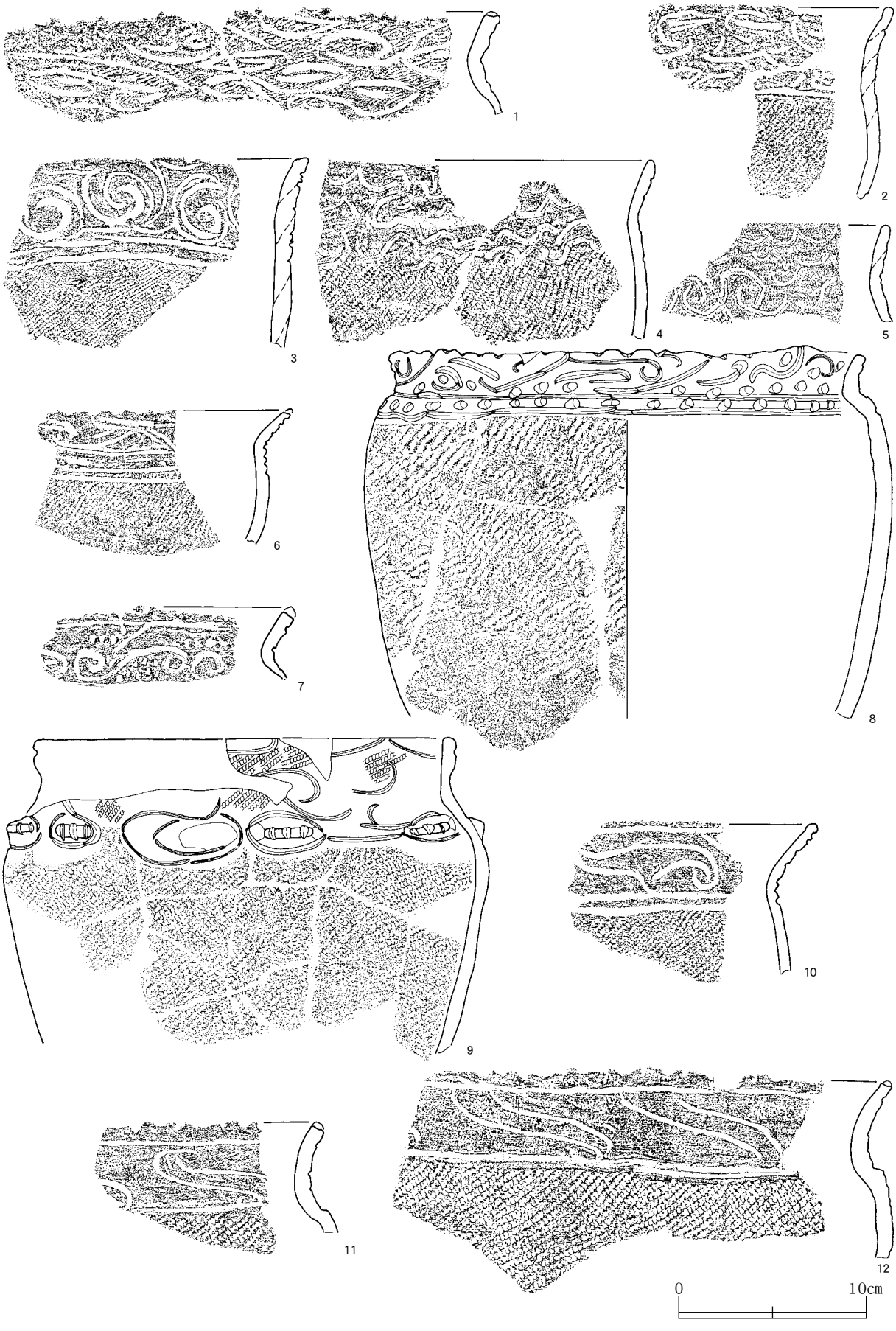
第47図　出土遺物 (24) (SM60⑨)



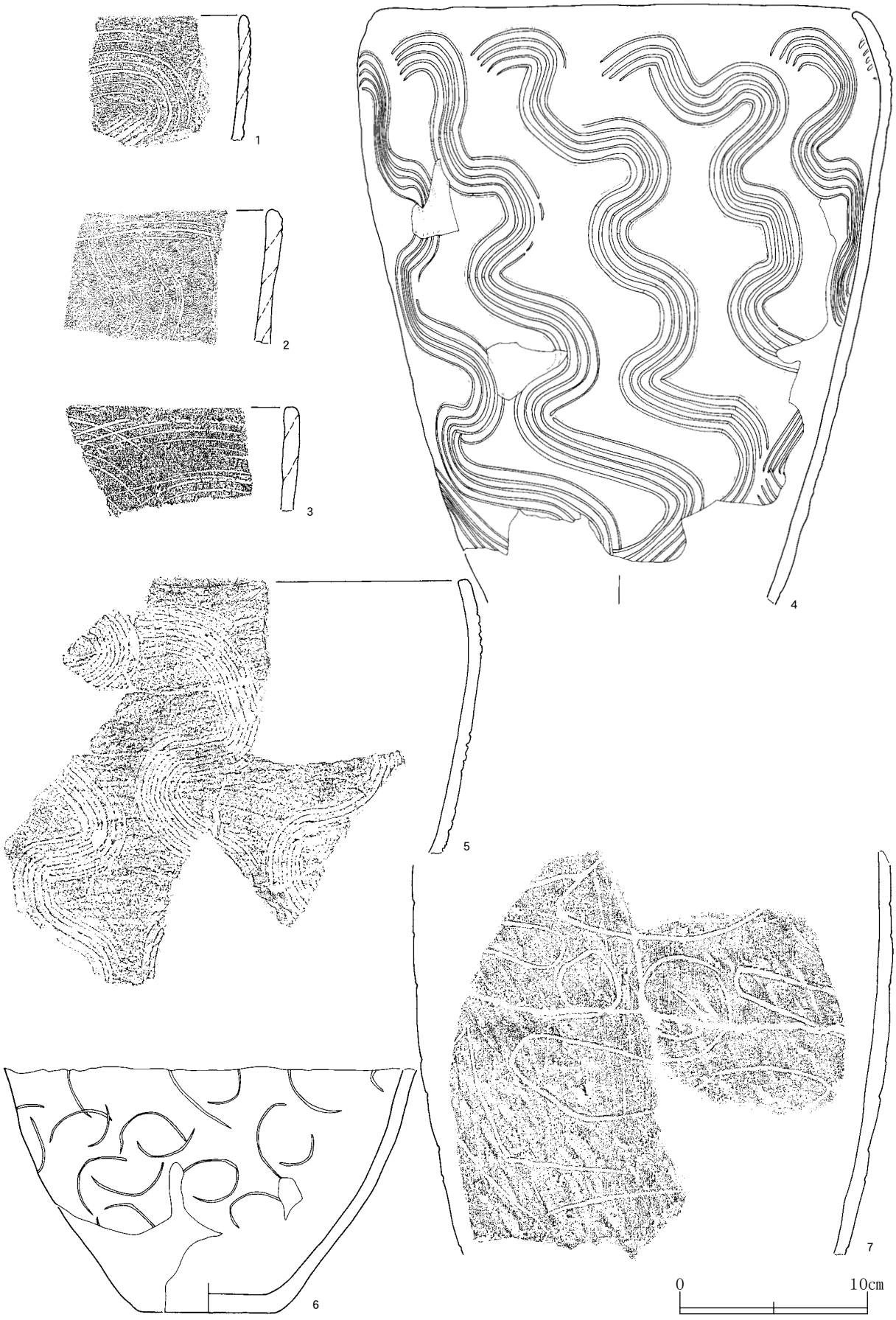
第48図　出土遺物 (25) (SM60⑩)



第49図　出土遺物 (26) (SM60Ⅱ)

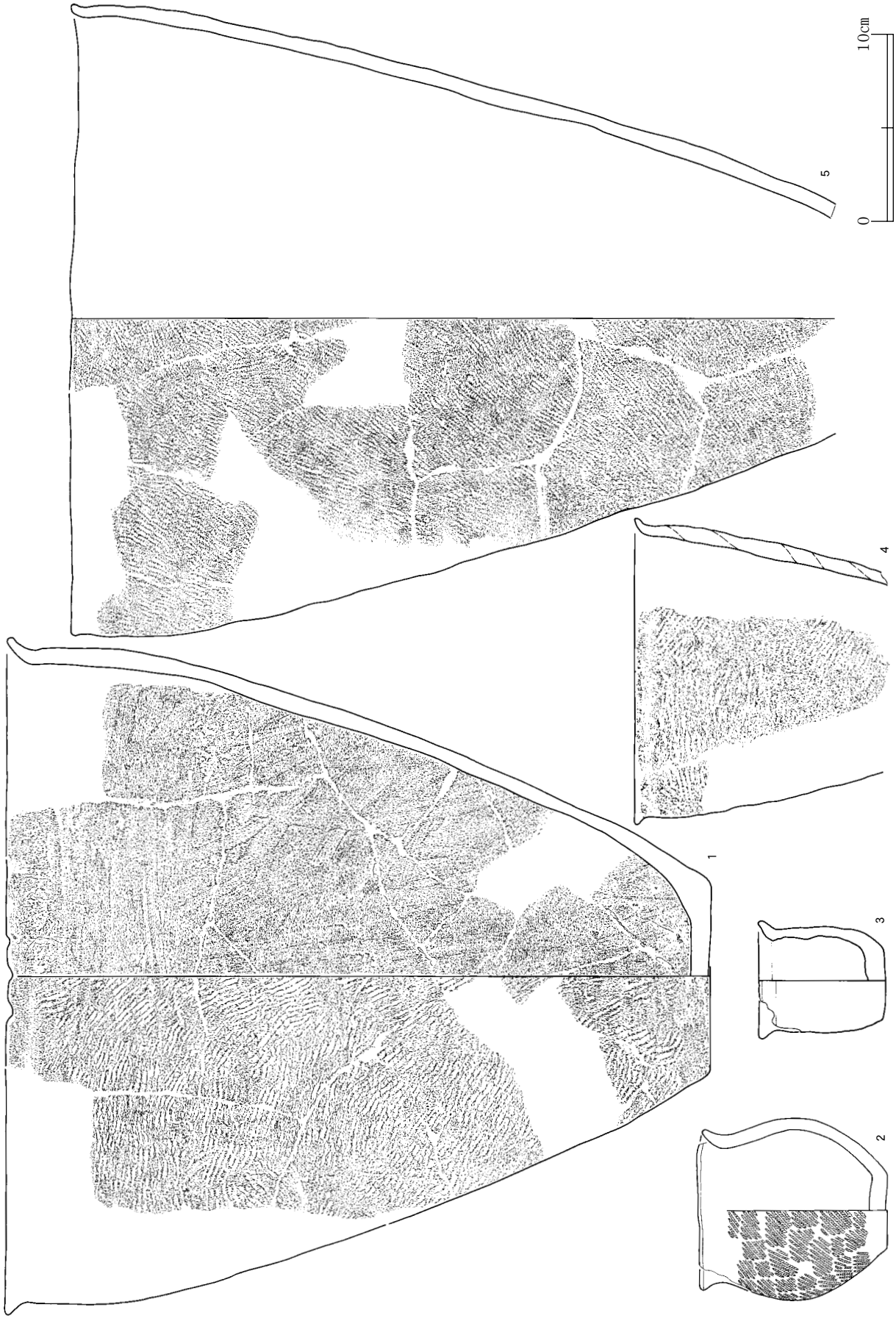


第50図　出土遺物 (27) (SM60⑫)

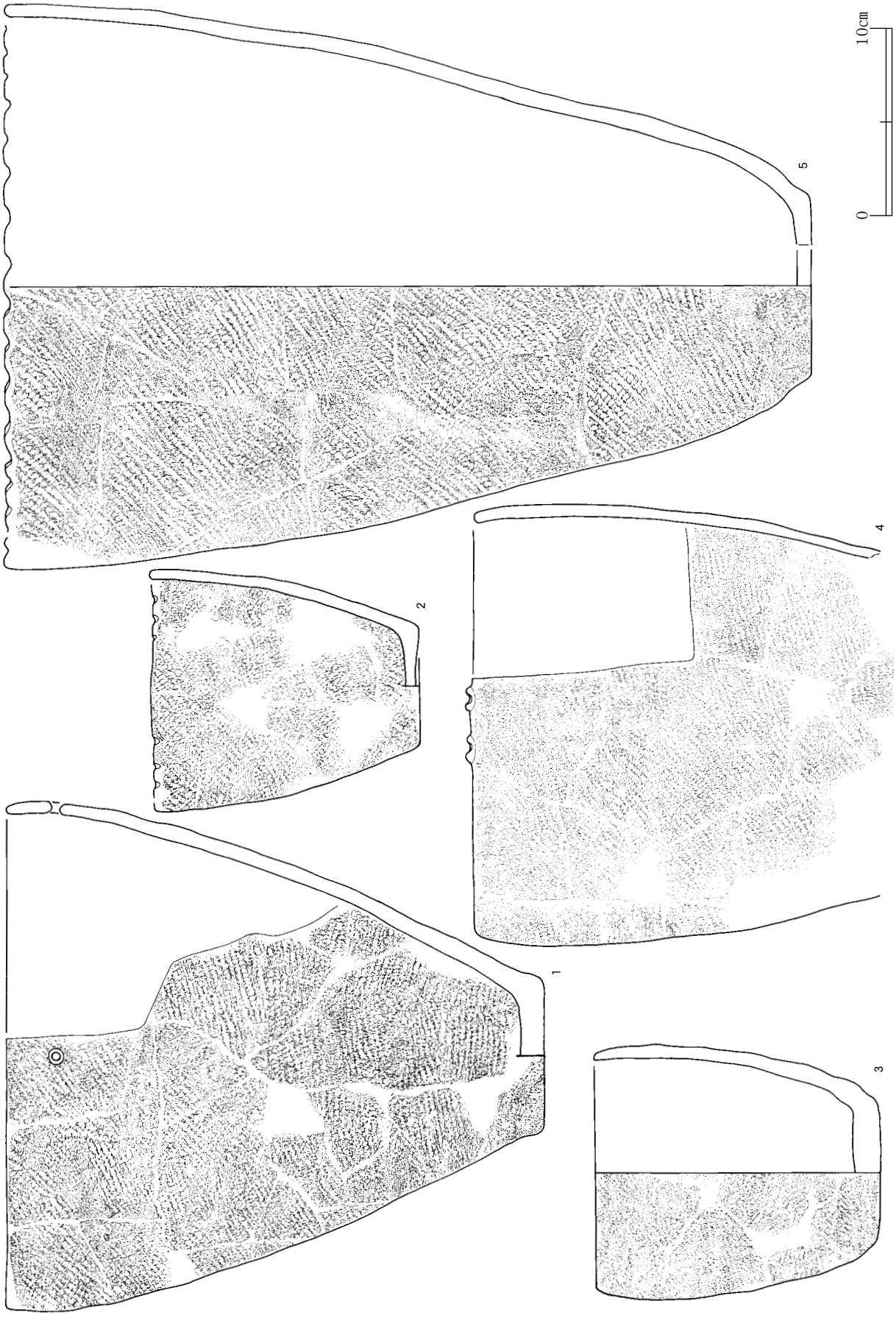


第51図　出土遺物 (28) (SM60⑬)

第52図　出土遺物 (29) (SM60⑭)



第53図　出土遺物 (30) (SM60⑮)



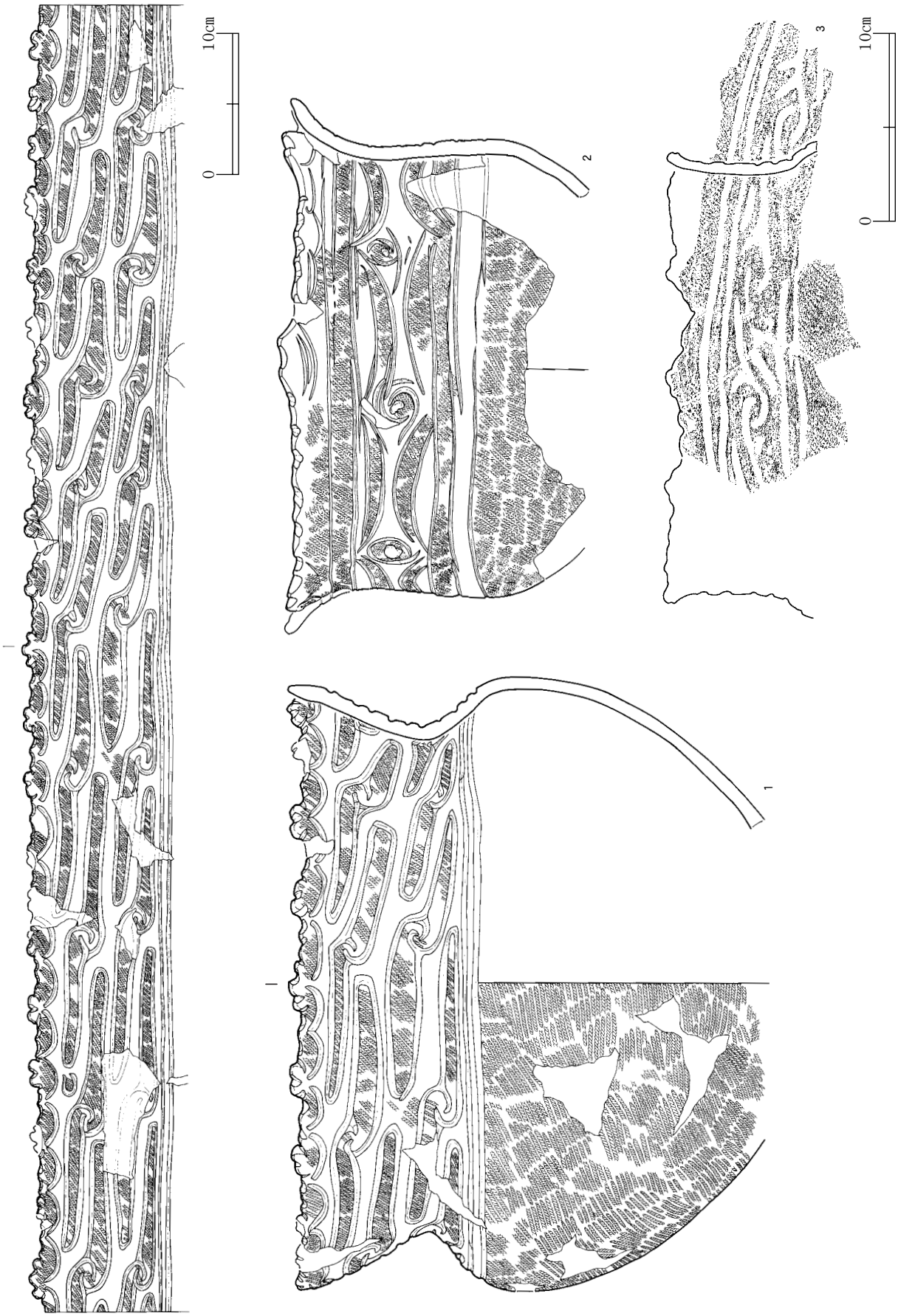
第54図　出土遺物（31）（SM60⑯）

第55図　出土遺物 (32) (SM60㊦)

第56図　出土遺物 (33) (SM60⑱)

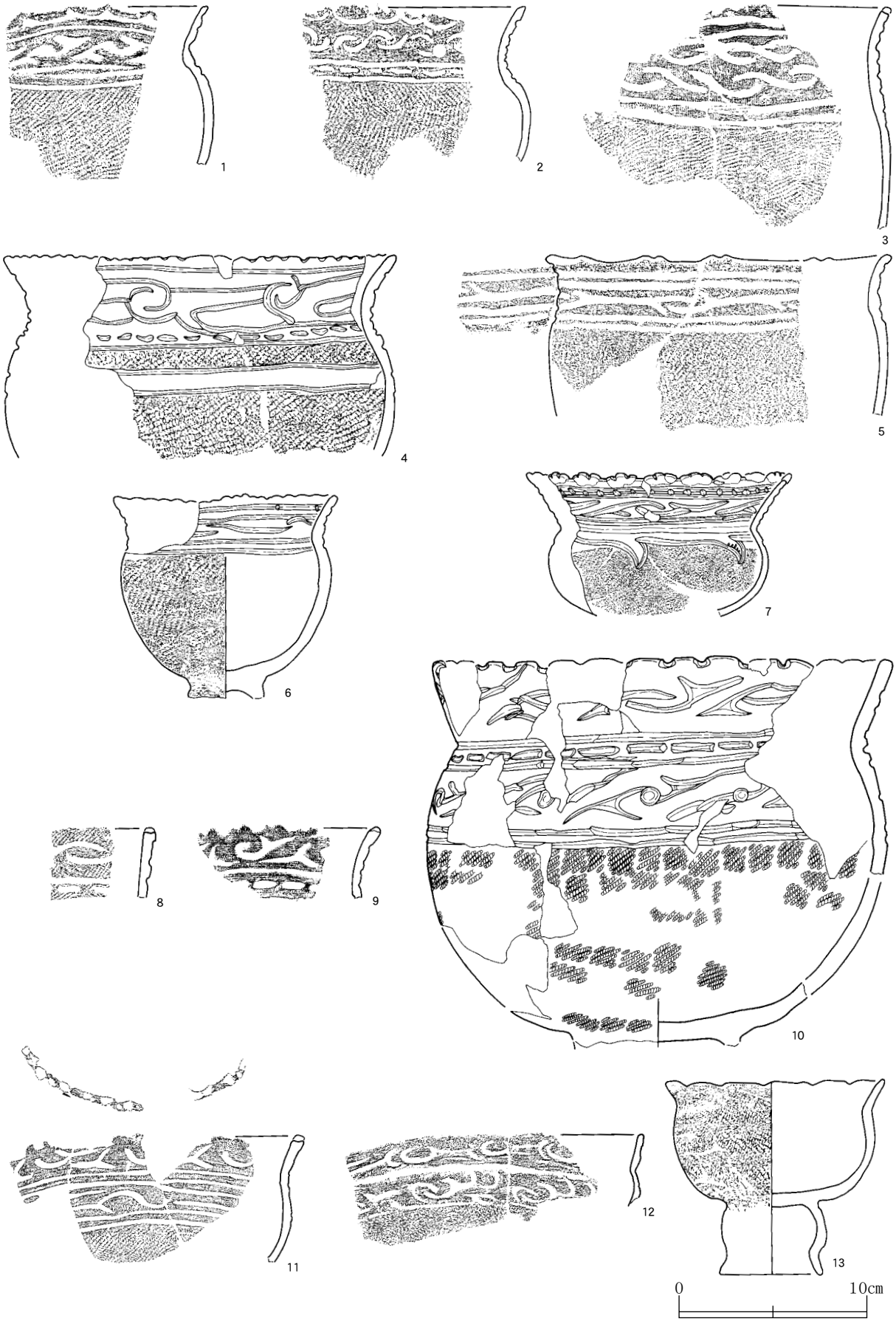
第57図　出土遺物 (34) (SM60⑲)

第58図　出土遺物（35）（SM60⑳）

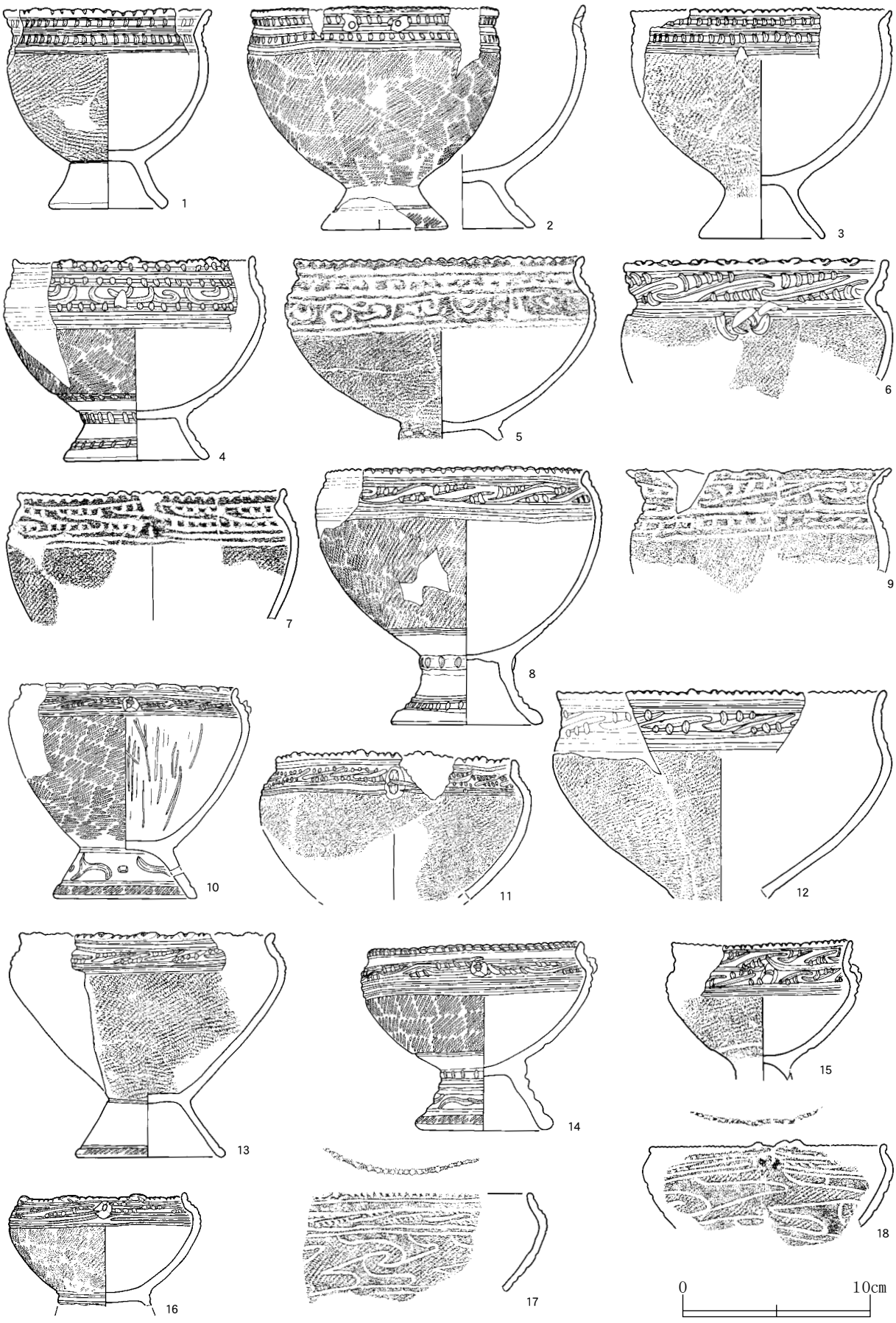


第59図　出土遺物（36）（SM60㉑）

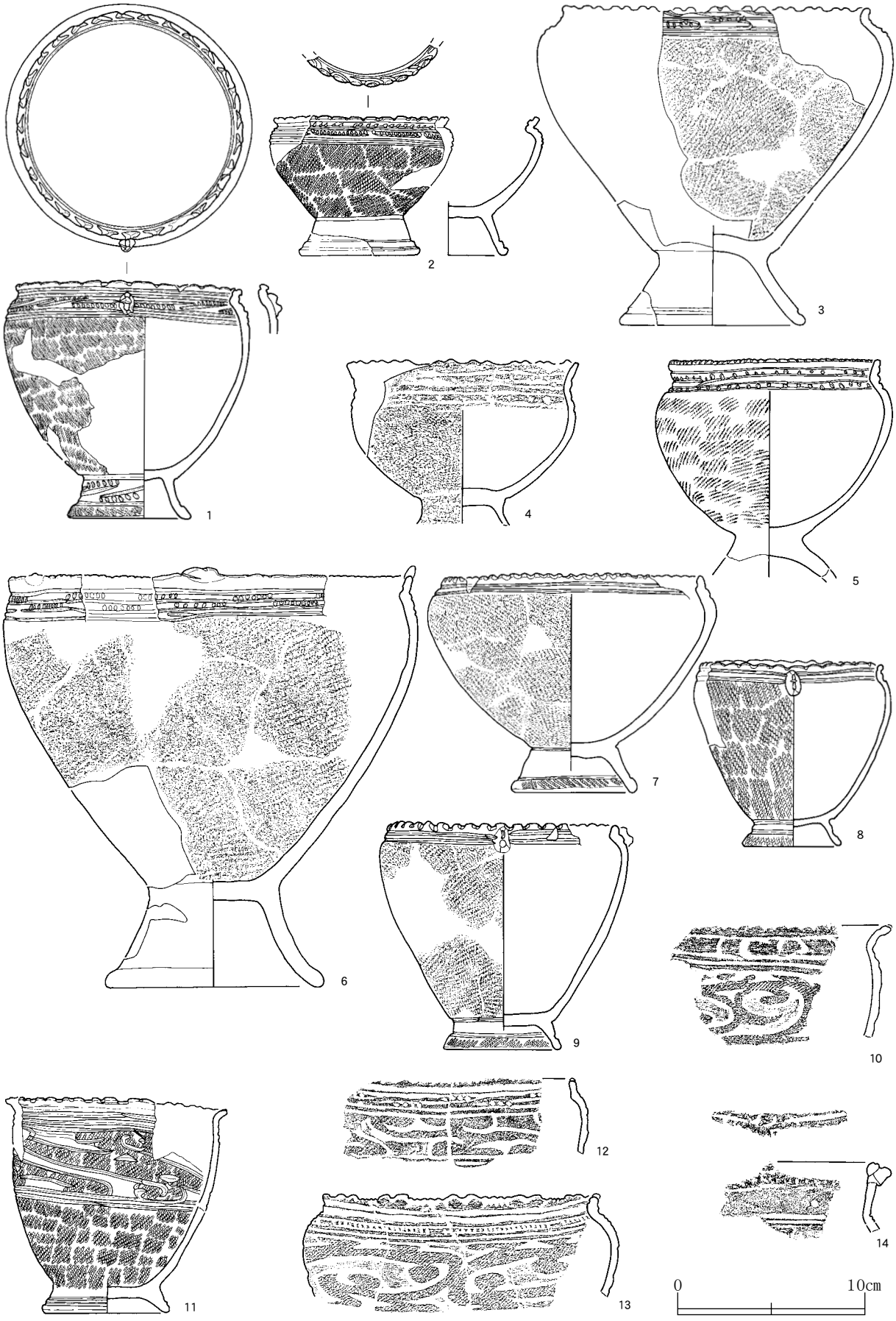
第60図　出土遺物 (37) (SM60㉒)



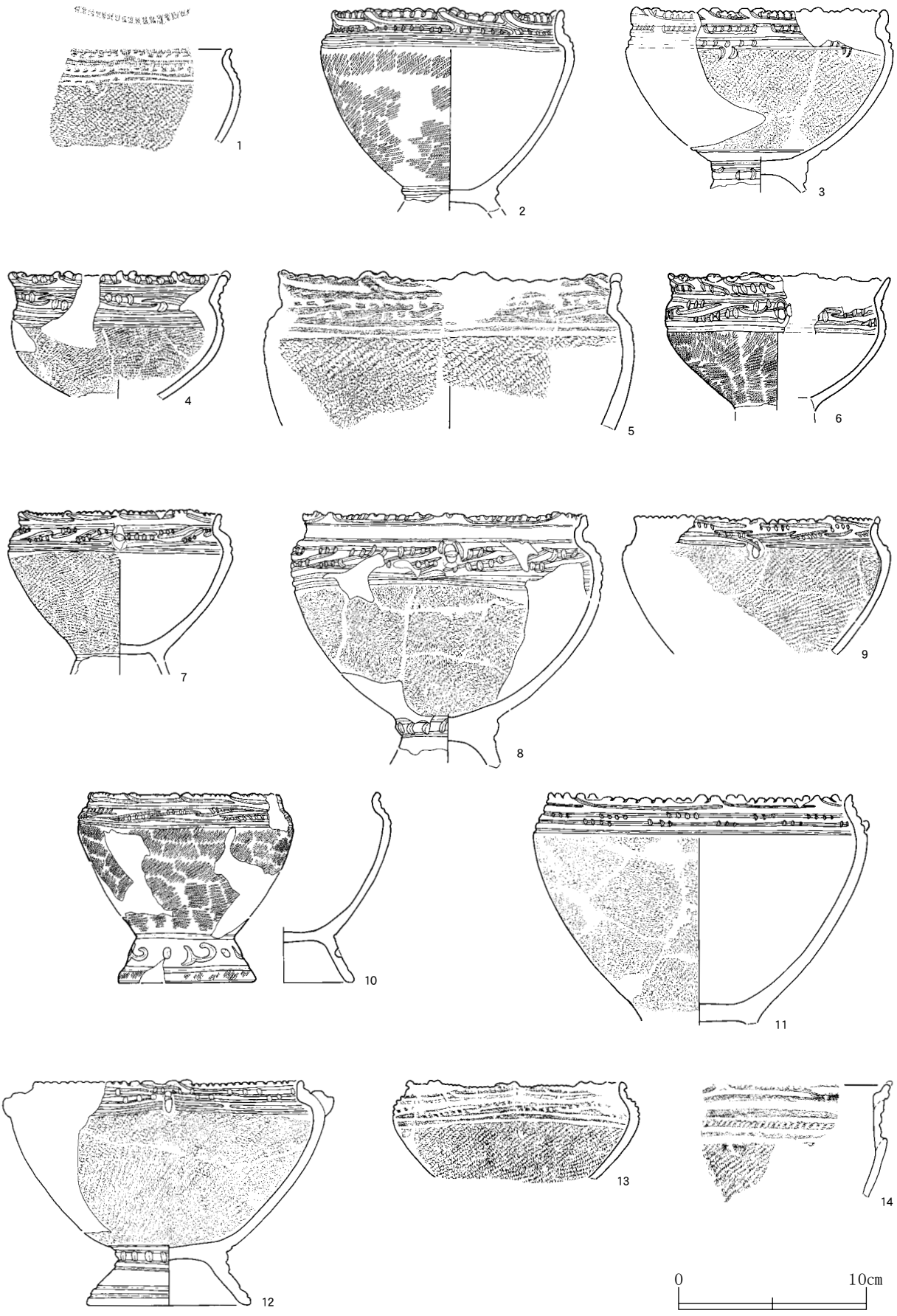
第61図　出土遺物 (38) (SM60㉓)



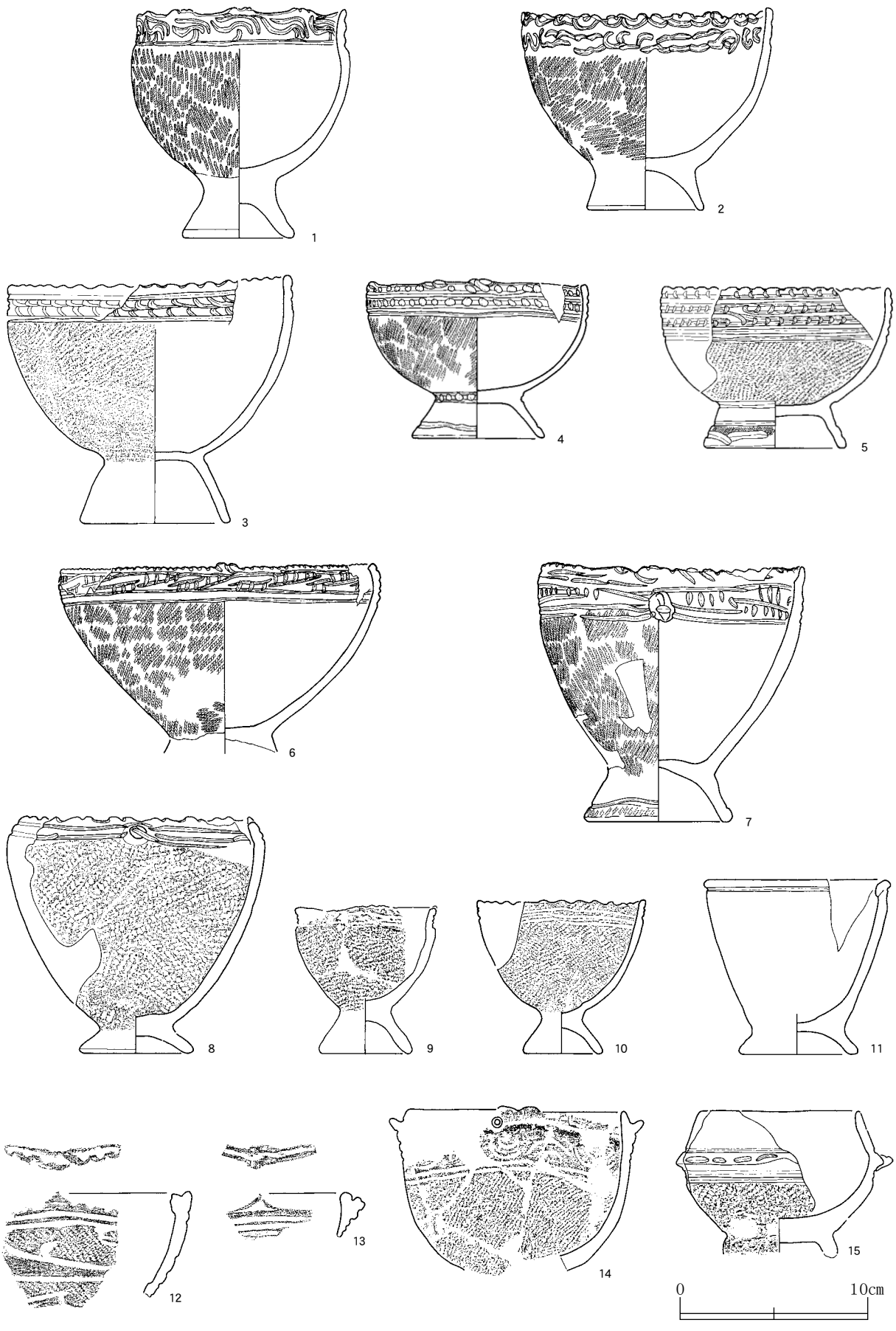
第62図　出土遺物 (39) (SM60㉔)



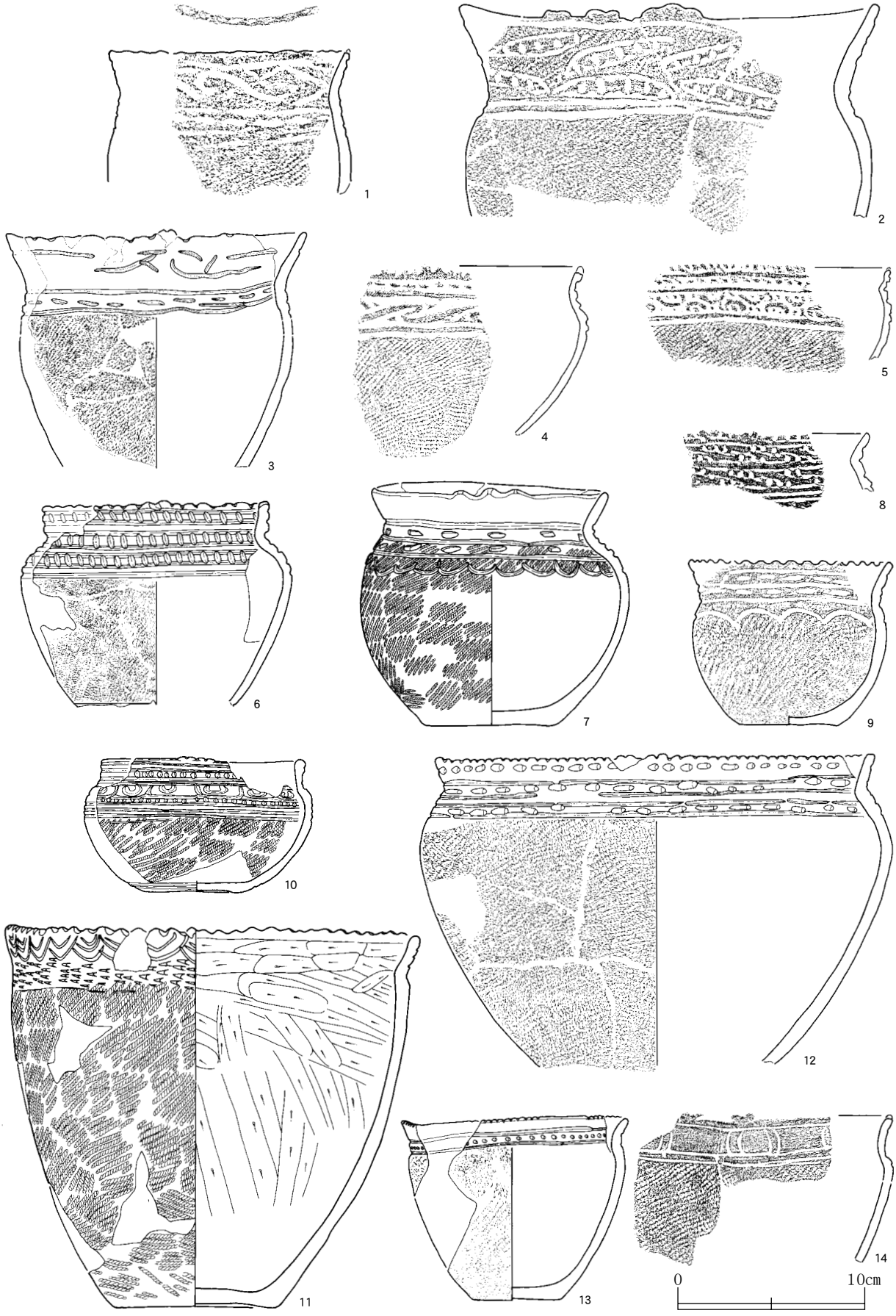
第63図　出土遺物 (40) (SM60㉕)



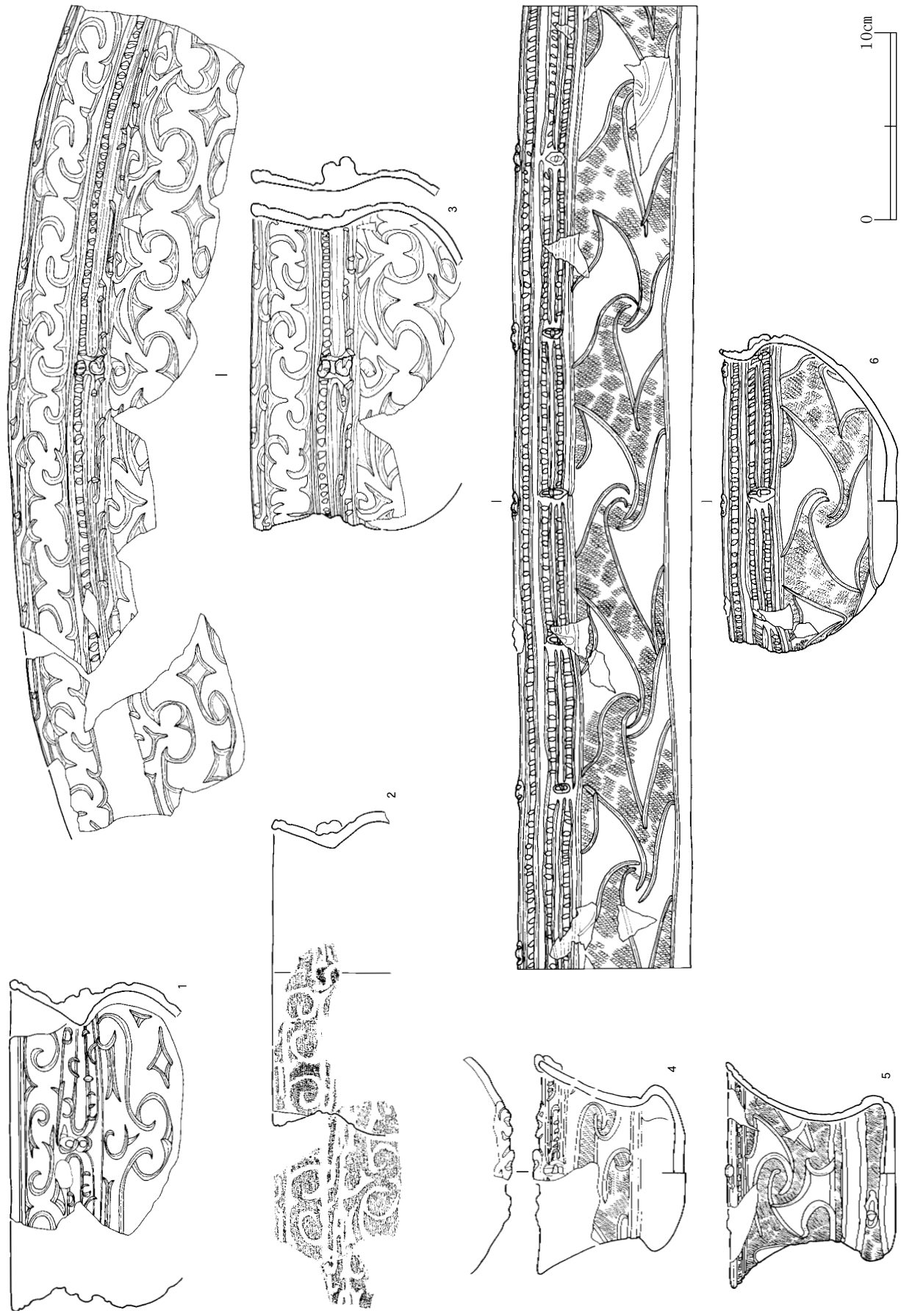
第64図　出土遺物 (41) (SM60㉖)



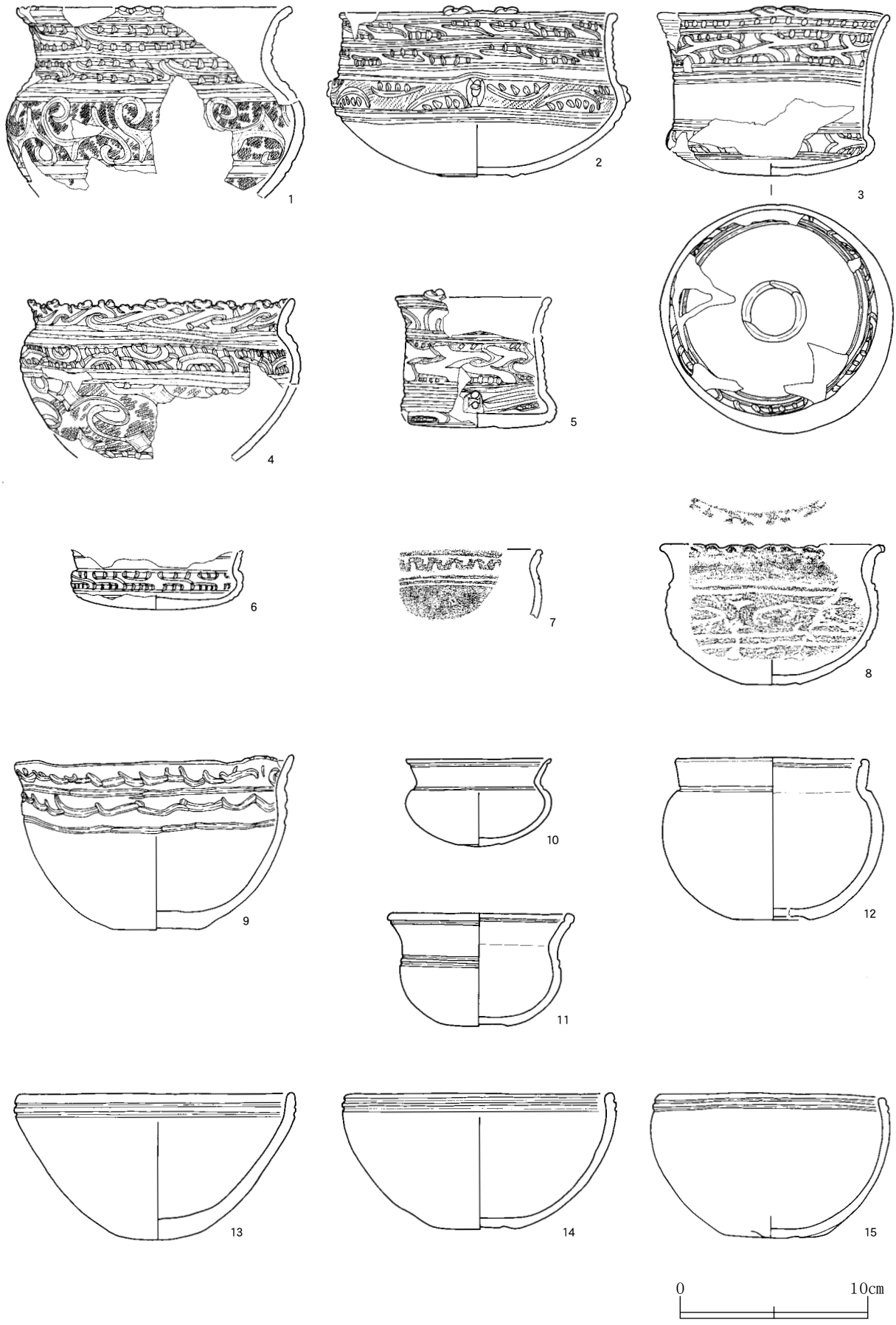
第65図　出土遺物 (42) (SM60㉗)



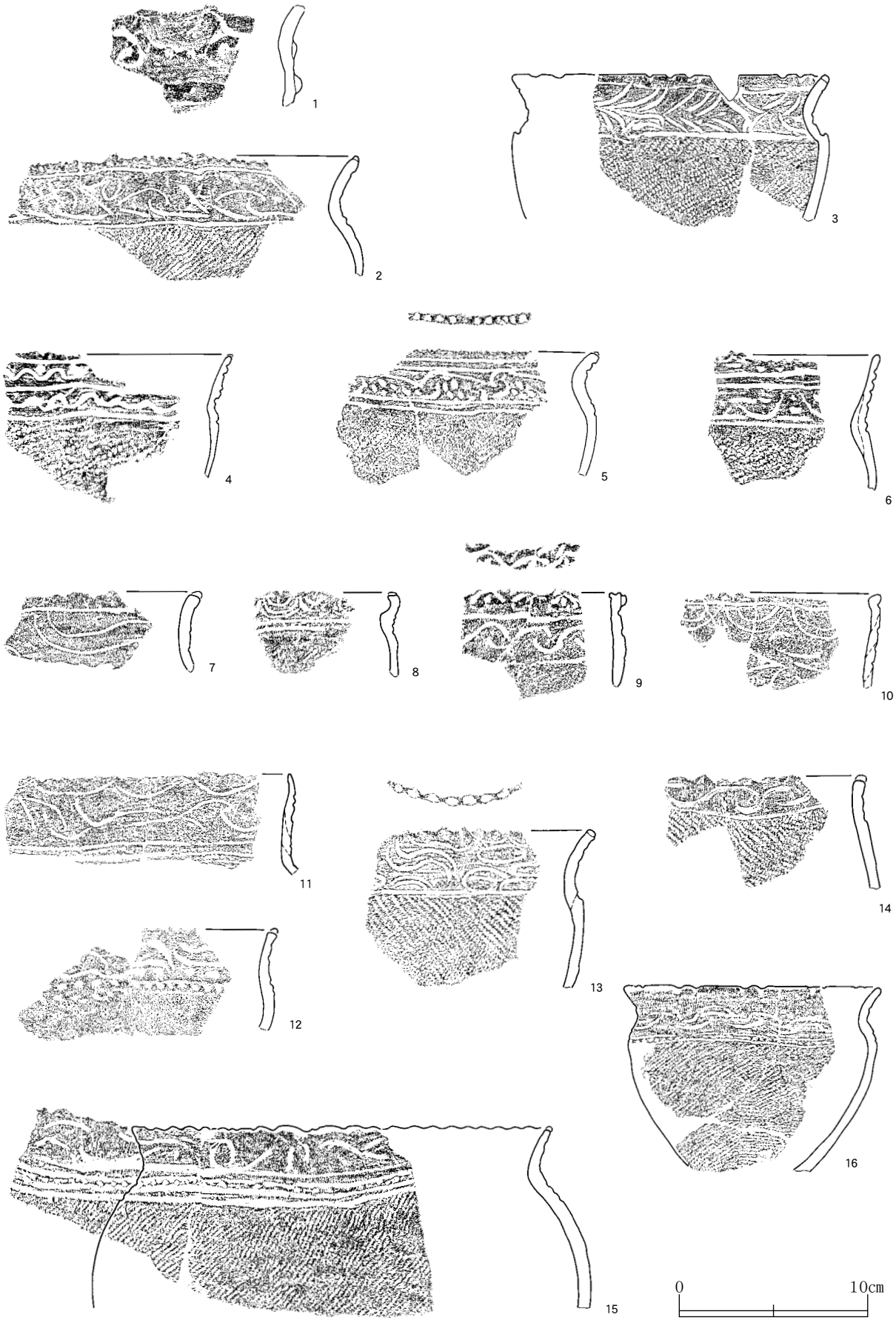
第66図　出土遺物 (43) (SM60㉘)



第67図　出土遺物 (44) (SM60㉙)

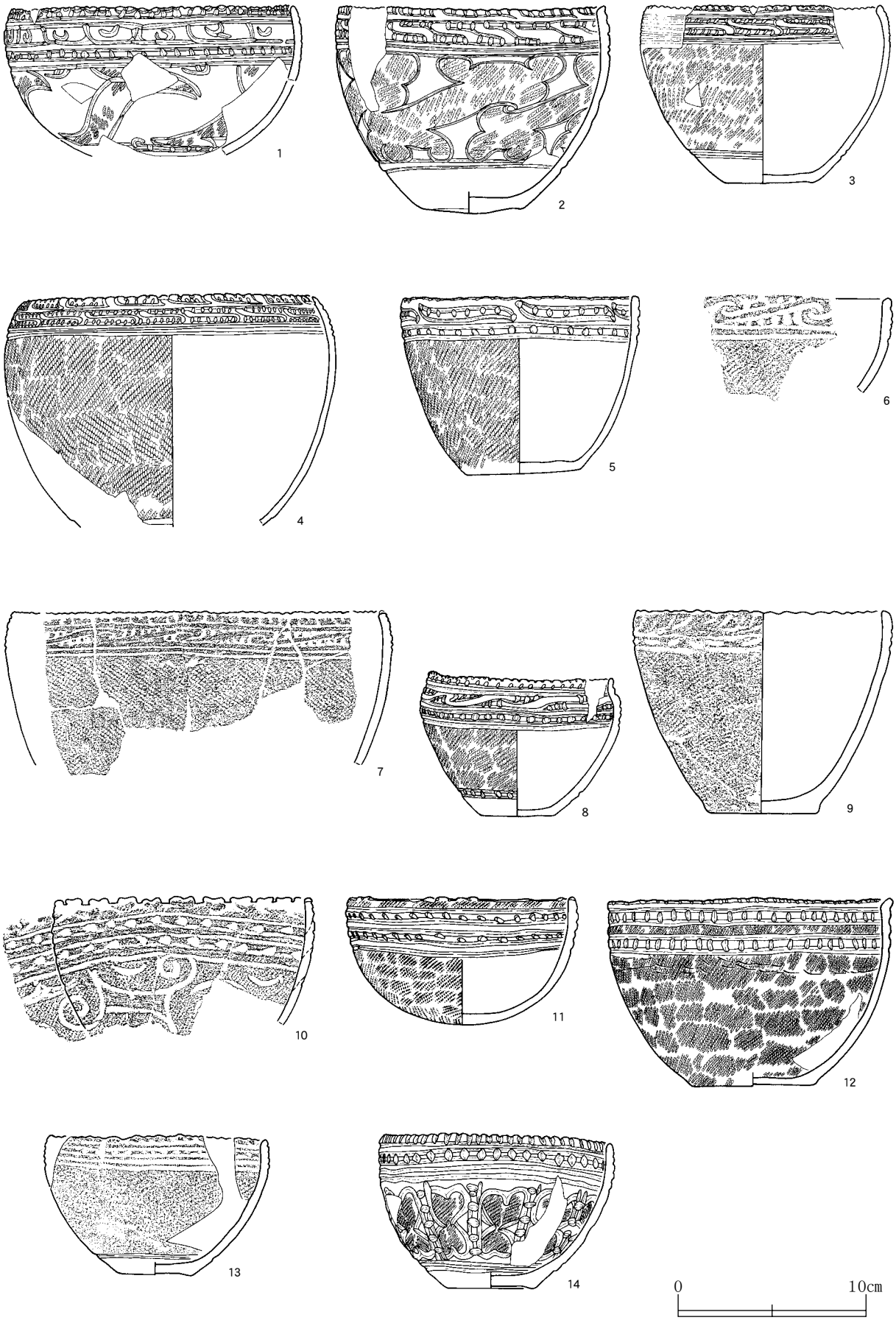


第68図　出土遺物（45）（SM60㉚）

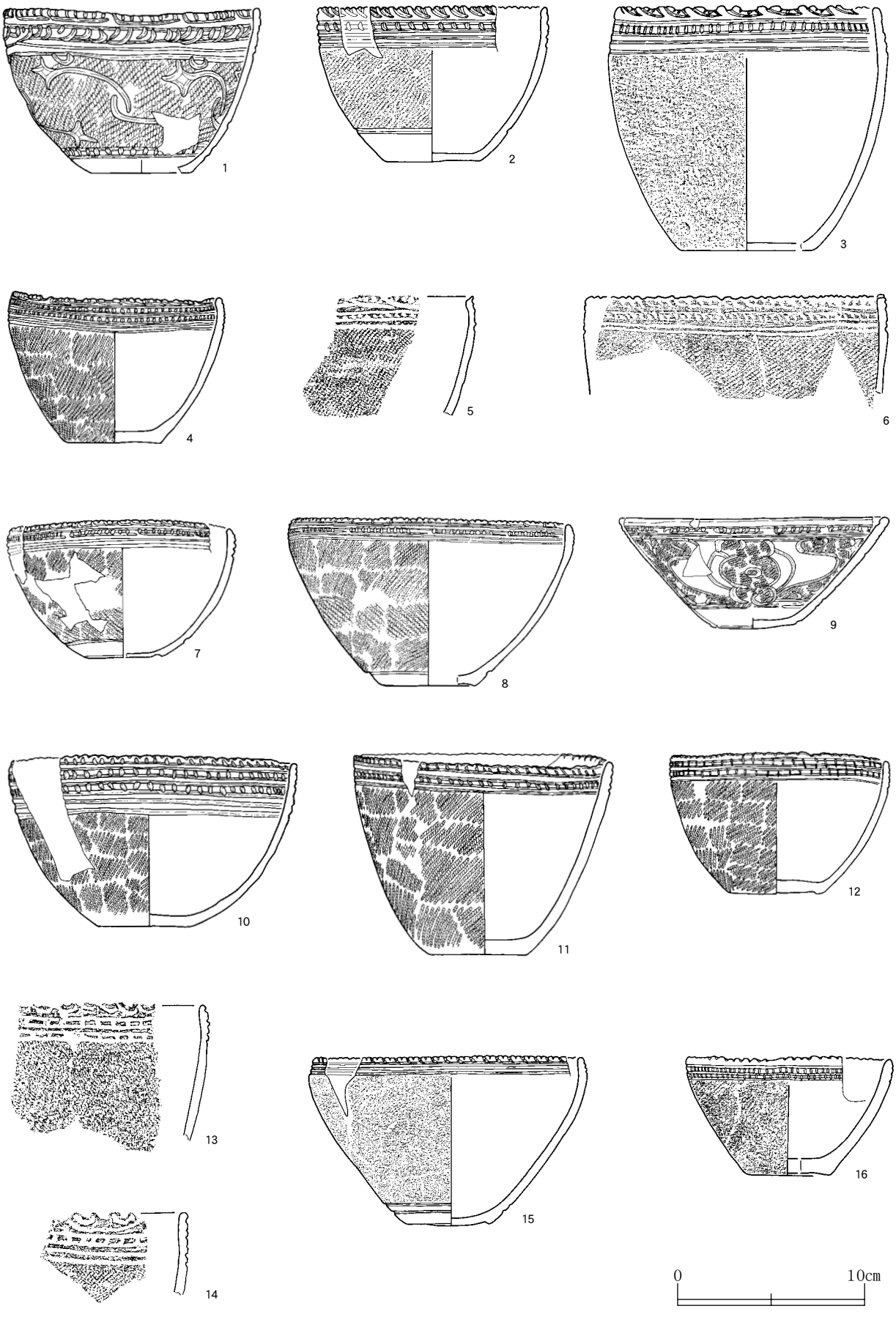


第69図　出土遺物 (46) (SM60㉛)

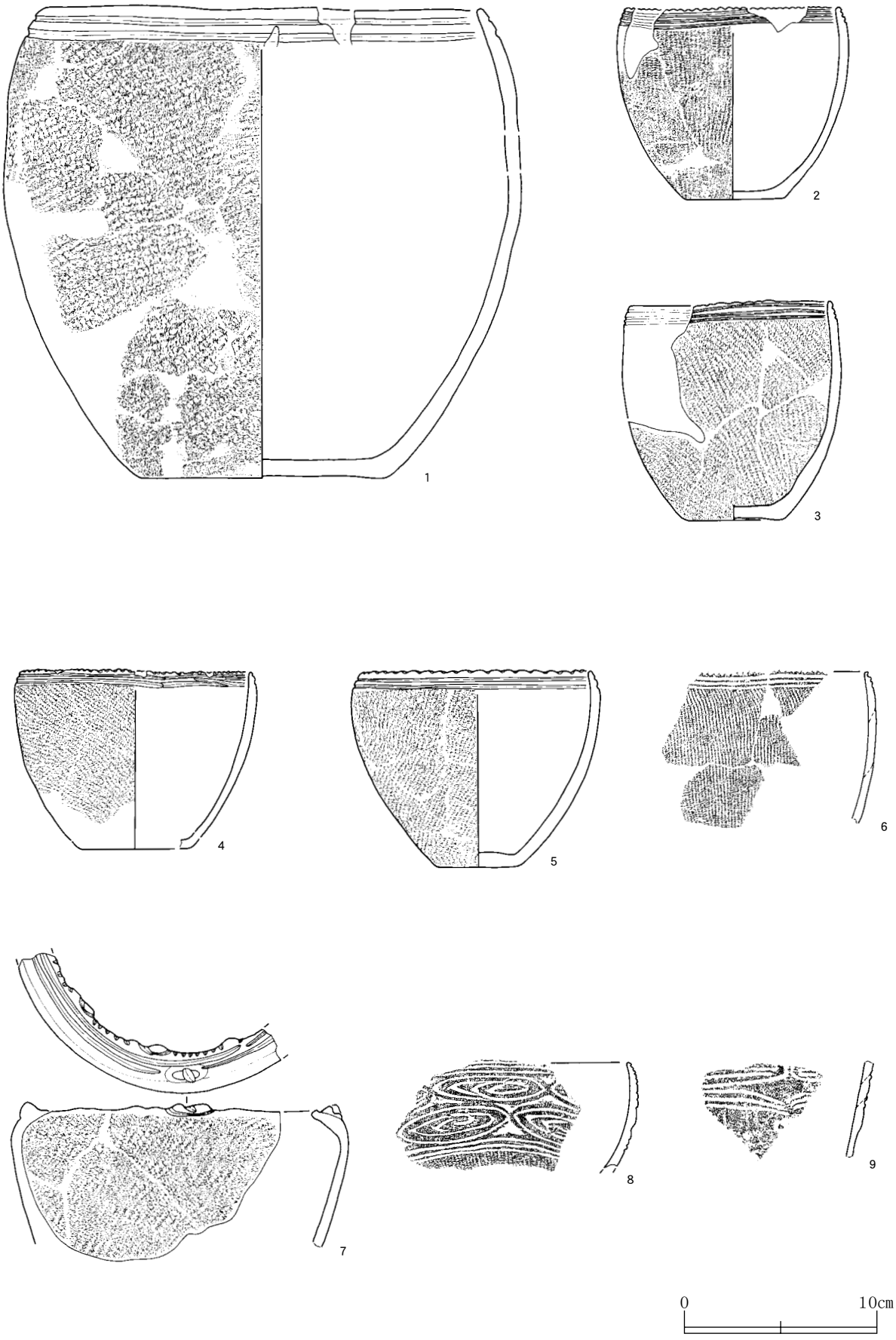
第70図　出土遺物（47）（SM60㉜）



第71図　出土遺物 (48) (SM60㉝)

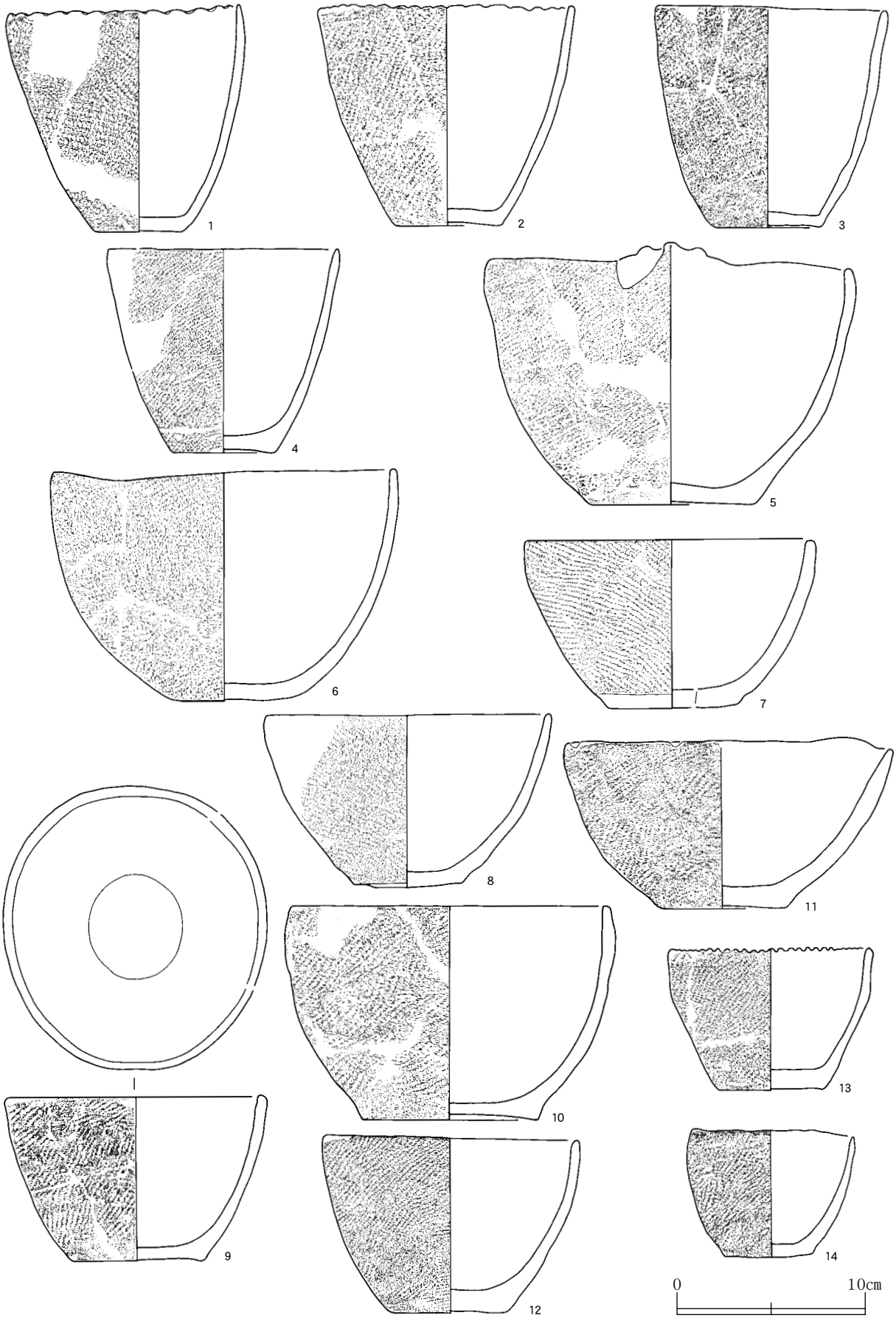


第72図　出土遺物 (49) (SM60㉞)

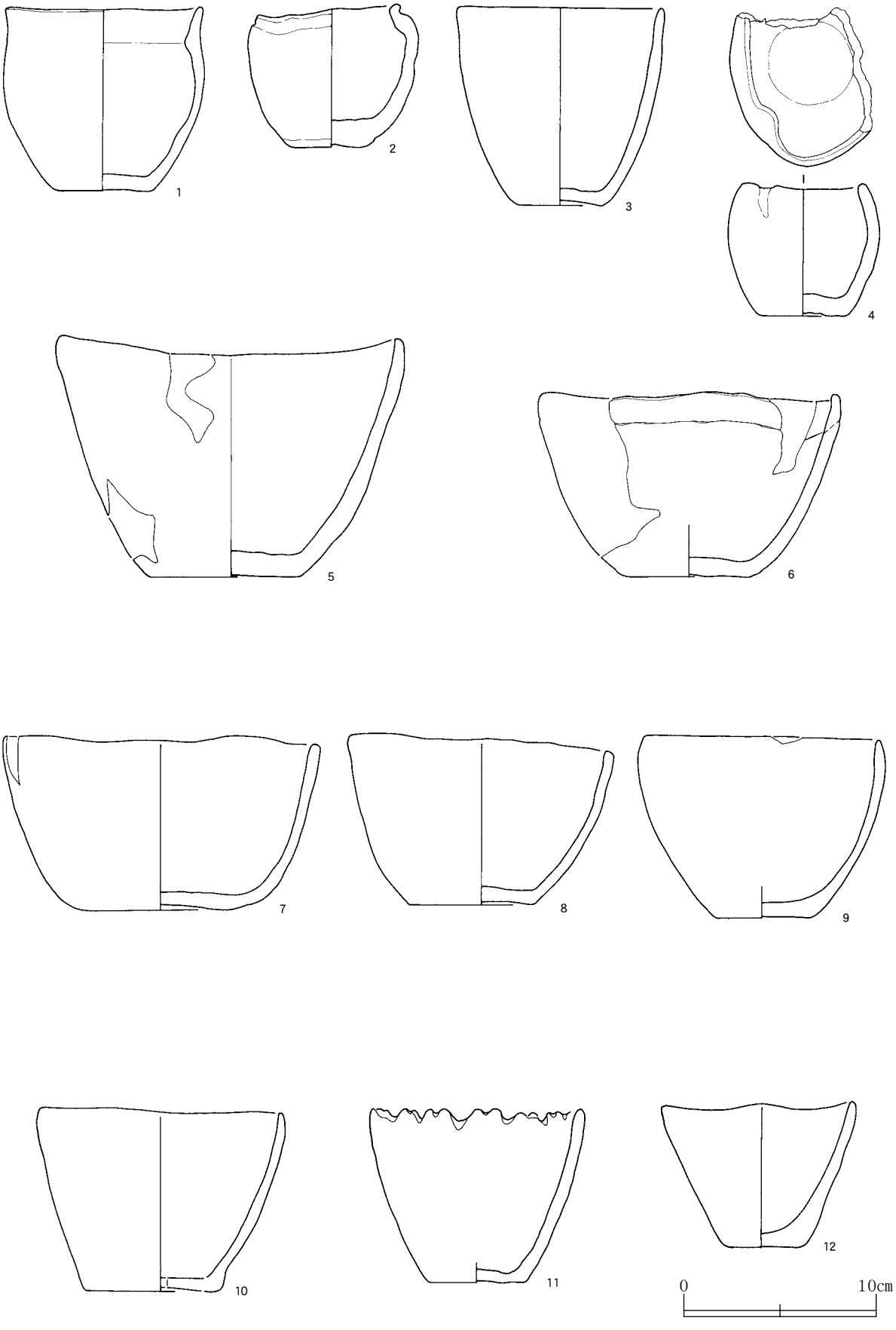


第73図　出土遺物 (50) (SM60㉟)

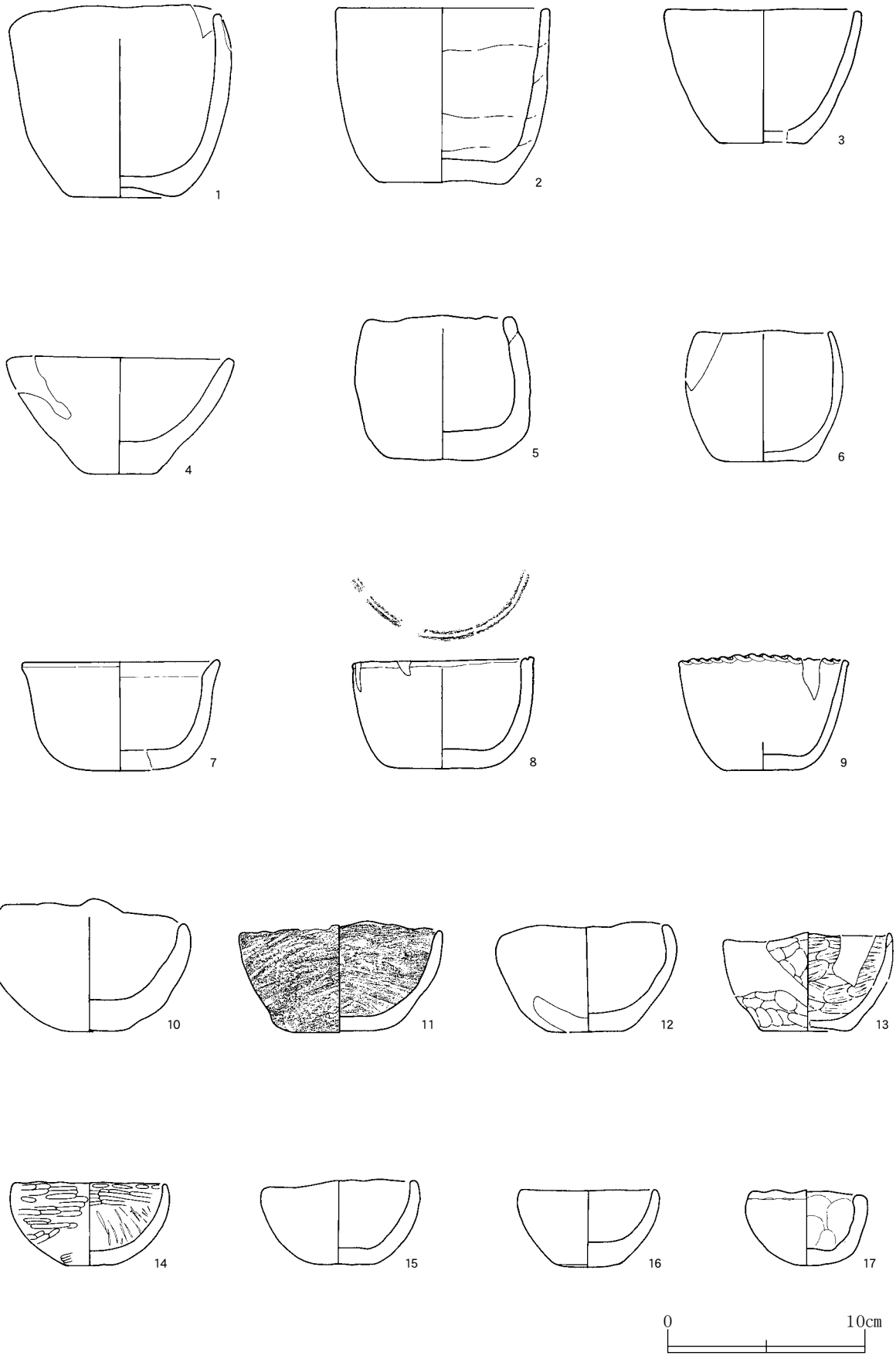
第74図　出土遺物（51）（SM60㊱）



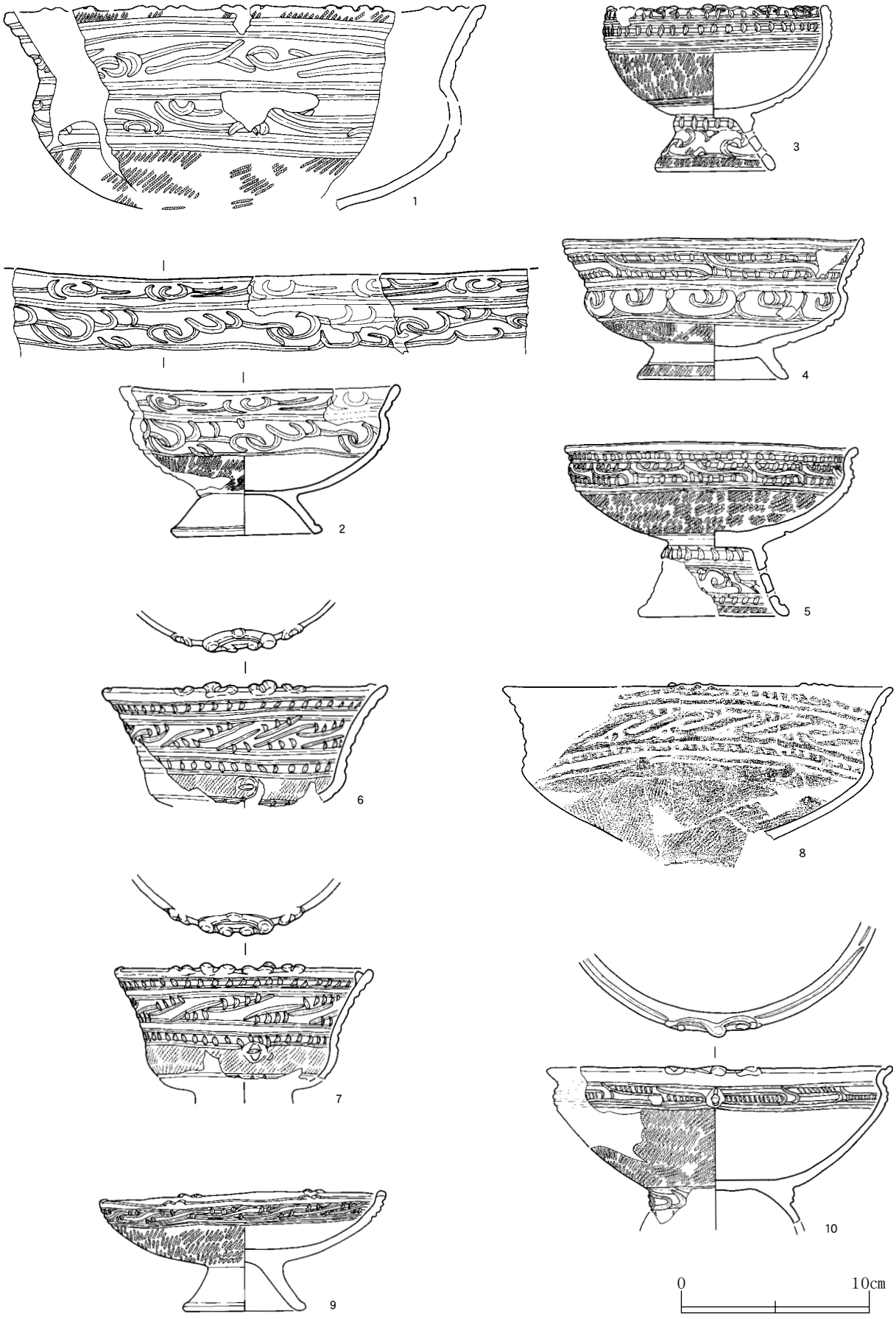
第75図　出土遺物 (52) (SM60㊲)



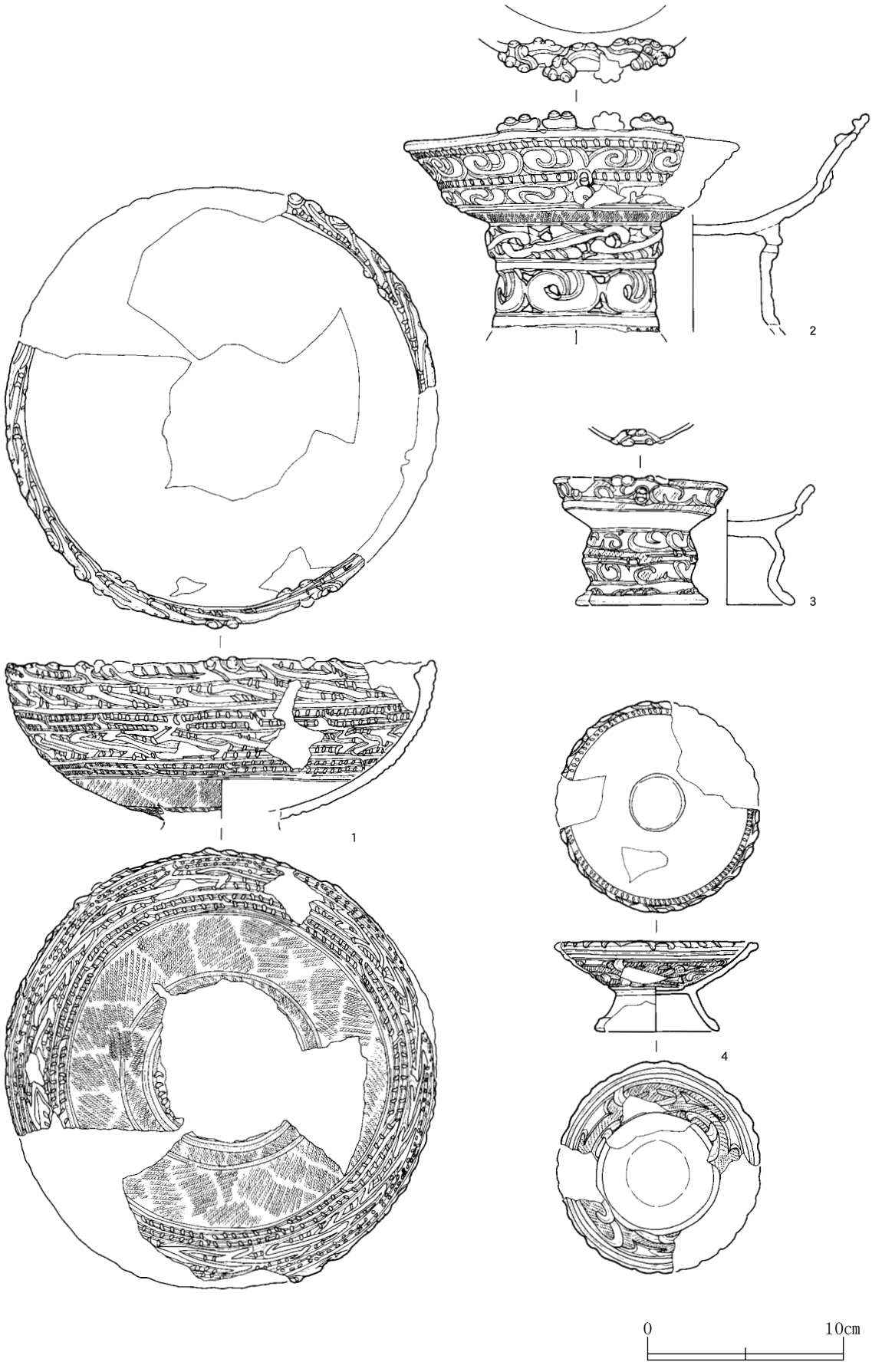
第76図　出土遺物 (53) (SM60㊳)



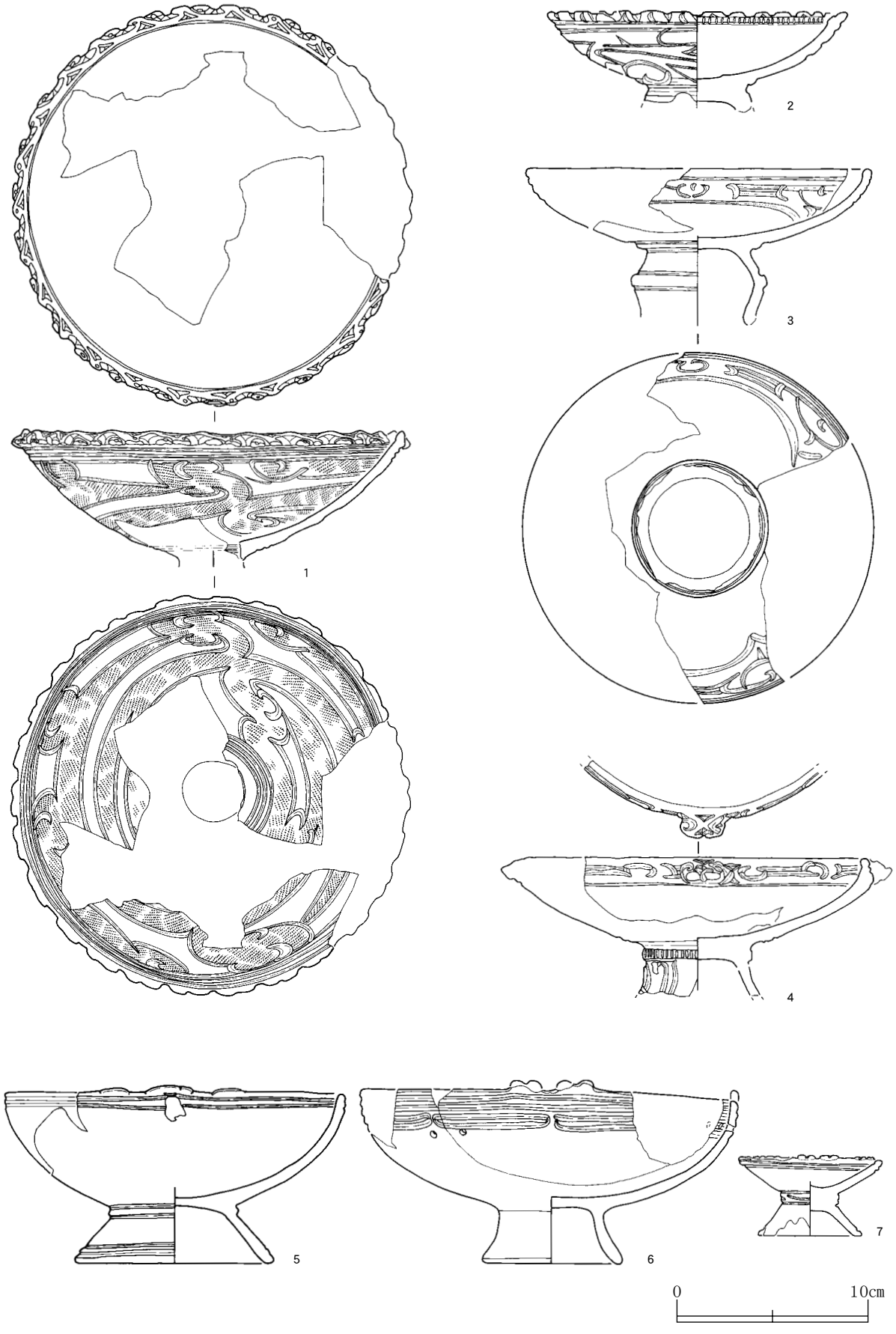
第77図　出土遺物 (54) (SM60㊴)



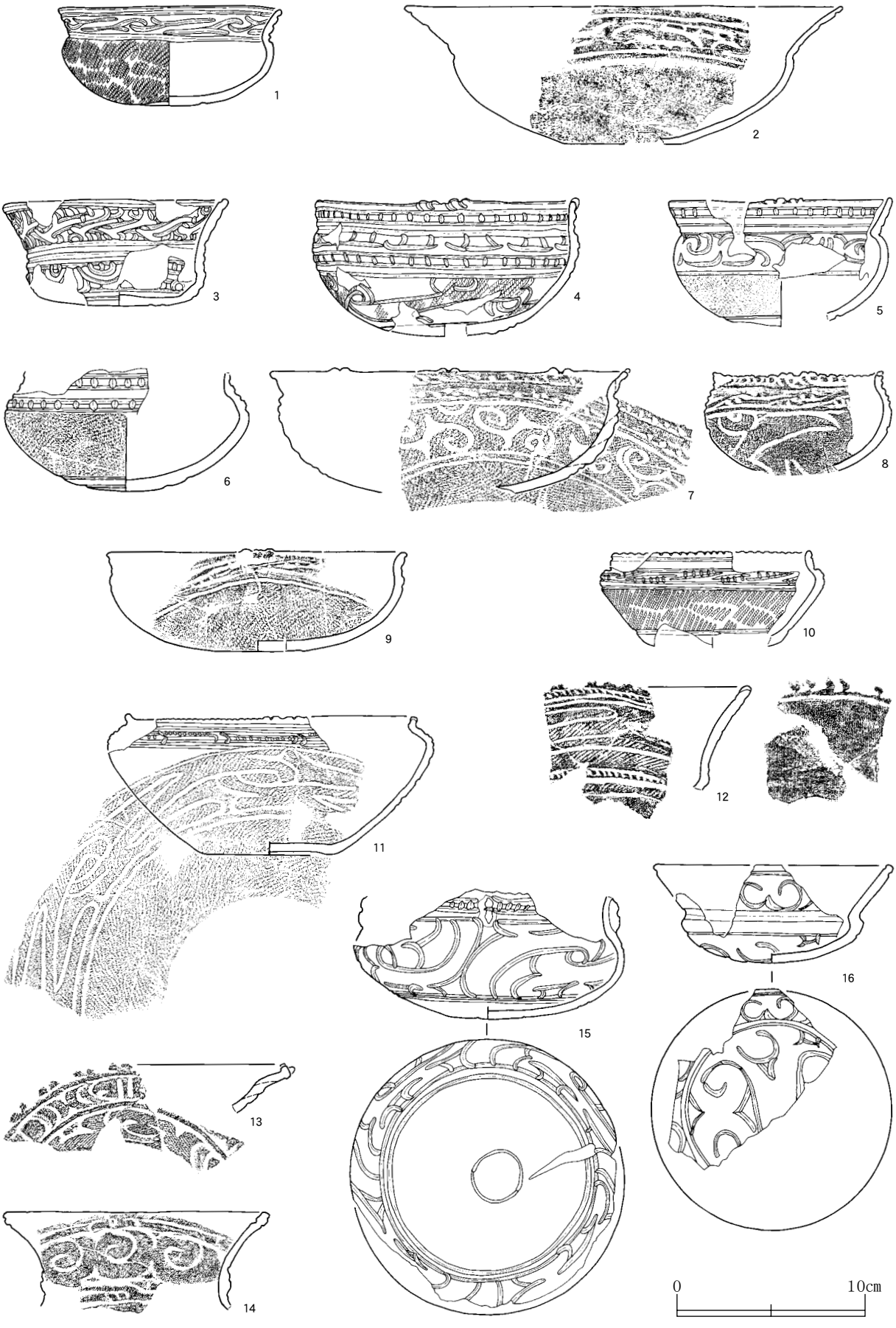
第78図　出土遺物 (55) (SM60㊵)



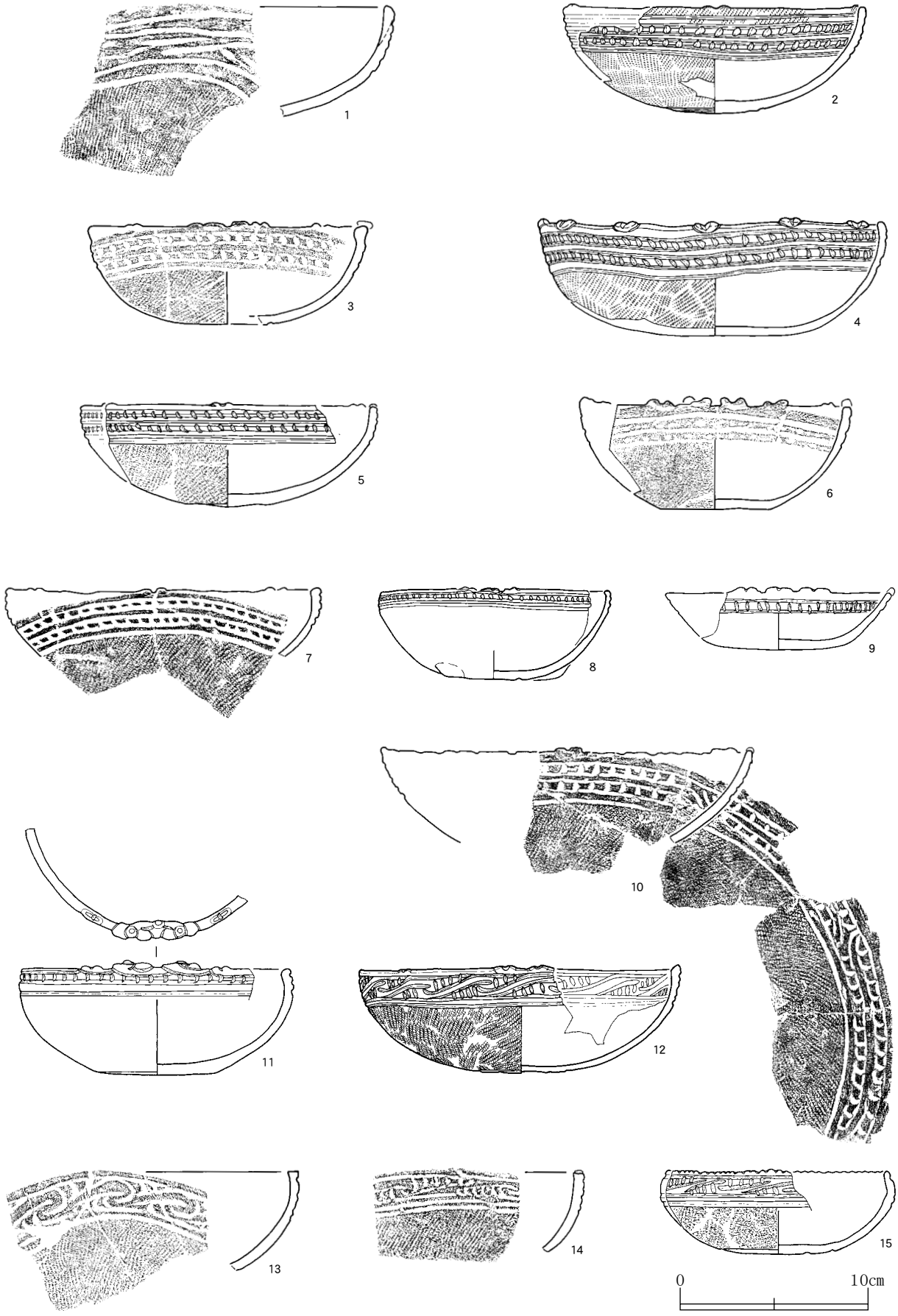
第79図　出土遺物 (56) (SM60㊶)



第80図　出土遺物 (57) (SM60㊷)

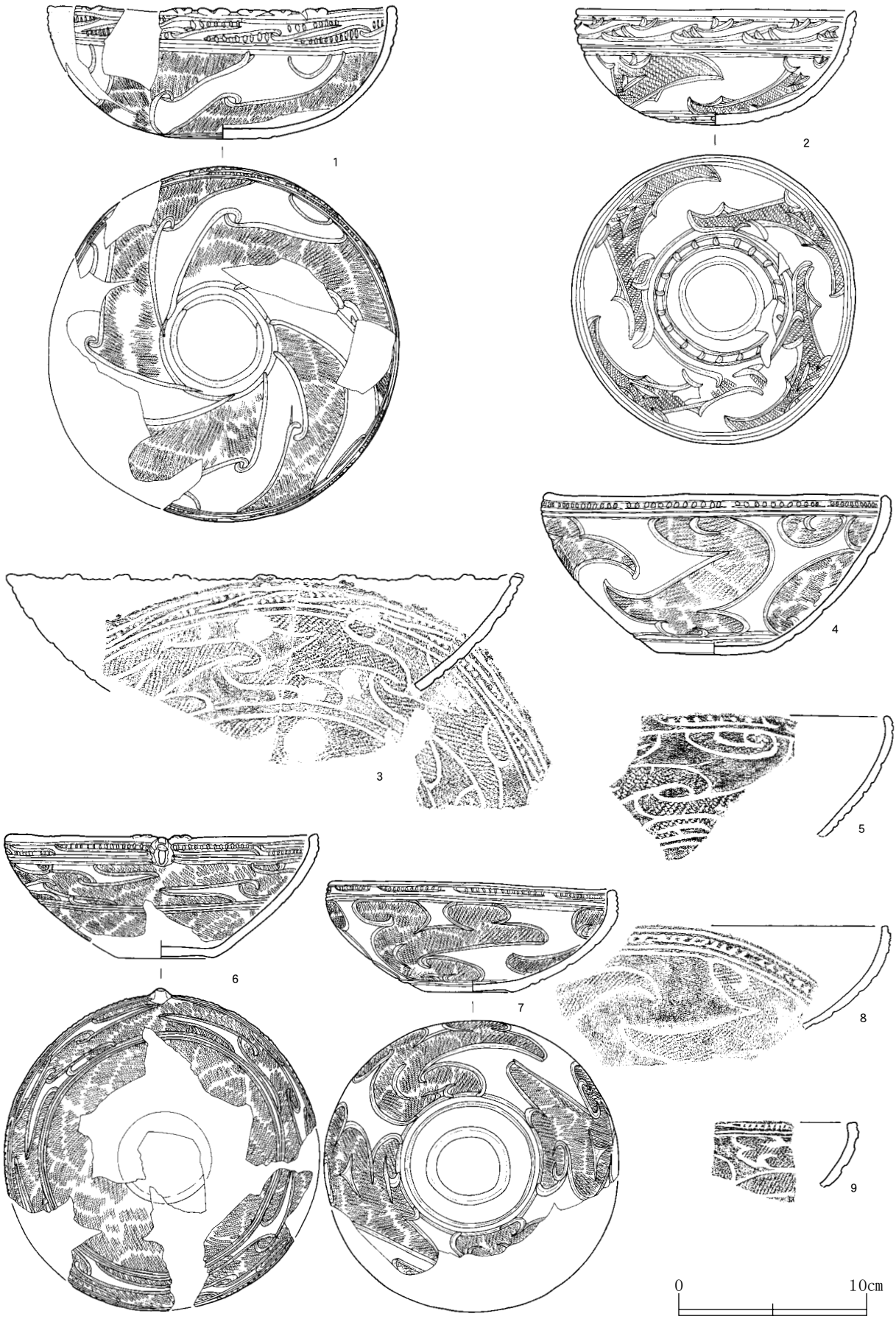


第81図　出土遺物 (58) (SM60㊸)

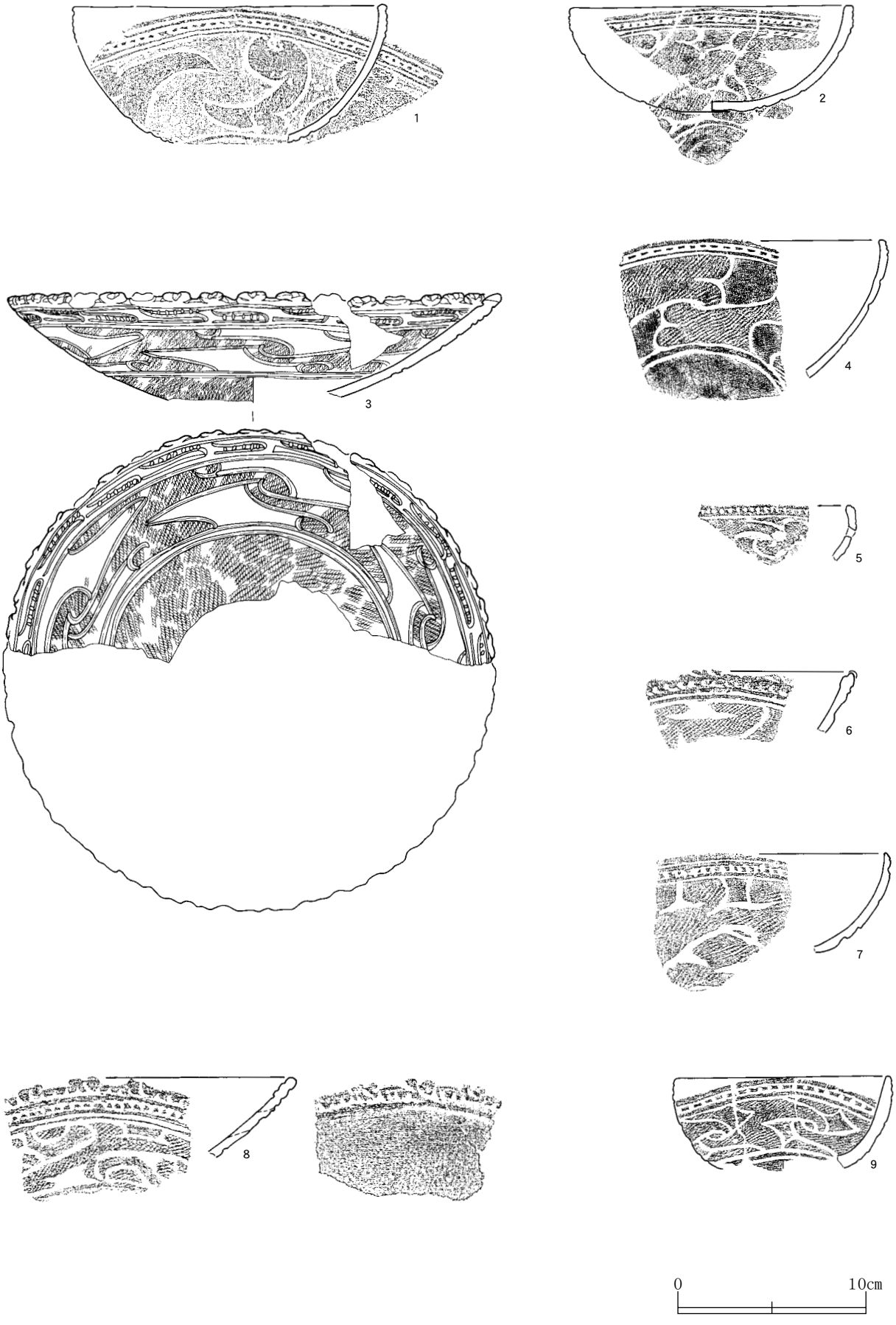


第82図　出土遺物 (59) (SM60㊹)

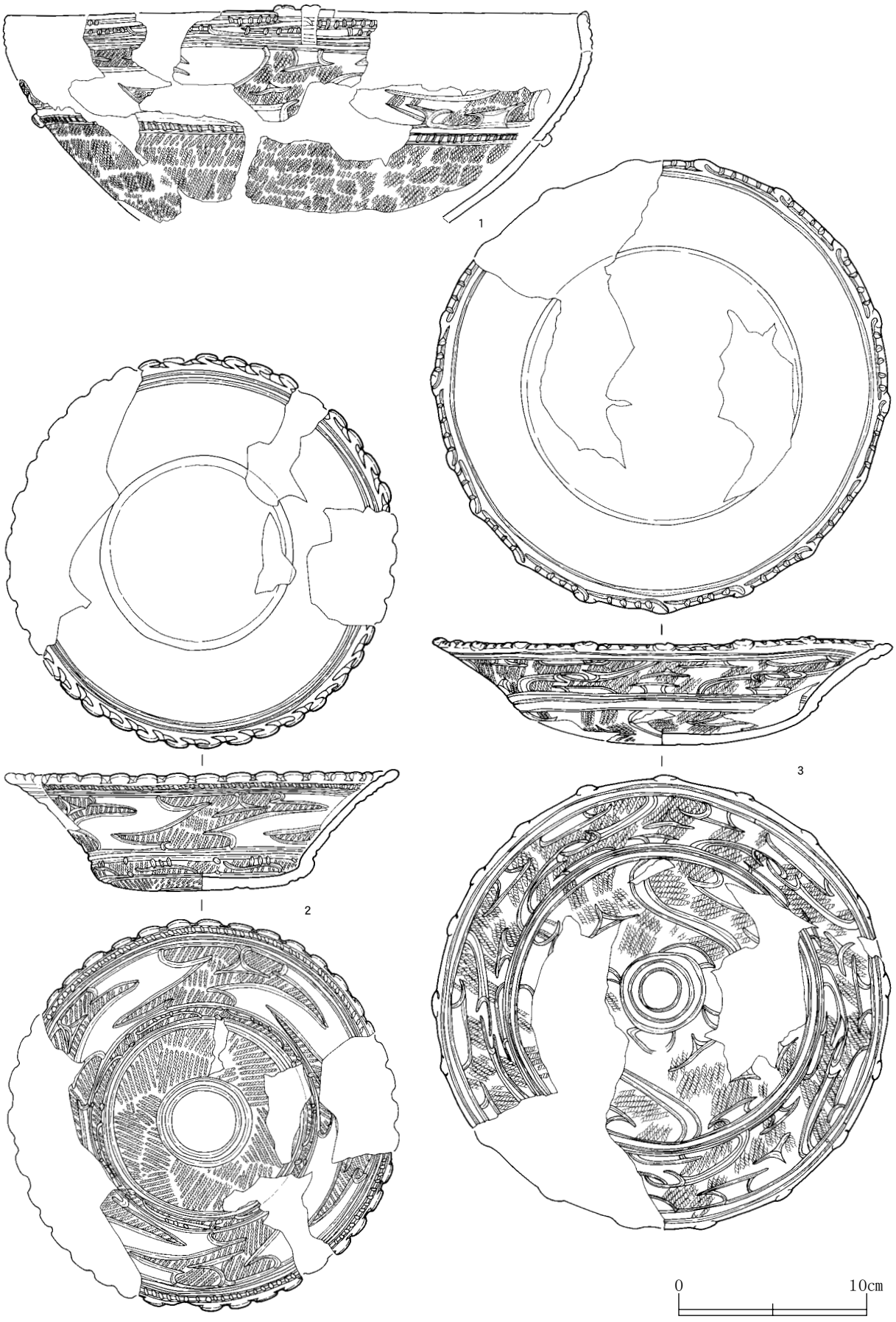
第83図　出土遺物 (60) (SM60㊺)



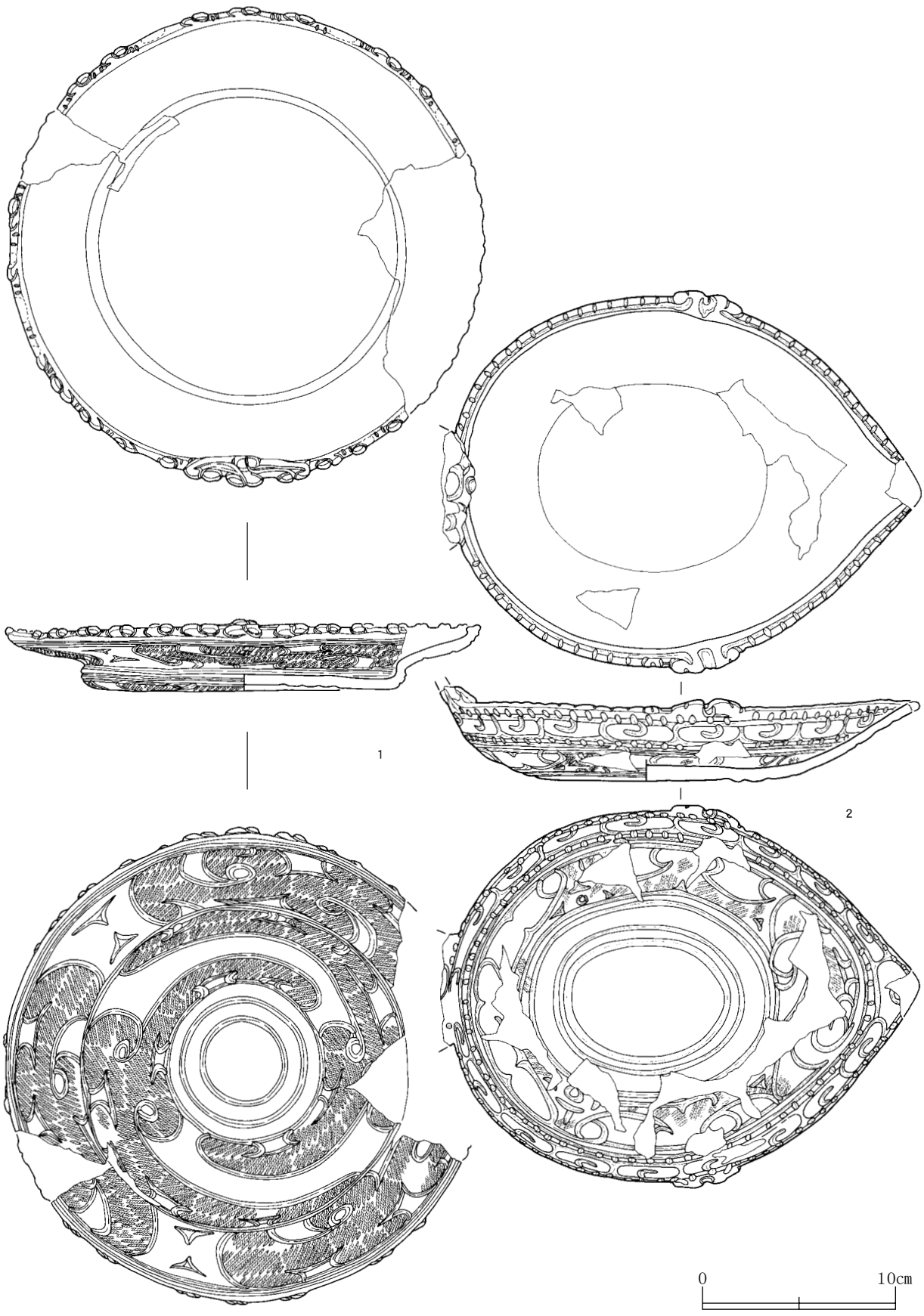
第84図　出土遺物 (61) (SM60㊻)



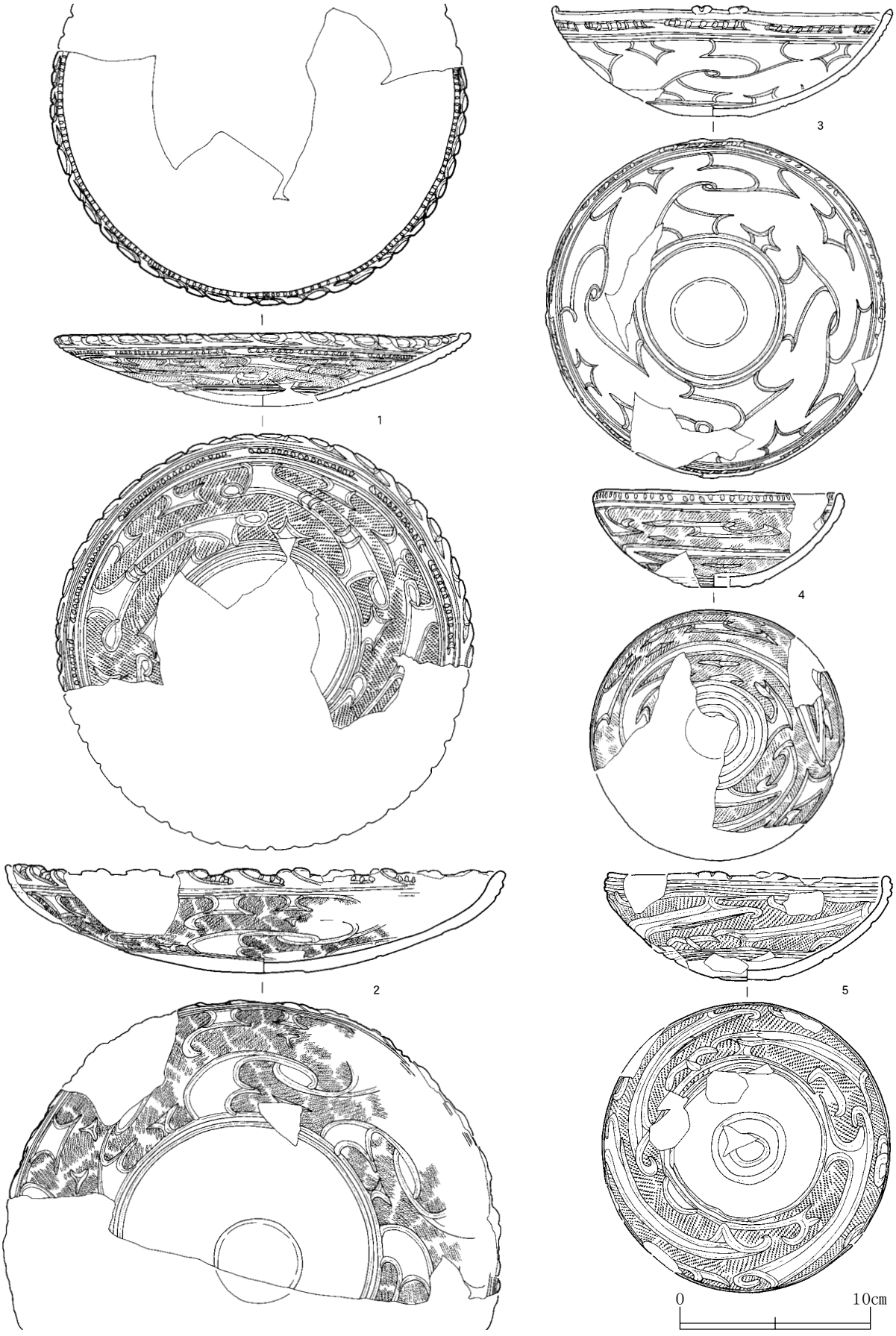
第85図　出土遺物 (62) (SM60㊼)



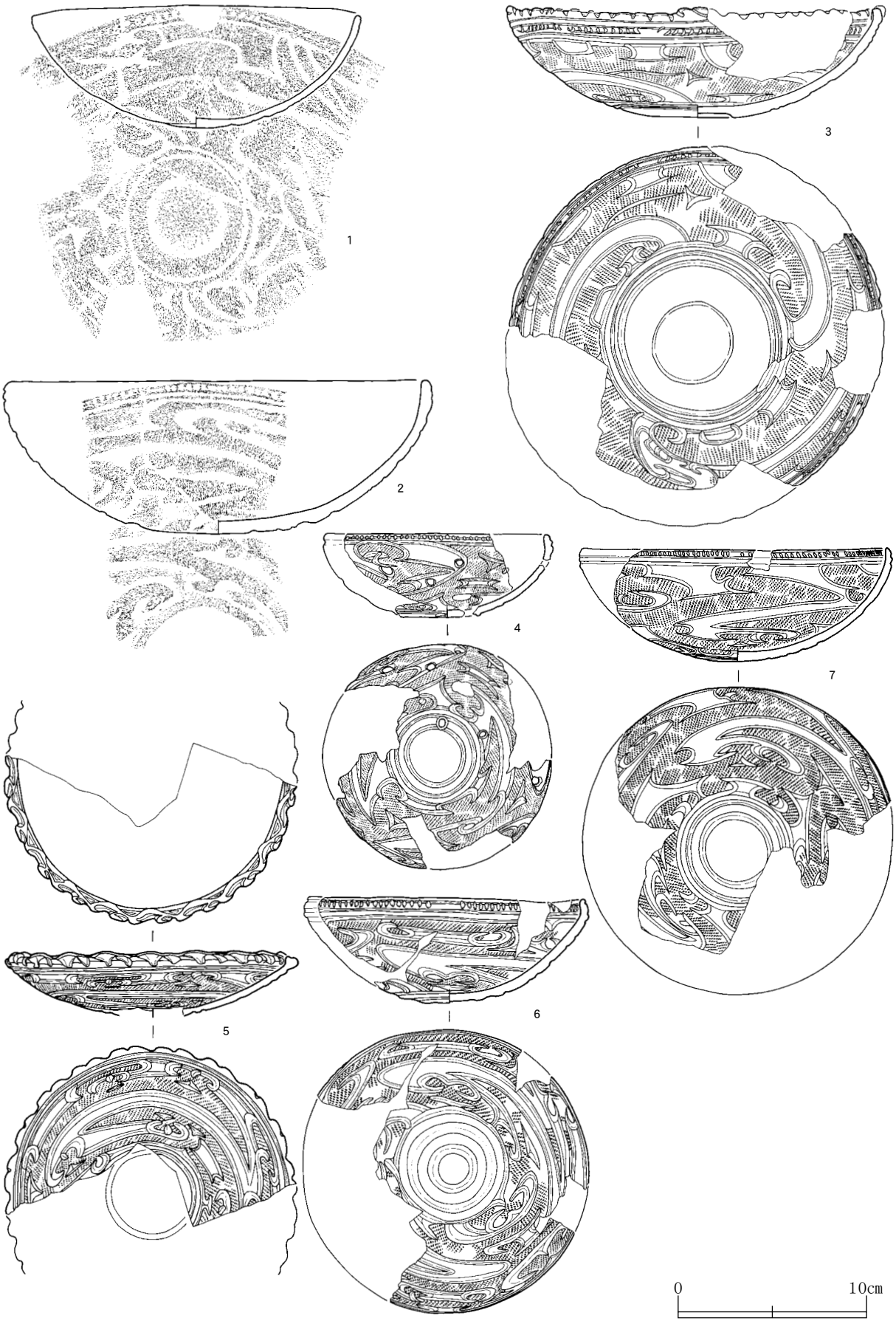
第86図　出土遺物 (63) (SM60㊽)



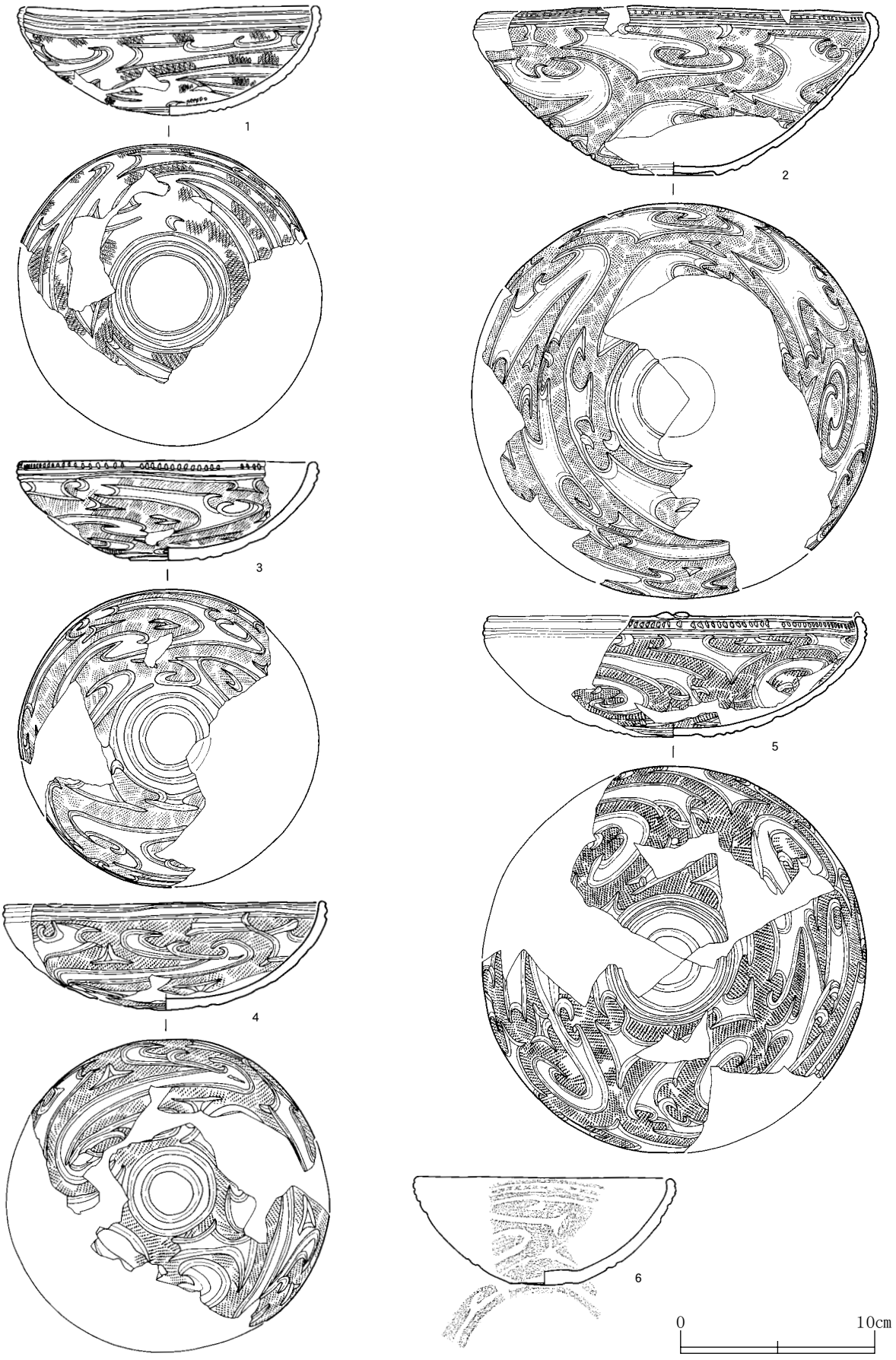
第87図　出土遺物 (64) (SM60㊾)



第88図　出土遺物（65）（SM60㊿）

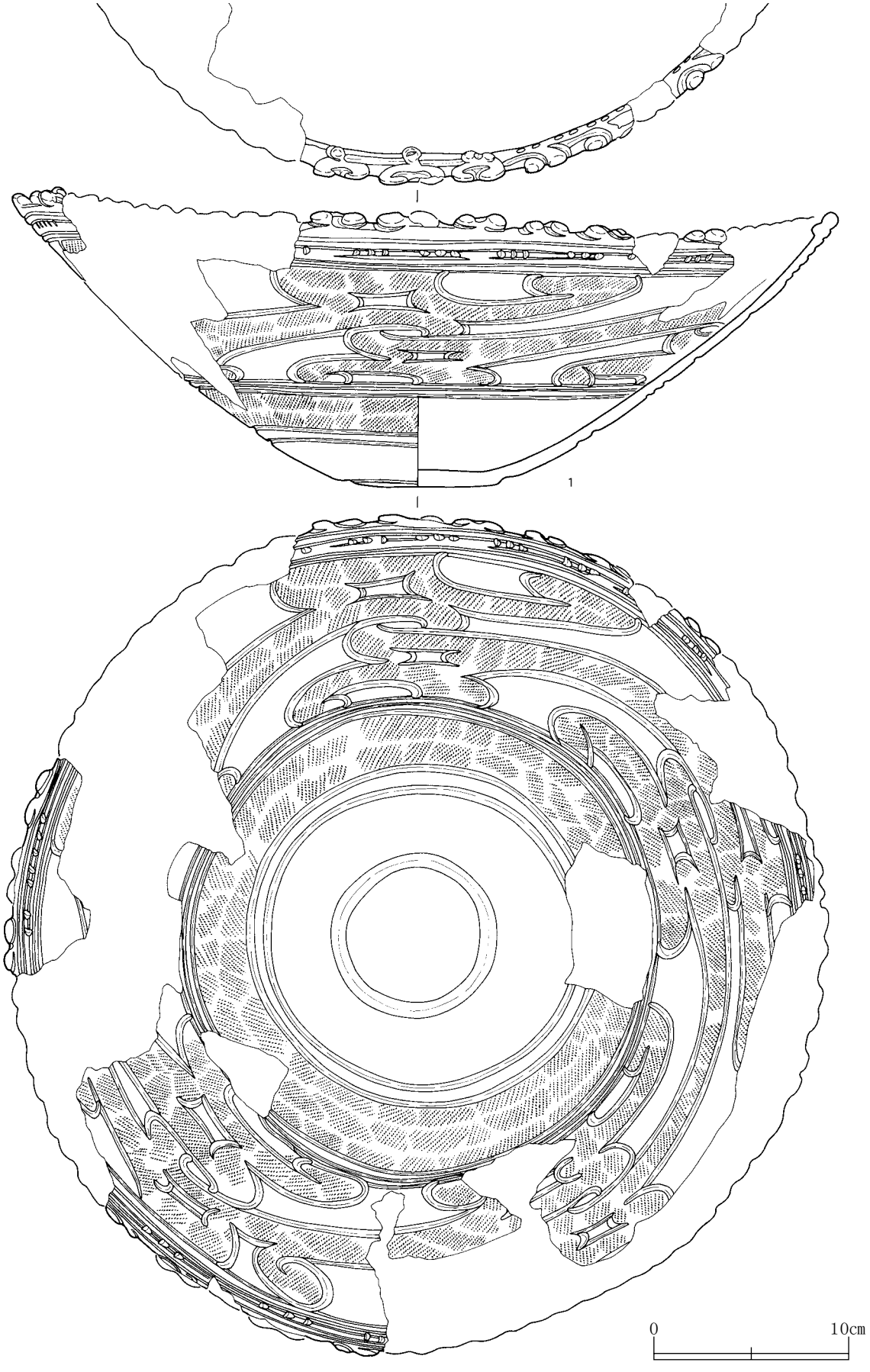


第89図　出土遺物 (66) (SM60㊶)



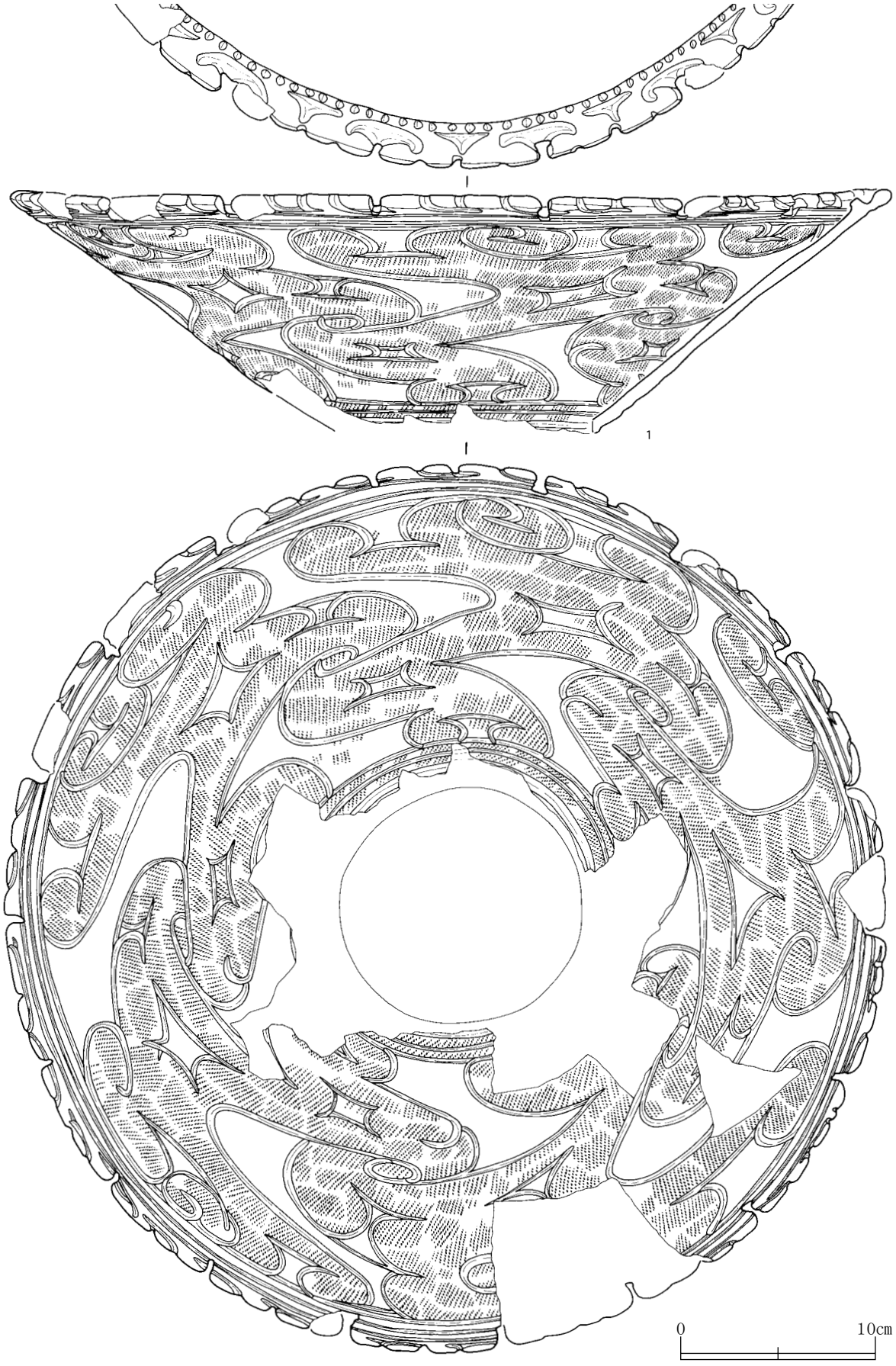
第90図　出土遺物（67）（SM60㊷）

第91図　出土遺物 (68) (SM60㊸)

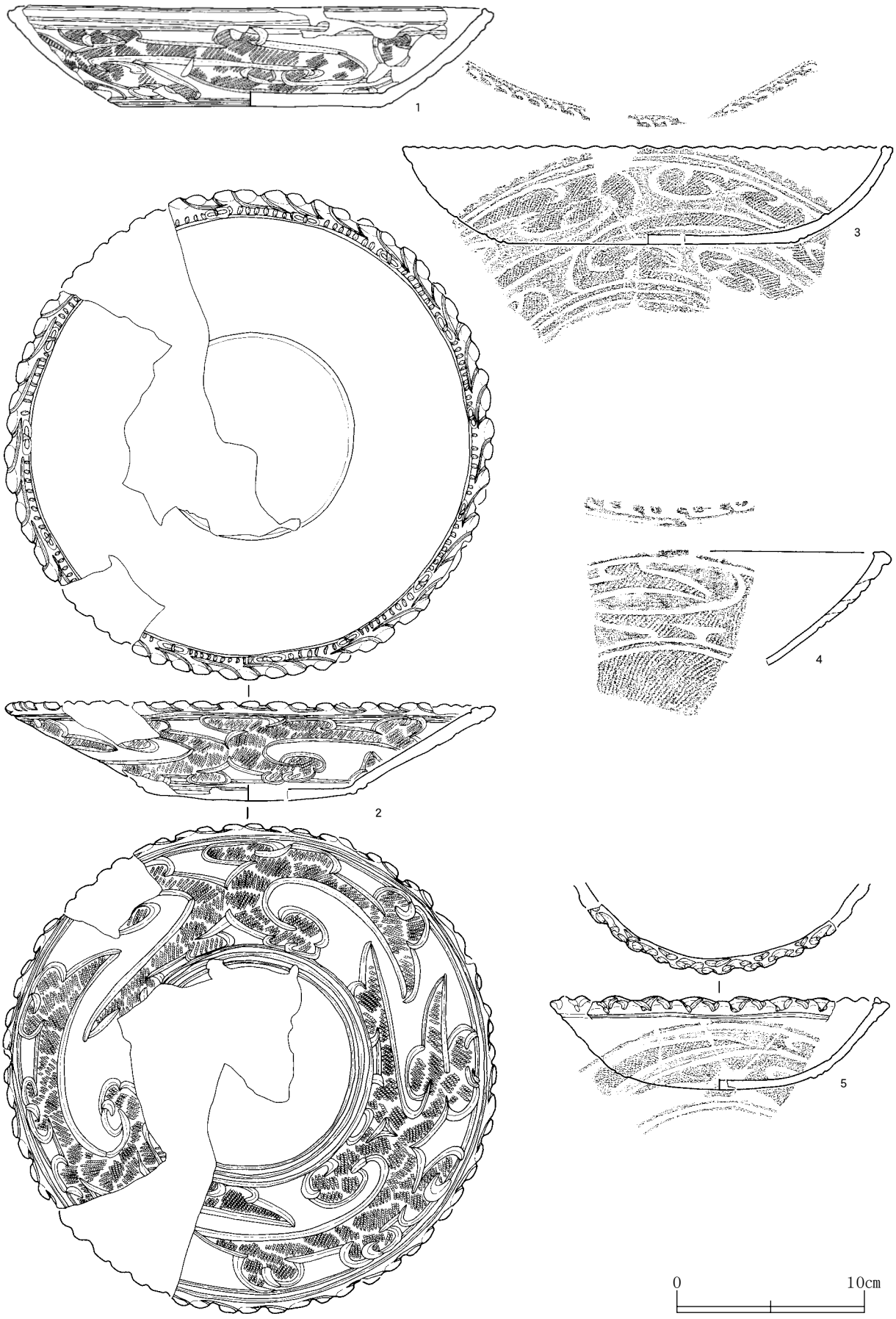


第92図　出土遺物 (69) (SM60㊿)

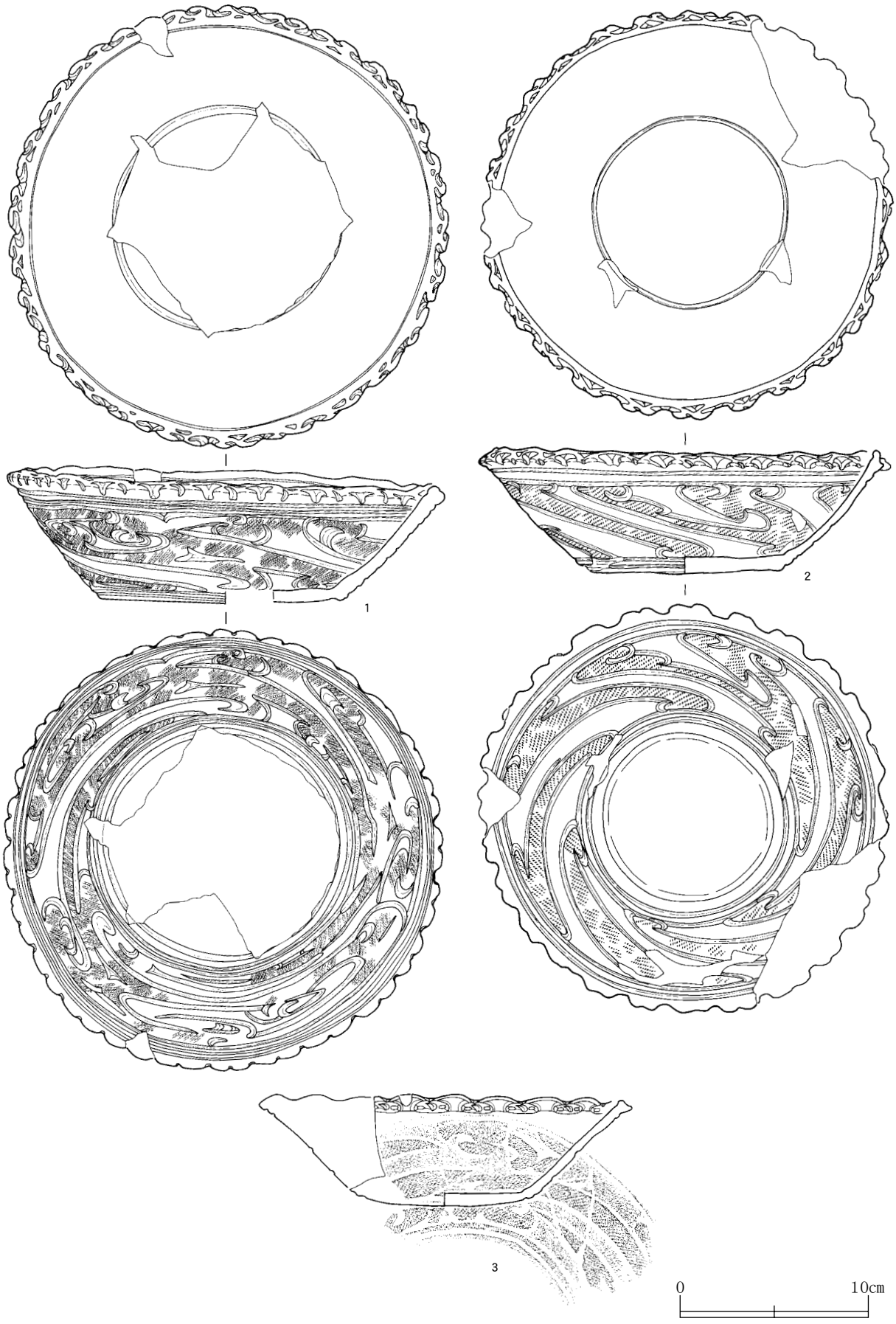
第93図　出土遺物 (70) (SM60㊺)



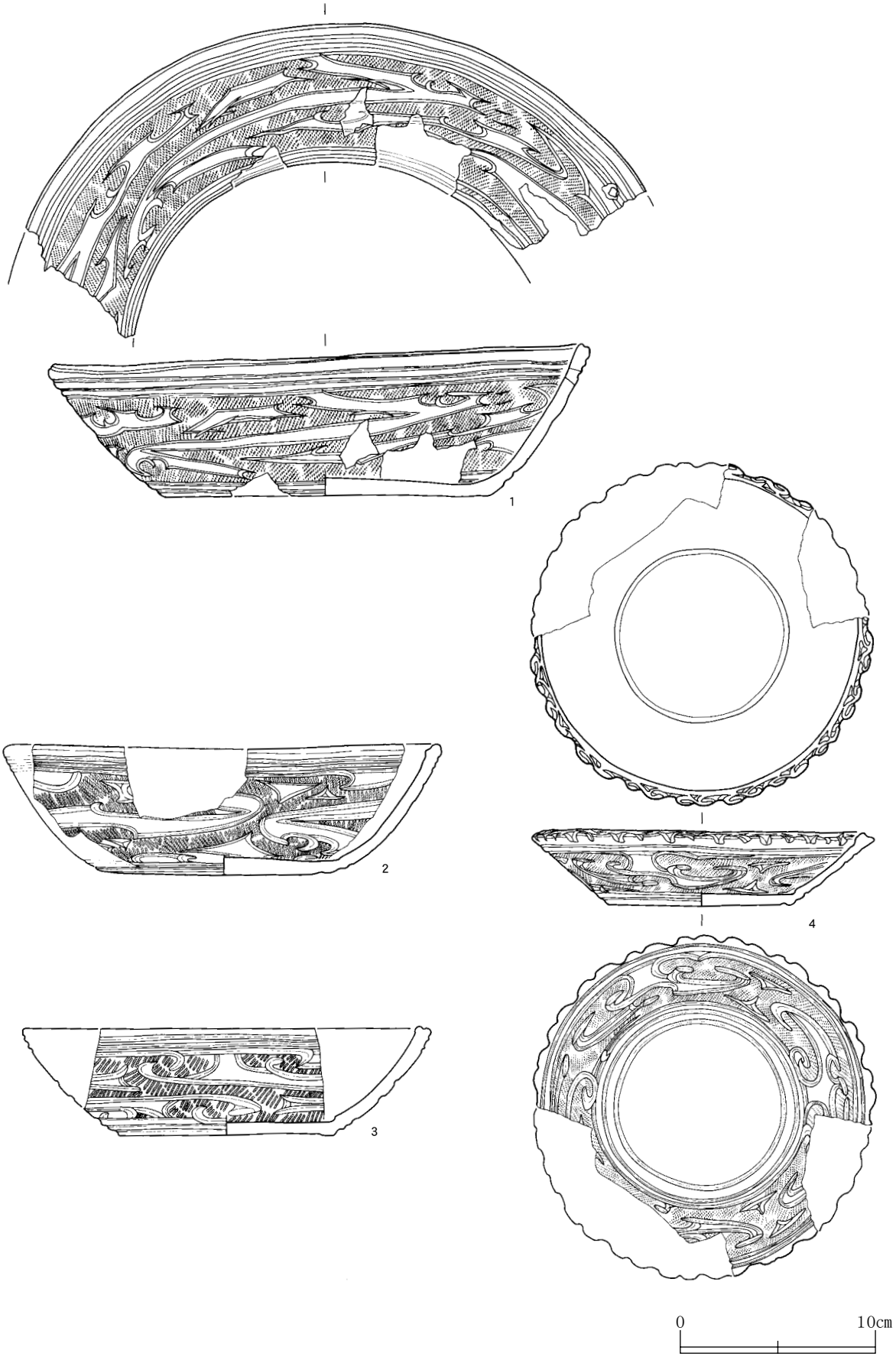
第94図　出土遺物（71）（SM60㊺）



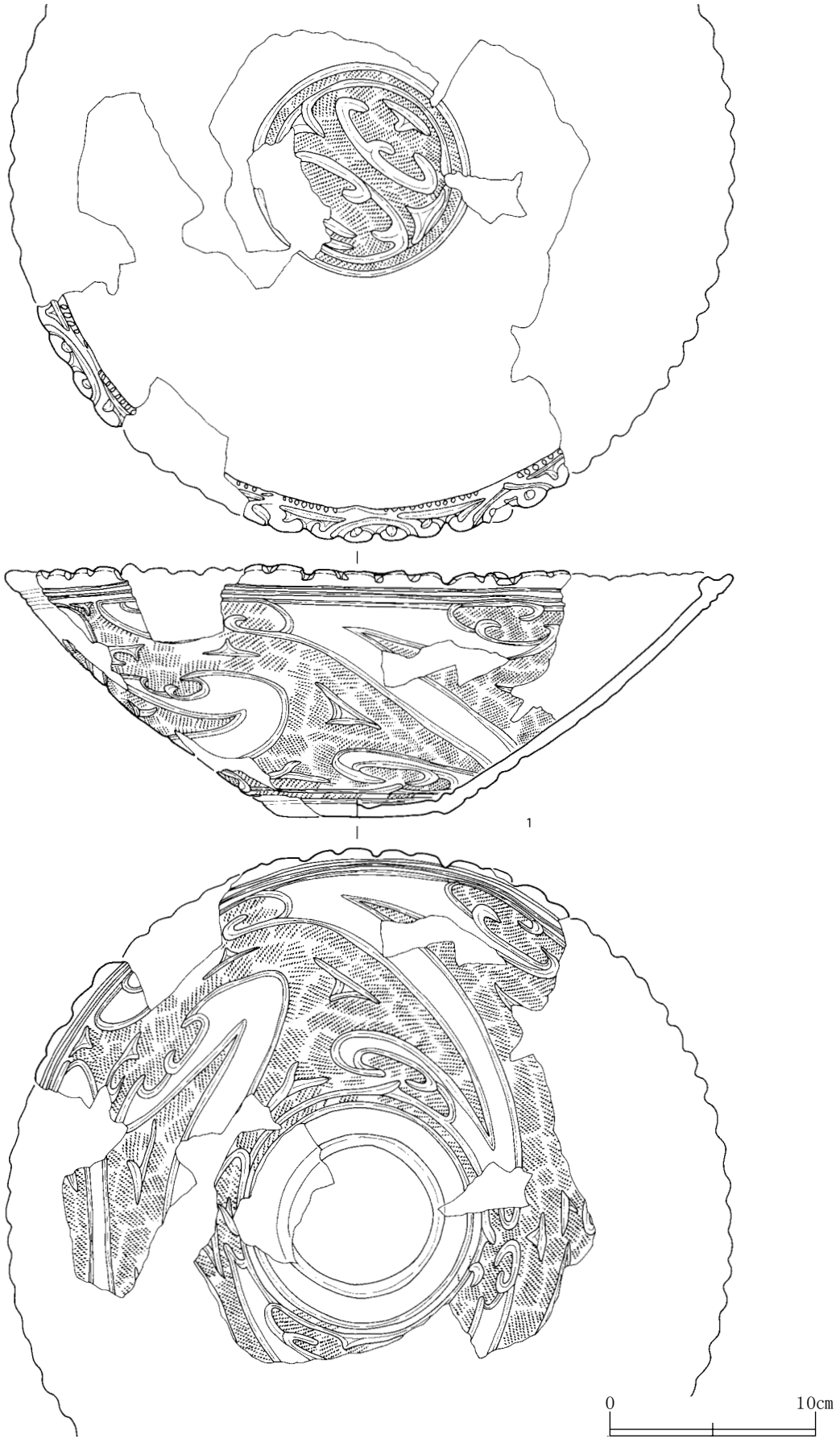
第95図　出土遺物 (72) (SM60㊼)



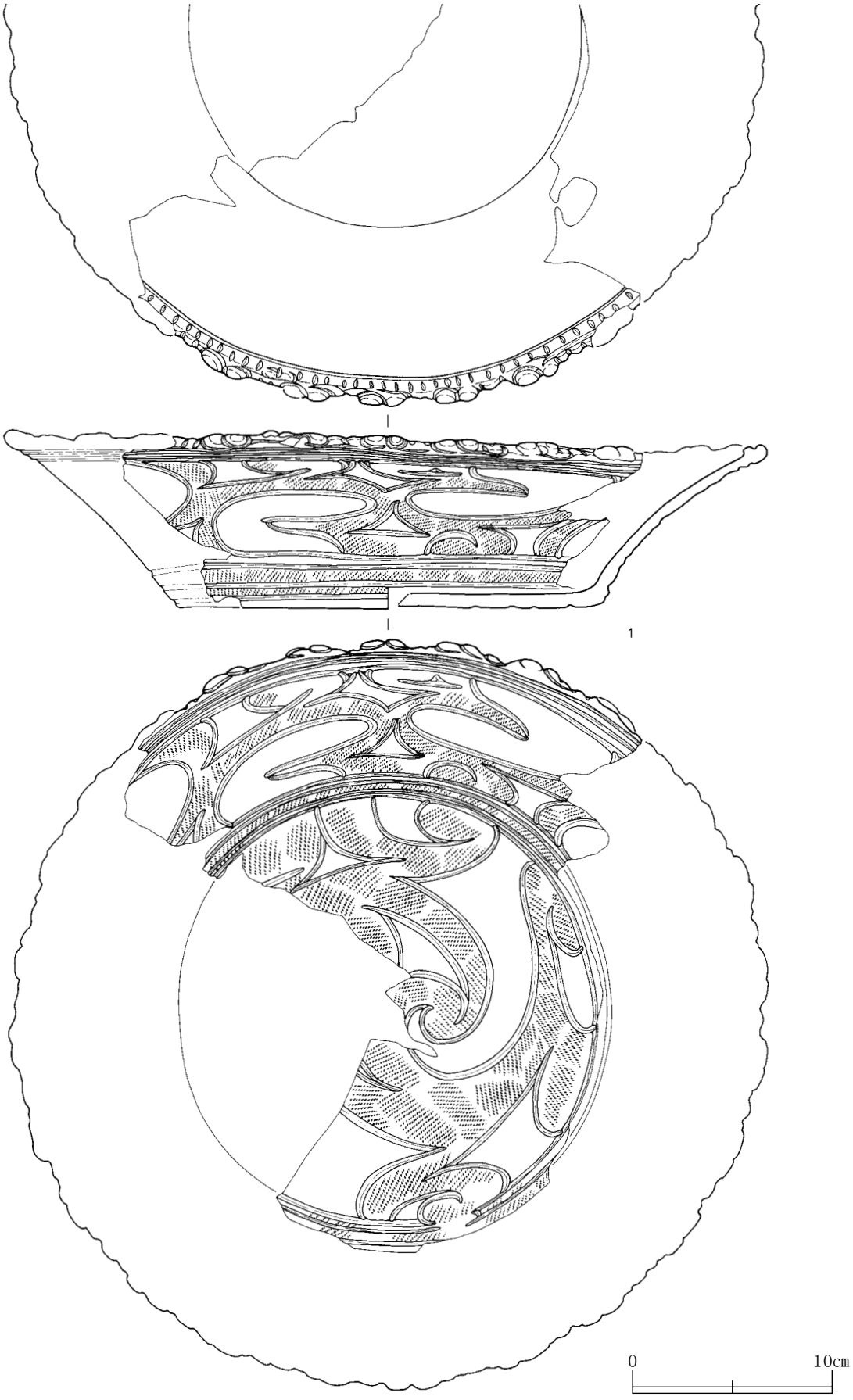
第96図　出土遺物（73）（SM60㊽）



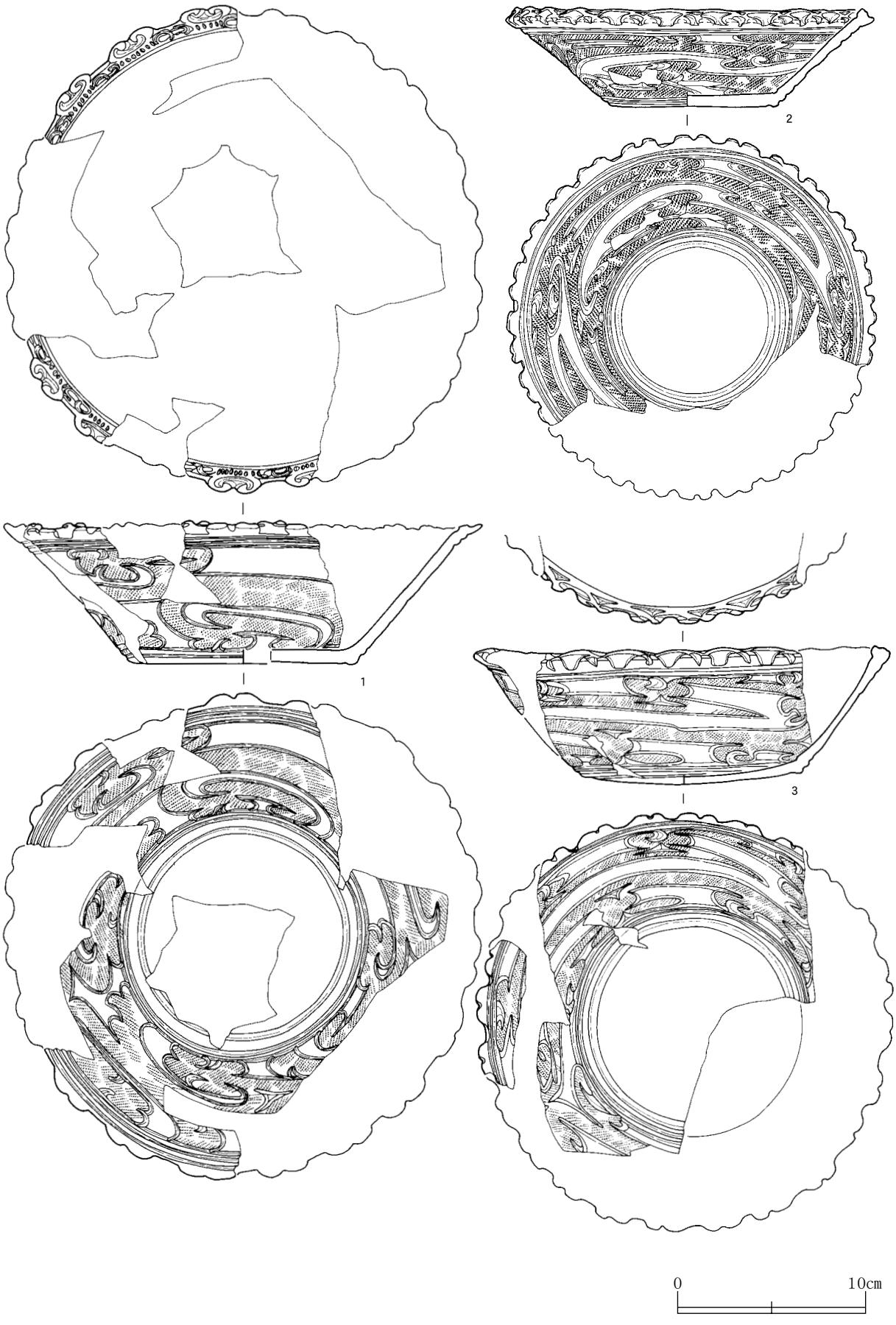
第97図　出土遺物 (74) (SM60㊾)



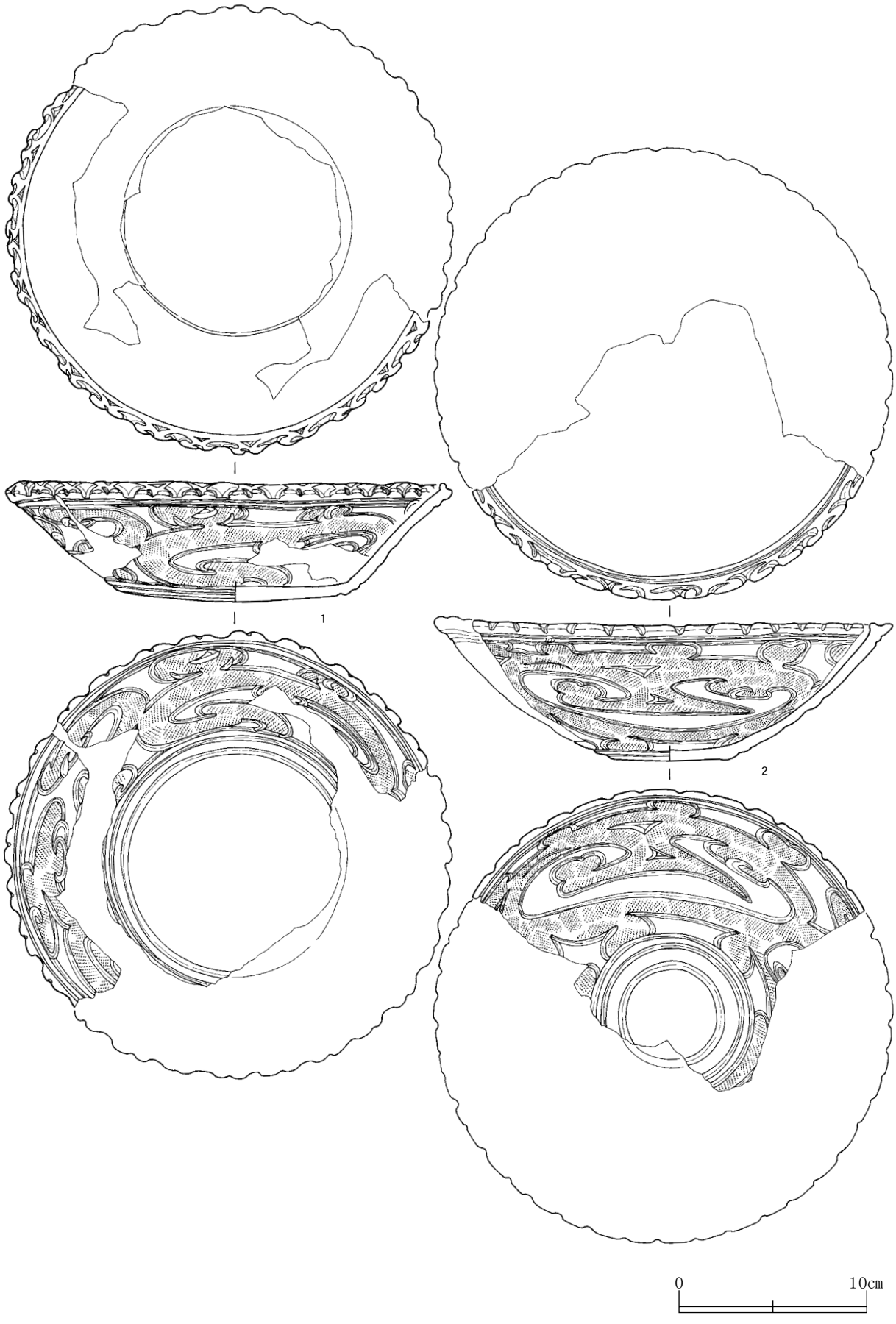
第98図　出土遺物（75）（SM60⑥⓪）



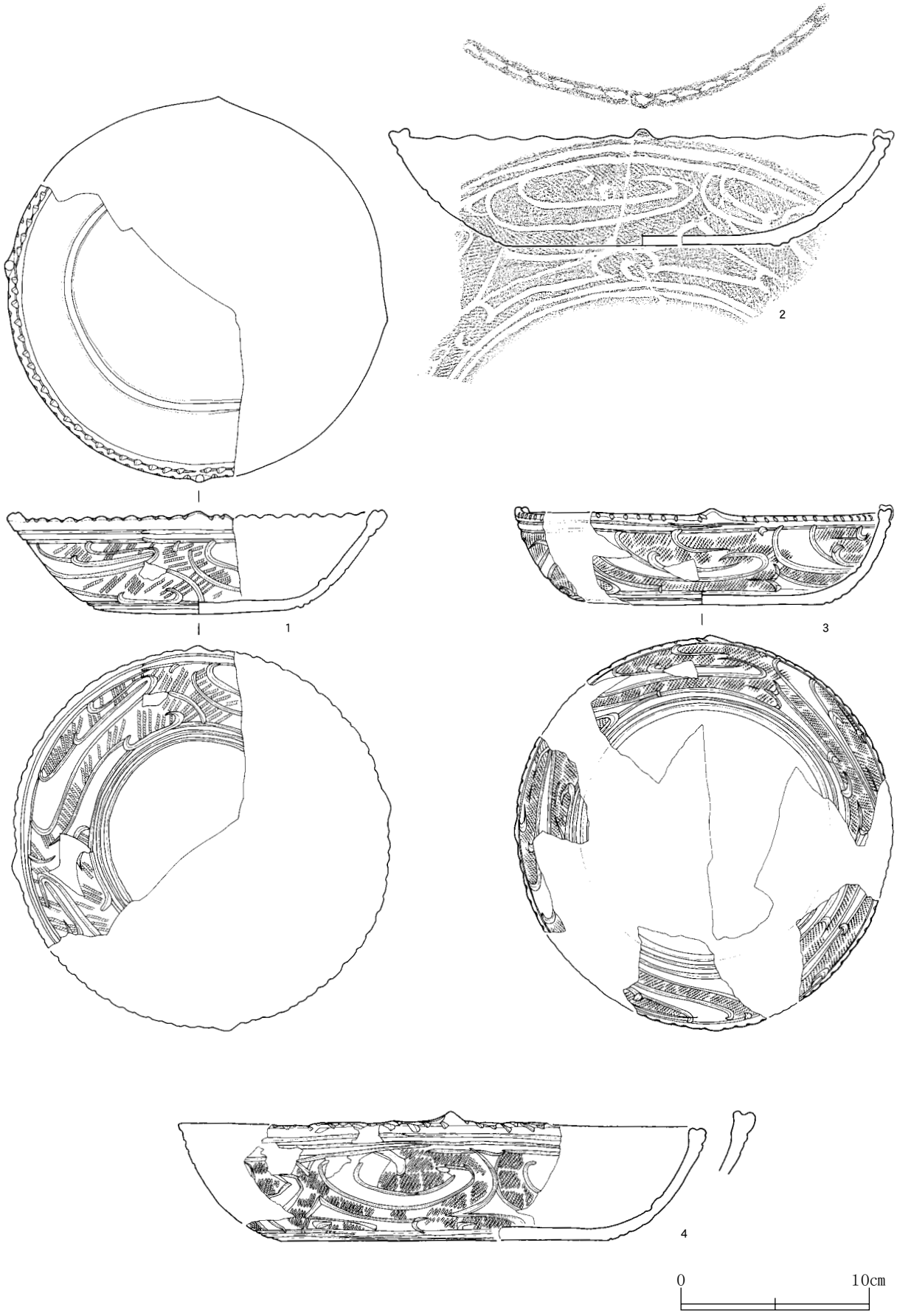
第99図　出土遺物（76）（SM60㊶）



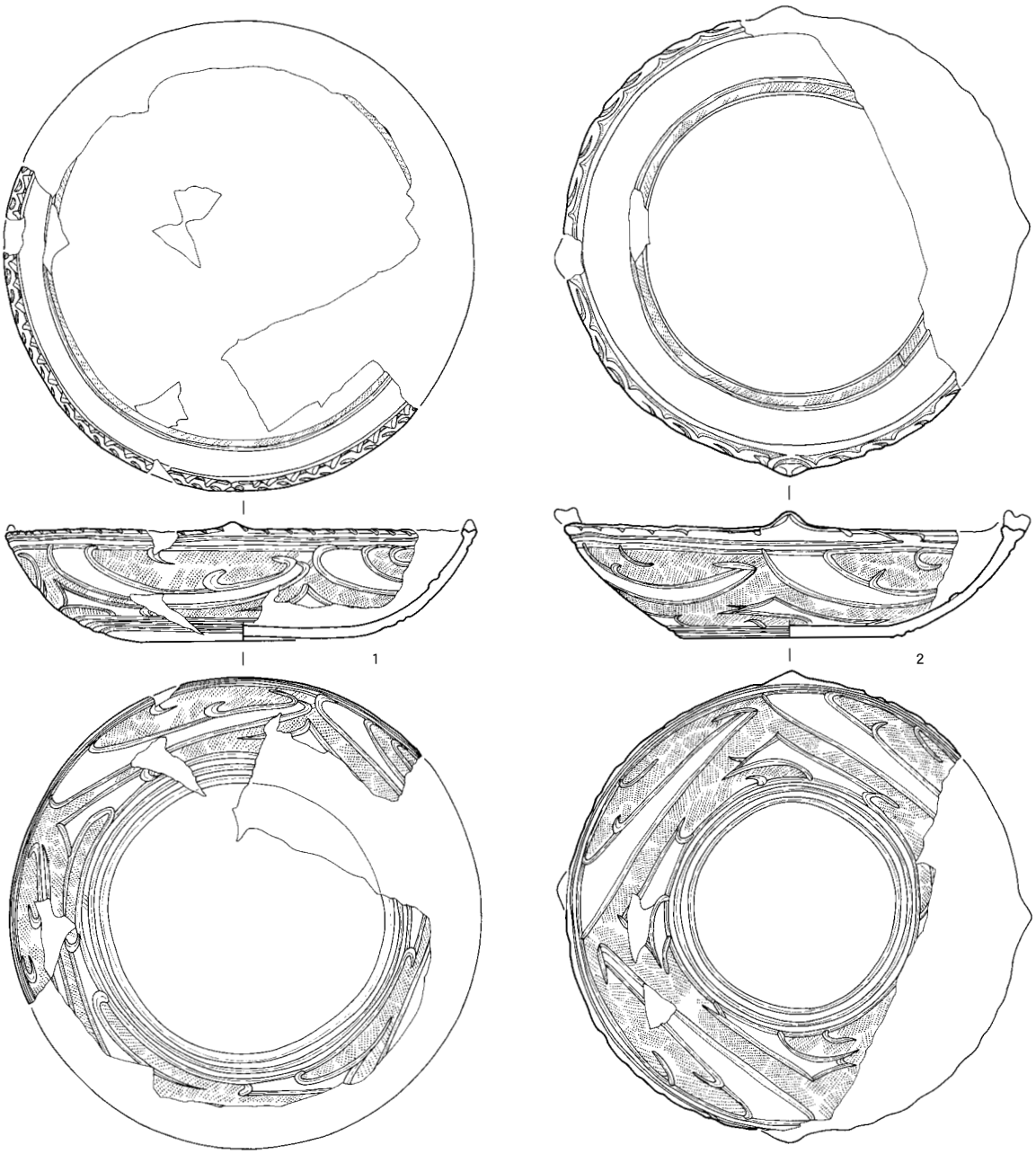
第100図　出土遺物（77）（SM60㉒）



第101図　出土遺物 (78) (SM60㊸)

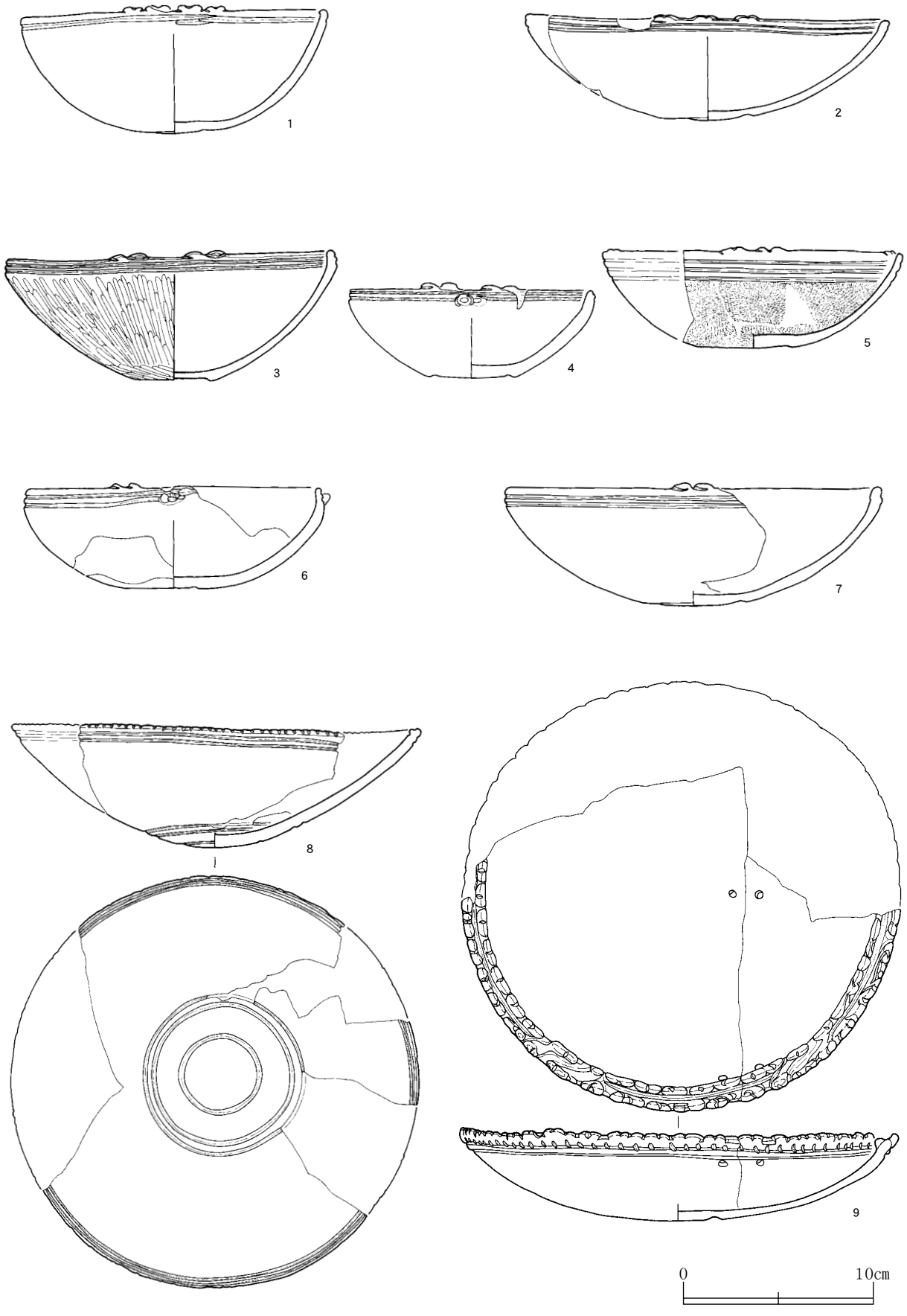


第102図　出土遺物 (79) (SM60㊹)

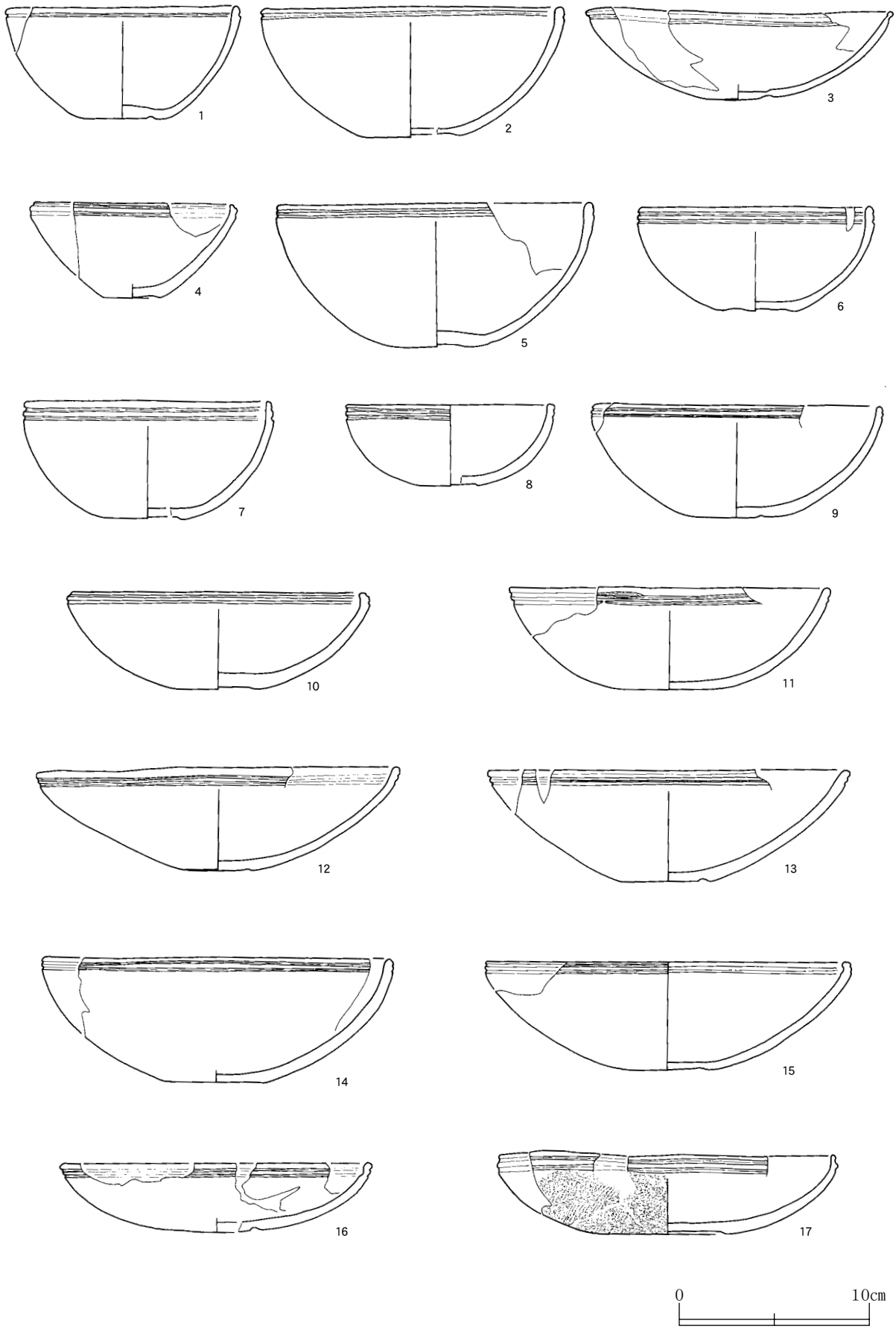


第103図　出土遺物 (80) (SM60㊺)

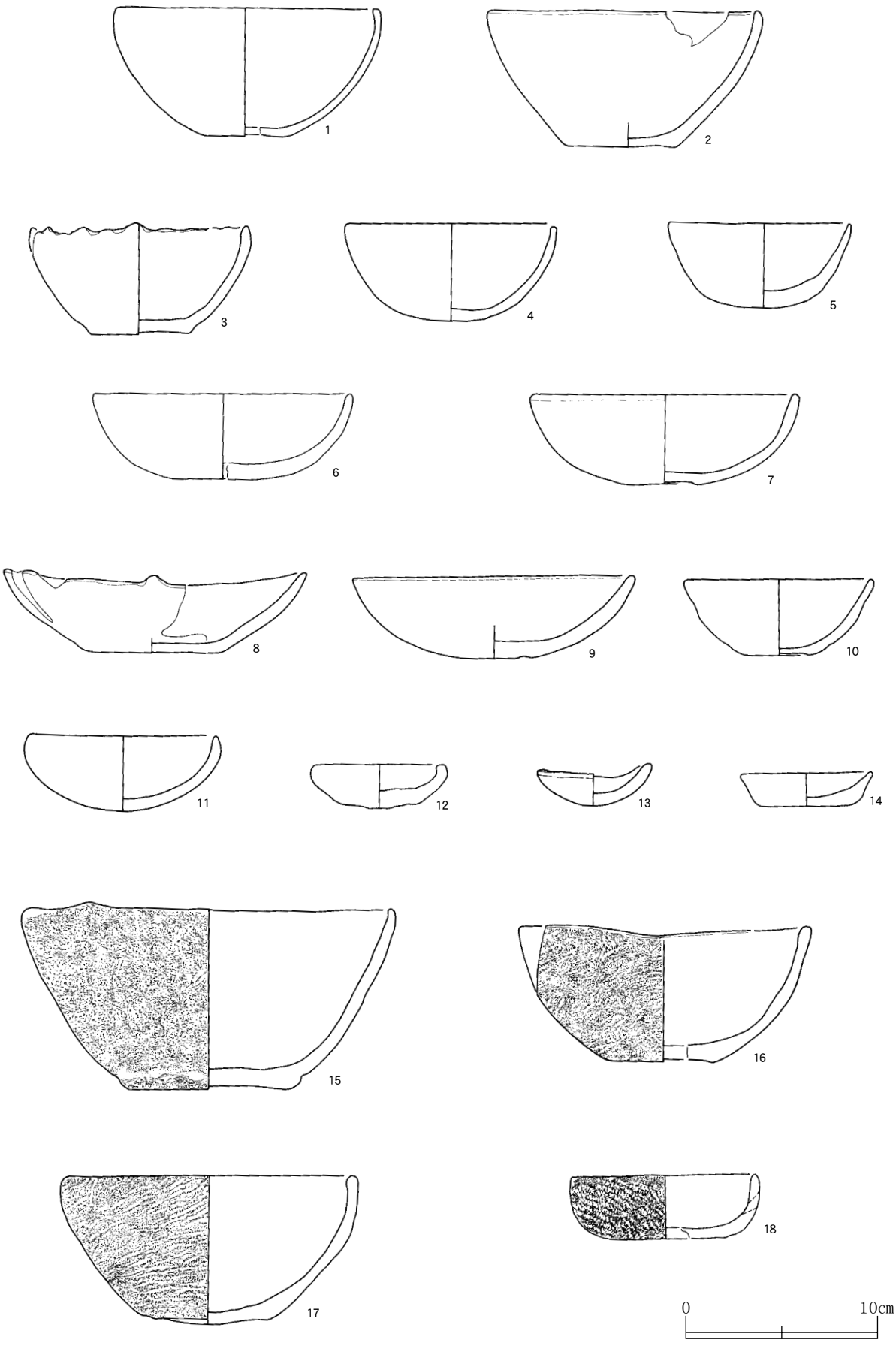
第104図　出土遺物 (81) (SM60㊻)



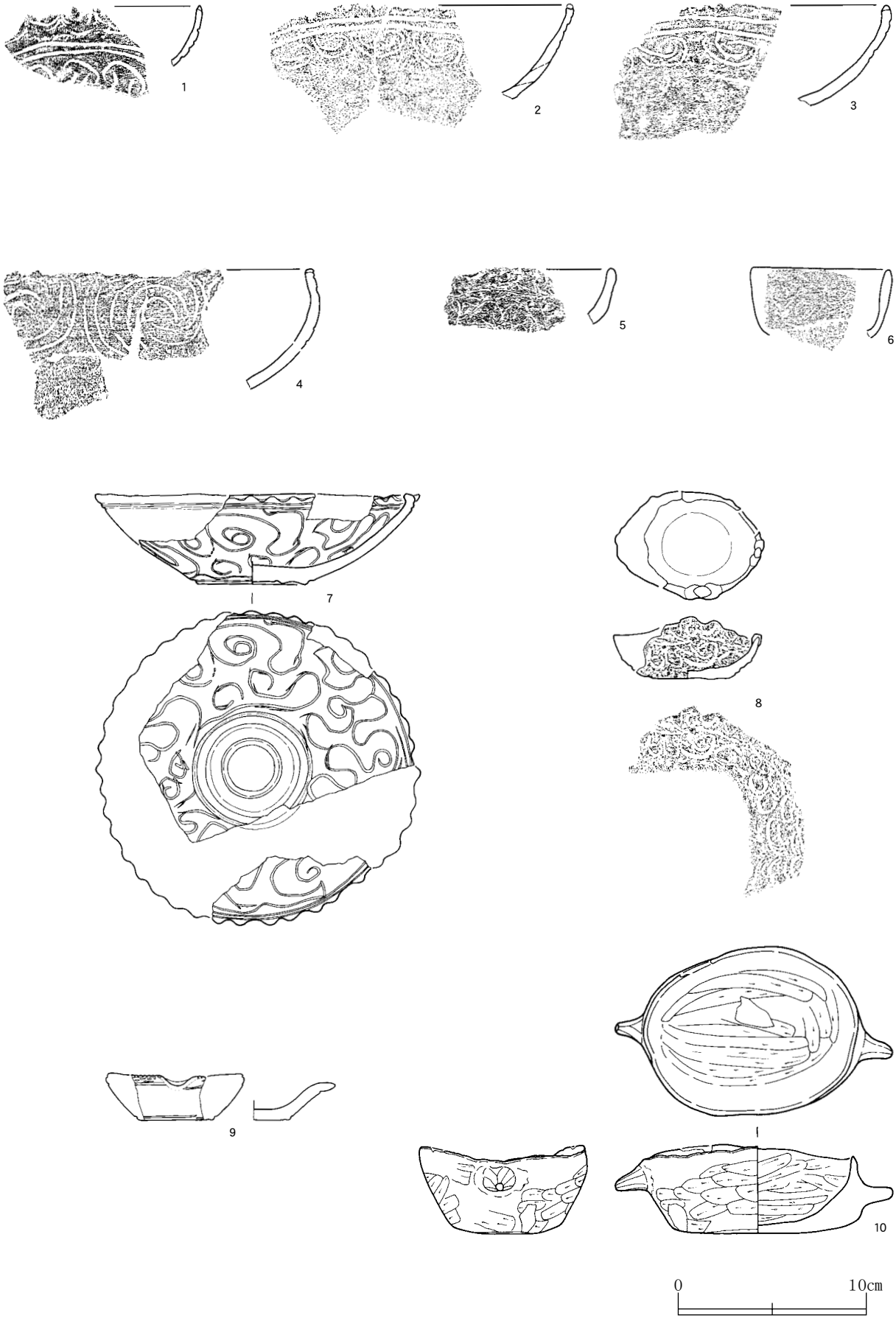
第105図　出土遺物 (82) (SM60㊼)



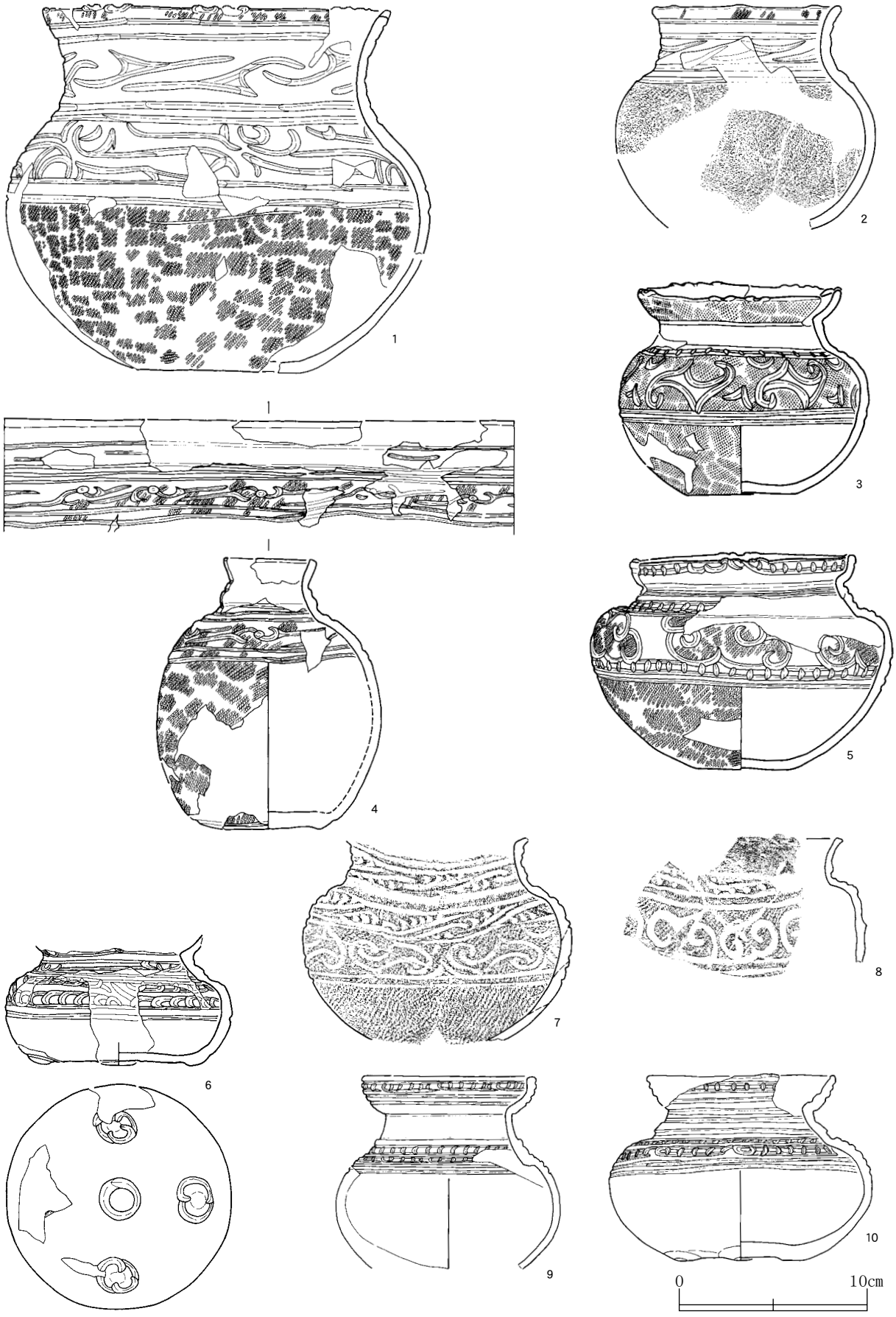
第106図　出土遺物 (83) (SM60㊽)



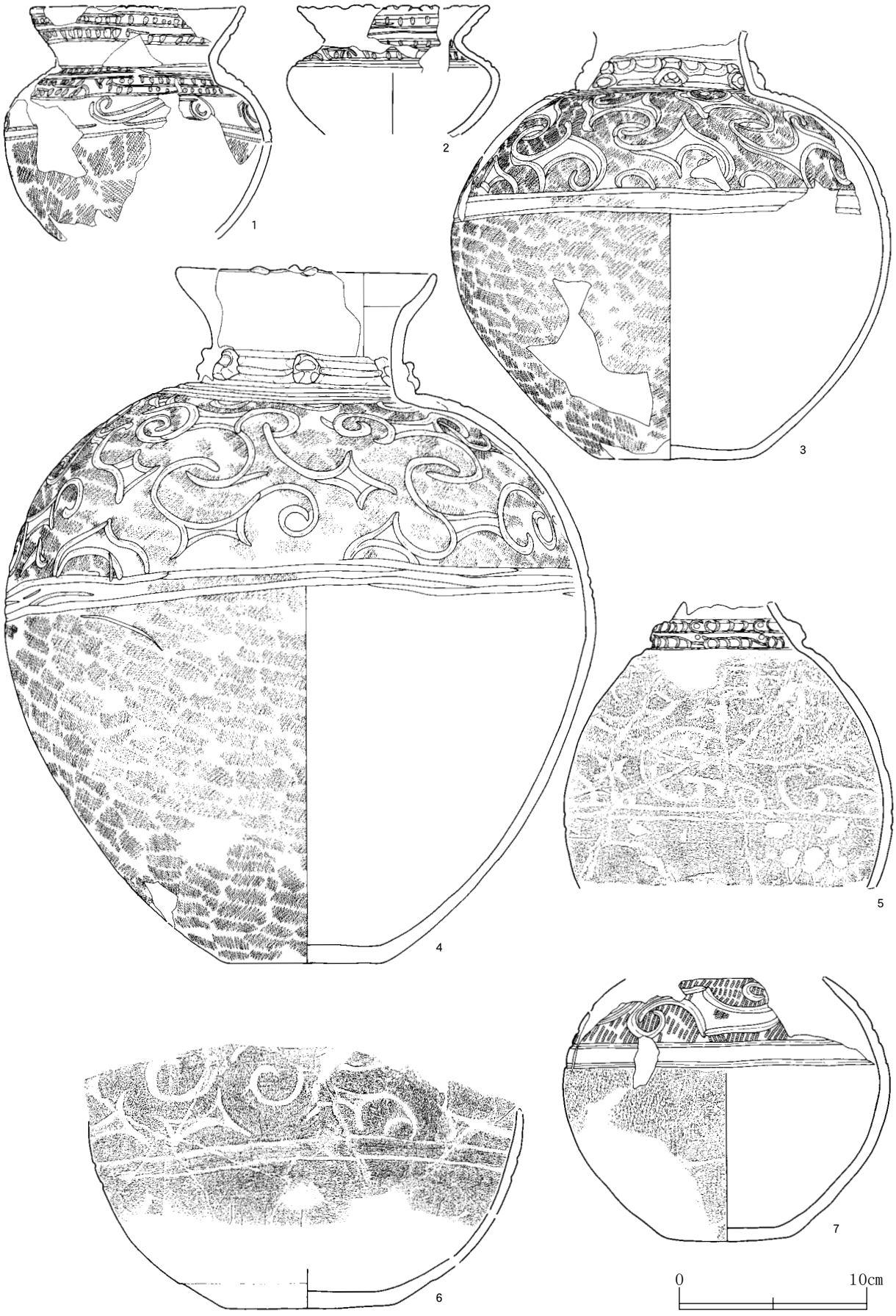
第107図　出土遺物 (84) (SM60㊾)



第108図　出土遺物 (85) (SM60⑦⓪)

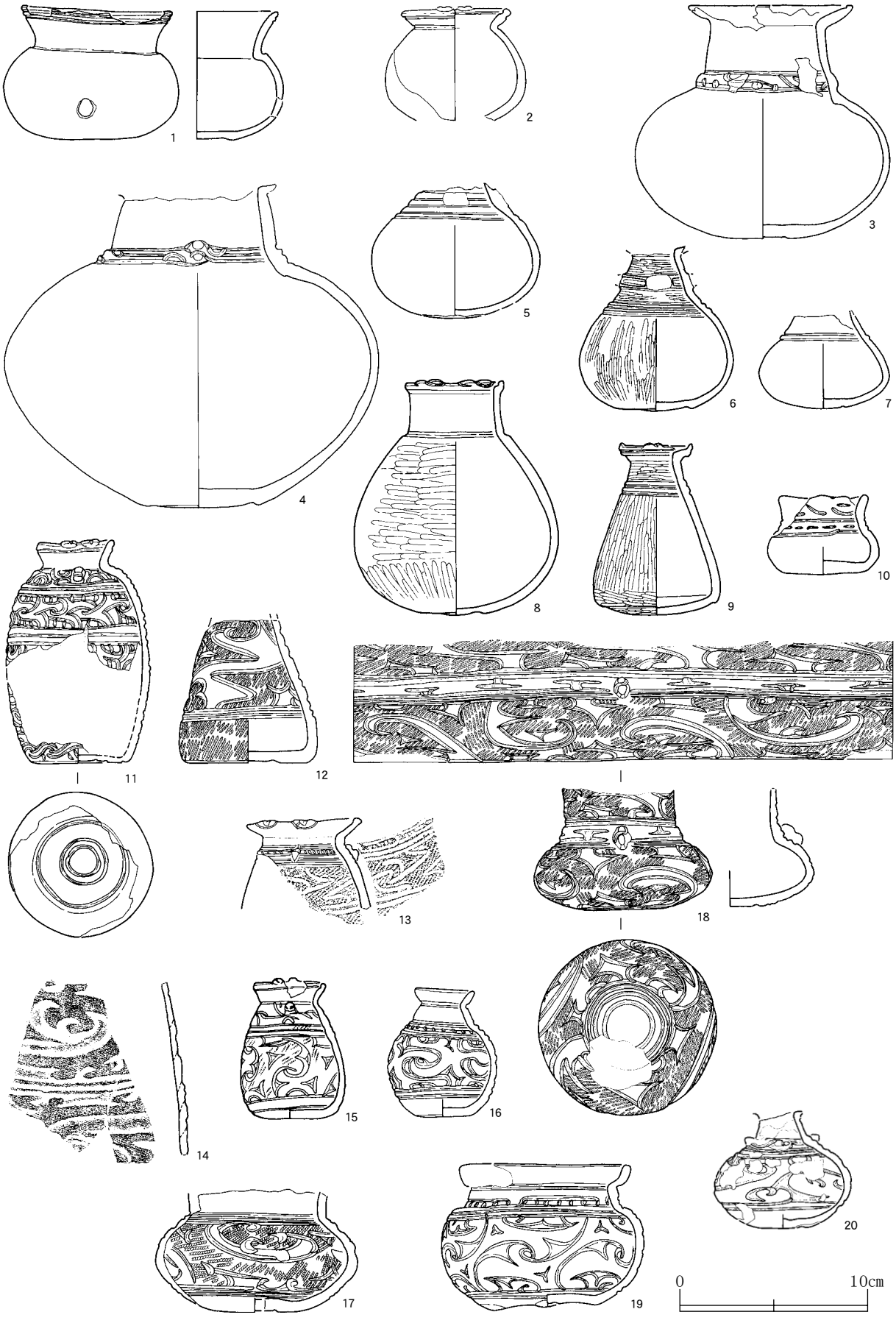


第109図　出土遺物 (86) (SM60㉑)

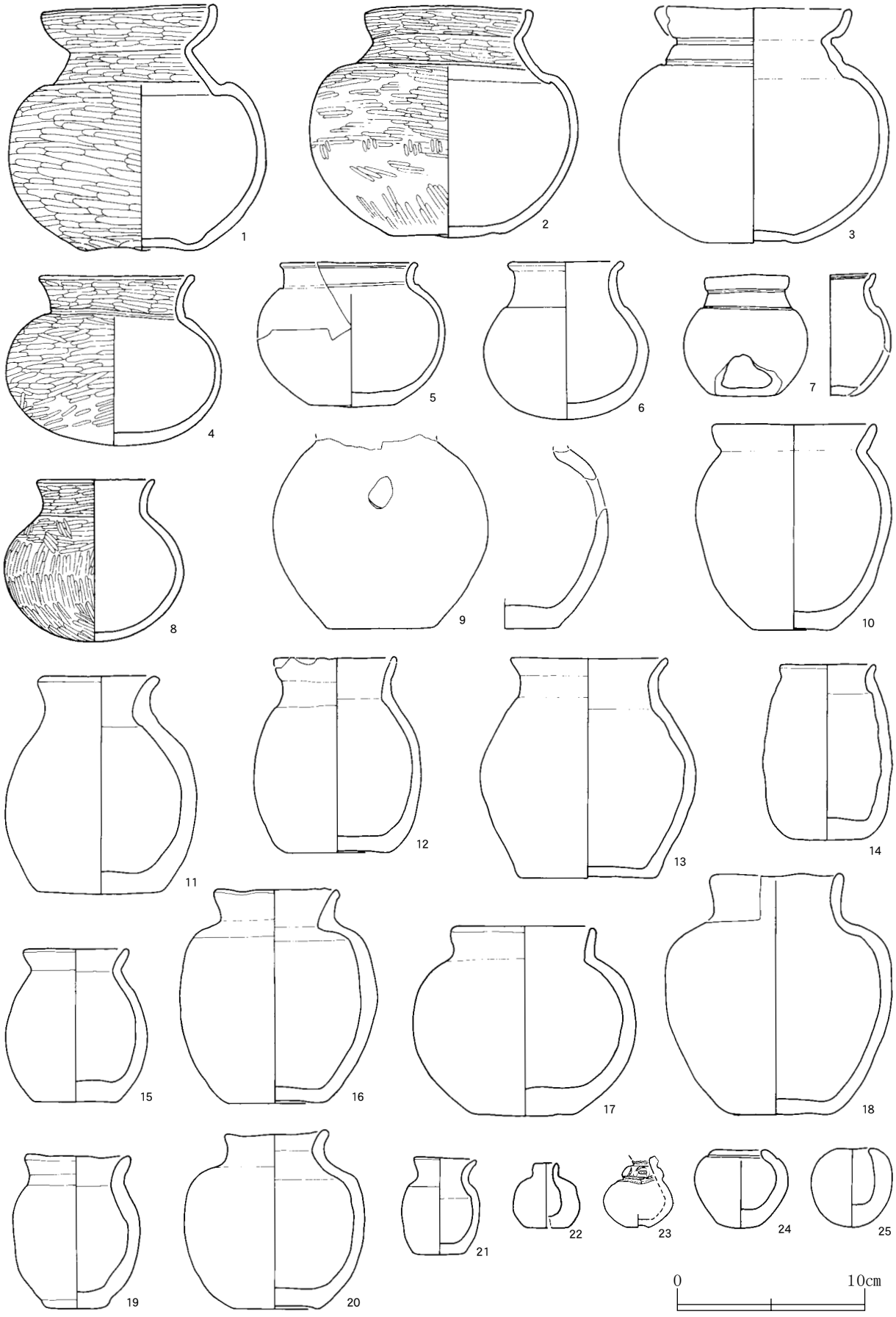


第110図　出土遺物 (87) (SM60⑫)

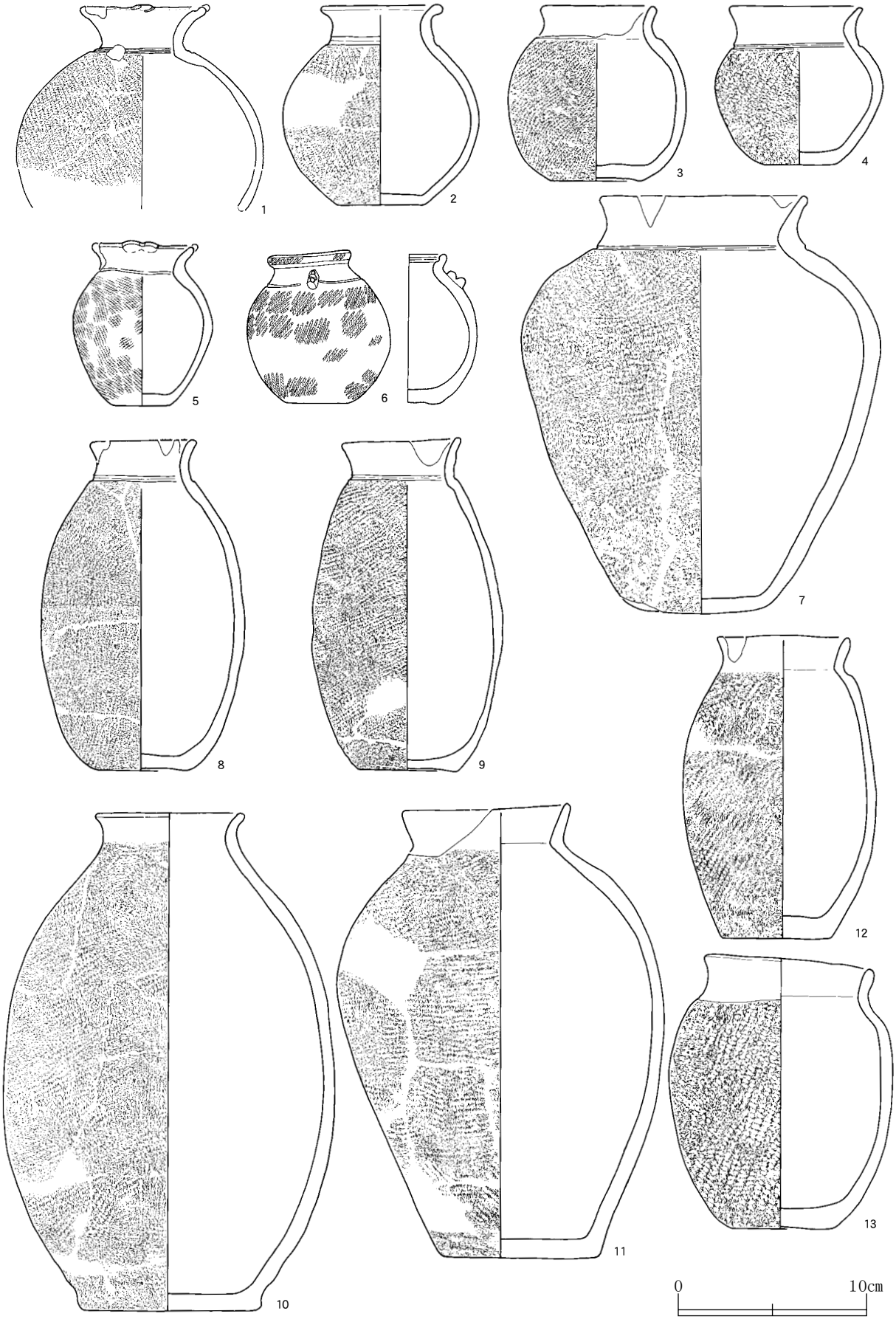
第111図　出土遺物 (88) (SM60㉓)



第112図　出土遺物 (89) (SM60⑭)

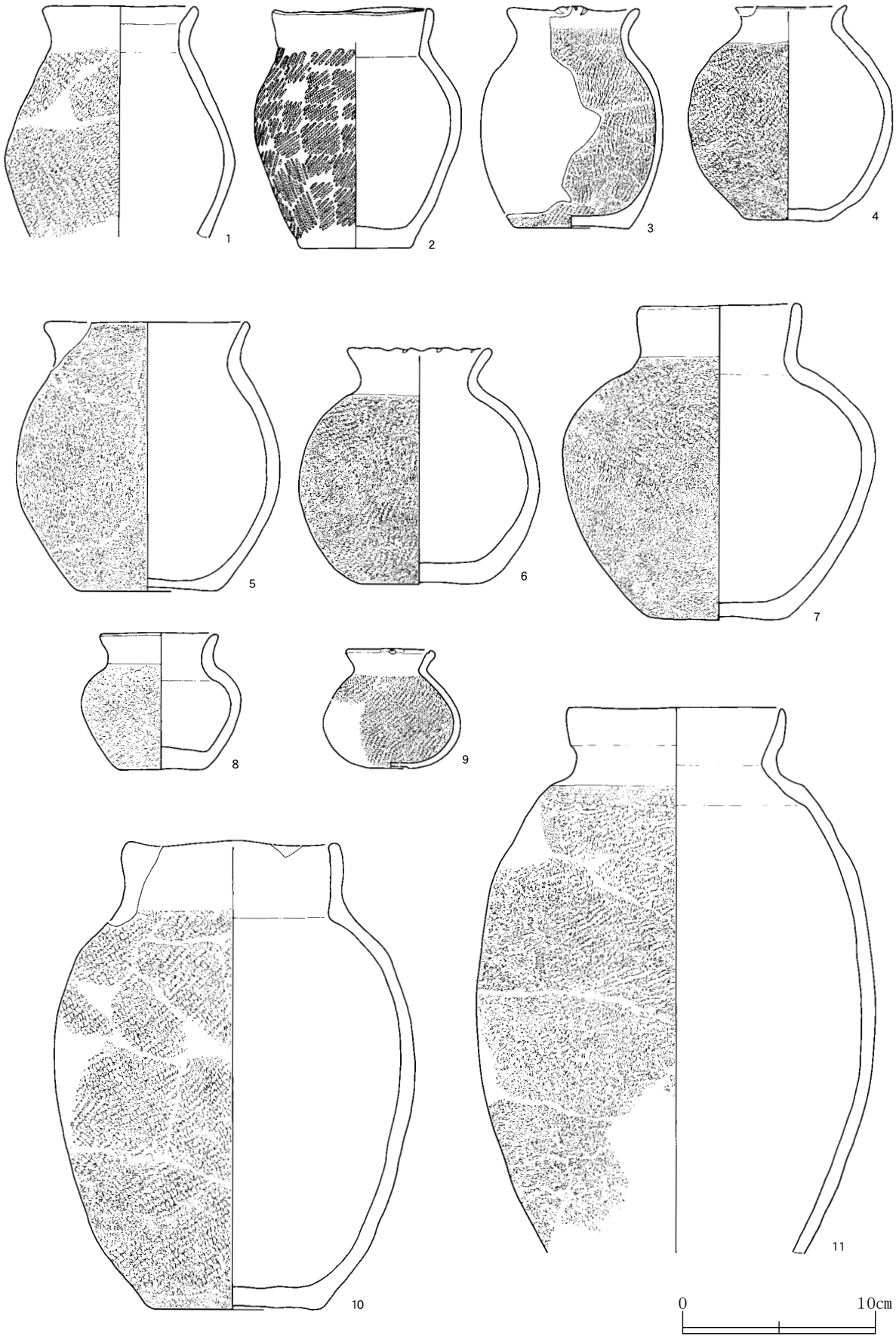


第113図　出土遺物 (90) (SM60㉕)

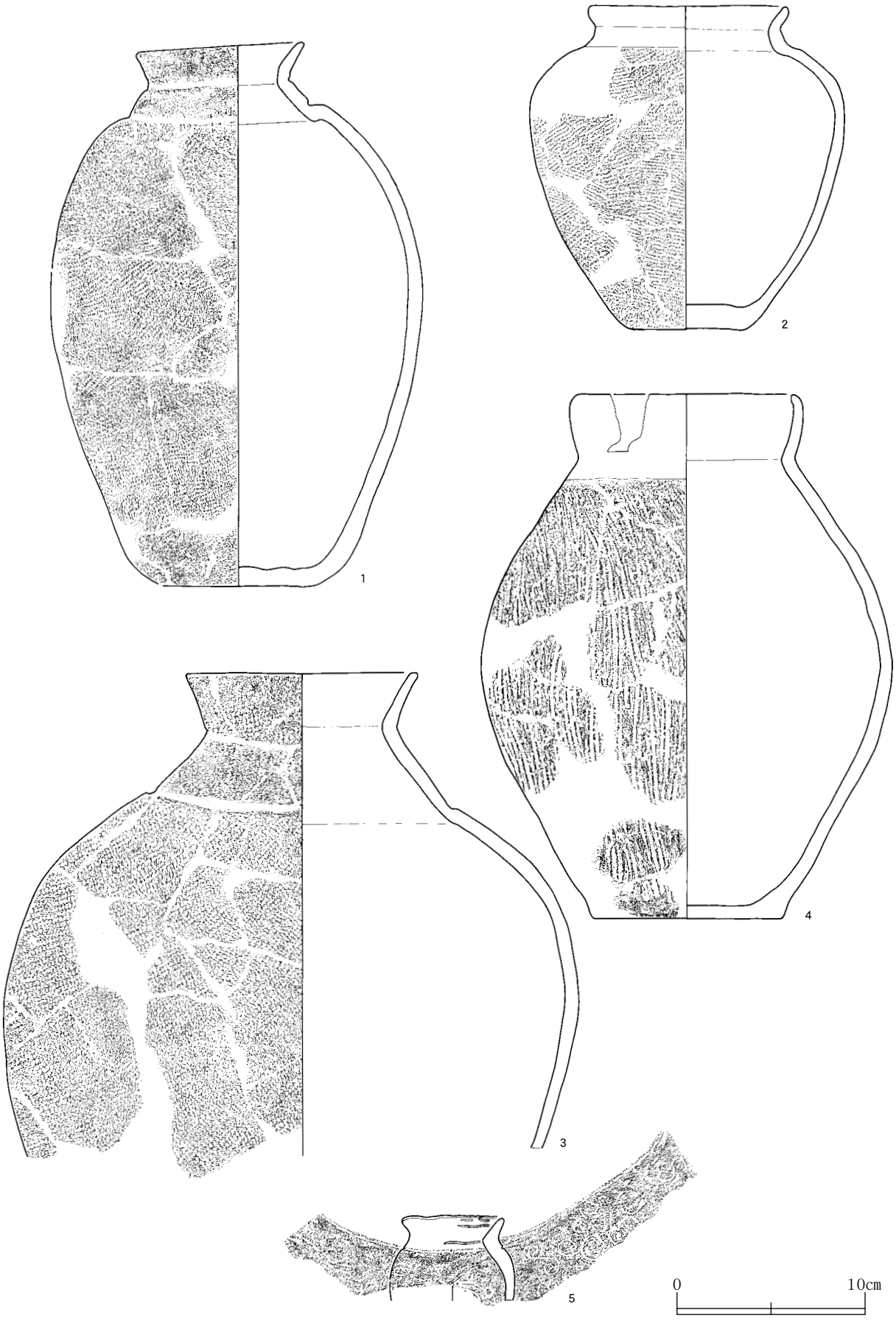


第114図　出土遺物 (91) (SM60⑯)

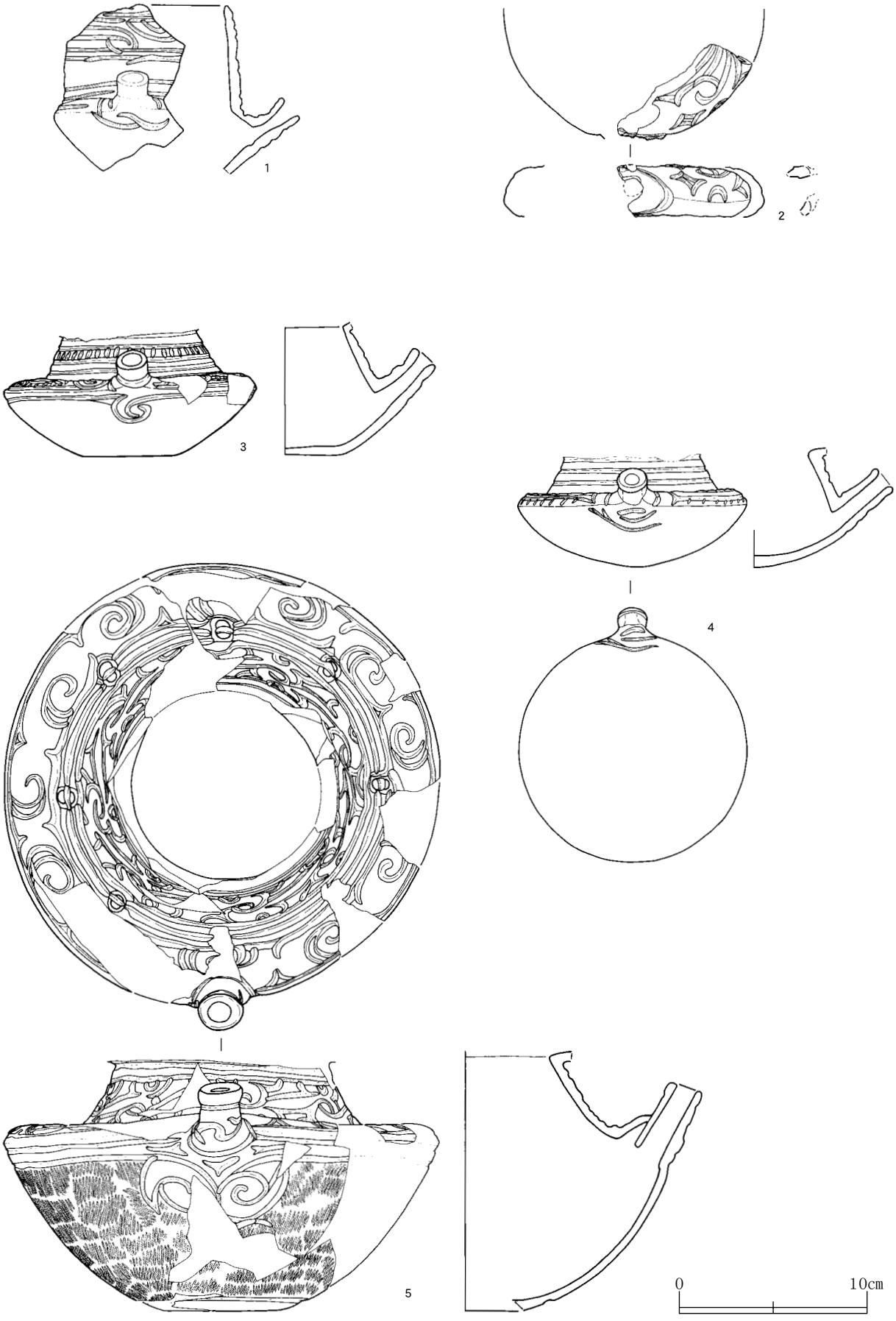
第115図　出土遺物 (92) (SM60㉗)



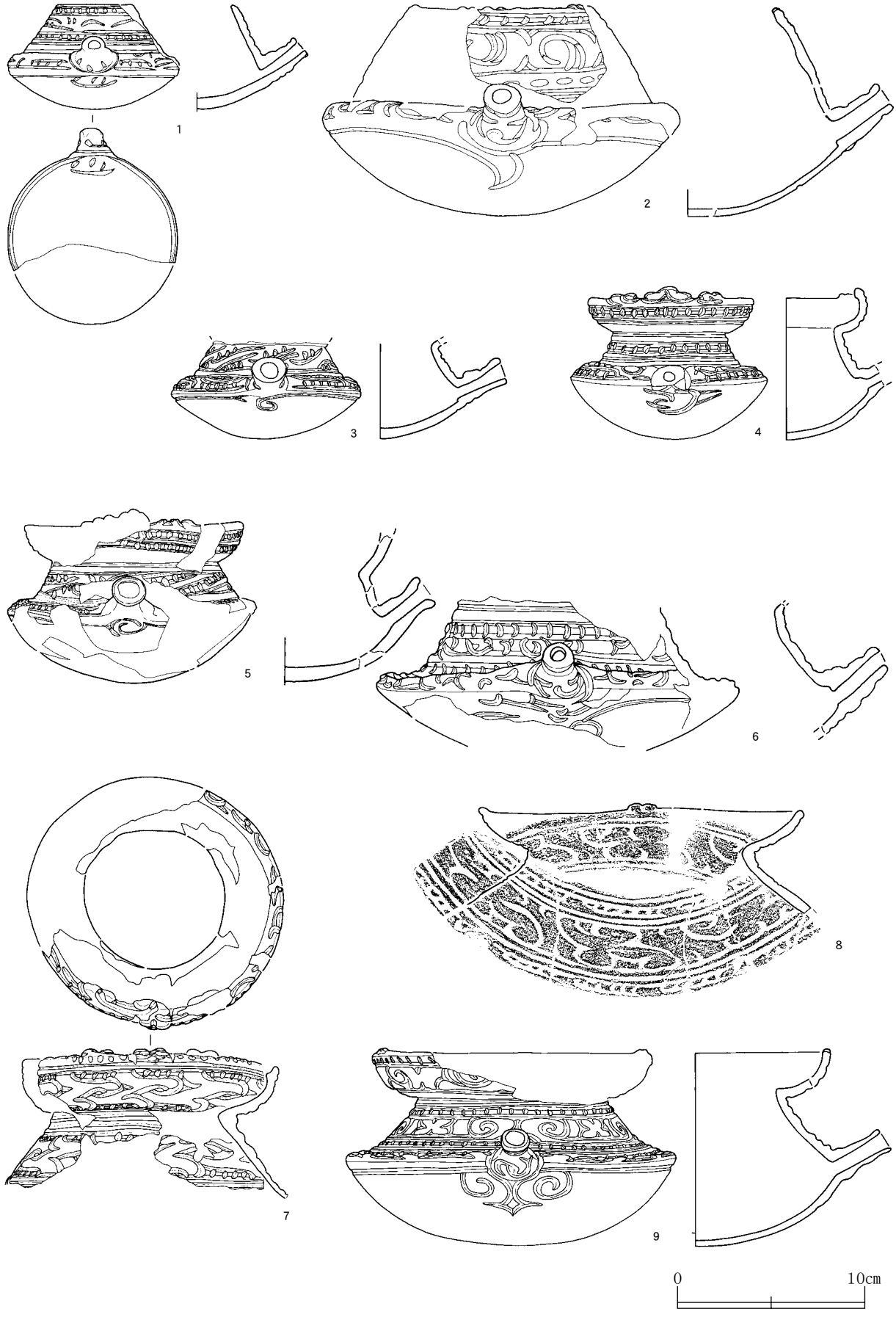
第116図　出土遺物 (93) (SM60㉘)



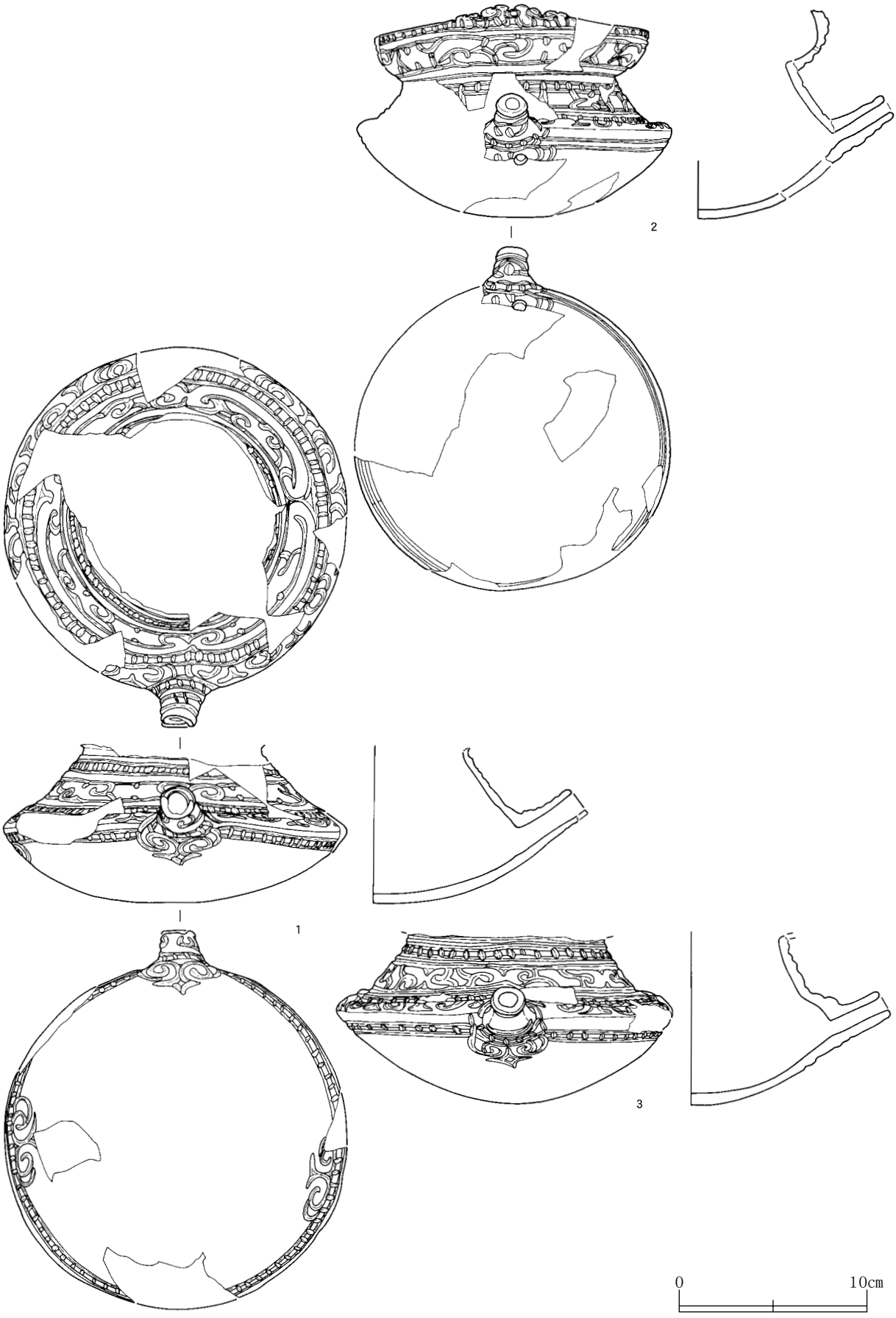
第117図　出土遺物 (94) (SM60㉙)



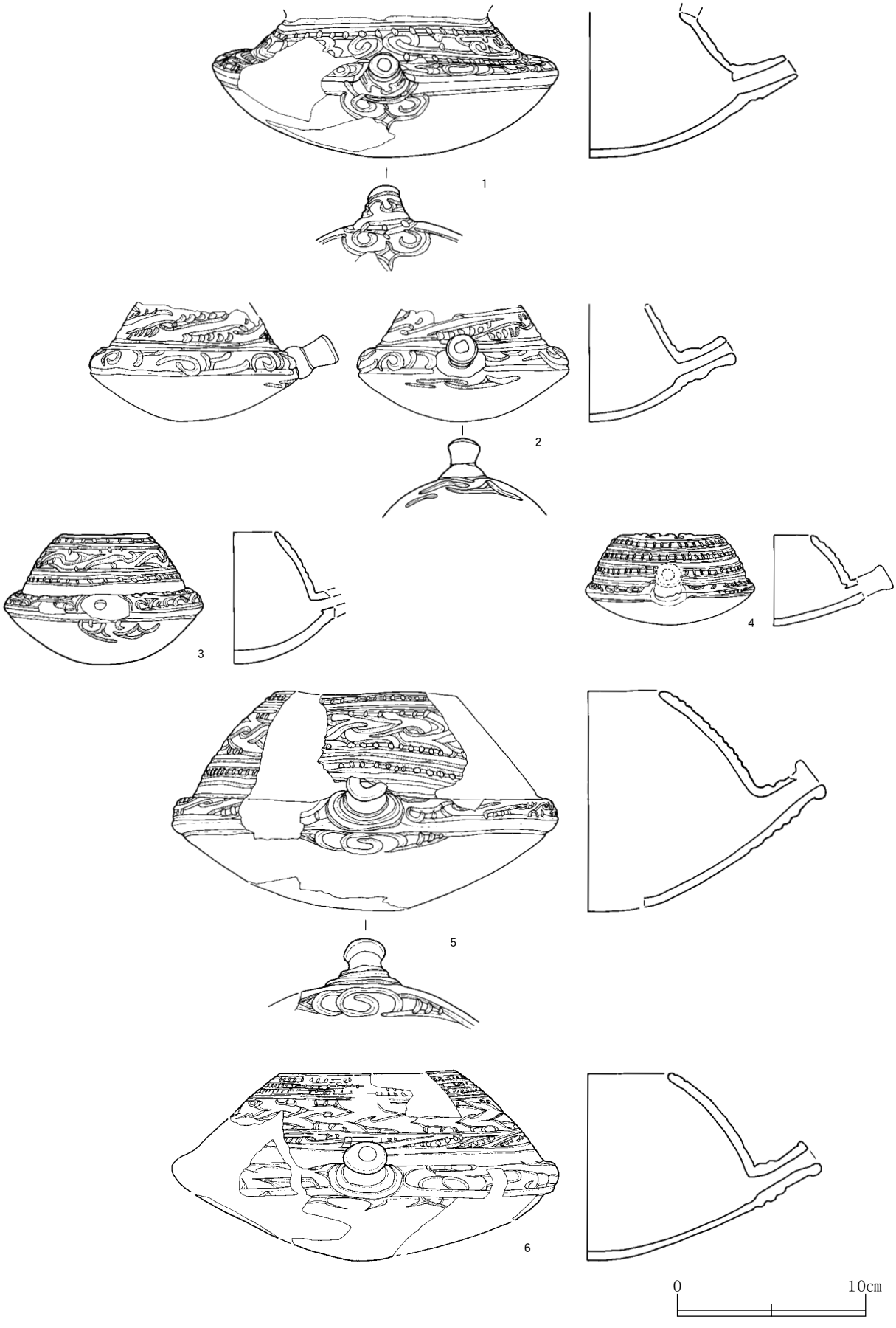
第118図　出土遺物 (95) (SM60㊽)



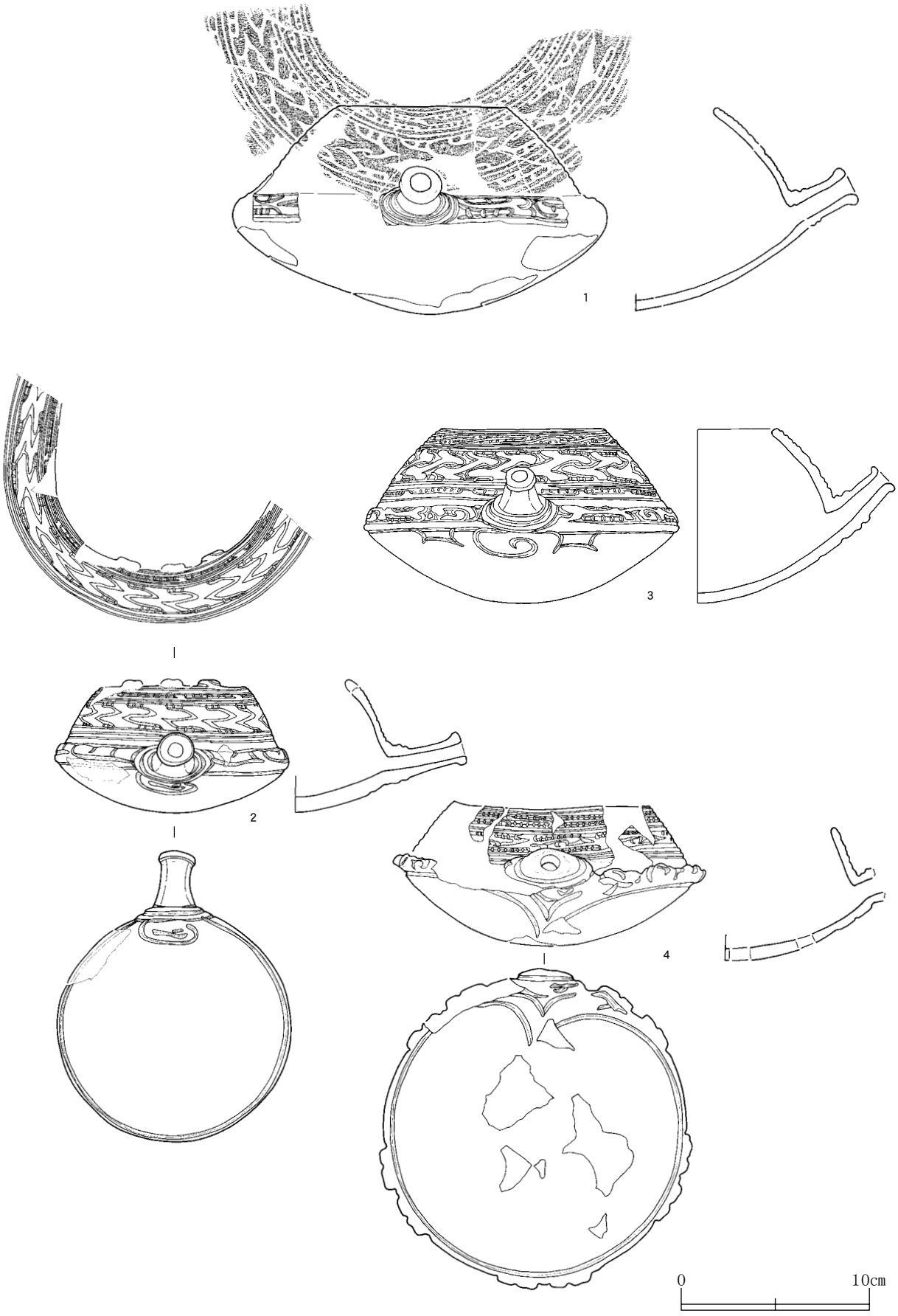
第119図　出土遺物 (96) (SM60㊽)



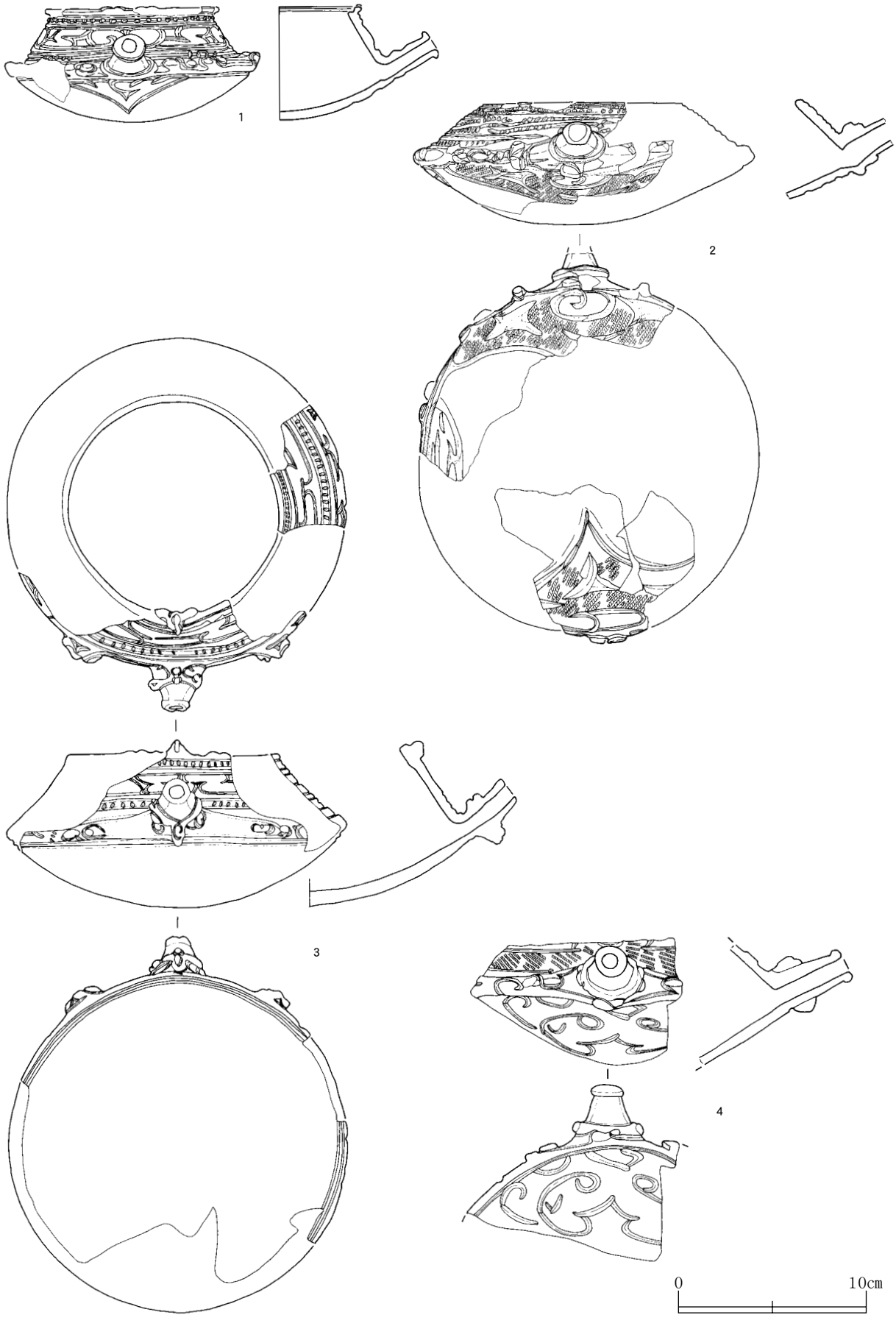
第120図　出土遺物 (97) (SM60㉜)



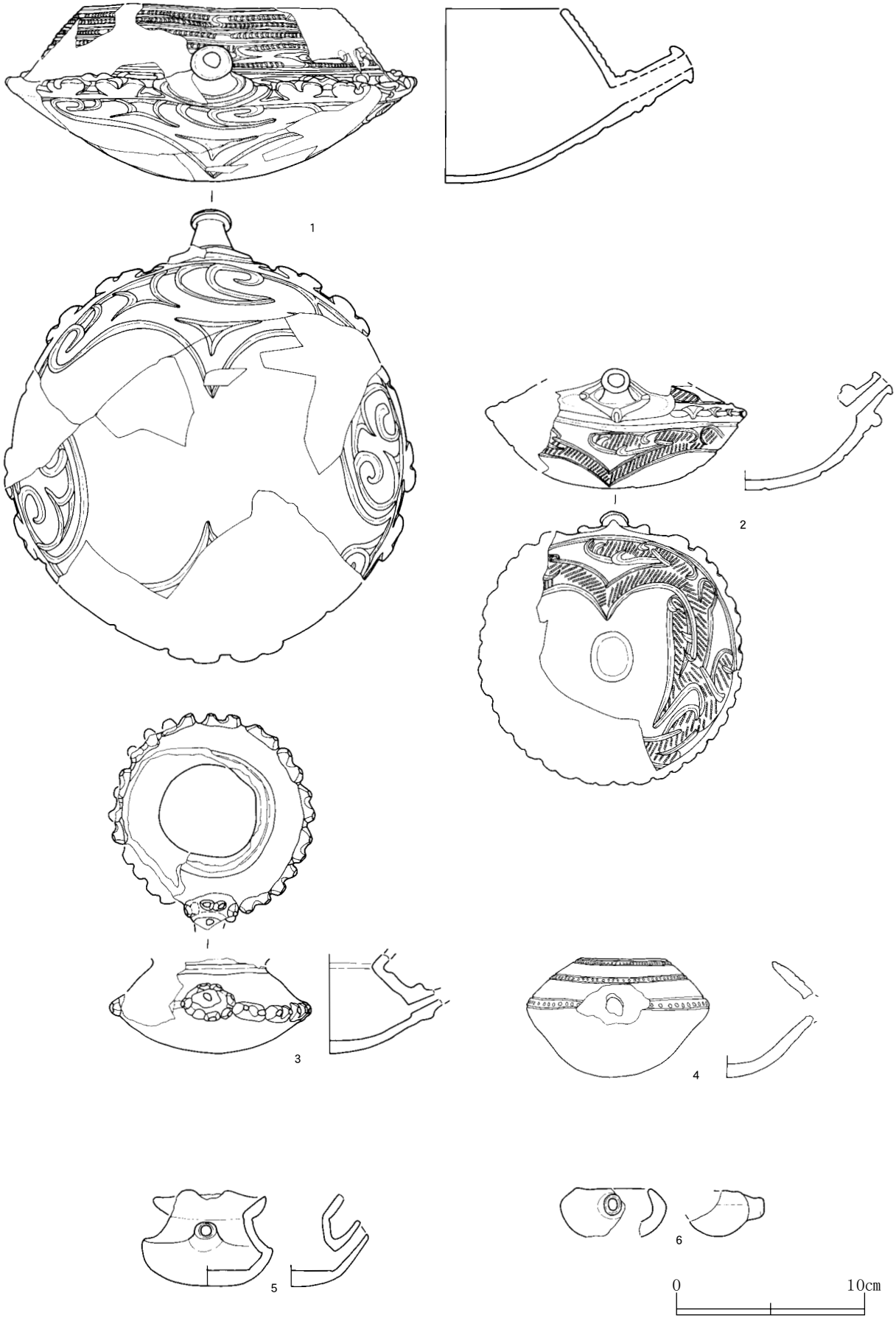
第121図　出土遺物 (98) (SM60㉝)



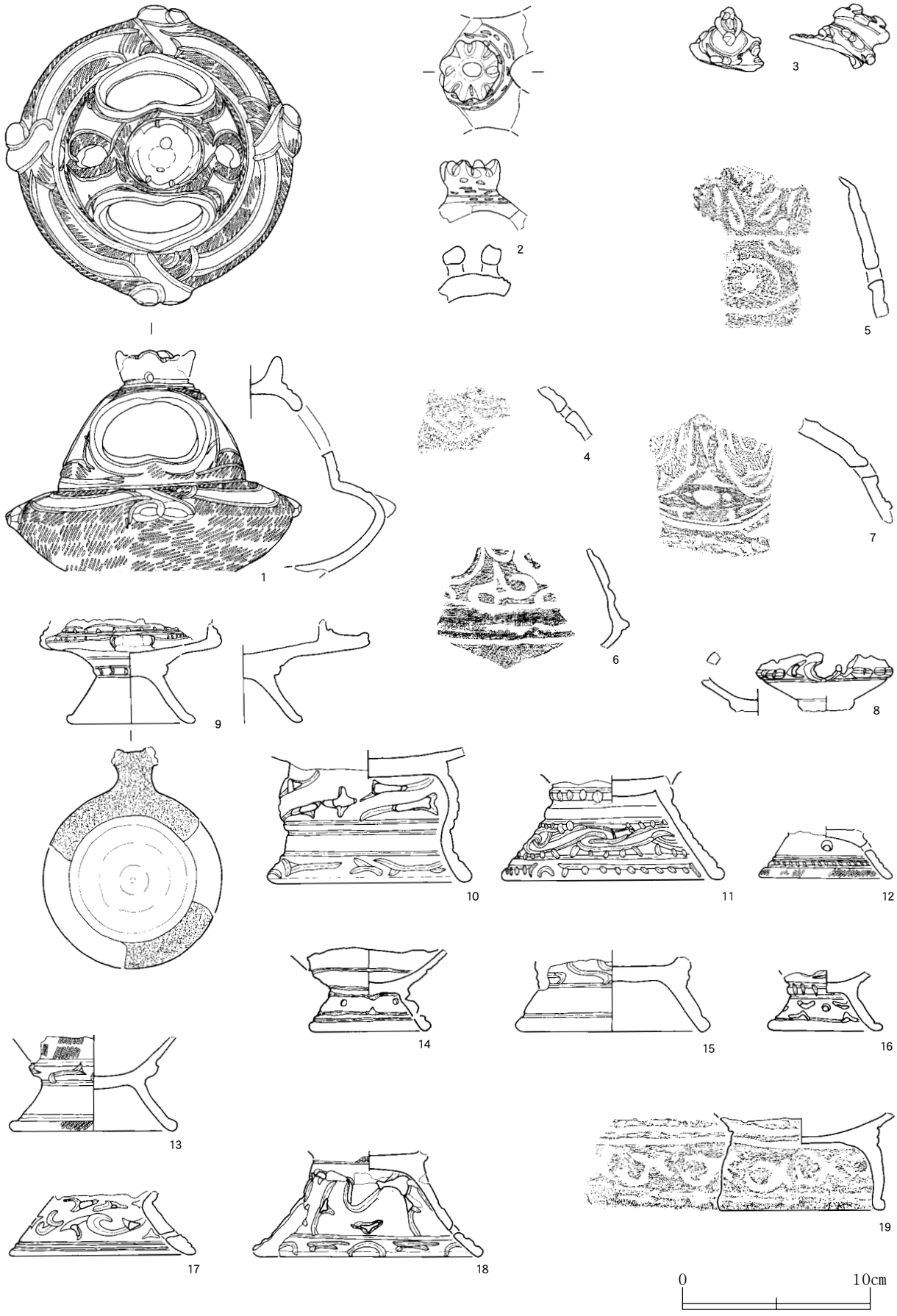
第122図　出土遺物 (99) (SM60㊹)



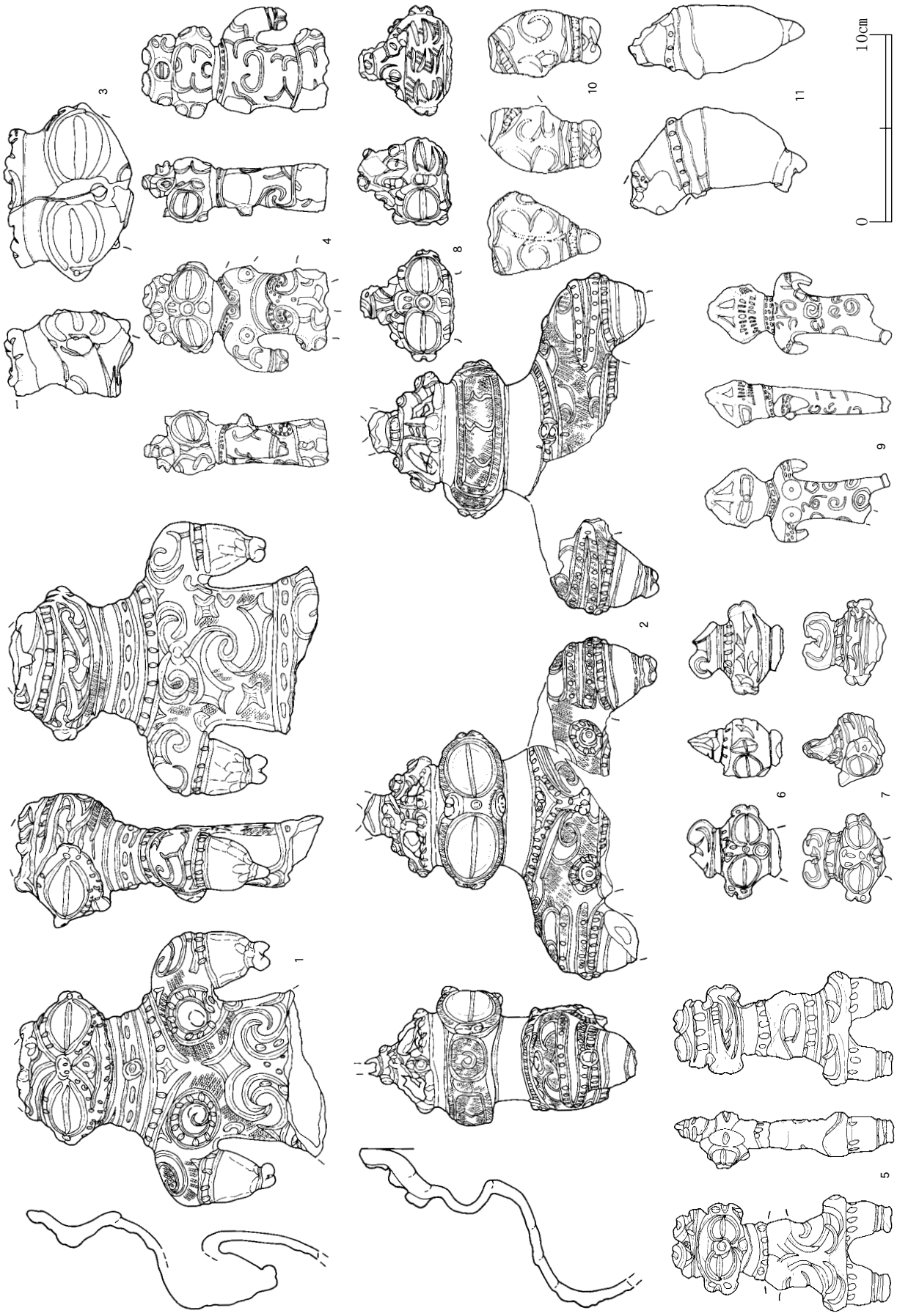
第123図　出土遺物（100）(SM60㉟)



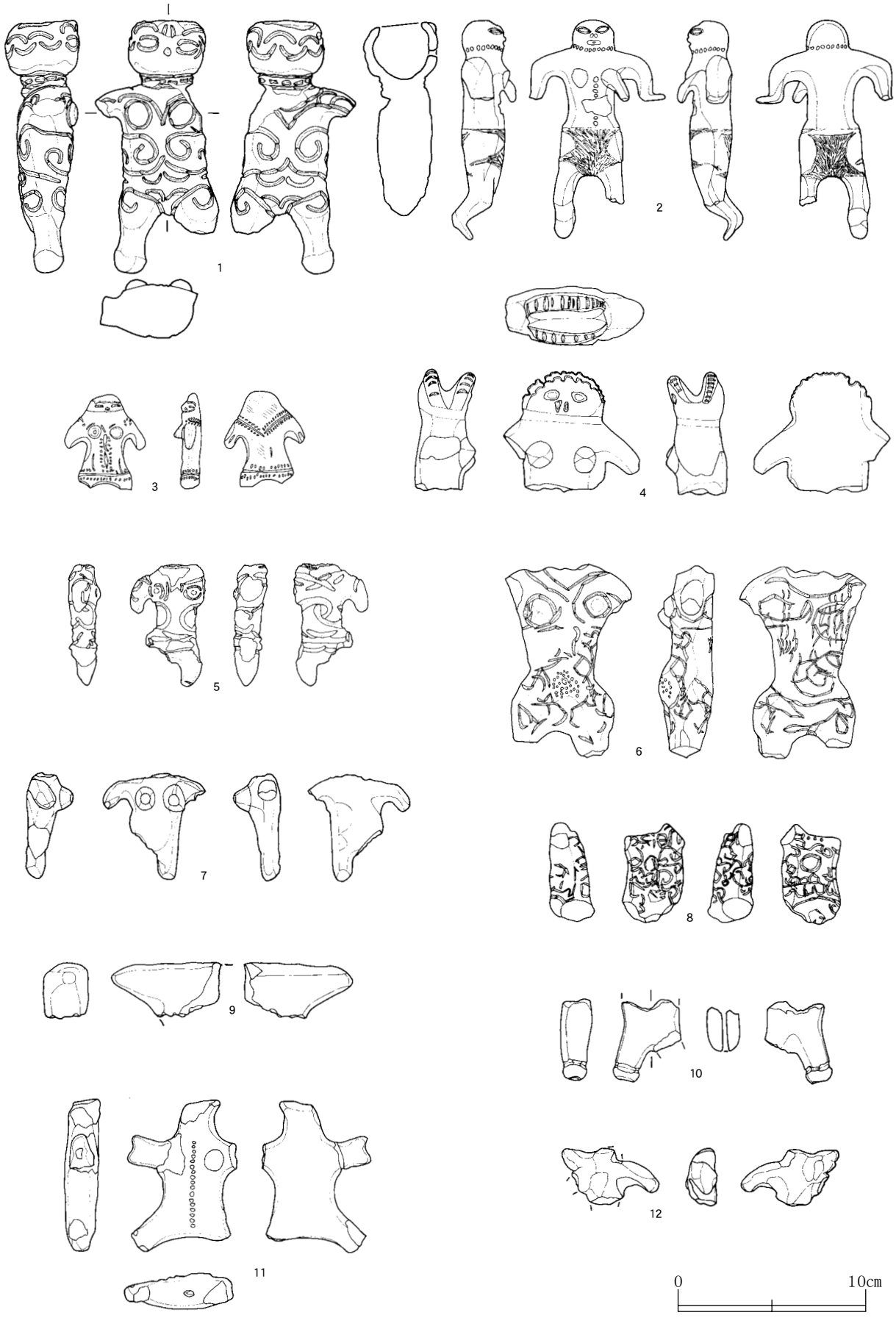
第124図　出土遺物（101）（SM60㊽）



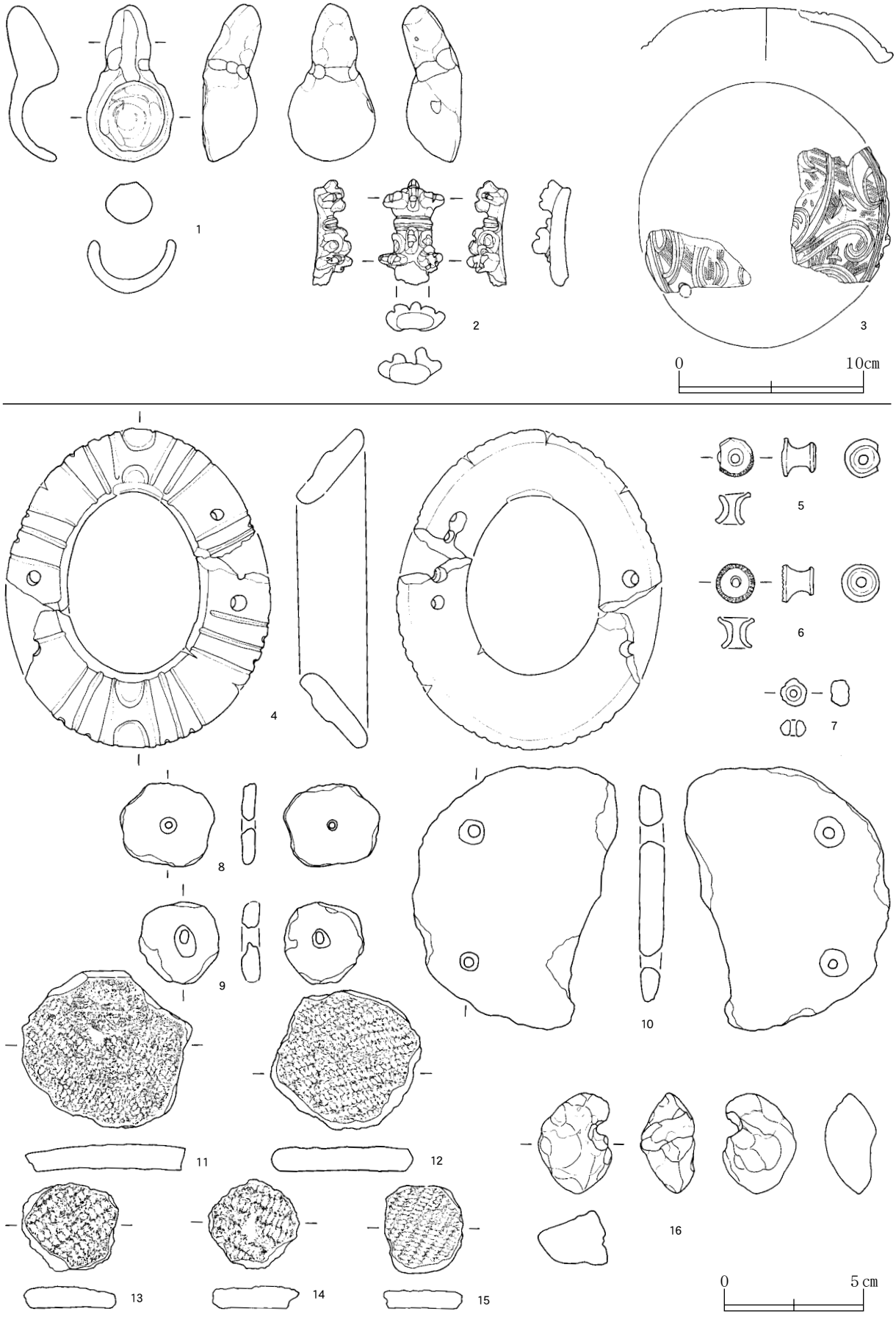
第125図　出土遺物（102）(SM60㊼)



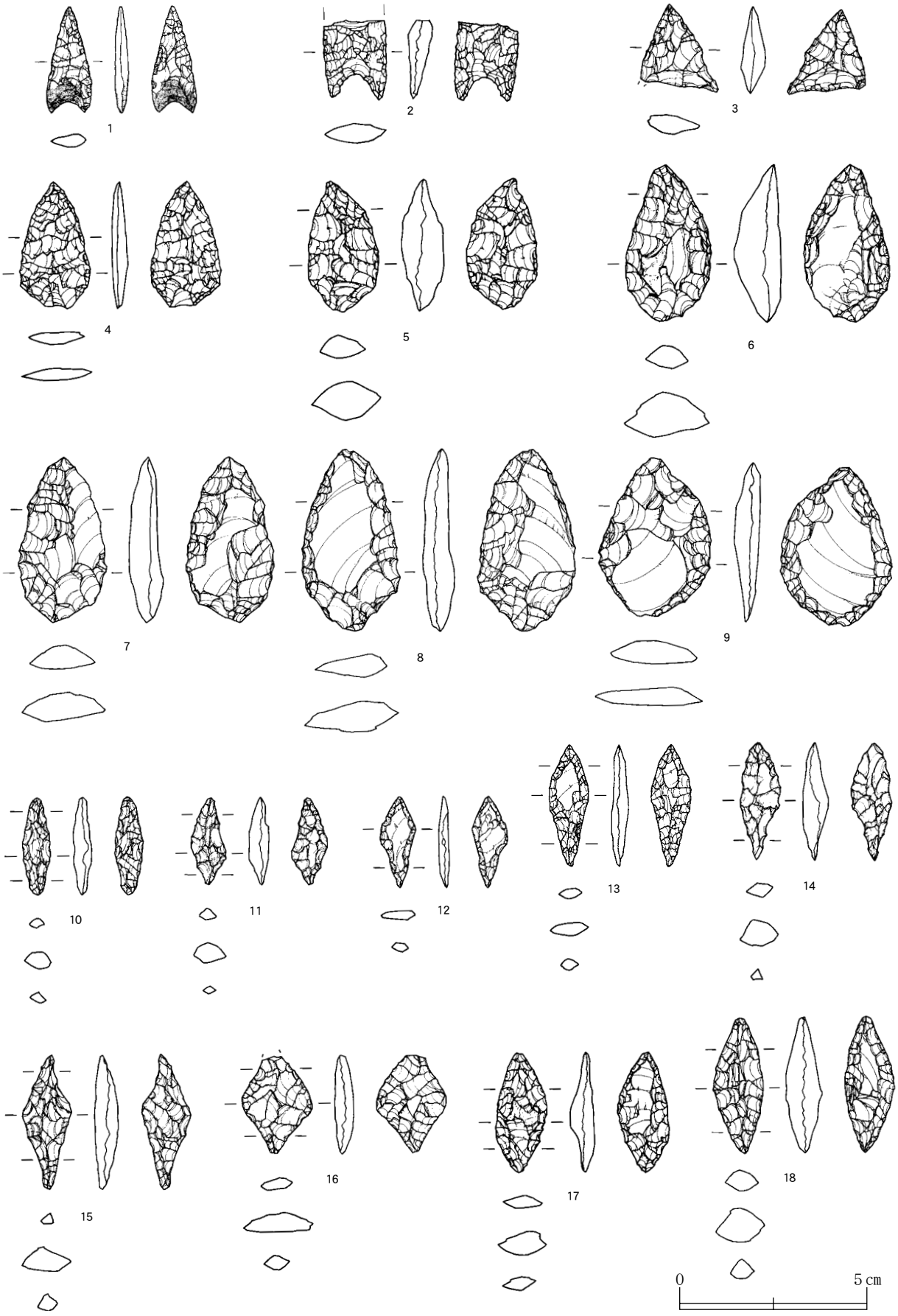
第126図　出土遺物（103）(SM60㊽)



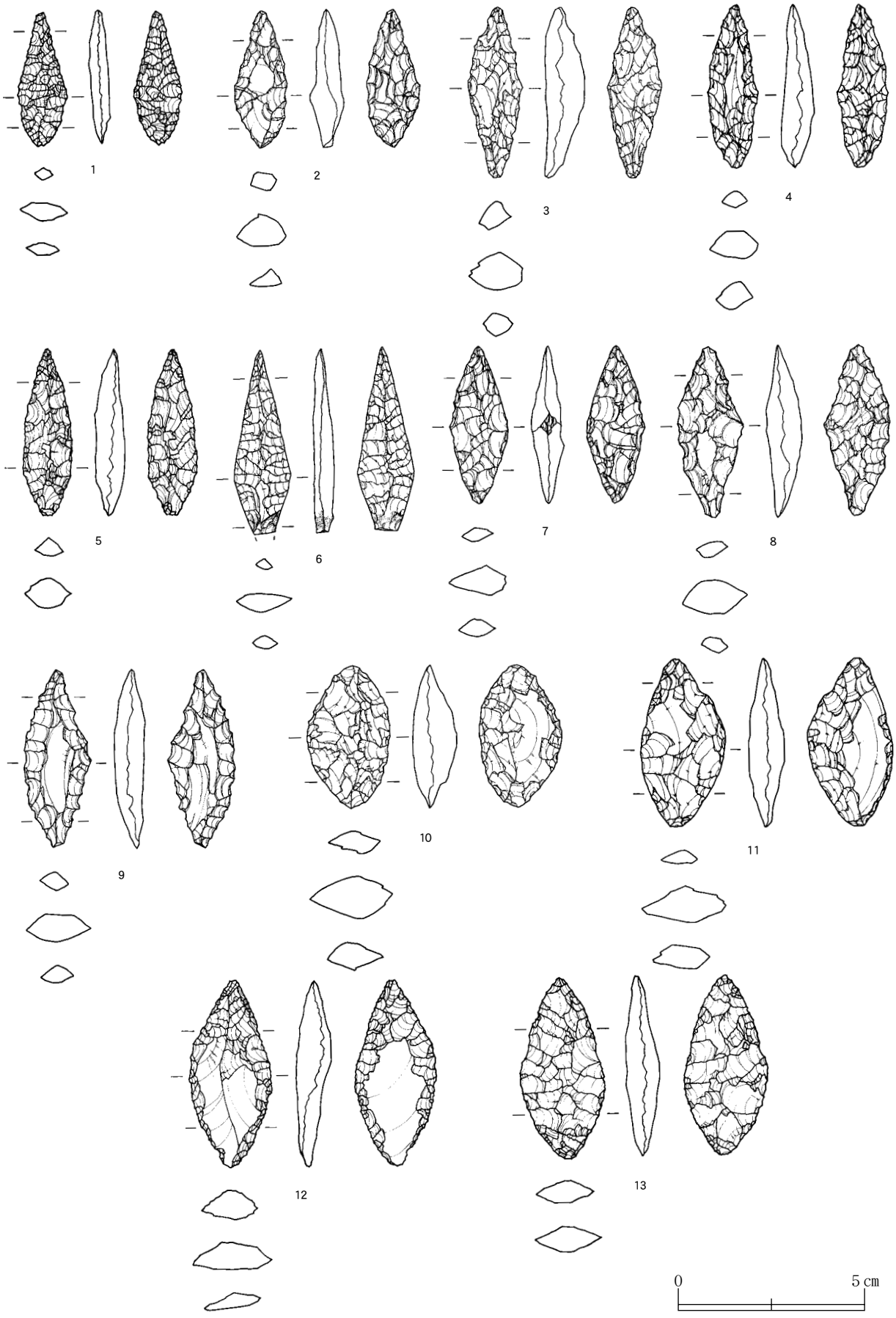
第127図　出土遺物（104）(SM60㊽)



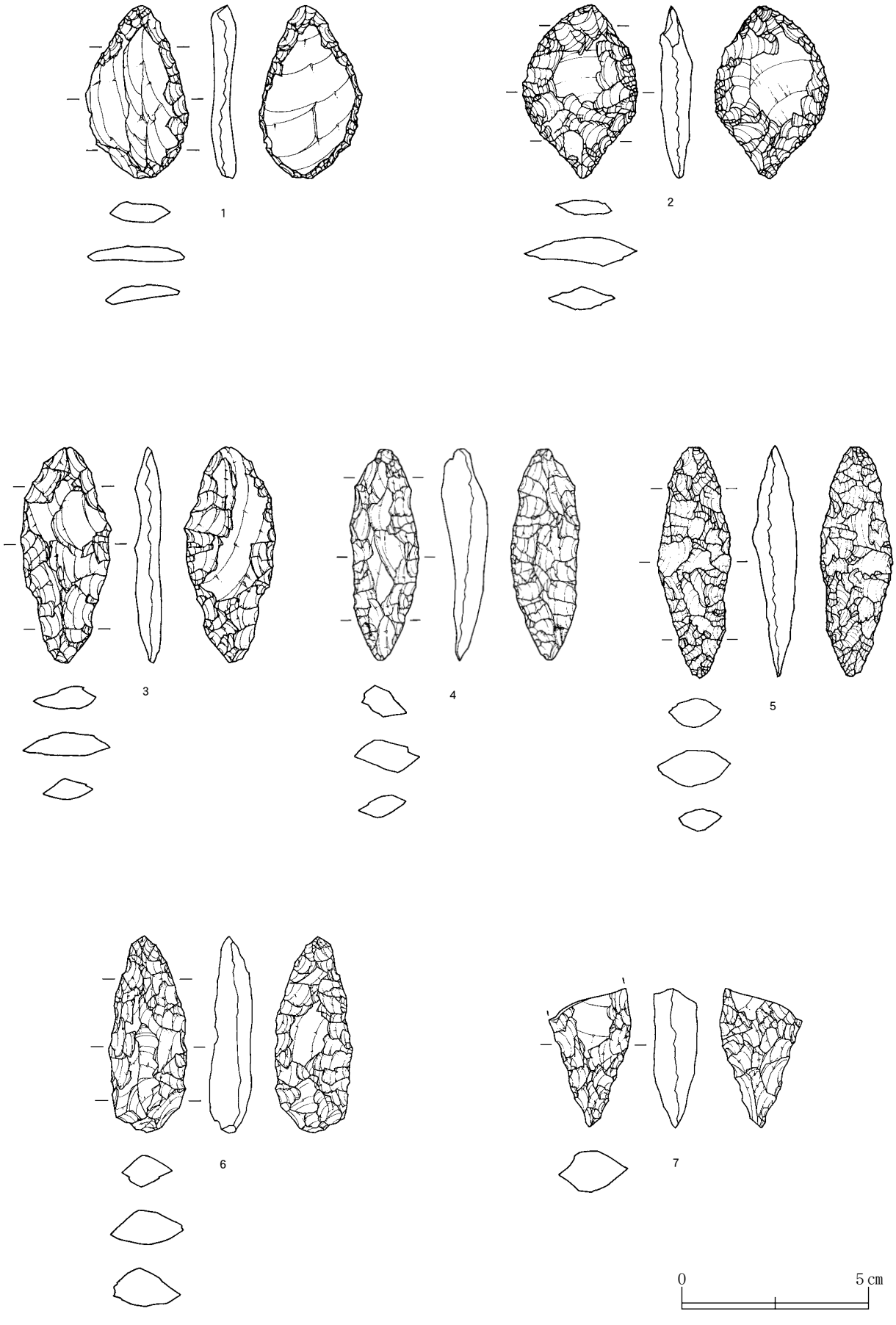
第128図　出土遺物（105）（SM60⑨⓪）



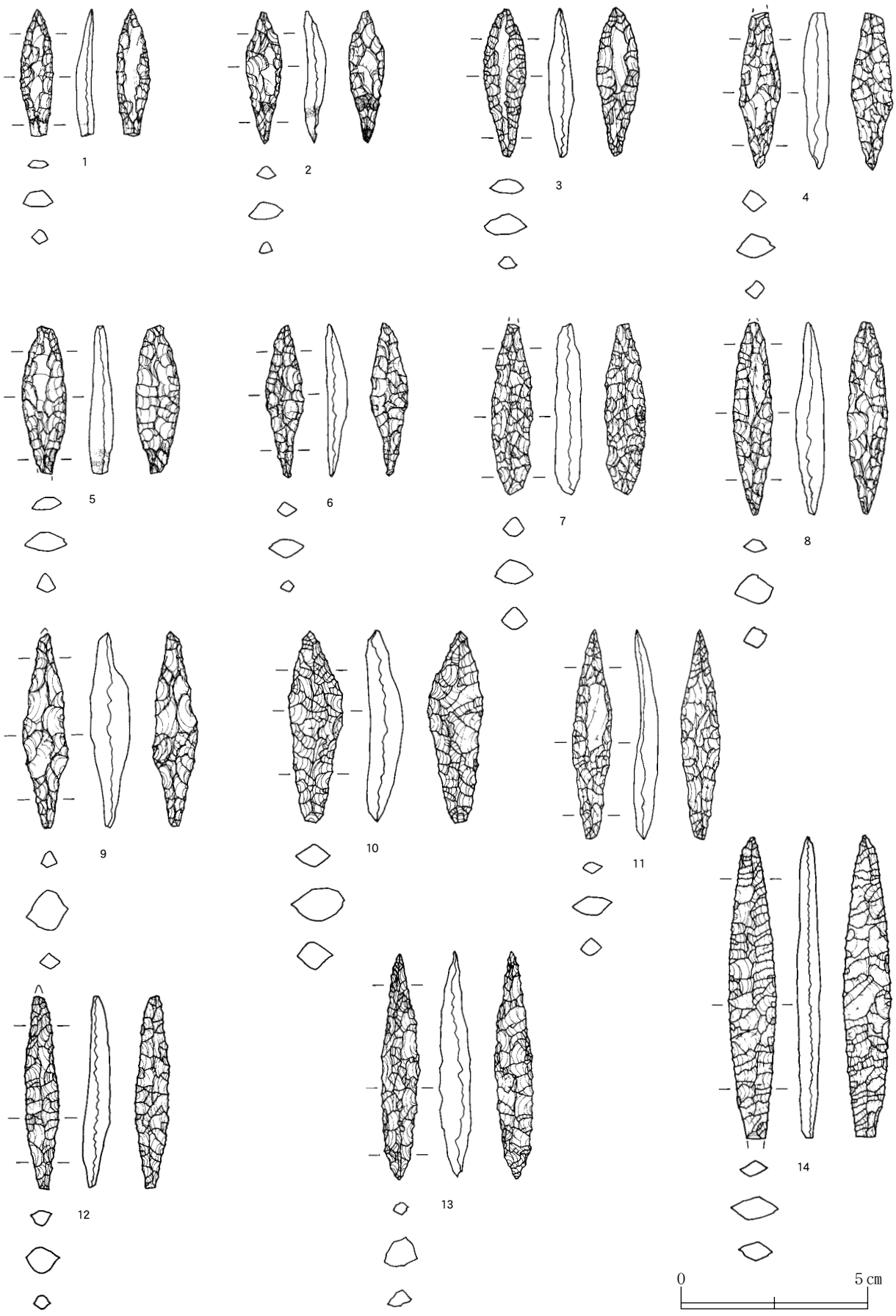
第129図　出土遺物（106）(SM60㊶)



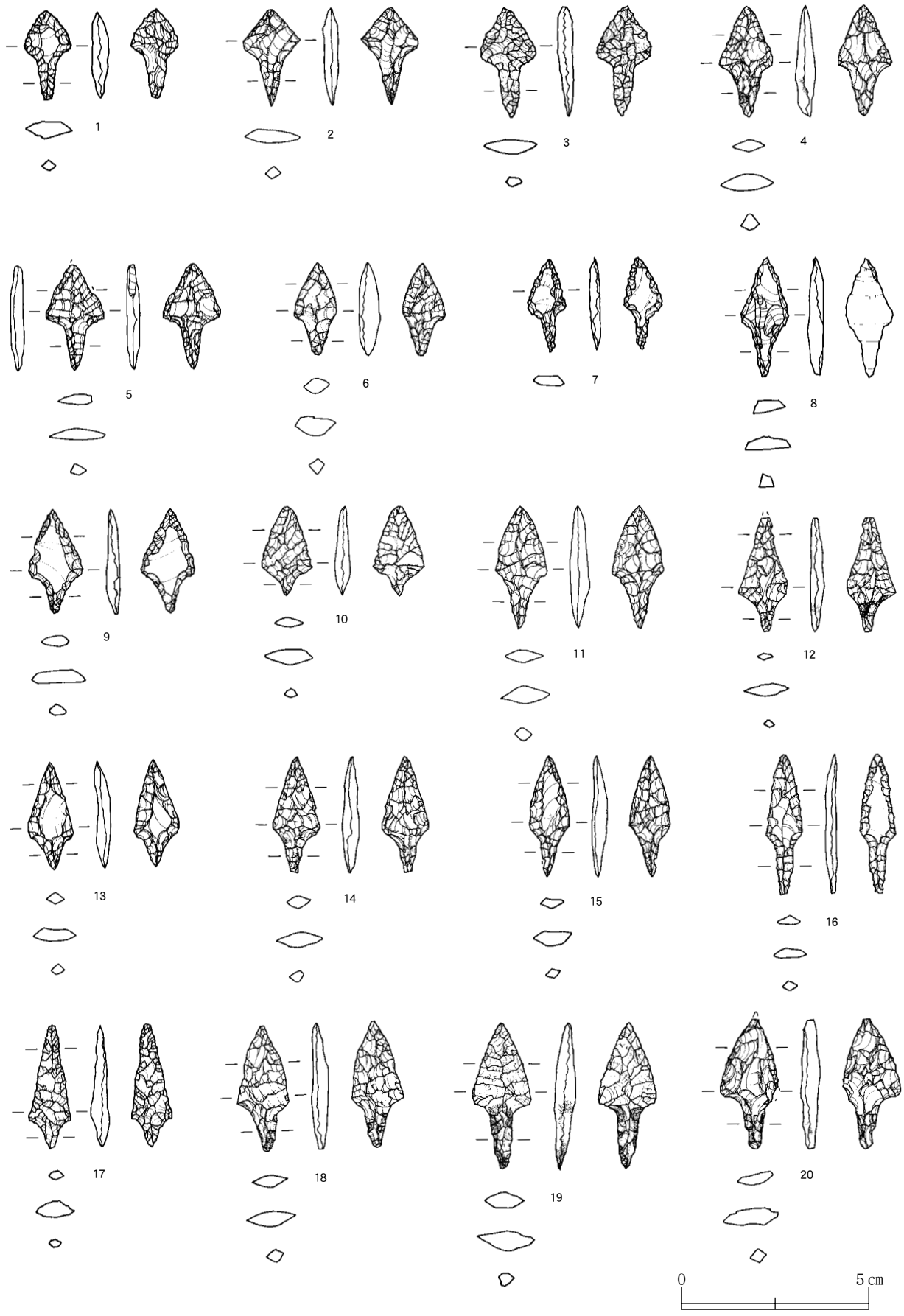
第130図　出土遺物（107）（SM60㉒）



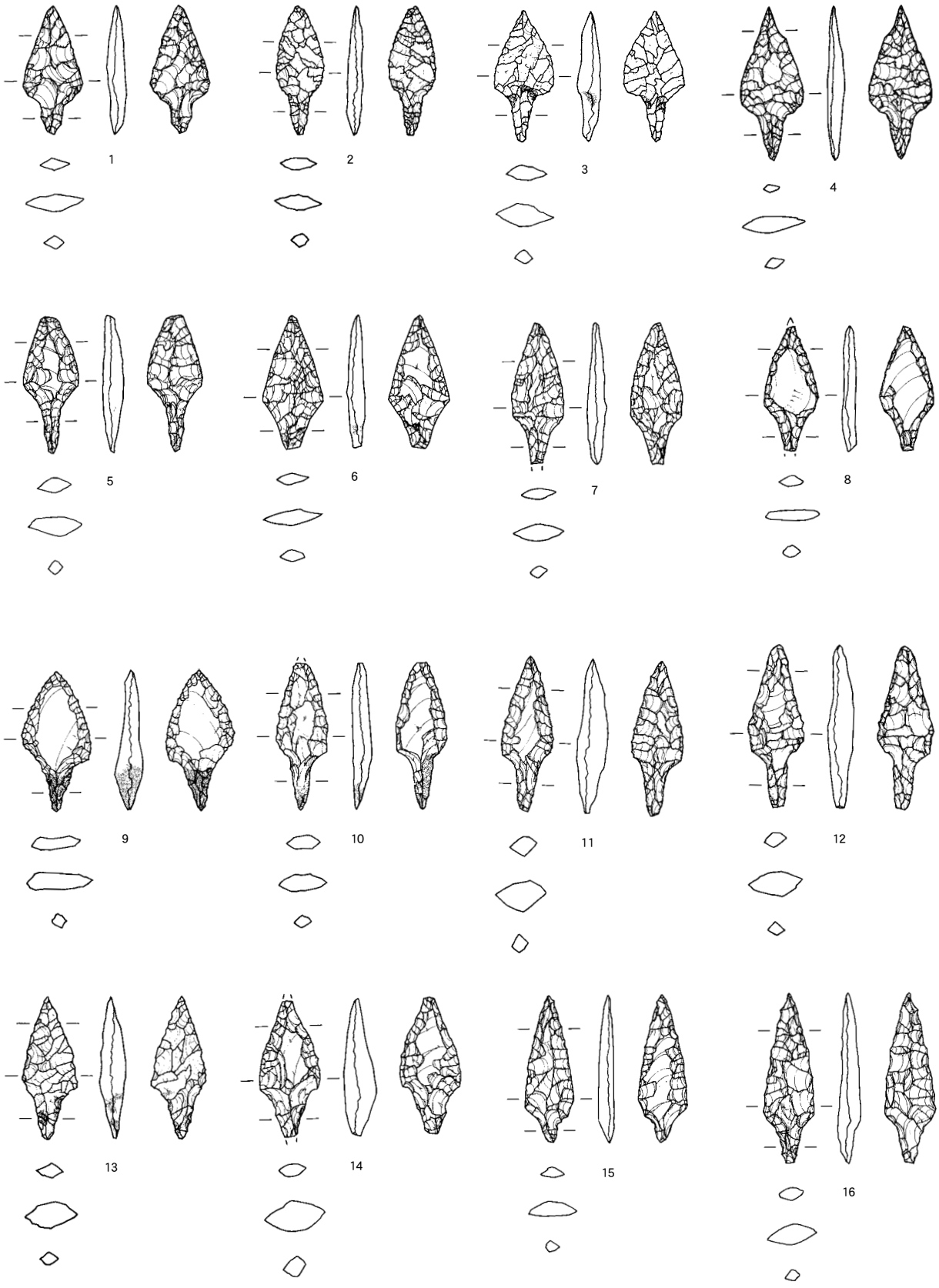
第131図　出土遺物（108）(SM60㉝)



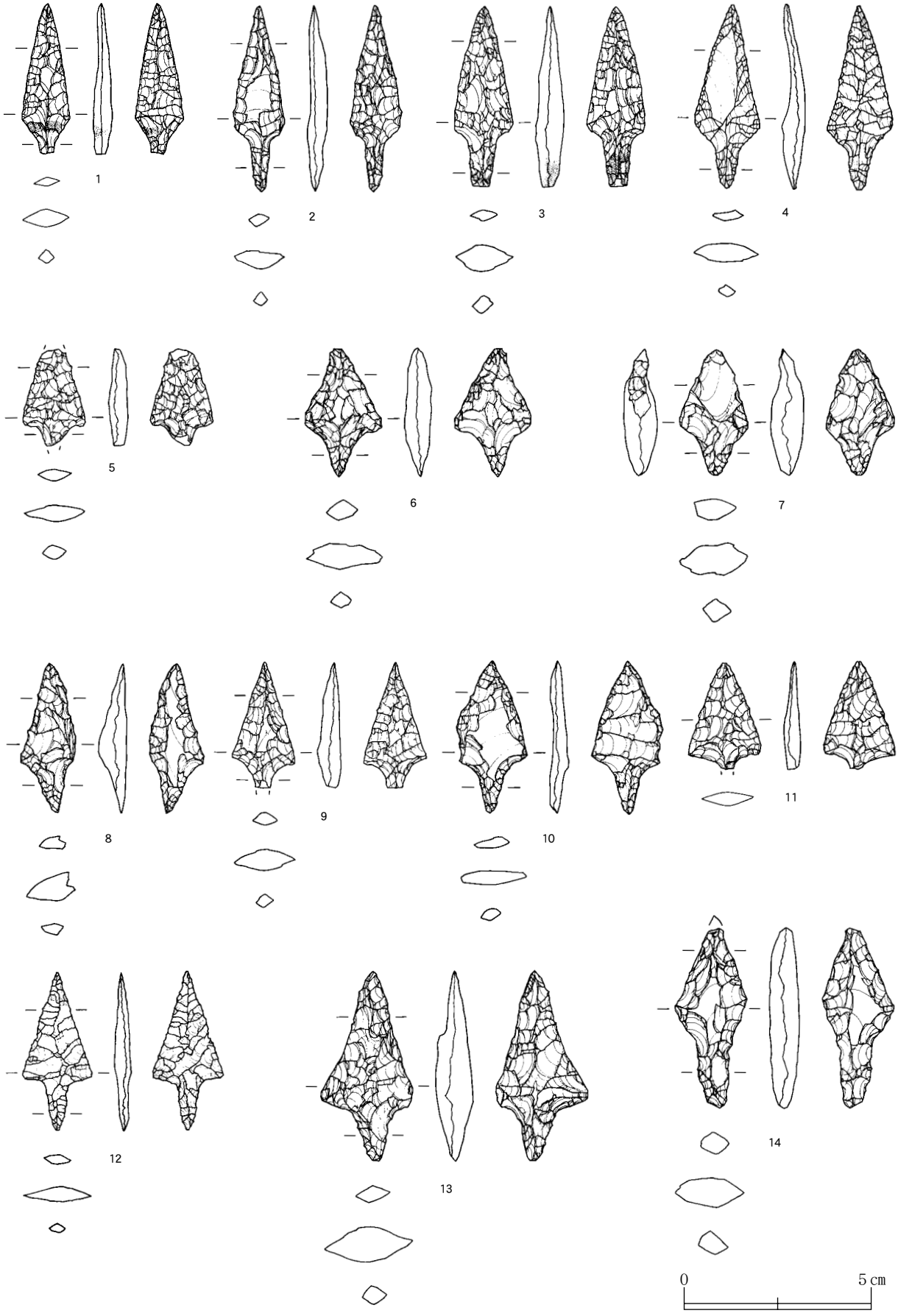
第132図　出土遺物（109）（SM60㊹）



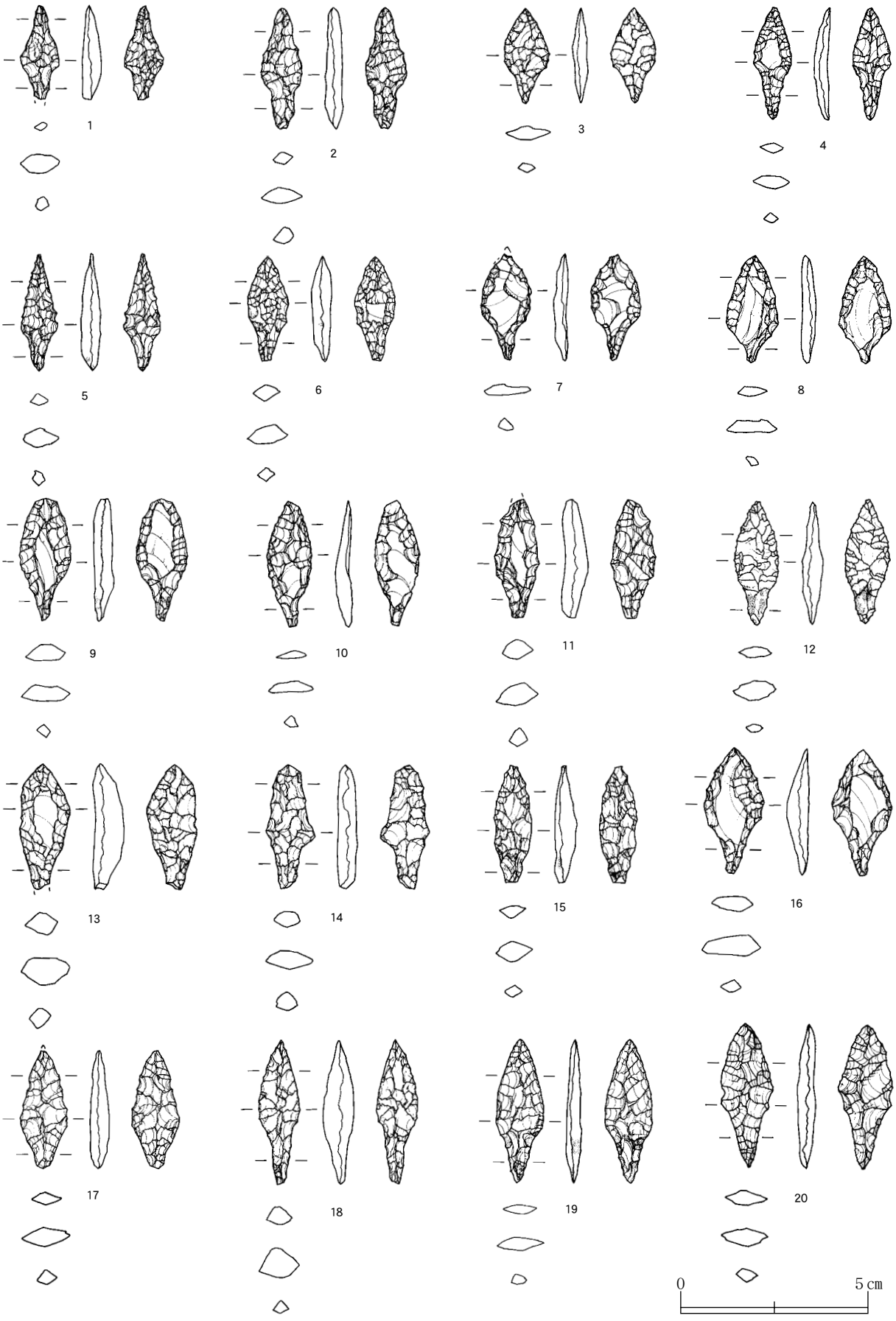
第133図　出土遺物（110）(SM60㉟)



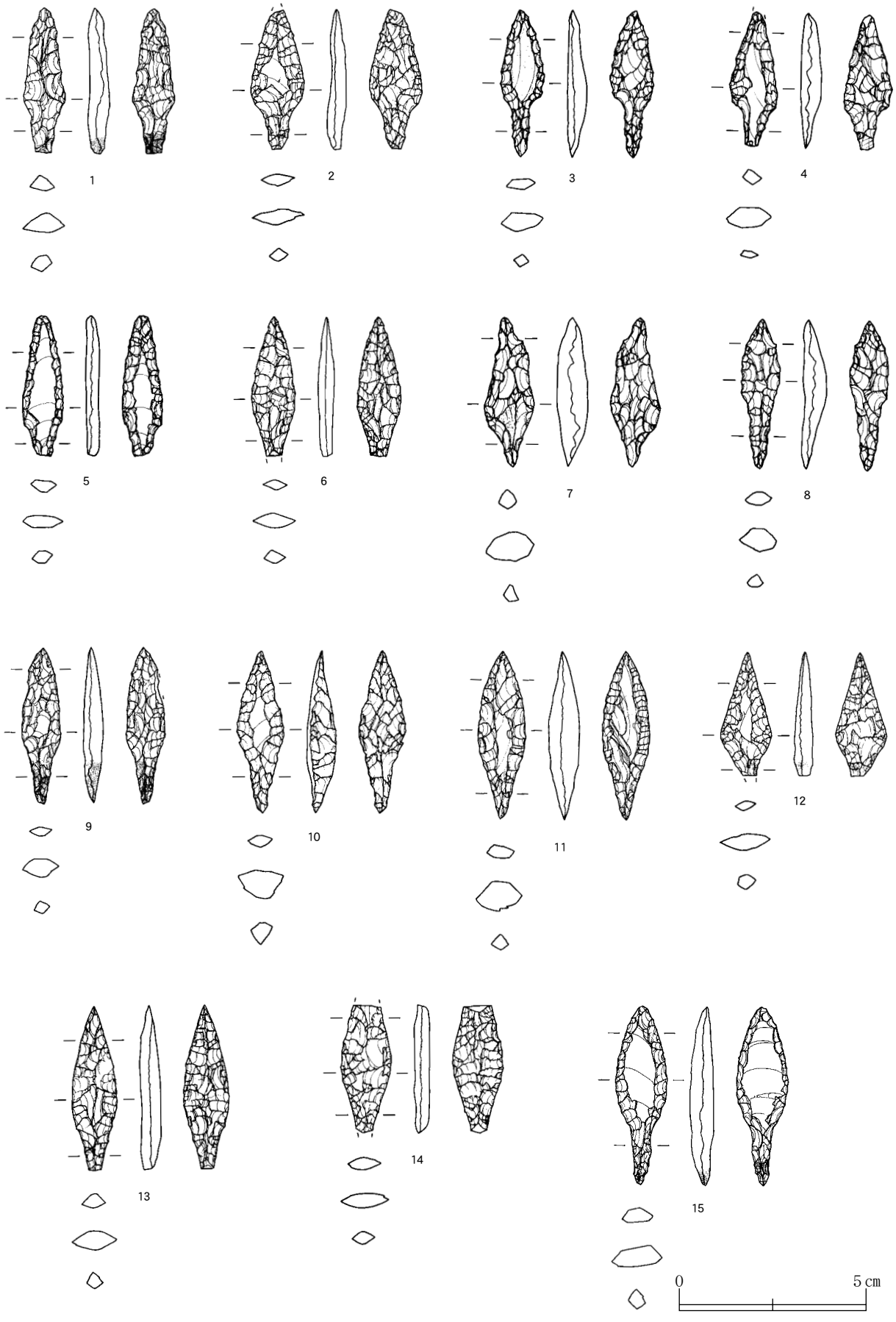
第134図　出土遺物（111）(SM60⑯)



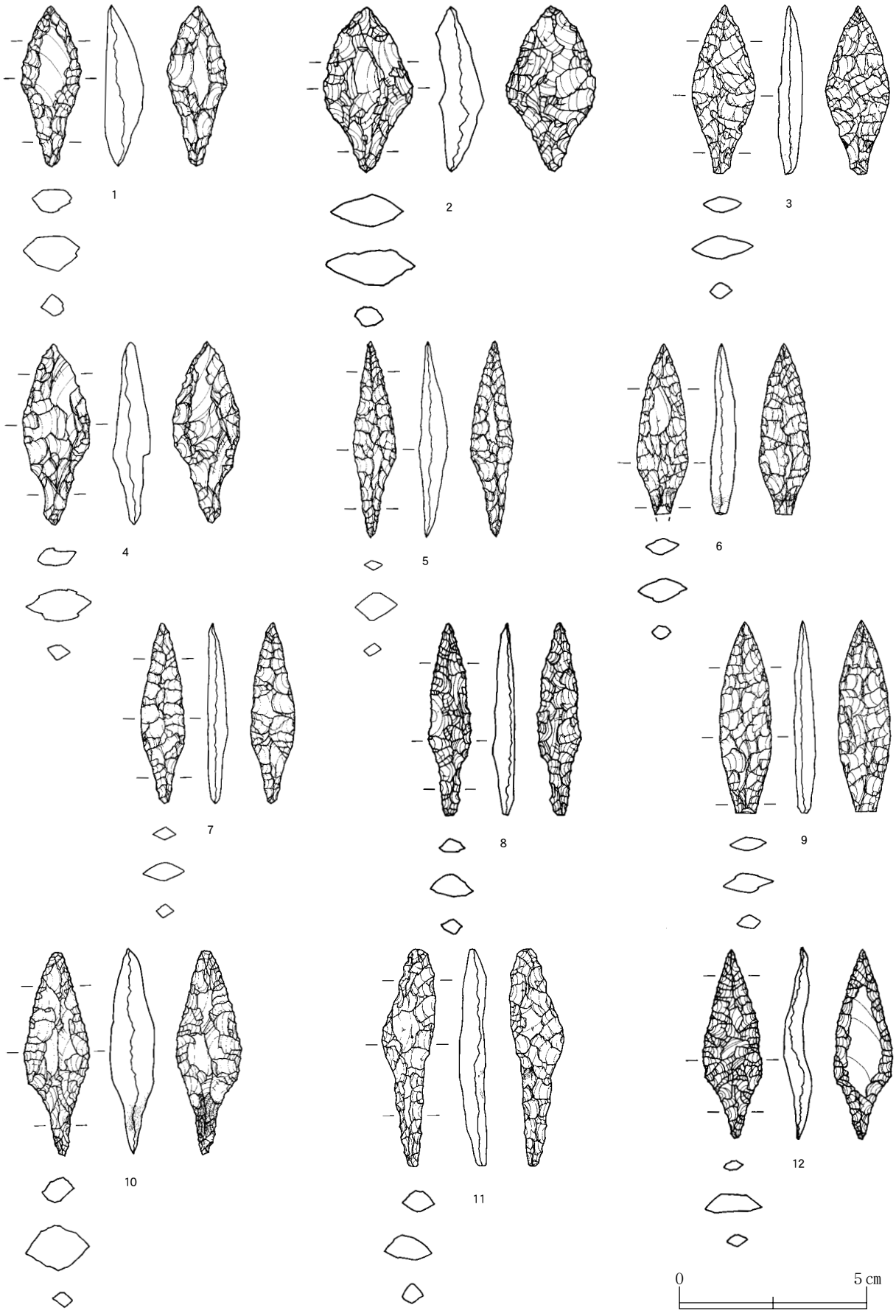
第135図　出土遺物（112）(SM60㊼)



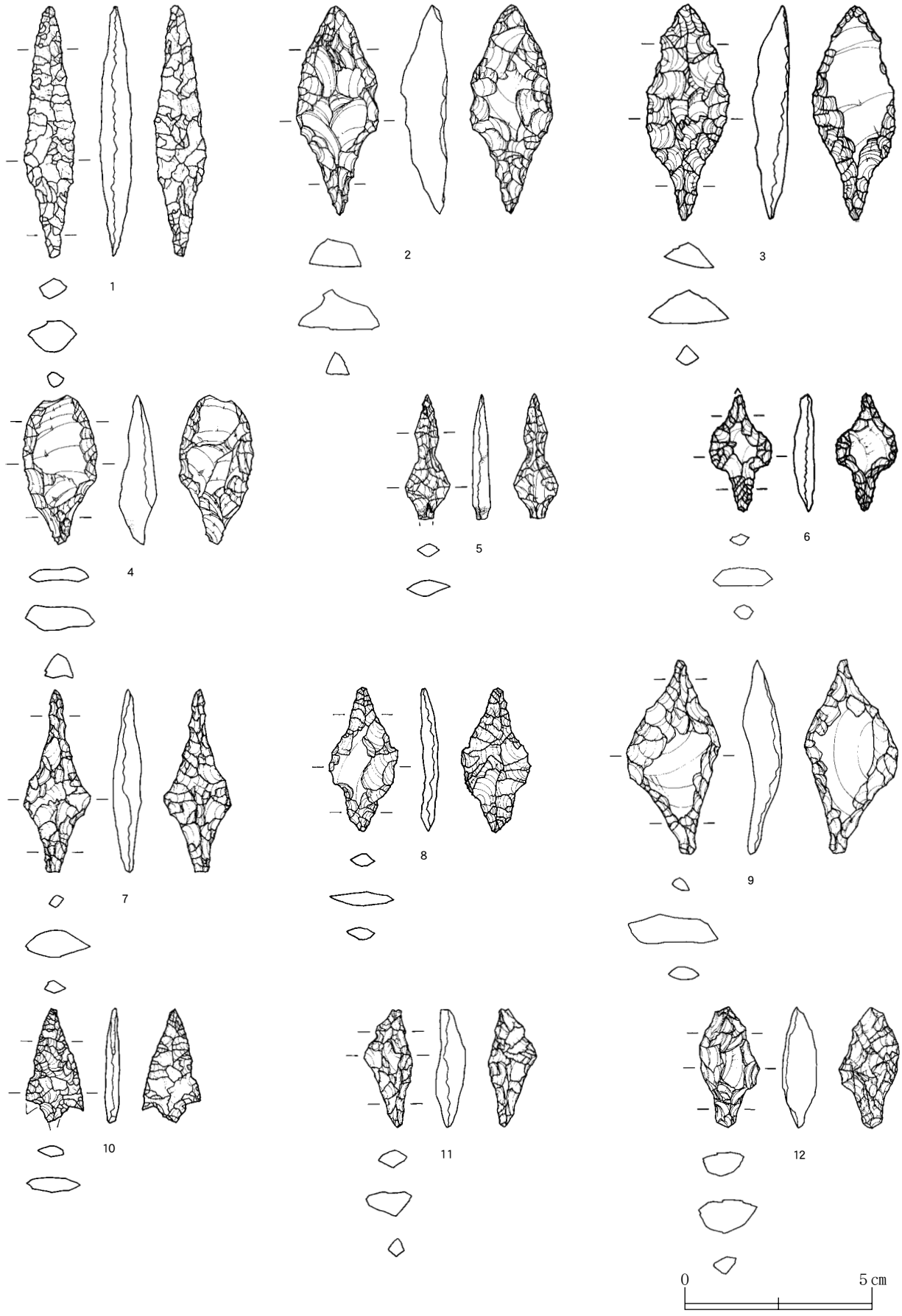
第136図　出土遺物（113）（SM60㊽）



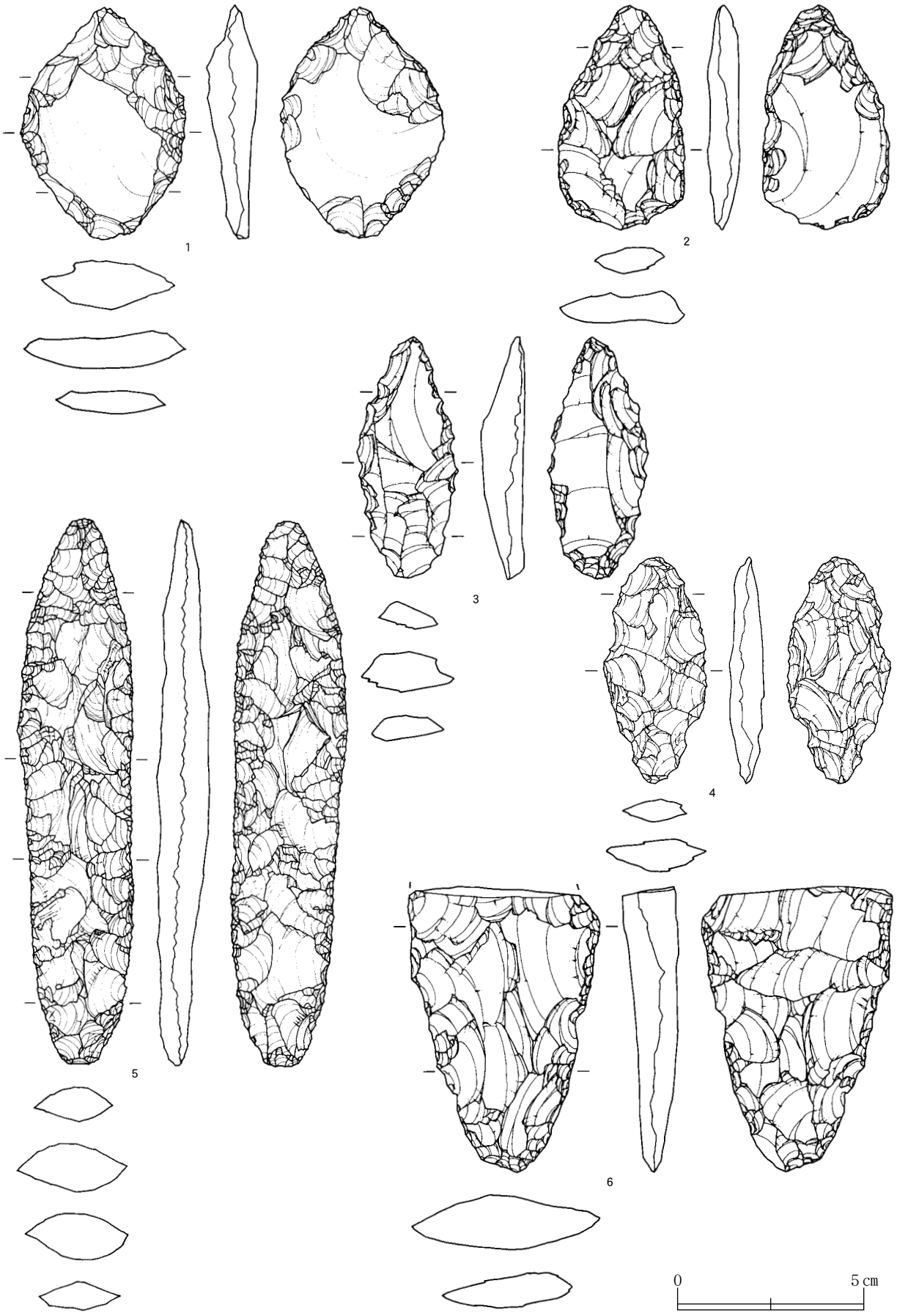
第137図　出土遺物（114）(SM60㊾)



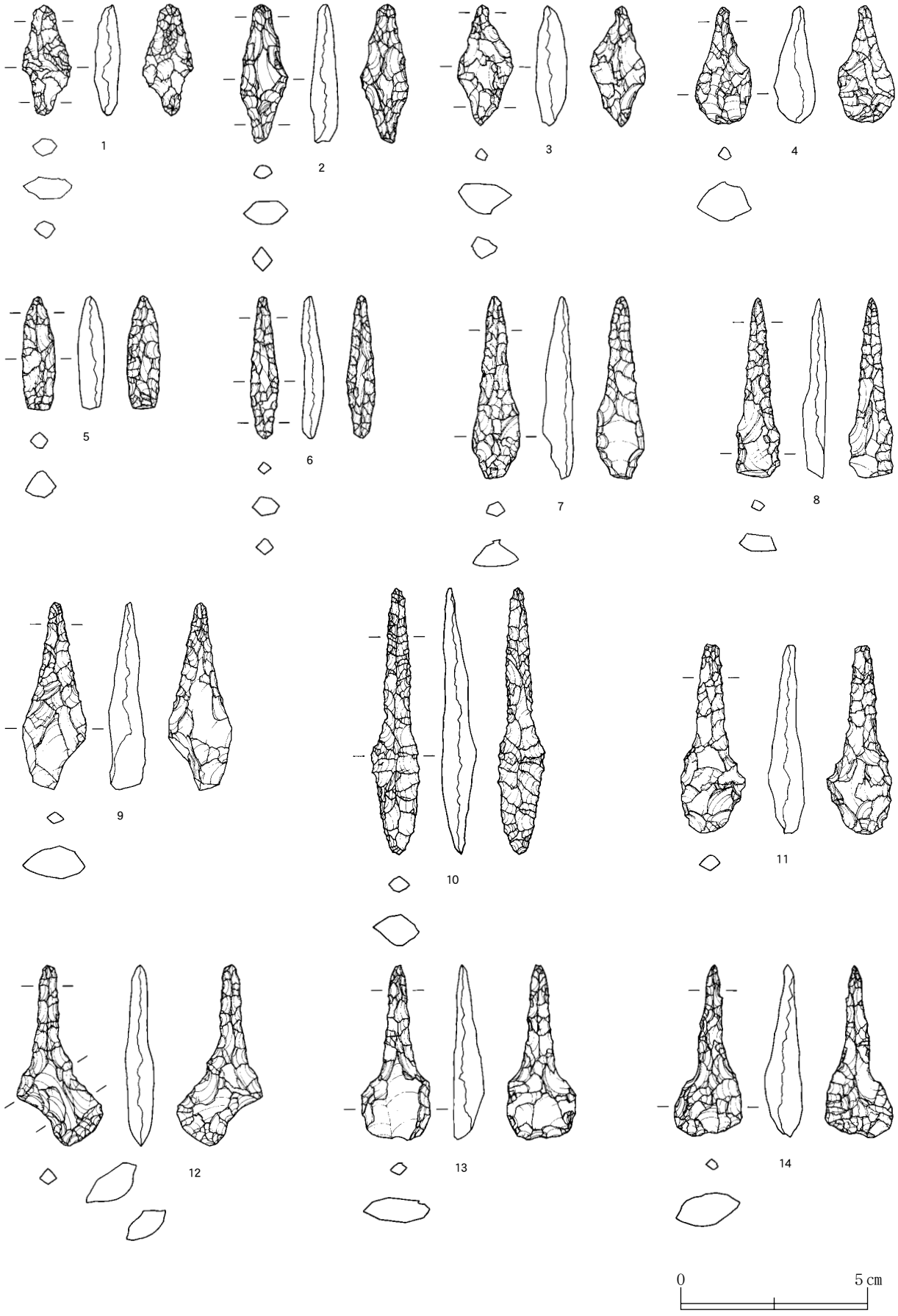
第138図　出土遺物（115）（SM60㉒）



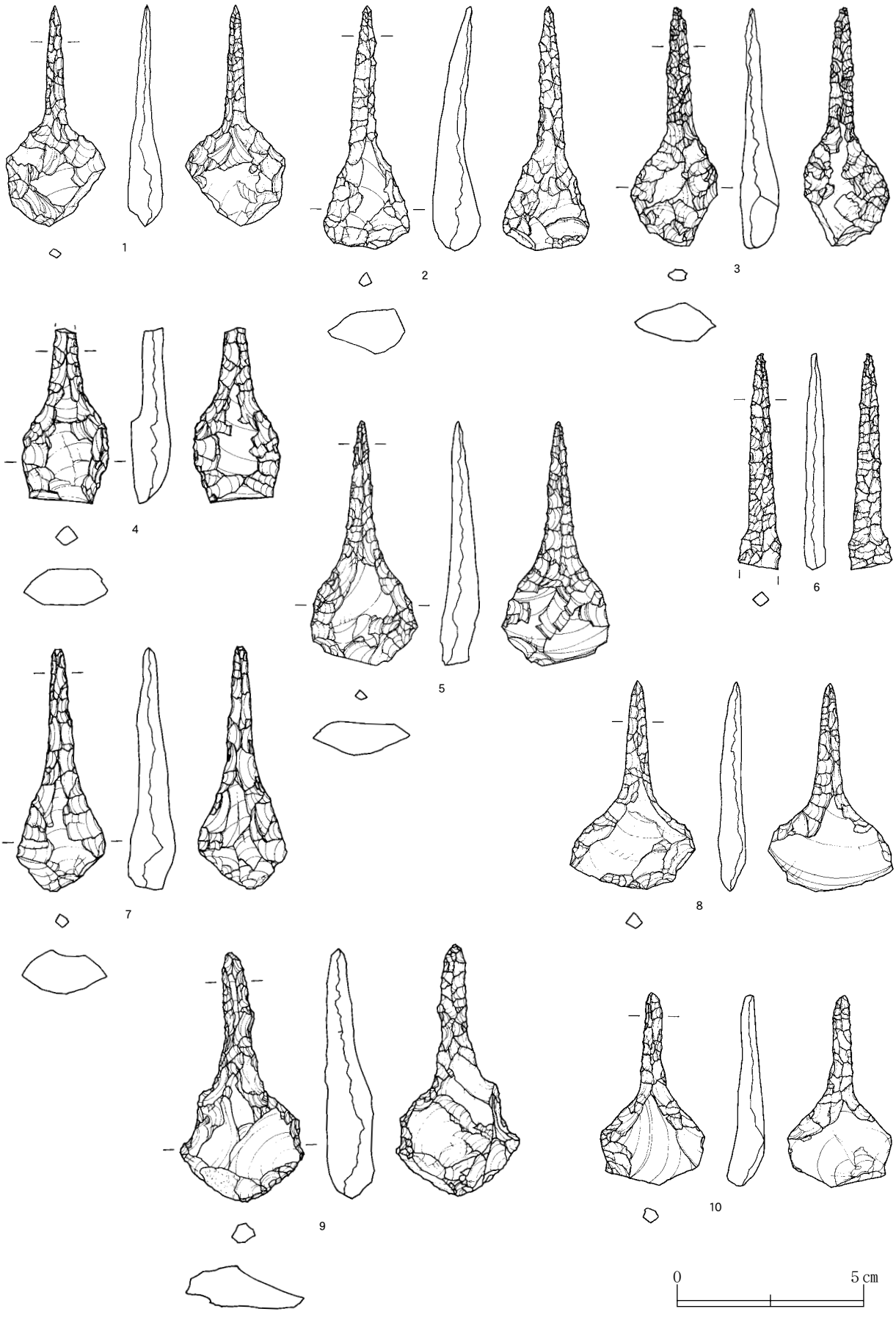
第139図　出土遺物（116）(SM60㊀)



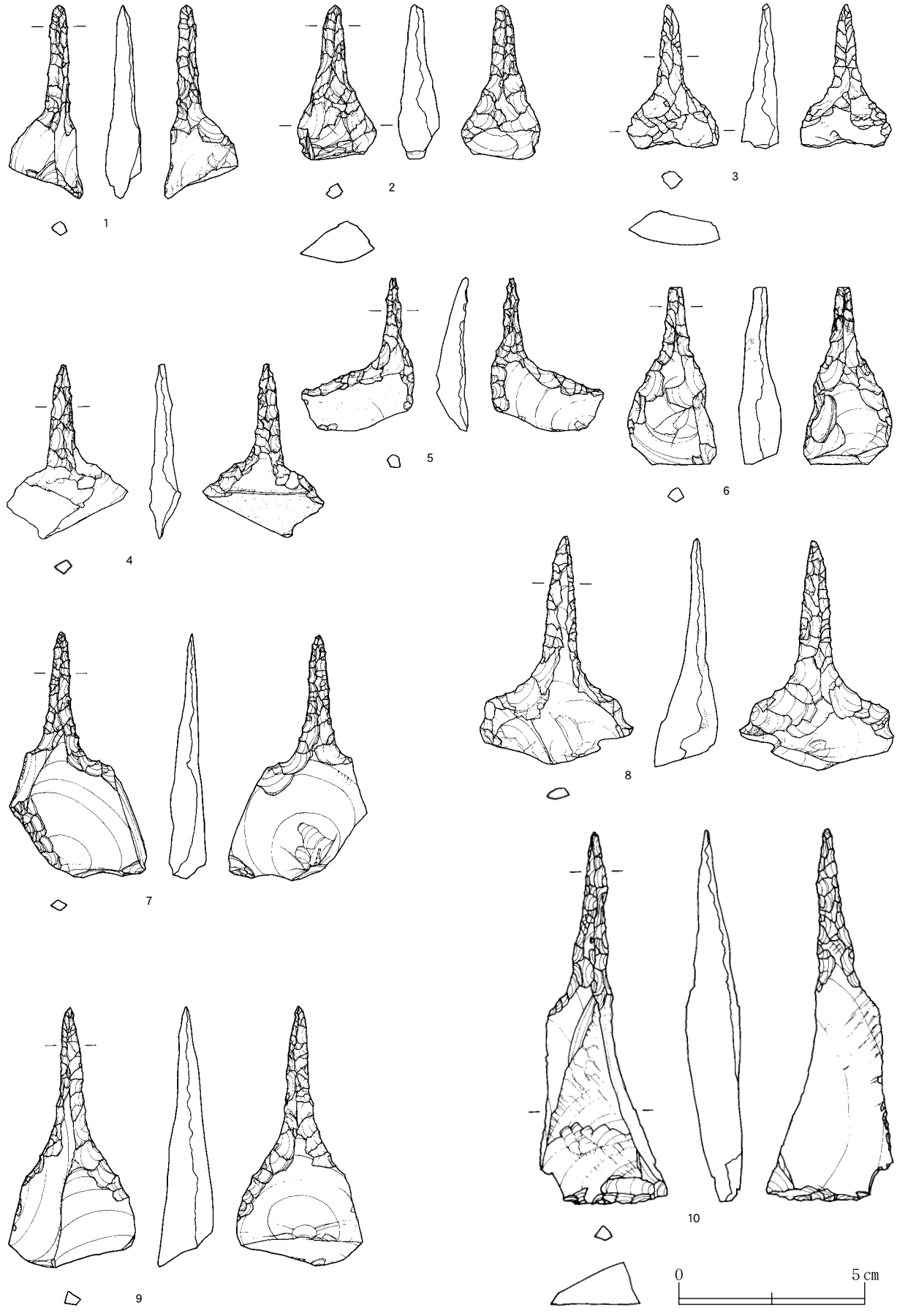
第140図　出土遺物（117）（SM60⑫）



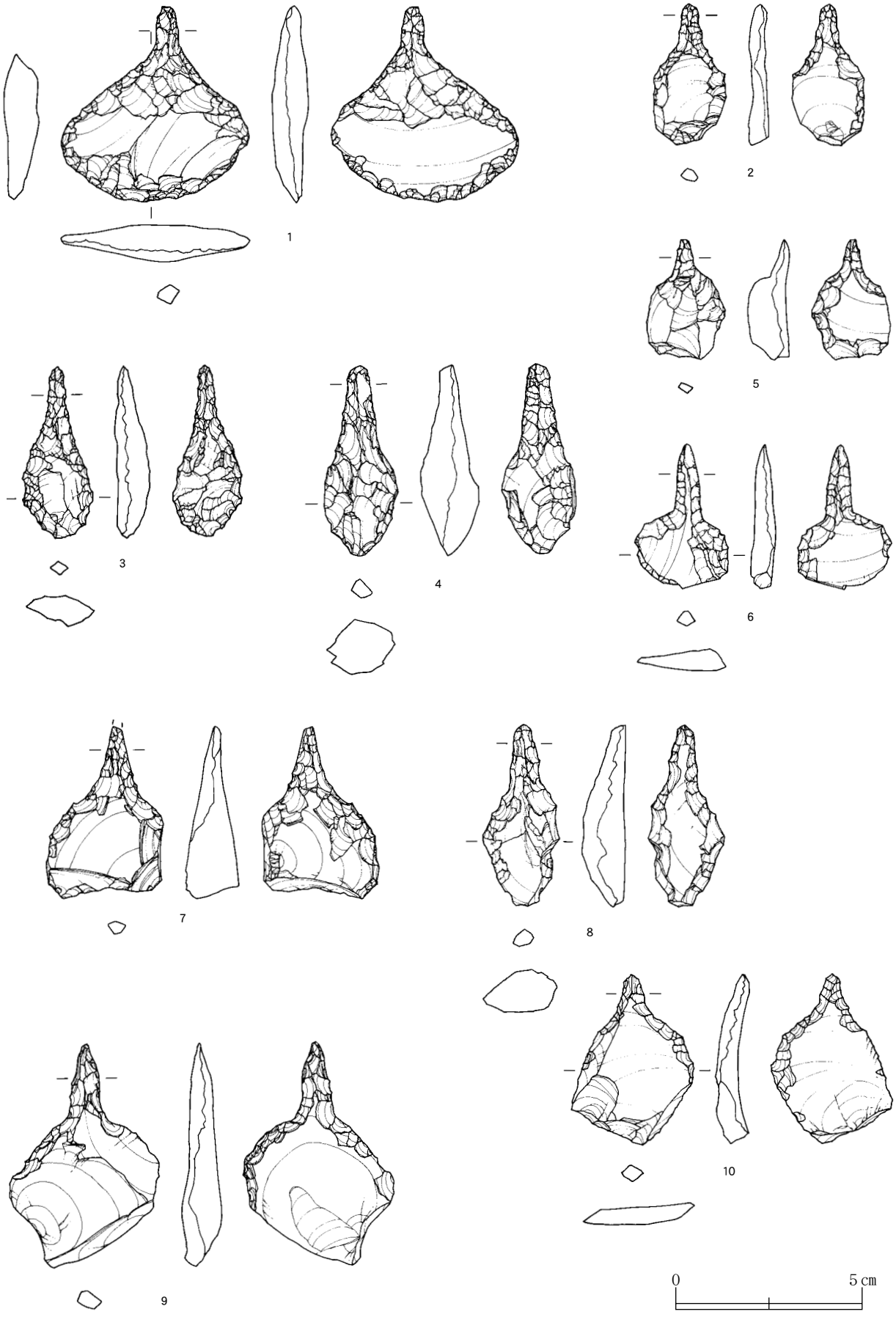
第141図　出土遺物（118）(SM60㉓)



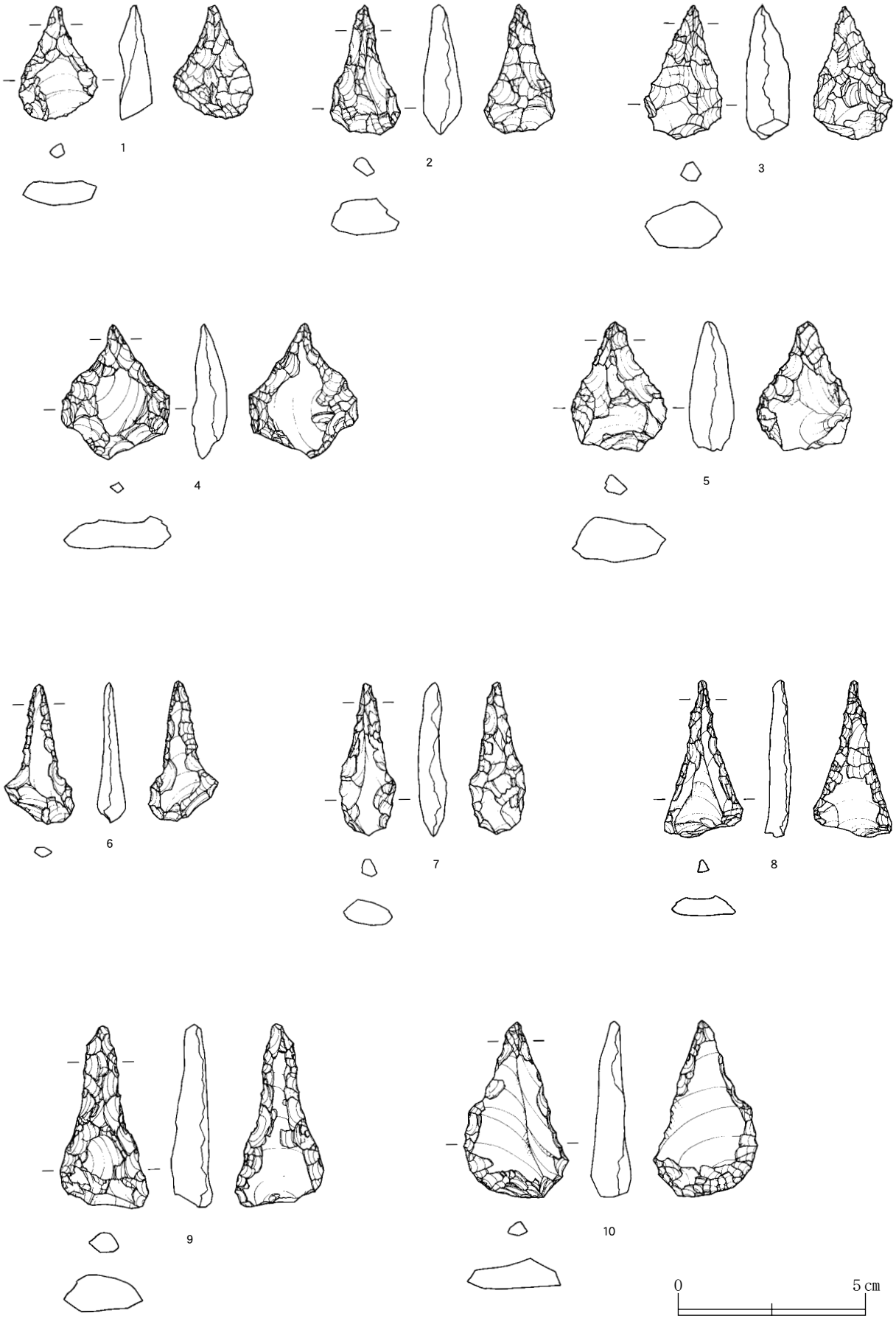
第142図　出土遺物（119）（SM60㉑）



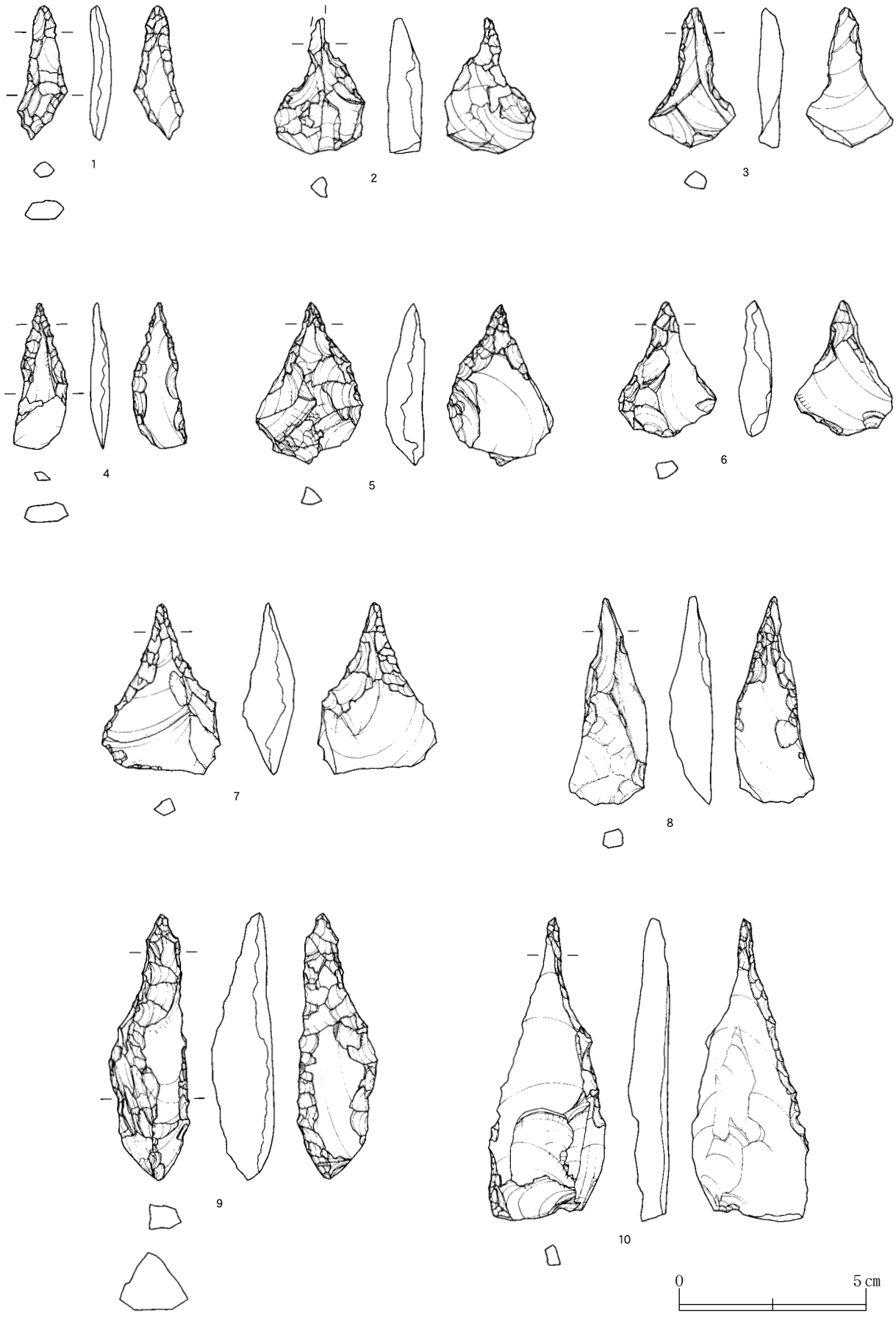
第143図　出土遺物（120）(SM60⑮)



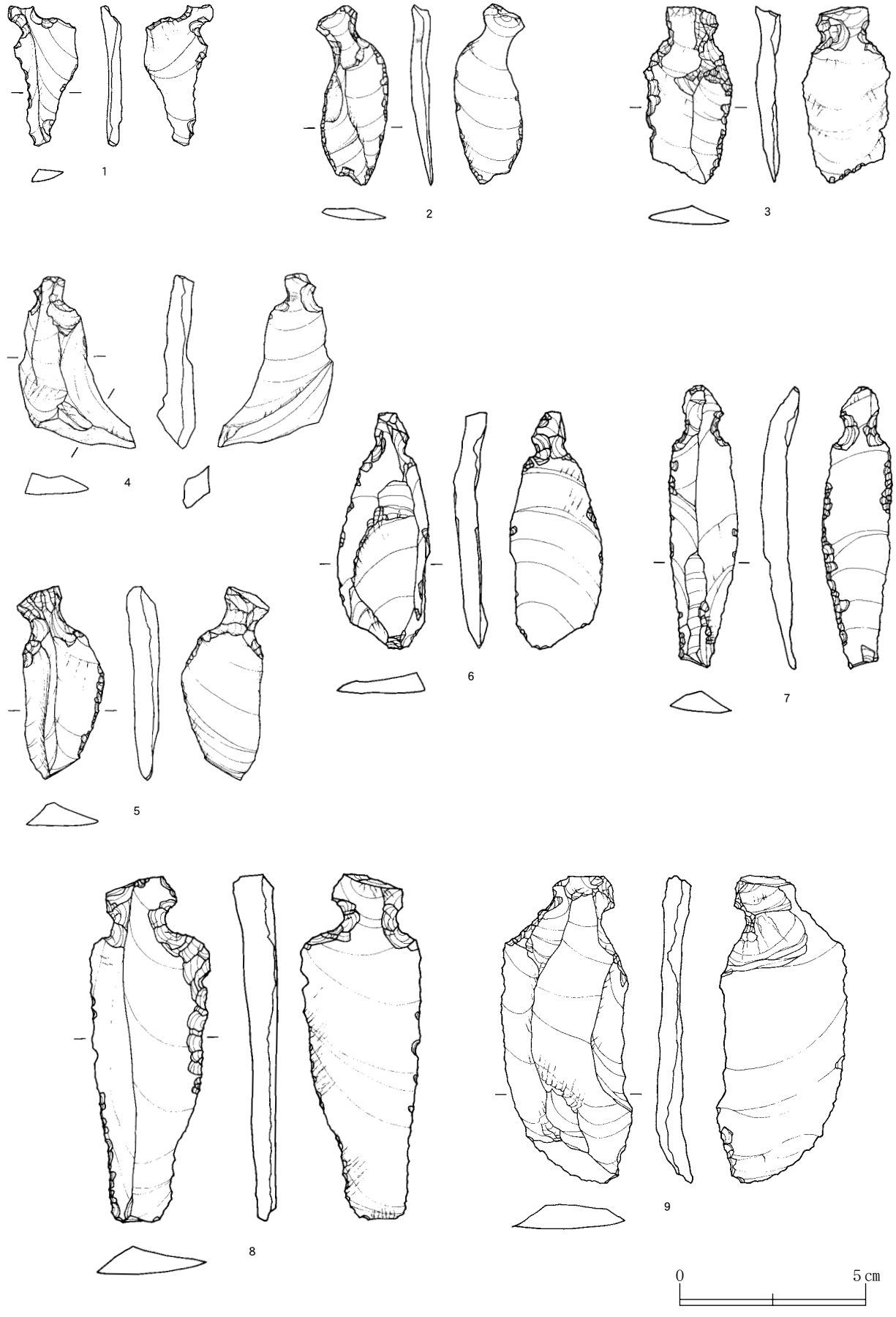
第144図　出土遺物（121）(SM60⑯)



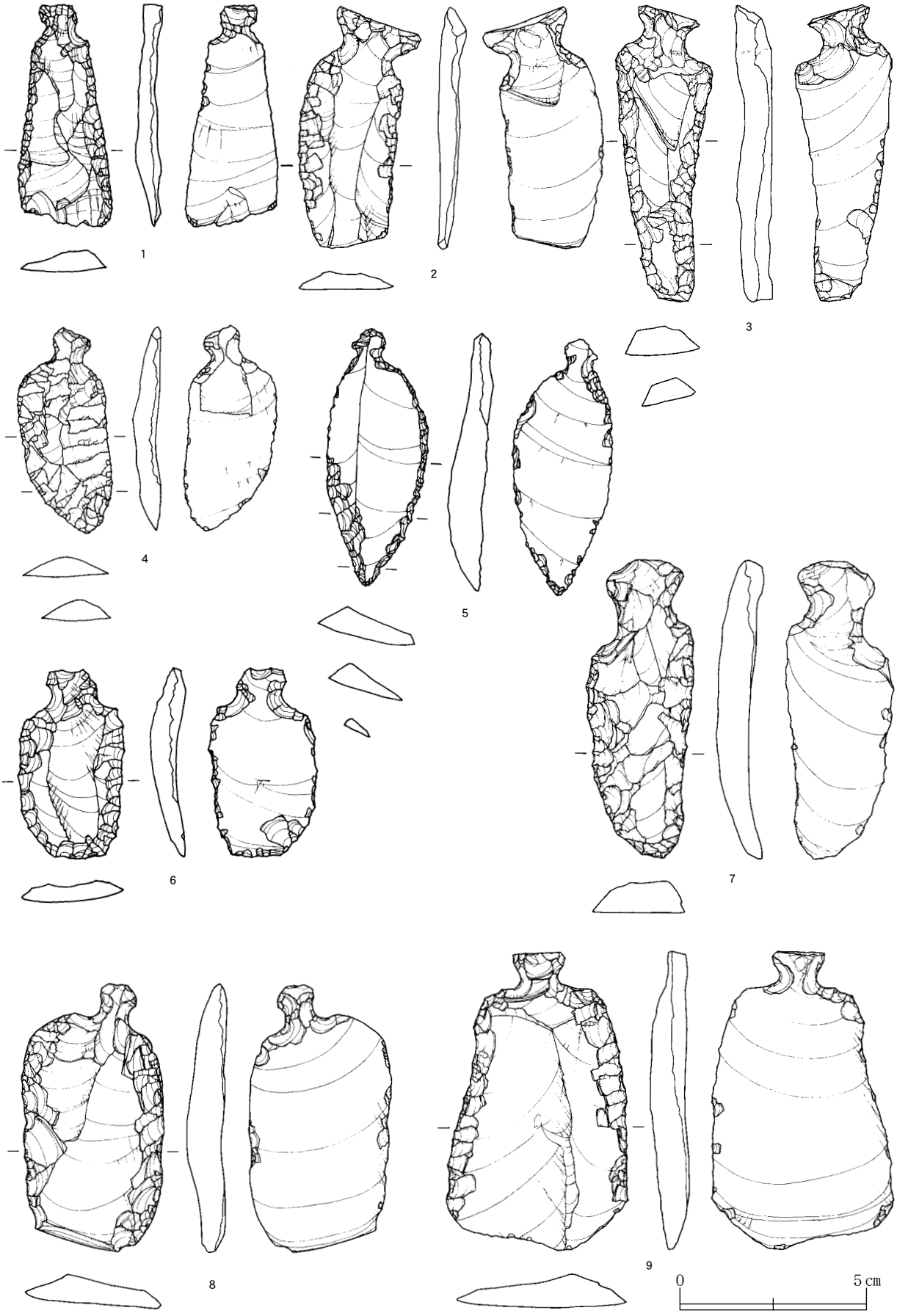
第145図　出土遺物（122）(SM60㊊)



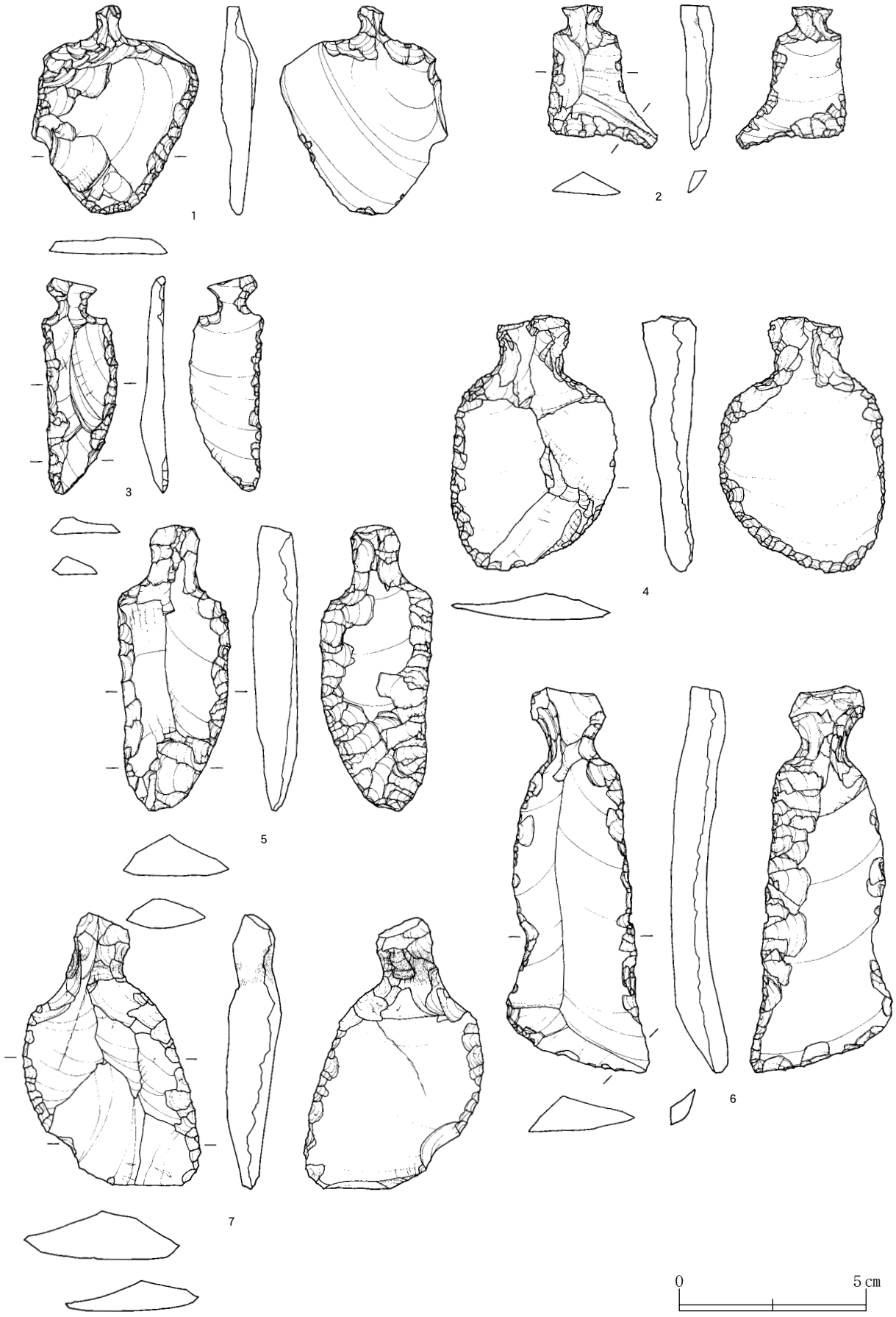
第146図　出土遺物（123）（SM60⑱）



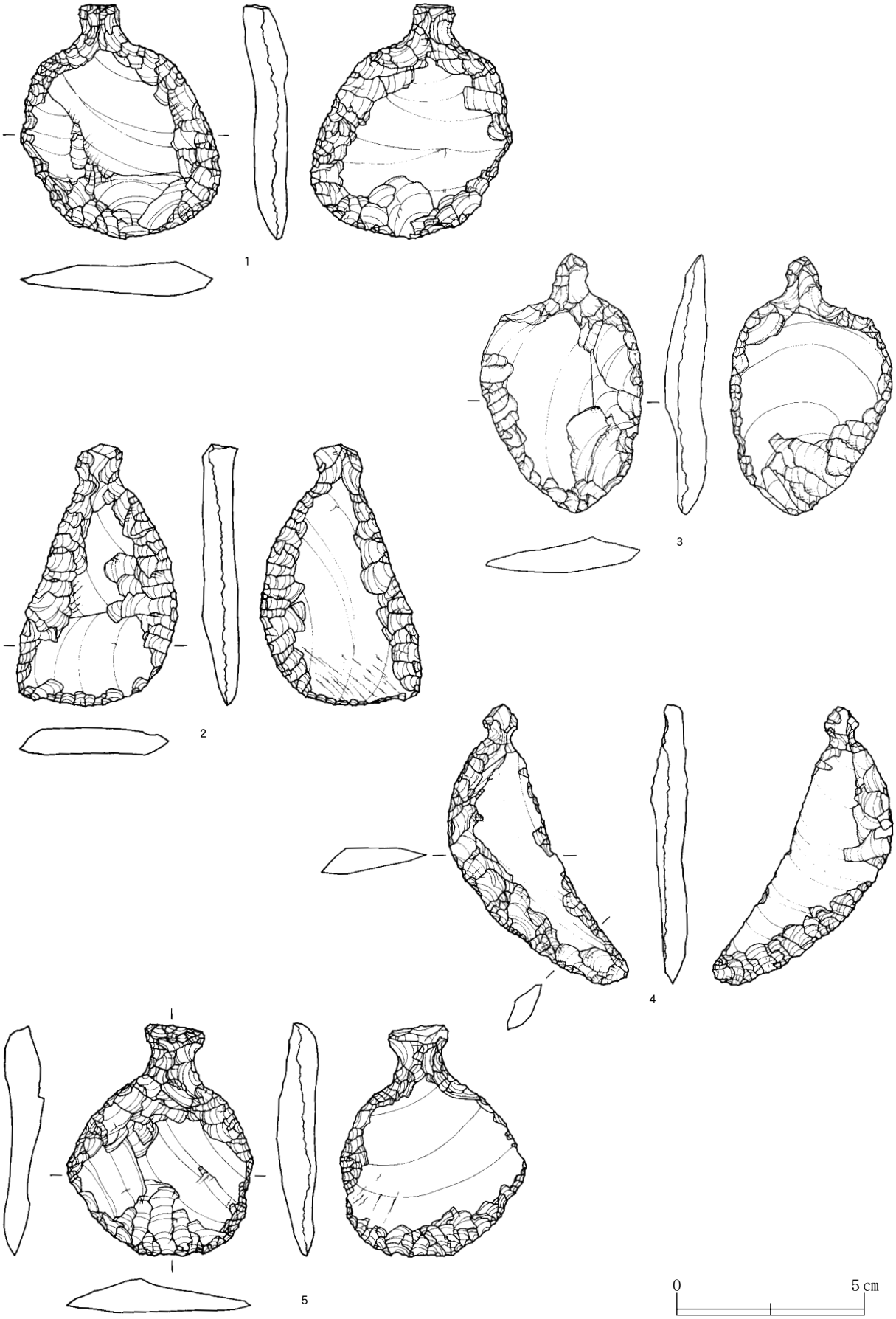
第147図　出土遺物（124）(SM60⑩⑨)



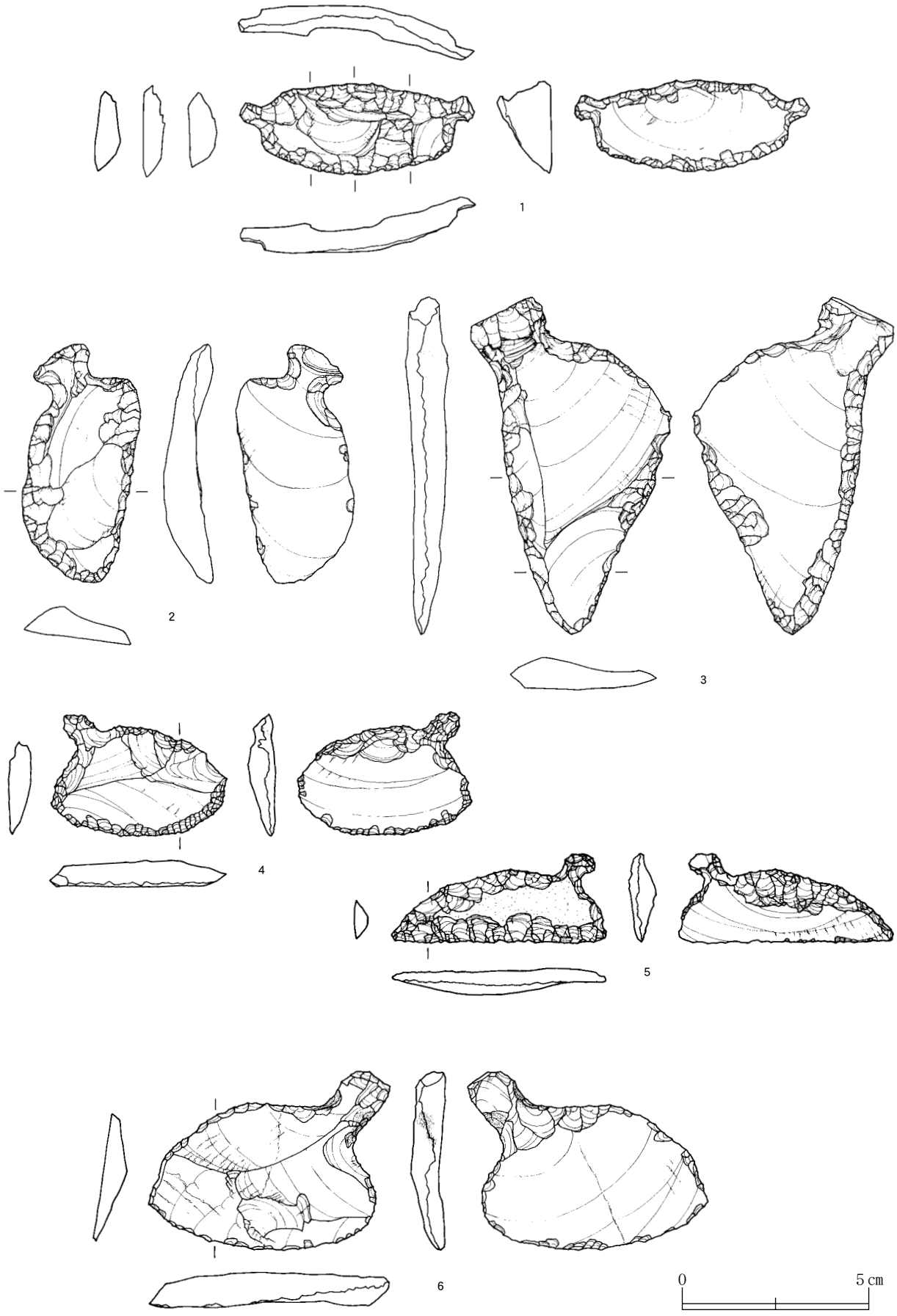
第148図　出土遺物（125）（SM60⑩）



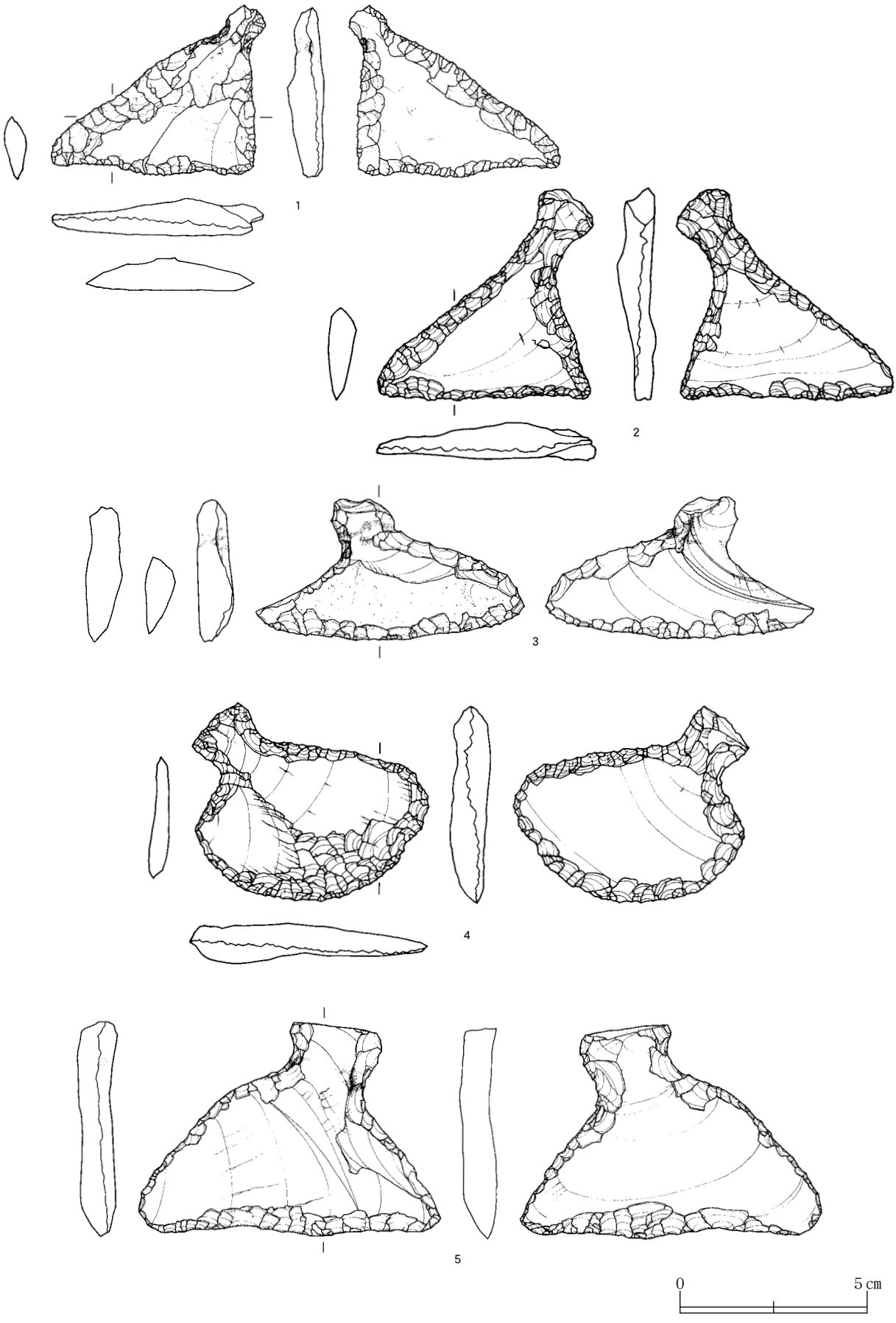
第149図　出土遺物（126）(SM60㊂)



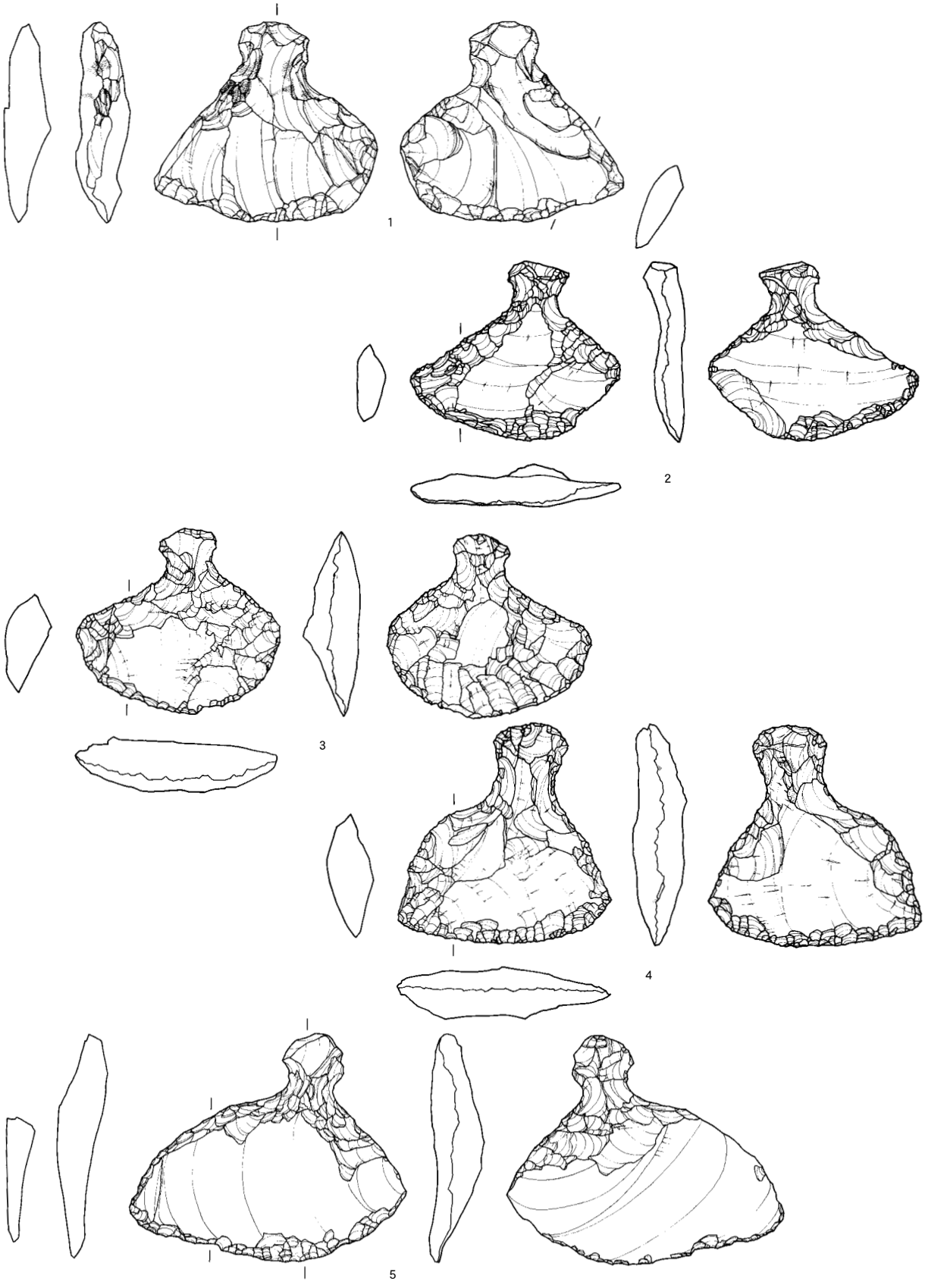
第150図　出土遺物（127）（SM60⑫）



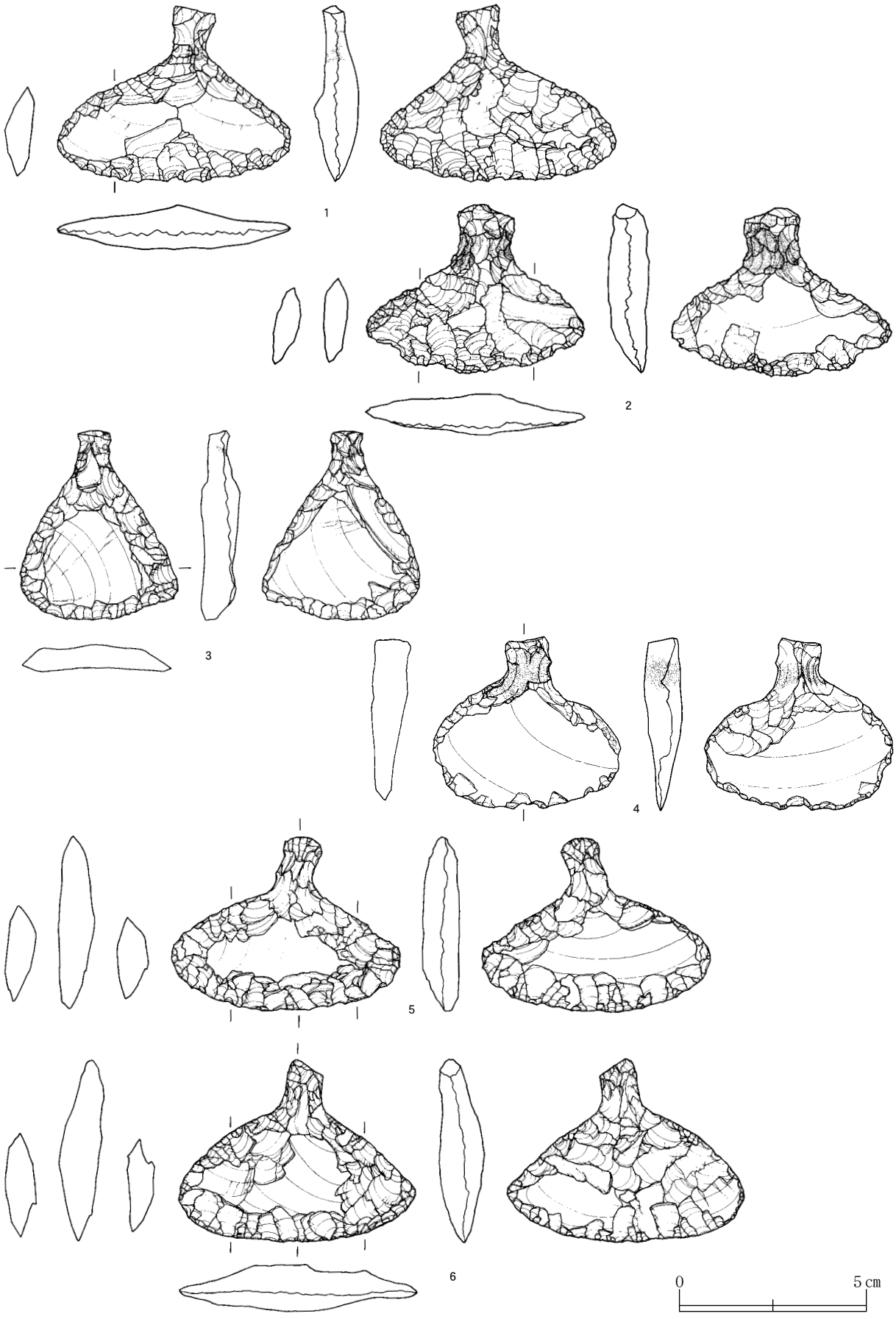
第151図　出土遺物（128）(SM60⑬)



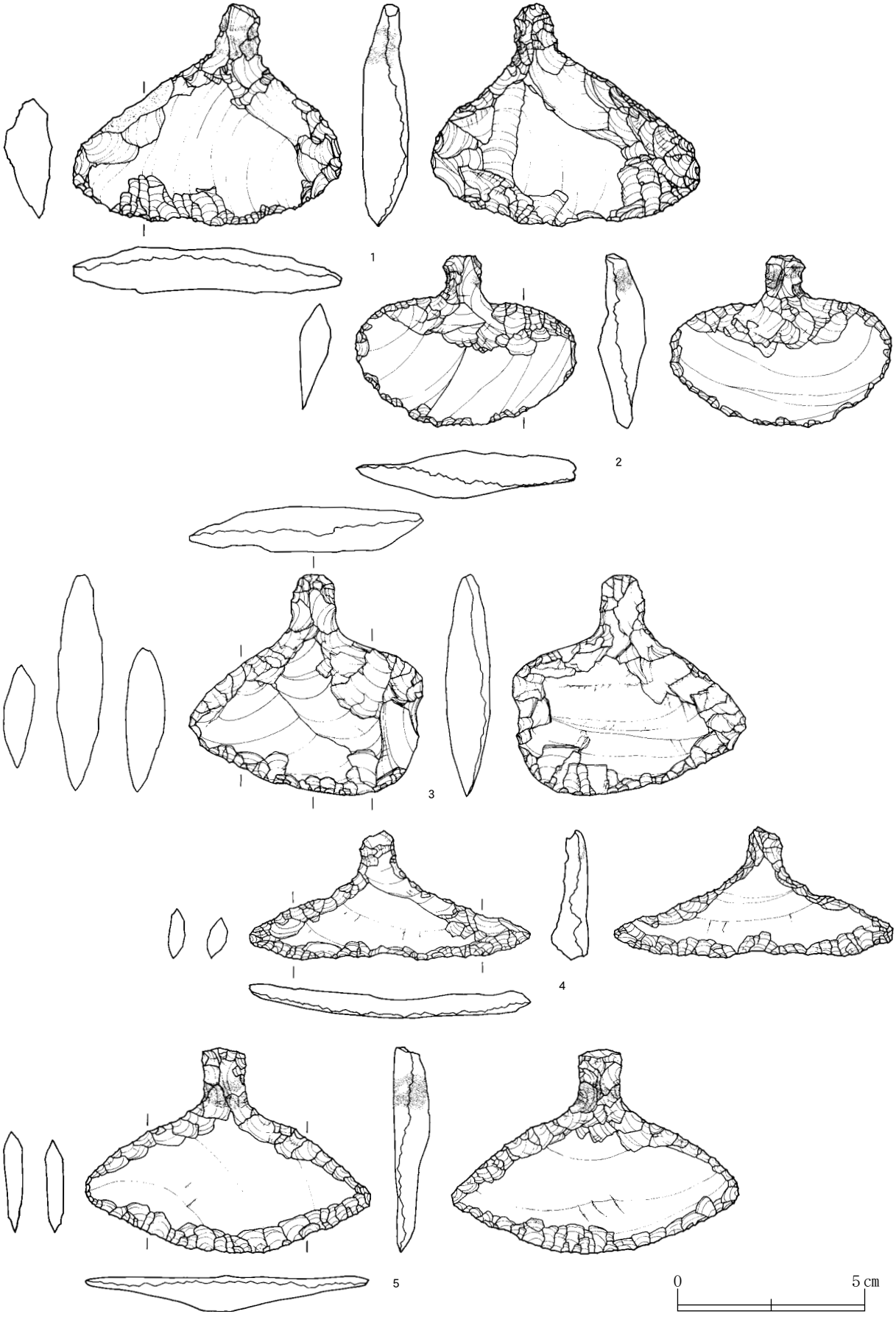
第152図　出土遺物（129）(SM60㊃)



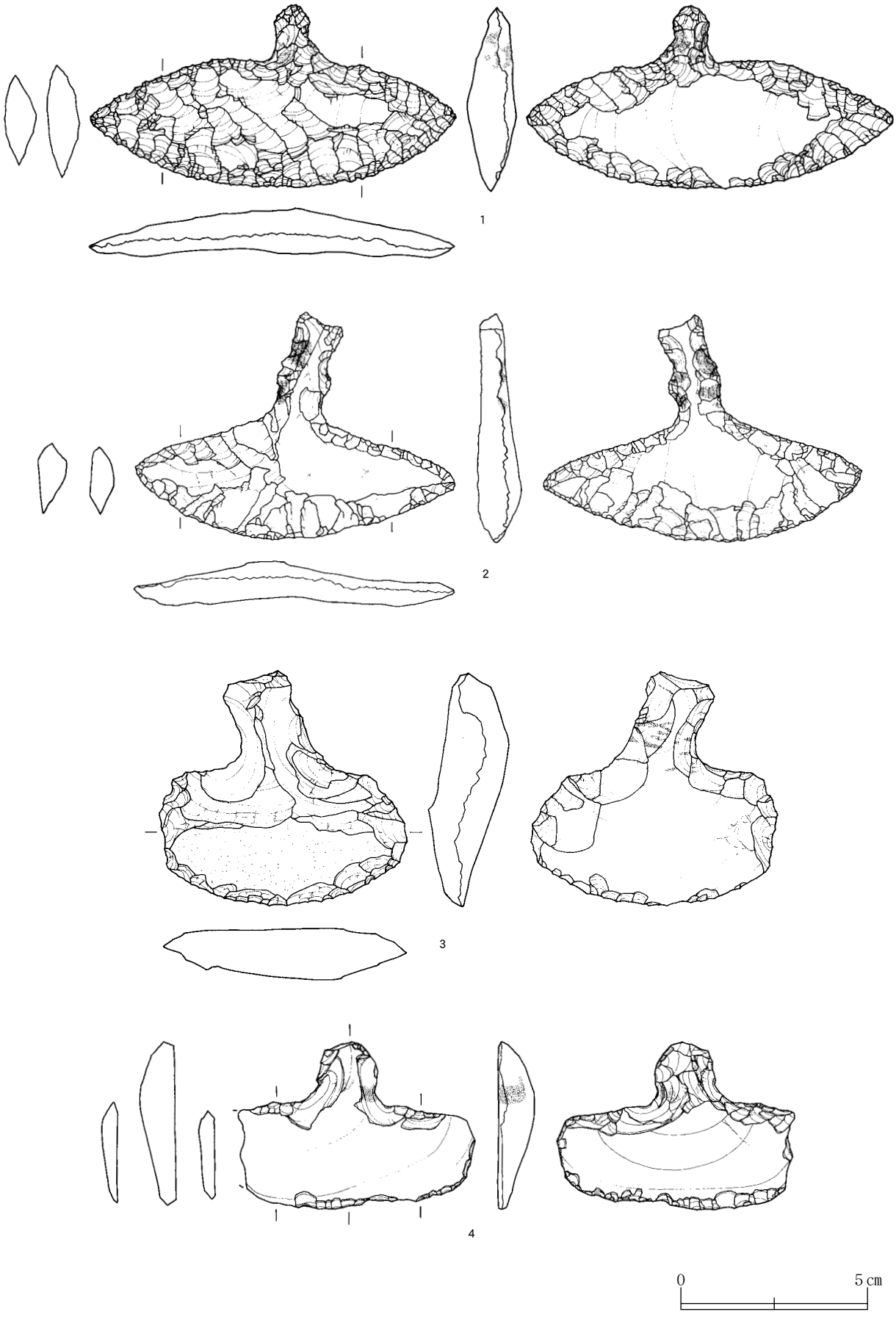
第153図　出土遺物（130）(SM60⑮)



第154図　出土遺物（131）（SM60⑯）

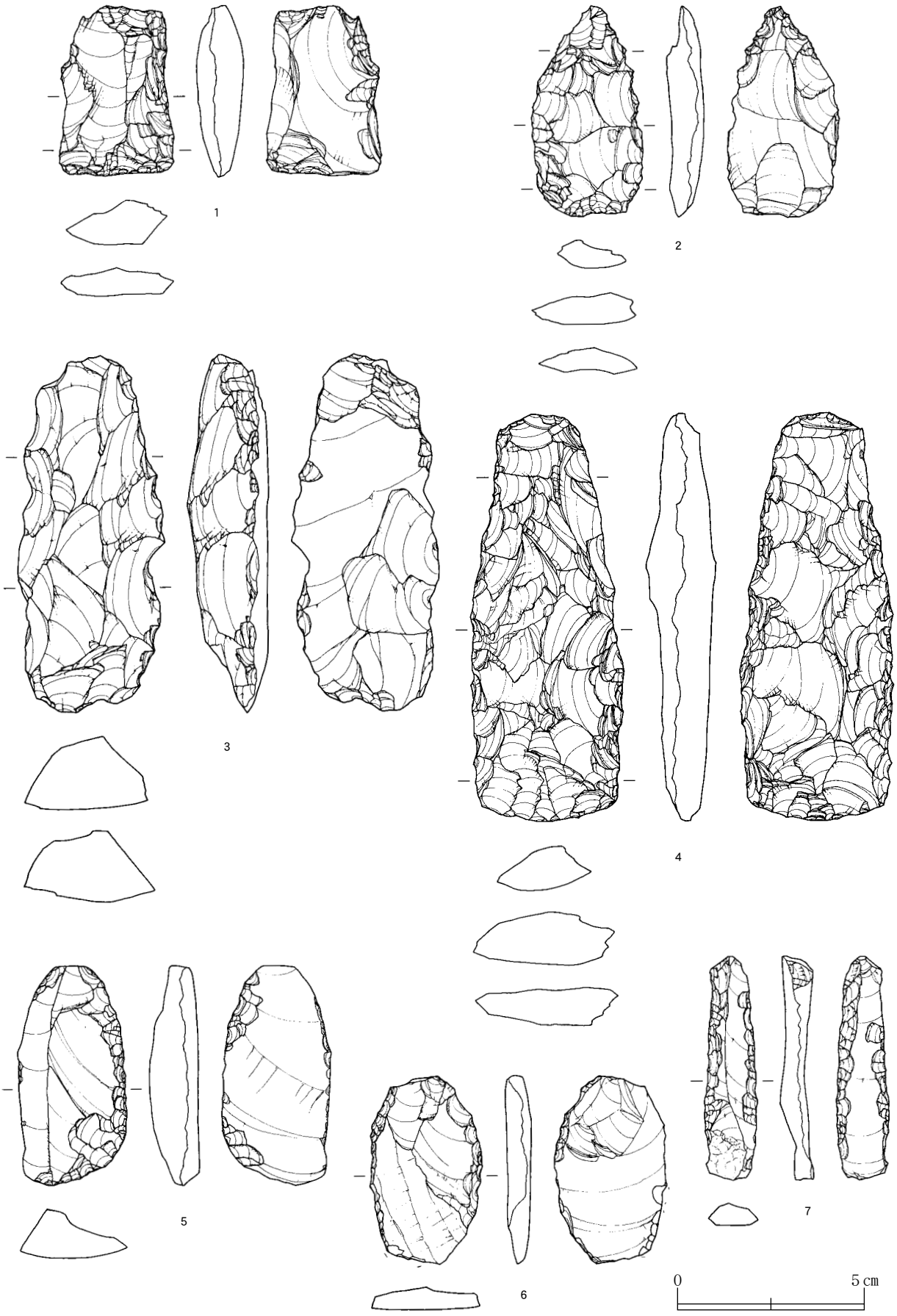


第155図　出土遺物（132）(SM60㊱)

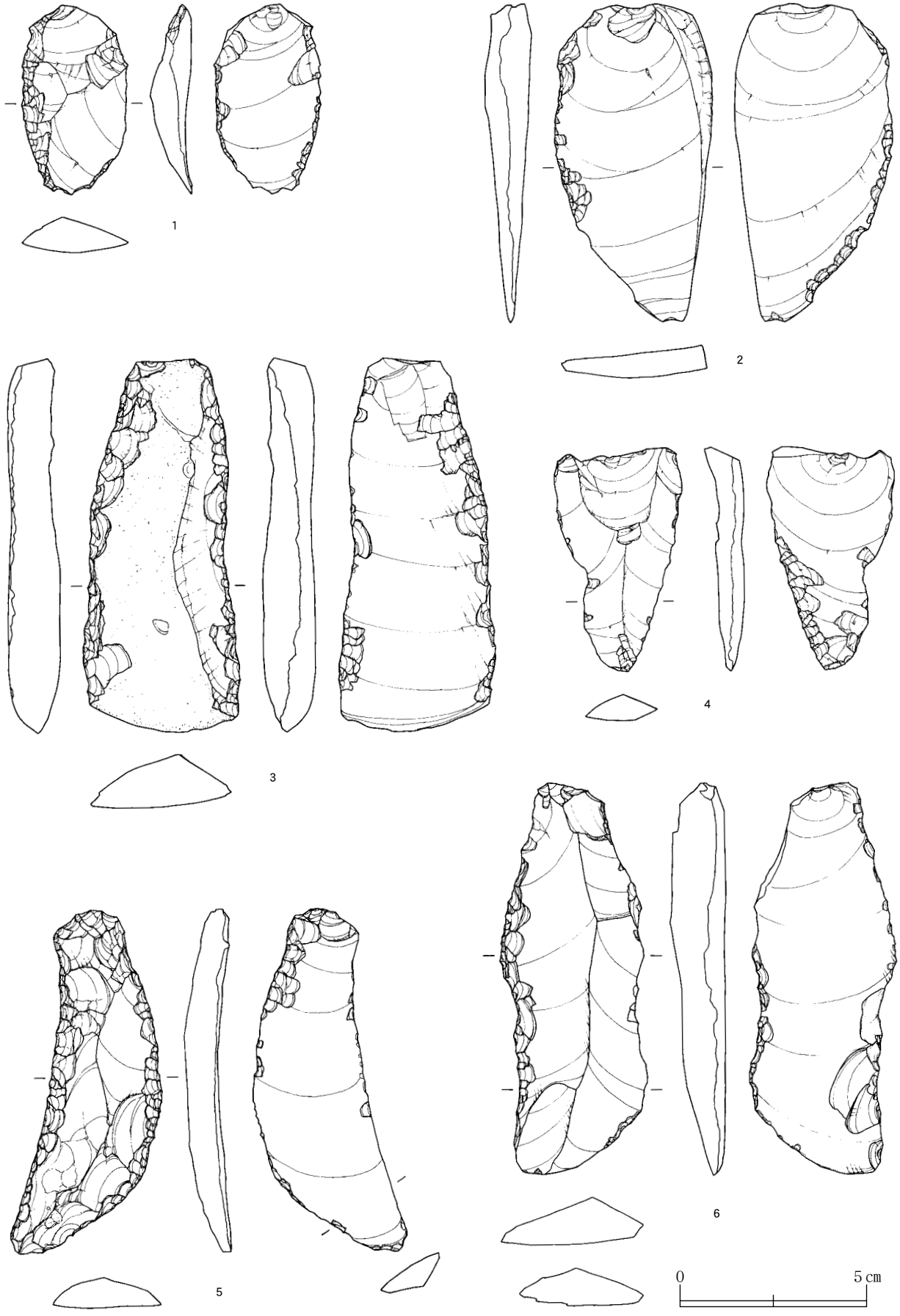


第156図　出土遺物（133）（SM60⑱）

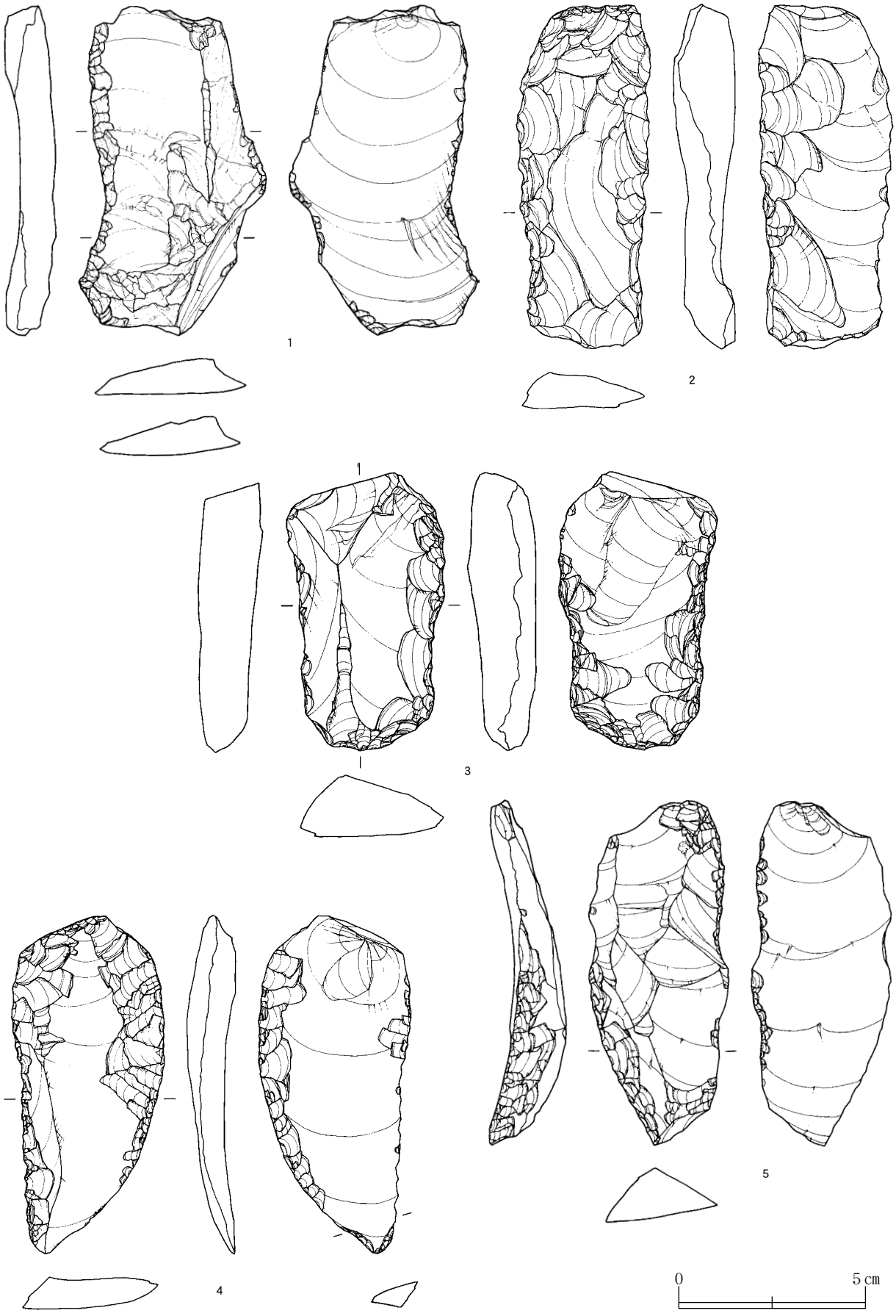
第157図　出土遺物（134）(SM60⑲)



第158図　出土遺物（135）（SM60⑫⓪）

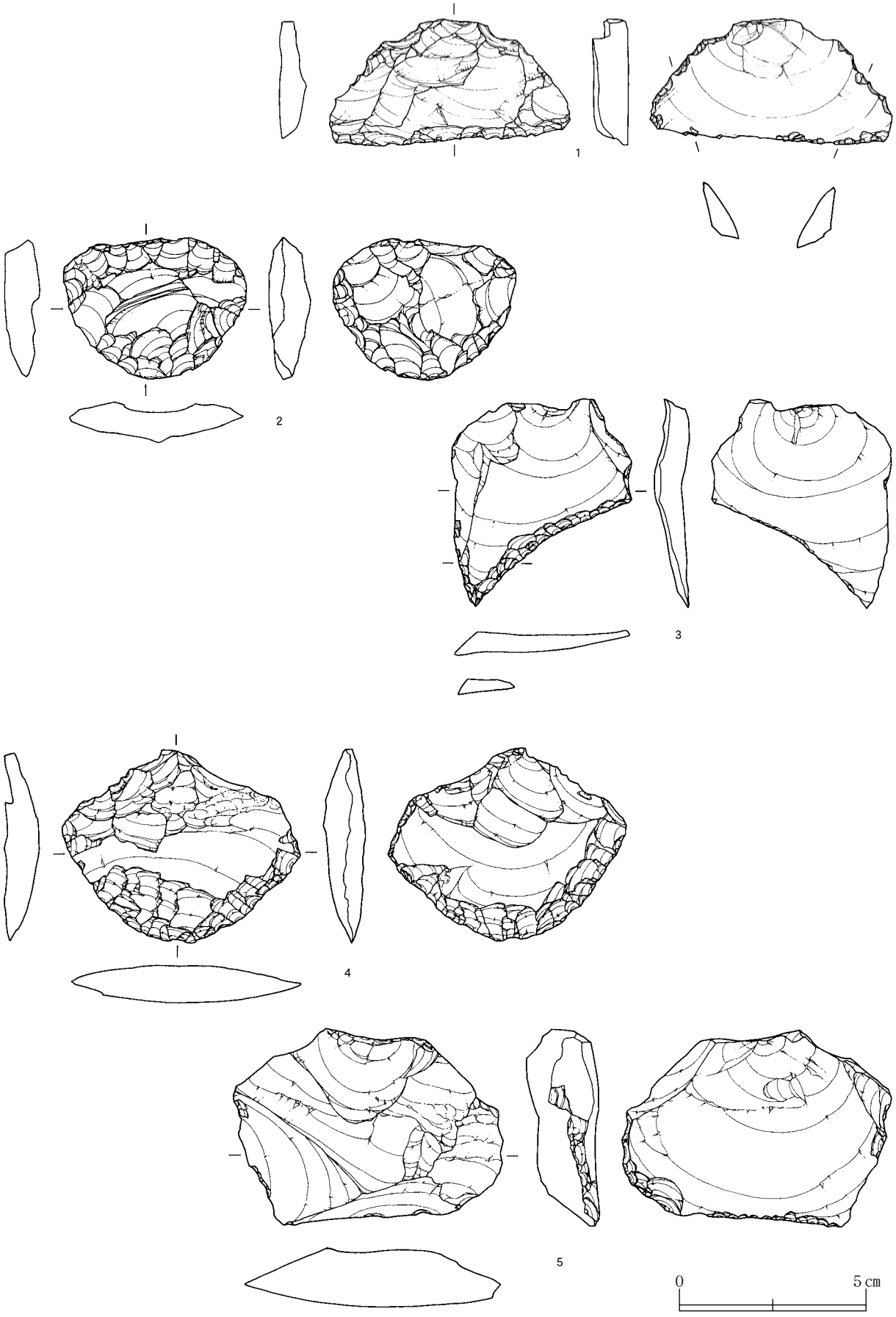


第159図　出土遺物（136）(SM60㉑)

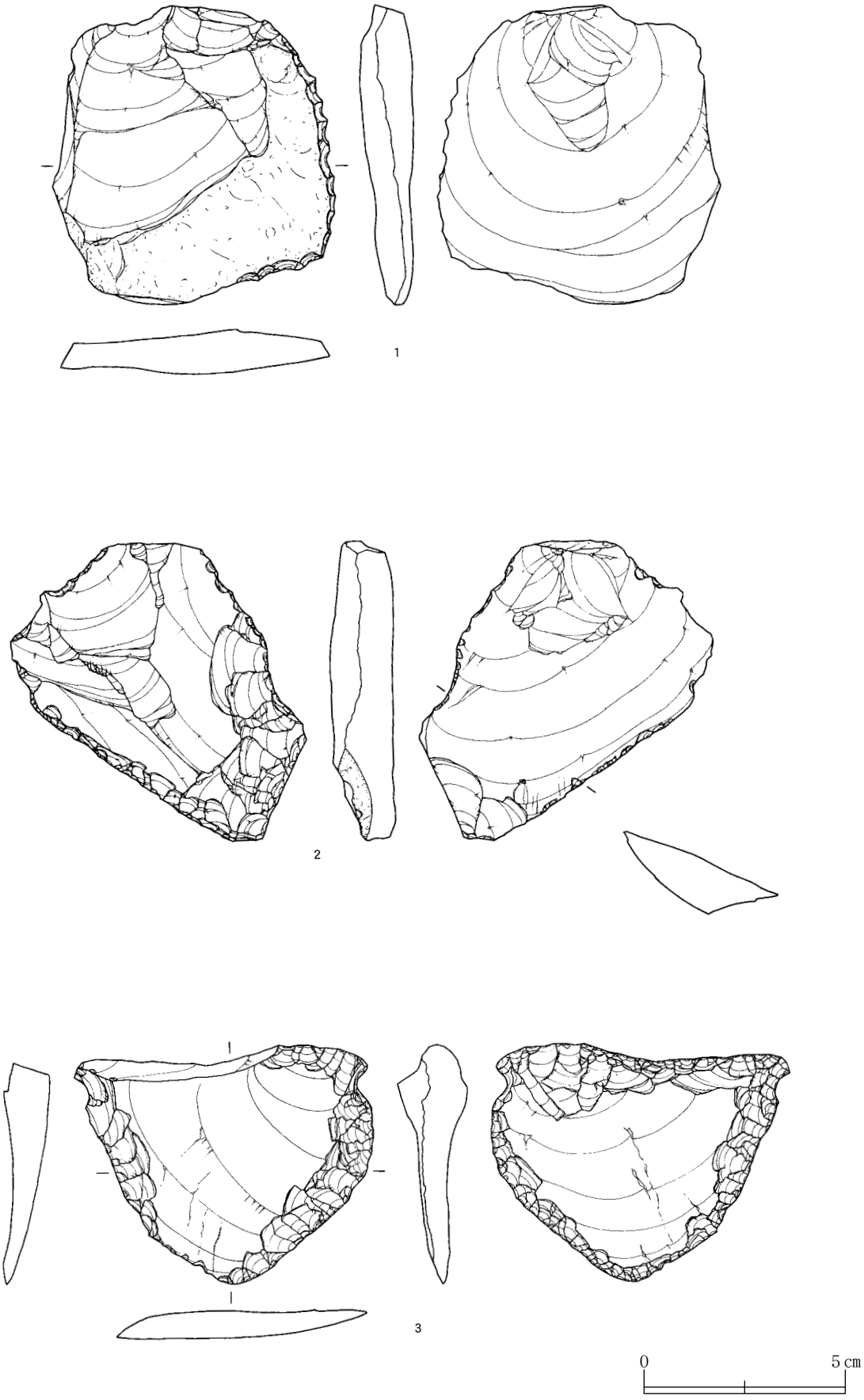


第160図　出土遺物（137）（SM60⑫）

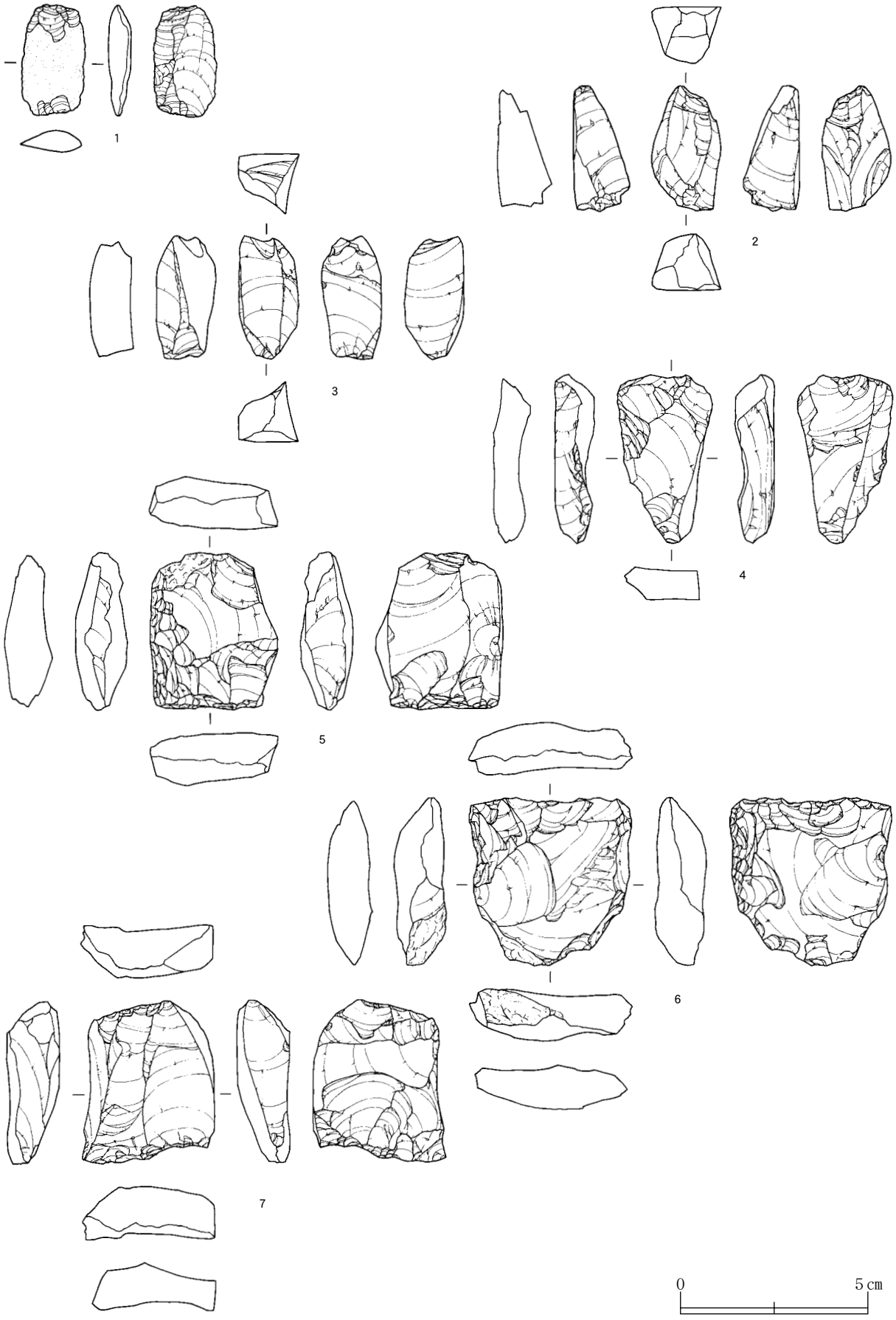
第161図　出土遺物（138）(SM60⑬)



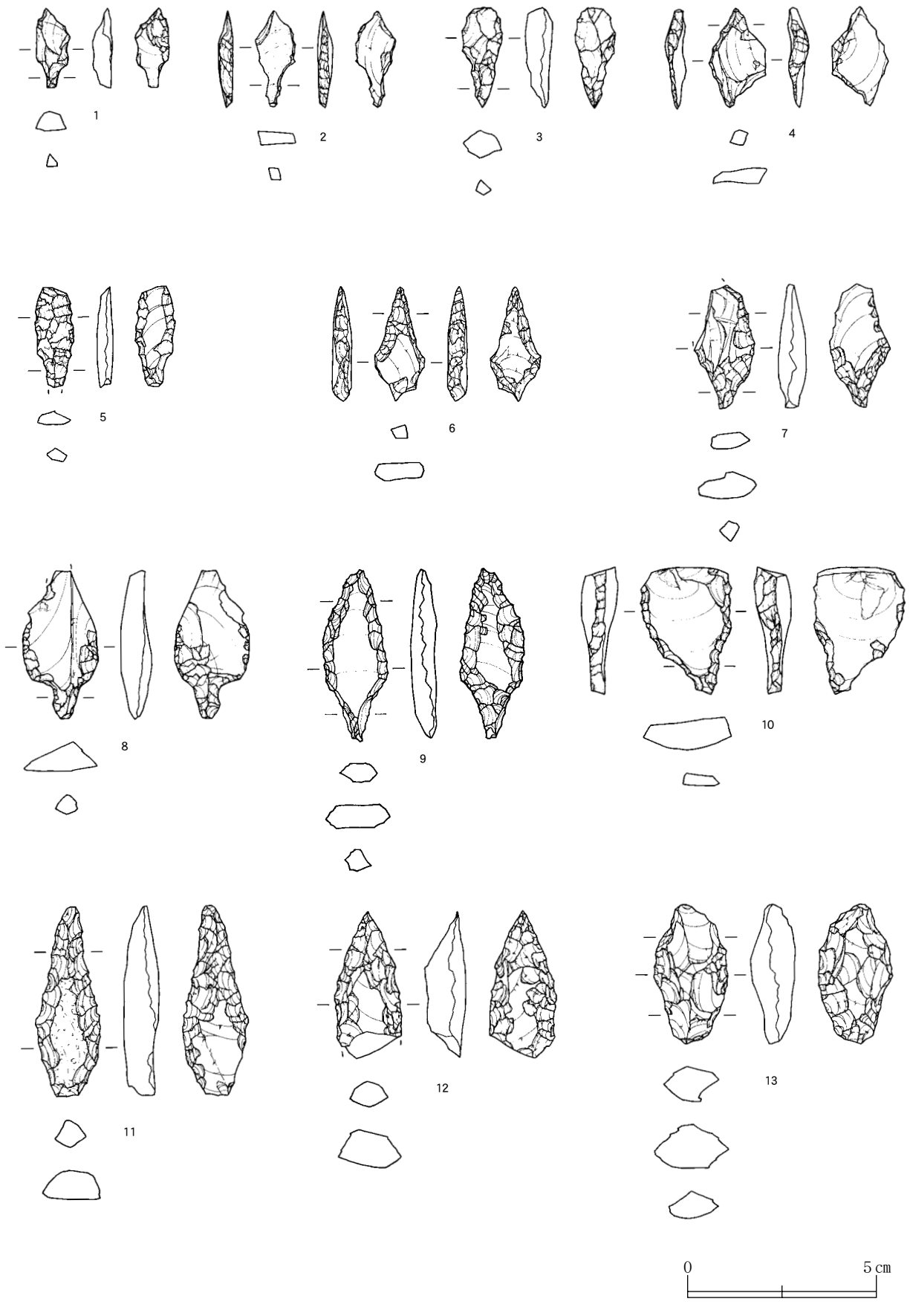
第162図　出土遺物（139）（SM60㉔）



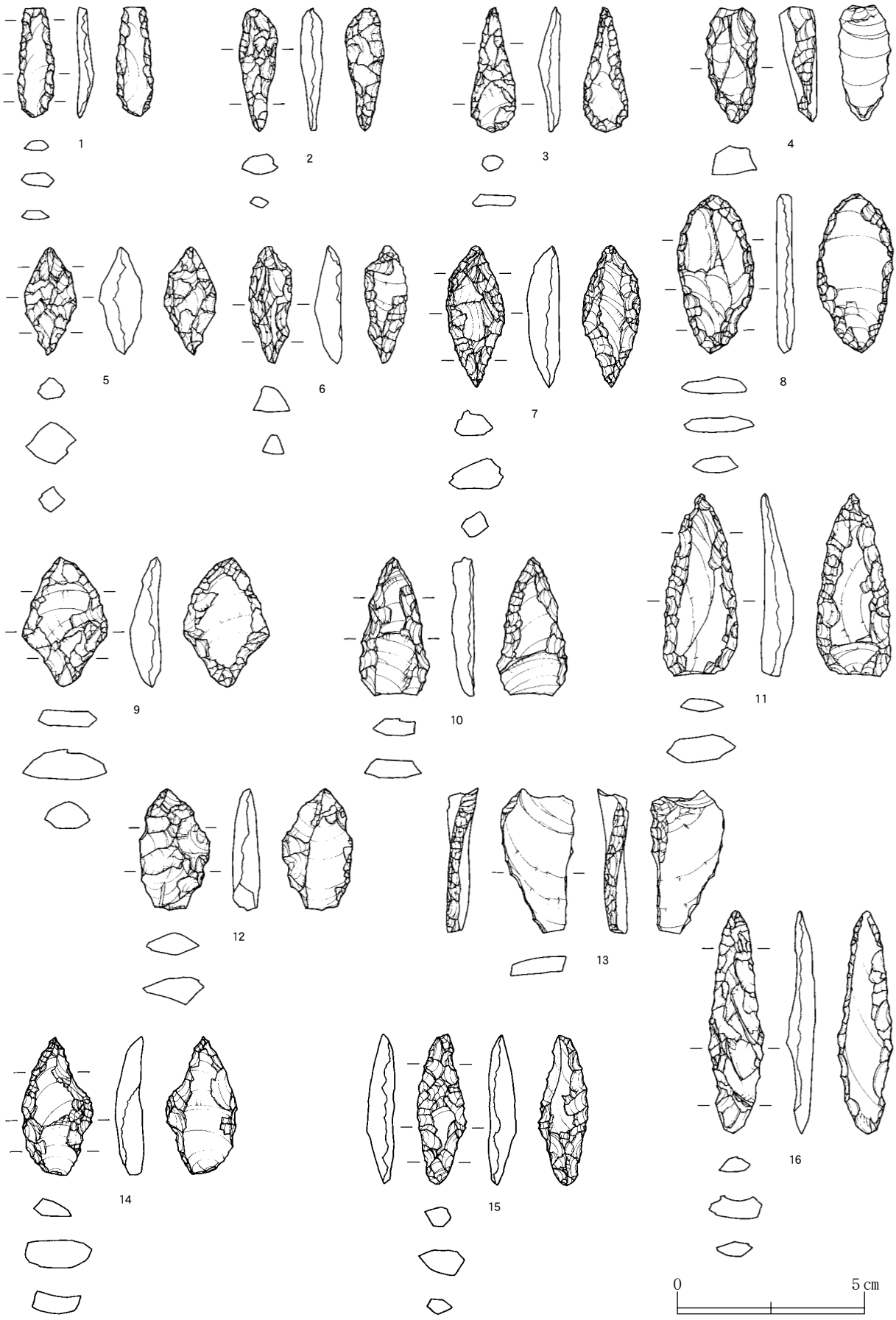
第163図　出土遺物（140）(SM60㉕)



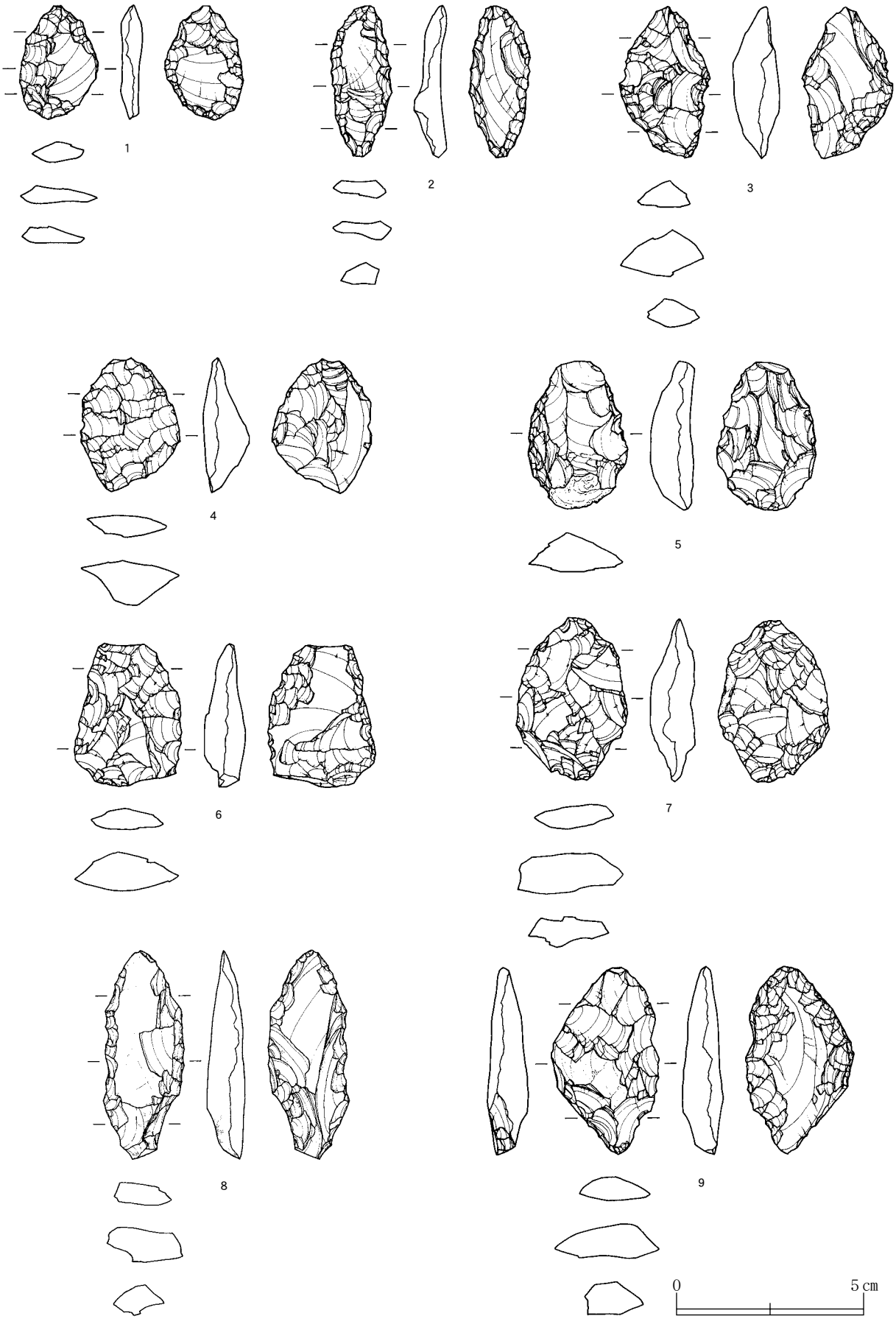
第164図　出土遺物（141）（SM60㉖）



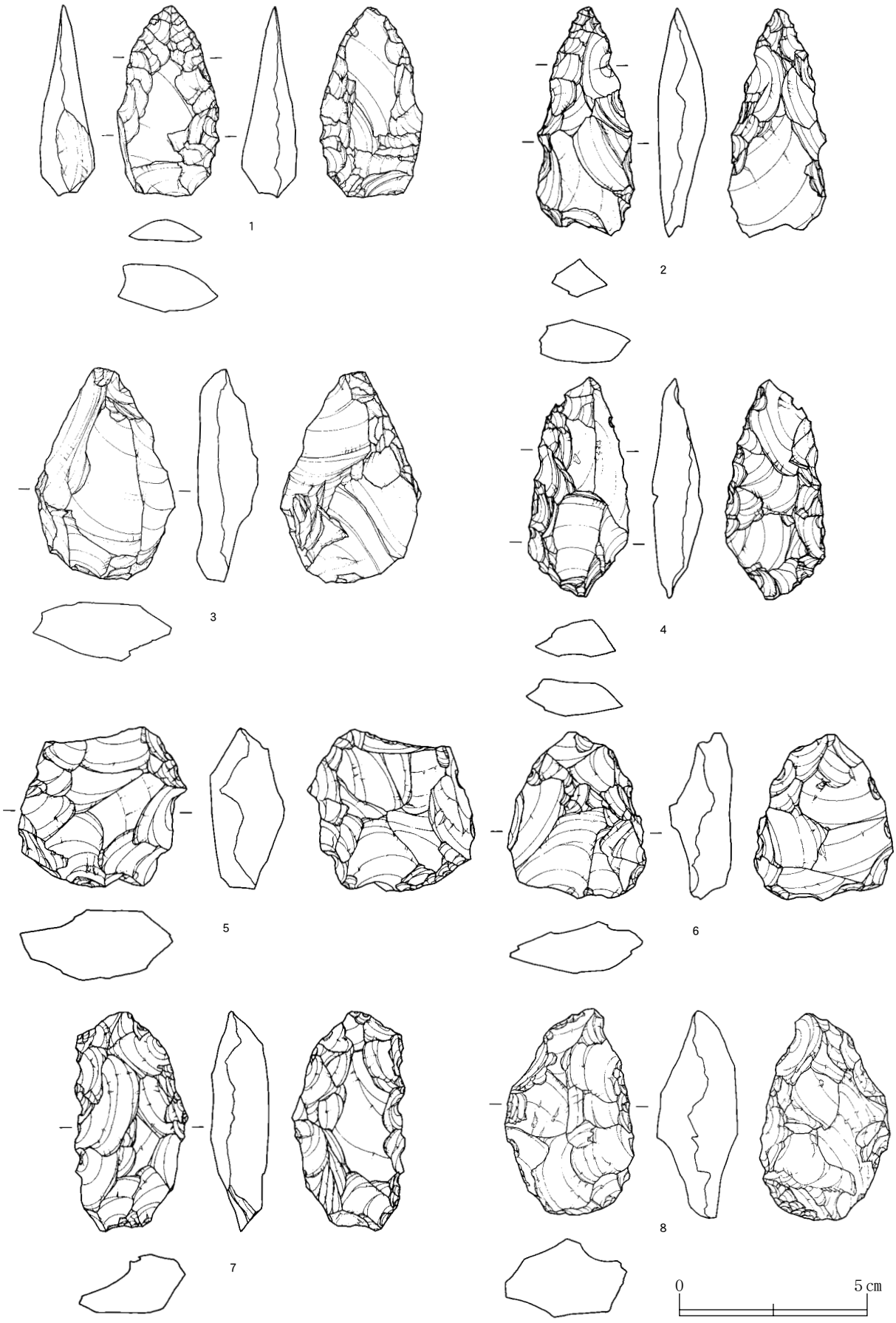
第165図　出土遺物（142）(SM60㉑)



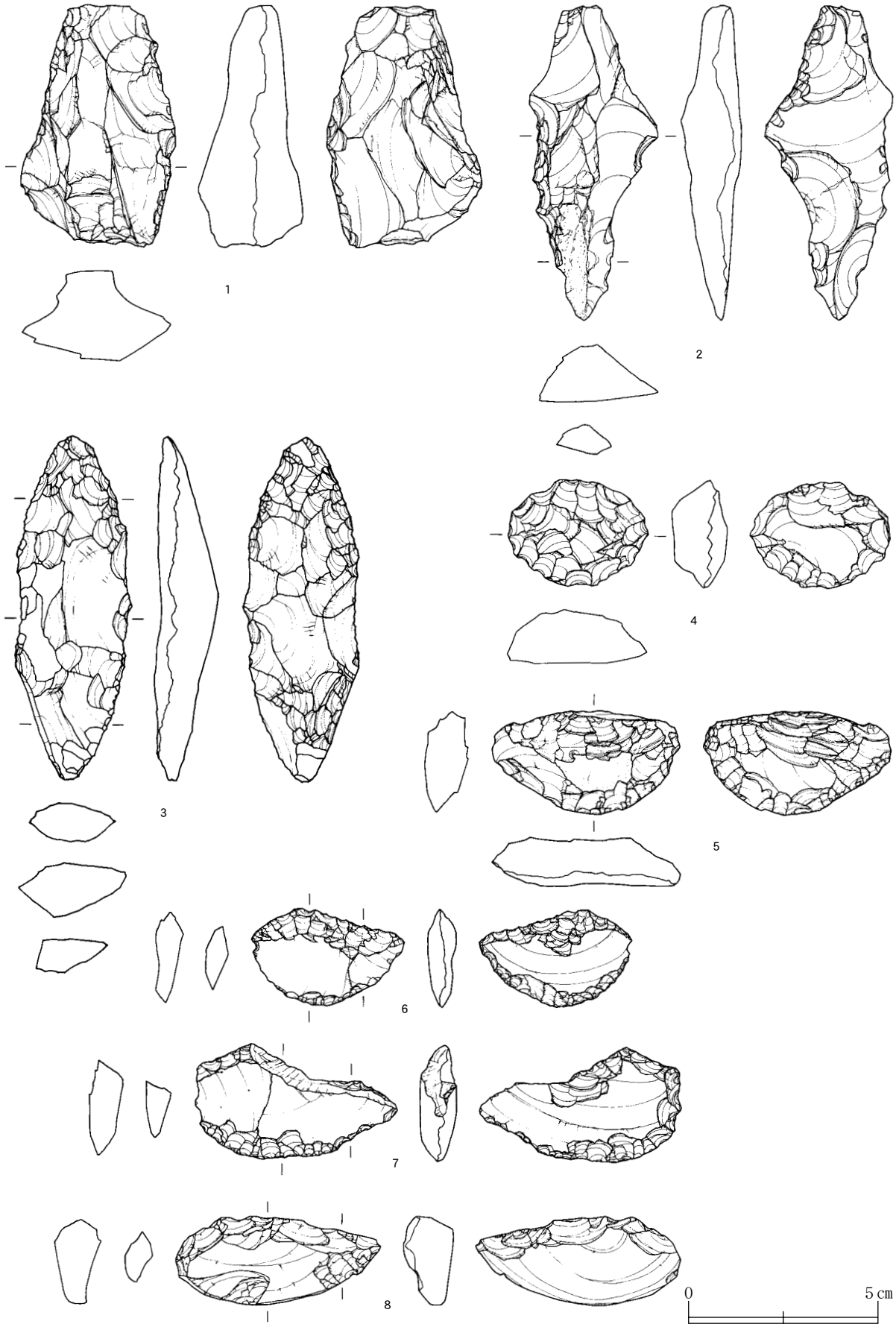
第166図　出土遺物（143）(SM60⑫⑧)



第167図　出土遺物（144）(SM60⑫⑨)

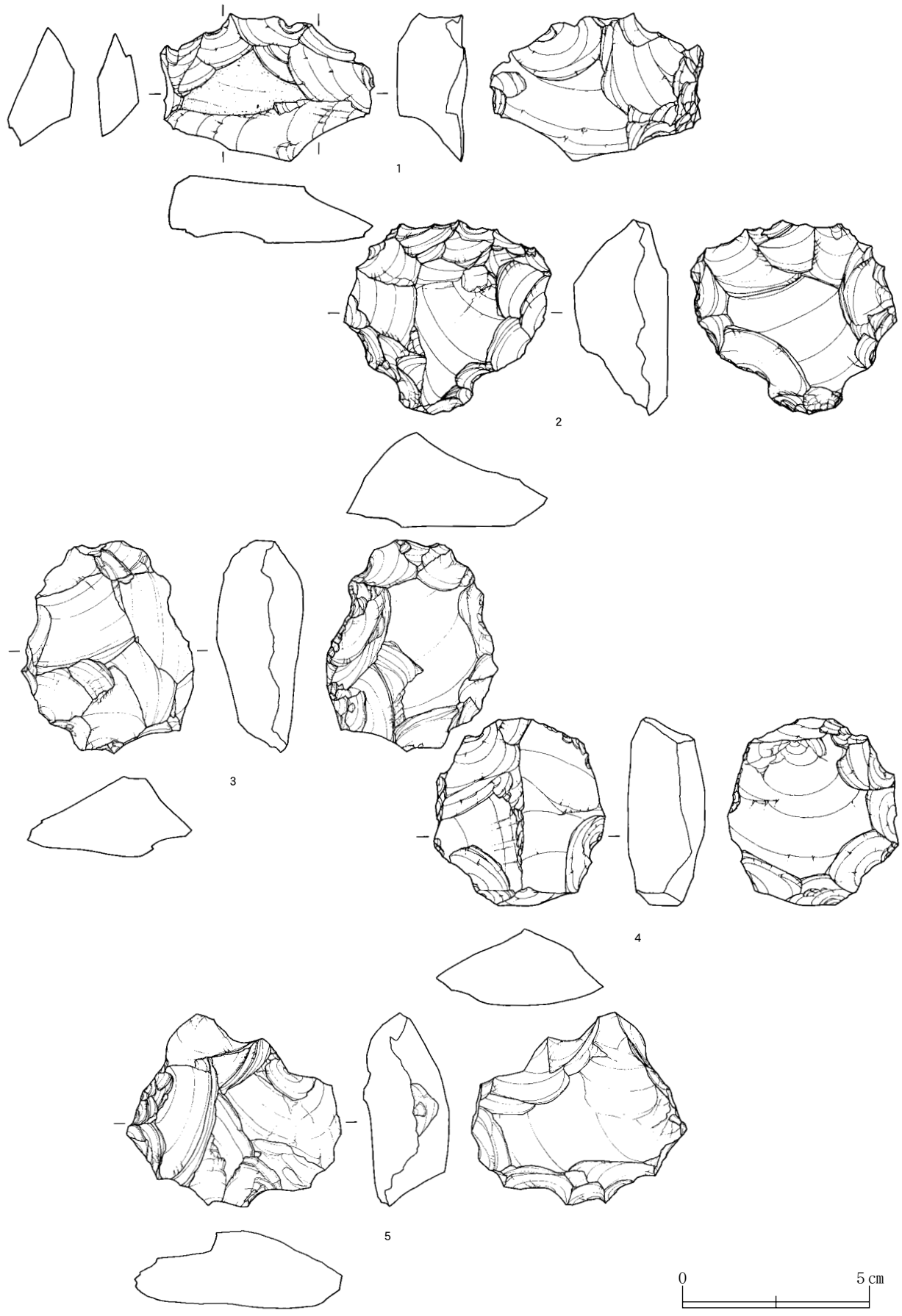


第168図　出土遺物（145）（SM60㉚）

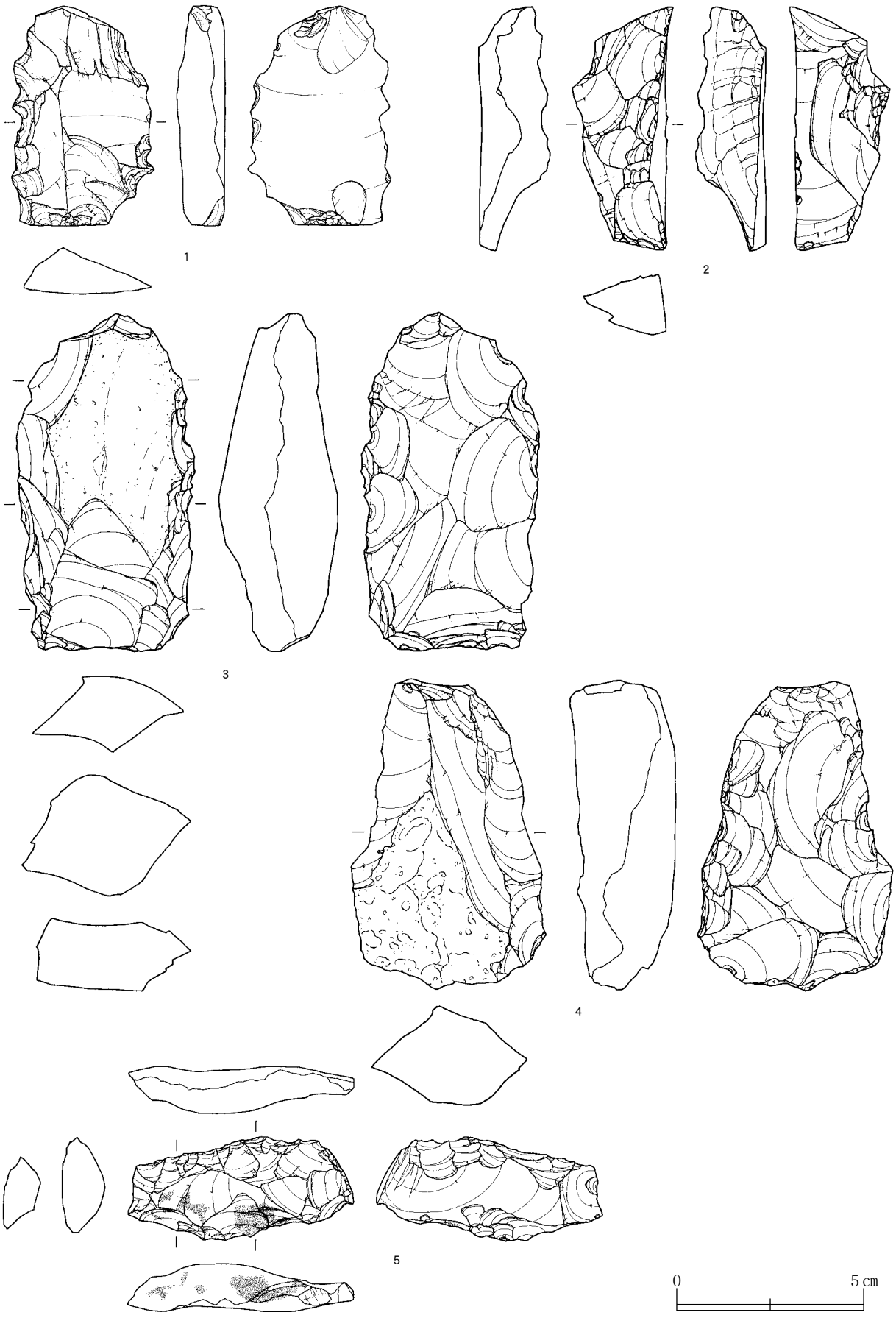


第169図　出土遺物（146）(SM60㉛)

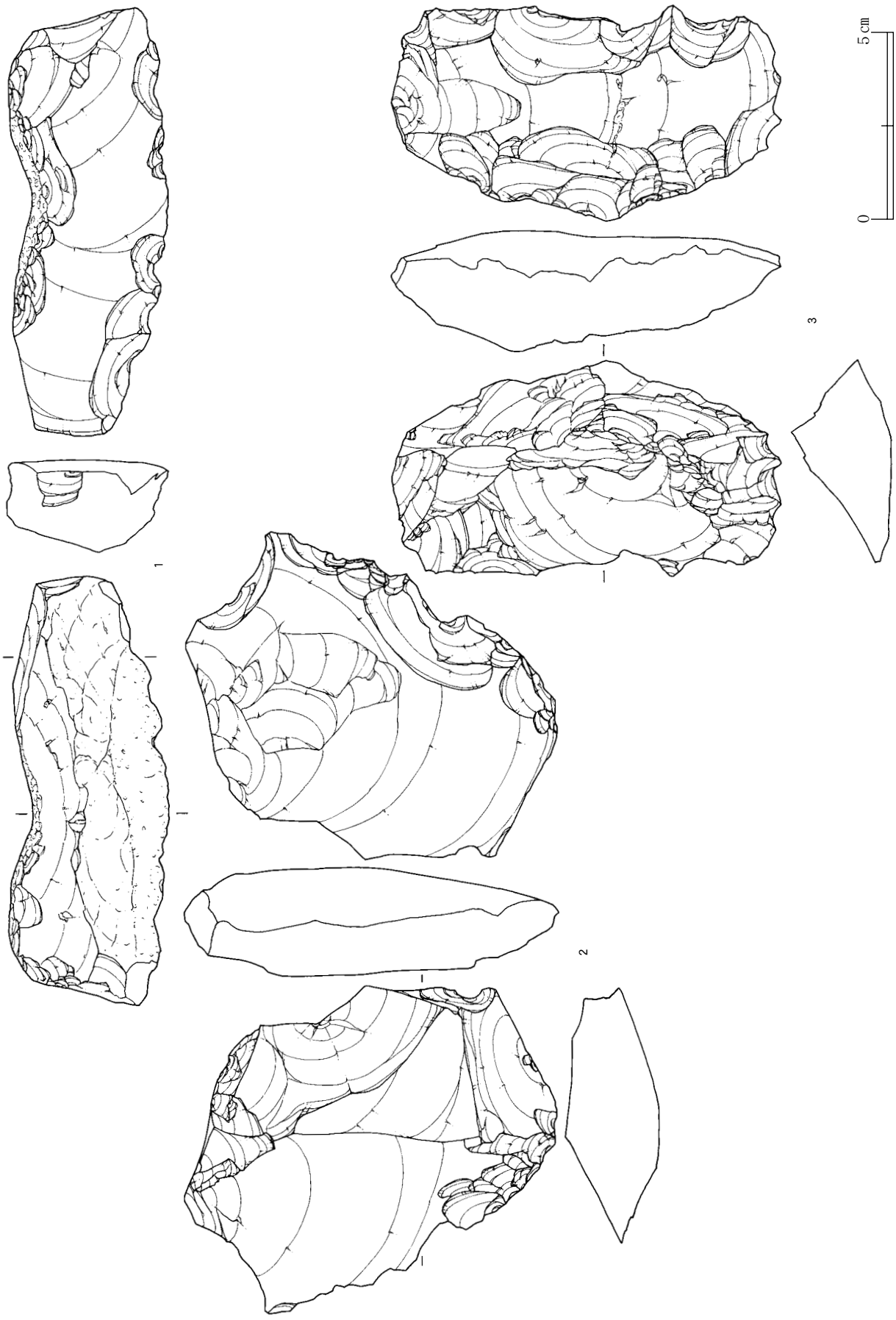
第170図　出土遺物（147）（SM60㉜）



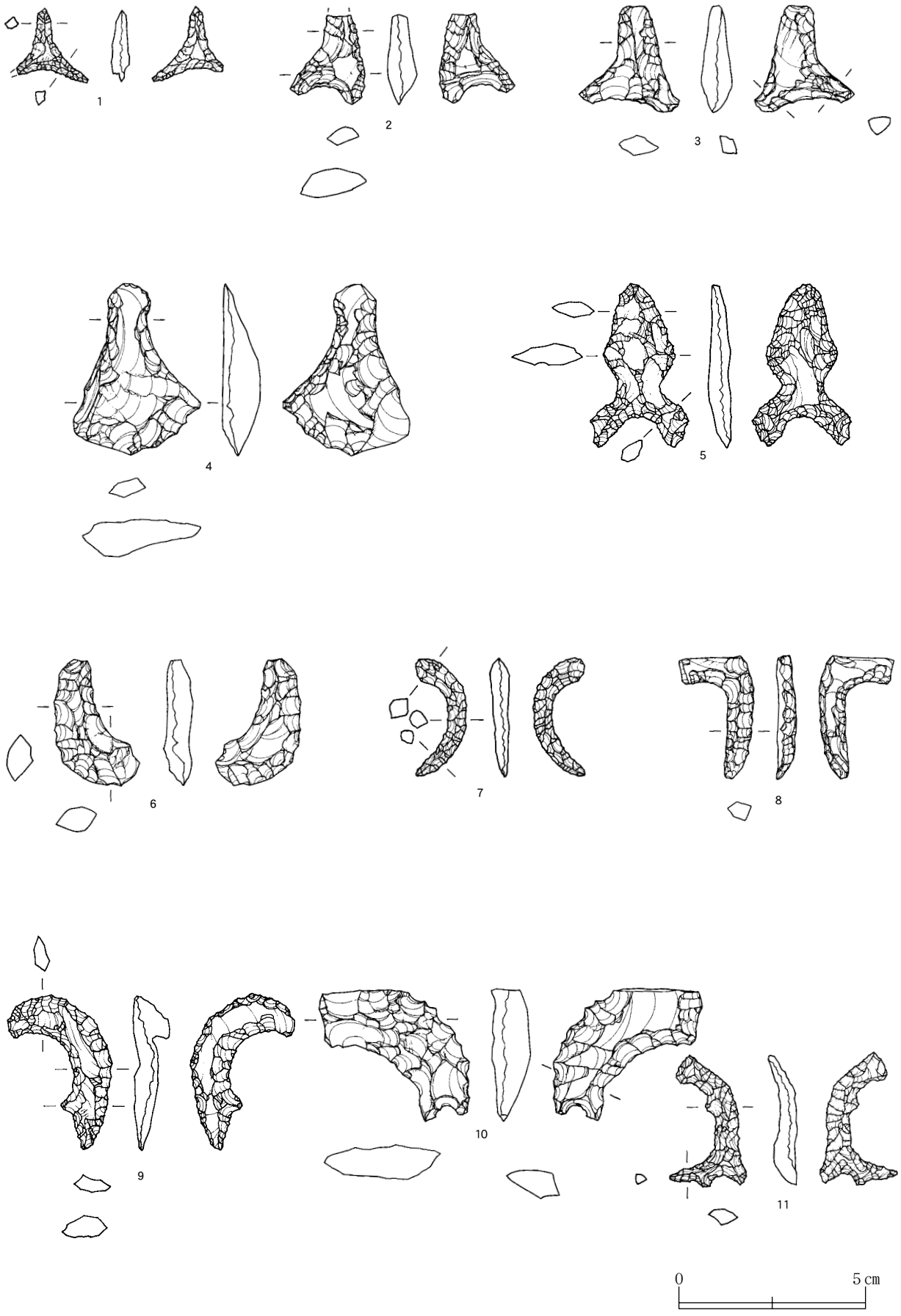
第171図　出土遺物（148）(SM60㉝)



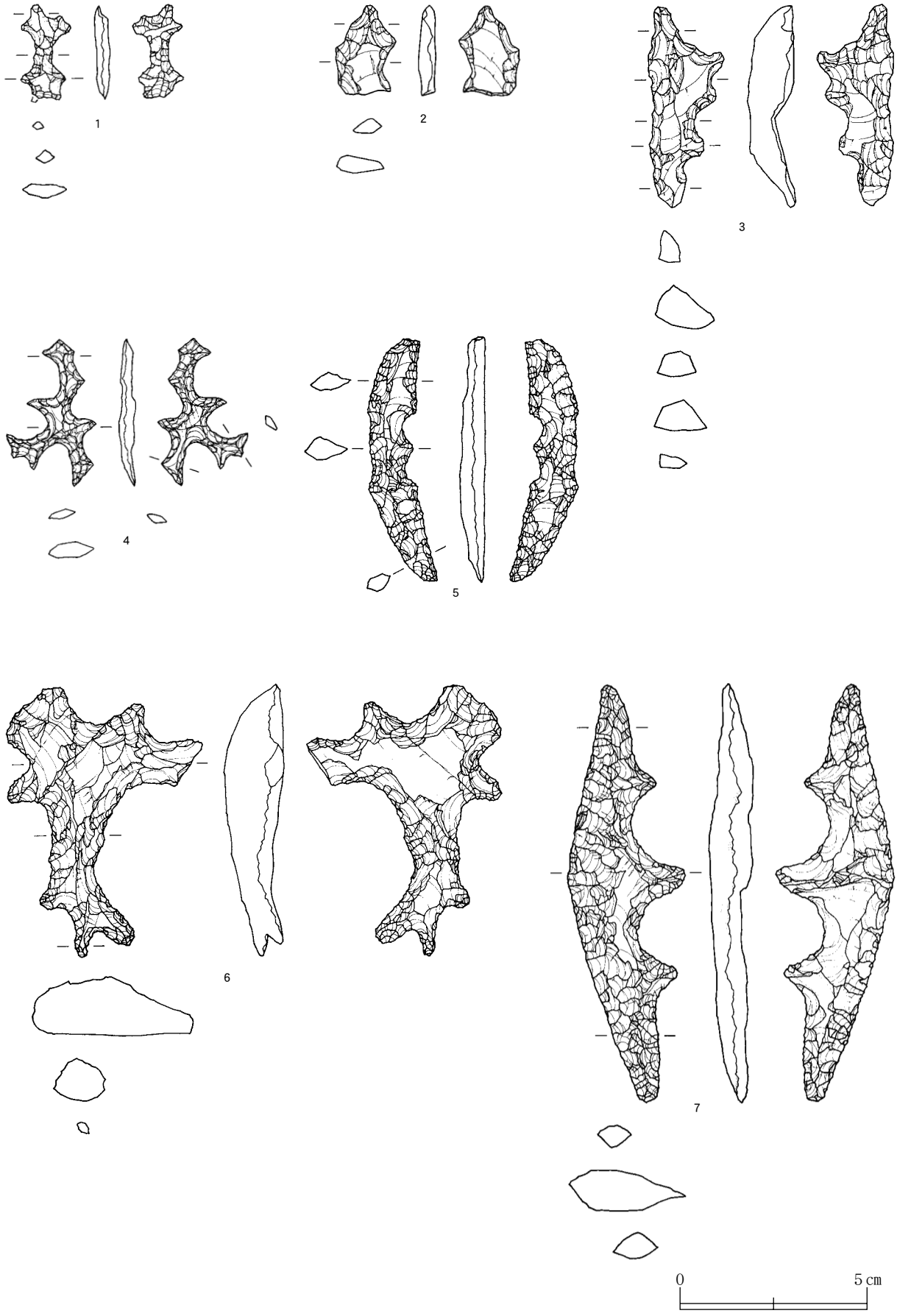
第172図　出土遺物（149）（SM60㉞）



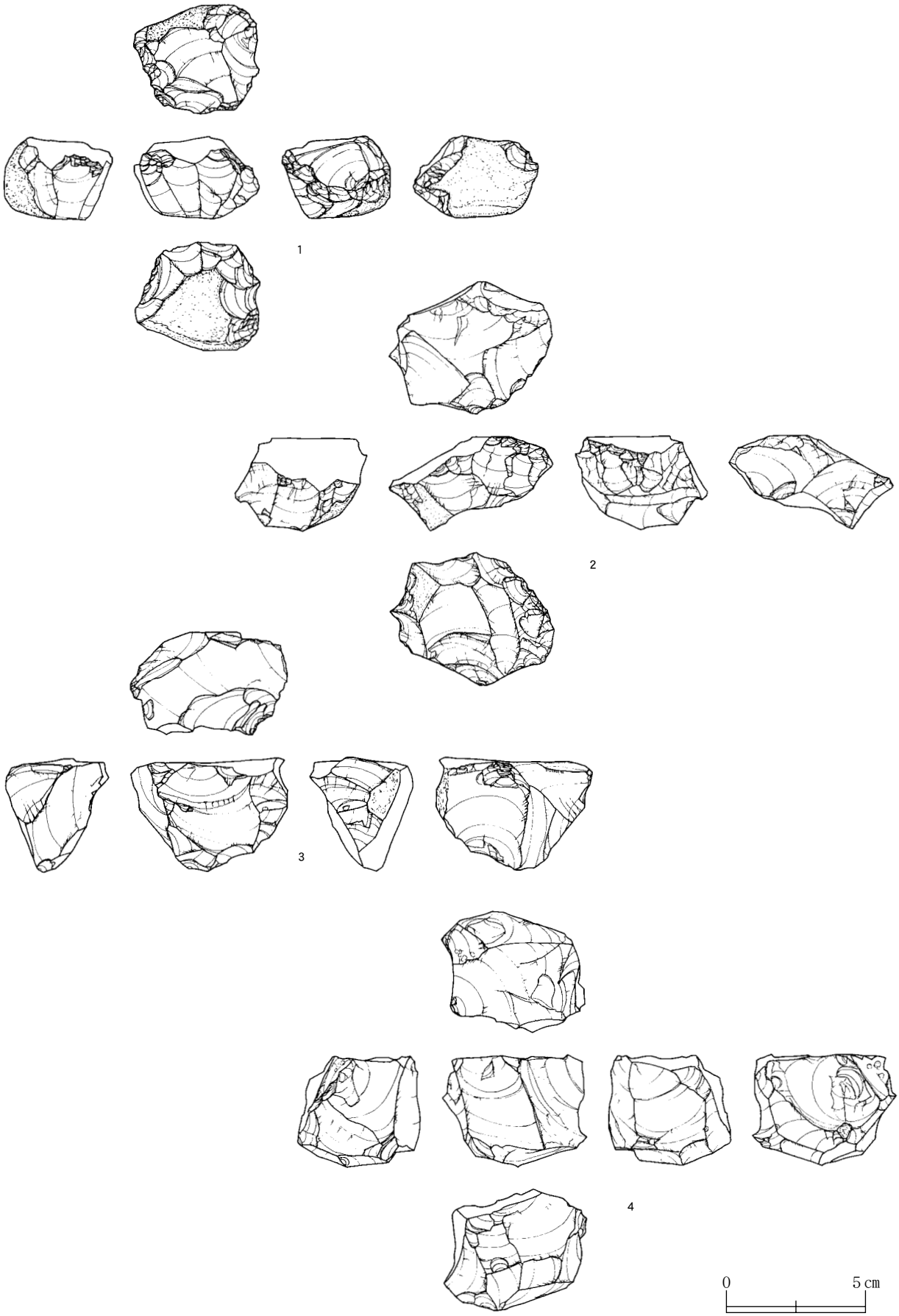
第173図　出土遺物（150）(SM60㉟)



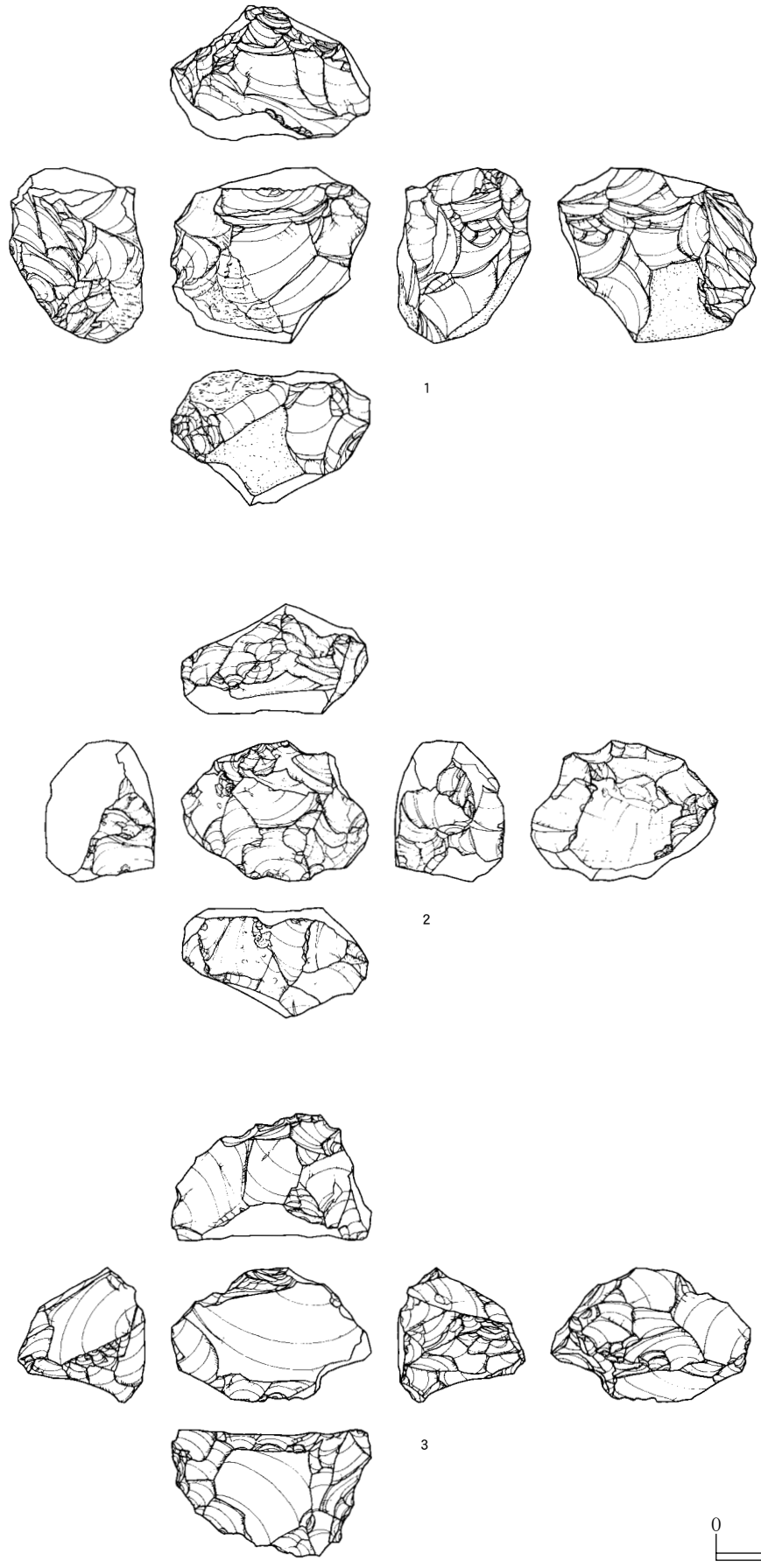
第174図　出土遺物（151）（SM60㊱）



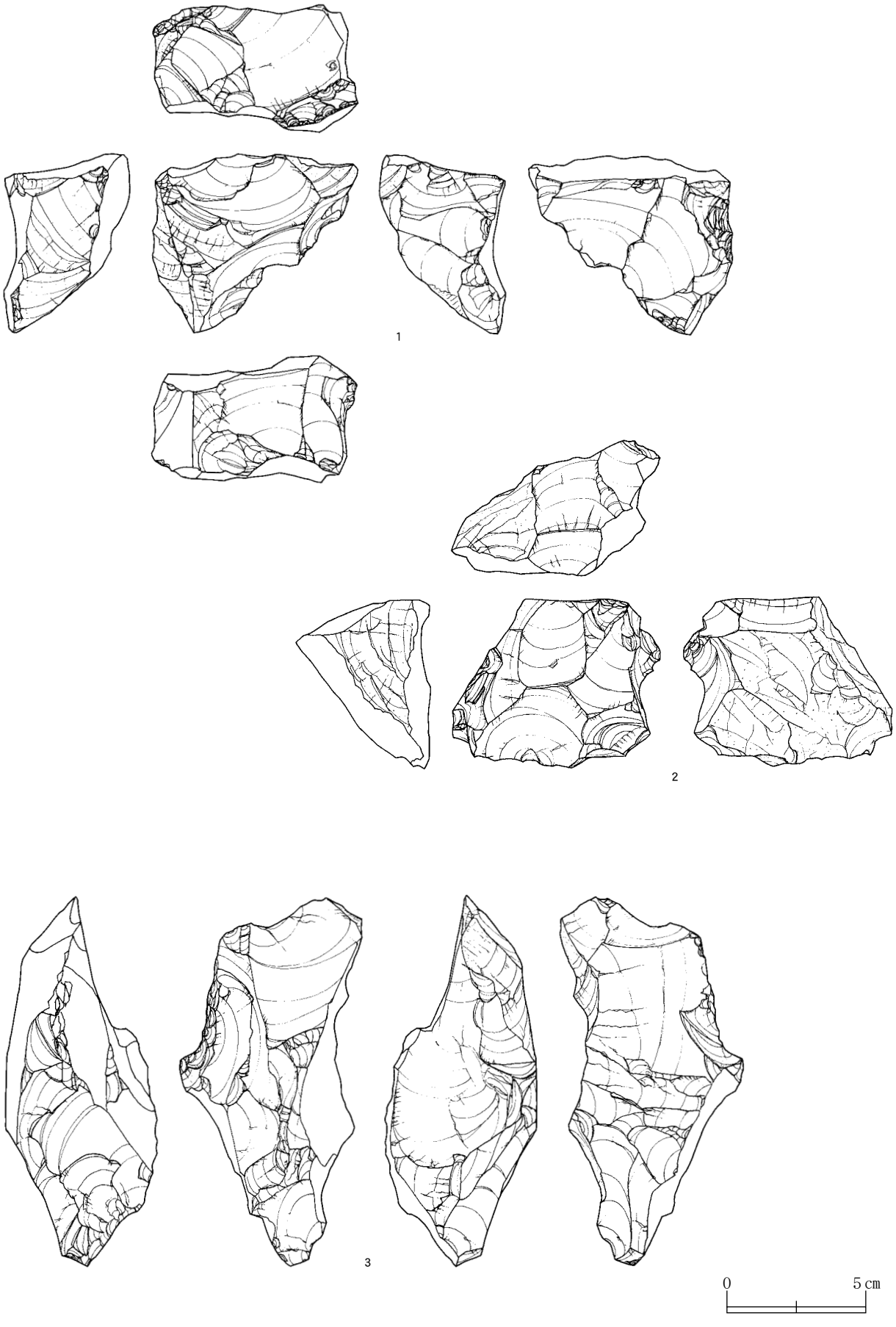
第175図　出土遺物（152）(SM60㊲)



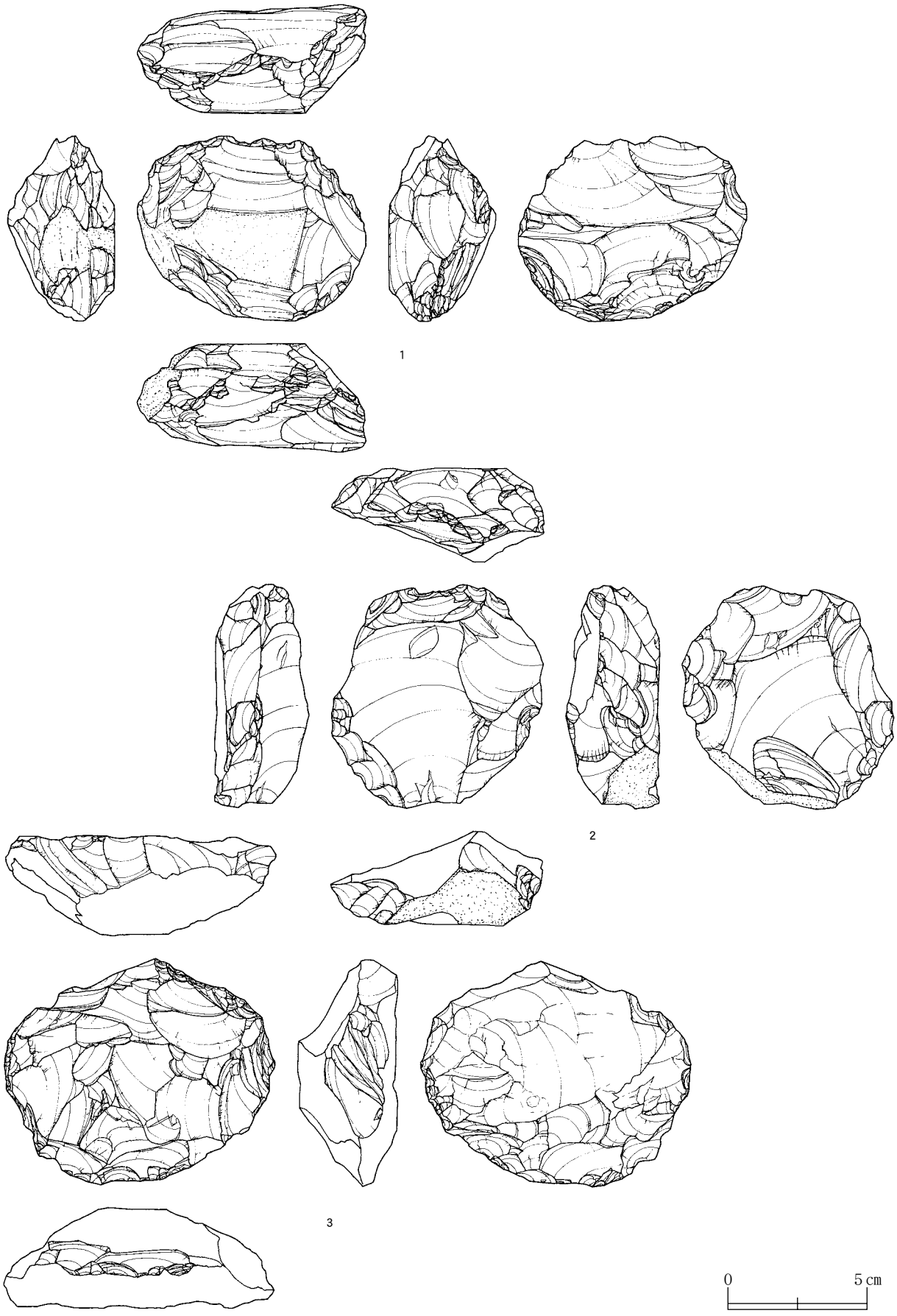
第176図　出土遺物（153）（SM60⑱）



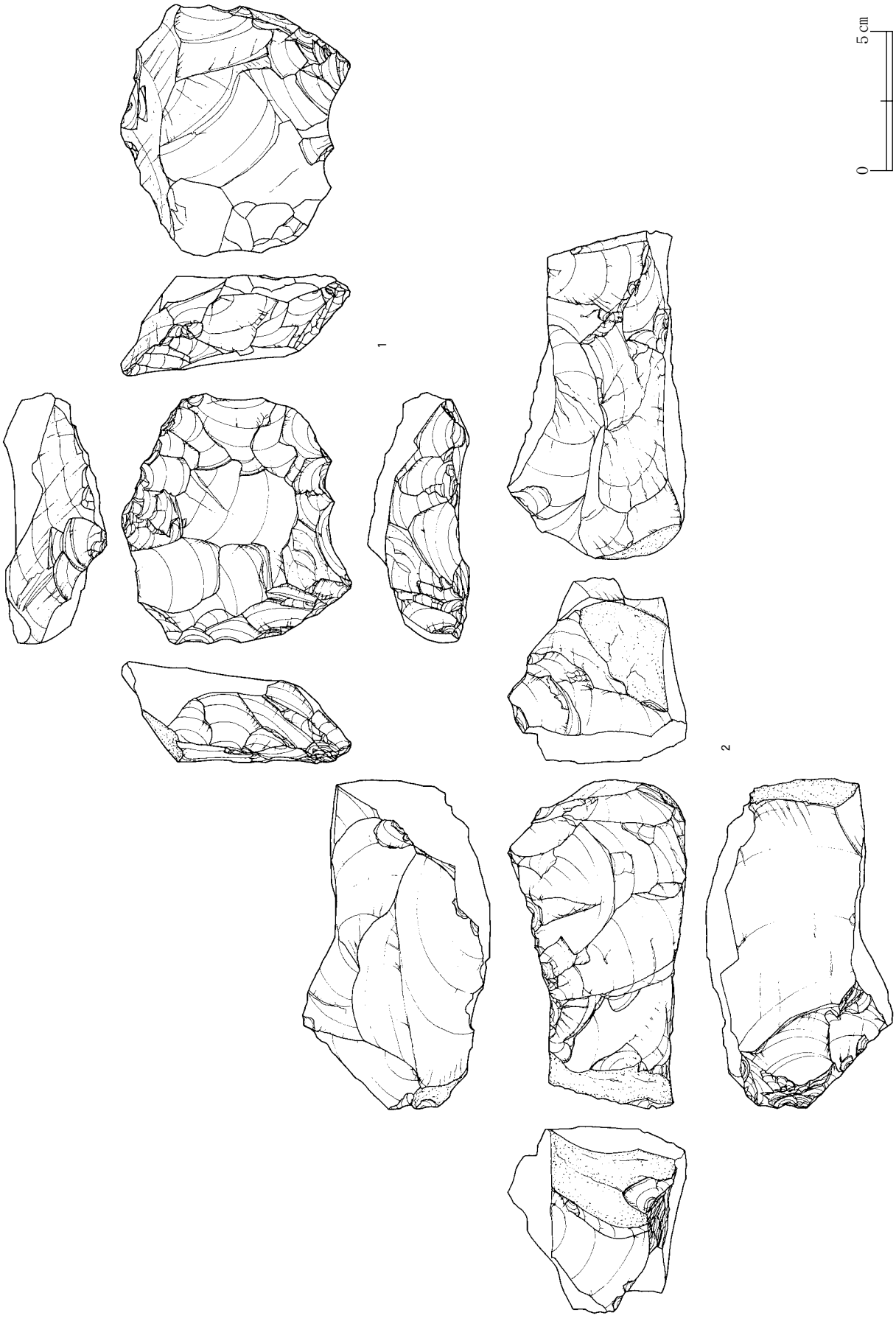
第177図　出土遺物（154）(SM60⑬⑨)



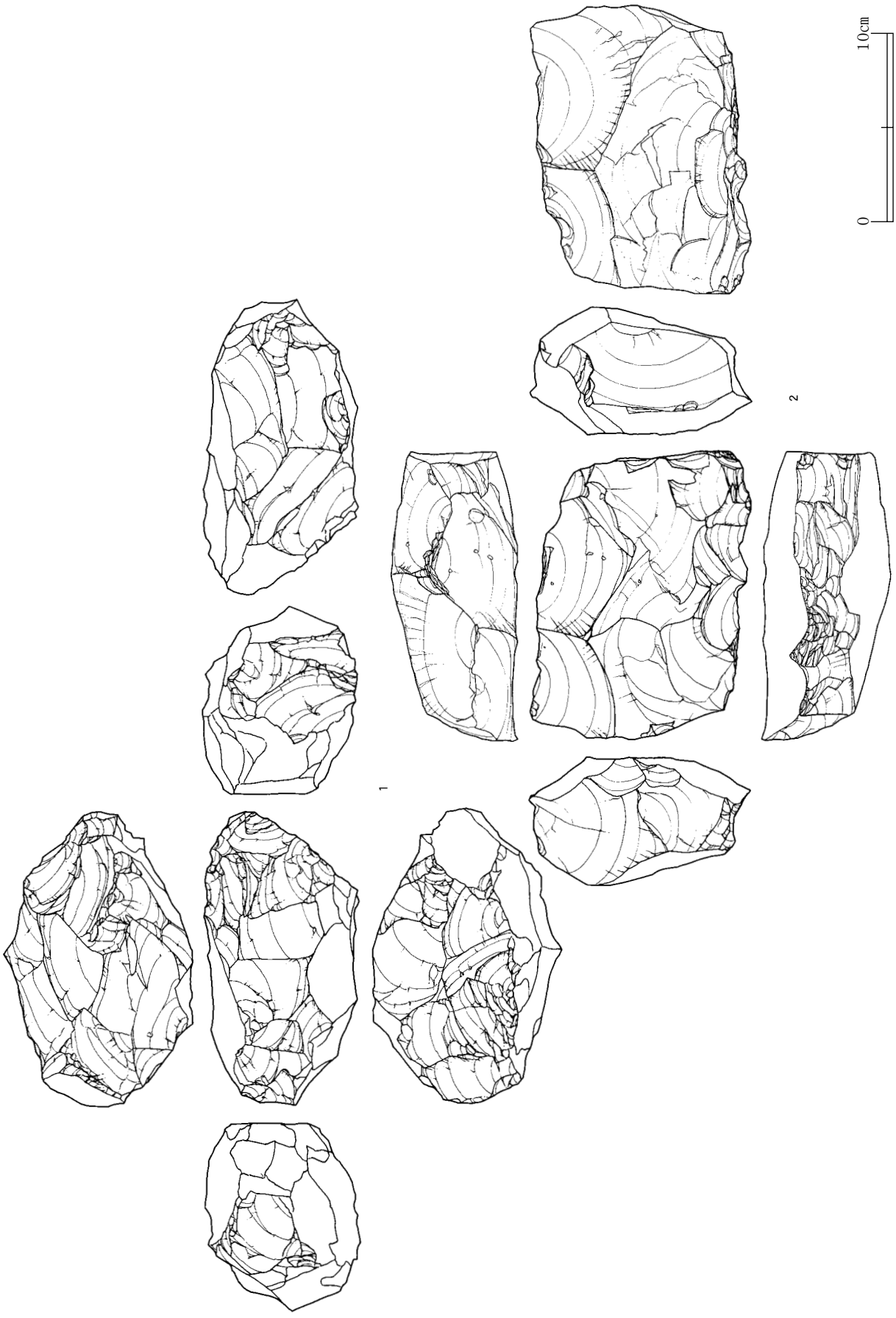
第178図　出土遺物（155）（SM60⑭）



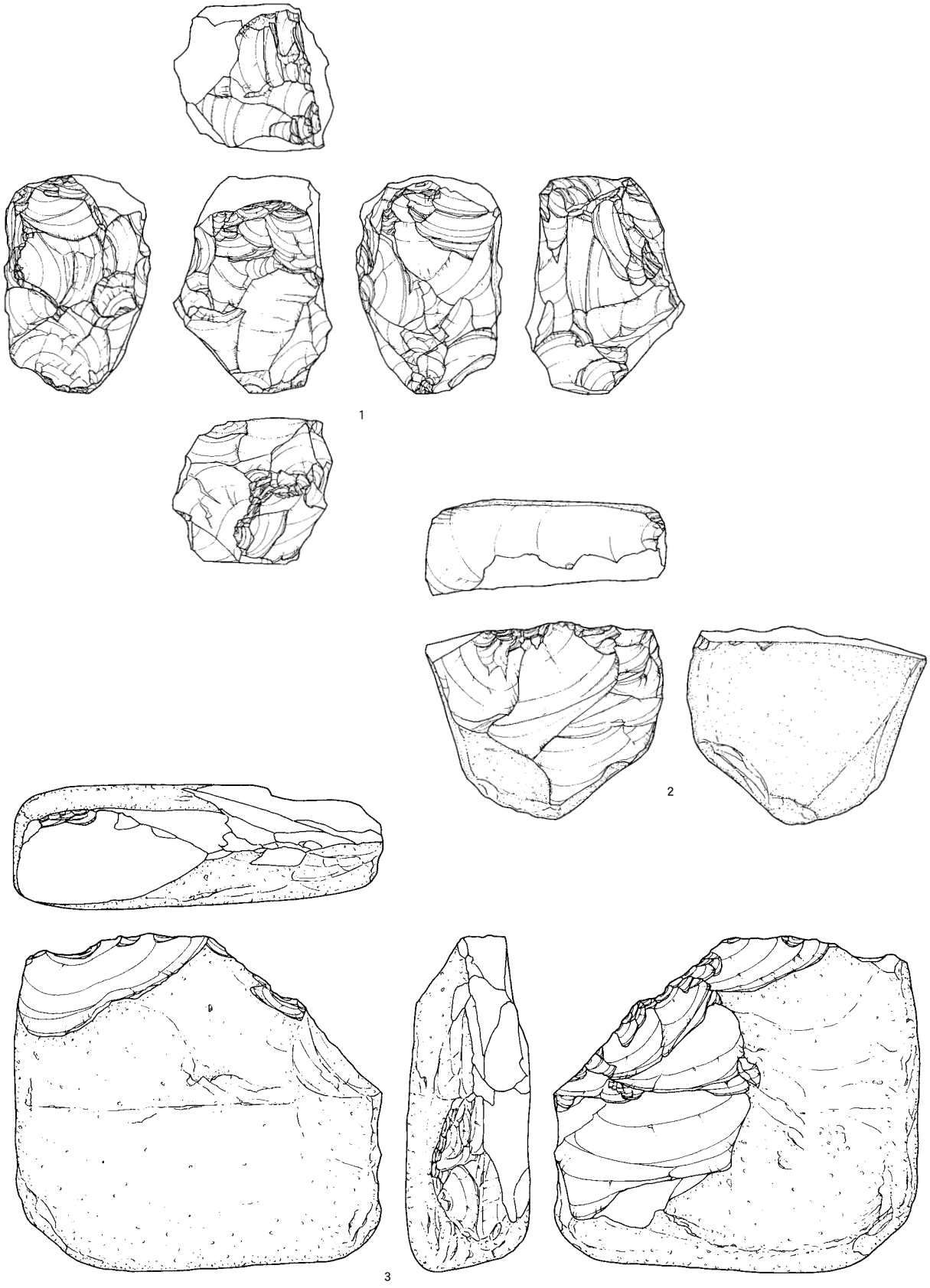
第179図　出土遺物（156）(SM60㊅)



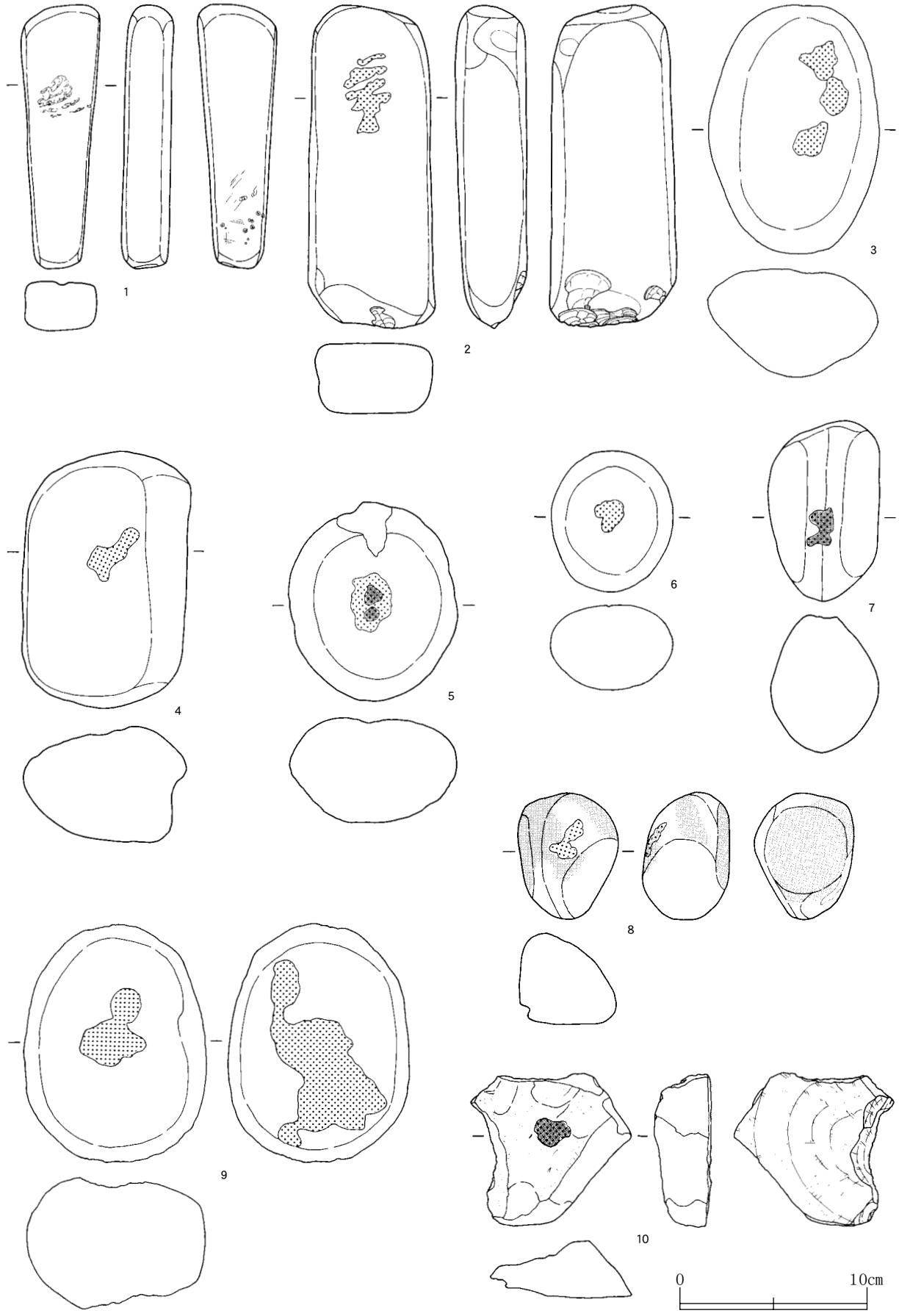
第180図　出土遺物（157）（SM60㊦）



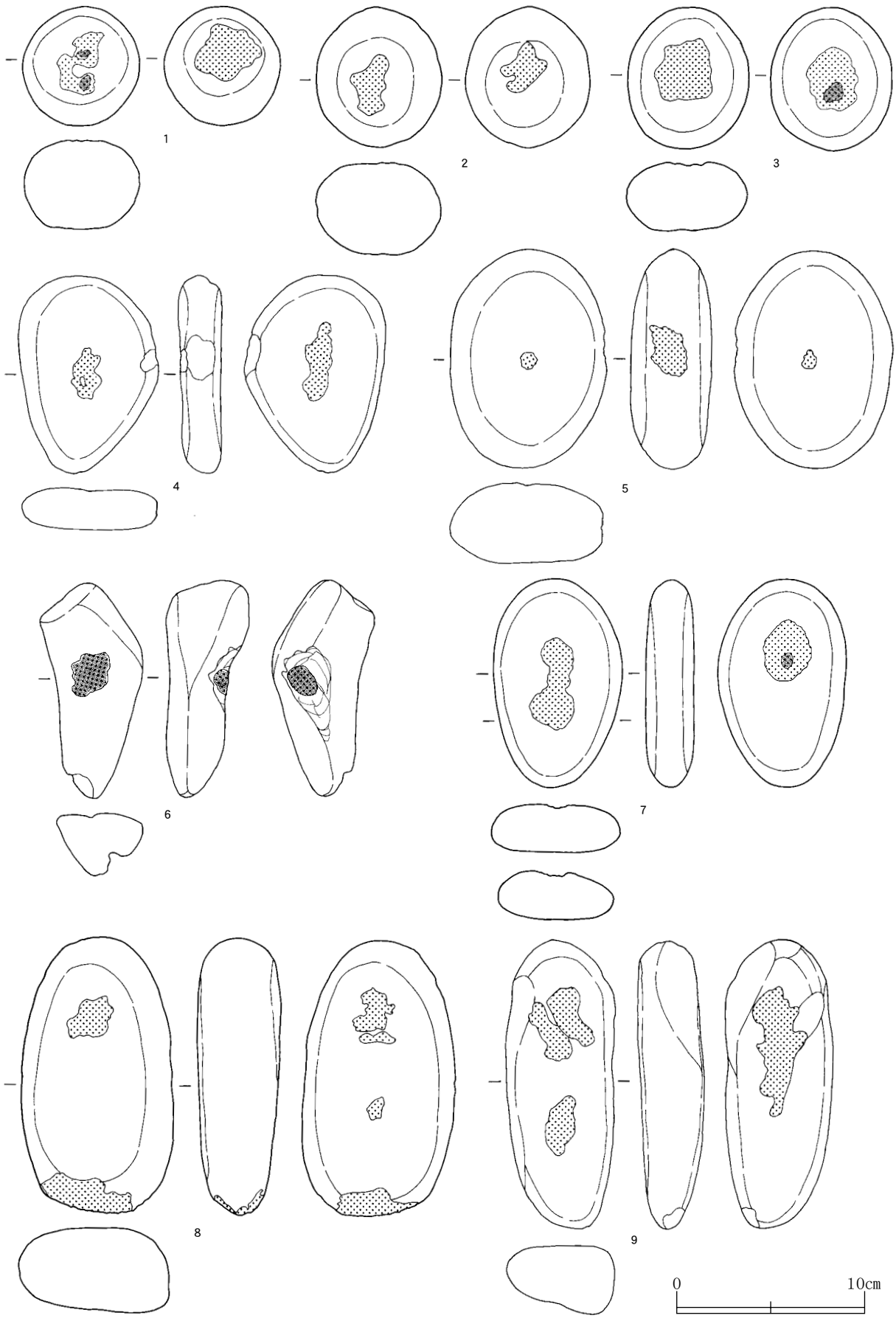
第181図　出土遺物（158）(SM60⑱)



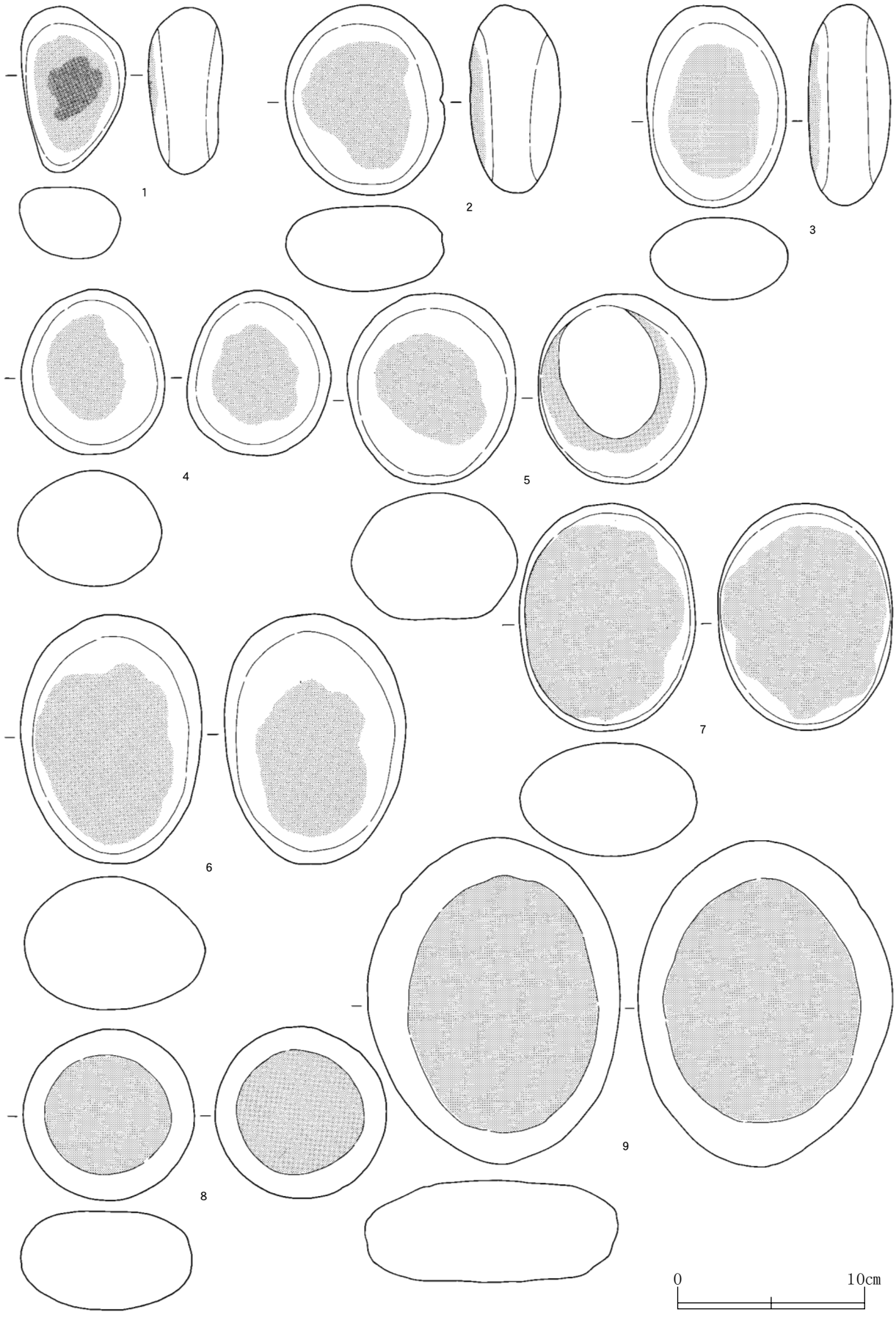
第182図　出土遺物（159）（SM60㊊）



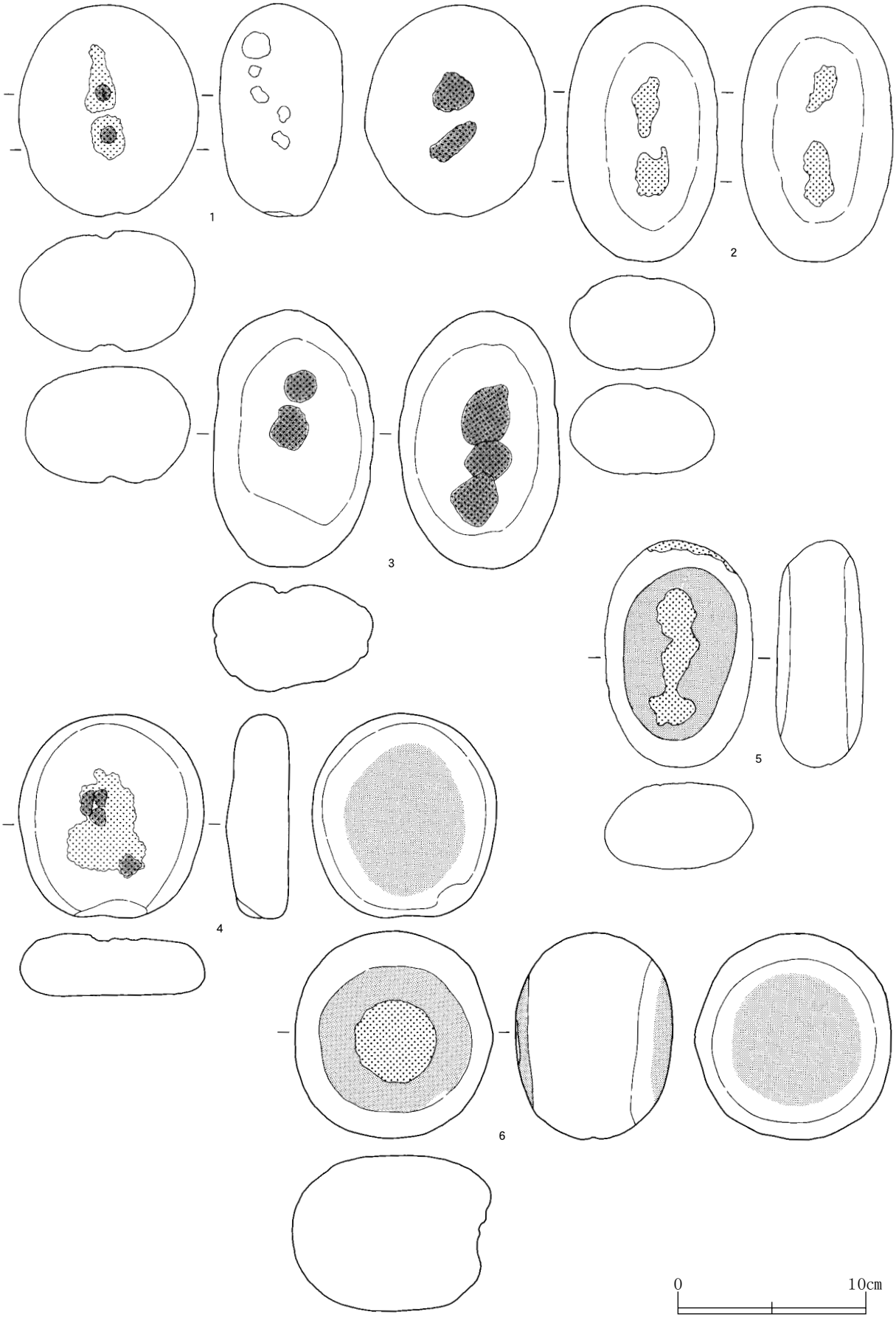
第183図　出土遺物（160）(SM60⑮)



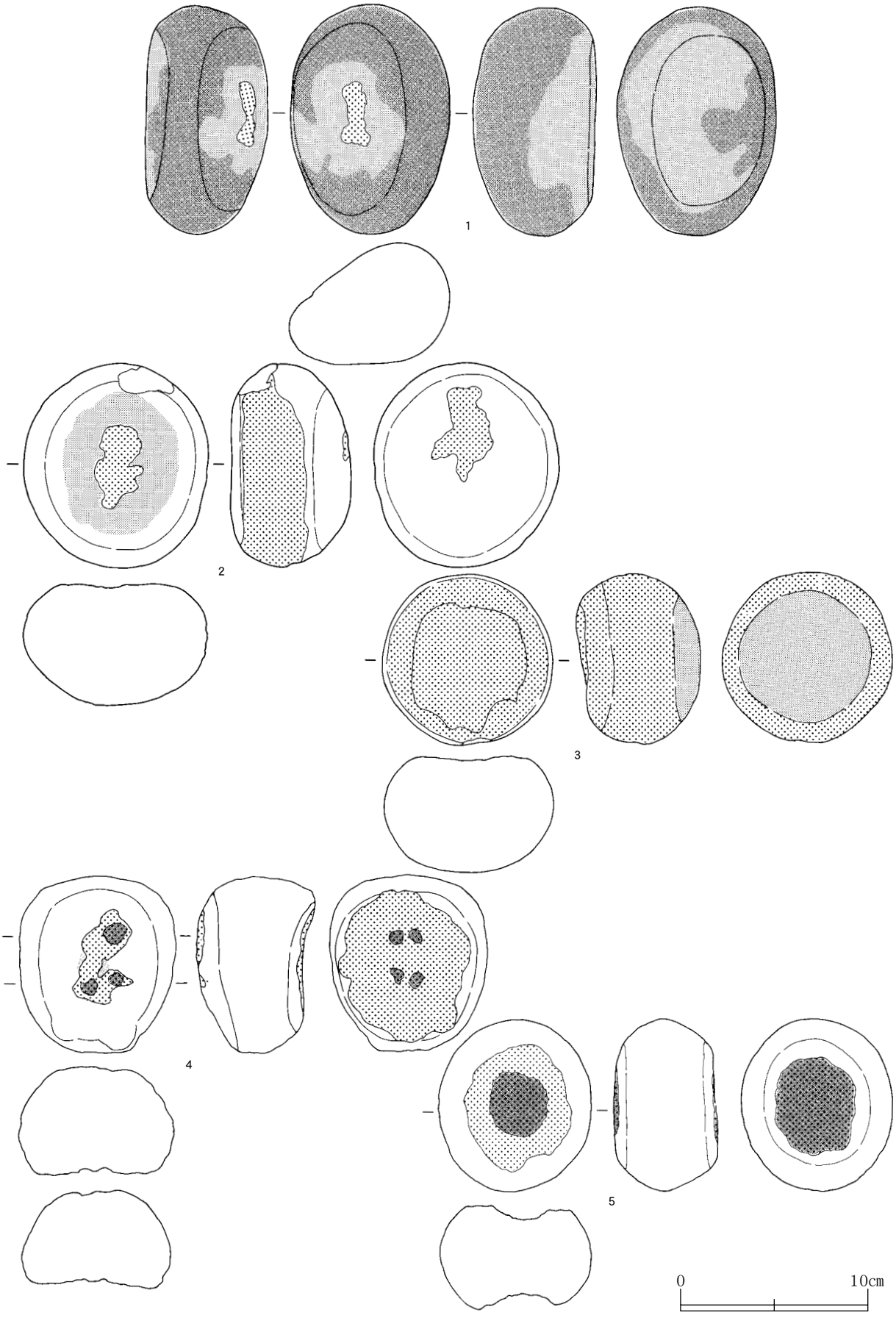
第184図　出土遺物（161）（SM60⑯）



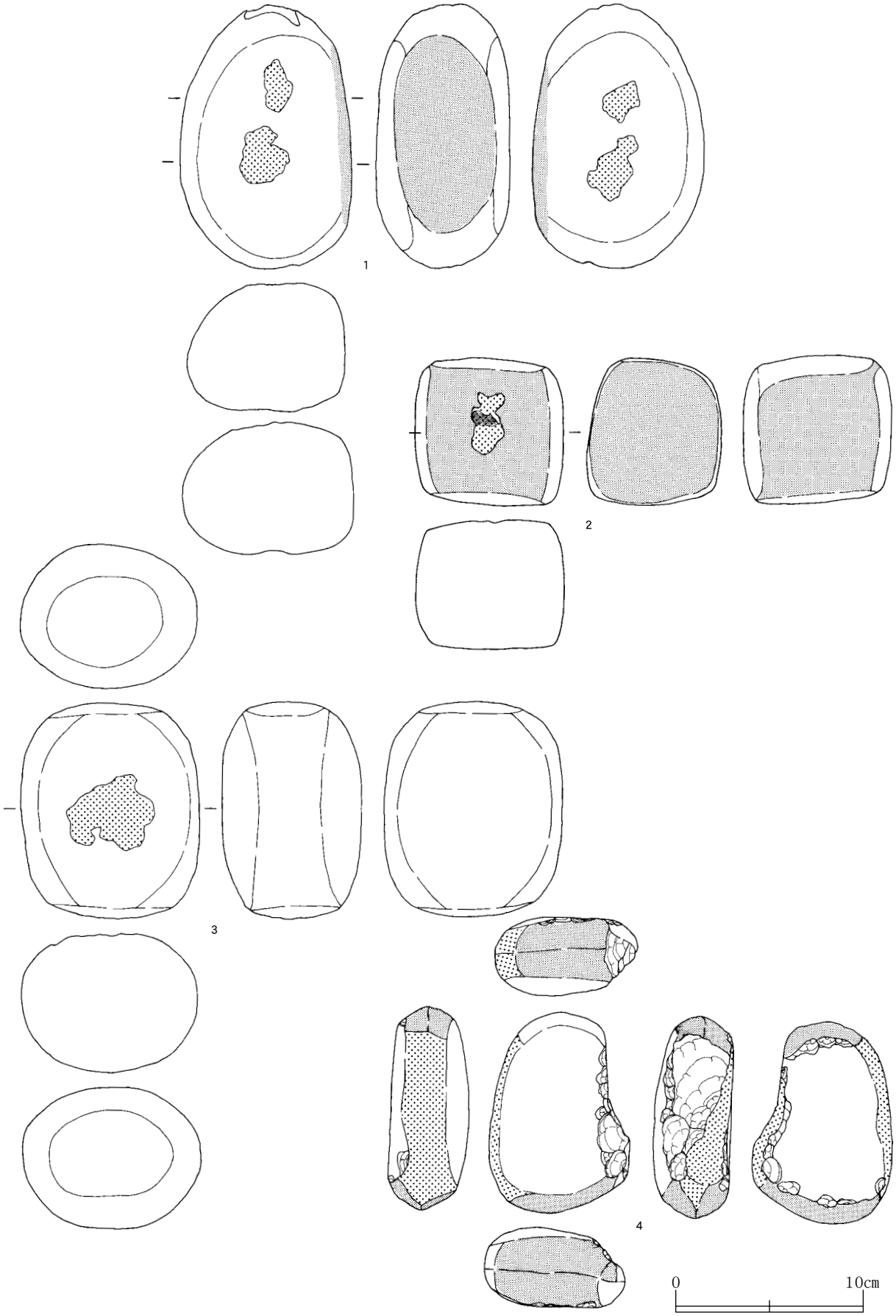
第185図　出土遺物（162）(SM60㊙)



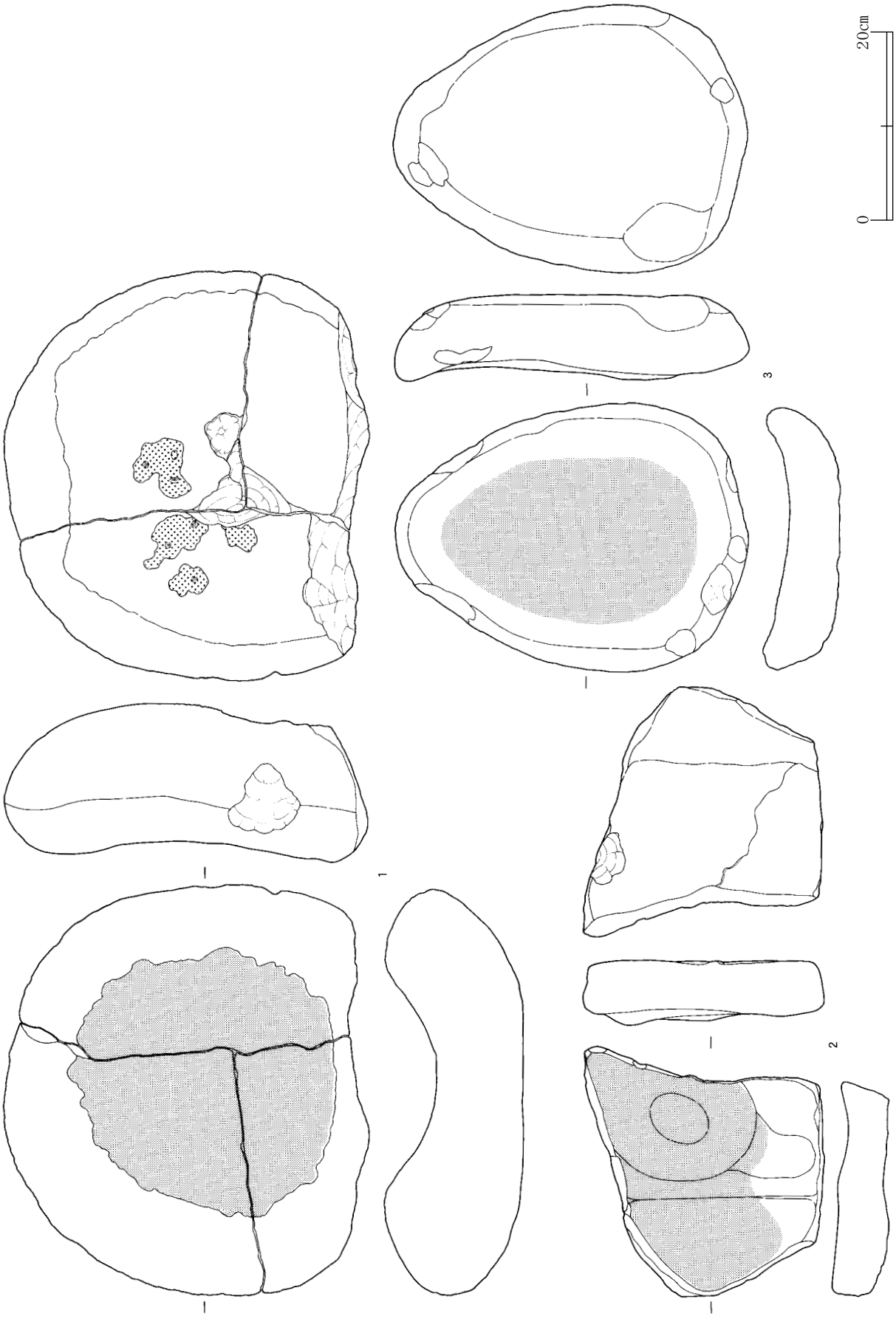
第186図　出土遺物（163）（SM60㊽）



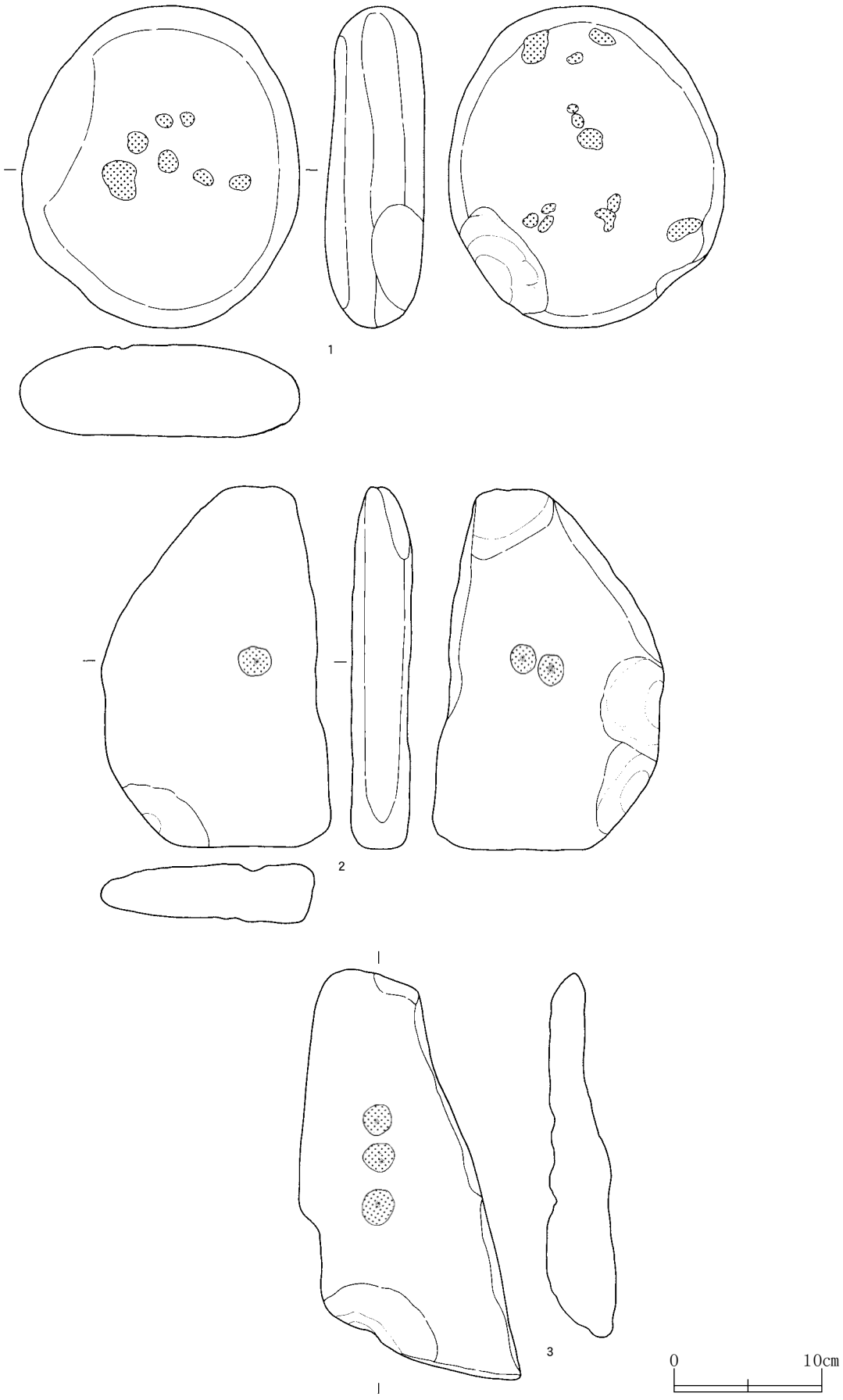
第187図　出土遺物（164）(SM60⑭⑨)



第188図　出土遺物（165）（SM60⑮⓪）

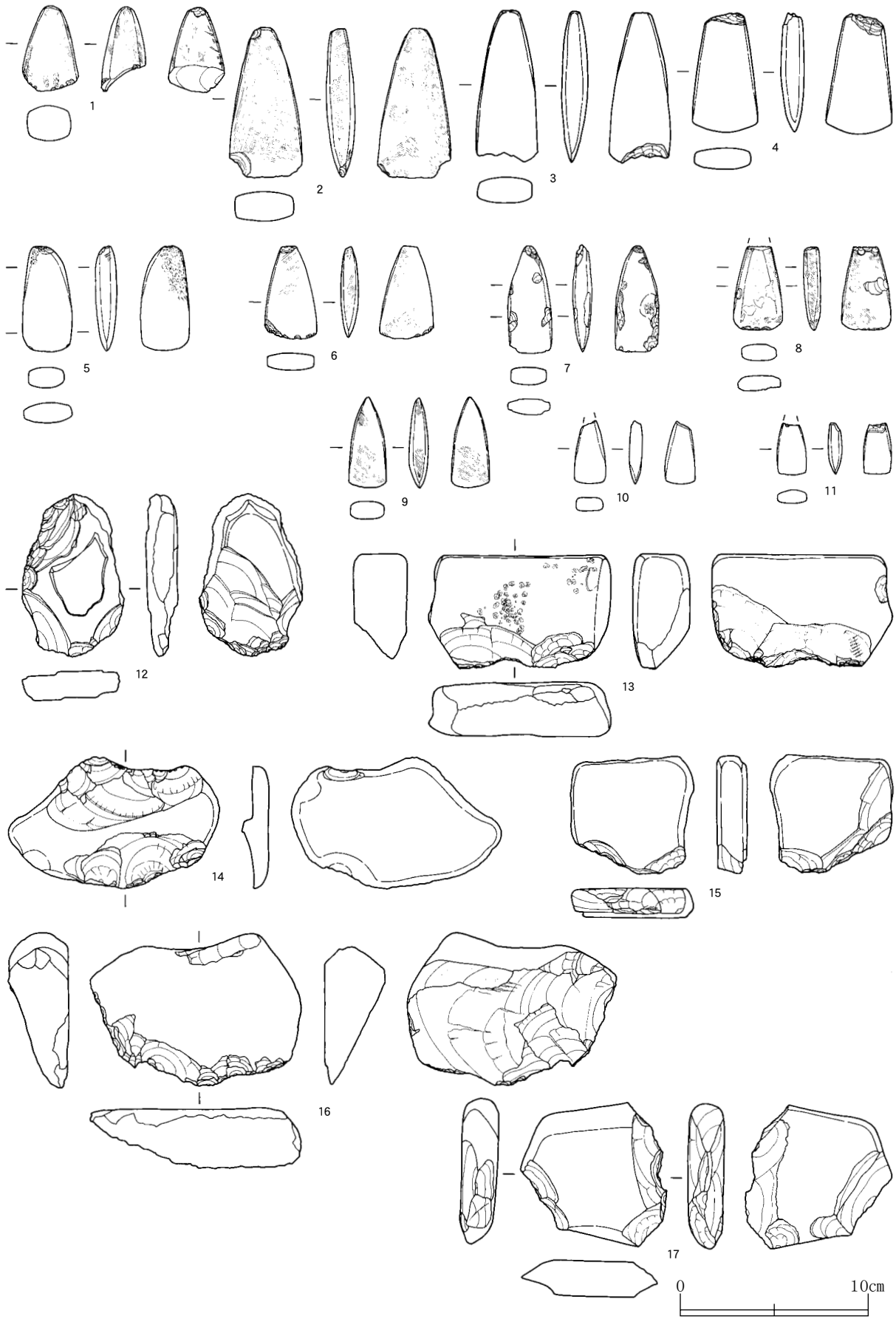


第189図　出土遺物（166）(SM60㊨)

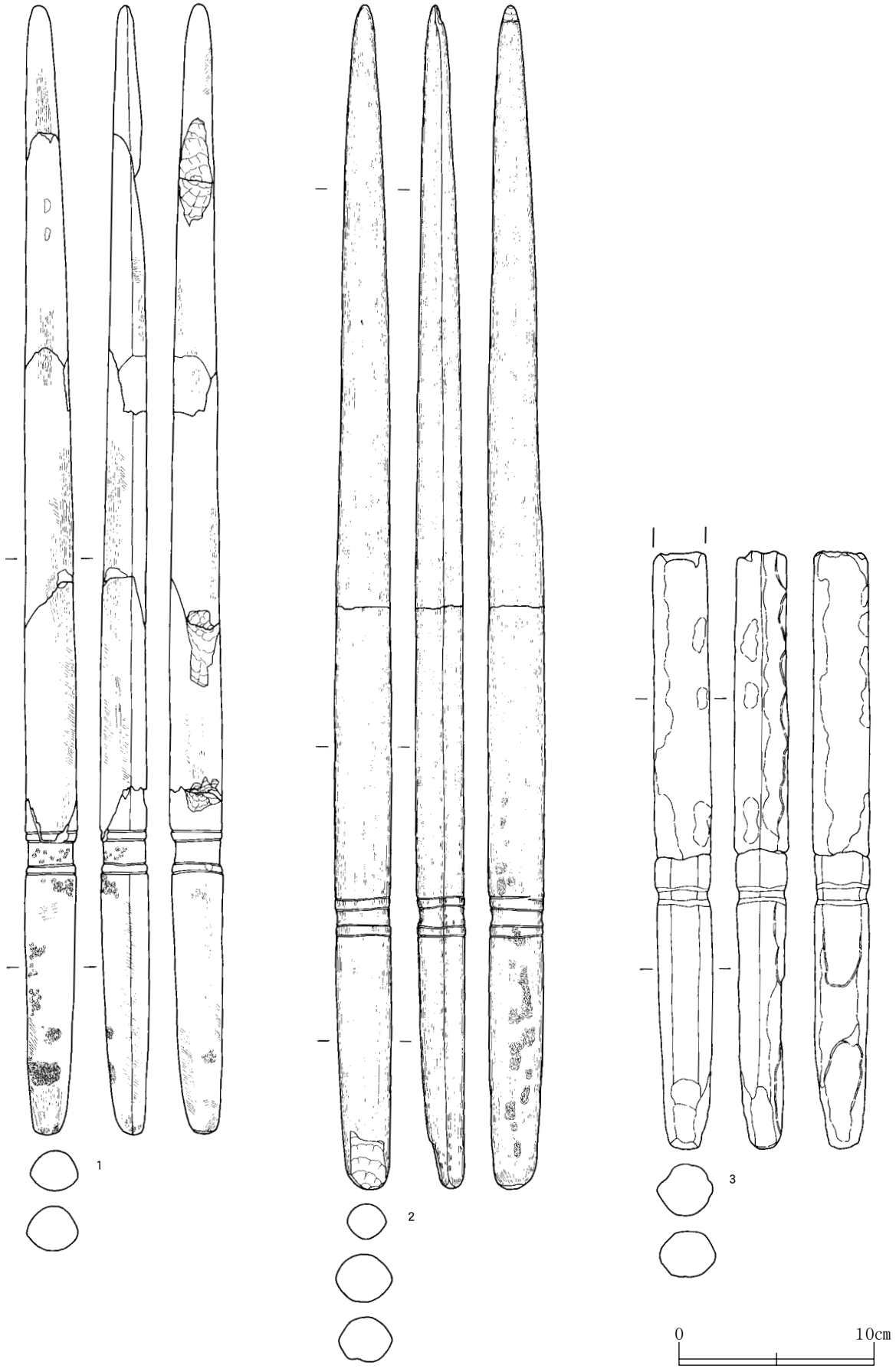


第190図　出土遺物（167）（SM60㉜）

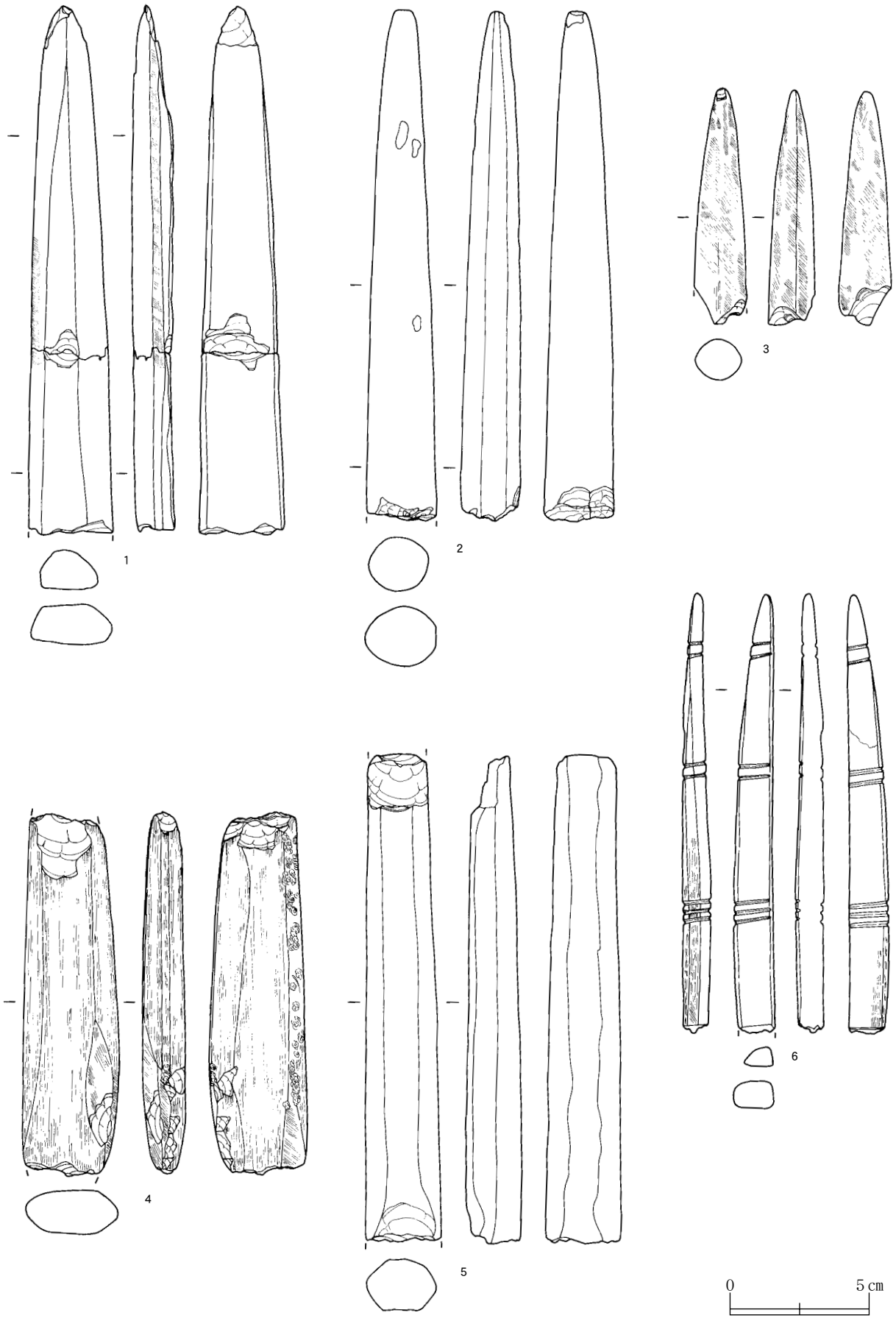
第191図　出土遺物（168）(SM60㊸)



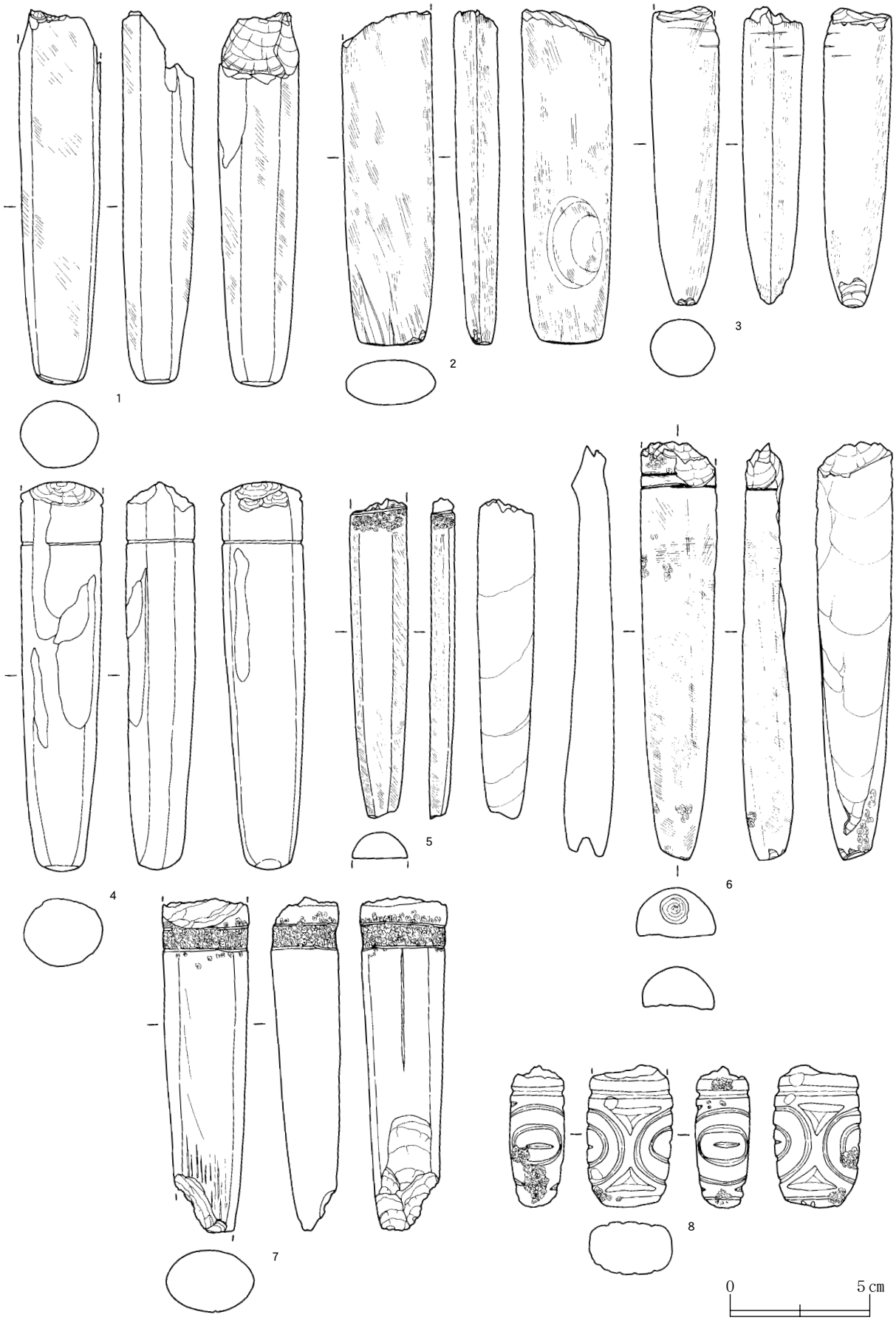
第192図　出土遺物（169）（SM60㉞）



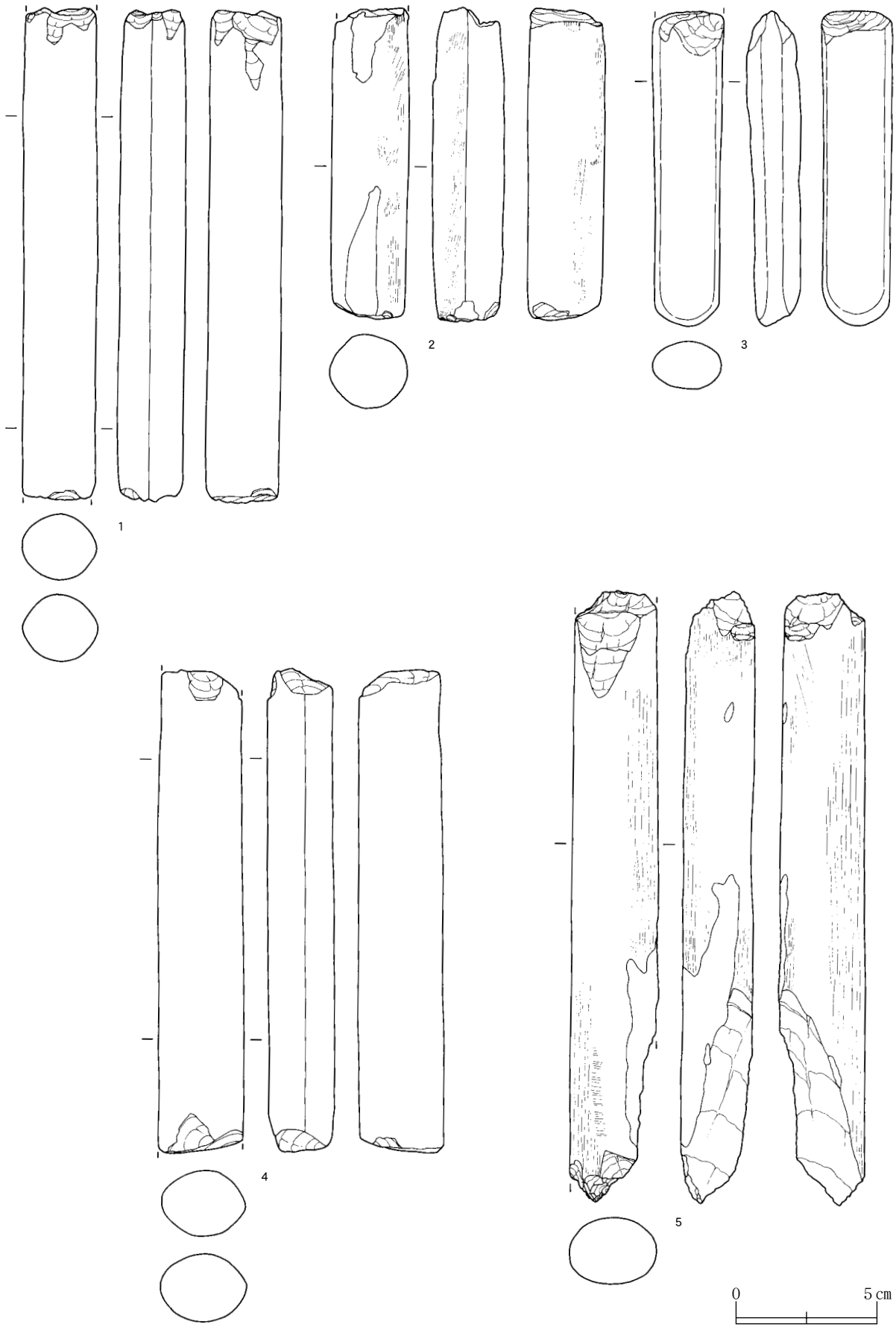
第193図　出土遺物（170）（SM60㉟）



第194図　出土遺物（171）（SM60⑯）

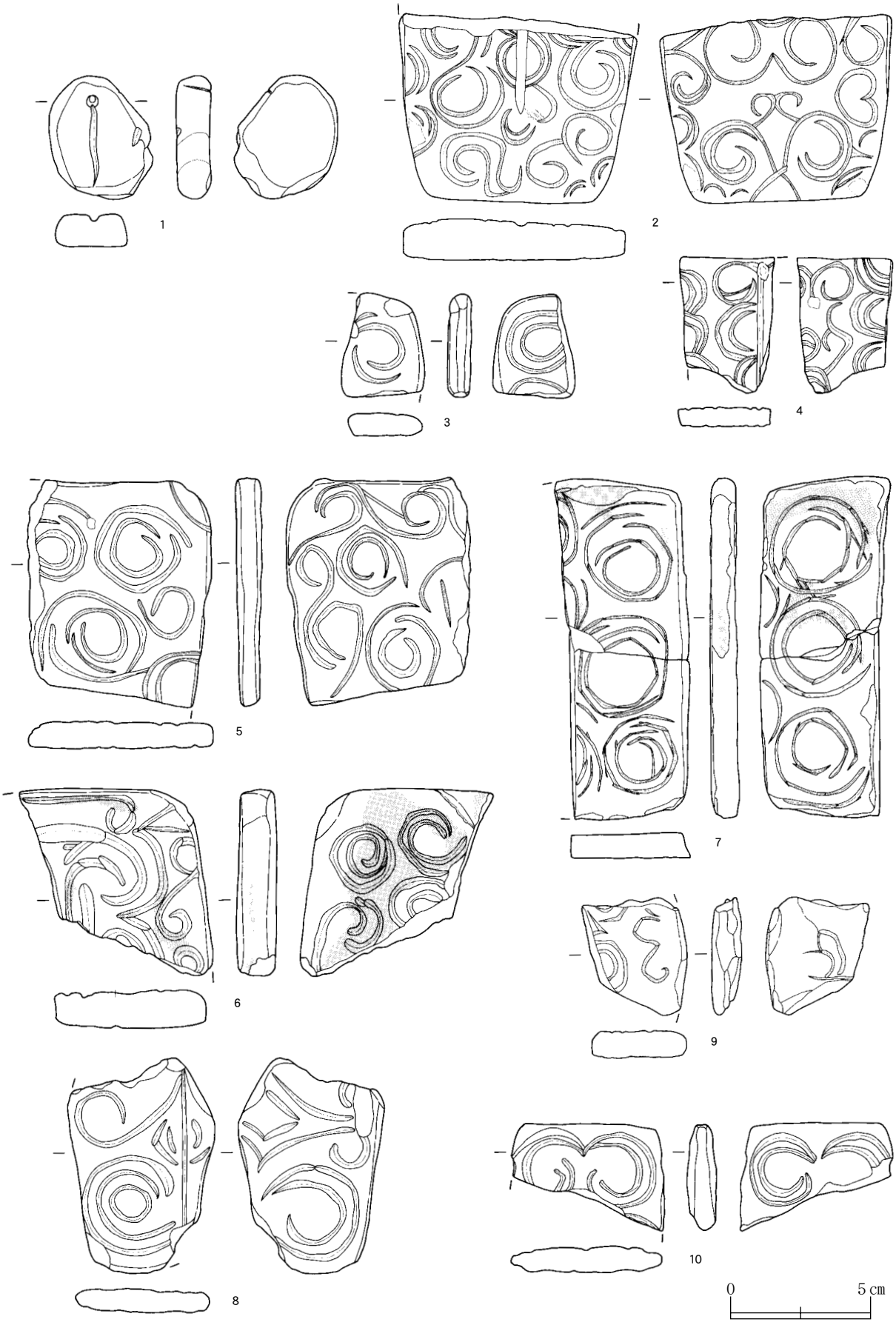


第195図　出土遺物（172）(SM60⑮⑦)

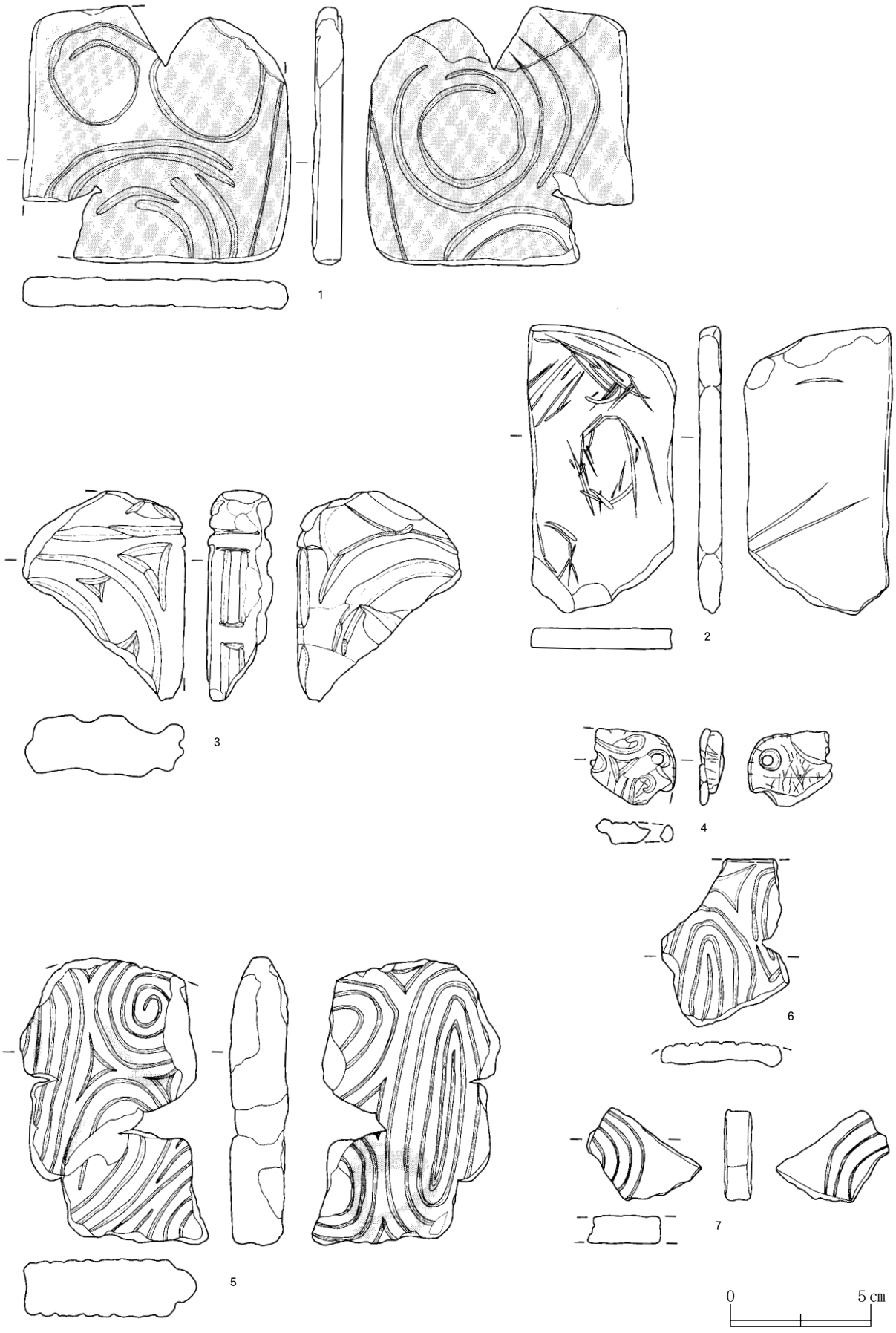


第196図　出土遺物（173）（SM60⑮⑧）

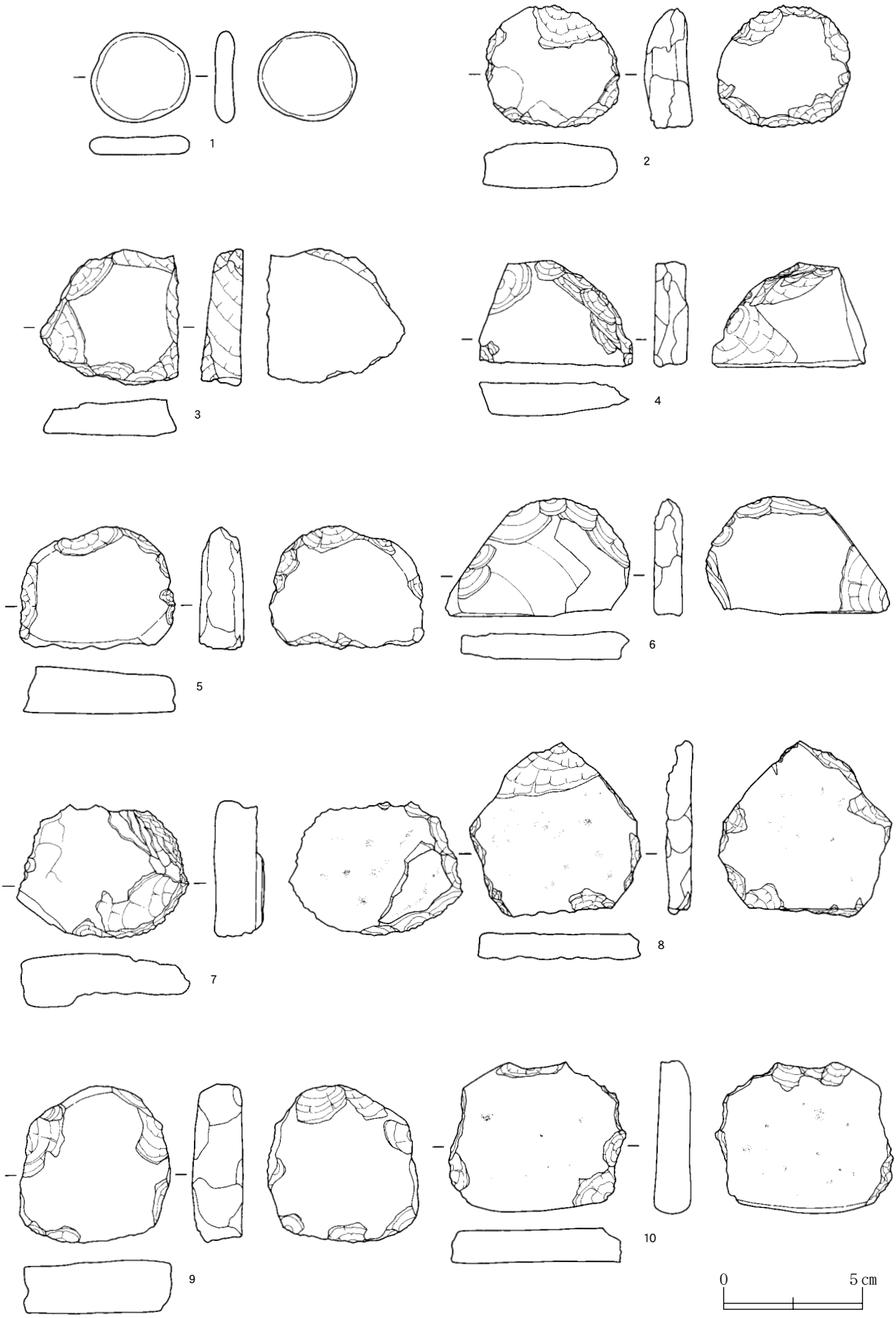
第197図　出土遺物（174）(SM60⑮⑨)



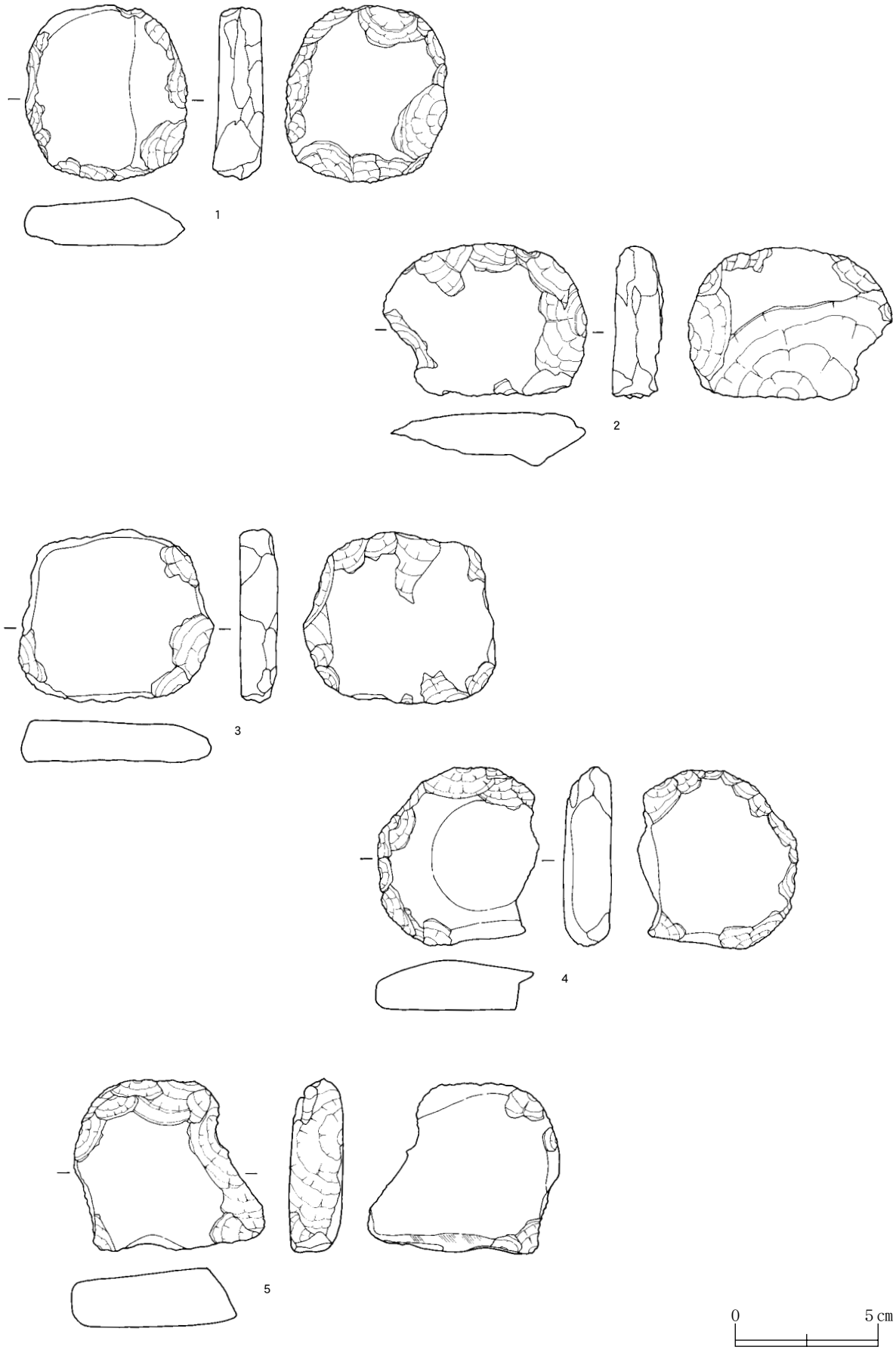
第198図　出土遺物（175）（SM60⑯⓪）



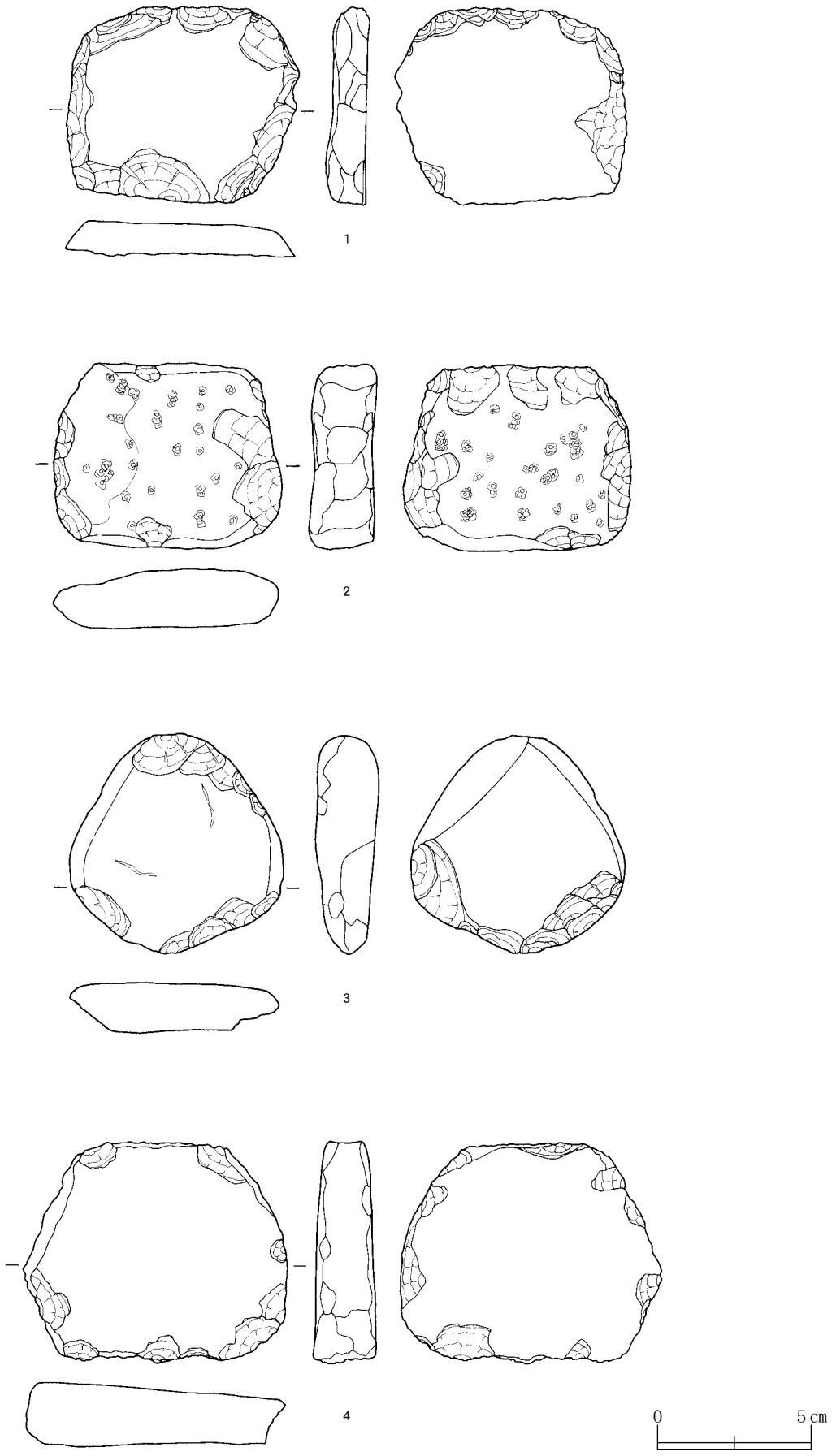
第199図　出土遺物（176）(SM60⑯)



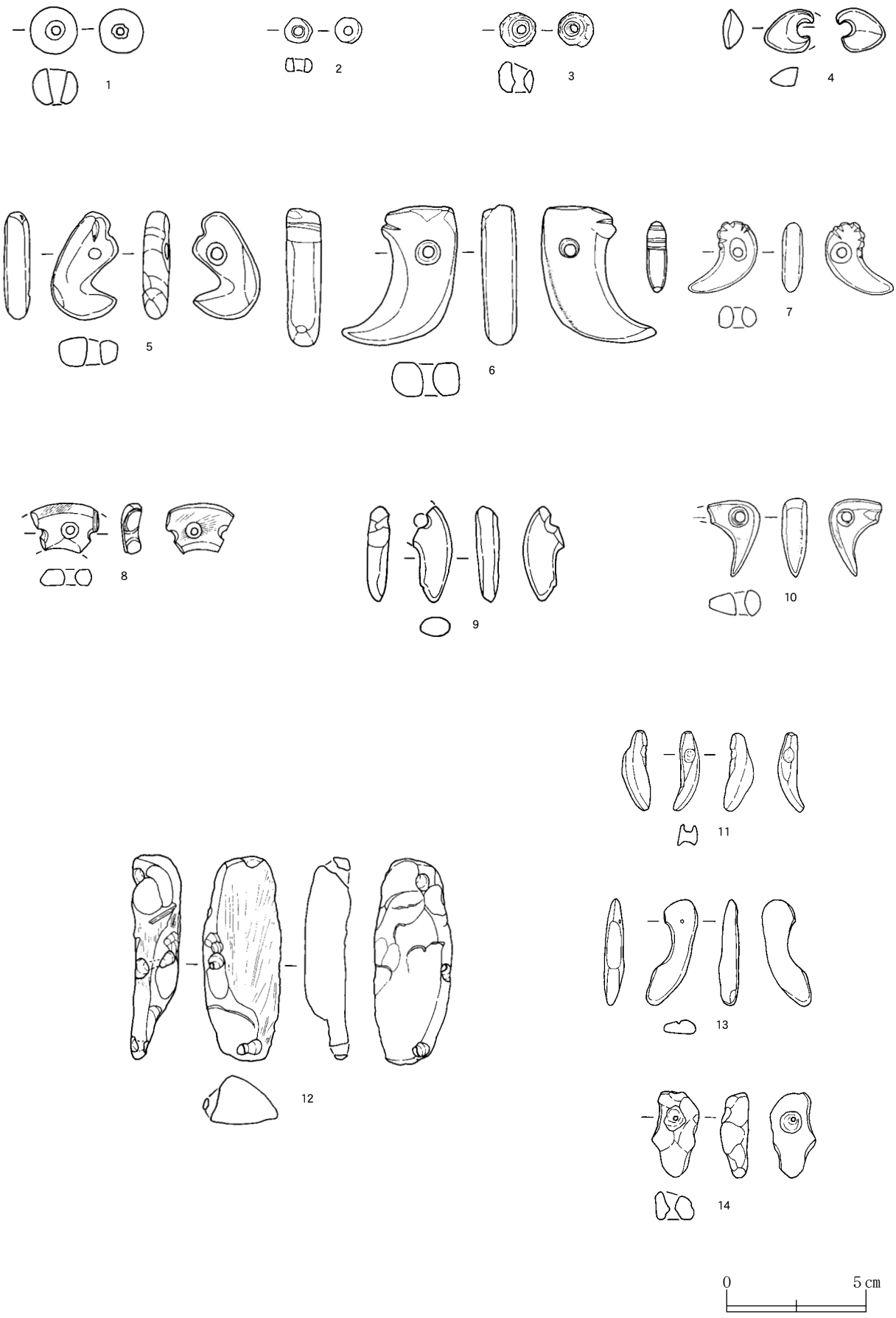
第200図　出土遺物（177）（SM60⑯）



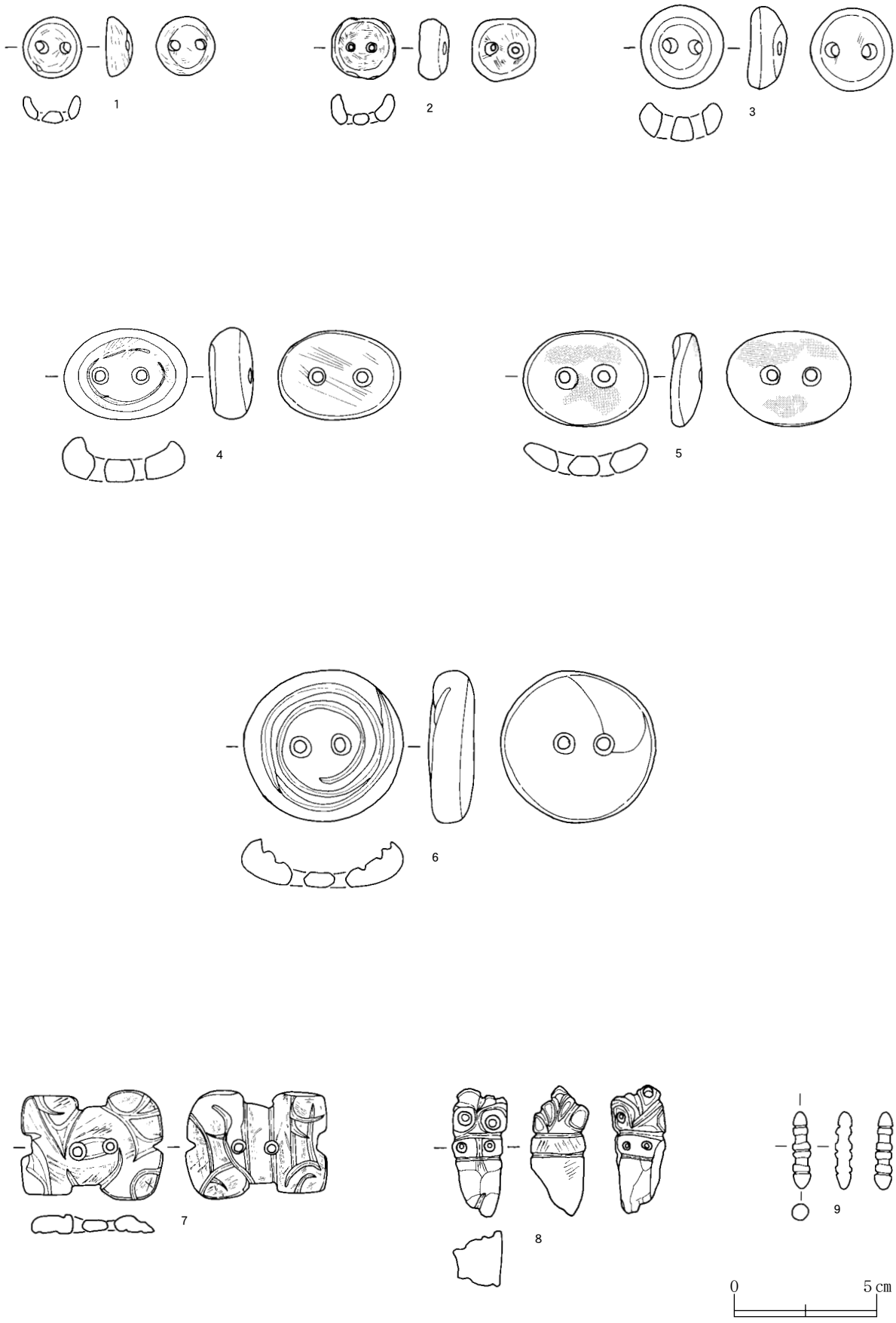
第201図　出土遺物（178）(SM60㉓)



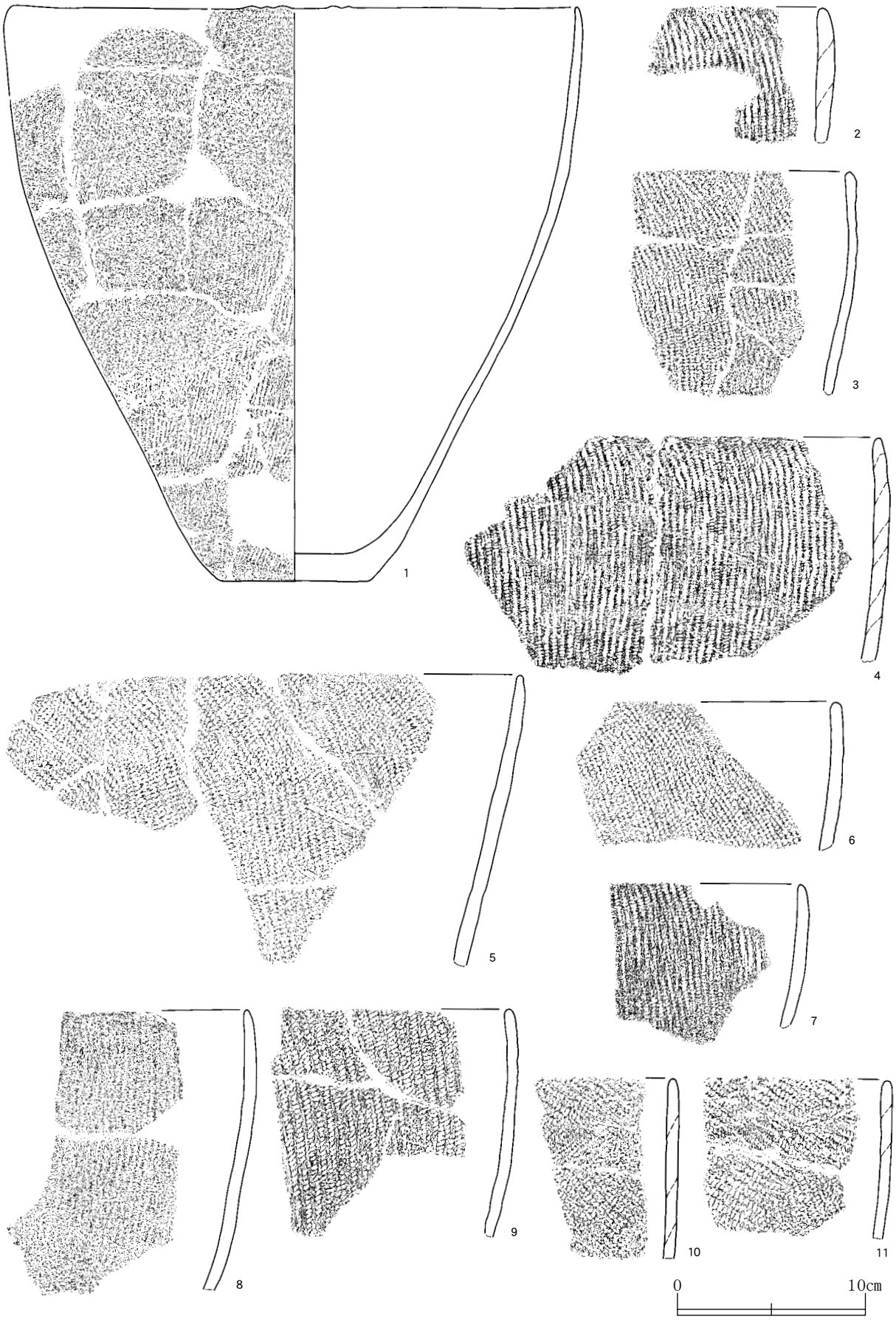
第202図　出土遺物（179）（SM60㉞）



第203図　出土遺物（180）(SM60㉟)

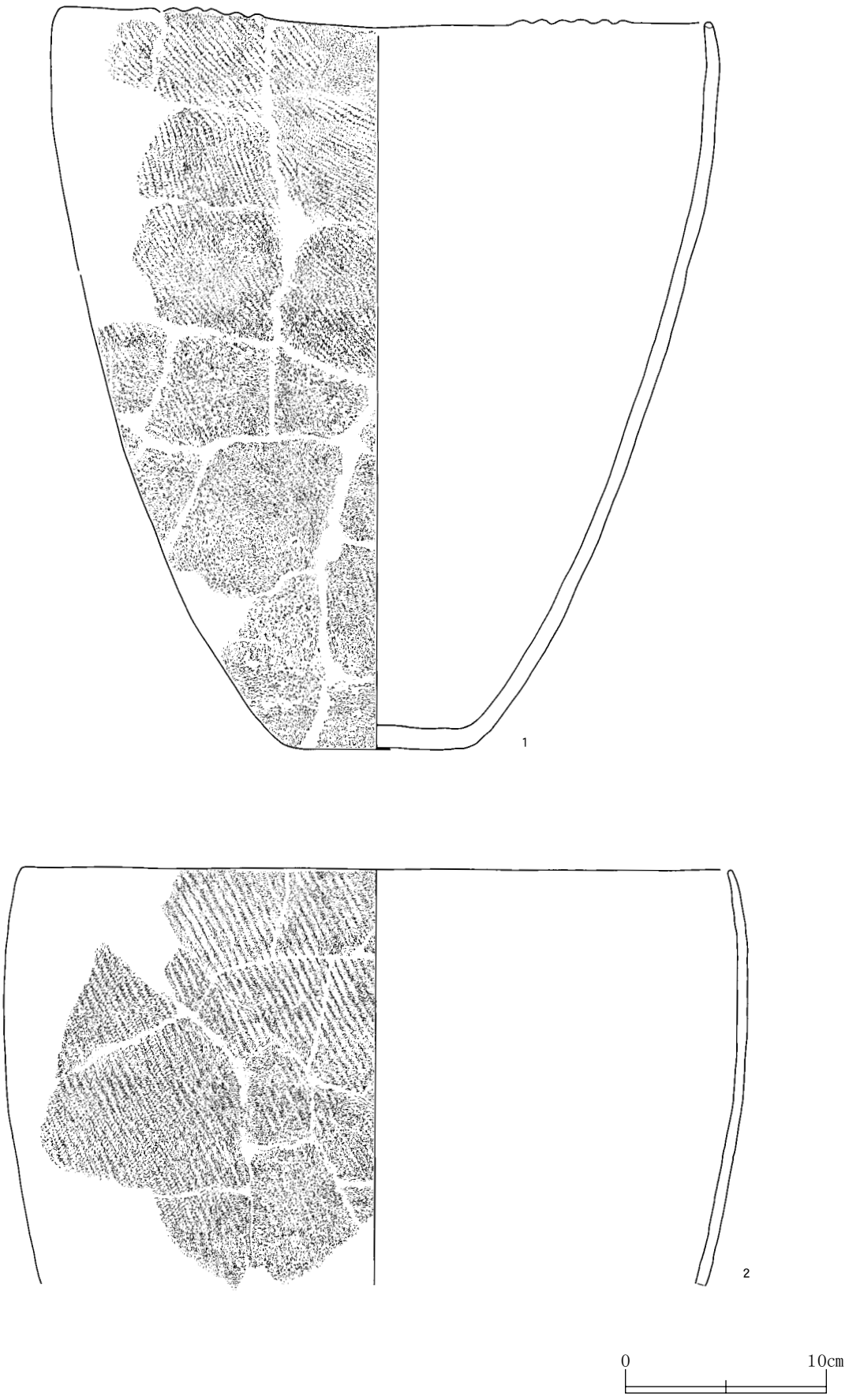


第204図　出土遺物（181）（SM60㊻）



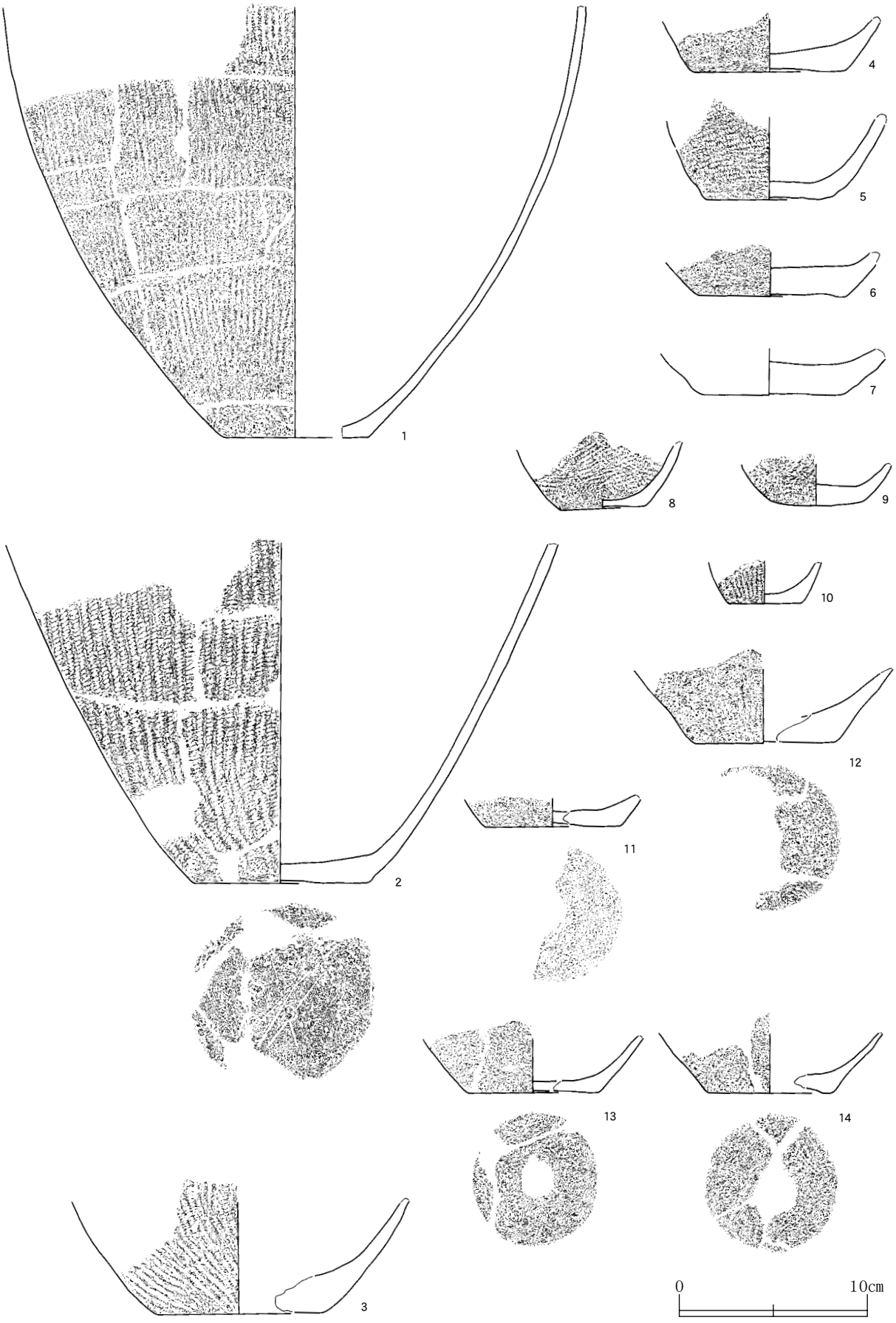
第205図　出土遺物（182）(ST70①)

第206図　出土遺物（183）（ST70②）



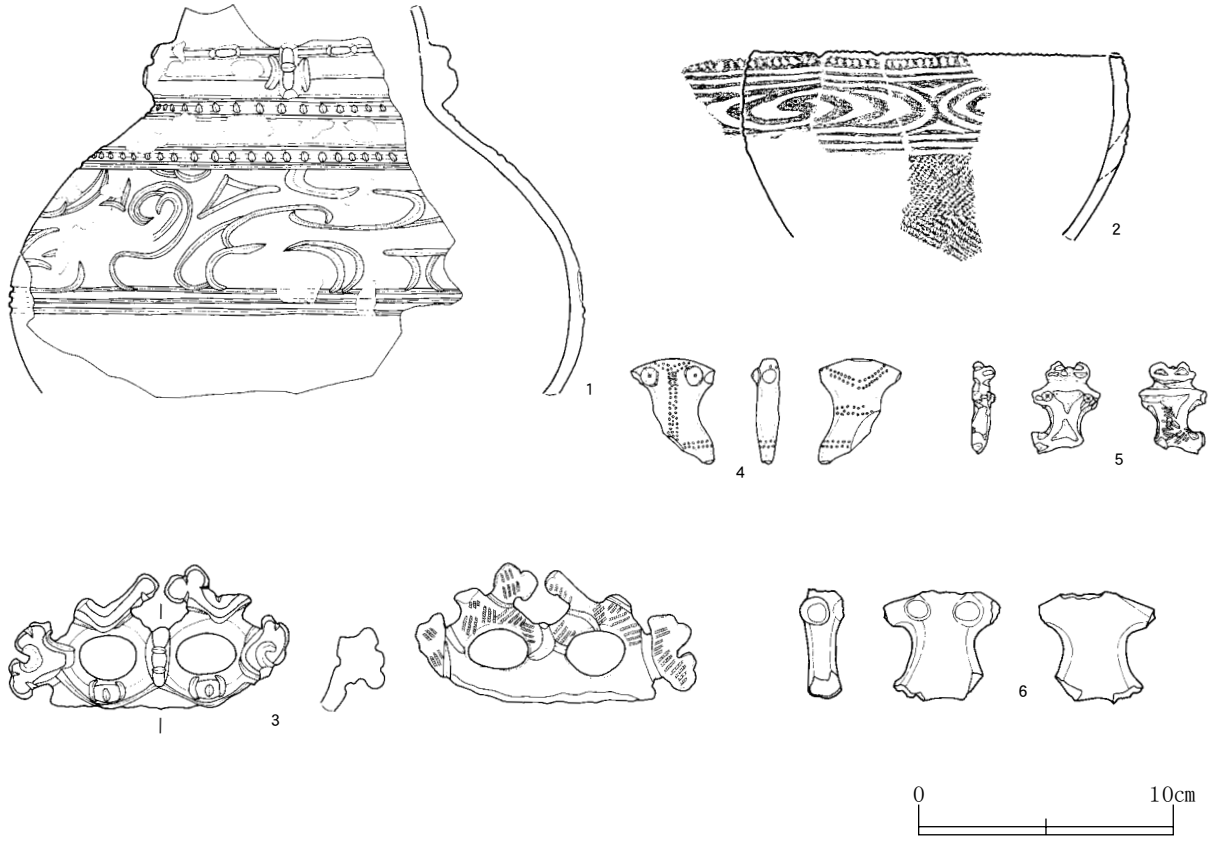
第207図　出土遺物（184）（ST70③）

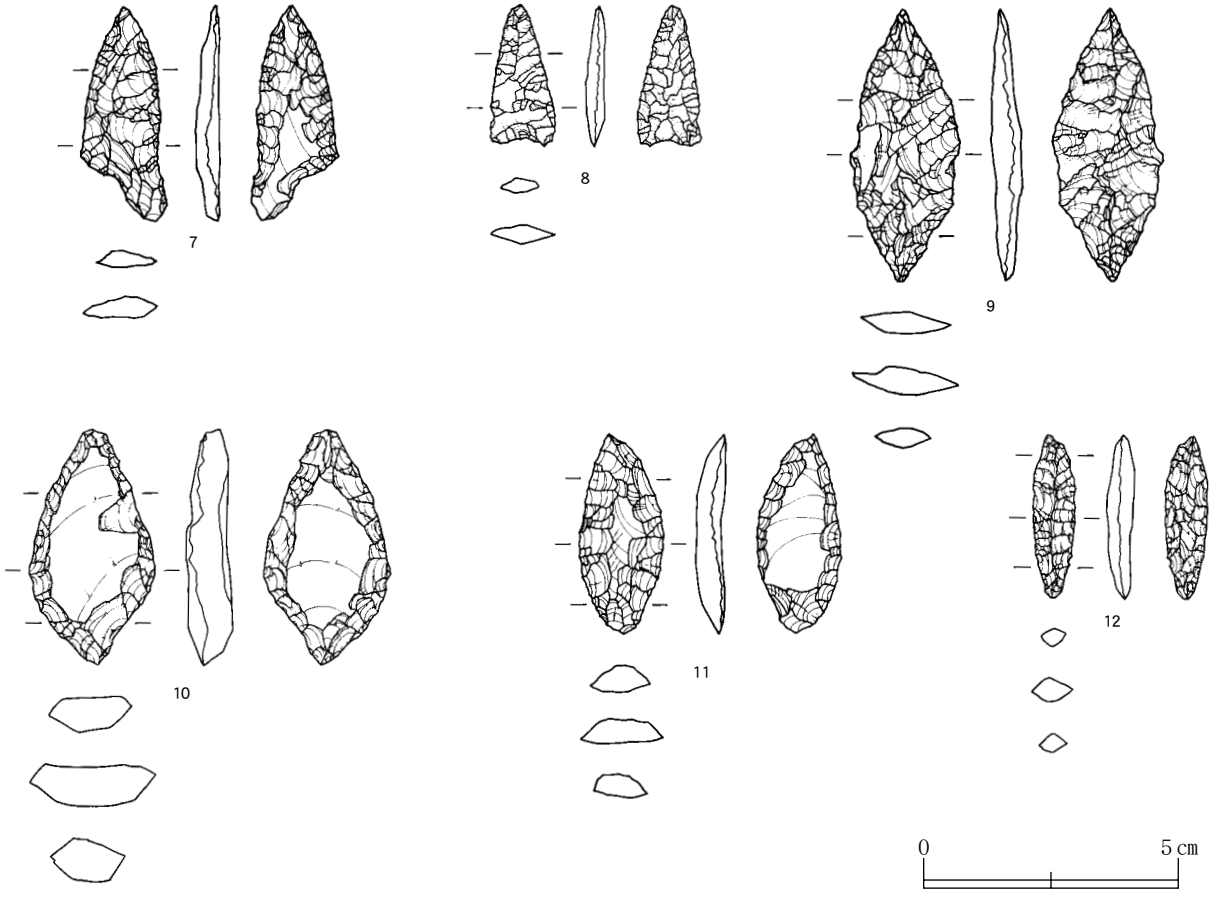
第208図　出土遺物（185）（ST70④）



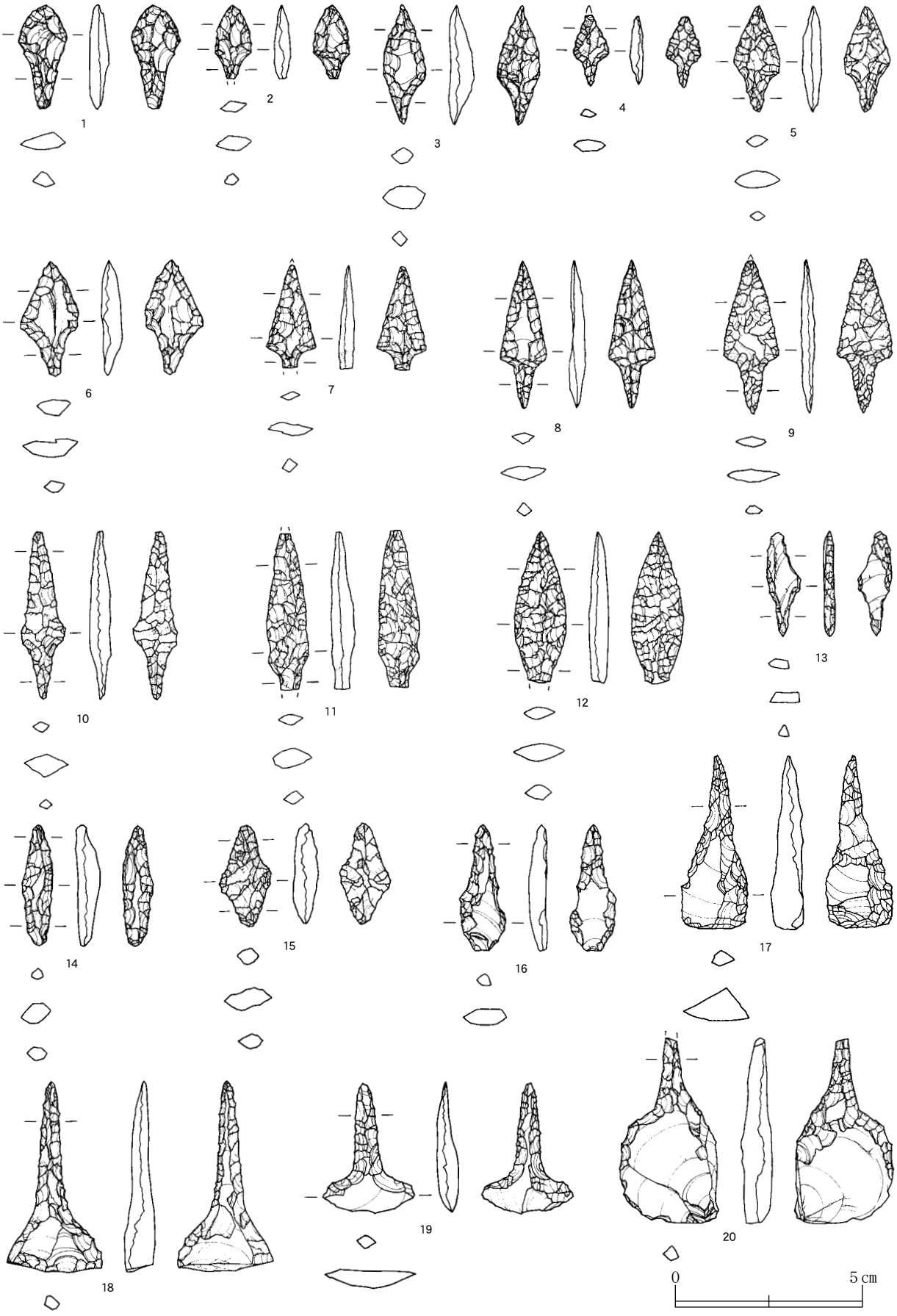
第209図　出土遺物（186）(ST70⑤)

第210図　出土遺物（187）（ST70⑥）

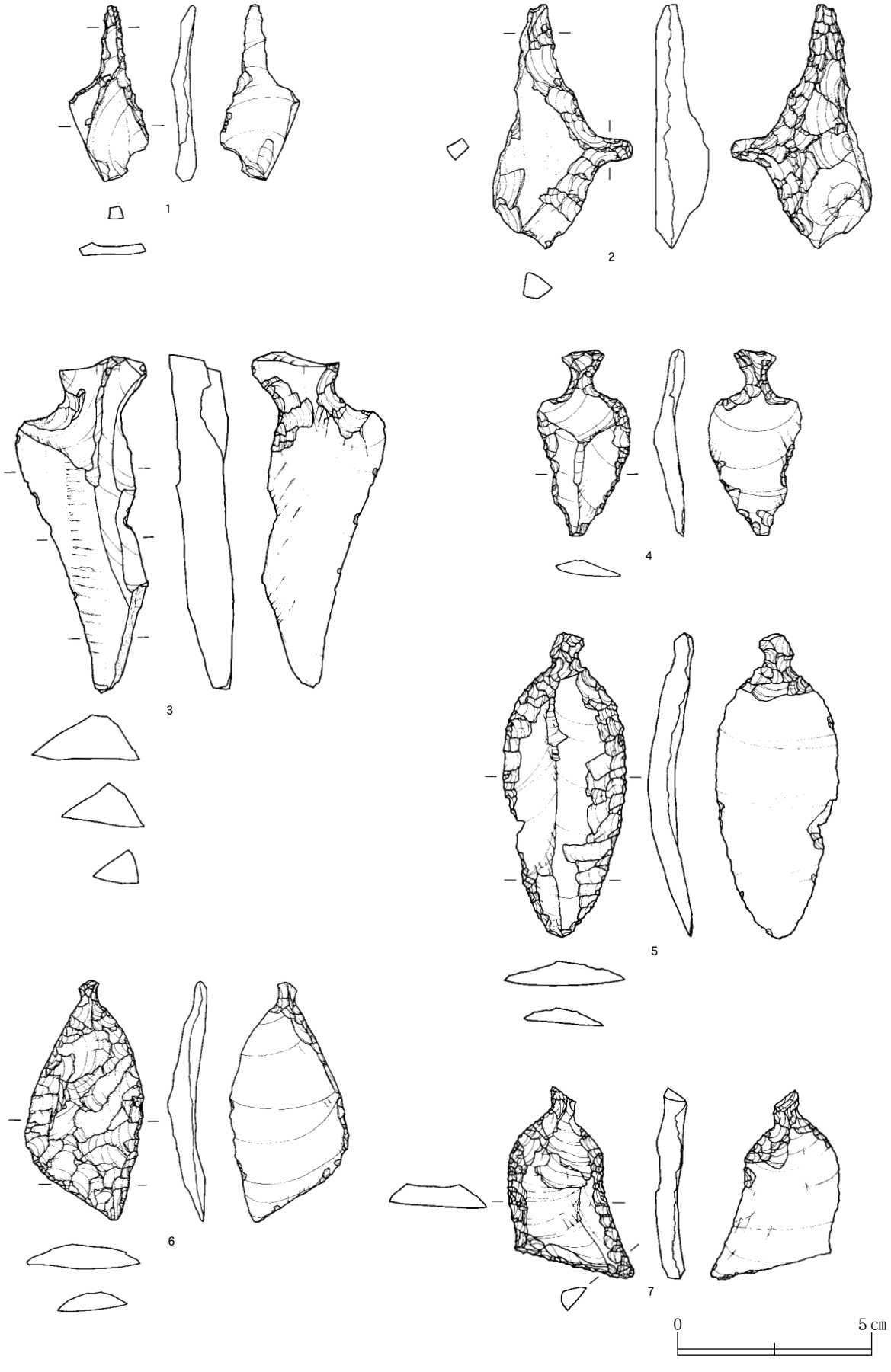




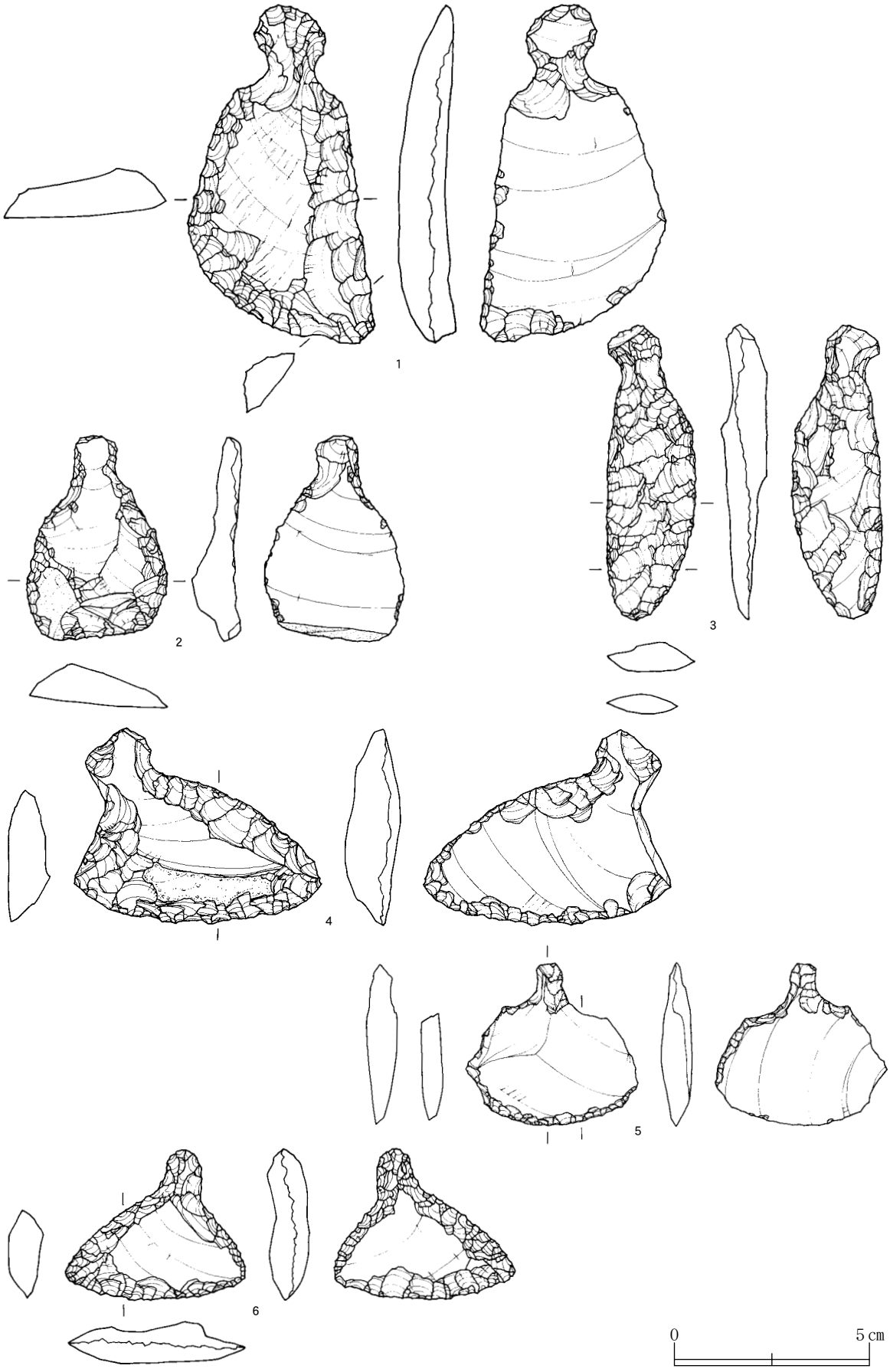
第211図　出土遺物（188）（遺構外①）



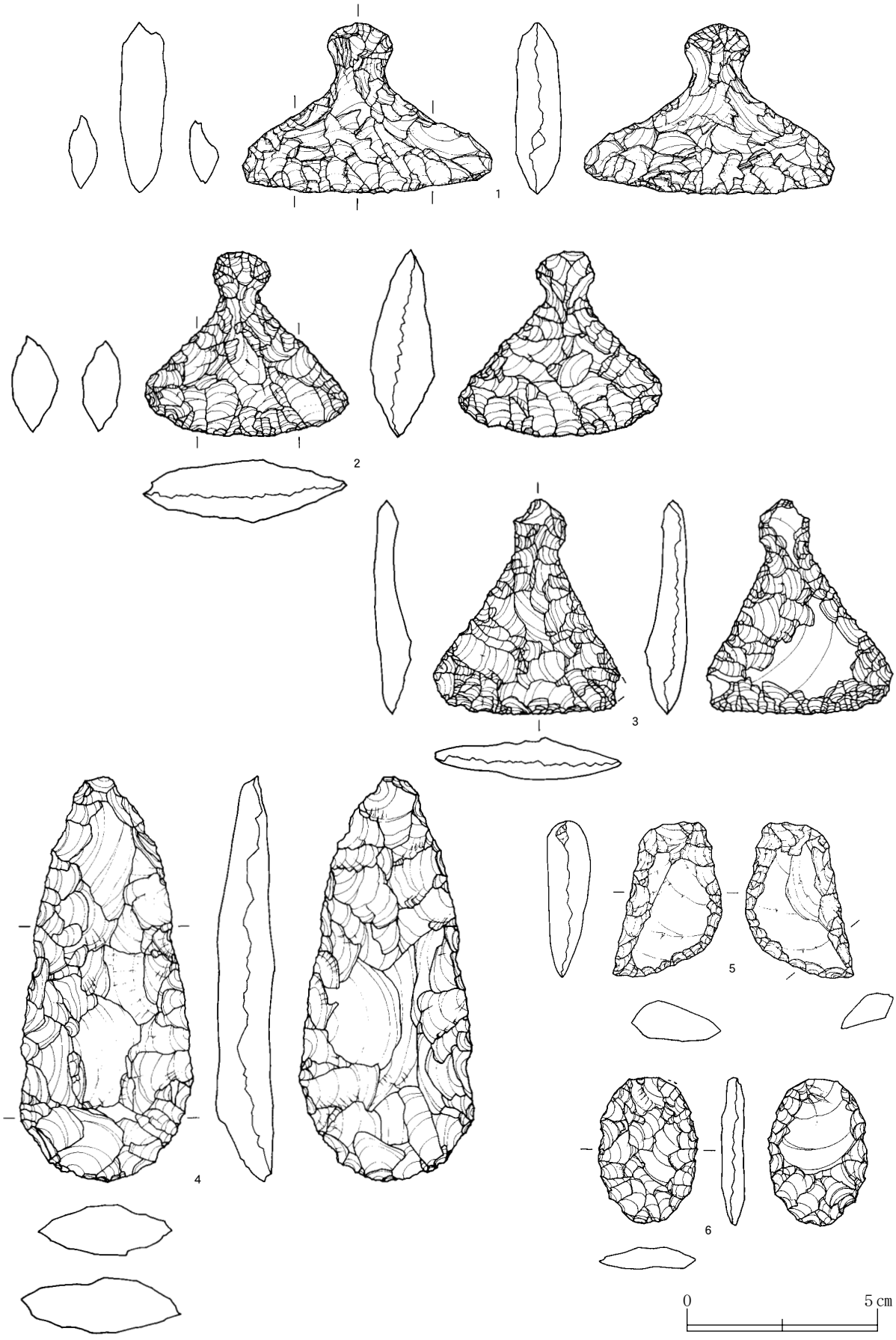
第212図　出土遺物（189）（遺構外②）



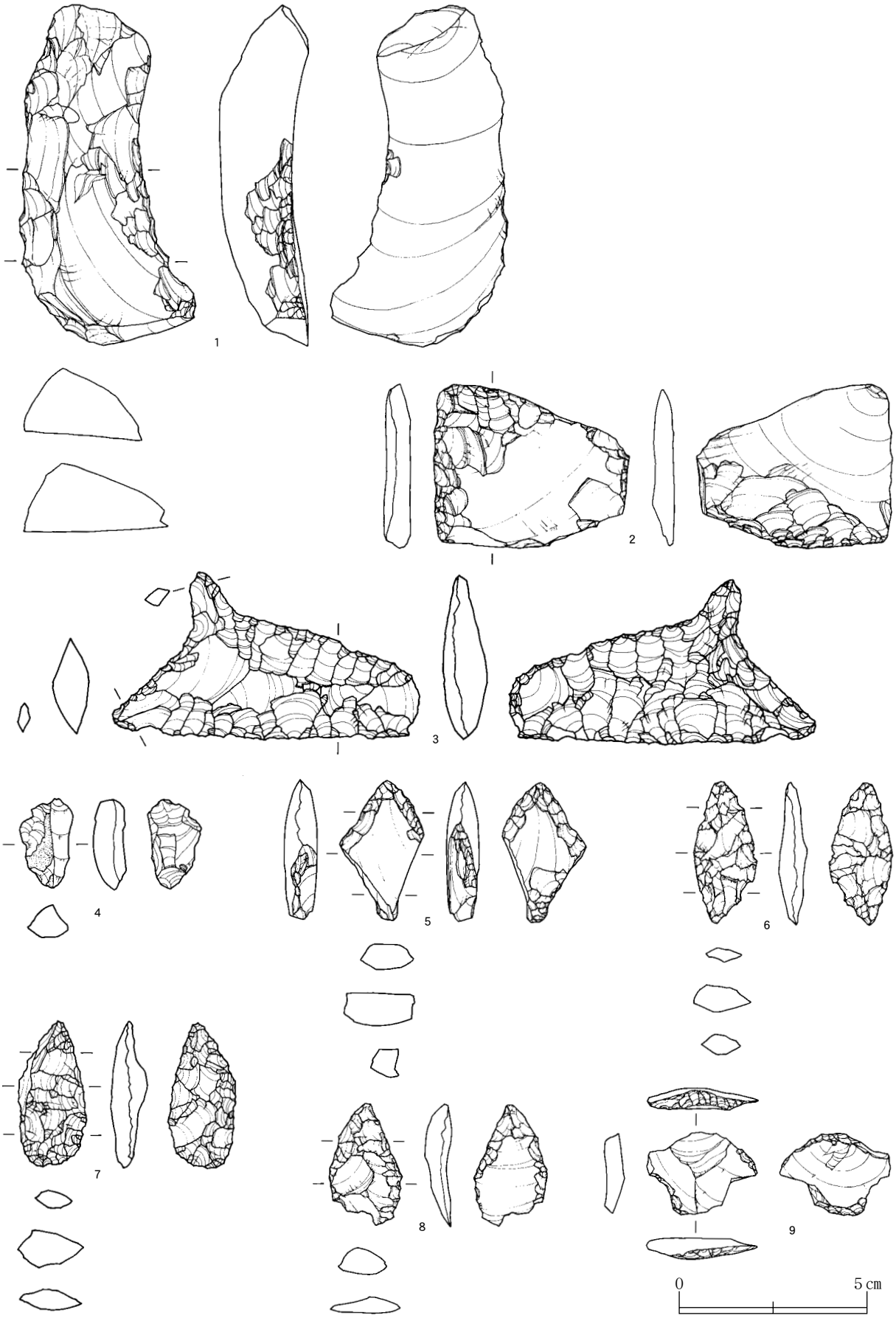
第213図　出土遺物（190）（遺構外③）



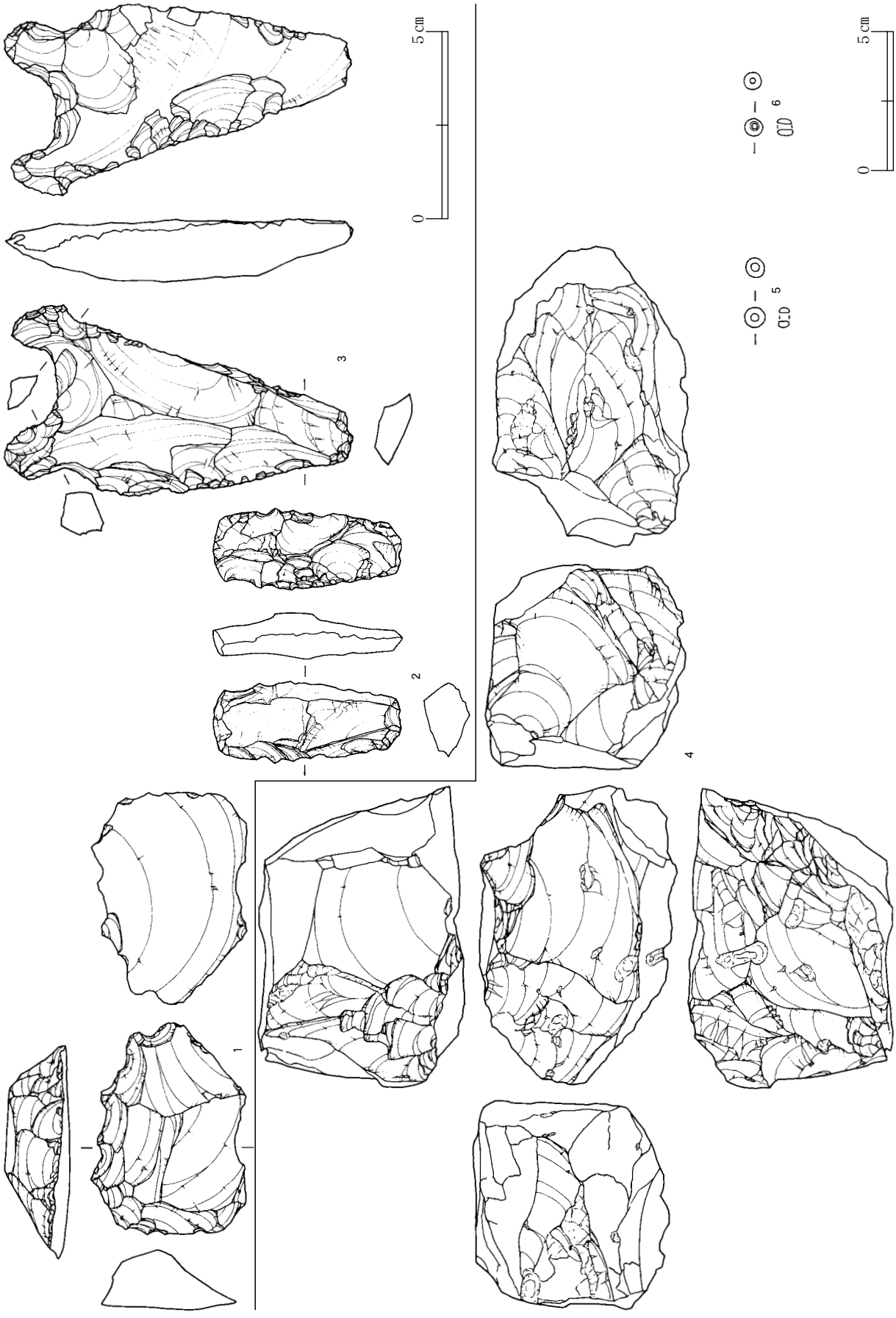
第214図　出土遺物（191）（遺構外④）



第215図　出土遺物（192）（遺構外⑤）

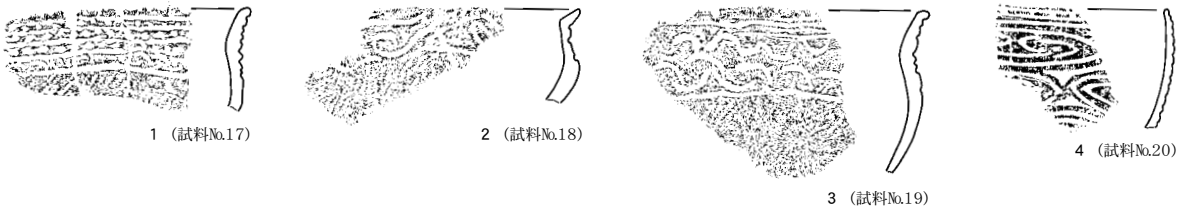


第216図　出土遺物（193）（遺構外⑥）

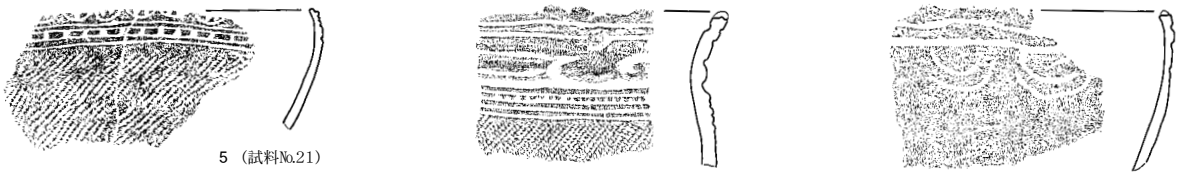


第217図　出土遺物（194）（遺構外⑦）

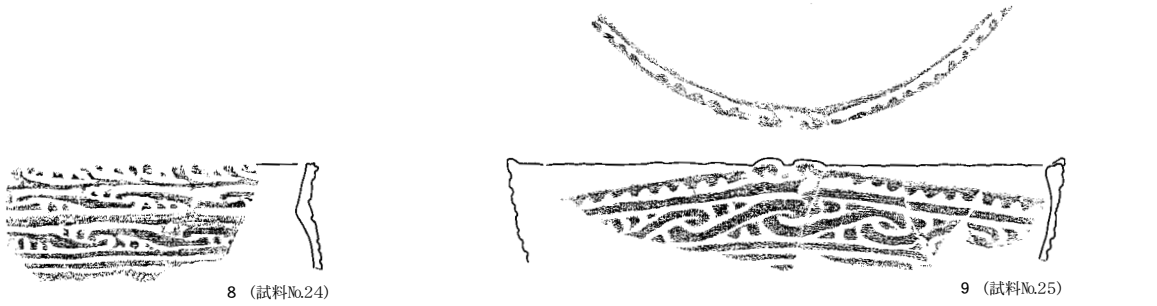
第218図　胎土分析試料（1）



1（試料No.17）　2（試料No.18）　3（試料No.19）　4（試料No.20）



5（試料No.21）　6（試料No.22）　7（試料No.23）



8（試料No.24）　9（試料No.25）

10（試料No.26）　11（試料No.27）　12（試料No.28）

13（試料No.29）　14（試料No.30）

0　10cm

第219図　胎土分析試料（2）

第12表　土器・土製品一覧(1)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
24-1	SI03		RP35		大木10式	深鉢形土器	体部	体部単軸絡条体第１類L縦位回転	体部ミガキ　被熱による剥落痕	外傾接合
24-2	SI12		RP3		縄文後期後半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部下位斜位～縦位ケズリ　底部ナデ　体部上位被熱剥落痕　体部下位炭化物付着	口縁部～底部ナデ　被熱による剥落痕	
25-1	SK19		RP1	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部ナデ	使用痕不明
25-2	SK19			1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文（0段多条）横位回転	体部ナデ	使用痕不明
25-3	SK23		RP30	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部RL縄文（0段多条）斜位回転　体部上位RL縄文（0段多条）縦走	口縁部～体部横位ヘラナデ	口唇部平坦　使用痕不明
25-4	SK23		RP47	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文（0段多条）斜位回転（条縄走傾向）	口縁部～体部横位ナデ	口唇部平坦　使用痕不明
25-5	SK23		RP32	1	縄文晩期	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文（0段多条）縦走	口縁部ナデ	口唇部尖る　使用痕不明
25-6	SK23		RP34	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部RL縄文（0段多条）横位回転　体部上位RL縄文（0段多条）縦走	口縁部～体部ナデ	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
25-7	SK23		RP53	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文（0段多条）斜位回転（条縦走傾向）	口縁部横位ケズリ後ナデ	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
25-8	SK23		RP62	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文（0段多条）斜位回転（条縦走傾向）	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部平坦　使用痕不明
25-9	SK23		RP48	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文（0段多条）斜位回転（条縦走傾向）	口縁部横位ナデ	口唇部平坦　使用痕不明
25-10	SK23		RP52	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文（0段多条）横位回転	口縁部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
25-11	SK23		RP51	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文（0段多条）斜位回転（条縦走傾向）	口縁部～体部ミガキ	口唇部平坦　使用痕不明
25-12	SK23		RP58	1	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文縦走　炭化物付着	口縁部～体部横位ナデ	口唇部内傾
25-13	SK23		RP61	1	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位平行沈線　体部RL縄文縦走	口縁部～体部横位ケズリ後ナデ	内傾接合　使用痕不明
25-14	SK23		RP38	1	大洞C1式？	深鉢形土器	体部	体部RL縄文縦走	体部ナデ	使用痕不明
25-15	SK23		RP31	1	大洞C1式？	深鉢形土器	体部	体部RL縄文（0段多条）縦走	体部ナデ	使用痕不明
25-16	SK23		RP39	1	大洞C1式？	深鉢形土器	体部	体部RL縄文（0段多条）縦走　炭化物付着	体部ミガキ　炭化物付着	
25-17	SK23		RP22	1	大洞C1式？	深鉢形土器	体部	体部RL縄文縦走	体部ミガキ	使用痕不明
25-18	SK23		RP36	1	大洞C1式？	深鉢形土器	体部	体部RL縄文（0段多条）縦走	体部ナデ	使用痕不明
25-19	SK23		RP31	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部RL縄文横位回転	体部ナデ　炭化物付着	
25-20	SK23		RP23	1	縄文晩期前葉	浅鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転　横位沈線２条赤彩か	体部ナデ	使用痕不明
25-21	SK23		RP46	1	縄文晩期	深鉢形土器	底部	体部下位RL縄文横位回転	底部摩滅	使用痕不明
25-22	SK23		RP43	1	縄文晩期	深鉢形土器	底部	体部下位RL縄文（0段多条）横位回転　底部ナデ	胴部下位横位ケズリ　底部ナデ	底部立ち上がり外傾　使用痕不明
25-23	SK23		RP11	1	縄文晩期	台部	台部	台部下端肥厚　縄文施文か	台部ミガキ	
26-1	SK25	NP37		①	大洞B1式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上半入組状沈線　口縁部下半横位沈線下LR縄文横位回転　入組状沈線　ミガキ	口縁部ナデ	口唇部刻み目１個残る　口唇部山形突起剥落か　使用痕不明
26-2	SK25		RP10	7～9	縄文晩期	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転　体部LR縄文横走	口縁部～体部ナデ	外傾接合　口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
26-3	SK25		RP120	7～9	縄文晩期	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位～斜位回転	口縁部ナデ	外傾接合　口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
26-4	SK25		RP132・133・134	①	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　炭化物付着	口縁部～体部ミガキ	口唇部平坦
26-5	SK25		RP141 ？		縄文晩期	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転　体部LR縄文斜位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　体部炭化物付着	口唇部平坦
26-6	SK25			①	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転	口縁部ナデ	口唇部僅かに平坦　使用痕不明
26-7	SK25			①	縄文晩期	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転　炭化物付着	口縁部ミガキ	口唇部平坦
26-8	SK25			①	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部斜位～縦位条痕（板状工具小口調整痕か）　炭化物付着	口縁部横位ナデ	口唇部平坦
26-9	SK25			①	大洞B2式？	深鉢形土器	口縁部～体部上半	口縁部横位沈線間刺突列２段　体部上位横位沈線間刺突列２段　体部中位LL縄文横位回転　炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部中央刻み目ある山形突起　外面刻み目から山形沈線刻み目直下縦位刺突
26-10	SK25	NP37		7～9	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端口唇部刻み目と連結する横位沈線　口縁部横位沈線間刻み目列　口縁部下端横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
26-11	SK25		RP24	7～9	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部刻み目文　体部LR縄文横位回転後四角文・弧状文　炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
26-12	SK25	NP38		10	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端下閉じ弧状沈線　口縁部三叉文　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部平坦　浅い押圧状刻み目　使用痕不明
26-13	SK25	NP37		①	縄文晩期前葉	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整横位沈線４～５条　体部R縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ケズリ	口唇部刻み目
26-14	SK25		RP121	7～9	縄文晩期前葉	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転　体部LR縄文斜位回転　体部中位炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
27-1	SK25		RP69・98・100・114・125・126・127・129	① クロ３ クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部ナデ　口縁部上端下閉じ連弧状沈線・満巻文　口縁部両端閉じる入組帯状文２段　LR縄文充填　肩部横位沈線３条　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位回転　台部上半横位ヘラナデ　体部炭化物付着	口縁部～底部横位ヘラナデ	口唇部３頭に分かれる突起　突起間押圧状刻み目
27-2	SK25		RP135	①	縄文晩期前葉	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～頸部横位ヘラナデ　体部横位ナデ　台部ナデ　体部下位炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目
27-3	SK25	NP37		①	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　体部LR縄文施文後末端満巻く四角形文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起　口唇部刻み目列
27-4	SK25			①	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部刻み目加えた入組文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ミガキ	口唇部丸み
27-5	SK25			①	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	小波状口縁
27-6	SK25			①	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～体部横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部平坦
28-1	SK25		RP51・54・62	7～9	縄文晩期前半	壺形土器	体部	体部上位縦位ケズリ後LR縄文横位回転　体部中位～下位LR縄文（複数原体か）横位回転　体部上半炭化物付着	体部ヘラナデ　炭化物付着痕跡なし	
28-2	SK25		RP124	①	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ　炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目　口縁部外反
28-3	SK25			①	大洞BC式	注口土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線間連弧状沈線　口縁部中位右傾羊歯状文　口縁部下位入組三叉文　口縁部下端連弧状沈線　肩部右傾羊歯状文　注口部下位弧状沈線　口縁部～体部ヘラミガキ	口縁部～体部ナデ	口唇部表面に横位Ｃ字状隆線によるＢ突起列

第13表　土器・土製品一覧(2)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
28-4	SK25		RP119	10	縄文晩期前葉	深鉢形土器	体部～底部	体部L縄文横位～斜位回転　体部下端～底部ナデ	体部上半斜位ヘラナデ　体部下半～底部ナデ	使用痕不明
28-5	SK25			7～9	縄文晩期前葉	鉢形土器	底部	底部ナデ	底部外周粘土紐剥落痕	
28-6	SK25		RP118	①	縄文晩期前葉	深鉢形土器	体部～底部	体部LR縄文斜位回転　底部ナデ	体部～底部ナデ	底部立ち上がり僅かに内湾　使用痕不明
28-7	SK25		RP115	7～9	縄文晩期前葉	深鉢形土器	底部	体部下半ナデ	底部ナデ	使用痕不明
28-8	SK25		RP59	①	縄文晩期前葉	深鉢形土器	底部	体部下位LR縄文横位～斜位回転　炭化物付着	底部ナデ　炭化物付着	底部立ち上がり僅かに外反
28-9	SK25			①	縄文晩期前葉	深鉢形土器	体部下半～底部	体部下半LR縄文横位回転　体部下半炭化物付着	体部～底部ナデ　体部中位炭化物付着	
28-10	SK25		RP128	①	大洞BC式？	鉢形土器	台部	台部上位ナデ　台部下位LR縄文縦位回転後横位沈線１条	台部ナデ	台部上半膨らむ
28-11	SK25		RP131	①	縄文晩期前葉	鉢形土器	台部	台部縦位ケズリ後ナデ	台部ナデ	
28-12	SK25	NP37		①	縄文晩期前葉	鉢形土器	台部	台部上半ナデ　台部下半横位ヘラミガキ	台部ナデ	
32-1	SK26		RP35・39・45・46	1	蛍沢式	壺形土器	口縁部～体部上半・底部	口縁部正面縦位橋状把手　頸部窓枠状隆線　体部上半縦位隆線４か所２箇所の隆線上下端に穿孔ある突起付く　隆線間縦位波状沈線　赤彩	口縁部～底部ナデ	頚部・体部境界で焼成前切断　切断面は鋸歯状
32-2	SK26		RP15	1	縄文後期前半	深鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部L縄文横位回転　体部上位L縄文斜位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目ある突起　使用痕不明
32-3	SK26		RP9	1	縄文後期前半	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位ヘラナデ　口縁部肩部境界横位細沈線１条　体部RL縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラナデ	
32-4	SK26		RP7～9・13・16・49	1	縄文後期前半	深鉢形土器	体部	体部L斜位回転	体部横位ヘラナデ	使用痕不明
32-5	SK26		RP5・6・10～12・16・17・21・26	1	縄文晩期前半	深鉢形土器	体部～底部	体部LR縄文横位～斜位回転　体部下端横位ナデ	体部～底部ナデ	使用痕不明
33-1	SK43N?		RP1・2・16		円筒下層式	深鉢形土器	体部	体部短軸絡条体第１類r縦位回転	体部ナデ	繊維含む　使用痕不明
33-2	SK43N			1	縄文中期後葉	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文縦位回転	口縁部～底部ナデ	口縁部僅かに内傾　口唇部丸み　使用痕不明
33-3	SK61		RP6・20	1	縄文晩期前葉	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ後横位Ｓ字(浅い)沈線文　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　体部上位炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	
33-4	SK61		RP19・21	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横走	体部縦位ヘラナデ	使用痕不明
33-5	SK61		RP5	1	縄文	深鉢形土器	体部	体部縦位ヘラナデ	体部ナデ	使用痕不明
33-6	SK61		RP30・31・41・42	1	縄文晩期前葉	深鉢形土器	体部下半～底部	体部中位L斜位回転　体部下位～底部ナデ	口縁部～底部斜位ヘラナデ	底部僅かに上げ底　使用痕不明
33-7	SK61		RP4・35・36	1	縄文晩期前半	深鉢形土器	体部下半～底部	体部不整ヘラナデ後一部LR縄文斜位回転	体部斜位ヘラナデ　底部ナデ	使用痕不明
33-8	SK61		RP12・14・15・17・18・22	1	縄文晩期前葉	深鉢形土器	体部下半～底部	体部下半RL縄文縦走	体部～底部ナデ	底部立ち上がり張り出す　使用痕不明
33-9	SK61			1	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～肩部	口縁部刻み目文　肩部入組羊歯状文　口縁部～肩部ミガキ	口縁部～肩部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目　Ｂ突起付くか　使用痕不明
33-10	SK61			1	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～肩部	口縁部刻み目文　肩部左傾入組羊歯状文　口縁部～肩部ミガキ	口縁部～肩部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目　Ｂ突起付くか　使用痕不明
33-11	SK61		RP9	1	大洞BC式	壺形土器	肩部	肩部横位沈線２条　弧線内刻み目ヘラミガキ	肩部ミガキ	
33-12	SK61		RP37	1	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部下位横位沈線間横位短沈線充填　口縁部～体部横位ヘラミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み　Ｂ突起２個　口縁部直立　口縁端部外折
35-1	SR06		RP2		縄文中期後半？	深鉢形土器	底部	体部下位LR縄文縦位回転　体部下端横位ナデ　底面ナデ	底部ナデ	外傾接合　使用痕不明
35-2	SQ09		S70		縄文晩期前半	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部横位ナデ	使用痕不明
35-3	SQ09		S70		縄文晩期前半	深鉢形土器	体部	体部縄文？施文後ナデ	体部ナデ	使用痕不明
35-4	SQ09		S70		縄文晩期前半	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部ナデ	使用痕不明
35-5	SQ09				縄文晩期前半	鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部ナデ	使用痕不明
35-6	SQ09		S70		縄文晩期前半	鉢形土器	体部	体部ミガキ	体部ナデ	使用痕不明
35-7	SQ09		S70		縄文晩期前半	壺形土器	口縁部	口縁部横位ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ	口縁部外反　頸部内傾
36-4	SN24		RP1		大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　体部下位被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部中位炭化物付着	口唇部ほぼ平坦　完形
37-1	SKP21W		RP2・3・7	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部斜位ケズリ後ミガキ	使用痕不明
37-2	SKP21W		RP4	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文(0段多条か)横位回転　炭化物付着	体部ナデ	
37-4	SKP31		RP2	1	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部	口縁部横位沈線２条　入組状横位沈線　ミガキ	口縁部ナデ	口唇部押圧状刻み目
37-5	SKP31		RP1	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部ミガキ後横位Ｓ字状沈線	体部ナデ	使用痕不明
37-6	SKP31		RP2	1	縄文晩期前葉	鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転　炭化物付着	体部ナデ	
37-7	SKP34			1	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部～体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目ある突起　使用痕不明
37-9	SKP44		RP16	1	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部斜位ヘラナデ	口唇部僅かに平坦　刻み目
37-10	SKP44		RP1	1	縄文晩期	鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転　炭化物付着	体部ナデ　炭化物付着	
37-11	SKP44		RP14	1	縄文晩期	鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転　炭化物付着	体部ナデ　炭化物付着	
37-12	SKP44		RP3	1	縄文晩期？	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部ナデ　炭化物付着	
37-13	SKP44		RP14	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文(附加条？)横位回転　炭化物付着	体部ナデ	
37-14	SKP44		RP13	1	縄文晩期前半	不明	口縁部	口縁部横位ヘラナデ	口縁部ミガキ	口唇部丸み
37-15	SKP44		RP13	1	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転　炭化物付着	口縁部ミガキ～ナデ　炭化物付着	口唇部押圧状刻み目
37-16	SKP44		RP7	1	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目充填　体部Ｃ字文	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み
37-17	SKP44		RP20	1	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ	
37-18	SKP44		RP6	1	大洞C1式	浅鉢形土器	体部	体部雲形文　RL縄文充填　ミガキ	体部ミガキ	
38-1	SKP45		RP11	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転　R結節回転？炭化物付着	体部ナデ	
38-2	SKP45		RP9	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文斜位回転	体部ミガキ	使用痕不明
38-3	SKP45		RP12	1	縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	体部ナデ	使用痕不明
38-4	SKP45		RP14	1	大洞C1式	壺形土器	体部上位	体部横位沈線３条２段　上段沈線上面Ｃ字沈線加えた横長突起　赤彩	体部ナデ	
38-5	SKP45		RP3	1	縄文晩期	深鉢形土器	底部	底部ナデ	底部ナデ	底部僅かに上げ底　使用痕不明

第14表　土器・土製品一覧(3)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
38-6	SKP54			1	大洞B2式	注口土器	口縁部	口縁部上位横位入組三叉文・横位沈線１条　口縁部下位横位沈線２条　ミガキ	口縁部ヘラナデ	口縁端部内側肥厚　口唇部丸み
38-7	SKP54			1	大洞B2式	注口土器	口縁部	口縁部渦巻文？　ミガキ	口縁部ナデ	口縁端部内側肥厚　口唇部丸み
38-8	SKP54			1	大洞B2式	注口土器	口縁部～肩部	口縁部横位沈線２条　肩部横位沈線１条　弧状沈線　口縁部～肩部横位ヘラミガキ	口縁部～肩部ナデ	
38-9	SKP64				縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部僅かに平坦　使用痕不明
38-10	SKP64		RP18		大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部上半	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	使用痕不明
38-11	SKP64		RP14・19		縄文晩期	深鉢形土器	体部	体部LR縄文斜位回転	体部ナデ	使用痕不明
39-1	SM60	NR38		クロ４	円筒下層a式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部中位横位隆線１条　隆線上面R縄文側面圧痕　口縁部L縄文結節横位回転　体部単軸絡条体R縦位回転？	口縁部～体部ナデ	胎土中繊維不明　使用痕不明
39-2	SM60	NO38		クロ３	円筒下層b式	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文横位回転？　口縁部体部境界横位隆線１条　隆線上面横位刺突列	口縁部摩滅	胎土中繊維含む　使用痕不明
39-3	SM60	NP37		クロ３	円筒下層d式	深鉢形土器	口縁部	口縁部L縄文側面圧痕　口縁部体部境界微隆起線状	口縁部ミガキ	使用痕不明
39-4	SM60	NS36		クロ３	円筒下層d式	深鉢形土器	体部	体部単軸絡条体第1A類R・L縦位回転	体部ナデ	胎土中繊維不明　使用痕不明
39-5	SM60	NQ37	RP91	クロ３	円筒上層ａ式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上端・中位横位隆線各１条　隆線上面R縄文縦位刻み目　隆線間波状隆線　隆線上面L・R縄文側面圧痕　口縁部炭化物付着	口縁部ミガキ	
39-6	SM60	NR36	RP216	クロ１	円筒上層c式	深鉢形土器	口縁部	口縁部隆線貼り付け　隆線上面RL縄文回転　隆線脇押し引き状刺突列	口縁部ナデ	波状口縁　使用痕不明
39-7	SM60	NR35	RP183	クロ１	円筒上層c式	深鉢形土器	口縁部	口縁部横位～斜位隆線貼り付け　隆線上面刻み目　隆線脇刺突	口縁部ミガキ	口縁端部肥厚　使用痕不明
39-8	SM60	NR36		クロ３	円筒上層d式	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文縦走　隆線貼り付け　隆線上面刻み目	波頂部隆線貼り付け　口縁部ナデ	波状口縁　使用痕不明
39-9	SM60	NP36		クロ２	大木８b式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上位口縁に沿った隆線２条　波頂部下隆線渦巻状	口縁部ミガキ	波状口縁　口唇部丸み　末端縁擬口縁逆形　使用痕不明
39-10	SM60	NQ36	RP166	クロ３	大木８b式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上下端横位隆線　波頂部下咬み合う渦巻き状隆線　ミガキ	口縁部ミガキ	波状口縁　使用痕不明
39-11	SM60	NQ38		クロ４	最花式	深鉢形土器	体部	体部小円形刺突列２条巡る　刺突列下LR縄文斜位回転	体部ナデ	使用痕不明
39-12	SM60	NP37		V	縄文中期後半	深鉢形土器	口縁部・体部	口縁部ナデ　体部LR縄文斜位～縦位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み　使用痕不明
39-13	SM60	NO36		クロ４	大木10式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位ナデ　体部縦位平行沈線間LR縄文縦位回転　下からの刺突列	口縁部波頂部からノの字状隆線貼り付け　口縁部～体部ナデ	波状口縁　口唇部ほぼ平坦　使用痕不明
39-14	SM60	NQ36		クロ４	大木10式	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位～斜位回転後横位沈線　ナデ	口縁部横位ナデ	口唇部平坦　使用痕不明
40-1	SM60	NQ37		クロ４	十腰内Ⅰ式	鉢形土器	口縁部～頸部	口縁部～頸部LR縄文横位回転　口縁部横位沈線３条　頸部入組文　頸部ナデ	口縁部～頸部ナデ	使用痕不明
40-2	SM60	NQ37	RP221	クロ４	十腰内Ⅰ式	壺形土器	肩部	肩部LR縄文横位回転後横位平行沈線・渦巻き状沈線　ナデ	肩部ナデ	
40-3	SM60	NQ37	RP285	クロ４	十腰内Ⅰ式	壺形土器	口縁部～頸部	口縁部～頸部両端横位沈線３・４条　沈線間渦巻・斜行沈線連結　RL縄文充填　ナデ	口縁部沈線巡らした円錐形突起４か所？付く　ミガキ	口縁部片口付
40-4	SM60	NP37		クロ３	縄文後期前葉	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部単軸絡条体第１類r縦位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	波状口縁　使用痕不明
40-5	SM60	NR37		クロ２	十腰内Ⅲ式	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文横位回転　口縁部下位横位沈線２条	口縁部ナデ	山形波状縁　口縁部内側肥厚　口唇部内傾　使用痕不明
40-6	SM60	NP36		クロ１	十腰内Ⅳ式	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR・RL縄文横位回転　横位沈線２条　炭化物付着	口縁部ナデ	口唇部肥厚内傾
40-7	SM60	NQ38		クロ１	十腰内Ⅴ式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上端貼り瘤　口縁部斜格子状沈線	口縁部ナデ	口唇部平坦　使用痕不明
40-8	SM60	NO36		クロ４	十腰内Ⅴ式	深鉢形土器	体部	体部上端貼り瘤　体部ナデ	体部ナデ	使用痕不明
40-9	SM60	NP38 南北畦	RP129	クロ３	不明	多孔底土器	底部	体部下端ナデ　底部ナデ　外面から内面への径５mm穿孔10個以上	底部ナデ	使用痕不明
40-10	SM60	NQ38	RP101	クロ４	不明	深鉢形土器	口縁部	口縁部上端肥厚　縦位刻み目　口縁部斜位集合沈線	口縁部ナデ	口縁部内湾し直立　使用痕不明　新崎式か
41-1	SM60	NP37 南北畦	RP84	クロ４	大洞B1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転　口縁部波頂部下三叉文　波底部下２本１組弧状沈線　口縁部下端横位沈線２条　沈線間縄文ナデ消し　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	大波状口縁
41-2	SM60	NP37 南北畦		クロ４	大洞B1式	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転　台形突起縁に沿った２本１組沈線　正面三叉文　口縁部下端横位沈線２条　沈線間ミガキ　炭化物付着	口縁部横位ミガキ　炭化物付着	口唇部３頭に分かれた台形突起
41-3	SM60	NP38 南北畦	RP113	クロ４	大洞B1式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上端２本１組下閉じ連弧状沈線　口縁部帯状文　RL縄文横位回転	口縁部ナデ	低波状口縁　使用痕不明
41-4	SM60	NQ36	RP231	クロ４	大洞B1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部上位LR縄文横位回転後入組帯状文　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部頂部刻み目ある台形突起
41-5	SM60	NQ36	RP230	クロ４	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上半三叉文　口縁部下半LR縄文横位回転後入組帯状文　口縁部体部境界横位沈線下横位刺突	口縁部ナデ	口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
41-6	SM60	NN38		Ⅱb	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位～斜位回転　入組帯状文　炭化物付着	口縁部横位ナデ	口唇部半円状小突起付く　正面小突起頂部深い刻み目
41-7	SM60	NN38		Ⅱb	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転　入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線・刺突充填　体部上位入組三叉文　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部２頭に分かれた山形突起
		NQ36		クロ３						
41-8	SM60	NP36		クロ３	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転後入組三叉文　口縁部炭化物付着	口縁部ミガキ　炭化物付着	口唇部２頭に分かれた低台形突起
41-9	SM60	NP36		クロ３	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部上下端横位沈線各１条　口縁部LR縄文横位回転後上端沈線に連結しない入組帯状文	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部小山形突起
41-10	SM60	NQ38	RP116	クロ４	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　下端横位沈線２条　沈線間末端咬み合う三叉文　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部小Ｂ突起　突起間刻み目　使用痕不明
41-11	SM60	NQ37	RP225	クロ４	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部横長不整入組三叉文？　ナデ	口縁部横位ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
41-12	SM60	NP36	RP36	クロ１	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整横位弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部RL縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部２頭に分かれた小山形突起　突起頂部～口唇部刻み目列

第15表　土器・土製品一覧(4)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
41-13	SM60	NQ38	RP101	クロ４	大洞B2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上半２本１組連弧状沈線　口縁部下半不整入組三叉文　口縁部ナデ　体部LR縄文横位～斜位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
42-1	SM60	NR37	RP311・333・334	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位連弧状沈線　口縁部中位入組三叉文・横位短沈線　口縁部下位横位沈線間横位短沈線充填　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文斜位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	
42-2	SM60	NP36 南北畦		クロ１	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	肩部浅い不整沈線　口縁部～肩部ナデ　体部LR縄文斜位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部２頭に分かれた山形突起　使用痕不明
42-3	SM60	NQ38	RP101	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位連弧状沈線・斜位短沈線　口縁部中位～下位入組三叉文　口縁部頸部境界横位沈線間弧状沈線充填　体部RL縄文横位回転	口縁部～体部上位横位ケズリ　体部下位ナデ	低波状口縁　使用痕不明
42-4	SM60	NP38 南北畦	RP131	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整弧状・横位短沈線　口縁部体部境界横位沈線２～３条　沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文斜位回転	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部押圧状小刻み目
42-5	SM60	NR36	RP198	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線状ヘラミガキ　斜位細沈線列　体部LR縄文横位～縦位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
43-1	SM60	NQ38	RP296	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部端部二股に分かれるクランク状沈線文　肩部横位沈線２条　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列
43-2	SM60	NS36	RP61	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各１条　沈線間下閉じ・上閉じ連弧状沈線２段　横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部ナデ　体部上位横位ケズリ　体部中位ナデ	口唇部低山形突起列
43-3	SM60	NP37	RP105・107	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部下位右傾沈線下横位短沈線　肩部横位沈線間短沈線充填　体部LR縄文横位回転	口縁部ナデ　体部横位ヘラナデ	口唇部刻み目　使用痕不明
43-4	SM60	NR37	RP332	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端突起直下下閉じ連弧状沈線　口縁部不整弧状沈線充填　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部２頭に分かれた小山形突起　使用痕不明
43-5	SM60	NQ36	RP149	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上半波状沈線・斜位刻み目　口縁部下半上閉じ連弧状沈線　沈線下位刺突　口縁部体部境界横位沈線間２条の横位刺突列　体部上端連弧状沈線　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部ナデ　口縁部体部境界斜位ケズリ　体部ナデ	口唇部平坦　刺突列
43-6	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部弧状沈線　沈線間一部刺突充填　体部上位横位沈線間横位刺突列２段・連弧状沈線　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部ミガキ　体部上位横位～斜位ケズリ後ミガキ　体部中位～下位ナデ	口唇部横位刺突列
43-7	SM60	NQ36	RP157	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位斜位刻み目列　口縁部中位～下位横位沈線間下閉じC字沈線・刺突文　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部ナデ　口縁部体部境界横位ケズリ　体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列
44-1	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端波頂部と対応する下閉じ連弧状沈線　沈線下横位刺突充填　口縁部下位横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部低波状口縁　使用痕不明
44-2	SM60	NP36		クロ１	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部上位ナデ　体部上位横位沈線間連弧状沈線　体部中位LR縄文横位回転　口縁部～体部筋状タール状物質付着	口縁部～体部横位ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部２頭に分かれた山形突起
44-3	SM60	NQ36		クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位２本１組下閉じ連弧状沈線　口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転	口縁部横位ミガキ　体部ナデ	口唇部刻み目　使用痕不明
44-4	SM60	NR35	RP119	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位不整横位沈線・縦位刻み目　口縁部中位横位沈線間刻み目列　口縁部下位横位短沈線列　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　体部上位２本１組下閉じ連弧状沈線	口縁部～体部ナデ	口唇部平坦　小Ｂ突起
44-5	SM60	NP35	RP4	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端口唇部突起と連結する横位沈線　沈線上位刻み目　口縁部右傾羊歯状文　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部Ｂ突起
44-6	SM60	NR37	RP268	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位短沈線上位刻み目列　口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　体部下位横位沈線２条　体部下位～底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部上半縦位ヘラミガキ　体部下半斜位ケズリ　底部ナデ	口唇部小突起列　使用痕不明
44-7	SM60	NO36		クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上半横位沈線間刻み目列　口縁部下半右傾羊歯状文　口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　体部下端ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部～口縁端部外側弧状沈線加えた刻み目列
44-8	SM60	NQ37	RP221・259	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　肩部横位沈線間刻み目列　口縁部～肩部ナデ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列
44-9	SM60	NQ36		クロ１	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　体部RL縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部小Ｂ突起
45-1	SM60	NQ36	RP153	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部	口縁部右傾羊歯状文４段	口縁部ナデ	口唇部頂部から横位短沈線・刻み目加えたＢ突起列　使用痕不明
45-2	SM60	NQ37	RP187	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位横位沈線間横位刺突列２段　肩部横位沈線間横位刺突列２段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	頂部２頭に分かれる低山形口縁
45-3	SM60	NQ37	RP304	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位横位刺突列　口縁部中位～下位横位沈線間刻み目列３段　口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着　体部被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部３個１組刻み目列
45-4	SM60	NQ36	RP182	クロ３	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部被熱痕・炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
45-5	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間小刺突列３段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部２個１組刻み目　使用痕不明
45-6	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位刺突列　口縁部中下位横位沈線間縦位刺突列３条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部平坦　２個１組？刻み目

第16表　土器・土製品一覧(5)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
45-7	SM60	NQ38	S142	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線４条　沈線間横位刺突列３段　体部LR縄文横位～斜位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部２個刻み目加えた小山形突起　使用痕不明
45-8	SM60	NS37	RP103	クロ４	大洞BC式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位刺突列４段　体部LR縄文横位回転　R結節横位回転　体部上半炭化物付着	口縁部横位ヘラナデ　体部斜位ケズリ	口唇部刻み目列
45-9	SM60	NR36	RP225	クロ４	大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中下位横位沈線間横位短沈線充填２段　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部押圧状刻み目
45-10	SM60	NS37	RP95	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部中下位横位沈線間横位刺突列３段　中段一部円形刺突付加　口縁部上端一部LR縄文横位回転　体部LR縄文横位回転	口縁部横位ミガキ　体部横位ヘラナデ	口唇部丸み　一部刻み目列　使用痕不明
46-1	SM60	NR36	RP238・239・244	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線６～８条　沈線間～沈線上断続して刻み目列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
46-2	SM60	NR38	RP87	クロ４	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刺突列３段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列断続　使用痕不明
46-3	SM60	NQ38		クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位刺突列４列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　体部炭化物付着	口唇部小突起
46-4	SM60	NR37	RP281	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線上位横位刺突列　頸部横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位～斜位回転(条縦走傾向)　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
46-5	SM60	NR36	RP256・257	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端下閉じ連弧状沈線　口縁部平行沈線８条　上位と下位の沈線間弧状刻み目列　体部LR縄文横位回転　体部被熱痕・炭化物付着	ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列
46-6	SM60	NR36	RP226	クロ１	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　頸部～肩部横位沈線間横位短沈線２～３段充填　体部RL縄文横位回転	口縁部横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	口唇部２個１組刻み目８か所？　使用痕不明
46-7	SM60	NS37杭	RP6		大洞BC式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部上位～中位LR縄文横位回転後K字文２段　体部下位LR縄文縦位・横位回転後X字文　体部下位正面小瘤状突起　口縁部～体部ヘラミガキ　底部ミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部弧線加えたB突起
46-8	SM60	NQ37	RP24	クロ２	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　沈線上位刻み目列　体部上半LR縄文横位回転後雲形文　体部下半LR縄文横位回転　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ミガキ	口唇部刻み目　使用痕不明
46-9	SM60	NQ38	RP101	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転　底部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部基部に弧状沈線加えたB突起列
47-1	SM60	NR35	RP56・60・62	クロ３	大洞BC式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位口唇突起と連結する横位沈線　口縁部中位突起下で小山形状に連結する横位沈線　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラナデ　体部下半ナデ	口唇部B突起付く　突起間刻み目列充填
47-2	SM60	NP38	RP46	クロ２	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　上位沈線一端はB突起基部を巡る　体部LR縄文横位回転　底部外縁環状沈線	口縁部～底部ナデ	口唇部２個１組B突起４か所？　B突起間刻み目列　使用痕不明
47-3	SM60	NS37	RP85	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列
47-4	SM60	NS37	RP52	クロ２	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文縦走　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部小山形突起
47-5	SM60	NQ36	RP24	クロ１	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線４条　体部R縄文横位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
47-6	SM60	NQ37	RP94	クロ３	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位短沈線列３段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	使用痕不明
47-7	SM60	NP38	RP34	クロ２	大洞C１式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文横位回転	口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
47-8	SM60	NR36	RP49・175	クロ３	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部横位沈線４条　ミガキ　肩部横位瘤状突起付く　体部LR縄文横位回転　体部被熱痕	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　体部炭化物付着	口唇部弧状沈線加えたB突起２個１組８か所前後　突起間刻み目列　肩部補修孔１対
48-1	SM60	NR37	RP180	クロ３	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上半左傾沈線間刻み目列　口縁部下半横位沈線間刻み目列　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　体部台部境界刻み目加えた横位隆線１条　隆線上横位B突起　台部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
48-2	SM60	NQ35	RP34	クロ１	大洞C１式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　上位沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上位ミガキ　体部下位斜位ケズリ　底部ナデ　口縁部～底部炭化物付着	口唇部表面側基部に沈線を巡らすB突起列
48-3	SM60	NR36	RP212	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	肩部横位沈線間刻み目列　正面縦位B突起　体部上半雲形文　LR縄文充填　口縁部～体部ヘラミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ナデ	口唇部内側に弧状沈線加える刻み目列　使用痕不明
48-4	SM60	NS37	RP57	クロ２	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～体部	体部上半LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　体部下半LR縄文横位回転　炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位縦位ヘラミガキ　体部炭化物付着	口唇部弧状沈線加えたB突起列
48-5	SM60	NQ35	PR86	クロ２	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位刻み目列１段　体部LR縄文横位回転　体部台部境界横位沈線１条　体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
48-6	SM60	NQ37		クロ４	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上位横位沈線１条　口唇部突起から弧状沈線つなぐ？　口縁部ナデ　体部上位～中位LR縄文縦走　体部下位LR縄文縦位回転　台部上端縦位刻み目ある瘤状突起列　台部中位ナデ　台部下位横位沈線１条　LR縄文横位回転	口縁部～体部上半横位ナデ　体部下半～底部斜位ナデ	口唇部突起剥離？　口唇部刻み目　使用痕不明
48-7	SM60	NS37	RP88	クロ４	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　体部台部境界横位沈線１条　台部下端横位沈線１条　台部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部上位横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	口唇部B突起状刻み目列
48-8	SM60	NR35	RP101	クロ３	大洞C1式	深鉢形土器	口縁部～台部	口縁部ミガキ　体部上半LR縄文横位回転後雲形文　体部下半LR縄文横位回転　台部上半ミガキ　台部下半LR縄文横位回転	口縁部～底部ナデ	口唇部浅い押圧状刻み目　使用痕不明

第17表　土器・土製品一覧(6)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
49-1	SM60	NR36	RP168	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部上端突起に連結する弧状～横位沈線　口縁部不整三叉状・波状・Ｃ字状沈線　口縁部体部境界横位沈線１条　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部平坦　一部小Ｂ突起・２頭に分かれた小山形突起
49-2	SM60	NQ36	RP82	クロ２	大洞BC式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部突起に連結する横位沈線２条　体部LR縄文横位～斜位回転	口縁部～体部横位ケズリ	口唇部頂部２頭に分かれた低山形突起１か所　使用痕不明
49-3	SM60	NP38	RP63・85	クロ２	大洞BC式？	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部２本１組横位波状沈線　体部LR縄文横位回転　体部下端横位ナデ　底部ミガキ　体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部２頭に分かれた小山形突起巡る
49-4	SM60	NP38 南北畦	RP71	クロ４	大洞B2式？	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部入組三叉文　頸部横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部頂部２頭に分かれた山形突起列　使用痕不明
49-5	SM60	NQ35	RP91	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部２本１組下閉じ弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線２条・上閉じ連弧状沈線　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目
49-6	SM60	NQ37	RP77	クロ３	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ後３本１組連弧状沈線文　体部RL縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部横位ナデ　体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部４～６個１組の刻み目列
49-7	SM60	NQ38	RP150・155	クロ４	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部２本１組下閉じ連弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
50-1	SM60	NS37	RP113	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転　不整横位Ｓ字状～弧状沈線	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
50-2	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部弧状沈線・横位短沈線不整充填　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ナデ	口唇部低山形突起　使用痕不明
50-3	SM60	NP37	RP36	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部渦巻き状沈線　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部３個１組刻み目１か所
50-4	SM60	NP38	RP111	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部上位不整連弧状・横位Ｓ字状沈線　ナデ　体部中位LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	使用痕不明
50-5	SM60	NN38	RP2	Ⅱb	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部上位下閉じ連弧状浅い沈線　口縁部中位～体部上位横位Ｓ字状～Ｃ字状浅い沈線	口縁部横位ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
50-6	SM60	NQ37		クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部浅い沈線による入組文　ナデ　口縁部体部境界横位沈線４条　一部浅い刻み目　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目列
50-7	SM60	NQ37	RP252	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部渦巻き状沈線・刺突列　ナデ	口縁部横位ナデ	口唇部Ｄ字状刻み目列　正面頂部刻み目加えた小山形突起　使用痕不明
50-8	SM60	NR37	RP141・212	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ後渦巻状～弧状沈線　口縁部下端刺突列　肩部横位沈線間刺突列　L縄文横位回転	口縁部～体部上位横位ヘラナデ　体部中位斜位ナデ	口唇部刻み目列　一部Ｂ突起　肩部補修孔　使用痕不明
50-9	SM60	NR37	RP182	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転後弧状沈線　肩部縦位刻み目３個加えた横位瘤状突起列　突起基部弧状沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ナデ	口唇部平坦　突起剥離痕？　使用痕不明
50-10	SM60	NQ37	RP292	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部末端渦巻く横長菱形状沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ナデ	使用痕不明
50-11	SM60	NN37		Ⅱb	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各１条　口縁部横位Ｓ字状沈線区画　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部Ｂ突起列
50-12	SM60	NO36		クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間クランク状沈線　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部横位ヘラケズリ　体部ナデ　炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
51-1	SM60	NR38		クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部７本１組渦巻状沈線	口縁部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
51-2	SM60	NR38	RP62	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部３本１組横位～斜位沈線　炭化物付着	口縁部横位ナデ	口唇部丸み
51-3	SM60	NS37	RP52	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部	口縁部６本１組弧状細沈線　口縁部ナデ	口縁部ナデ	口唇部ほぼ平坦　使用痕不明
51-4	SM60	NQ38	RP113・163・296	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部横位ナデ　５本１組波状沈線垂下	口縁部～体部斜位ナデ	口唇部やや平坦　使用痕不明
51-5	SM60	NQ38		クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部５本１組蛇行沈線垂下	口縁部～体部斜位ヘラナデ	口唇部丸み　使用痕不明
51-6	SM60	NR38	RP56・74	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	体部～底部	体部横位ケズリ　弧状細沈線　底部ナデ	体部縦位ケズリ　底部ナデ	使用痕不明
51-7	SM60	NR35	RP45・77	クロ２ クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	体部	体部縦位ヘラナデ後不整Ｓ状・Ｃ字状沈線	体部斜位～縦位ケズリ	使用痕不明
52-1	SM60	NQ37	RP23・290	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ヘラナデ　体部下端指オサエ　底面ナデ	ナデ	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
52-2	SM60	NQ38	RP291	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文斜位回転　底部ナデ	口縁部～体部上半横位ナデ　体部下半～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
52-3	SM60	NQ38	RP151	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部ナデ後一部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
52-4	SM60	NQ37	RP178	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	頸部下端横位沈線１条　口縁部～頸部横位ナデ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	正面口唇部頂部に円形刺突加えた突起２個
52-5	SM60	NR35	RP126	クロ３	大洞C1式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ　口縁部体部境界横位沈線２条　体部上位LR縄文横位回転　体部中位～下位LR縄文縦位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
53-1	SM60	NS37	RP88	クロ４	不明	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部L縦位回転　底部ナデ　体部中位炭化物付着	口縁部横位ヘラナデ　体部斜位ヘラナデ　底部ナデ	口唇部一部刻み目　縄文後期？
53-2	SM60	NP37 南北畦	RP2	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ミガキ　体部LR縄文横位回転　体部下端横位ミガキ　底部ヘラナデ(アタリ残る)	口縁部横位ミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
53-3	SM60	不明	RP204		縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～底部指オサエ後ナデ	口縁部～底部ナデ　接合痕残る	使用痕不明
53-4	SM60	NP38 南北畦	RP19	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁端部外反　口縁部下位横位沈線状ナデ　口縁部～体部LR縄文縦位～斜位回転	口縁部ナデ　体部縦位ケズリ	口唇部丸み　使用痕不明
53-5	SM60	NS37	RP88・89・103	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部～体部被熱痕・炭化物付着	口縁部横位ヘラナデ　体部縦位ヘラナデ　体部下位炭化物付着	口唇部丸み
54-1	SM60	NQ38	RP97	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文斜位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部ナデ　体部縦位～横位ケズリ　底部ナデ	口唇部丸み　口縁部補修孔
54-2	SM60	NQ36	RP64	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部被熱痕　口縁部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部３個１組刻み目５か所？

第18表　土器・土製品一覧(7)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
54-3	SM60	NQ35	RP153	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位～斜位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ　口縁部～体部被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部平坦～丸み
54-4	SM60	NR37	RP183	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部正面鋸歯状細沈線　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部正面頂部押圧状刺突加えた小瘤状突起２個　口唇部丸み
54-5	SM60	NQ37	RP4・125	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　体部中位炭化物付着　体部下位被熱痕	口縁部～底部ナデ～ミガキ　体部下位炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
55-1	SM60	NR38	RP79	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位～斜位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
55-2	SM60	NR35	RP108	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文斜位回転(縦走傾向)　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目列
55-3	SM60	NQ36	RP95	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転　体部LR縄文斜位回転　底部ヘラナデ　口縁部～体部上半被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
55-4	SM60	NR37	RP246	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文斜位回転　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部正面小山形突起２個
55-5	SM60	NR37	RP150	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部L縄文横位回転　体部L縄文斜位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部中位炭化物付着	口唇部平坦
55-6	SM60	NS37	RP89	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部縦位条痕　炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部丸み
55-7	SM60	NQ36	RP126	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部不整ナデ　体部被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	
55-8	SM60	NR37	RP178	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部R縄文横位回転後縦位ヘラナデ　体部縦位ヘラナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
55-9	SM60	NQ38	RP296	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部縦位ケズリ　底部ミガキ	口縁部～底部ケズリ後ミガキ	口唇部平坦　使用痕不明
55-10	SM60	NQ37	RP157	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部縦位ヘラミガキ　底部ミガキ	口縁部～体部横位ナデ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
55-11	SM60	NS37	RP92	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端縦位刻み目ある瘤状突起１個　口縁部～底部不整ナデ	口縁部～底部ナデ　接合痕残る	口縁端部不整(一部擬口縁か)　口唇部刻み目列　使用痕不明
56-1	SM60	NR35	RP56・57・60	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部L縄文横位回転　体部L縄文斜位回転　底部ナデ　体部炭化物付着	口縁部～体部斜位ヘラナデ　底部ナデ　体部下位炭化物付着	口唇部丸み
56-2	SM60	NS37	RP92	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端横位ケズリ　底部摩滅　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半ナデ　体部下半～底部横位～斜位ケズリ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
56-3	SM60	NR37	RP156	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文斜位回転　体部LR縄文斜位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ	口唇部丸み
56-4	SM60	NR37	RP319	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部摩滅　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　体部炭化物付着	口縁部～体部縦位ケズリ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
56-5	SM60	NQ36	RP71	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部頂部刻み目加えた小山形突起巡る
57-1	SM60	NR35	RP148	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位～斜位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ	口唇部丸み
57-2	SM60	NQ37	RP219	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラナデ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み　口縁部補修孔１対
57-3	SM60	NR36	RP254	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ　体部中位炭化物付着	口唇部平坦
57-4	SM60	NQ36	RP104	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部平坦　使用痕不明
58-1	SM60	NR36	RP263・264	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部丸み
58-2	SM60	NS36	RP52・70	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転　体部末端結節あるLR縄文斜位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラナデ　体部下半ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部丸み
58-3	SM60	NS36	RP58	クロ３	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部RL縄文横位回転　体部RL縄文斜位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　体部炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
58-4	SM60	NQ38	RP114	クロ４	縄文晩期前半	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラナデ　体部LR縄文横位回転　体部下端指オサエ後横位ナデ(凹凸あり)	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部中位炭化物付着	口唇部刻み目列
58-5	SM60	NP36	RP41	クロ２	縄文晩期前半	深鉢形土器	体部～底部	体部斜位ケズリ後LR縄文斜位回転　底部ナデ	体部ナデ　体部下端横位ケズリ　底部ナデ	使用痕不明
59-1	SM60	NQ37	RP81・84	クロ３	大洞B1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部LR縄文横位回転　口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部中位～肩部両端閉じる入組帯状文２段ナデ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラナデ	口唇部２頭もしくは３頭に分かれるＢ突起　突起間押圧状刻み目　使用痕不明
59-2	SM60	NO38	RP67・89	クロ４	大洞B1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部上半不整下閉じ弧状沈線　口縁部下半横位沈線２条　頸部渦巻状沈線・対向する弧状沈線　体部上位横位沈線３条　口縁部～体部ヘラミガキ	口縁部～体部ナデ	口唇部に頂部二頭に分かれる山形突起７か所？　突起間押圧状刻み目列　使用痕不明
59-3	SM60	NQ36		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　ナデ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部横位ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部頂部刻み目２個加えた小山形突起　突起間押圧状刻み目
60-1	SM60	NO38	RP52	クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　体部上位末端弧状沈線加えた右傾クランク状平行沈線　体部中位～下位LR縄文横位～斜位回転　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	口唇部２個１組Ｂ突起列　使用痕不明
60-2	SM60	NQ37		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　体部上位ノ字文　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部指オサエ　口縁部中位～体部炭化物付着	口唇部両側に刻み目加えた小山形突起　突起間刻み目列
60-3	SM60	NP37 南北畦		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部	口縁部上位LR縄文横位回転　横位沈線２条　口縁部中下位入組三叉文　口縁部ナデ　炭化物付着	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部２個１組Ｂ突起
60-4	SM60	NQ37	RP91	クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部入組三叉文　ミガキ　体部LR縄文横位～斜位回転　台部ナデ　体部炭化物付着	口縁部ナデ　体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部小Ｂ突起状刻み目列

第19表　土器・土製品一覧(8)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
60-5	SM60	NP38	RP122	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　口縁部下位～肩部横位沈線３条　下位沈線に２本１組縦位弧状短沈線６か所　口縁部～肩部ミガキ　体部LR縄文横位回転　台部ナデ　体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラナデ　体部下半～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部小突起列・横位刻み目列
60-6	SM60	NQ37	RP228	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部上位下位横位沈線各２条　沈線間入組三叉文　体部上位横位沈線２条　下位沈線下弧状沈線加える　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　体部炭化物付着	頂部刻み目加えた小波状口縁
60-7	SM60	NQ37	RP52	クロ２	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上中位境界横位沈線２条　口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中下位入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線２条　沈線上縦位瘤状突起　沈線間横位短沈線充填　体部上位LR縄文横位回転　体部上中位境界横位沈線２条　体部中位LR縄文横位回転後入組文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部平坦　小Ｂ突起付く　使用痕不明
60-8	SM60	NP38	RP104	クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部入組三叉文　口縁部ミガキ　炭化物付着	口縁部ミガキ　炭化物付着	口唇部小山形突起　突起間押圧状刻み目
60-9	SM60	NP37		クロ１	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部入組三叉文　口縁部下端横位沈線間横位短沈線充填　体部上端末端渦巻き状に垂下する横位沈線　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部頂部に刺突２個加えた小突起列
60-10	SM60	NR37	RP270	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部右傾羊歯状文　体部上端横位沈線端渦巻き状・弧状沈線垂下　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	小波状口縁　使用痕不明
60-11	SM60	NO37		クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部横位沈線２条　下位沈線棘状垂下４か所　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部ほぼ平坦　正面Ｂ突起台付
60-12	SM60	NR35	RP156	クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文横位回転後横位沈線５条　正面沈線渦巻き状　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部丸み
60-13	SM60	NP37 南北畦		クロ１	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位羊歯状文　体部上位横位沈線間刻み目充填　体部中位弧状沈線　体部中位～下位LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部小Ｂ突起巡る　突起間刻み目充填
60-14	SM60	NQ37	RP262	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位左端上閉じ横位沈線上位刻み目列　口縁部下位横位沈線間刻み目列　肩部弧状沈線加えた横位沈線　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ	口唇部刻み目列　低Ｂ突起８か所？
60-15	SM60	NQ36	RP117	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部横位沈線間刻み目充填　体部上位左傾羊歯状文　口縁部～体部上位ミガキ　体部中位LR縄文横位回転	口縁部横位ミガキ　体部縦位ヘラミガキ	口唇部小Ｂ突起２個１組３か所？　突起間刻み目充填　使用痕不明
60-16	SM60	NO37	RP53	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部	口縁部上端横位沈線１条　沈線上位LR縄文横位回転　口縁部中下位横位沈線間弧状沈線・刺突充填　口縁部ミガキ	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部小Ｂ突起
61-1	SM60	NP38 南北畦		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位波頂部と対応した連弧状沈線と横位沈線各１条　口縁部下端横位沈線２条　沈線間入組三叉文　体部LR縄文横位～斜位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	低波状口縁
61-2	SM60	NQ36	RP230	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部中位横位Ｓ字状沈線・弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部上位RL縄文横位回転　体部中位RL縄文斜位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部頂部刻み目１個～２個加えた小突起列
61-3	SM60	NQ36	RP231	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位Ｓ字状沈線２列　体部LR縄文斜位～縦位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
61-4	SM60	NQ37	RP228	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部横位に連結する入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位回転　体部上位横位沈線２条　沈線間ミガキ	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
61-5	SM60	NR37杭	RP19		大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各２条　沈線間入組三叉文　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　体部上位炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
61-6	SM60	NQ38	RP294	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上下端横位沈線各２条　口縁部不整横長S字状沈線　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部小突起状刻み目列　台部欠損
61-7	SM60	NO37		クロ３	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線間刺突列　口縁部中位入組三叉文　口縁部下位横位沈線２条　体部上端末端刺状に垂下する上位沈線１条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　体部上半炭化物付着	口唇部頂部３頭に分かれた小突起列
61-8	SM60	NO37	RP40	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転後入組三叉文？　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填	口縁部ナデ	漣状口縁　口唇部平坦　使用痕不明
61-9	SM60	NP37		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部	口縁部入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線１条　横位短沈線列１条　口縁部ミガキ	口縁部ミガキ	口唇部Ｂ突起列　使用痕不明
61-10	SM60	NQ38	RP306	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部上位末端連続する入組三叉文　体部下位LR縄文横位回転　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
61-11	SM60	NR36	RP242・252	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部入組三叉文　口縁部下端体部上位横位沈線各２条　沈線間入組三叉文　口縁部～体部上位ミガキ　体部中位LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起　突起間刻み目使用痕不明
61-12	SM60	NQ38	RP282	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左端横位Ｃ字状入組三叉文　体部上位入組三叉文　体部中位LR縄文横位～斜位回転	口縁部～体部ナデ	使用痕不明
61-13	SM60	NQ36	RP201	クロ３	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部RL縄文横位回転　台部ナデ　口縁部～体部炭化物付着　台部被熱痕	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ヘラミガキ　口縁部～底部炭化物付着	口唇部間隔開いた刻み目列

第20表　土器・土製品一覧(9)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
62-1	SM60	NP35		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～肩部横位沈線間刻み目列２段　ミガキ　体部上位LR縄文横位回転　体部中位～下位LR縄文斜位回転　台部横位ナデ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
62-2	SM60	NP37	RP25	クロ１	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線５条　沈線間刻み目列２段　横位ヘラミガキ　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文縦走　台部中位横位沈線１条　台部下位LR縄文横位回転　口縁部～体部上位被熱痕	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口唇部刻み目列　口縁部補修孔１対
62-3	SM60	NQ35	RP126	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部上端横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　台部ナデ	口縁部～底部ミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
62-4	SM60	NR36	RP207	クロ１	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線上刻み目列　体部上位上下端横位沈線上刻み目列　刻み目列間Ｃ字文　体部下位LR縄文横位回転　体部下端～台部横位沈線間刻み目列３段　口縁部～台部被熱　体部下半炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部Ｂ突起　口唇部刻み目列
62-5	SM60	NP37	RP49	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線１条　頸部～体部上位Ｘ字文２段　口縁部～体部上位ミガキ　体部中位～下位LR縄文横位回転　台部上端刻み目列　口縁部～体部炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
62-6	SM60	NQ38	RP316	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　ナデ　体部上端末端渦巻状横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　体部上位炭化物付着	口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部小Ｂ突起列
62-7	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　口縁部体部境界横位Ｂ突起１個　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
62-8	SM60	NR36	RP127	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部左傾羊歯状文　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線２条　台部基部刻み目列加えた横位隆線１条　台部下位横位沈線３条下位２条沈線間刻み目列　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部縦位ヘラミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部丸み　口唇部刻み目列
62-9	SM60	NQ36	RP147	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　体部上端横位沈線間刻み目充填　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目による小波状口縁
62-10	SM60	NR37	RP173・174	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	肩部左傾羊歯状文　正面縦位Ｂ突起１個　体部LR縄文横位回転　台部上位～中位透かし５か所　三叉状沈線台部下端横位沈線１条　LR縄文横位回転　口縁部～台部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部三角形刻み目列
62-11	SM60	NQ37	RP262	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	頸部～肩部左傾羊歯状文　肩部正面刻み目加えた縦位瘤状突起　口縁部～肩部ナデ　体部LR縄文横位回転　口縁部炭化物付着　体部被熱痕	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位縦位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部Ｂ突起８個前後　突起間刻み目列
62-12	SM60	NQ37	RP81	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　ミガキ　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文縦位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
62-13	SM60	NR37	RP302	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線１条　体部上位斜位沈線間刻み目列　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位回転　台部ミガキ　台部下位横位沈線１条下LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部縦位ヘラミガキ　体部上位炭化物付着	口唇部小Ｂ突起巡る　突起間刻み目充填
62-14	SM60	NR37	RP227	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	肩部左傾羊歯状文　肩部正面縦位Ｂ突起１個　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位無文　台部上位刻み目列　台部中位三叉状～弧状沈線台部下位LR縄文横位回転　口縁部～台部ヘラミガキ　口縁部～体部上位炭化物付着	口縁部～底部横位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部～口縁端部外側刻み目列
62-15	SM60	NQ35	RP110	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上位左傾羊歯状文２段体部中位LR縄文横位～斜位回転　体部下位横位沈線１条　口縁部～体部ヘラミガキ　体部赤彩　体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
62-16	SM60	NR37	RP254	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾沈線上下位交互に刻み目列　口縁部正面Ａ突起　体部LR縄文横位回転　口縁部～底部炭化物付着	口縁部浅い横位沈線１条　体部～底部縦位ヘラミガキ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部小突起　口唇部浅い刻み目列
62-17	SM60	NR37	RP293	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線１条　体部上位横位沈線間斜位沈線　沈線上下交互刻み目列　体部中位LR縄文横位回転　K字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部小Ｂ突起　口唇部刻み目列　使用痕不明
62-18	SM60	NR37	RP270	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	体部上位横位沈線間斜位沈線　沈線上下交互刻み目列　体部上中位境界横位Ｂ突起１個付く　体部中下位LR縄文横位回転　K字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部小Ｂ突起２個１組　口唇部刻み目列　使用痕不明
63-1	SM60	NR37	RP186	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～肩部横位沈線間左傾沈線　左傾沈線上下位交互に刻み目列　正面縦位Ｂ突起　体部上半RL縄文横位回転　体部下半RL縄文縦走　台部左傾沈線上下位交互に刻み目列　台部下端肥厚　RL縄文横位回転	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ　底部横位ヘラミガキ	口唇部三角形状刻み目列　使用痕不明
63-2	SM60	NR35	RP34	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位刺突列　肩部横位沈線間断続した刻み目列　体部上端横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　台部横位ヘラミガキ　台部下位横位沈線２条	口縁部横位沈線１条　体部～底部横位ヘラミガキ　台部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目列　刻み目基部内側沈線巡らす　使用痕不明
63-3	SM60	NR37	RP270	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部口唇部突起と連結する横位沈線１条　肩部右傾沈線上位・下位交互に刻み目列　口縁部～肩部ナデ　体部LR縄文横位～斜位回転　台部ナデ　台部下位横位沈線１条　体部上半被熱痕	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ　体部上位炭化物付着	口唇部Ｂ突起？列
63-4	SM60	NQ36	RP150	クロ３	大洞C１式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２～３条　沈線間刺突列断続　体部上位横位沈線間刺突列　口縁部～体部上位ナデ　体部中位～下位LR縄文横位回転　台部上端横位沈線１条　台部ナデ　体部下半被熱痕　口縁部～体部上位炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部～底部炭化物付着	口唇部Ｂ突起列

第21表　土器・土製品一覧(10)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
63-5	SM60	NR37	RP247	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線間刺突列２段　ミガキ　体部LR縄文横位回転　台部上位縦位ヘラナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部横位ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
63-6	SM60	NS37杭	RP2		大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部ナデ　肩部横位沈線４条　沈線間刻み目２段交互充填　体部LR縄文横位回転　台部ナデ　口縁部～体部被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部横位沈線１条　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部Ｂ突起　口唇部刻み目列
63-7	SM60	NS37	RP78	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部上端横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　台部ミガキ　台部下位横位沈線下LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部体部境界横位沈線１条　口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ　底部ナデ　体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
63-8	SM60	NP38 南北畦	RP33	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線２条　ヘラミガキ　正面Ａ突起１個　体部上位～中位RL縄文横位回転　体部下位RL縄文縦走　台部下半RL縄文横位回転　台部上半横位沈線・横位ヘラミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
63-9	SM60	NR37	RP185	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部上端横位沈線２条　正面縦位Ｂ突起　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位回転　台部上半ミガキ　台部下半横位沈線１条下LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部下端横位沈線１条　口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～下位縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部刻み目列
63-10	SM60	NS37		クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部Ｃ字状沈線　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部Ｂ突起　突起間刻み目
63-11	SM60	NR37	RP204	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位ナデ　体部LR縄文横位回転後上半雲形文　ミガキ　台部下位横位沈線２条　体部炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部弧状沈線加えた小Ｂ突起列
63-12	SM60	NR36		クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間左傾沈線　沈線上下端側刻み目列　体部LR縄文横位回転後雲形文	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部小Ｂ突起　突起間刻み目列
63-13	SM60	NS37	RP87	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　体部上位横位沈線間刻み目列断続　体部中位LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ミガキ　体部炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起　突起間刻み目列
63-14	SM60	NS38			大洞C2式	鉢形土器	口縁部	口縁部ナデ　口縁部体部境界横位沈線２条　口縁部炭化物付着	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部外側肥厚　正面縦位突起　口唇部横位沈線１条　口縁部補修孔
64-1	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線上位刻み目列断続　口縁部下位横位沈線間刻み目列断続　口縁部体部境界横位沈線２条一部刻み目列　体部LR縄文横位回転　体部上位弧状沈線２本垂下	口縁部上位横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
64-2	SM60	NR37	RP267	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右傾羊歯状文　肩部横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～下位縦位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部口縁部の羊歯状文と一連の刻み目列
64-3	SM60	NR37	RP313	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部口唇突起と連結する横位沈線上位刻み目列断続　肩部上位横位沈線間刻み目列断続　肩部下位刻み目・弧状沈線６か所加えた横位沈線２条　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　体部下端横位沈線１条　台部上位末端弧状に分かれるクランク状沈線　口縁部～体部被熱痕	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部２個１組Ｂ突起列　突起間刻み目列
64-4	SM60	NO37		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端口唇突起と連結する横位沈線上刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部LR縄文横位～斜位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　体部上位炭化物付着	口唇部Ｂ突起巡る
64-5	SM60	NO37		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部口唇突起と連結する横位沈線　体部上端左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起巡る　突起間刻み目充填
64-6	SM60	NR37	RP310	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位Ｓ字状沈線下位刻み目列　肩部左傾羊歯状文　肩部正面縦位Ｂ突起　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文斜位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起列　使用痕不明
64-7	SM60	NQ38	RP304	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部口唇部突起と連結する横位沈線　体部上位左傾羊歯状文　正面縦位Ｂ突起１個付く　体部中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文斜位回転　体部台部境界横位沈線１条　体部炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部縦位ヘラミガキ　体部上位炭化物付着	口唇部小Ｂ突起巡る　突起間刻み目充填
64-8	SM60	NR37杭	RP15		大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位口唇突起と連結する横位沈線　口縁部下位横位ヘラミガキ　肩部左傾羊歯状文　肩部正面縦位Ｂ突起　体部LR縄文横位回転　台部上端横位隆線両側横位沈線　隆線上刻み目列　口縁部～体部被熱痕	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部２個１組Ｂ突起６か所突起間刻み目列
64-9	SM60	NP38 南北畦	RP56	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾沈線両側刻み目列　ミガキ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起　突起間刻み目列
64-10	SM60	NR36	RP216	クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部左端口端に接する横位沈線　肩部左傾沈線上下位交互に刻み目列　体部中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文横走　台部穿孔もしくは盲孔の右側に末端が渦巻状の三叉文　口縁部～体部被熱痕	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部縦位ヘラミガキ　底部～台部ナデ　体部上位炭化物付着	口唇部Ｂ突起　口唇部刻み目列
64-11	SM60	NR37	RP117	クロ２	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部口唇突起に連結する横位沈線１条　頸部右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部被熱痕	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半縦位ケズリ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部２個１組Ｂ突起６か所？突起間刻み目列
64-12	SM60	NR37	RP277	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線３条　上位沈線口唇突起と連結　沈線間交互に断続する刻み目列２段　肩部横位沈線２条　正面刻み目加えた縦位縮状突起付く　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　台部横位ヘラミガキ　台部上端横位沈線４条　中央２条沈線間刻み目列　体部被熱痕	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ　底部ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部正面２個１組Ｂ突起　突起間刻み目列
64-13	SM60	NQ37	RP44	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位口唇突起と連結する横位沈線１条　口縁部下位～体部上位横位沈線間左傾沈線と上下交互に刻み目列　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　体部炭化物付着	口唇部小Ｂ突起　突起間刻み目列　台付か

第22表　土器・土製品一覧(11)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
64-14	SM60	NP38		クロ２	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位口唇突起と連結する横位沈線　口縁部中位横位沈線間斜位刻み目列　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部小山形突起　口唇部刻み目列
65-1	SM60	NQ38	RP323	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位Ｓ字状平行沈線　口縁部体部境界短弧状沈線加えた横位沈線１条　体部RL縄文横位～斜位回転　台部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部横位ケズリ後横位ナデ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部頂部に１～２個刻み目加えた低突起巡る
65-2	SM60	NQ38	RP110	クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線１条　口縁部中位～下位横位不整連弧状沈線２条　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位～斜位回転　台部横位ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口縁部～底部横位ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
65-3	SM60	NQ37	RP182	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線間斜位刻み目列２段　横位ヘラナデ　体部LR縄文横位回転　台部横位ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
65-4	SM60	NR38杭	RP11		大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上半横位沈線上位押圧状刺突列　口縁部下半横位沈線間押圧状刺突列　体部LR縄文横位回転　体部台部境界横位沈線間押圧状刻み目列　台部下位横位沈線１条　口縁部～体部炭化物付着	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部縦位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部弧状沈線加えたＢ突起２個１組３か所？
65-5	SM60	NP36		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上端横位沈線上位刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　台部上半横位ヘラミガキ　台部下半横位沈線１条　LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部ミガキ　体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
65-6	SM60	NR36	RP208	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾沈線上下位交互に刻み目列　体部LR縄文横位回転　体部上半炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列　口唇部正面Ｂ突起
65-7	SM60	NR36	RP173	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部不整横位沈線間右傾沈線　沈線上下位交互に刻み目列　正面横位刻み目ある縦長瘤状突起　体部LR縄文横位回転　台部上半ナデ　台部下端横位沈線１条　沈線下肥厚　LR縄文横位回転　被熱痕	ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列　一部Ｂ突起状
65-8	SM60	NS36	RP61	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部上端正面瘤状突起　横位沈線２条　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文縦位回転　台部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
65-9	SM60	NQ36	RP149	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線間斜位刻み目　体部LR縄文横位～斜位回転　台部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部浅い刻み目列　使用痕不明
65-10	SM60	NN36	RP15	Ⅱb	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部横位沈線３条　台部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
65-11	SM60	NS37	RP105	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位ヘラナデ　体部～台部ナデ　体部上半炭化物付着	口縁部～底部ミガキ　口縁部炭化物付着	口唇部外側に張り出す
65-12	SM60	NP38	RP118	クロ３	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部中位～体部RL縄文横位回転後雲形文ミガキ	口縁部上端隆線状肥厚　口縁部～体部ミガキ　体部横位隆線	口唇部小山形突起　口唇部横位沈線上三角形刺突列　口唇部外側刻み目列　使用痕不明
65-13	SM60	NP38		クロ３	大洞C2式	鉢形土器	口縁部	口縁部波頂部下三角形印刻　口縁部横位沈線２条　口縁部ミガキ	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部山形突起　突起上面～口唇部横位沈線１条
65-14	SM60	NQ37	RP262	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位横位隆線１条　口縁部中位～下位２本１組下向き・上向き弧状沈線交互巡らす　口縁部上端補修孔？１か所　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転	口縁部～底部ナデ　体部下半炭化物付着	
65-15	SM60	NP38		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	体部～底部	体部上位横位短沈線加えた横位隆線１条　体部下位LR縄文横位回転	体部～底部ナデ	使用痕不明
66-1	SM60	NR38		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部入組横位Ｓ字状沈線　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部ナデ　体部横位ケズリ	口唇部平坦　押圧状刻み目列
66-2	SM60	NR36	RP266	クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部LR縄文横位回転　両端閉じる斜位～横位平行沈線内刺突充填　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
66-3	SM60	NP38 南北畦	RP73	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位三叉文・横位弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起？　口唇部押圧状刻み目列
66-4	SM60	NQ37	RP219	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列　肩部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目列　一部突起状
66-5	SM60	NP38 南北畦	RP117	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位左端口端部に連結する横位沈線上位刻み目列断続　口縁部下位横位沈線間刻み目列　体部上位Ｃ字状沈線内刻み目　口縁部～体部上位ナデ　体部中位LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
66-6	SM60	NQ38	RP279	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部横位沈線間刻み目列３段　ミガキ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部横位ミガキ　体部ナデ　体部炭化物付着	
66-7	SM60	NR37	RP240	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　肩部横位沈線間横位刺突列２段　体部LR縄文横位回転　体部上位下閉じ連弧状沈線　体部上半被熱痕	口縁部～底部横位ナデ　体部上半炭化物付着	口唇部正面３頭に分かれる小山形突起
66-8	SM60	NQ36		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端刻み目列　口縁部中位～体部上位右傾羊歯状文２段　口縁部～体部上位ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　炭化物付着	口唇部丸み　小Ｂ突起
66-9	SM60	NO37	RP58	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間横位短沈線充填２段　体部LR縄文横位回転　体部上位連弧状沈線　体部下端～底部ヘラミガキ　口縁部～体部炭化物付着	横位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
66-10	SM60	NQ36	RP144	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部刻み目列　肩部Ｃ字文　肩部体部境界刻み目列　体部上位～中位LR縄文附加条R横位回転　体部下位横位沈線２条	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部２個１組小Ｂ突起巡る　使用痕不明

第23表　土器・土製品一覧(12)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
66-11	SM60	NQ36	RP150	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上半下閉じ連弧状沈線　口縁部下半横位刺突充填　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文斜位～縦位回転　底部ナデ	口縁部～体部上半横位ケズリ　体部下半縦位ケズリ　底部ナデ	口縁部外反　口唇部刻み目列　使用痕不明
66-12	SM60	NR36	RP191	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位刺突列　体部上半横位沈線間押位置短沈線充填２段　体部中位LR縄文横位回転　体部下位LR縄文斜位回転　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部小Ｂ突起巡る　突起間刻み目列
66-13	SM60	NR36	RP125	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部下半横位沈線間刺突列　体部LR縄文横位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
66-14	SM60	NS37	RP89	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部下端横位沈線２条　沈線間２本１組対向する縦位弧状沈線　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ	口唇部２個１組？Ｂ突起　突起間刻み目列
67-1	SM60	NR37杭	RP15		大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部Ｘ字文　口縁部頸部境界横位隆線２条　隆線上Ｂ突起・弧状沈線正面縦位Ｂ突起　体部渦巻文・四角文　赤彩	口縁部上端肥厚　横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
67-2	SM60	NR37	RP268・270・280・282	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位弧状沈線・横位短沈線　口縁部中位～下位Ｃ字文　口縁部体部境界右傾羊歯状文加えた横位隆線１条　体部Ｃ字文　口縁部～底部赤彩	口縁部上位横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ　口縁部～底部赤彩	口唇部丸み　使用痕不明
67-3	SM60	NR36	RP259	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位末端二叉に分かれたクランク状沈線巡る　口縁部中位Ｃ字文　口縁部下位刻み目加えた横位隆線１条　口縁部体部境界末端二叉に分かれたクランク状沈線加えた横位隆線１条　正面隆線間縦位突起付く　体部横位連続Ｃ字文・三角文　口縁部～体部赤彩	口縁部浅い沈線状くぼみ巡る　口縁部～体部ミガキ　口縁部～体部赤彩	口唇部丸み　使用痕不明
67-4	SM60	NP38	RP108	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右傾羊歯状文(上下交互刻み目列)　正面縦位瘤状突起　体部上位～中位Ｋ字文　LR縄文充填後ナデ　体部下位～底部ミガキ	口縁部～体部中位ミガキ　体部下位～底部ナデ	正面口唇部内側隆線で結合したＢ突起３個？　使用痕不明
67-5	SM60	NR37	RP296	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　頸部LR縄文横位回転後Ｋ字文　体部LR縄文横位回転　横位沈線２条　横位Ｂ突起１個　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ヘラミガキ	口唇部隆線連結したＢ突起２個　使用痕不明
67-6	SM60	NP38	RP95	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～肩部横位沈線間刻み目列３段　肩部縦位Ｂ突起６か所　体部上半LR縄文横位回転後Ｋ字文　体部下半横位沈線１条　口縁部～底部ヘラミガキ　体部被熱による剥落痕	口縁部～肩部横位ヘラミガキ　体部上半縦位ヘラミガキ　体部下半～底部横位ヘラミガキ　体部～底部被熱による剥落痕	口唇部小Ｂ突起６か所
68-1	SM60	NP38		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～頸部右傾羊歯状文２段　LR縄文横位回転後Ｃ字文	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部小Ｂ突起巡る　使用痕不明
68-2	SM60	NQ38	RP99	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右傾羊歯状文２段　肩部LR縄文横位回転後下閉じ・上閉じ弧状沈線内刻み目充填　刻み目ある縦位瘤状突起４個　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ　体部被熱による剥落痕	口唇部正面内側に弧状隆線で連結したＢ突起２個
68-3	SM60	NQ37	RP262	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位沈線間刻み目列　口縁部中位Ｋ字文　口縁部下端横位沈線３条　頸部無文　体部上～に刻み目充填したＸ字文　底部中央環状沈線　口縁部～底部ヘラミガキ　頸部黒色物質付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　頸部黒色物質付着	口唇部丸み　口唇部正面に基部に沈線加えたＢ突起２個
68-4	SM60	NP38 南北畦	RP49	クロ３ クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部入組三叉文　体部上位右傾羊歯状文　体部中位Ｃ字文　LR縄文充填　体部下位刻み目列	口縁部～体部ナデ	小Ｂ突起巡る　突起間刻み目　使用痕不明
68-5	SM60	NP37	RP19	クロ１	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部四角文　体部Ｋ字文　正面体部下端縦位Ｂ突起　底部中央環状沈線	口縁部～底部ミガキ	正面口唇部B突起２個？　使用痕不明
68-6	SM60	NQ36	RP85	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	体部～底部	体部下位右傾羊歯状文　体部～底部ミガキ　赤彩	体部～底部ミガキ　赤彩	使用痕不明
68-7	SM60	NQ36		クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端からの交互弧状刻み目による波状文　体部上端横位沈線２条　口縁部～体部ミガキ　赤彩	口縁部上位浅い横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　赤彩	口唇部丸み　使用痕不明
68-8	SM60	NR36	RP160	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	体部上位雲形文　底部横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部ミガキ　体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ　口縁部～底部赤彩	口唇部外側Ｂ突起列　口唇部三角形刺突　使用痕不明
68-9	SM60	NR36	RP188	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～肩部下閉じ連弧状沈線・横位沈線２段　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　一部に刻み目加えた低突起？　使用痕不明
68-10	SM60	NS37	RP68	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部？～底部	口縁部上位横位沈縁１条　肩部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部中央ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部摩滅　使用痕不明
68-11	SM60	NR35	RP57	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部体部境界横位沈線２条　口縁部体部横位ヘラミガキ　底部円形ケズリ後ナデ　口縁部～底部赤彩	口縁部～底部ナデ　赤彩	口唇部平坦　使用痕不明
68-12	SM60	NQ36	RP153	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ	口縁部上位横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	使用痕不明
68-13	SM60	NR35	RP9	クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み　使用痕不明
68-14	SM60	NQ37	RP92	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部～底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
68-15	SM60	NQ37	RP96	クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部環状沈線脚状突起４か所　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～体部横位ケズリ後ヘラミガキ　底部ミガキ　口縁部～底部赤彩	口唇部丸み　使用痕不明
69-1	SM60	NR37		クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部上位縦位刻み目加えた弧状隆線　隆線右横弧状沈線　隆線左右両脇粘土瘤貼り付け　口縁部下位横位隆線１条　隆線上押圧状刺突	口縁部上端突起基部連弧状沈線　口縁部横位ヘラミガキ	口唇部突起剥落　使用痕不明
69-2	SM60	NP37 NR37	RP98 RP313	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各１条　沈線間入り組む横位Ｖ字状沈線・Ｃ字状沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起　突起間刻み目列
69-3	SM60	NR38	RP78	クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各１条　沈線間不整矢羽根状沈線　一部刺突充填　体部LR縄文横位回転	口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部平坦　口唇部３個１組刻み目　使用痕不明
69-4	SM60	NQ37		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間波状沈線２段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ナデ	口唇部刻み目　使用痕不明

第24表　土器・土製品一覧(13)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
69-5	SM60	NS36	RP43	クロ３	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各２条　沈線間入組状沈線　沈線下刺突充填　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
69-6	SM60	NQ36	RP97	クロ２	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位刺突列　口縁部横位沈線間下閉じ弧状沈線・横位～縦位刺突　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部小山形突起付く　口唇部刻み目列
69-7	SM60	NS37		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部上端横位沈線１条　口縁部２本１組クランク状沈線	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列　一部低突起状
69-8	SM60	NR36		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部３本１組下閉じ連弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間小刻み目列　体部LR縄文？横位回転	口縁部～体部ナデ	頂部に刻み目加えた小波状口縁　使用痕不明
69-9	SM60	NR37	RP268	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線１条　口縁部中位横位Ｓ字状沈線　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部外側瘤状突起列　突起～口唇部弧状沈線加える　使用痕不明
69-10	SM60	NQ36	RP167	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部上位横位沈線１条　口縁部中位沈線に連結する２本１組の下閉じ連弧状沈線　口縁部下位渦巻き状沈線・入組文？	口縁部ナデ	口唇部頂部に刻み目２個加えた小突起　使用痕不明
69-11	SM60	NO36 NO37		クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部中位入組三叉文　口縁部下位横位沈線２条	口縁部横位ナデ	連状口縁　使用痕不明
69-12	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位平行クランク状沈線・弧状沈線　沈線下横位刺突　口縁部体部境界横位沈線間横位刺突列　体部摩滅	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部刻み目列
69-13	SM60	NR37	RP204	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部連弧状沈線・横位Ｓ字状沈線・楕円形沈線不整充填　体部RL縄文横位回転　口縁部下位～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
69-14	SM60	NR37杭	RP25		大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位Ｓ字状沈線　口縁部体部境界横位沈線１条　体部RL縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列による小波状口縁
69-15	SM60	NP37 南北畦		クロ２	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整入組状沈線？　体部上端横位沈線３条　上位沈線間刻み目列　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目列
69-16	SM60	NR37	RP270	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ　２本１組横位Ｓ字状・弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間小刺突列断続　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部２個１組刻み目
70-1	SM60	NQ38	RP314	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整弧状沈線巡る　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部小弧状抉りによる小波状口縁　台付か
70-2	SM60	NP37 南北畦		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部不整横位Ｓ字状沈線	口縁部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
70-3	SM60	NR36	RP168	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整Ｃ字状・渦巻き状沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-4	SM60	NR36	RP263	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部中下位不整Ｃ字状沈線	口縁部横位ケズリ	波状口縁　口唇部平坦　使用痕不明
70-5	SM60	NR35	RP120	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ　上下位２本１組不整横位Ｓ字状沈線　一部弧状沈線充填　体部LR縄文横位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部Ｂ突起状刻み目列
70-6	SM60	NR37	RP318	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部ナデ後不整弧状沈線　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	使用痕不明
70-7	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部中位～体部不整波状・Ｃ字状細沈線	口縁部上端口唇部瘤状突起間瘤状突起　口縁部～体部ミガキ	口唇部２個１組瘤状突起　使用痕不明
70-8	SM60	NS37	RP67	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部不整渦巻状細沈線	口縁部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-9	SM60	NQ37		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部中位～体部２本１組波状沈線２段	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-10	SM60	NO38	RP33	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部	口縁部２本１組下閉じ弧状沈線	口縁部ナデ	小波状口縁　使用痕不明
70-11	SM60	NP37 南北畦		クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部下位横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文斜位回転	口縁部ミガキ	連状口縁　使用痕不明
70-12	SM60	NO36		クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部外側に短沈線沿わせた下閉じ連弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部丸み　連状口縁
70-13	SM60	NP37		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部２本１組下閉じ連弧状沈線　一部弧状沈線加える　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部不整ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
70-14	SM60	NR37	RP334	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位上閉じ連弧状沈線　口縁部中位横位沈線間横位短沈線充填　口縁部下位下閉じ連弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線２条　体部ナデ	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-15	SM60	NP37 南北畦	RP26	クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部	口縁部LR縄文横位回転　口縁部上位波頂部下両側に弧状沈線加えたＣ字状沈線　口縁部中下位対向する下閉じ・上閉じ平行弧状沈線間刻み目充填	口縁部ナデ　炭化物付着	口唇部低山形突起
70-16	SM60	NP37	RP107	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部	口縁部上端下閉じ連弧状沈線　口縁部２本１組末端渦巻く横位Ｃ字状沈線　口縁部下端横位沈線２条	口縁部横位ヘラナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-17	SM60	NQ38	RP7	クロ１	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部不整弧状・Ｓ字状浅い沈線	口縁部～体部ナデ	低連状口縁　使用痕不明
70-18	SM60	NR37	RP173	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部斜位ケズリ後ナデ　口縁部不整Ｃ字状・弧状沈線	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-19	SM60	NS36	RP64	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部不整入組状・弧状沈線　底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラナデ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-20	SM60	NO38		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部ナデ後不整Ｓ字状・弧状細沈線	横位ヘラナデ	口唇部丸み　使用痕不明
70-21	SM60	NP38		クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～肩部不整Ｃ字・弧状細沈線　底部不整渦巻・弧状細沈線　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
71-1	SM60	NP37		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位刻み目列　口縁部中位Ｃ字文　口縁部下位刻み目列　体部Ｋ字文　LR縄文充填	口縁部～体部ミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
71-2	SM60	NR37	RP313	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端左端閉じる横位短沈線上位刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部上位～中位大腿骨文　LR縄文充填　口縁部～体部ヘラミガキ　口縁部～体部被熱による剥落	口縁部～底部ミガキ	口唇部刻み目列

第25表　土器・土製品一覧(14)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
71-3	SM60	NQ36	RP86	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位断続沈線上位刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線２条　口縁部～体部ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
71-4	SM60	NQ37	RP275	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端左端上閉じ横位沈線上位刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部LR縄文・RL縄文横位回転　体部下端横位沈線　体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列　刻み目２個ごとに内面側に弧状沈線巡らす
71-5	SM60	NQ38	RP128	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部両端が閉じる横位平行沈線間刻み目列　口縁部下端横位沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転　口縁部～底部ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
71-6	SM60	NP37	RP103	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
71-7	SM60	NP36		クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　体部RL縄文横位回転　炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部基部外面側に刻み加えたＢ突起列
71-8	SM60	NQ38	RP324	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端刻み目列　口縁部～肩部左傾羊歯状文　体部上端横位沈線間刻み目列　口縁部～体部上端ミガキ　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線間刻み目列　体部下半ミガキ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～肩部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部刻み目列
71-9	SM60	NQ37	RP115	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上半弧状刻み目列断続　口縁部下半横位沈線間横位短沈線充填　体部LR縄文横位回転　体部下端横位ヘラナデ　底部ナデ	摩滅	口唇部刻み目列　使用痕不明
71-10	SM60	NQ38	RP298	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端LR縄文横位回転　口縁部横位沈線間刺突列２段　体部LR縄文横位回転　末端渦巻く四角文・Ｃ字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部Ｂ突起列　使用痕不明
71-11	SM60	NR36	RP189	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位横位沈線間横位刺突列２段　体部～底部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部小Ｂ突起２個１組５か所　底部丸底　使用痕不明
71-12	SM60	NQ38	RP138	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　横位沈線間刻み目列２段　体部上位不整下閉じ連弧状細沈線列２条　底部ナデ　口縁部～体部上半被熱痕	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口縁端部僅かに外反　口唇部刻み目列
71-13	SM60	NP38 南北畦	RP168	Ⅱb	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端刻み目列　口縁部中位横位沈線間刻み目列　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線１条　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部斜め刻み目列使用痕不明
71-14	SM60	NR36	RP262・263	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部上位～中位縦位沈線間刻み目列・Ｘ字文　LR縄文充填　体部下端横位沈線２条　口縁部～底部ヘラミガキ　口縁部炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部縦位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部～口縁端部外側刻み目列
72-1	SM60	NQ37	RP190	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端左端上閉じ横位沈線上位刻み目列　口縁部中位弧状沈線充填体部LR縄文横位回転後末端菱形文加えた入組文・弧状沈線　体部下位横位沈線間刻み目列　口縁部～体部ミガキ　体部上位炭化物付着	口縁部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
72-2	SM60	NQ38	RP95	クロ４	大洞BC式？	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位弧状沈線列　口縁部中位横位沈線間刻み目列　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
72-3	SM60	NQ38	RP298	クロ４	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位口唇部Ｂ突起から弧状沈線　口縁部中位横位沈線間刻み目列体部横位ケズリ　体部下半炭化物付着	口縁部～体部横位ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
72-4	SM60	NR36	RP182	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半被熱痕　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列　刻み目１～２個おきに口縁端部外側まで弧状に巡る
72-5	SM60	NQ38	RP73	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位斜位沈線上位刻み目列　口縁部下位横位沈線間刻み目充填２段　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部内傾　弧状刻み目巡らす
72-6	SM60	NQ36	RP158	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端左端口唇部刻み目に連結する横位沈線　口縁部横位沈線間刻み目充填　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
72-7	SM60	NQ38	RP158	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　上位沈線と左端上閉じ横位沈線間刻み目列　体部上位LR縄文横位回転　体部中位RL縄文横位回転　底部円形沈線　口縁部～底部ヘラミガキ　口縁部～体部被熱痕	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
72-8	SM60	NR37	RP272	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部上位～中位LR縄文・RL縄文横位回転　L・R結節横位回転　口縁部～底部ヘラミガキ　口縁部～体部上半被熱痕	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半縦位ヘラミガキ　底部横位ヘラミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
72-9	SM60	NP37	RP92	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目充填　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～体部ミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部ほぼ平坦　使用痕不明
72-10	SM60	NQ37	RP210	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線６条　上半沈線間刻み目列３段　体部LR縄文横位回転　底部ヘラミガキ　口縁部～体部被熱痕・炭化物付着	口縁部～底部ミガキ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
72-11	SM60	NQ36	RP187	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線４条　刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部上位被熱痕	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
72-12	SM60	NR37	RP335	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２条　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部横位ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部刻み目列
72-13	SM60	NQ35	RP121	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　口縁部中下位横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列

第26表　土器・土製品一覧（15）

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
72-14	SM60	NQ36		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端突起直下下閉じ連弧状沈線　口縁部上位横位弧状沈線　口縁部中位横位沈線間刻み目列　口縁部体部境界横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ　炭化物付着	口唇部Ｂ突起
72-15	SM60	NR38	RP89	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転　体部下位横位沈線２条　体部下端・底部中央ミガキ	口縁部～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
72-16	SM60	NQ38		クロ４	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～体部上半ミガキ　体部下半～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
73-1	SM60	NQ37	RP304	クロ４	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部LR縄文横走　体部下端横位ヘラナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部僅かに丸み　底部剥れアスファルト補修　使用痕不明
73-2	SM60	NQ38	RP20	クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文縦走　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位～斜位ケズリ　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
73-3	SM60	NS37	RP86	クロ４	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部不整横位沈線３条　体部RL縄文横位～斜位回転　底部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ　体部中位炭化物付着	口唇部浅い刻み目列
73-4	SM60	NS37	RP86	クロ４	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整横位沈線２条　体部RL縄文横位回転　炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
73-5	SM60	NS37	RP50	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部RL縄文縦走　底部ナデ　口縁部～体部中位炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
73-6	SM60	NP38 南北畦	RP33	クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文縦走	口縁部～体部ミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
73-7	SM60	NQ38	RP71	クロ３	大洞C1式？	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　口縁部体部境界Ｂ突起　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口縁部内折　口唇部Ｂ突起列巡る　突起間刻み目充填　使用痕不明
73-8	SM60	NP38 南北畦		クロ２	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位扁平渦巻状・同心円状沈線２段　体部RL縄文縦走　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部小刻み目列
73-9	SM60	NO36 NO37		クロ４	不明	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部中位対向する横長楕円形区画沈線内横位沈線２条充填　口縁部下位山形状斜位沈線３条　体部RL縄文縦走	口縁部～体部ナデ	甕形土器か　大洞A'式以降　使用痕不明
74-1	SM60	NQ38	RP86	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部RL縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
74-2	SM60	NS36	RP42	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部RL縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部横位ケズリ	口唇部丸み　使用痕不明
74-3	SM60	NR35	RP77	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部上半L縄文横位回転　体部下半L縄文斜位回転　底部ケズリ	口縁部～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
74-4	SM60	NS37	RP116	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部正面片口　口縁部～体部中位LR縄文横位回転　体部下位横位ヘラナデ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部僅かに丸み
74-5	SM60	NN38	RP14	Ⅱb	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位～斜位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	
74-6	SM60	NS37	RP112	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部横位ヘラナデ　口縁部炭化物付着	口唇部丸み
74-7	SM60	NS36	RP36	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部RL縄文横位回転　底部ナデ　体部上半炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラナデ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
74-8	SM60	NQ37		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部平坦
74-9	SM60	NR37	RP281	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
74-10	SM60	NS36	RP64	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端ミガキ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ミガキ	口唇部平坦
75-1	SM60	NS36	RP30	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部RL縄文横位回転　体部下端横位ケズリ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部浅い刻み目巡る
75-2	SM60	NQ37	RP214・300	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
75-3	SM60	NS37	RP114	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端ナデ　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
75-4	SM60	NS37	RP65	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口唇部丸み
75-5	SM60	NR35	RP117	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部正面頂部３頭に分かれる山形突起　口唇部丸み　使用痕不明
75-6	SM60	NQ36	RP121	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転　体部LR縄文斜位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
75-7	SM60	NQ36	RP185	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部RL縄文斜位回転　体部下端横位ヘラナデ　底部ナデ	口縁部～体部横位ナデ　底部ナデ	口唇部僅かに丸み　使用痕不明
75-8	SM60	NQ37	RP45	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部RL縄文横位回転　体部下端横位ナデ　底部ナデ　体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部ほぼ平坦
75-9	SM60	NP36	RP113	クロ４	大洞B2式？	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文斜位～縦位回転　底部ナデ　口縁部～体部片側炭化物付着	口縁部～底部ナデ　口縁部片側炭化物付着	口唇部平坦　上面楕円形
75-10	SM60	NQ38	RP64	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　体部下端横位ケズリ　底部ナデ　口縁部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
75-11	SM60	NQ38	RP301	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位～斜位回転　底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　体部～底部炭化物付着	口唇部丸み
75-12	SM60	NR36	RP187	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
75-13	SM60	NQ37	RP62	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ　口縁部～体部上位炭化物付着	口唇部刻み目列
75-14	SM60	NR37	RP165	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LL縄文？横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
76-1	SM60	NR36	RP261	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	使用痕不明
76-2	SM60	NP36		クロ１	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部不整ナデ	口縁部～底部不整ナデ	器形いびつ　使用痕不明
76-3	SM60	NR36	RP224	クロ１	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラナデ　体部縦位ヘラナデ　底部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ミガキ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
76-4	SM60	NR37	RP274	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位～縦位ヘラナデ　体部～底部不整横位沈線状調整痕	口縁部～体部上半横位ヘラナデ　体部下半～底部ナデ	口縁部内側への押圧により注ぎ口状に整形　口唇部丸み　使用痕不明

第27表　土器・土製品一覧(16)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
76-5	SM60	NS36	RP52・70	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部横位～斜位ナテ　底部ナデ	口縁部横位ナデ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
76-6	SM60	NS37	RP92	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ　口縁部粘土紐接合痕残る	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
76-7	SM60	NQ37	RP318	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
76-8	SM60	NR37	RP185	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位～斜位ケズリ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口縁部上面楕円形　口唇部平坦　使用痕不明
76-9	SM60	NR38	RP71	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ヘラナデ　底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラナデ　底部ナデ	使用痕不明
76-10	SM60	NR35	RP183	クロ１	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ　口縁部不整沈線状調整痕残る	口縁部～底部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部丸み
76-11	SM60	NQ38	RP295	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ　体部不整沈線状調整痕残る　体部炭化物付着	口縁部横位ケズリ　体部～底部ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部頂部２頭に分かれた山形突起列
76-12	SM60	NR37	RP253	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部摩滅	口縁部～底部ナデ	使用痕不明
77-1	SM60	NR36	RP215	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ　体部下半被熱痕	口縁部横位ケズリ　体部ミガキ　底部ナデ	
77-2	SM60	NQ37	RP217	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部不整ナデ　口縁部～体部上半炭化物付着	口縁部～底部不整ナデ　接合痕残る　口縁部～体部上半炭化物付着	口唇部丸み
77-3	SM60	NP37	RP58	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～底部ミガキ	口唇部平坦　使用痕不明
77-4	SM60	NR36	RP204	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部中位縦位ナデ　体部下位横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部横位ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-5	SM60	NR38杭	RP4		縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み　使用痕不明
77-6	SM60	NR37	RP302	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	使用痕不明
77-7	SM60	NQ35	RP157	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-8	SM60	NR35	RP77	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部横位沈線１条　使用痕不明
77-9	SM60	NR38	RP53	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部押圧状刻み目列　使用痕不明
77-10	SM60	NQ35	RP86	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部指オサエ後ミガキ	口縁部～底部ミガキ　口縁部指オサエ痕残る	口唇部不整凹凸　使用痕不明
77-11	SM60	NQ35	RP108	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部斜位ヘラナデ　底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラナデ～ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部丸み　使用痕不明
77-12	SM60	NR36	RP101	クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部指オサエ後ナデ　底部ナデ	口縁部～底部指オサエ後横位ヘラナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-13	SM60	NP37		クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部指オサエ後ナデ　底部ナデ	口縁部～体部横位ケズリ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-14	SM60	NQ38	RP115	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部斜位ケズリ　底部ナデ	使用痕不明
77-15	SM60	NP38		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-16	SM60	NR37	RP270	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ナデ　底部ナデ	口縁部～体部横位ナデ　底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
77-17	SM60	NQ37	RP83	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
78-1	SM60	NP38	RP114	クロ３	大洞B2式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　体部上半末端弧状沈線加えた右傾クランク状平行沈線　体部下半LR縄文横位～斜位回転　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部２個１組Ｂ突起列
78-2	SM60	NQ38	RP282	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部入組三叉文　肩部弧状沈線加えた不整入組三叉状沈線　口縁部～肩部ミガキ　体部LR縄文横位回転　台部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
78-3	SM60	NP38	RP123	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部上位～中位LR縄文横位回転　体部下位横位沈線２条　台部上位刻み目加えた隆線１条　台部中位円形・三角形透かし　Ｃ字状沈線　台部下位横位沈線１条下LR縄文横位回転　口縁部～台部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ミガキ　口縁部炭化物付着	口唇部～口縁端部外側弧状沈線加えB突起列表出
78-4	SM60	NQ38	RP315	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口頸部右傾羊歯状文　体部上半渦巻文　体部下半LR縄文横位回転　台部中位横位沈線１条　台部下半LR縄文横位回転　口縁部～台部ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
78-5	SM60	NR38杭			大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上位刻み目列　口縁部中位～下位右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　体部下端横位沈線１条　台部上位縦位刻み目加えた横位隆線１条　台部中位透かし加えた三叉状沈線　台部下位刻み目列	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
78-6	SM60	NQ36	RP189	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口頸部上下端横位沈線間刻み目列　口縁部中位左傾羊歯状文　体部正面横位刻み目ある瘤状突起　体部LR縄文横位回転　体部下端横位沈線・刻み目列	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部丸み　口唇部正面弧状隆線で連結したＢ突起２個　両脇に小Ｂ突起各１個　口唇部横位刻み目５か所　台付か
78-7	SM60	NP36	RP17・47・48	クロ１	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位・下位横位平行沈線間刻み目列各１段　口縁部中位左傾羊歯状文　正面体部上位横位刻み目ある瘤状突起１個　体部LR縄文横位回転　体部下端横位沈線・刻み目	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部丸み　口唇部弧状隆線結合したＢ突起２個　小Ｂ突起７個？　台付か
78-8	SM60	NQ36	RP83	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端横位沈線上位刻み目列　口縁部左傾羊歯状文　口縁部下端横位沈線間刻み目列　口縁部胴部境界瘤状小突起　突起間横位沈線１条　体部LR縄文横位～斜位回転	口縁部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ	口唇部刻み目列　台付
78-9	SM60	NO36	RP15	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　口縁部～台部ヘラミガキ	口縁部～底部ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起６か所
78-10	SM60	NR38	RP84	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～台部	肩部横位沈線間横位Ｓ字状沈線　Ｓ字状沈線上下位交互に刻み目列　肩部正面縦位Ｂ突起　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　台部弧状沈線　透かし穴	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部横位断続沈線１条　正面２個１組小突起
79-1	SM60	NQ35	RP94・117・148	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端左上がり横位断続沈線上位刻み目列　口縁部右傾羊歯状文　体部上半右傾羊歯状文上下２段　羊歯状文間Ｋ字文　体部下半LR縄文横位回転　体部下位環状沈線２重　体部下端刻み目列	口縁部～底部ミガキ	口唇部肥厚内傾　口唇部外側と内側にＢ突起数箇所　口唇部羊歯状文　台付か

第28表　土器・土製品一覧(17)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
79-2	SM60	NQ36	RP141	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上下端横位平行沈線間刻み目列　口縁部下端正面縦位Ｂ突起　口縁部中位Ｘ字文　体部上半Ｃ字文　体部下半LR縄文横位回転　台部上半左傾羊歯状文　台部下半Ｘ字文　透かし穴	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　正面口唇部小瘤付き弧状隆線で連結したＢ突起４個
79-3	SM60	NQ36	RP167	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部LR縄文横位回転後Ｃ字文　正面縦位Ｂ突起　体部摩滅　台部LR縄文横位回転　Ｃ字文２段　口縁部～台部ミガキ　赤彩	口縁部～底部摩滅　口縁部～底部赤彩僅かに残る	口唇部隆線で連結するＢ突起１対
79-4	SM60	NR38	RP72･103	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線１条　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　台部横位ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口縁端部肥厚　外側弧状沈線加えＢ突起列表出　内側刻み目列加えた隆線状　使用痕不明
80-1	SM60	NS36	RP96	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～体部摩滅　赤彩か	口唇部肥厚　三角形沈線・弧状沈線でＢ突起列表出
80-2	SM60	NN38	RP15	Ⅱb	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部雲形文　摩滅著しい	口縁部上端刻み目列加えた横位隆線１条　口縁部～底部ナデ　底部中央くぼむ	口唇部外側弧状沈線加えたＢ突起列
80-3	SM60	NQ36	RP184	クロ３	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部中位Ｃ字状沈線・四角文　口縁部下位４か所？で下方に山形に突出する横位沈線１条　台部中位上下に沈線沿わせた横位隆線１条　口縁部～台部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	
80-4	SM60	NO38		クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部弧状沈線加えた入組状横位沈線　三角形・渦巻状沈線加えた横位突起４か所　台部上端横位隆線上刻み目列　台部三角形透かし穴・弧状沈線垂下　口縁部～台部ミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	
80-5	SM60	NQ36	RP67	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線２条　正面突起剥落か　台部上下端横位沈線各２条　口縁部～台部横位ヘラミガキ　赤彩僅かに残る	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部丸み　口唇部突起３個　正面突起上面刻み目
80-6	SM60	NO37	RP37	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線２条　両端閉じる横位平行沈線列　体部～台部無文　口縁部～台部ヘラナデ	口縁部～底部ヘラナデ	口唇部正面Ｂ突起２個　体部上位補修孔
80-7	SM60	NR37	RP308	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線２条　体部台部境界クランク状沈線　台部下位横位沈線１条　口縁部～台部ヘラミガキ　赤彩	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部・台部ヘラミガキ　赤彩	口唇部２個１組低Ｂ突起５か所？
81-1	SM60	NQ38	RP158	クロ４	大洞B2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間入組三叉文　体部LR縄文横位回転　底部円形沈線	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
81-2	SM60	NQ38	RP119	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目加えた不整三叉状沈線　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
81-3	SM60	NQ37	RP236	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上下に刻み目充填したＫ字文　口縁部体部境界横位沈線２条　体部刻み目充填した弧状沈線　底部円形沈線２重	口縁部～体部横位ヘラミガキ　口縁部上端横位沈線１条　底部ナデ	口唇部丸み
81-4	SM60	NQ38	RP113	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　肩部四角文　体部上位横位沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転後大腿骨文　体部下端横位沈線間刻み目列　口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部丸み　Ｂ突起２個１対４か所？
81-5	SM60	NQ38	RP297	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部上半Ｃ字文　口縁部～体部上半ミガキ　体部下半LR縄文横位回転体部下端横位沈線	口縁部～体部ミガキ	口唇部正面Ｂ突起２個
81-6	SM60	NQ38	RP132	クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	頸部～底部	頸部横位沈線上位刺突列　肩部横位沈線間刺突列　体部LR縄文横位回転体部下端横位沈線１条　底部横位沈線１条　頸部～底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	使用痕不明
81-7	SM60	NQ37	RP264	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線上位斜位刻み目列　口縁部下位横位沈線間刻み目列　体部上半LR縄文横位回転後入組文　体部下半LR縄文縦位回転　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部小Ｂ突起　口唇部刻み目列
81-8	SM60	NQ37	RP94	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端刻み目列　口縁部左傾羊歯状文・Ｋ字文　LR縄文充填　体部下端横位沈線間刻み目列　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部基部外面に弧状沈線加えた小Ｂ突起２個　口唇部刻み目列
81-9	SM60	NQ35	RP151	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　底部ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ	口唇部小Ｂ突起
81-10	SM60	NQ38	RP296	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　肩部左傾羊歯状文　肩部一部に瘤状突起？　口縁部～肩部ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　底部横位沈線１条　底部内面からの押圧により脚状突起４か所　底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部刻み目列　一部小Ｂ突起
81-11	SM60	NQ36	RP76	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	肩部横位沈線間右傾クランク状沈線　沈線上下に交互刻み目列　体部上半LR縄文横位回転後Ｋ字文　体部下半LR縄文横位回転　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～肩部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部正面小Ｂ突起２個　口唇部刻み目列
81-12	SM60	NP36 南北畦		クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部	口縁部上端横位沈線間斜位刻み目列　口縁部LR縄文横位回転後横位沈線区画内ミガキ　口縁部下端横位沈線間刻み目列	口縁部上端横位沈線１条　口縁部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起列
81-13	SM60	NS37		クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部Ｘ字文　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～体部ミガキ　赤色顔料僅かに残る	口縁部上位横位隆線１条　隆線上面Ｂ突起　突起間刻み目列　口縁部～体部ミガキ　赤色顔料僅かに残る	口唇部Ｂ突起列
81-14	SM60	NO37		クロ１	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部	口縁部上位玉抱き三叉文状横位沈線　口縁部中下位Ｘ字文　口縁部体部境界横位隆線１条　隆線上面右傾羊歯状文　口縁部ミガキ	口縁部上位横位沈線１条　口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	
81-15	SM60	NQ36	RP82	クロ２	大洞C１式	浅鉢形土器	頸部～底部	頸部横位沈線間刻み目列　縦位Ｂ突起　体部雲形文　底部中央くぼむ　頸部～底部ミガキ	頸部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	
81-16	SM60	NP38		クロ２	大洞C１式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部渦巻状沈線　体部～底部雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ	
82-1	SM60	NP37		クロ３	大洞B2式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上下端横位沈線各２条　沈線間入組三叉文　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部丸み　小Ｂ突起

第29表　土器・土製品一覧(18)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
82-2	SM60	NP37	RP96・97	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　口縁部中位～下位横位沈線６条　沈線間刻み目２段　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部平坦　口唇部小形Ｂ突起５か所？
82-3	SM60	NP37	RP89	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部円形沈線１条	口縁部～底部横位ヘラミガキ	正面口唇部内側隆線で結合した２個１組Ｂ突起　周囲口唇部小Ｂ突起列？
82-4	SM60	NQ37	RP121	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線５条　沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　底部LR縄文斜位回転	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部基部に弧状沈線加えるＢ突起12個前後
82-5	SM60	NQ37	RP232	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起列
82-6	SM60	NP37	RP60	クロ３	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位LR縄文横位回転　正面Ｂ突起下弧状沈線　口縁部中位～下位横位沈線間刺突列２段　体部LR縄文横位回転　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	正面口唇部Ｂ突起４個　周囲口唇部２個刻み目加えた突起列？
82-7	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部小Ｂ突起　口唇部平坦
82-8	SM60	NP38 南北畦	RP48	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位平行沈線３条　上位２条の沈線間に斜位刻み目列　体部～底部横位ヘラミガキ　底部中央環状沈線　脚状突起２か所残る	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部平坦　口唇部Ｂ突起２個残る
82-9	SM60	NP37		クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部～底部ナデ　赤彩僅かに残る	口唇部正面Ｂ突起３個？
82-10	SM60	NP36	RP76	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起列
82-11	SM60	NQ38	RP113	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	正面口唇部弧状隆線で連結したＢ突起２個　両側に小Ｂ突起各１個
82-12	SM60	NQ37	RP217・236	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　底部円形沈線２重	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部丸み　口唇部Ｂ突起８か所？　正面Ｂ突起は２個１組
82-13	SM60	NO37	RP54	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部平坦
82-14	SM60	NP36	RP56	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部平坦　小Ｂ突起
82-15	SM60	NQ38	RP313	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～肩部左傾羊歯状文　ミガキ　体部LR縄文横位回転　底部横位沈線２条　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部小Ｂ突起付く　口唇部刻み目列
83-1	SM60	NR37	RP292	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右傾羊歯状文　体部不整左傾羊歯状文　底部円形沈線　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部正面２個１組Ｂ突起
83-2	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　体部上半Ｃ字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部２個１組小Ｂ突起６か所？　口唇部丸み
83-3	SM60	NQ38	RP297	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左端上閉じ横位沈線間刻み目列　体部RL縄文刻み目加えた入組文　口縁部～体部ミガキ　底部ナデ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口唇部ほぼ平坦　口唇部正面低突起２か所
83-4	SM60	NP37 南北畦	RP163	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部Ｋ字文　LR縄文充填	口縁部～底部ヘラミガキ	正面口唇部Ｂ突起６個？
83-5	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後Ｘ字文　底部中央小円形沈線　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部平坦　Ｂ突起３個
83-6	SM60	NQ37 NP37	 RP100	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文斜位回転・Ｋ字文　ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	
83-7	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部平坦
83-8	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部Ｋ字状文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部基部沈線加えたＢ突起２個１組１か所
83-9	SM60	NR38	RP297	クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　口縁部～底部摩滅	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部平坦
83-10	SM60	NR37杭	RP25		大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転後大腿骨文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起　口唇部沈線１条巡る　口唇部外側刻み目列
84-1	SM60	NR37	RP115・319・320	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　体部大腿骨文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部Ｂ突起
84-2	SM60	NQ38	RP327	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　体部RL縄文横位回転後大腿骨文　体部底部境界横位沈線間刻み目列　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部丸み
84-3	SM60	NQ37	RP162	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間左傾沈線　沈線上下交互刻み目列　体部LR縄文横位回転　体部上半Ｋ字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部上端肥厚　肥厚部直下横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　赤色顔料僅かに残る	口唇部Ｂ突起　突起谷部から口唇部内面側横位沈線１条　突起間刻み目列
84-4	SM60	NR38	RP89	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部大腿骨文　LR縄文充填　底部円形沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
84-5	SM60	NQ38	RP88	クロ３	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線上位刻み目　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部丸み
84-6	SM60	NR37	RP275	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右傾羊歯状文　正面縦位Ｂ突起　体部RL縄文横位回転　体部上半雲形文　底部くぼむ　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部丸み　正面Ｂ突起２個
84-7	SM60	NR37	RP260	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部左端閉じる平行沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転後大腿骨文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部丸み
84-8	SM60	NQ38		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間斜位刻み目列　体部LR縄文横位回転・Ｋ字状文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ナデ	口唇部平坦
84-9	SM60	NP36		クロ１	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ナデ	口縁部～体部ミガキ	
85-1	SM60	NP36	RP54	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目充填　体部雲形文　LR縄文充填	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み
85-2	SM60	NP35		クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　LR縄文横位回転後Ｋ字文　口縁部～底部ミガキ　口縁部～底部赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	

第30表　土器・土製品一覧（19）

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
85-3	SM60	NR36	RP168	クロ３	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位Ｓ字状沈線 Ｓ字状沈線上下位交互に刻み目列 体部上半LR縄文横位回転後雲形文 体部下半LR縄文横位～斜位回転　口縁部～体部ナデ	口縁端部肥厚　肥厚部に沿って横位沈線１条　ナデ	口唇部Ｂ突起　突起間三角形抉り
85-4	SM60	NO36		クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部上半Ｋ字文？　LR縄文充填　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ	
85-5	SM60	NR37		クロ３	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線１条　沈線上刺突列 体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み　補修孔
85-6	SM60	NQ36		クロ１	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　沈線上位刻み目列　体部LR縄文横位回転後四角文・Ｃ字文？　口縁部～体部ナデ	口縁部横位隆線１条　隆線上刻み目列　体部ナデ	口唇部弧状沈線加えたＢ突起列
85-7	SM60	NP35		クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　下位沈線間刻み目列　体部LR縄文斜位回転後Ｋ字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ナデ	
85-8	SM60	NQ37	RP42	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部口唇突起と連結する右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転後Ｋ字文 口縁部～体部ナデ	口縁部上端肥厚　刻み目列 口縁部横位隆線１条　口縁部～体部ミガキ	口唇部Ｂ突起
85-9	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転後Ｋ字文　底部脚状突起	口縁部～底部ナデ	口唇部ほぼ平坦
86-1	SM60	NS36	RP62	クロ３	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上半左傾羊歯状文　口縁部下半LR縄文横位回転後入組文？・四角文　口縁部体部境界横位隆線１条 隆線上面横位Ｂ突起４か所？　隆線下刻み目列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部２個１組Ｂ突起４か所？
86-2	SM60	NR37	RP310	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位沈線間刻み目列　口縁部～頸部Ｋ字文　LR縄文充填　体部LR縄文横位回転後横位Ｓ字状沈線 沈線上刻み目列　底部LR縄文斜位回転　円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁端部横位沈線２条　口縁部～体部横位ヘラミガキ 底部ミガキ	口唇部基部に沈線巡る突起列
86-3	SM60	NQ38	RP32	クロ２	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転後入組文・三角文・四角文　体部～底部LR縄文横位回転後クランク文・三角文・四角文　口縁部～底部ミガキ	口縁部上位横位沈線１条 口縁部～底部横位ヘラミガキ　被熱による剥落痕	口唇部小突起　小突起から口唇部に刻み目列加えた横位沈線
87-1	SM60	NR38	RP68	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	頸部LR縄文横位回転後雲形文　底部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部Ｂ突起列　突起間刻み目
87-2	SM60	NR36	RP244	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部Ｘ字文　体部LR縄文横位回転後Ｃ字文・四角文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	上面観右端に注ぎ口ある楕円形口唇部刻み目列加えた沈線１条巡る　弧状沈線加えた突起３か所
88-1	SM60	NR36	RP202	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部内側刻み目列　口唇部外側～口縁端部外側に弧状沈線による刻み目列
88-2	SM60	NR38	RP80	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部口唇突起と連結する弧状沈線 沈線上位刻み目列　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部摩滅	口縁部～底部摩滅	口唇部Ｂ突起列
88-3	SM60	NR37	RP280	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　上位沈線下左端閉じる横位短沈線　沈線間刻み目列　体部雲形文　体部下端横位沈線２条　底部くぼむ　赤彩	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部縦位ヘラミガキ 赤彩	口唇部２個１組Ｂ突起４か所
88-4	SM60	NS37	RP85	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線上刻み目列　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
88-5	SM60	NR36	RP159	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　LR縄文横位回転後雲形文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部ナデ	正面口唇部Ｂ突起２個
89-1	SM60	NR37	RP151	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　体部雲形文　摩滅著しい	口縁部～底部摩滅	口唇部刻み目列？
89-2	SM60	NR35	RP40	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端刺突列　口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部摩滅	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
89-3	SM60	NQ36	RP92	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　上位沈線下横位沈線・刻み目列断続　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ	口唇部内側肥厚　口唇部基部に沈線巡らすＢ突起４か所？　口唇部突起間刻み目列
89-4	SM60	NR37	RP117・139・174	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線上刻み目列　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み　補修孔あり
89-5	SM60	NS36	RP57・59	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　赤彩	口縁部～体部ミガキ　赤彩	口唇部肥厚　弧状・三角形沈線により突起列表出
89-6	SM60	NR37	RP152	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部縦位ヘラミガキ	口唇部丸み
89-7	SM60	NS36 NS37杭	RP65 RP4	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部刻み目列断続　体部雲形文　LR縄文充填　底部円形沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
90-1	SM60	NR35	RP14	クロ１	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部RL縄文横位回転後雲形文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
90-2	SM60	NS36	RP105	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部縦位ヘラミガキ	口唇部丸み
90-3	SM60	NR37	RP206	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線上刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部丸み
90-4	SM60	NR35	RP129	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部雲形文　LR縄文充填　底部円形沈線２重　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
90-5	SM60	NR35	RP111	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位平行沈線間刻み目列　体部LR縄文横位回転後雲形文　底部円形沈線２重　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部ミガキ	口唇部丸み　口唇部正面Ｂ突起１個
90-6	SM60	NR35	RP85	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
91-1	SM60	NR37	RP62	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部縦位ヘラミガキ	口唇部丸み
91-2	SM60	NP38	RP56	クロ２	大洞C１式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　沈線間刺突列 体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み　口縁部～底部補修孔３対

第31表　土器・土製品一覧(20)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
91-3	SM60	NS36	RP70	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
91-4	SM60	NR35	RP56	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部右端閉じる横位沈線間刻み目列断続　体部雲形文　LR縄文充填　底部円形沈線２重　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部縦位ヘラミガキ	口唇部丸み
91-5	SM60	NS37	RP85	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端刻み目列　口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　体部ミガキ	口縁部～体部横位ケズリ後ミガキ	口唇部丸み　口縁部補修孔
91-6	SM60	NR37	RP174	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線底刺突列　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部摩滅	口縁部～底部摩滅	口唇部摩滅
92-1	SM60	NR37	RP285	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上下位横位沈線各２条　口縁部中位横位短沈線　短沈線と上位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部２頭に分かれた突起巡る　口縁端部内側隆線状に肥厚　肥厚部刻み目列　底径小
93-1	SM60	NR36	RP13・21	クロ１	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端口唇突起と連結する横位短沈線　口縁部横位沈線間刻み目列断続　体部LR縄文横位回転後雲形文　体部下端横位沈線４条　沈線間刻み目列１段　口縁部～底部ミガキ	体部底部境界横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口唇部弧状沈線で２頭に分かれる２個２対の突起巡る　突起間刻み目　口縁端部内側隆線　隆線上刻み目列
94-1	SM60	NP38	RP46・86・89・93・95・110・112	クロ２	大洞C１式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ	口唇部弧状沈線と台形状抉りにより突起列作出　口縁端部内側肥厚　肥厚部下位刻み目列
95-1	SM60	NS37	RP59・67	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部平坦　不整横位沈線１条
95-2	SM60	NQ38		クロ３ クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　赤彩	口縁端部隆線状肥厚　肥厚部Ｂ突起付く　肥厚部下端横位沈線１条　横位ヘラミガキ	口唇部弧状沈線加えたＢ突起巡る
		NR38	RP60・62	クロ３						
95-3	SM60	NQ38	RP94	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部ナデ　体部底部境界横位隆線１条　底部ナデ	口唇部弧状刻み目列
95-4	SM60	NP38	RP37	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部上半LR縄文横位回転後雲形文　ミガキ　体部下半LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部端部内折　口唇部正面横長瘤状突起　突起両側横位沈線１条　口唇部内側端部弧状沈線加えたＢ突起列
95-5	SM60	NS36	RP61	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部肥厚　口唇部外側三角形彫り込みある突起列
96-1	SM60	NS36	RP64	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部横位沈線１条　ミガキ　赤彩	口縁端部外側弧状・三角形状刻み加え２頭に分かれた突起列表出
96-2	SM60	NS36	RP60	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　底部摩滅	口縁部～底部摩滅	口唇部肥厚　弧状・三角形沈線により突起列表出
96-3	SM60	NR37	RP170	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　底部ヘラミガキ	口縁端部肥厚　肥厚部下浅い横位沈線１条　体部下端沈線状段　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部外側三角形刻み加えたＢ突起列
97-1	SM60	NS37	RP95	クロ４	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ・ヘラナデ　底部ナデ	口縁部～体部横位ケズリ～ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部横位沈線１条　口縁部補修孔
97-2	SM60	NS36	RP47	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口唇部肥厚　横位沈線１条
97-3	SM60	NS37	RP94	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部肥厚　口唇部横位沈線１条
97-4	SM60	NR35	RP95・105	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部突起列　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ	内面口縁部・体部境界、体部底部境界屈曲
98-1	SM60	NR37	RP275	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　底部くぼむ　ミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部ミガキ　底部LR縄文　環状２重沈線内Ｃ字文・三叉文	口唇部肥厚　外側三角形・弧状沈線によりＢ突起列表出　内側刻み目列加えた隆線状
99-1	SM60	NR36	RP64	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部雲形文　LR縄文充填　体部下端横位沈線２条　底部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部弧状沈線により２頭に分かれる突起巡る　突起間刻み目　口縁端部内側隆線状に肥厚　隆線上刻み目列
100-1	SM60	NR38	RP72	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部肥厚　口唇部外側弧状沈線加えたB突起列　肥厚部内側Ｂ突起付く刻み目列加えた隆線状
100-2	SM60	NR36	RP36	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部２頭に分かれた突起巡る　体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口縁端部内側隆線状に肥厚
100-3	SM60	NS36	RP69	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部肥厚　弧状・三角形沈線により突起列表出
101-1	SM60	NS37	RP100	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部肥厚　三角形沈線・弧状沈線でＢ突起列表出
101-2	SM60	NR37	RP181・182	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　底部くぼむ　底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部縦位ヘラミガキ	口唇部肥厚　三角形・弧状沈線による刻み目列
102-1	SM60	NP38	RP21	クロ１	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部上端隆線状肥厚　体部下位横位隆線１条　口縁部～底部ナデ	口唇部三角形刻み目列加えた横位沈線１条　口唇部低山形突起４か所？　口唇部外側刻み目列巡る
102-2	SM60	NQ38		クロ１	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　RL縄文充填　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　体部底部境界横位沈線状段　底部ナデ	口唇部肥厚　口唇部正面横位刻み加えた小山形突起　口唇部横位短沈線列
102-3	SM60	NS36		クロ３	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ　体部中位細隆線１条	口唇部小山形突起４か所？　口唇部沈線１条　口唇部外側刻み目列　口唇部内側肥厚
102-4	SM60	NS37	RP78	クロ４	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ　体部底部境界横位隆線１条	正面口唇部小山形突起　口唇部三角形・弧状刻み目
103-1	SM60	NS37	RP78・79	クロ４	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転後雲形文　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁端部肥厚隆線状　体部中位横位隆線１条　隆線上LR縄文横位回転　横位ヘラミガキ	口唇部正面小山形突起　口唇部山形・弧状沈線刻み目列
103-2	SM60	NS36	RP35	クロ２	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部雲形文　LR縄文充填　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁端部肥厚　肥厚部下横位沈線１条　体部中位横位隆線１条　隆線上LR縄文横位回転　横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部山形突起４か所　口唇部三角形刻み目加えた横位沈線１条
104-1	SM60	NR36	RP178	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部浅い横位沈線１条　体部下端横位沈線２条　底部外周脚状低山形突起４か所　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口唇部基部弧状沈線加えるＢ突起？

第32表　土器・土製品一覧(21)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
104-2	SM60	NP37		クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上位横位沈線２条　頸部下位・体部下位部分的に２個１組の刻み目加えた横位沈線各３条　底部くぼむ　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口縁端部肥厚　口唇部丸み
104-3	SM60	NP38	RP61	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁端部肥厚　横位沈線２条加え隆線状　体部下端２条隆線状　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ヘラミガキ　赤彩	口唇部基部に弧状沈線加えたＢ突起２個１組４か所？
104-4	SM60	NR37	RP228	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部上端横位隆線状突出部２条　体部下端横位隆線状突出部２条　底部くぼむ　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部２個１組Ｂ突起４か所　突起間横位沈線巡る
104-5	SM60	NQ37	RP71	クロ３	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部下端上面沈線加えた横位隆線１条　底部くぼむ　口縁部～底部ミガキ？　赤彩	口縁部横位沈線１条　体部下端横位沈線１条　口縁部～体部横位ナデ　底部中央円形ケズリ後ナデ　赤彩	口唇部正面Ｂ突起
104-6	SM60	NR35	RP33	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部Ｘ字文　底部正方形沈線２重　正方形沈線角に内面からの押圧による脚状突起　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁端部僅かに肥厚
104-7	SM60	NO38		クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線１条　体部雲形文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	
104-8	SM60	NQ36		クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部雲形文　口縁部～体部ミガキ　赤彩	口縁部横位ヘラミガキ　体部ミガキ　口縁部～体部赤彩	口唇部平坦
105-1	SM60	NQ38	RP322	クロ４	大洞BC式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　底部円形沈線　口縁部横位ケズリ後ナデ　体部～底部ナデ	口縁部～体部横位ケズリ後ナデ　底部ナデ	口唇部中央Ｂ突起４個　口唇部平坦
105-2	SM60	NR36	RP190	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部～体部ヘラミガキ？　底部くぼむ　底部ミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　口縁部横位浅い沈線１条　赤彩	口唇部正面Ｂ突起３個
105-3	SM60	NR37	RP219	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部正面基部弧状沈線加えたＢ突起２個
105-4	SM60	NS37	RP105	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部体部境界正面横位Ｂ突起　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部正面Ｂ突起２個　口唇部丸み
105-5	SM60	NP38		クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線３条　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転　底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ミガキ	口唇部平坦　２個１組Ｂ突起３か所
105-6	SM60	NS37	RP92	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部体部境界横位Ｂ突起　底部円形沈線　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～体部上半横位ヘラミガキ　体部下半～底部縦位ヘラミガキ　赤彩	口唇部正面Ｂ突起　口唇部丸み
105-7	SM60	NR37	RP275	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部正面Ｂ突起
105-8	SM60	NR37	RP168・221	クロ３ クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部下位横位沈線２条　底部円形沈線１条　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口唇部刻み目列
105-9	SM60	NQ36	RP100	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部上端刻み目列　底部円形沈線１条　体部～底部ヘラミガキ	口唇部内側に肥厚　口唇部内端と外端にＢ突起列　斜行する粘土紐で両突起一部連結　補修孔２対　口唇部～口縁部外面赤彩残る	
106-1	SM60	NR37	RP315	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部外周横位ヘラミガキ　底部中央ケズリ後ヘラミガキ　底部内面からの押圧による脚状突起４か所　赤彩	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ　赤彩	口唇部僅かに内傾
106-2	SM60	NP38 南北畦	RP58	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	
106-3	SM60	NS36	RP64	クロ３	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部浅い横位沈線１条　底部円形沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口縁部横位沈線１条　底部円形沈線　口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
106-4	SM60	NO37		クロ１	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口縁部～体部中位横位ヘラミガキ　体部下位～底部ナデ	口唇部僅かに丸み
106-5	SM60	NP37	RP310	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口唇部丸み
106-6	SM60	NQ38	RP155	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部中央くぼむ　底部微かな脚状突起４か所　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　赤彩	口唇部丸み
106-7	SM60	NQ37	RP96	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　口縁部～体部横位ヘラミガキ	口縁部～体部横位ケズリ後横位ナデ	底部内面からの押圧よる脚状突起作出か
106-8	SM60	NP36		クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口唇部平坦
106-9	SM60	NR37		クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ？	口唇部丸み
106-10	SM60	NQ38	RP73	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ　赤彩	口唇部内側肥厚
106-11	SM60	NS37	RP100	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
106-12	SM60	NS37	RP93	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部円形沈線１条　口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
106-13	SM60	NQ37	RP42	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口唇部丸み
106-14	SM60	NQ35	RP105	クロ２	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部円形沈線　口縁部～底部ミガキ　赤色顔料僅かに残る	口縁部～底部ミガキ　赤色顔料残る	口唇部丸み
106-15	SM60	NR36	RP216	クロ１	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部くぼむ　ナデ	口縁端部肥厚　肥厚部に沿って横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部丸み
106-16	SM60	NQ37	RP220	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　底部円形沈線１条　口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部ナデ　赤彩	口唇部丸み
106-17	SM60	NS37	RP99	クロ４	大洞C1式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線２条　体部LR縄文横位回転　底部凹む　ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-1	SM60	NR37杭	RP25		縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～底部横位ヘラミガキ　赤彩	口唇部平坦
107-2	SM60	NQ36	RP94	クロ２	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み　底部僅かに上げ底　使用痕不明
107-3	SM60	NQ37	RP230	クロ４	大洞BC式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部小山形突起
107-4	SM60	NP38	RP87	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部丸み
107-5	SM60	NO37		クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-6	SM60	NQ37	RP18	クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部横位ヘラミガキ	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部ナデ	口唇部丸み
107-7	SM60	NO38	RP121	クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	底部くぼむ　口縁部～底部ミガキ	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口唇部平坦　摩滅
107-8	SM60	NR38	RP53	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部正面小山形突起？

第33表　土器・土製品一覧(22)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
107-9	SM60	NS36	RP56	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	底部円形沈線１条　口縁部～底部横位ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
107-10	SM60	NR38	RP65	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	底部くぼむ　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
107-11	SM60	NR38	RP48	クロ１	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-12	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部不整ナデ	口縁部～底部ナデ	手捏ね
107-13	SM60	NQ38		クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	手捏ね
107-14	SM60	NP37	RP96	クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
107-15	SM60	NP38 南北畦	RP139	クロ４	大洞B2式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-16	SM60	NP37	RP315	クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LR縄文横位回転　底部ミガキ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-17	SM60	NQ38	RP292	クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部LL縄文？横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
107-18	SM60	NQ36	RP69	クロ２	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部RL縄文斜位回転　底部ナデ	口縁部～体部横位ヘラナデ 底部ナデ	口唇部丸み
108-1	SM60	NQ38	RP62	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部２本１組連弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線２状　体部横位Ｓ字文？	口縁部～体部摩滅	口唇部頂部２頭に分かれる小山形突起
108-2	SM60	NP36		クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部ナデ　口縁部横位沈線２条　体部上位２本１組渦巻状沈線巡る	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列　一部Ｂ突起状
108-3	SM60	NP36	RP68	クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部下位２本１組渦巻状沈線　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　一部刻み目列
108-4	SM60	NQ35	RP64・65・130	クロ３ クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部上半２本１組入り組む弧状沈線・渦巻状沈線巡る　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部横位ケズリ	口唇部三つ叉に分かれる低突起巡る
108-5	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部体部境界横位細沈線１条　口縁部～体部不整細沈線　器表凹凸著しい	口縁部～体部横位ヘラナデ	
108-6	SM60	NO37		クロ３	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部不整C字状細沈線	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み
108-7	SM60	NR38	RP57・105	クロ４	大洞C1式？	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ　口縁部横位沈線２条　体部不整渦巻・Ｃ字状細沈線(ナゾリ・みだれあり)　底部円形沈線２重	口縁部～底部ナデ	口縁端部外側２個１組・内側１個の小突起交互に付く
108-8	SM60	NQ37		クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部不整渦巻・Ｃ字状沈線　口縁部～底部不整ナデ	口縁部～底部不整ナデ	口縁上面楕円形　口唇部２頭に分かれる肥厚山形突起４か所？
108-9	SM60	NR36		クロ２	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部片口作出　口縁部横位沈線１条　沈線上位小刺突不整充填　体部ナデ　体部底部境界横位沈線１条断続　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部片口部両側刻み目列
108-10	SM60	NR37	RP314	クロ１	不明	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部正面・体部中位反対側角状突起各１個　口縁部～底部横位ケズリ	口縁部～底部横位ケズリ	上面観楕円形
109-1	SM60	NP36 南北畦	RP112	クロ３ クロ４	大洞B2式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位入組三叉文　体部上半末端弧状沈線加えたクランク状沈線　体部下半LR縄文横位回転　体部中位タール付着	口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部２個１組Ｂ突起巡る
109-2	SM60	NQ38	RP136	クロ４	大洞B2式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部上半LR縄文横位回転　口縁部下半～頸部横位沈線各２条間入組三叉文　ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部低山形突起
109-3	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転　肩部平行沈線間刻み目列　体部上半LR縄文横位回転後渦巻状・弧状沈線　体部中位横位沈線２条　体部下半LR縄文横位回転　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み　口唇部２個１組Ｂ突起５か所？
109-4	SM60	NR36	RP263	クロ４	大洞B2式	壺形土器	口縁部～底部	肩部横位沈線間盲孔点対称に三叉文　口縁部～肩部ミガキ　体部LR縄文横位回転　体部下端横位沈線１条　赤彩	口縁部～底部ナデ　口縁部赤彩	口唇部平坦
109-5	SM60	NQ36	RP162	クロ３	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部左端上閉じ横位沈線上位刻み目列　頸部下端横位沈線間刻み目列２段　体部上半Ｘ字文　LR縄文充填　体部中位横位沈線３条　上位沈線間刻み目列　体部下半LR縄文横位回転　底部ミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ	口唇部丸み　口唇部２個１組Ｂ突起４か所
109-6	SM60	NQ36	RP225	クロ４	大洞BC式	壺形土器	頸部～底部	頸部横位沈線３条　沈線間部分的に弧状刻み目　体部上半横位沈線間右傾羊歯状文　体部下半横位ヘラミガキ　底部脚状突起４か所　突起基部弧状沈線巡らす　底部中央小円形沈線１条　赤彩	頸部～体部横位ヘラミガキ 底部ヘラミガキ　頸部～体部上半赤彩	
109-7	SM60	NQ36	RP136	クロ３	大洞BC式	壺形土器	頸部～体部	頸部左傾羊歯状文　肩部左傾羊歯状文　体部上半LR縄文横位回転後横位Ｓ字状沈線　頸部～体部上半ミガキ　体部下半LR縄文横位回転	頸部～体部ナデ	
109-8	SM60	NQ38	RP134	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	肩部右傾羊歯状文　体部LR縄文横位回転　体部上半横位沈線間Ｘ字文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ミガキ	口唇部丸み　小Ｂ突起
109-9	SM60	NR37	RP293	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部左端閉じる平行沈線間刻み目列　頸部下端～肩部横位沈線間刻み目列２段　口縁部～体部横位ヘラミガキ　赤彩	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部ナデ　口縁部～頸部赤彩	口唇部丸み
109-10	SM60	NQ37	RP298	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　肩部横位沈線間刻み目列２列　口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部くぼむ　底部内面からの押圧による脚状突起４か所作出　底部ミガキ　赤彩	口縁部横位沈線・弧状？沈線　頸部～底部ナデ　口縁部～頸部赤彩	
110-1	SM60	NR38杭	RP16		大洞BC式？	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線４条　沈線間刻み目充填　肩部上位横位沈線間刻み目列　肩部中下位右傾羊歯状文　体部上位２本１組横位Ｓ字文巡る　口縁部～体部上位ナデ　体部下位LR縄文横位～斜位回転	口縁部～体部ナデ	正面口唇部刻み目？
110-2	SM60	NQ38	RP298	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目列　肩部右傾羊歯状文　体部ナデ　赤彩	ナデ　口縁部～肩部赤彩	口唇部Ｂ突起状刻み目列
110-3	SM60	NR36	RP255	クロ４	大洞BC式	壺形土器	頸部～底部	頸部弧状沈線　頸部２頭に分かれる縦長瘤状突起８個？　肩部LR縄文横位回転後入組文・Ｃ字文　体部LR縄文横位回転　体部上位横位沈線２条	ナデ	

第34表　土器・土製品一覧(23)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
110-4	SM60	NO37	RP40・60	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラミガキ　口頸部体部境界粘土紐２条貼り付け　中央に刻み目ある縦位瘤状突起　頸部縦位ヘラミガキ　体部上半LR縄文横位回転後渦巻文・菱形文　体部中位横位沈線２条　体部下半LR縄文横位回転　底部ミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ	口唇部丸み　口唇部Ｂ突起　体部下位アスファルトによる補修痕
110-5	SM60	NN38	RP3	Ⅱb	大洞BC式	壺形土器	頸部～体部	頸部右傾羊歯状文　羊歯状文末端瘤状突起　肩部右傾羊歯状文　体部上半K字文？　赤彩　摩滅著しい（被熱による剥落か）	頸部～体部ナデ　頸部赤彩	
110-6	SM60	NQ37	RP304	クロ４	大洞BC式	壺形土器	体部～底部	体部LR縄文横位回転　体部中位渦巻文・四角文・横位沈線２条　ヘラミガキ　底部ナデ　赤彩	体部～底部ナデ	
110-7	SM60	NQ38	RP127	クロ４	大洞BC式	壺形土器	体部～底部	体部LR縄文横位回転　体部上位入組文・横位沈線２条　ミガキ　底部ナデ	体部ミガキ　底部ヘラミガキ	
111-1	SM60	NP38 南北畦	RP122	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位ヘラミガキ　肩部横位沈線４条　沈線間刻み目列２段　体部LR縄文横位回転	口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部頂部刻み目加えた小突起　口唇部丸み　口縁部外反
111-2	SM60	NR36	RP165	クロ３	大洞BC式	壺形土器	頸部～底部	頸部下端縦位瘤状突起貼り付けた横位隆線２条　体部上端横位沈線間刻み目列２段　頸部～底部ミガキ	頸部～底部ナデ	
111-3	SM60	NQ35	RP88	クロ２	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	頸部下端横位幅広隆線１条　隆線上面縦位瘤状突起４個　突起間横位沈線間刻み目列　体部上位横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ　口縁部～底部赤彩　体部下半被熱による剥落痕	口縁部横位沈線１条　口縁部ヘラミガキ　頸部～底部ナデ？　口縁部～頸部赤彩	
111-4	SM60	NR35	RP61	クロ３	大洞BC式	壺形土器	頸部～底部	肩部上位両側沈線巡らす横位隆線２条　隆線上押圧状刻み目列　隆線間２頭に分かれる縦長瘤状突起５か所　肩部中位LR縄文横位回転後横位沈線２条　沈線間刻み目列　肩部下位LR縄文横位回転後入組文　体部LR縄文横位回転	頸部～底部ミガキ	
111-5	SM60	NQ37	RP18	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線１条　体部上位横位沈線間刻み目列２段　正面縦位Ｂ突起　口縁部～体部上位ミガキ　体部中位LR縄文横位回転	口縁部ミガキ　体部横位ナデ	口唇部正面小Ｂ突起２個
112-1	SM60	NO37	RP15	クロ３	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部上位横位沈線２条　底部くぼむ　口縁部～底部ヘラミガキ　体部正面焼成後穿孔１か所	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
112-2	SM60	NR37	RP179	クロ３	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線１条　口縁部体部境界横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ	口縁部上位横位沈線１条　口縁部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部Ｂ突起？２個剥離痕
112-3	SM60	NR37	RP312	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	頸部体部境界隆線　隆線両側横位沈線各１条　隆線上羊歯状文？　底部中央くぼむ　口縁部～底部ミガキ　口縁部～底部被熱による剥落痕	口縁部～頸部ミガキ　体部～底部ナデ	
112-4	SM60	NR37	RP320	クロ４	大洞BC式	壺形土器	頸部～底部	頸部体部境界正面縦位瘤状突起貼り付けた横位隆線１条　隆線上面端部弧状に分かれたクランク状沈線　頸部縦位ヘラミガキ　体部～底部ミガキ　頸部～底部赤彩	頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	
112-5	SM60	NP38	RP113	クロ３	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部縦位瘤状突起貼り付けた横位隆線２条　体部上端横位沈線２条　頸部～底部ミガキ	頸部～底部ナデ	
112-6	SM60	NR35	RP150	クロ３	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部横位隆線２条　隆線上突起３か所　肩部横位隆線２条　頸部～肩部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部くぼむ　底部ヘラミガキ　頸部～底部被熱による？ハジケ	頸部～底部ナデ	
112-7	SM60	NP38 南北畦		クロ３	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部体部境界横位沈線２条　底部円形沈線１条　頸部～底部ミガキ　赤色顔料僅かに残る	頸部～底部ナデ　頸部赤彩	
112-8	SM60	NR37	RP200	クロ３	大洞C1式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部中位横位ヘラミガキ　体部下位縦位ヘラミガキ　底部くぼむ　底部ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ　口縁部横位沈線１条	口唇部正面弧状沈線加えたＢ突起２個
112-9	SM60	NR38	RP72	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　頸部下半横位沈線３条　口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部外周沈線１条　底部ナデ　赤彩か	口縁部横位ヘラミガキ　頸部～底部ナデ？　口縁部赤彩	口唇部Ｂ突起
112-10	SM60	NQ38		クロ３	大洞BC式？	壺形土器	口縁部～底部	口縁部弧状沈線　口縁部体部境界横位沈線間横位短沈線充填　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部摩滅
112-11	SM60	NQ37	RP236	クロ３	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ？　肩部～体部K字文５段　肩部正面縦位Ｂ突起１個　底部円形沈線２重	口縁部～底部ナデ	口唇部Ｂ突起２個
112-12	SM60	NR36	RP218	クロ４	大洞BC式	壺形土器	体部～底部	体部LR縄文横位回転　体部上位～中位雲形文　ケズリ後ヘラミガキ　底部くぼむ　底部ナデ	体部～底部ナデ	
112-13	SM60	NR37	RP317	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～体部	体部上端横位沈線間刻み目列　縦位Ｂ突起　体部上半Ｚ字文　LR縄文充填　口縁部～体部ヘラミガキ　赤色顔料僅かに残る	口縁部横位沈線１条　口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部ナデ　赤色顔料僅かに残る	口唇部２個１組Ｂ突起１か所
112-14	SM60	NR37		クロ３	大洞C1式	壺形土器	体部	体部雲形文２段　ケズリ後ミガキ　赤彩	体部横位ナデ	
112-15	SM60	NP37	RP７	クロ１	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線１条　体部上端横位沈線１条　体部上中位間横位沈線３条　体部上位入組三叉文　体部上位正面瘤状小突起１個　体部中下位LR縄文横位回転後入組文・三角形文　体部下端横位沈線２条　底部摩滅	口縁部～底部ナデ　口縁部上位横位細沈線１条	口唇部丸み　口唇部Ｂ突起１対
112-16	SM60	NQ38	RP298	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	体部上位横位沈線間刻み目列　体部中位K字文　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
112-17	SM60	NQ35	RP1	クロ１	大洞C１式	壺形土器	頸部～底部	頸部横位ヘラミガキ　体部上下端横位沈線各３条　体部雲形文　LR縄文充填　ケズリ後ヘラミガキ　底部くぼむ　ヘラミガキ	頸部～底部横位ヘラミガキ	
112-18	SM60	NR38		クロ４	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部LR縄文横位回転後雲形文　頸部体部境界横位沈線間上下交互の三角形彫り込み　正面縦位Ｂ突起　体部LR縄文横位回転後雲形文　頸部～底部ミガキ	頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	

第35表　土器・土製品一覧(24)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
112-19	SM60	NQ38	RP135	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	頸部横位沈線間刻み目列　体部雲形文　底部内面からの押圧による脚状突起４か所　口縁部～底部ヘラミガキ　赤彩	口縁部～頸部横位ミガキ　体部～底部ナデ　口縁部～体部上位赤彩	口唇部平坦
112-20	SM60	NS36	RP61	クロ３	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部体部境界横位降線２条　降線上面横位Ｂ突起４か所　体部雲形文　頸部～底部ミガキ　赤彩　被熱による剥落痕	頸部ミガキ　体部～底部ナデ　頸部赤彩	
113-1	SM60	NQ37	RP283	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ヘラミガキ　底部内面からの押圧による脚状突起４か所　底部ナデ	口縁部横位ヘラミガキ　頸部～底部ナデ	口唇部丸み
113-2	SM60	NQ38	RP320	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部中位横位ヘラミガキ　体部下位縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-3	SM60	NQ37	RP290	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部横位ケズリ後横位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-4	SM60	NR37	RP321	クロ４	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部横位ヘラミガキ　底部被熱による剥落痕	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-5	SM60	NQ37	RP312	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口縁部～底部ミガキ　赤彩	口唇部外側に張り出す
113-6	SM60	NS37	RP101	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部外側に張り出す
113-7	SM60	NS37	RP105	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部ナデ	体部下半～底部焼成後穿孔
113-8	SM60	NP38 南北畦	RP74	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部縦位ヘラミガキ	口縁部ミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-9	SM60	NQ37	RP253	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	体部～底部	体部～底部ナデ	体部～底部ナデ	体部上位焼成後穿孔
113-10	SM60	NS36	RP61	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み
113-11	SM60	NR37杭	RP7		縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部ミガキ　底部ナデ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-12	SM60	NR36	RP260	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
113-13	SM60	NQ38	RP111	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-14	SM60	NQ38	RP325	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～下位縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-15	SM60	NQ38	RP298	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-16	SM60	NQ38	RP312	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-17	SM60	NP36		クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部横位～斜位ケズリ一部LR縄文横位回転？　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-18	SM60	NR37	RP322	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～体部上半横位ヘラケズリ・ヘラミガキ　体部斜位ケズリ・ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
113-19	SM60	NR36	RP267	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-20	SM60	NQ38	RP308	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
113-21	SM60	NR37	RP225	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部縦位ヘラミガキ　底部ナデ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
113-22	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～底部ミガキ	口縁部～底部ナデ	
113-23	SM60	NR36		クロ２	大洞C1式	壺形土器	頸部～底部	頸部瘤状突起付く横位降線１条　頸部～底部ミガキ　赤彩	不明	
113-24	SM60	NR37	RP270	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部体部境界横位沈線１条　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	無頸　口唇部丸み
113-25	SM60	NP38 南北畦	RP34	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	体部～底部	体部～底部ナデ	体部～底部ナデ	無頸
114-1	SM60	NR37	RP70	クロ１	大洞C1式	壺形土器	口縁部～体部	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部上端浅い横位沈線１条　縦位瘤状突起剥落痕　体部RL縄文横位回転	口縁部横位沈線１条　口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部ナデ	口唇部低突起２個１組？
114-2	SM60	NS36	RP42	クロ３	大洞C1式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ミガキ　口縁部体部境界横位沈線１条　体部RL縄文縦走　底部ナデ	口縁部ミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
114-3	SM60	NR37	RP232	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部平坦
114-4	SM60	NS37	RP107	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　口縁部体部境界横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
114-5	SM60	NR37	RP187	クロ３	大洞BC式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部LR縄文斜位～縦位回転　底部ヘラナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部正面Ｂ突起１個
114-6	SM60	NS37	RP69	クロ４	大洞C1式	壺形土器	口縁部～底部	口縁部LR縄文横位回転　頸部ナデ　肩部横位細沈線１条　正面縦位Ｂ突起１個　体部LR縄文横位回転	口縁部横位沈線１条　ナデ	
114-7	SM60	NR37	RP226	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　口縁部体部境界横位沈線１条　体部上半LR縄文？横位回転　体部下半LR縄文？斜位回転　底部摩滅	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
114-8	SM60	NP38 南北畦	RP73	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部上端横位沈線１条　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
114-9	SM60	NQ35	RP81	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラミガキ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部丸み
114-10	SM60	NQ38	RP302	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部中位縦位ケズリ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　体部下半炭化物付着	口縁部～底部ナデ　体部下半炭化物付着	
114-11	SM60	NQ38	RP279	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文斜位回転　底部ナデ　口縁部～体部被熱痕　体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	
114-12	SM60	NR38	RP132	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部LR縄文横位～斜位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
114-13	SM60	NS37	RP108	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部上半LR縄文横位回転　体部下半LR縄文斜位回転　底部ヘラナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
115-1	SM60	NQ37	RP121	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部上半LR縄文横位回転　口縁部下半～体部LR縄文斜位回転　底部ヘラナデ　体部下半筋状タール状物質付着	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
115-2	SM60	NQ36	RP110	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部縦位～横位ヘラナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
115-3	SM60	NS37	RP66	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部正面小山形突起　口唇部丸み
115-4	SM60	NP37	RP95	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部上半LR縄文横位回転　体部下半～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部平坦
116-1	SM60	NS35	RP7	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ　体部RL縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み
116-2	SM60	NP38 南北畦	RP70	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ヘラナデ	口縁部横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	口唇部僅かに丸み
116-3	SM60	NR38	RP79	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部４個１組刻み目５か所？　正面刻み目列内側弧状沈線加える

第36表　土器・土製品一覧(25)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
116-4	SM60	NQ37	RP101	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転 体部下端横位ナデ　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
116-5	SM60	NR37	RP221	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラナデ　体部LR縄文横位～斜位回転　底部ナデ	口縁部横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	
116-6	SM60	NR36	RP231	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転 底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
116-7	SM60	NQ38	RP139	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部斜位ケズリ～横位ナデ　体部RL縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
116-8	SM60	NR37	RP316	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～肩部横位ヘラナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	
116-9	SM60	NR38	RP73	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部外周LR縄文横位回転	口縁部上端横位沈線１条 口縁部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部小Ｂ突起巡る
116-10	SM60	NR37	RP280	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
116-11	SM60	NS37	RP93	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～体部	口縁部～頸部ナデ　体部L横位～斜位回転	口縁部～底部ナデ	
117-1	SM60	NQ35	RP108	クロ２	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部～頸部ナデ　体部LR縄文横位回転　底部ナデ　体部被熱痕　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
117-2	SM60	NR36	RP244	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　体部L縄文横位～斜位回転　底部ナデ　体部アスファルト付着	口縁部～底部ナデ　体部・底部アスファルト付着	口唇部丸み
117-3	SM60	NS37	RP88	クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～体部	口縁部LR縄文斜位回転　頸部ナデ 体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部下位炭化物付着	口唇部丸み
117-4	SM60	NP36		クロ４	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～底部	口縁部横位ケズリ　体部縦位条痕 底部ナデ	口縁部～底部ナデ	口唇部丸み
117-5	SM60	NR37	RP158	クロ３	縄文晩期前半	壺形土器	口縁部～体部	口縁部横位短沈線　体部不整Ｓ字状・渦巻状沈線　口縁部～体部不整ナデ	口縁部～体部不整横位ナデ	口唇部丸み
118-1	SM60	NP38 南北畦		クロ４	大洞B2式	注口土器	口縁部～体部	口縁部上位中位横位沈線各２条　沈線間２本１組クランク状沈線　頸部下端横位沈線１条　肩部弧状沈線 体部注口部直下三叉文　口縁部～体部ミガキ	口縁部～体部ナデ	正面口唇部Ｂ突起？
118-2	SM60	NR36		クロ４	大洞B2式	注口土器	肩部	肩部渦巻き文・菱形文・Ｃ字文　ミガキ　注口部剥落部アスファルト付着	肩部ナデ	
118-3	SM60	NQ37	RP208	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部横位沈線４条　中央沈線間刻み目列　肩部羊歯状文　注口部脇渦巻文　体部上位注口部直下で入り組む横位沈線１条　体部～底部横位ヘラミガキ	頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ　注口接合部外側からの穿孔による粘土はみ出し	底部平底
118-4	SM60	NR38	RP88	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部横位沈線２条　肩部右傾羊歯状文　注口部直下弧状沈線　頸部～底部横位ヘラミガキ	頸部～底部ナデ	
118-5	SM60	NR36	RP258・ 263・264	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～体部	頸部大腿骨文　頸部肩部境界瘤状突起８個　肩部渦巻文　注口基部入組三叉文　体部上位横位沈線２条　注口部直下沈線渦巻状　三叉文充填 体部LR縄文斜位回転　体部下端横位沈線１条	頸部～体部ミガキ	口縁部内湾　底部平底か
119-1	SM60	NP37	RP84	クロ３	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口頸部上位横位沈線間刻み目列　口頸部中位横位短沈線・刻み目　口頸部下位横位沈線間刻み目列　肩部注口両側端部閉じる横位沈線間刻み目 体部上端横位沈線１条　注口直下弧状沈線　口頸部～底部ヘラミガキ	口頸部～底部ナデ	外面ヘラミガキにより文様変形
119-2	SM60	NP37	RP121	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口頸部上位横位沈線間刻み目列　口頸部中位Ｃ字文　口頸部下位横位沈線間横位短沈線充填　肩部Ｃ字文 注口部下面入組三叉文　体部上端注口直下刺状に垂下する横位沈線１条 口頸部～底部ミガキ	口頸部～底部ナデ	口唇部Ｂ突起巡る
119-3	SM60	NS36	RP71	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部左傾羊歯状文　肩部右傾羊歯状文　体部上位横位沈線１条　注口部直下沈線端渦巻き状　頸部～底部ヘラミガキ	頸部ミガキ　体部～底部ナデ	
119-4	SM60	NQ38	RP286	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列　頸部横位沈線間刻み目列　肩部右傾羊歯状文　体部注口直下弧状～渦状沈線 口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　体部～底部ナデ	口唇部正面３頭に分かれるＢ突起１個　両側に２頭に分かれるＢ突起各１個
119-5	SM60	NQ38	RP275	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部刻み目列２段　頸部左傾羊歯状文　肩部右傾羊歯状文　体部上位横位沈線１条　注口部直下入組三叉状	口縁部横位ヘラミガキ　頸部～底部ナデ	正面口唇部刻み目　珊瑚状突起？か
119-6	SM60	NP38 南北畦	RP139	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～体部	頸部連珠文間Ｘ字文　肩部渦巻文 注口部直下三叉状沈線　体部正面渦巻状横位沈線１条　摩滅	ナデ	
119-7	SM60	NP36	RP50	クロ２	大洞BC式	注口土器	口縁部～頸部	口縁部Ｋ字文　頸部Ｋ字文	口縁部横位ヘラミガキ　頸部ナデ	口唇部内傾　正面口唇部Ｂ突起３個？　口唇部弧状短沈線
119-8	SM60	NP36		クロ１	大洞BC式	注口土器	口縁部～頸部	口縁部Ｘ字文　頸部上位横位沈線間刻み目列　頸部中位Ｋ字文　頸部下位横位沈線間刻み目列断続　口縁部～頸部ミガキ	口縁部～頸部ナデ	口唇部Ｂ突起４か所？
119-9	SM60	NR38	RP69	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上位刻み目列　口縁部中位渦巻文　頸部上位・下位横位沈線間刻み目列各１条　頸部中位渦巻文　肩部横位沈線間刻み目列・弧状沈線 体部上位横位沈線１条　注口部直下四角文・渦巻文　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部横位ヘラミガキ　頸部～底部横位ナデ	口唇部Ｂ突起４か所？
120-1	SM60	NR35	RP108	クロ３	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部上位横位沈線間刻み目列　頸部下位Ｘ字文　肩部上位横位沈線間刻み目列　肩部下位入組文　体部上位横位沈線間刻み目列　渦巻文４か所？　頸部～底部ミガキ	頸部～底部ナデ	
120-2	SM60	NQ36	RP189	クロ３	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上位刻み目列　口縁部中位～下位Ｃ字状文　頸部刻み目列間Ｘ字文　肩部Ｃ字文　体部上位横位平行沈線２条　注口部下面入組三叉文 注口部直下Ｃ字文？　注口部直下補修孔？	口縁部～底部ミガキ	正面口唇部珊瑚状突起

第37表　土器・土製品一覧(26)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
120-3	SM60	NP37 南北畦	RP10	クロ４	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部上位・下位横位沈線間刻み目列　頸部中位Ｃ字状沈線　肩部Ｃ字状沈線　肩部Ｃ字状沈線加えた瘤状突起３か所　体部上位横位沈線間刻み目列　注口下渦巻文・四角文　頸部～底部ヘラミガキ	頸部ナデ　体部横位ケズリ　底部ナデ	
121-1	SM60	NQ35	RP146	クロ３	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部Ｘ字文　口縁部頸部境界・頸部肩部境界刻み目列　肩部羊歯状文・弧状～渦巻状沈線文　注口部基部三叉文　注口部直下対向するＣ字文・棘状沈線加えた連弧状沈線　体部上位横位沈線１条　体部～底部摩滅	頸部～底部ミガキ	
121-2	SM60	NO37	RP12	クロ３	大洞BC式	注口土器	頸部～底部	頸部左傾羊歯状文　肩部渦巻文・三叉文・弧状沈線　体部注口直下入組三叉文　頸部～底部横位ヘラミガキ	頸部～底部ナデ	
121-3	SM60	NQ37	RP70	クロ３	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口頸部上下端横位沈線間刻み目列　口頸部左傾羊歯状文　肩部右傾羊歯状文　体部上位横位沈線１条　注口部直下で三叉状・弧状沈線　体部～底部横位～縦位ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ　注口接合部外側からの穿孔による粘土はみ出し	口唇部丸み　注口部欠損
121-4	SM60	NQ37	RP255	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部横位沈線間刻み目列３段　肩部右傾羊歯状文　体部上位横位沈線１条　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ	口唇部正面Ｂ突起３個
121-5	SM60	NQ38	RP150・281	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口頸部上下端横位沈線間刻み目列　口頸部Ｋ字文　肩部左傾羊歯状文　体部上位横位沈線１条　注口部直下に刻み目加えた渦巻文　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ	
121-6	SM60	NR36	RP165・202	クロ３	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上位右傾羊歯状文・刻み目列各１段　口縁部中位Ｋ字文　口縁部下位左傾羊歯状文　肩部Ｃ字文　体部上位横位沈線１条　注口部直下対向Ｃ字状沈線	口縁部～底部ナデ	
122-1	SM60	NQ38	RP298	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～体部	口頸部上位右傾羊歯状文　口頸部中位Ｋ字文　口頸部下位Ｚ字文　肩部右傾羊歯状文　口頸部～底部ミガキ	口頸部～底部ナデ	
122-2	SM60	NQ38	RP105	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口頸部上位横位沈線間刻み目列　口縁部中位～下位Ｋ字文　肩部Ｃ字文　体部上端横位沈線１条　注口直下Ｃ字文　口頸部～底部ミガキ	口頸部～底部ナデ	口唇部Ｂ突起
122-3	SM60	NQ38	RP318	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部左傾羊歯状文　頸部上位Ｋ字文　頸部下位横位沈線弧状沈線間刻み目列充填　肩部右傾羊歯状文・弧状沈線・四角文　体部上位横位沈線１条　注口部直下渦巻文・四角文　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部横位ナデ	
122-4	SM60	NR37	RP290	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上半右傾羊歯状文　口縁部下半Ｋ字文　肩部弧状沈線加えた横位瘤状突起列　注口部直下弧状・三叉状沈線体部上位注口部直下で刺状に垂下する横位沈線１条　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～体部上位横位ヘラミガキ　体部中位～底部ナデ	
123-1	SM60	NQ38	RP104	クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	頸部Ｘ字文　肩部横位沈線１条　弧状沈線加えた横位Ｂ突起２個１組５か所　体部上位横位沈線１条　注口直下弧状～三角形状沈線　口縁部～底部ヘラミガキ	口縁部～頸部横位ヘラミガキ　口縁部横位沈線１条　体部～底部ナデ	
123-2	SM60	NQ35	RP72	クロ２	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上位右傾羊歯状文　口縁部中位左傾羊歯状文　口縁部下位刻み目列　肩部弧状沈線加えた横長突起巡る　注口基部突起付加した隆線２重巡る　体部LR縄文施文後雲形文　ケズリ後ミガキ	口縁部～底部ナデ	
123-3	SM60	NQ38		クロ２	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部上位位沈線間刻み目列　口縁部中位横位沈線間クランク状沈線　口縁部下位横位沈線間刻み目列　肩部三叉状沈線・四角文　注口部両側三角文・弧状沈線加えた横位瘤状突起各１個　注口部基部瘤状突起付く隆線巡る　体部上位横位沈線２条　摩滅	口縁部～底部摩滅	口唇部正面弧状沈線加えた縦位瘤状突起
123-4	SM60	NR37	RP284	クロ４	大洞C1式	注口土器	口縁部～体部	口縁部雲形文　RL縄文充填　口縁部体部境界弧状沈線加えた瘤状突起巡る　注口部基部弧状沈線加えた瘤状突起付けた隆線巡る　体部雲形文	口縁部～体部ミガキ	
124-1	SM60	NQ37	RP33	クロ２	大洞C1式	注口土器	口縁部～底部	口頸部右傾羊歯状文２段　刻み目列１段　Ｋ字文　肩部Ｃ字文　肩部体部境界横位方向２個と上方向１個１組のＢ突起列巡る　体部正面雲形文　左右Ｘ字文　口頸部～底部ヘラミガキ	口縁部～底部ミガキ	口唇部丸み　口頸部補修孔２個　補修孔から反対側の口頸部破損部にかけてアスファルトによる補修痕　注口部基部破損部にもアスファルトによる補修痕
124-2	SM60	NR35	RP94	クロ３	大洞C1式	注口土器	体部～底部	頸部体部境界三角形刻み加えた横位Ｂ突起巡る　注口部基部瘤状突起４か所に付く菱形隆線　雲形文　LR縄文充填　底部中央円形くぼむ　体部～底部ミガキ	体部横位ヘラナデ　底部ナデ	
124-3	SM60	NR37	RP251	クロ４	大洞C1式	注口土器	頸部～底部	体部中位横位Ｂ突起列　頸部～底部ナデ	頸部～底部ナデ	
124-4	SM60	NO37	RP13	クロ３	大洞C1式	注口土器	口縁部～底部	口縁部～肩部横位沈線間刺突列３条　口縁部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
124-5	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	注口土器	口縁部～底部	口縁部ナデ　頸部横位ヘラナデ　体部～底部ナデ	口縁部～底部ナデ	
124-6	SM60	NQ38		クロ１	縄文晩期前半	注口土器	口縁部～体部	口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	
125-1	SM60	NP38	RP121	クロ４	大洞B1式	香炉形土器	頭部～体部	頭部LR縄文施文後縦位四角形区画沈線　肩部体部境界横位瘤状突起４か所　肩部LR縄文横位回転　肩部～突起横位帯状区画沈線・弧状沈線　頭部～肩部区画沈線内ナデ　体部LR縄文横位回転	頭部～体部ナデ　炭化物付着	
125-2	SM60	NQ36		クロ３	縄文晩期前半	香炉形土器	頭部	頭頂部王冠状突起　突起基部貫通孔　突起周囲環状沈線間横位短沈線充填２重	頭部ナデ	
125-3	SM60	NR36	RP196	クロ３	大洞C1式？	香炉形土器	突起？	中心部円孔　正面大形突起　突起頂部と基部に突起を巡る隆線と連結したＢ突起　赤彩		
125-4	SM60	NP37		クロ３	大洞B1式	香炉形土器	頭部	頭部円形穿孔両側三叉文　頭部下端LR縄文縦位回転	頭部ナデ	

第38表　土器・土製品一覧(27)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
125-5	SM60	NR37		クロ４	大洞B1式	香炉形土器	頭部	中央上位釣り針状沈線　両側円形透かし穴と縦位刻み目状透かし穴　中央下位円形透かし穴　透かし穴周囲渦巻き状沈線　LR縄文充填	指オサエ	
125-6	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	香炉形土器	頭部～体部	頭部LR縄文横位回転後未端渦巻く四角文　ミガキ　口縁部体部境界隆線状肥厚　横位瘤状突出部２個　体部上端横位沈線１条　体部LR縄文横位回転	頭部上半指オサエ　頭部下半～体部ナデ	
125-7	SM60	NR36		クロ１	大洞C1式	香炉形土器	頭部	頭部中央刻み目ある隆線垂下　下端楕円形透かし穴　隆線両側雲形文　LR縄文充填	頭部ナデ	
125-8	SM60	NQ37		クロ１	縄文晩期前半	香炉形土器	体部～底部	体部上位円形・三叉状透かし穴　体部中位横位Ｂ突起列　正面注口部？　両側弧状透かし穴　体部中下位境界横位沈線１条	体部～底部横位ヘラミガキ	台部欠損
125-9	SM60	NQ37	RP165	クロ３	大洞C1式	浅鉢形土器	肩部～台部	肩部横位沈線間小刺突列　体部正面丁字形突起　底部LR縄文　台部上端横位刻み目列　台部ナデ	底部ヘラナデ	
125-10	SM60	NP38	RP110	クロ３	大洞B2式	台部	台部	台部上半三叉状～弧状沈線　菱形・横位三角形透かし穴　台部下端入組三叉文	台部ナデ	
125-11	SM60	NQ37	RP173	クロ３	大洞BC式	台部	台部	台部上端刻み目列加えた横位隆線１条　台部中位左傾羊歯状文　台部下位LR縄文横位回転・横位沈線下位刻み目列　台部ミガキ	台部ナデ　赤彩	
125-12	SM60	NR37	RP2 ？	クロ４	大洞BC式	台部	台部	台部上半三叉文　円形透かし穴　台部下半横位沈線間刻み目列　台部下端LR縄文横位回転	台部ナデ	
125-13	SM60	NS37	RP108	クロ４	縄文晩期前半	台部	台部	体部下端LR縄文横位回転　体部台部境界横位隆線１条　隆線上面クランク状沈線　台部下端LR縄文横位回転　台部ミガキ	台部ミガキ	
125-14	SM60	NP38 南北畦	RP76	クロ４	縄文晩期前半	台部	体部～台部	体部下位横位沈線１条　台部上下端横位沈線各２条　台部円形・三角形透かし穴　体部炭化物付着	体部～台部ナデ	
125-15	SM60	NS37	RP108	クロ４	縄文晩期前半	台部	台部	体部台部境界横位隆線１条　隆線上面クランク状沈線？　台部下端横位沈線１条　台部ナデ	台部ナデ	
125-16	SM60	NP36	RP79	クロ４	大洞BC式	台部	台部	台部上端横位沈線間刻み目列　台部円形・三角形透かし穴	台部ナデ	
125-17	SM60	NR38	RP56	クロ４	縄文晩期前半	台部	台部	台部入組三叉状・三角形状透かし穴　台部下端横位沈線２条	台部ミガキ	
125-18	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式？	台部	台部	台部上端刻み目列　台部透かし穴　三叉状・弧状沈線　台部下端肥厚　三叉状・弧状沈線　台部ミガキ	底部ヘラミガキ　台部ヘラミガキ	
125-19	SM60	NP36	RP65	クロ２	縄文晩期前半	台部	台部	台部上下端横位沈線各１条　台部X字状透かし穴	台部ナデ	
126-1	SM60	NP38	RP72	クロ３	大洞BC式	土偶	頭部～体部	頭頂部Ｂ突起　顔面眼部遮光器表現　右側眼部左下刺突貫通　両眼間に刺突２個加えた粘土粒で鼻部表出　鼻部直下に刺突加えた粘土粒で口部表出　頸部刺突加えた粘土粒３か所貼り付け　耳部Ｂ突起状　後頭部截痕列・K字文　頸部平行沈線間横位短沈線充填　頸部中央低粘土粒貼り付け　頸部下端連珠文　体部～肩部入組文　LR縄文充填後ヘラミガキ　体部下端平行沈線間横位短沈線充填　手部Ｂ突起状　赤彩	指オサエ・ナデ	中空遮光器土偶　下半部欠損
126-2	SM60	NR37	RP220	クロ４	大洞BC式	土偶	頭部～体部	頭頂部Ｂ突起付く橋状突起　顔面眼部遮光器表現　両眼間上位Ｂ突起状鼻部　中位小円形盲孔で口部表出　下位小瘤状突起　側頭部同心円形沈線　LR縄文斜位回転　後頭部LR縄文横位回転　長方形沈線内波状沈線３条垂下　頸部横位ヘラミガキ　体部～肩部刻み目ある隆線・LR縄文横位回転　渦巻状・弧状沈線　赤彩	ナデ　体部～肩部粘土紐接合痕残る	中空遮光器土偶　下半部欠損　同一個体破片が約3.5m離れて出土
		NR38	RP70							
126-3	SM60	NP38	RP84	クロ４	大洞BC式	土偶	頭部	頭頂部Ｂ突起　鼻部欠損　口部穿孔残る　耳部中央に小刺突加えた半円状　頭部左側面横位Ｃ字文？　赤彩	指オサエ・ナデ	中空遮光器土偶　顔面部破片
126-4	SM60	NQ36	RP69	クロ３	大洞BC式	土偶	頭部～体部	頭頂部渦巻き・Ｃ字沈線加えた連結した半円状突起　連結部表裏に刻目加えた瘤状粘土粒　眼部間に刺突加えた粘土粒で鼻部口部表出　口部下位に基部沈線加えた粘土粒　頭部裏面Ｃ字・３字状沈線　耳部Ｂ突起状頭部小刺突充填した平行沈線　体部中央小刺突充填した連結渦巻き文　体位下位三叉状沈線　腕部三叉状沈線　手部Ｂ突起状　体部裏面３字状・末端が渦巻くＣ字状沈線		中実土偶　左腕・両脚欠損　左脚部基部破損部にアスファルト付着
126-5	SM60	NR36	RP147	クロ２	大洞BC式	土偶	頭部～足部	頭頂部連結したＢ突起　裏面羊歯状文　鼻部不明　眼部間中央に刺突加えた粘土粒で口部表出　口部下位に小粘土粒　頭部裏面羊歯状文　耳部Ｂ突起状　体部表面Ｃ字文　体部裏面羊歯状文　脚部上端刻み目列　赤彩		中実土偶　両腕欠損　約4.8m離れた破片が接合
		NR37	RP149	クロ４						
126-6	SM60	NR37	RP218	クロ３	大洞BC式	土偶	頭部	頭頂部三叉状・渦巻き状沈線加えた横位Ｃ字状突起　頭部上端表面右半から裏面に截痕列　眼部間上位に刺突２個加えた粘土粒で鼻部表出　眼部間中央に小円形刺突で口部表出　眼部間下位基部に沈線加えた円形粘土粒貼り付け　頭部裏面三叉状沈線　耳部Ｂ字状　左耳基部上下に小刺突　赤彩		中実土偶　頸部破損部アスファルト付着
126-7	SM60	NR37	RP326	クロ４	大洞BC式	土偶	頭部	頭頂部Ｃ字状沈線加えた横位Ｃ字状突起　突起下截痕列　眼部間上位に刺突２個加えた粘土粒で鼻部表出　中央に円形刺突で口部表出　口部下に縦位沈線加えた粘土粒　頭部裏面K字文　耳部Ｂ突起状　表面下位に小刺突　赤彩		中実土偶　頸部破損部アスファルト付着

第39表　土器・土製品一覧(28)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
126-8	SM60	NQ38	RP105	クロ４	大洞BC式	土偶	頭部	頭頂部Ｂ突起付く橋状粘土帯　眼部上下にＢ突起　眼部間上方刻み目２個加えた粘土粒で鼻部表出　中央刺突加えた粘土粒で口部表出　顎部中央にＢ突起　裏面LR縄文　蛇行沈線施文　耳部Ｂ突起状　赤彩	指オサエ・ナデ	中空遮光器土偶
126-9	SM60	NO36	RP18	クロ４	大洞BC式？	土偶	頭部～足部	頭頂部直交する橋状把手　眼部上位隆線　眼部横位U字状沈線で表出　眼部間小円形刺突　頭部裏面縦位刻目列２条巡る　頭部平行沈線間刺突充填　耳部不整半円状　乳房基部環状沈線　体部Ｃ字・渦巻き状沈線　肩部平行沈線間刺突充填　赤彩	頭部不整ナデ	頭部中空　体部に垂直に刺突　左脚欠損　欠損部アスファルト付着
126-10	SM60	NR37	RP229	クロ４	大洞BC式	土偶	腕部	腕部渦巻き文　手部との境界に連珠文　手部Ｂ突起状	指押さえ・ナデ	中空土偶　腕部基部破損部にアスファルト付着
126-11	SM60	NR37		クロ４	大洞BC式	土偶	腕部	肩部刺突加えた隆線３条　下位２条の隆線は裏側で連結か　手部Ｂ突起状　赤彩	指押さえ・ナデ	中空土偶　腕部基部破損部にアスファルト付着
127-1	SM60	NO37	RP38	クロ４	大洞BC式？	土偶	頭部～足部	楕円形沈線で眼部表出　眼部間上位刻み２個加えた低粘土粒で鼻部表出　眼部間下位穿孔により口部表出　眼部上位から後頭部にかけて上閉じ連弧状沈線巡る　側頭部から後頭部にかけて下閉じ連弧状沈線加える　頸部横位沈線間横位短沈線充填　体部渦巻き状・弧状沈線　乳房基部環状沈線巡らす	頭部ナデ	頭部中空　体部中実　両腕・左脚折損　約５ｍ離れた破片が接合
		NP37 南北畦	RP53							
127-2	SM60	NP38 南北畦	RP1	クロ２	縄文晩期前半	土偶	頭部～足部	頭頂部素文半球状　楕円形沈線で眼部表出　刺突により鼻孔・口部表出　頸部刺突列巡る　右乳房左下方に長く垂れる　正面中軸に小刺突列　下腹部平坦　下半身に細沈線により腰簑表出　左手外側に開く　右足く字屈曲		中実土偶　右手・左脚折損
127-3	SM60	NR38	RP52	クロ３	縄文晩期前半	土偶	頭部～体部	頭部山形　頭頂部素文　顔面横位隆線貼り付け上下に小刺突各１個　頸部裏面V字状沈線１条　沈線上下に刺突列巡らす　粘土粒貼り付けにより乳房表出　体部中軸沈線垂下　沈線両側に小刺突列　腰部沈線１条巡る　沈線上下に刺突列		中実土偶　両脚折損
127-4	SM60	NQ37	RP263	クロ４	縄文晩期前半	土偶	頭部～体部	頭部半円形　頭頂部横位溝状にくぼむ　頭頂部刻み目　頭部刺突で両眼・鼻孔表出　粘土粒で乳房表出		中実土偶　右腕・下半部折損
127-5	SM60	NR38	RP52	クロ２	縄文晩期前半	土偶	体部～足部	体部裏面から表面に入組文　頸部・腰部に隆線巡る　左上腕部三叉状？沈線　粘土粒で乳房表出		中実土偶　頭部・左腕・右脚折損
127-6	SM60	NQ38	RP319	クロ４	縄文晩期前半	土偶	体部～足部	頸部V字状・弧状平行沈線　体部渦巻き状沈線　粘土粒で乳房表出　下腹部膨らむ　中央穿孔で臍表出　臍周囲に小刺突充填　裏面上半縦位爪形状刺突垂下　股間部に小穴		中実土偶　頭部・両腕・両脚折損
127-7	SM60	NR37	RP174	クロ３	縄文晩期前半	土偶	体部～足部	素文　粘土粒で乳房表出　下腹部平坦　赤彩		中実土偶　頭部・左腕・右脚折損
127-8	SM60	NR38		クロ３	縄文晩期前半	土偶	体部	頸部裏面小刺突列巡る　体部両面入組Ｃ字状沈線　正面下位に盲孔		中実土偶　頭部・両腕・両脚折損
127-9	SM60	NQ37		クロ４	縄文晩期前半	土偶	肩部～腕部	肩部～腕部ナデ		中実土偶
127-10	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	土偶	体部～脚部	体部～脚部ミガキ		中実土偶　体部中心穿孔　上半部・左脚折損
127-11	SM60	NS36	RP12	クロ２	縄文晩期前半	土偶	頭部～足部	頭部上端両側に張り出す　頭頂部平坦　顔面表現なし　体部中軸小刺突列　乳房部粘土粒剥落　右手部二股に分かれる　股間部小刺突　両脚大きく開く		中実土偶　左頭部・左腕・左脚折損
127-12	SM60	NQ38		クロ１	縄文晩期前半	土偶	胴部～腕部	胴部～腕部ナデ		中実土偶　異形　頭部・下半部折損
128-1	SM60	NR38杭	RP2		縄文晩期前半	匙形土製品		ナデ	ナデ	
128-2	SM60	NR36		クロ４	縄文晩期前葉	土製装飾品		残存部僅かに内湾する扁平棒状　上端中央縦位Ｂ突起　左右に横位Ｂ突起　中位横位隆線２条　残存部下位中央縦位Ｂ突起　左右に環状隆線・Ｂ突起	ナデ	外面赤彩
128-3	SM60	NQ38	RP41	クロ３	大洞C1式？	中空土製品？	体部	体部渦巻き状・Ｃ字状・三叉状沈線　LR縄文充填　円形穿孔　体部側面瘤状突起付く	体部ナデ	
128-4	SM60	NR36	RP68・145	クロ１	縄文晩期前半	環状土製品		放射状沈線　ミガキ　赤彩　補修孔２対	ミガキ	貝製腕輪複製品か
128-5	SM60	NR37		クロ３	縄文晩期前半	土製耳飾		中軸貫通孔ある鼓形　左面縁辺刻み目列　赤彩		
128-6	SM60	NR36	RP150	クロ２	縄文晩期前半	土製耳飾		中軸貫通孔ある鼓形　左面縁辺刻み目列　赤彩		
128-7	SM60	NP37		クロ３	縄文晩期前半	土製小玉		全面摩滅		
128-8	SM60	NS37	RP106	クロ４	縄文晩期前半	有孔円盤状土製品		ミガキ	ミガキ　炭化物付着	鉢体部破片転用　側縁打ち欠き後磨り　中央表面からの穿孔１か所
128-9	SM60	NO37		クロ１	縄文晩期前半	有孔円盤状土製品		摩滅	ナデか	深鉢形土器体部破片素材　周縁部摩滅　両面からの加撃により穿孔
128-10	SM60	NS37	RP88	クロ４	縄文晩期前半	有孔円盤状土製品？		摩滅	ナデ	深鉢底部破片転用か　下半欠損　側縁打ち欠きにより整形か　上位左右に両面穿孔各１か所
128-11	SM60	NQ38		クロ１	縄文晩期前半	円盤状土製品		RL縄文	横位ケズリ後ナデ	深鉢形土器口縁部破片素材　上端口唇部残る　周縁部打ち欠き
128-12	SM60	NR35		クロ２	縄文晩期前半	円盤状土製品		RL縄文	ナデ	深鉢形土器体部破片素材　周縁部打ち欠き
128-13	SM60	NQ38		クロ３	縄文晩期前半	円盤状土製品		LR縄文	ナデ	周縁部打ち欠き
128-14	SM60	NQ37		クロ３	縄文晩期前半	円盤状土製品		LR縄文	ナデ	深鉢形土器体部破片素材　周縁部打ち欠き
128-15	SM60	NQ38		クロ３	縄文晩期前半	円盤状土製品		RL縄文	ナデ	深鉢形土器体部破片素材　周縁部打ち欠き
128-16	SM60	NQ38	RP312	クロ４	不明	焼成粘土塊		指オサエ　右端棒状工具圧痕		
205-1	ST70	OF32	RP19・20	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部摩滅　体部RL縄文縦走　底部ナデ	摩滅	使用痕不明

第40表　土器・土製品一覧(29)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
205-2	ST70	OF32			大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文縦走	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-3	ST70	OF32	RP11	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文縦走	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-4	ST70	OF32	RP48	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	RL縄文(0段多条)縦走	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-5	ST70	OG32	RP192	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部RL縄文横位回転　体部RL縄文縦走	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-6	ST70	OF32	RP52	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文横位回転	口縁部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-7	ST70	OF32	RP26	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文縦走	口縁部～体部摩滅	口唇部丸み　使用痕不明
205-8	ST70	OF32			大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文縦走	口縁部～体部摩滅	口唇部丸み　使用痕不明
205-9	ST70	OF32	RP28	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文縦走	口縁部～体部横位ヘラナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-10	ST70	OG32	RP197	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部RL縄文横位回転　体部RL縄文縦位・横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
205-11	ST70	OG32	RP197	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
206-1	ST70	OF32			大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部摩滅	口唇部丸み　使用痕不明
206-2	ST70	OF32	RP40	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部摩滅	口唇部丸み　補修孔　使用痕不明
206-3	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文？横位回転	口縁部～体部横位ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
206-4	ST70	OG32	RP197・198	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部RL縄文縦走　底部ナデ	口縁部～底部ナデ　体部下半炭化物付着	口唇部丸み
206-5	ST70	OG32	RP186	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部RL縄文横位回転　体部RL縄文縦走　底部ナデ	口縁部～底部ナデ	使用痕不明
		OH32	RP24・25・91							
206-6	ST70	OF32	RP49	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部	口縁部RL縄文(0段多条)縦走	口縁部摩滅	口唇部平坦　使用痕不明
206-7	ST70	OG32	RP15・16	Ⅲ	大洞C2式？	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
207-1	ST70	OF32	RP11・12・34・46・56	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～底部	口縁部～体部RL縄文斜位回転　体部下端～底部ナデ	ナデ	口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
207-2	ST70	OF32	RP3・10・38	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～体部RL縄文斜位回転(条縦走傾向)	口縁部～体部ナデ	口唇部丸み　使用痕不明
208-1	ST70	OF32	RP22	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	口縁部～体部	口縁部ナデ　体部上端横位沈線２条　体部RL縄文縦走	ナデ	使用痕不明
208-2	ST70	OG32	RP39・40・192・199	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	体部	体部LR縄文横位回転	ナデ	体部上端内傾接合による擬口縁状　体部上位補修孔１個　使用痕不明
208-3	ST70	OF32	RP36	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	体部下位～底部	体部RL縄文斜位回転(条縦走傾向)　体部下端横位ケズリ　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
208-4	ST70	OG32	RP167・197	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文横位回転　底部ケズリ	底部ナデ	使用痕不明
208-5	ST70	OF32	RP21	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文縦走　底部ナデ	底部ナデ	底部僅かに上げ底　使用痕不明
208-6	ST70	OF32	RP8	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文縦走　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
208-7	ST70	OG32		Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端斜位ヘラナデ　底部ナデ	底部ヘラナデ	底部上げ底　使用痕不明
208-8	ST70	OF32	RP26・38	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文縦走　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
208-9	ST70	OF32	RP29	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文？縦走　底部ナデ	底部ナデ	底部僅かに上げ底　使用痕不明
209-1	ST70	OG32	RP163・183・188・189	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	体部～底部	体部RL縄文縦走　底部ナデ	体部～底部ナデ	使用痕不明
209-2	ST70	OF32	RP11・21・22・28・35・36	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	体部～底部	体部RL縄文縦走　底部ナデ　X字状沈線	ナデ	使用痕不明
209-3	ST70	OF32	RP23	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文斜位回転(条縦走傾向)　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
209-4	ST70	OF32			大洞C2式	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部ナデ	使用痕不明
209-5	ST70	OF32	RP38	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端LR縄文斜位回転　底部ナデ	底部横位ヘラナデ	使用痕不明
209-6	ST70	OG32	RP180	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部摩滅	使用痕不明
209-7	ST70	OF32	RP50	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端横位ケズリ　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
209-8	ST70	OF32	RP44	Ⅲ	大洞C2式？	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文縦位回転	底部ナデ	使用痕不明
209-9	ST70	OF32	RP5	Ⅲ	大洞C2式？	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部摩滅	使用痕不明
209-10	ST70	OG32		Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部下端RL縄文縦走　底部ナデ	底部ナデ	使用痕不明
209-11	ST70	OG32	RP189	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部ナデ	底部中央穿孔　使用痕不明
209-12	ST70	OF32	RP35	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	体部RL縄文？縦走　底部摩滅	底部摩滅	底部中央穿孔か　使用痕不明
209-13	ST70	OF32	RP7	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部摩滅	底部中央穿孔　使用痕不明
209-14	ST70	OF32	RP10	Ⅲ	大洞C2式	深鉢形土器	底部	底部摩滅	底部摩滅	使用痕不明
210-1	ST70	OF32	RP22	Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文斜位回転(条縦走傾向)	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部押圧状小刻み目
210-2	ST70	OF32	RP36	Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部摩滅	口唇部摩滅　使用痕不明
210-3	ST70	OF32	RP37	Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部押圧状刻み目　使用痕不明
210-4	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　体部LR縄文斜位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	
210-5	ST70				大洞C2式	鉢形土器	体部上半	体部横位沈線間LR縄文横位回転後四角文　ミガキ	体部ナデ	使用痕不明
210-6	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部RL縄文斜位回転	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部浅い刻み目
210-7	ST70	OF32			大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　体部RL縄文横位回転	口縁部～体部ナデ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目
210-8	ST70	OF32	RP23	Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～台部	口縁部横位沈線３条　沈線間刻み目充填２列　正面Ａ突起　体部上半LR縄文横位回転後雲形文　体部下半LR縄文横位回転　台部下端肥厚　横位細沈線１条　摩滅	口縁部～台部摩滅	口唇部丸み　使用痕不明
210-9	ST70	OF32	RP32	Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位浅い沈線３条　体部LR縄文？斜位回転	口縁部横位沈線１条	口唇部刻み目　使用痕不明
210-10	ST70	OG32		Ⅲ	大洞C2式	鉢形土器	口縁部	口縁部横位ナデ	口縁部横位沈線１条	口唇部Ｂ突起　使用痕不明
210-11	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部	口縁部体部境界横位沈線	口縁部横位沈線２条	口唇部鋸歯状刻み目
210-12	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～体部上位	口縁部体部境界横位沈線２条　体部RL縄文横位回転	口縁部横位沈線１条	口唇部鋸歯状刻み目
210-13	ST70	OF32	RP27	Ⅲ	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～底部	口縁部体部境界横位沈線２条　体部上半RL縄文横位回転後横位Ｃ字状沈線　沈線内ミガキ　瘤状突起貼り付け　体部下半縦位ケズリ後ナデ	口縁部横位沈線１条　口縁部～底部ナデ	口唇部低山形突起　口唇部鋸歯状刻み目
210-14	ST70	OF32			大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部横位沈線３条　横長瘤状突起剥落　体部LR縄文斜位回転(条縦走傾向)	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目　口縁端部内側横位沈線１条
210-15	ST70	OF32	RP54	Ⅲ	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部～肩部横位沈線３条　肩部瘤状突起剥落　体部LR縄文縦走	口縁部横位沈線１条　ミガキ　炭化物付着	

第41表　土器・土製品一覧(30)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
210-16	ST70				大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部	口縁部横位沈線３条	口縁部横位ミガキ　炭化物付着	口縁端部外側刻み目　口縁端部内側横位沈線１条
210-17	ST70	OF32		Ⅲ	大洞C2式	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　口縁部体部境界瘤状突起　横位沈線１条　体部摩滅	口縁部～体部ミガキ	
210-18	ST70	OG32	RP191	Ⅲ	大洞C1式？	浅鉢形土器	体部	体部入組状沈線	体部ナデ	
210-19	ST70	OF32	RP55	Ⅲ	大洞C2式	壺形土器	口縁部～底部	口縁端部低山形突起に三角形状沈線肩部・体部中位・体部下位・体部下端LR縄文横位回転後横位沈線各３条沈線間縦位沈線２～３条　底部くぼむ　ヘラミガキ	口縁部～底部ナデ	口縁端部外側肥厚　口唇部沈線１条
210-20	ST70	OG32		Ⅲ	大洞C2式	壺形土器	体部	体部中位横位沈線２条　体部上位弧状？沈線　体部下位LR縄文横位回転？	体部横位ナデ	
210-21	ST70	OF32	RP54	Ⅲ	不明	壺形土器	口縁部～体部	口縁部～体部不整ナデ	口縁部～体部ナデ	ミニチュアか
211-1		NR36	RP12	クロ上	大洞C1式	壺形土器	頸部～体部	頸部横位隆線２条　隆線間縦位Ｂ突起　体部上位横位沈線間刻み目列２段　体部中位雲形文　赤彩	頸部指オサエ　体部横位ナデ	
211-2		NS35		クロ２	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部入組流水文　ミガキ　体部非結束LR・RL縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部刻み目列
211-3					縄文晩期前半	不明	突起	眼鏡状　上面にＢ突起付く隆線巡らす　左右・上端に二叉状突起　赤彩	LR縄文　中央三叉状沈線二叉状突起基部弧状沈線	浅鉢形土器口縁部突起か
211-4		NP38		クロ上	不明	土偶	体部～足部	粘土粒貼り付けにより乳房表出　下腹部平坦　頸部V字状小円形刺突列２条　正面中軸小刺突列２条垂下　腰部小刺突列２条巡る　体部裏面中央にも小刺突列横位に巡る		中実土偶
211-5		NP35		攪乱	大洞C1式	土偶	頭部～足部	頭頂部Ｂ突起状　頭部中央刺突　両側横位短沈線　裏面三角形状抉り　体部表裏面対向する三角形状抉り　右足部三角形状刻目		中実土偶
211-6		NT37		クロ上	不明	土偶	体部	体部のみ残る　乳房部剥落　ナデ		中実土偶
218-1	SM60	NQ36		クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部左傾羊歯状文　ミガキ　体部RL横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部内傾　口唇部刻み目列　刻み目１個おきに口縁端部外側の縦位刻み目と連結し全体Ｂ突起列状
218-2	SM60	NQ36	RP74	クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　口縁部ナデ　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部内傾　口唇部外側刻み目列
218-3	SM60	NQ36	RP155	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間横位短沈線充填　ナデ　体部LR横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
218-4	SM60	NQ37	RP84	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位口唇部Ｂ突起と連結する羊歯状文　口縁部中位Ｘ字文　口縁部下位横位沈線間刻み目　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起
218-5	SM60	NQ37		クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刺突列　下位沈線横長Ｓ字状　肩部横位沈線間刺突列　体部上端横位沈線２条　ノ字文付く　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部横位ヘラミガキ	口唇部刻み目列
218-6	SM60	NQ37	RP217	クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間Ｃ字状沈線充填　体部LR縄文横位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部頂部刻み目２個加えた小山形突起
218-7	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位LR縄文横位回転　口縁部中位～下位右傾羊歯状文　ナデ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部Ｂ突起列　使用痕不明
218-8	SM60	NQ37	RP234	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端連弧状沈線　口縁部山形沈線加えた入組文　ナデ　口縁部体部境界横位沈線間横位刺突列　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部横位ナデ　体部横位ケズリ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部押圧状刻み目　小突起状
218-9	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間斜位沈線　斜位沈線上位下位交互刻み目列　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	口唇部内側肥厚
218-10	SM60	NQ37		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部右傾羊歯状文　ミガキ　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部小Ｂ突起　Ｂ突起～口唇部上端Ｃ字状刻み目列　使用痕不明
218-11	SM60	NP38		クロ３	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線２条　体部RL縄文斜位回転(条縦走傾向)　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　口縁部炭化物付着	口唇部刻み目列
218-12	SM60	NP38 南北畦		クロ４	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	口縁部波頂部下２本１組弧状沈線　体部上位下位横位沈線各２条　体部中位交互入り組む弧状沈線　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	小波状口縁
218-13	SM60	NQ35		クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刻み目断続充填　体部LR縄文横位回転後雲形文　ケズリ後ミガキ　体部炭化物付着	口縁部横位沈線１条　口縁部～体部ミガキ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部弧状沈線加えたＢ突起突起間刻み目
218-14	SM60	NQ35		クロ２	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線両端交互刻み目列　横位小Ｂ突起　口縁部体部境界横位沈線間刻み目列　縦位Ｂ突起　体部雲形文　口縁部～体部ミガキ	口縁部上位横位沈線１条　口縁部～体部横位ヘラミガキ	使用痕不明
218-15	SM60	NQ38		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間不整渦巻き状沈線　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　口縁部～体部炭化物付着	口唇部刻み目列　一部突起状
218-16	SM60	NQ38		クロ４	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整Ｃ字状・渦巻き状沈線　口縁部体部境界横位沈線１条　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明
219-1	SM60	NP38	RP82	クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間刺突列３段　口縁部体部境界横位沈線間横位Ｓ字状・Ｃ字状沈線　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ミガキ	口唇部刻み目列　使用痕不明
219-2	SM60	NP38		クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部末端渦巻く横位Ｓ字状沈線　ナデ　体部LR縄文斜位回転	口縁部～体部ミガキ	使用痕不明
219-3	SM60	NP38	RP97	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２～３条　口縁部中位～肩部波状・弧状沈線２列　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目
219-4	SM60	NQ38		クロ１	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線３条　体部横位Ｃ字文重畳	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列　使用痕不明

第42表　土器・土製品一覧(31)

番号	遺構	出土区	遺物番号	層	時期(型式)	器種	部位	外面特徴	内面特徴	その他の特徴・備考
219-5	SM60	NQ38	RP276	クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位下閉じ連弧状沈線　弧状沈線上位～口唇部刻み目２個充填 口縁部下位横位沈線４条間刻み目充填　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	
219-6	SM60	NO36		クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位横位沈線２条　口縁部中位～下位雲形文　ケズリ後ナデ　体部上位横位沈線４条　上位沈線間小刻み目列　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部上位横位沈線１条 口縁部～体部横位ミガキ 口縁部～体部炭化物付着	口唇部Ｂ突起２個１組？　突起間刻み目列
219-7		NO36		クロ上	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上半横位沈線２条　口縁部下半２本１組連弧状沈線　口縁部～体部ナデ	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列　一部突起状 使用痕不明
219-8	SM60	NO36		クロ３	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上端口唇部Ｂ突起と連結する横位沈線　沈線上位刻み目　口縁部～体部上位右傾羊歯状文２段　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部Ｂ突起列
219-9	SM60	NP35		クロ２	大洞BC式	鉢形土器	口縁部	口縁部上端刻み目列　口縁部左傾羊歯状文　ミガキ	口縁部ミガキ	口唇部肥厚　口唇部刻み目列加えた沈線１条巡る　正面２個１組Ｂ突起　使用痕不明
219-10	SM60	NP37 南北畦		クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部不整横位Ｓ字状・Ｃ字状沈線ナデ　体部LR縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　炭化物付着	口唇部刻み目列
219-11	SM60	NP37	RP72	クロ３	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上半２本１組連弧状沈線　口縁部下半末端渦巻き状横位Ｃ字状沈線　体部LR縄文斜位回転　口縁部炭化物付着	口縁部～体部ナデ　体部炭化物付着	
219-12	SM60	NP37		クロ４	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部上位入組三叉文　口縁部下位横位沈線間刻み目列　口縁部ミガキ　体部LR縄文横位回転　口縁部～体部炭化物付着	口縁部～体部ミガキ　炭化物付着	口唇部押圧状刻み目列
219-13	SM60	NP38		クロ２	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部横位沈線間連弧状沈線２列　体部LR縄文横位回転	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目　使用痕不明
219-14	SM60	NP36 南北畦		クロ４	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	口縁部入組三叉文　口縁部体部境界横位沈線２条　体部RL縄文横位回転　体部炭化物付着	口縁部～体部ナデ	口唇部刻み目列

第43表　石器・石製品一覧(1)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
29-1	石鏃	SK25			①	玉髄	2.2	基部側欠損　尖頭部ほぼ両面二次加工
29-2	石錐	SK25			①	珪質頁岩	3.0	複剥離面打面横長剥片素材　素材左側縁側に両面から二次加工施し錐部作出
29-3	石匙	SK25	NP37		7～9	珪質頁岩（砂質）	17.0	縦長剥片素材　両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　両側縁微小剥離痕
29-4	石匙	SK25			7～9	珪質頁岩	19.8	両面素材剥離面残る　素材打面側両側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
29-5	石匙	SK25	NP37		①	珪質頁岩	11.4	節理面打面縦長剥片素材　素材上位両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　表面右側縁二次加工施し刃部作出　左側縁微小剥離痕　末端側欠損
29-6	スクレイパー	SK25		RQ35	7～9	珪質頁岩	32.4	単剥離面打面縦長剥片素材　表面右側縁両側から不整二次加工施し刃部作出
29-7	スクレイパー	SK25	NP37		7～9	珪質頁岩	2.0	縦長剥片素材　打面側欠損　表面左側縁二次加工施後裏面右側縁に二次加工施し刃部作出
29-8	スクレイパー	SK25			①	珪質頁岩	67.4	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面両側縁に急角度二次加工施し刃部作出
30-1	スクレイパー	SK25		RQ44	①	珪質頁岩	133.8	単剥離面打面縦長剥片素材　末端縁両面から不規則な二次加工施し刃部作出
30-2	スクレイパー	SK25			①	珪質頁岩	63.2	節理面打面横長剥片素材　素材右側縁・末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
30-3	スクレイパー	SK25		RQ87	①	珪質頁岩	201.8	素材裏面左右・右側面に大形剥離痕　素材末端縁に両面から二次加工施し刃部作出　石核転用か
31-1	二次加工ある剥片	SK25			①	珪質頁岩	38.2	両面から周縁部に大形二次加工　右側縁鋸歯状
31-2	凹石類	SK25		S20	7～9	輝石安山岩	1,990.0	円礫素材　両面敲打痕各１か所と磨面
31-3	凹石類	SK25		S137	①	凝灰質砂岩	330.4	円礫素材　両面磨面
31-4	凹石類	SK25		S3	①	砂質凝灰岩	251.0	円礫素材　両面盲孔状敲打痕各１か所
31-5	石棒	SK25		S124	10	スコリア	2,170.0	全面敲打整形　頭部のみ残る
32-6	石皿	SK43S		S39	1	輝石安山岩	4,370.0	表裏面中央大きくくぼむ磨面　全体の1/8前後残る
34-1	石核	SK61		S26	1	珪質頁岩	253.0	正面上縁表裏交互剥離痕　左側面打面とし正面左側剥片剥離　裏面左側小形の剥離痕
34-2	凹石類	SK61		S28	1	輝石安山岩	1,080.0	円礫素材か　全面研磨整形　正面浅い敲打痕　上端欠損
35-8	凹石類	SQ09		S2		多孔質輝石安山岩	1,650.0	円礫素材　表裏面浅い敲打痕と中央に盲孔状敲打痕各２か所
35-9	凹石類	SQ09		S64		凝灰岩	360.0	円礫素材　表裏面中央に盲孔状敲打痕
35-10	凹石類	SQ09		S46		輝石安山岩	1,940.0	円礫素材　表裏面浅い敲打痕各２か所　両側面浅い敲打痕
35-11	凹石類	SQ09		S56		輝石安山岩	547.4	円礫素材　表面敲打痕２か所
36-1	石剣類	SQ09		S49		菫青石ホルンフェルス	26.6	全面研磨　先端・基部側折損
36-2	石棒	SQ09		S71		安山岩	5,410.0	ほぼ全面敲打整形　基部側欠損
36-3	石棒？	SQ09		S58		輝石安山岩	24,000.0	大形柱状円礫素材　上端に加工痕か
36-5	石核	SN24 ？				珪質頁岩	33.4	小形　打面・作業面90°入れ替え　打面つぶれ　両極剥離か
37-3	石剣類	SKP21W			1	菫青石ホルンフェルス	51.4	全面研磨　先端部尖頭状　基部側欠損
37-8	凹石類	SKP35		S1	1	輝石安山岩	1,100.0	円礫素材か　全面研磨整形　正面浅い敲打痕　左側破損
37-19	円盤状石製品	SKP44		S18	1	変質安山岩	145.0	扁平円礫素材　表面左側・裏面左側に二次加工痕　側面敲打痕
38-12	二次加工ある剥片	SKP64		RQ35		珪質頁岩	51.2	単剥離面打面厚手剥片素材　末端縁両面から大形二次加工
38-13	石鏃	SKP67		RQ1	1	珪質頁岩	2.6	有茎　両面素材剥離面残す　茎部アスファルト付着　茎部末端折損
129-1	石鏃	SM60	NQ36		クロ４	珪質頁岩	1.0	凹基　両面全面二次加工　基部アスファルト付着
129-2	石鏃	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	2.0	凹基　下半部両面全面二次加工　尖頭部折損
129-3	石鏃	SM60	NP36		クロ２	玉髄	2.0	左脚部欠損　浅い凹基　両面全面二次加工　異形石器か
129-4	石鏃	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	2.2	基部僅かに凹む　両面全面二次加工
129-5	石鏃	SM60	NS36		クロ３	珪質頁岩	6.6	凹基　両面全面二次加工
129-6	石鏃	SM60	NO36		クロ２	玉髄	11.0	凹基　縦長剥片素材　両面素材剥離面残る
129-7	石鏃	SM60	NO38		クロ３	珪質頁岩	8.4	凹基　縦長剥片素材　両面素材剥離面残る
129-8	石鏃	SM60	NO38		クロ３	珪質頁岩	8.2	凹基　縦長剥片素材　両面素材剥離面残る
129-9	石鏃	SM60	NO38		クロ３	珪質頁岩	8.2	凹基　縦長剥片素材　両面素材剥離面残る
129-10	石鏃	SM60	NS35		クロ２	玉髄	0.8	尖基　両面全面二次加工
129-11	石鏃	SM60	NQ35		クロ１	珪質頁岩	1.0	尖基　裏面素材剥離面僅かに残る
129-12	石鏃	SM60	南北畦		クロ４	珪質頁岩	0.6	尖基　周縁部のみ二次加工
129-13	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	1.2	尖基　表裏面素材剥離面残る　基部僅かにアスファルト付着
129-14	石鏃	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	1.8	尖基　表面素材剥離面僅かに残る
129-15	石鏃	SM60	NT37		クロ１	珪質頁岩	2.2	尖基　両面全面二次加工　尖頭部湾曲
129-16	石鏃	SM60	NR35		クロ１	珪質頁岩	2.0	尖基　両面全面二次加工　尖頭部折損
129-17	石鏃	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	2.0	尖基　表面節理面残る　裏面素材剥離面残る
129-18	石鏃	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	3.6	尖基　裏面素材剥離面残る
130-1	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	2.0	尖基　両面全面二次加工
130-2	石鏃	SM60	NS36		クロ３	瑪瑙	4.0	尖基　表面素材剥離面残る
130-3	石鏃	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	5.8	尖基　両面全面二次加工　側面湾曲
130-4	石鏃	SM60	NQ37	RQ262	クロ４	珪質頁岩	4.6	尖基　表面素材剥離面残る
130-5	石鏃	SM60	NQ35		クロ３	珪質頁岩	4.4	尖基　両面全面二次加工
130-6	石鏃	SM60	NR36		クロ３	珪質頁岩	3.6	尖基か　両面全面二次加工　基部アスファルト付着　基部折損
130-7	石鏃	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	4.0	尖基　両面全面二次加工
130-8	石鏃	SM60	NQ36		クロ４	珪質頁岩	6.2	尖基　表面素材剥離面僅かに残る
130-9	石鏃	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	6.2	尖基　横長剥片素材　両面素材剥離面残る
130-10	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	8.2	尖基　横長剥片素材　裏面素材剥離面残る
130-11	石鏃	SM60	NS37		クロ１	玉髄	8.0	尖基　横長剥片素材　表裏面に素材剥離面残る
130-12	石鏃	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	7.6	尖基　表裏面素材剥離面残る
130-13	石鏃	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	7.8	尖基　両面全面二次加工
131-1	石鏃	SM60	NO38		クロ３	珪質頁岩	7.2	尖基　縦長剥片素材　周縁部のみ二次加工
131-2	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	10.0	尖基　表裏面素材剥離面残る
131-3	石鏃	SM60	NO38		クロ３	珪質頁岩	9.0	尖基　横長剥片素材　裏面素材剥離面残る
131-4	石鏃	SM60	NP37		クロ１	珪質頁岩	9.4	尖基　表面素材剥離面残る　側面湾曲　尖頭部階段状剥離痕　基部アスファルト付着　未成品か
131-5	石鏃	SM60	NR35		クロ３	黒曜石	11.6	尖基　両面全面二次加工　石槍か　深浦六角沢産黒曜石素材
131-6	石鏃	SM60	NR36		クロ４	珪質頁岩	12.0	尖基か　表裏面素材剥離面僅かに残る　基部階段状剥離痕残る　石槍か
131-7	石鏃	SM60	NO37		クロ４	珪質頁岩	8.8	尖基　両面素材剥離面残る　上半折損
132-1	石鏃	SM60	NP38		クロ４	珪質頁岩	1.4	尖基　表裏面素材剥離面残る　基部アスファルト付着
132-2	石鏃	SM60	NQ35		クロ３	珪質頁岩	1.6	尖基　両面素材剥離面残る　側面湾曲　基部アスファルト付着
132-3	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	2.4	尖基　両面素材剥離面残る
132-4	石鏃	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	3.0	尖基　両面全面二次加工　尖頭部欠損
132-5	石鏃	SM60	NO37		クロ１	珪質頁岩	2.6	尖基　先端部素材折れ面残る　裏面全面二次加工　基部アスファルト付着　基部末端折損
132-6	石鏃	SM60	NS37			珪質頁岩	1.4	尖基　両面全面二次加工　側面湾曲
132-7	石鏃	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	4.0	尖基　両面全面二次加工　下半部アスファルト付着　先端部折損
132-8	石鏃	SM60	NO37		クロ１	珪質頁岩	3.2	尖基　両面全面二次加工　基部アスファルト付着　先端部折損
132-9	石鏃	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	4.8	尖基　両面全面二次加工
132-10	石鏃	SM60	NP35		クロ３	珪質頁岩	6.4	尖基　両面全面二次加工　側面湾曲
132-11	石鏃	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	3.2	尖基　表面素材剥離面残る　側面湾曲　基部僅かにアスファルト付着
132-12	石鏃	SM60	NQ36		クロ２	珪質頁岩	2.6	尖基　両面全面二次加工　尖端部折損
132-13	石鏃	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	4.8	尖基　両面全面二次加工
132-14	石鏃	SM60	NQ38		クロ４	珪質頁岩	6.2	尖基　両面全面二次加工　基端部折損
133-1	石鏃	SM60	NS37		クロ１	玉髄	1.0	有茎　表面素材剥離面残る
133-2	石鏃	SM60	NS35		クロ１	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工
133-3	石鏃	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工
133-4	石鏃	SM60	NR38		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
133-5	石鏃	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	1.2	有茎　両面全面二次加工
133-6	石鏃	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎　表面素材剥離面残る　左右非対称
133-7	石鏃	SM60	NS37		クロ１	珪質頁岩	0.6	有茎　周縁部のみ二次加工
133-8	石鏃	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	1.2	有茎　表面縁辺急角度二次加工　非実用品か
133-9	石鏃	SM60	NQ38		クロ１	珪質頁岩	1.0	有茎　両面縁辺部のみ二次加工　茎部僅かにアスファルト付着
133-10	石鏃	SM60	NQ38		クロ１	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工
133-11	石鏃	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩(玉髄化)	1.6	有茎　両面全面二次加工　茎部僅かにアスファルト付着
133-12	石鏃	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	1.0	有茎　両面僅かに素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
133-13	石鏃	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	1.2	有茎　両面素材剥離面残る　側面湾曲
133-14	石鏃	SM60	NR36		クロ１	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
133-15	石鏃	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	1.0	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲　茎部アスファルト付着
133-16	石鏃	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	1.0	有茎　両面素材剥離面残る　側面湾曲
133-17	石鏃	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	1.2	有茎　両面全面二次加工
133-18	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	1.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
133-19	石鏃	SM60	NR38		クロ１	珪質頁岩	2.2	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
133-20	石鏃	SM60	NT36		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎　表面素材剥離面残る　左右非対称
134-1	石鏃	SM60	NO37		クロ１	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工
134-2	石鏃	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	1.2	有茎　両面全面二次加工
134-3	石鏃	SM60	NS37		クロ２	瑪瑙	1.8	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
134-4	石鏃	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	2.0	有茎　表面僅かに素材剥離面残る
134-5	石鏃	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	2.0	有茎　表面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
134-6	石鏃	SM60	NQ38		クロ４	珪質頁岩	1.8	有茎　裏面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
134-7	石鏃	SM60	NR37	RP195	クロ３	珪質頁岩	1.8	有茎　表裏面僅かに素材剥離面残る　茎部アスファルト付着　茎部末端折損

第44表　石器・石製品一覧(2)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
134-8	石鏃	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩(玉髄化)	1.4	有茎　両面周縁部のみ二次加工　茎部未端折損
134-9	石鏃	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	2.8	有茎　両面周縁部のみ二次加工　茎部アスファルト付着
134-10	石鏃	SM60	NR36	RP247	クロ４	珪質頁岩	2.0	有茎　表裏面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
134-11	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	3.0	有茎　表面素材剥離面残る　茎部僅かにアスファルト付着
134-12	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	2.8	有茎　表面素材剥離面残る
134-13	石鏃	SM60	NP38		クロ３	碧玉	2.4	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
134-14	石鏃	SM60	NR36		クロ４	珪質頁岩	3.6	有茎　両面素材剥離面残る　茎部僅かにアスファルト付着　上下端折損
134-15	石鏃	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	1.6	有茎　裏面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
134-16	石鏃	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	2.4	有茎　両面全面二次加工　側面湾曲　茎部アスファルト付着
135-1	石鏃	SM60	NQ36		クロ２	珪質頁岩	1.8	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
135-2	石鏃	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	2.0	有茎　表面素材剥離面残る
135-3	石鏃	SM60	NQ37	RQ90	クロ３	珪質頁岩	3.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
135-4	石鏃	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	3.0	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲
135-5	石鏃	SM60	NR37	RQ186	クロ３	珪質頁岩	2.0	有茎　両面全面二次加工　上下端折損
135-6	石鏃	SM60	NR37	RQ173	クロ３	珪質頁岩	3.4	有茎　両面全面二次加工
135-7	石鏃	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	4.2	有茎　両面全面二次加工　表面大形二次加工痕残る　未成品か
135-8	石鏃	SM60	NR35		クロ３	珪質頁岩	2.8	有茎　裏面素材剥離面残す
135-9	石鏃	SM60	NR36	RP56	クロ２	珪質頁岩	2.4	有茎　両面全面二次加工　茎部未端折損
135-10	石鏃	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	2.4	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲
135-11	石鏃	SM60	NQ36		クロ４	珪質頁岩	1.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　茎部折損
135-12	石鏃	SM60	NR38		クロ２	変質珪質頁岩(碧玉化)	1.8	有茎　両面全面二次加工
135-13	石鏃	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	7.2	有茎　両面全面二次加工　左右非対称
135-14	石鏃	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	6.0	有茎　両面素材剥離面残る　左右非対称
136-1	石鏃	SM60	NO36		クロ４	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工　茎部未端折損
136-2	石鏃	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工
136-3	石鏃	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工
136-4	石鏃	SM60	NR35		クロ１	珪質頁岩	1.0	有茎　表裏面素材剥離面残す　側面湾曲
136-5	石鏃	SM60	NR38	RQ87	クロ４	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
136-6	石鏃	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	1.6	有茎　裏面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
136-7	石鏃	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	1.2	有茎　両面素材剥離面残る
136-8	石鏃	SM60	NQ35	RQ181	クロ４	珪質頁岩	1.6	有茎　両面周縁部のみ二次加工
136-9	石鏃	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	2.4	有茎　両面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
136-10	石鏃	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	1.2	有茎　両面素材剥離面残る　側面湾曲
136-11	石鏃	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	2.2	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲　茎部アスファルト付着　先端部折損
136-12	石鏃	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	1.2	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
136-13	石鏃	SM60	NQ36	RP90	クロ２	珪質頁岩	3.6	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲　茎部未端折損
136-14	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	2.0	有茎　両面全面二次加工　左右非対称
136-15	石鏃	SM60	NQ38	RQ297	クロ４	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
136-16	石鏃	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	2.6	有茎　両面素材剥離面残る　側面湾曲
136-17	石鏃	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	1.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
136-18	石鏃	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	2.4	有茎　両面全面二次加工
136-19	石鏃	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	1.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
136-20	石鏃	SM60	NQ38		クロ１	珪質頁岩	1.8	有茎　両面全面二次加工　両側縁に１対の浅い抉り
137-1	石鏃	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	2.2	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着
137-2	石鏃	SM60	NQ38		クロ４	珪質頁岩	2.2	有茎　表面素材剥離面残る　茎部僅かにアスファルト付着　先端部折損
137-3	石鏃	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	1.8	有茎　表面節理面残る
137-4	石鏃	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	1.4	有茎　表面素材剥離面残る　左右非対称　先端部折損
137-5	石鏃	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	1.8	有茎　両面素材剥離面残る
137-6	石鏃	SM60	NR37			珪質頁岩	1.8	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　茎部未端折損
137-7	石鏃	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	3.8	有茎　表面節理面僅かに残る　左右非対称
137-8	石鏃	SM60	NQ38		クロ３	変質流紋岩	1.8	有茎　両面全面二次加工　側面湾曲
137-9	石鏃	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	2.0	有茎　表面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
137-10	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	3.4	有茎　表面素材剥離面残る
137-11	石鏃	SM60	NP38	RQ114	クロ４	珪質頁岩	3.8	有茎　表裏面素材剥離面残す
137-12	石鏃	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	1.4	有茎　表面素材剥離面僅かに残る　茎部アスファルト付着　茎部未端折損
137-13	石鏃	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	2.6	有茎　表面僅かに素材剥離面残る　茎部僅かにアスファルト付着
137-14	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	2.2	有茎　両面全面二次加工　茎部僅かにアスファルト付着　上下端折損
137-15	石鏃	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	3.2	有茎　両面素材剥離面残る　茎部アスファルト付着
138-1	石鏃	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	5.2	有茎　両面素材剥離面残る　側面湾曲
138-2	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	9.8	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲
138-3	石鏃	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	4.2	有茎　両面全面二次加工　茎部僅かにアスファルト付着
138-4	石鏃	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	6.0	有茎　両面素材剥離面残る　裏面階段状二次加工痕残る　左右非対称　未成品か
138-5	石鏃	SM60	NP35		クロ３	珪質頁岩	3.0	有茎　両面僅かに素材剥離面残る　左右非対称
138-6	石鏃	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	3.6	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲　茎部アスファルト付着　茎部未端折損
138-7	石鏃	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	2.6	有茎　両面全面二次加工
138-8	石鏃	SM60	NR37	RQ228	クロ４	珪質頁岩	2.4	有茎　両面全面二次加工　茎部僅かにアスファルト付着
138-9	石鏃	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	3.6	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　茎部未端折損
138-10	石鏃	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	8.2	有茎　両面僅かに素材剥離痕残る　茎部アスファルト付着
138-11	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	4.6	有茎　両面素材剥離面残る　左右非対称
138-12	石鏃	SM60	NQ37	RQ123	クロ３	珪質頁岩	3.6	有茎　裏面素材剥離面残る　側面湾曲
139-1	石鏃	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	6.0	有茎　両面全面二次加工
139-2	石鏃	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	11.2	有茎　裏面素材剥離面残る　表面階段状二次加工痕残る　未成品か
139-3	石鏃	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	8.0	有茎　裏面素材剥離面残る
139-4	石鏃	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩(玉髄化)	6.0	有茎　両面素材剥離面残る　尖頭部不整　茎部僅かにアスファルト付着
139-5	石鏃	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工　側面内湾　茎部・体部アスファルト付着　茎部未端折損
139-6	石鏃	SM60	NT37		クロ１	珪質頁岩	2.0	有茎　両面素材剥離面残る
139-7	石鏃	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	3.8	有茎　両面全面二次加工
139-8	石鏃	SM60	NS36		クロ１	珪質頁岩	2.2	有茎　表面素材剥離面残る　側面湾曲　未成品か
139-9	石鏃	SM60	NR38		クロ２	珪質頁岩	9.0	有茎　横長剥片素材　両面素材剥離面残る　側面湾曲　未成品か
139-10	石鏃	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	1.6	有茎　両面全面二次加工　先頭部截断状欠損　基部左端折損　茎部折損
139-11	石鏃	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	2.2	有茎　両面全面二次加工　左右非対称　未成品か
139-12	石鏃	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	3.2	有茎　表面素材剥離面残る　左右非対称　未成品か
140-1	石槍	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	29.0	木の葉形　横長剥片素材　両面素材剥離面残る
140-2	石槍	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	15.4	不整木の葉形　横長剥片素材　裏面尖頭部周辺のみ二次加工
140-3	石槍	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	16.6	柳葉形　縦長剥片素材　周縁部のみ二次加工
140-4	石槍	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	13.4	柳葉形　両面全面二次加工　茎部作出
140-5	石槍	SM60	NO38		クロ２	珪質頁岩	62.2	柳葉形　両面全面二次加工
140-6	石槍	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	51.6	柳葉形？　両面全面二次加工　上半部折損
141-1	石錐	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	2.2	有茎石鏃状　両面全面二次加工　錐部摩耗痕
141-2	石錐	SM60	NR37		クロ４	珪質頁岩	2.8	有茎石鏃状　表裏面に素材剥離面僅かに残る　錐部摩耗痕
141-3	石錐	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	3.4	尖基石鏃状　表面に素材剥離面残る　錐部摩耗痕
141-4	石錐	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	3.8	錐部短い　基部円基　両面全面二次加工　錐部僅かに摩耗痕
141-5	石錐	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	2.0	棒状　両面全面二次加工　錐部僅かに摩耗痕
141-6	石錐	SM60	NP37		クロ２	珪質頁岩	1.4	棒状　両面に素材剥離面残る　側面湾曲　尖端部使用痕不明
141-7	石錐	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	3.6	錐部針状　基部僅かに膨らむ　基部裏面に素材剥離面残る　錐部使用痕不明
141-8	石錐	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	2.8	錐部針状　基部膨らむ　基部両面に素材剥離面残る　錐部使用痕不明
141-9	石錐	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	6.2	錐部針状　基部ほとんど未加工　錐部使用痕不明
141-10	石錐	SM60	NQ36		クロ２	珪質頁岩	5.0	錐部棒状　基部尖頭状　両面全面二次加工　錐部使用痕不明
141-11	石錐	SM60	NR37			珪質頁岩	5.6	錐部針状　基部裏面に素材剥離面残る　錐部使用痕不明
141-12	石錐	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	4.8	錐部針状　基部周縁に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
141-13	石錐	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	4.6	錐部針状　基部周縁部に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
141-14	石錐	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	5.0	錐部針状　基部に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-1	石錐	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	7.8	錐部針状　素材節理面打面残る　両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-2	石錐	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	10.0	錐部針状　基部周縁に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-3	石錐	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	8.4	錐部針状　基部両面周縁部に二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-4	石錐	SM60	NN36		ⅡＢ	珪質頁岩	9.6	錐部針状　基部周縁に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部先端折損
142-5	石錐	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	10.6	錐部針状　基部表面周縁部に二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-6	石錐	SM60	NS35		クロ１	珪質頁岩	2.6	錐部針状　基部折損　錐部使用痕不明
142-7	石錐	SM60	NO37		クロ３	玉髄	10.4	錐部針状　基部周縁に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-8	石錐	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	8.4	錐部針状　基部表面周縁に二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
142-9	石錐	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	16.8	錐部針状　基部両面周縁部に階段状二次加工痕残る　錐部先端摩耗痕
142-10	石錐	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	6.6	錐部針状　単剥離面打面残る　表面一部周縁にのみ二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
143-1	石錐	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	4.4	錐部針状　基部未加工　錐部尖端摩耗痕

第45表　石器・石製品一覧(3)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
143-2	石錐	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	6.0	錐部針状　基部周縁部に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
143-3	石錐	SM60	NQ35		クロ２	玉髄	5.2	錐部針状　基部表面に二次加工施しつまみ状に整形
143-4	石錐	SM60	NR35		クロ３	珪質頁岩	4.6	錐部針状　基部未加工　錐部使用痕不明
143-5	石錐	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	4.6	錐部針状　素材点状打面残る　周縁部に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
143-6	石錐	SM60	NR38		クロ４	珪質頁岩	8.8	錐部針状　素材複剥離面打面残る　周縁に二次加工施しつまみ状に整形　錐部先端折損後摩耗痕
143-7	石錐	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	11.8	錐部針状　基部に素材単剥離面打面残る　基部表面一部周縁部にのみ二次加工　錐部摩耗痕
143-8	石錐	SM60	NR38	RQ62	クロ３	珪質頁岩	16.2	錐部針状　素材複剥離面打面残る　錐部使用痕不明　裏面錐部下部～基部一部アスファルト付着
143-9	石錐	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	15.4	錐部針状　基部に素材単剥離面打面残る　基部未加工　錐部使用痕不明
143-10	石錐	SM60	NO38		クロ２	珪質頁岩	24.8	錐部針状　錐部表面僅かに素材剥離面残る　基部未加工　錐部使用痕不明
144-1	石錐	SM60	NS36		クロ３	珪質頁岩	17.4	錐部短い　基部周縁部に両面から二次加工施し刃部作出　錐部使用痕不明　スクレイパー兼用
144-2	石錐	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	3.4	錐部短い　素材単剥離面打面残る　周縁部に両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部摩耗痕
144-3	石錐	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	6.2	錐部針状　基部両面に全面二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
144-4	石錐	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	10.8	錐部棒状　基部両面にほぼ全面二次加工施しつまみ状に整形　錐部摩耗痕
144-5	石錐	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	5.6	錐部短針状　基部裏面一部縁辺にのみ二次加工　錐部使用痕不明
144-6	石錐	SM60	NR38		クロ２	珪質頁岩	4.2	錐部針状　基部一部縁辺にのみ両面から二次加工　錐部使用痕不明
144-7	石錐	SM60	NT36		クロ１	珪質頁岩	15.2	錐部短針状　基部に素材単剥離面打面残る　基部ほとんど未加工　錐部先端截断状折れ
144-8	石錐	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	6.4	錐部棒状　基部一部縁辺に両面から二次加工
144-9	石錐	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	16.8	錐部針状　基部に素材単剥離面打面残る　基部未加工　錐部使用痕不明
144-10	石錐	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	8.4	錐部短い　基部素材単剥離面打面残る　基部未加工
145-1	石錐	SM60	NR38		クロ３	珪質頁岩	4.2	錐部短い　基部表面に素材剥離面残る　錐部摩耗痕
145-2	石錐	SM60	NQ35	RQ9	クロ１	珪質頁岩	4.4	錐部短い　基部両面全面二次加工　錐部使用痕不明
145-3	石錐	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	7.6	錐部短い　基部両面僅かに素材剥離面残る　錐部使用痕不明
145-4	石錐	SM60	NT36		クロ１	珪質頁岩	8.0	錐部短い　基部周縁部に両面から二次加工施しつまみ部状に整形　錐部使用痕不明
145-5	石錐	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	8.8	錐部短い　素材単剥離面打面残る　一部縁辺に両面から二次加工施しつまみ部整形　錐部摩耗痕
145-6	石錐	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	2.4	錐部針状　錐部から基部両面に素材剥離面残る　錐部先端摩耗痕
145-7	石錐	SM60	NO37		クロ１	珪質頁岩	2.2	錐部針状　錐部から基部両面に素材剥離面残る　錐部先端摩耗痕
145-8	石錐	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	3.6	錐部針状　錐部から基部両面に素材剥離面残る　錐部摩耗痕
145-9	石錐	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	9.2	錐部棒状　基部に素材単剥離面打面残る　錐部から基部裏面に素材剥離面残る　錐部使用痕不明
145-10	石錐	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	10.0	錐部短い　錐部から基部両面に素材剥離面残る　錐部先端摩耗痕
146-1	石錐	SM60	NT37		クロ１	玉髄	2.2	錐部短針状　基部両面に素材剥離面残る　側面湾曲　錐部使用痕不明
146-2	石錐	SM60	NR35	RP59	クロ２	珪質頁岩	6.4	錐部短針状　錐部ねじれ　基部両面に素材剥離面残る
146-3	石錐	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	3.6	錐部短針状　錐部表面縁辺部二次加工　基部未加工　錐部使用痕不明
146-4	石錐	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	2.6	錐部短針状　錐部から基部両面に素材剥離面残る　錐部使用痕不明
146-5	石錐	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	10.8	錐部短い　基部ほとんど未加工　錐部先端摩耗痕
146-6	石錐	SM60	NR38		クロ２	玉髄	6.4	錐部短い　基部表面一部縁辺部にのみ二次加工　錐部先端摩耗痕
146-7	石錐	SM60	NR35		クロ３	珪質頁岩	11.4	錐部短針状　基部素材打瘤周辺のみに二次加工　錐部使用痕不明
146-8	石錐	SM60	NP36		クロ１	珪質頁岩	10.8	錐部短い　表面ほとんど未加工　裏面錐部周辺二次加工　錐部使用痕不明
146-9	石錐	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	19.6	錐部棒状　基部両面に素材剥離面残る　錐部先端摩耗痕
146-10	石錐	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	19.8	錐部針状　単剥離面打面縦長剥片素材　表裏面右側縁に二次加工施し錐部作出　錐部使用痕不明
147-1	石匙	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	2.0	縦長剥片素材　素材打面から左側縁に二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　刃部微小剥離痕
147-2	石匙	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	3.0	単剥離面打面縦長剥片素材　表面周縁に二次加工施しつまみ部・刃部作出　つまみ部アスファルト付着
147-3	石匙	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	5.4	縦長剥片素材　素材節理面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　刃部微小剥離痕
147-4	石匙	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	7.6	縦長剥片素材　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工
147-5	石匙	SM60	NR35			珪質頁岩	7.0	縦長剥片素材　素材節理面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　刃部微小剥離痕
147-6	石匙	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	8.8	縦長剥片素材　末端側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　刃部微小剥離痕
147-7	石匙	SM60	NQ38		クロ４	珪質頁岩	8.4	縦長剥片素材　素材末端側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部微小剥離痕
147-8	石匙	SM60	NS37		クロ４	珪質頁岩	22.6	単剥離面打面縦長剥片素材　打面側両側縁に二次加工施しつまみ部作出　刃部表面右側縁二次加工　刃部微小剥離痕
147-9	石匙	SM60	NR38	RP275	クロ４	珪質頁岩	20.6	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材打面側表裏面左側縁に二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工　刃部先端微小剥離痕
148-1	石匙	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	7.8	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出
148-2	石匙	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	11.4	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出
148-3	石匙	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	18.2	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残す　素材打面側両側縁に両面から二次加工施し刃部作出　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
148-4	石匙	SM60	NR37		クロ４	珪質頁岩	8.4	縦長剥片素材　打面側両側縁二次加工施し刃部作出　素材表面二次加工施し尖頭状刃部作出
148-5	石匙	SM60	NR37	RP178	クロ３	珪質頁岩	12.2	縦長剥片素材　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁と裏面末端縁に二次加工施し尖頭状刃部作出
148-6	石匙	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	11.2	縦長剥片素材か　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出　刃部裏面微小剥離痕
148-7	石匙	SM60	NP38		クロ４	珪質頁岩	24.8	縦長剥片素材　素材節理面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出
148-8	石匙	SM60	NO36		クロ４	珪質頁岩	26.0	縦長剥片素材　打面側両側縁に二次加工施しつまみ部作出　表面両側縁に二次加工施し刃部作出
148-9	石匙	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	35.0	縦長剥片素材　打面側両側縁に二次加工施しつまみ部作出　表面両側縁に二次加工施し刃部作出
149-1	石匙	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	17.6	素材打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面末端縁に二次加工施し刃部作出
149-2	石匙	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	6.0	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材左側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
149-3	石匙	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	5.6	縦長剥片素材　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁と裏面右側縁に二次加工施し刃部作出
149-4	石匙	SM60	NP38		クロ４	珪質頁岩	28.2	縦長剥片素材　素材複剥離面打面残る　素材打面側に両側縁両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面左側縁と裏面両側縁に二次加工施し刃部作出
149-5	石匙	SM60	NR38		クロ３	珪質頁岩	26.2	素材打面側二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
149-6	石匙	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	41.2	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　主に素材裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
149-7	石匙	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	35.4	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁に両面から二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
150-1	石匙	SM60	NP36		クロ１	珪質頁岩	34.6	素材打面側に二次加工施しつまみ部作出　両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
150-2	石匙	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	27.8	横長剥片素材　素材側縁側に両面から二次加工施しつまみ部作出　打面側から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
150-3	石匙	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	23.2	縦長剥片素材　素材末端側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材打面側から両側縁に両面から二次加工施し刃部作出
150-4	石匙	SM60	NQ35		クロ１	珪質頁岩	17.0	縦長剥片素材　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材左側縁に両面から二次加工施し刃部作出
150-5	石匙	SM60	NS37			珪質頁岩	24.8	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に二次加工施し刃部作出
151-1	石匙	SM60	NP37		クロ２	珪質頁岩	10.8	横長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工施し１対のつまみ部作出　素材打面側と末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
151-2	石匙	SM60	NQ38		クロ４	珪質頁岩	14.4	縦長剥片素材　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出
151-3	石匙	SM60	NQ37	RQ219	クロ４	珪質頁岩	33.4	縦長剥片素材　素材単剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
151-4	石匙	SM60	NS37		クロ１	珪質頁岩	10.8	横長剥片素材　打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面末端縁に二次加工施し刃部作出　刃部裏面微小剥離痕
151-5	石匙	SM60	NR36		クロ３	珪質頁岩	7.2	横長剥片素材　打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面打面側から末端縁と裏面打面側に二次加工施し尖頭状刃部作出
151-6	石匙	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	20.4	素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面打面側から末端縁に二次加工施し刃部作出
152-1	石匙	SM60	NP36	RP254	クロ４	珪質頁岩	16.4	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材打面側から末端縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
152-2	石匙	SM60	NR37	RQ172	クロ３	珪質頁岩	16.4	素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
152-3	石匙	SM60	NQ38		クロ３	珪質頁岩	18.6	横長剥片素材　素材打面折損　素材打面側表面両側縁と裏面左側縁に二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
152-4	石匙	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	28.0	素材複剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
152-5	石匙	SM60	NO37		クロ２	珪質頁岩	40.8	素材節理面打面残る　素材表面ポジ面　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
153-1	石匙	SM60	NR36		クロ４	珪質頁岩(玉髄化)	28.8	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
153-2	石匙	SM60	NR37		クロ４	珪質頁岩	17.2	素材単剥離面打面残る　素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
153-3	石匙	SM60	NO37		クロ３	玉髄	25.6	一部除き両面全面二次加工
153-4	石匙	SM60	NP36		クロ４	珪質頁岩	30.4	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　打面側から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
153-5	石匙	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	36.2	素材打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面側縁から末端縁に二次加工施し刃部作出

第46表　石器・石製品一覧(4)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
154-1	石匙	SM60	NR38	RQ70	クロ４	珪質頁岩	20.2	表面周縁部二次加工　裏面全面二次加工　つまみ部アスファルト付着
154-2	石匙	SM60	NQ38		クロ１	珪質頁岩	19.8	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　表面ほぼ全面・裏面周縁部に二次加工施し両端尖頭状刃部作出
154-3	石匙	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	16.2	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材打面側から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
154-4	石匙	SM60	NN36		Ⅱb	珪質頁岩	17.0	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　つまみ部アスファルト付着
154-5	石匙	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	23.2	素材打面側に二次加工施しつまみ部作出　側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
154-6	石匙	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	24.2	両面一部除きほぼ全面二次加工
155-1	石匙	SM60	NS37		クロ４	珪質頁岩	39.6	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材打面側から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
155-2	石匙	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	23.4	素材打面側に二次加工施しつまみ部作出　つまみ部アスファルト付着
155-3	石匙	SM60	NR37	RP197	クロ４	珪質頁岩	36.4	素材打面側両側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
155-4	石匙	SM60	NR38		クロ２	珪質頁岩	10.2	横長剥片素材　素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　側縁から末端縁に両面から二次加工施し両端尖頭状刃部作出
155-5	石匙	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	25.0	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
156-1	石匙	SM60	NR35		クロ３	珪質頁岩	39.6	素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材周縁に両面から二次加工施し両端尖頭状刃部作出
156-2	石匙	SM60	NQ36		クロ２	珪質頁岩	29.0	素材側縁に二次加工施しつまみ部作出　素材周縁に両面から二次加工施し両端尖頭状刃部作出
156-3	石匙	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	55.6	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面末端縁に二次加工施し刃部作出　刃部裏面微小剥離痕
156-4	石匙	SM60	NR37		クロ４	珪質頁岩	14.6	素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材裏面末端縁に二次加工施し刃部作出　つまみ部アスファルト付着
157-1	石匙	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	26.6	素材単剥離面残る　素材側縁に両面から二次加工施しつまみ部作出　つまみ部以外は未加工
157-2	石匙	SM60	NQ35	RP118	クロ２	珪質頁岩	35.4	素材単剥離面打面残る　素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
157-3	石匙	SM60	NR36		クロ４	珪質頁岩	9.4	縦長剥片素材　素材打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　つまみ部以外未加工
157-4	石匙	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩 (砂質)	33.2	素材末端側片側にのみ両面から二次加工施しつまみ部作出　素材打面から側縁に両面から二次加工施し刃部作出　つまみ部僅かにアスファルト付着
158-1	石篦	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	18.6	表裏面上下端・右側縁一部階段状二次加工痕　裏面左側面裁断状剥離痕　両極打法による整形もしくは楔形石器の可能性
158-2	石篦	SM60	NO36		クロ３	珪質頁岩	16.6	横長剥片素材か　表面全面二次加工　裏面中央素材剥離面残る
158-3	石篦	SM60	NO35		クロ１	珪質頁岩 (砂質)	80.4	表面両側縁急角度二次加工　表面刃部階段状二次加工痕　表面基部中央に素材剥離面残る　裏面右側縁と刃部の一部二次加工
158-4	石篦	SM60	NP38	RQ42	クロ４	珪質頁岩	75.0	両面全面二次加工
158-5	スクレイパー	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	22.8	単剥離面縦長剥片素材　素材表面右側縁と裏面左側縁の一部に二次加工施し刃部作出
158-6	スクレイパー	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	12.2	複剥離打面縦長剥片素材　素材表面両側縁と裏面左側縁の一部に二次加工施し刃部作出
158-7	スクレイパー	SM60	NQ38		クロ１	珪質頁岩	6.6	複剥離打面縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工施し刃部作出
159-1	スクレイパー	SM60	NP37		クロ２	珪質頁岩	13.2	複剥離面打面縦長剥片素材　素材表面左側縁に二次加工施し刃部作出　素材裏面両側縁微小剥離痕
159-2	スクレイパー	SM60	NP36		クロ４	珪質頁岩	34.4	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面左側縁と裏面右側縁に二次加工施し刃部作出
159-3	スクレイパー	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	51.2	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面両側縁と裏面右側縁・左側縁の一部に二次加工施し刃部作出
159-4	スクレイパー	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	13.6	単剥離面打面縦長剥片素材　素材裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
159-5	スクレイパー	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	30.2	縦長剥片素材　素材表面両側縁に二次加工施し刃部作出　裏面打面周辺二次加工
159-6	スクレイパー	SM60	NO37	RQ50	クロ４	珪質頁岩	51.0	複剥離面打面縦長剥片素材　素材表面左側縁と裏面下半両側縁に二次加工施し刃部作出
160-1	スクレイパー	SM60	NQ36	RP230	クロ４	珪質頁岩	48.6	複剥離面打面縦長剥片素材　素材表面左側縁に二次加工施し刃部作出
160-2	スクレイパー	SM60	NR36	RQ157	クロ２	珪質頁岩	55.6	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面両側縁と裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
160-3	スクレイパー	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	64.0	単剥離面打面縦長剥片素材　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し刃部作出
160-4	スクレイパー	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	37.8	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面両側縁と裏面左側縁に二次加工施し尖頭状刃部作出
160-5	スクレイパー	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩(玉髄化)	51.4	複剥離面打面縦長剥片素材　表面左側縁に急角度の二次加工施し刃部作出　右側縁微小剥離痕
161-1	スクレイパー	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	16.8	縦長剥片素材　素材全周縁に両面から二次加工施し刃部作出
161-2	スクレイパー	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	10.8	素材全周縁に両面から二次加工施し刃部作出
161-3	スクレイパー	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	18.4	縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
161-4	スクレイパー	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	24.0	複剥離面打面縦長剥片素材　素材下半両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
161-5	スクレイパー	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	21.4	横長剥片素材？　素材上下端に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
161-6	スクレイパー	SM60	NQ35		クロ１	珪質頁岩	58.6	単剥離面打面縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
162-1	スクレイパー	SM60	NO38	RP57	クロ４	珪質頁岩	19.0	単剥離面打面横長剥片素材　素材末端縁に表面から二次加工施し刃部作出　素材両側縁微小剥離痕
162-2	スクレイパー	SM60	NR35		クロ３	玉髄	20.0	素材全周に両面から二次加工施し刃部作出
162-3	スクレイパー	SM60	NP36		クロ１	珪質頁岩	12.4	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面末端縁と左側縁下位に二次加工施し尖頭状刃部作出
162-4	スクレイパー	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	32.2	横長剥片素材？　素材上下端に両面から二次加工施し刃部作出
162-5	スクレイパー	SM60	NR37		クロ１	珪質頁岩	70.0	複剥離面打面横長剥片素材　素材裏面左側縁に二次加工施し刃部作出
163-1	スクレイパー	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	66.8	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面右側縁から末端縁の一部に二次加工施し刃部作出
163-2	スクレイパー	SM60	NR38	RP53	クロ３	珪質頁岩	69.6	単剥離面打面横長剥片素材　素材表面末端縁から右側縁に二次加工施し刃部作出
163-3	スクレイパー	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	43.6	横長剥片素材　素材ほぼ全周に両面から二次加工施し刃部作出
164-1	楔形石器	SM60	NR38	RP32	クロ２	黒曜石	3.0	上下端階段状剥離痕　表面礫皮面残る　両極剥片か　男鹿産黒曜石素材
164-2	楔形石器	SM60	NP38		クロ３	玉髄	9.4	上下端階段状剥離痕　表裏面・両側面裁断状剥離面　上端アスファルト付着
164-3	楔形石器	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	9.2	上下端階段状剥離痕　表裏面・両側面裁断状剥離面
164-4	楔形石器	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	12.8	上下端階段状剥離痕　左側面裁断状剥離面
164-5	楔形石器	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	23.0	上下端階段状剥離痕　右側面裁断状剥離面　左側面に素材単剥離面打面残る
164-6	楔形石器	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	28.6	上下端・両側縁階段状剥離痕
164-7	楔形石器	SM60	NN38		Ⅱb	珪質頁岩	16.6	上下端階段状剥離痕　右側面裁断状剥離痕
165-1	二次加工ある剥片	SM60	NQ35		クロ１	珪質頁岩	1.0	表面下半・裏面上半に二次加工　石鏃未成品か
165-2	二次加工ある剥片	SM60	NR36		クロ１	珪質頁岩	1.0	素材全周に急角度の二次加工　石鏃模造品か
165-3	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	1.6	素材全周に二次加工施し下半尖頭状に整形　石鏃未成品もしくは石錐か
165-4	二次加工ある剥片	SM60	NQ38	RP164	クロ４	珪質頁岩	1.4	横長剥片素材か　主に表面末端縁に二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
165-5	二次加工ある剥片	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	1.4	有茎石鏃状　上端丸み　裏面素材面残る　下端アスファルト僅かに付着　破損石鏃再加工品か
165-6	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	2.0	折断整形素材か　素材全周に二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
165-7	二次加工ある剥片	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	3.4	横長剥片素材か　素材打面側周辺に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃もしくは石錐未成品か
165-8	二次加工ある剥片	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	4.6	横長剥片素材　素材打面側周辺に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
165-9	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ１	珪質頁岩	5.6	折断整形素材か　素材全周に二次加工施し有茎石鏃状に整形　下端側は急角度の二次加工痕　表裏面素材剥離面残る　石鏃未成品
165-10	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	7.2	素材単剥離面打面残る　素材表面両側縁と裏面左側縁に二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
165-11	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ４	珪質頁岩	7.6	素材打面側に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃もしくは石錐未成品か
165-12	二次加工ある剥片	SM60	NQ38	RQ97	クロ４	珪質頁岩	6.8	上半両面から二次加工施し尖頭状に整形　下端折れ面　石鏃製作失敗品か
165-13	二次加工ある剥片	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	7.6	素材全周に両面から二次加工　石鏃未成品か
166-1	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	1.2	横長剥片素材か　素材全周に両面から二次加工　石鏃未成品か
166-2	二次加工ある剥片	SM60	NT36		クロ１	珪質頁岩	2.0	両面全面二次加工　石鏃未成品か
166-3	二次加工ある剥片	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	1.8	横長剥片素材か　素材全周に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-4	二次加工ある剥片	SM60	NQ37		クロ２	玉髄	4.6	複剥離面打面縦長剥片素材　表面両側縁に二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-5	二次加工ある剥片	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩(玉髄化)	3.4	両面全面に二次加工施し上下端尖頭状に整形　厚手　石鏃未成品もしくは完成品か
166-6	二次加工ある剥片	SM60	NN37		Ⅱb	珪質頁岩	1.8	素材ほぼ全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-7	二次加工ある剥片	SM60	NO38		クロ４	珪質頁岩	4.8	素材全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-8	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	5.0	縦長剥片素材か　素材全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-9	二次加工ある剥片	SM60	NR35		クロ１	珪質頁岩	5.8	素材全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　有茎石鏃未成品か
166-10	二次加工ある剥片	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	4.2	素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-11	二次加工ある剥片	SM60	NO37		クロ１	珪質頁岩	7.6	横長剥片素材か　素材ほぼ全周に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-12	二次加工ある剥片	SM60	NS35		クロ３	珪質頁岩	3.6	素材表面上半と裏面の一部に二次加工施し尖頭状に整形　石鏃製作失敗品か
166-13	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	4.8	折断整形素材か　素材両側縁に急角度の二次加工
166-14	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	5.0	単剥離面打面縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石鏃未成品か
166-15	二次加工ある剥片	SM60	NT36		クロ２	珪質頁岩	3.4	表面右側面除き全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　表面右側面は節理面残る　石鏃未成品
166-16	二次加工ある剥片	SM60	NR38		クロ３	珪質頁岩	5.2	素材全周に両面から二次加工施し上下端尖頭状に整形　表面右側縁は大形階段状二次加工痕　裏面左側縁は急角度の二次加工痕　石鏃未成品
167-1	二次加工ある剥片	SM60	NS35		クロ２	珪質頁岩	3.8	素材ほぼ全周に両面から二次加工
167-2	二次加工ある剥片	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	4.4	素材全周に両面から二次加工　側面湾曲　石鏃未成品か
167-3	二次加工ある剥片	SM60	NS37		クロ１	珪質頁岩	9.6	素材ほぼ全周に両面から二次加工
167-4	二次加工ある剥片	SM60	NS37	RP68	クロ２	珪質頁岩	8.2	素材表面に全面二次加工　裏面左側に二次加工　右側折断面か　石鏃未成品か
167-5	二次加工ある剥片	SM60	NQ35		クロ３	珪質頁岩	11.0	素材ほぼ全周に両面から二次加工
167-6	二次加工ある剥片	SM60	NS36		クロ３	珪質頁岩	10.2	単剥離面打面縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工
167-7	二次加工ある剥片	SM60	NT36		クロ１	珪質頁岩(玉髄化)	14.6	素材両面にほぼ全面二次加工
167-8	二次加工ある剥片	SM60	NQ37		クロ４	碧玉	12.4	素材全周に両面から二次加工施し上端尖頭状に整形　下半の二次加工痕は階段状　表面下半アスファルト付着
167-9	二次加工ある剥片	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	11.4	折断整形素材か　素材ほぼ全周に両面から二次加工
168-1	二次加工ある剥片	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	16.4	折断整形素材か　素材表面上半と裏面の一部に二次加工施し尖頭状に整形　石槍未成品か
168-2	二次加工ある剥片	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	17.2	横長剥片素材か　素材上半に両面から二次加工施し尖頭状に整形　石槍未成品か

第47表　石器・石製品一覧(5)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
168-3	二次加工ある剥片	SM60	NQ35		クロ１	珪質頁岩	26.4	両極剥片素材か　上下端階段状剥離痕　裏面右上側縁二次加工
168-4	二次加工ある剥片	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩(玉髄化)	17.0	表面左側縁と裏面両側縁に二次加工　石槍未成品か
168-5	二次加工ある剥片	SM60	NS36	RP10	クロ２	珪質頁岩	35.2	素材ほぼ全周に両面から二次加工　表面右側縁は鋸歯状
168-6	二次加工ある剥片	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	22.0	折断整形素材か　素材ほぼ全周に両面から二次加工
168-7	二次加工ある剥片	SM60	NQ36		クロ３	珪質頁岩	25.8	素材全周に両面から二次加工
168-8	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	35.0	素材全周に両面から二次加工
169-1	二次加工ある剥片	SM60	NN36		Ⅱb	珪質頁岩	53.0	素材両面全面二次加工　下半に階段状剥離痕残る
169-2	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ２	珪質頁岩	26.4	縦長剥片素材　素材表面左側縁と裏面左側縁に二次加工
169-3	二次加工ある剥片	SM60	NO36		クロ１	珪質頁岩	40.2	ほぼ両面全面二次加工　表面左下側面に節理面残る　側面湾曲　石槍未成品
169-4	二次加工ある剥片	SM60	NS37		クロ２	珪質頁岩	14.6	表面全周に比較的急角度の二次加工　裏面上下端に二次加工
169-5	二次加工ある剥片	SM60	NS37		クロ３	珪質頁岩	18.0	折断整形素材か　素材全周に両面から二次加工
169-6	二次加工ある剥片	SM60	NP36		クロ３	珪質頁岩	6.8	横長剥片素材　素材全周に両面から二次加工
169-7	二次加工ある剥片	SM60	NR38		クロ３	珪質頁岩	12.6	横長剥片素材か　素材打面側から末端縁に両面から二次加工
169-8	二次加工ある剥片	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	12.6	横長剥片素材　素材打面側に両面から二次加工　素材表面末端縁に一部二次加工
170-1	二次加工ある剥片	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	26.2	素材打面側に両面から二次加工施し突出部作出
170-2	二次加工ある剥片	SM60	NS36		クロ２	珪質頁岩	11.0	素材打面側に両面から二次加工
170-3	二次加工ある剥片	SM60	NR35		クロ１	珪質頁岩	21.2	横長剥片素材　素材打面側に両面から二次加工　素材末端縁に両面から二次加工施し突出部作出　末端縁は鋸歯状
170-4	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ４	珪質頁岩	6.4	線状打面縦長剥片素材　素材表面末端に僅かに二次加工痕　表面中位にアスファルト付着
170-5	二次加工ある剥片	SM60	NR35		クロ１	珪質頁岩 (砂質)	40.8	単剥離面打面縦長剥片素材　表面両側縁に二次加工
170-6	二次加工ある剥片	SM60	NQ38	RP97	クロ４	珪質頁岩	8.2	縦長剥片素材　素材打面側に両面から二次加工
170-7	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩	4.8	横長剥片素材　打面側と末端縁に両面から二次加工
170-8	二次加工ある剥片	SM60	NO38		クロ４	瑪瑙	5.4	単剥離面打面横長剥片素材　裏面末端縁二次加工　打面側アスファルト付着
170-9	二次加工ある剥片	SM60	NQ35		クロ２	珪質頁岩	11.4	縦長剥片素材　素材裏面打面側に二次加工ある剥片
171-1	二次加工ある剥片	SM60	NN36		Ⅱb	珪質頁岩	34.8	素材周縁に両面から大形の二次加工痕
171-2	二次加工ある剥片	SM60	NR36	RP74	クロ２	珪質頁岩	56.8	素材全周に両面から大形の二次加工　周縁は鋸歯状
171-3	二次加工ある剥片	SM60	NR36		クロ３	珪質頁岩	53.0	素材周縁に両面から大形の二次加工　周縁は鋸歯状
171-4	二次加工ある剥片	SM60	NQ36		クロ２	珪質頁岩	45.4	素材単剥離面打面残る　素材裏面右側縁から末端側に大形の二次加工　縁辺鋸歯状
171-5	二次加工ある剥片	SM60	NS38		クロ２	細粒砂岩	52.2	素材複剥離面打面残す　素材裏面両側縁に大形の二次加工　側縁鋸歯状
172-1	二次加工ある剥片	SM60	NP37		クロ４	珪質頁岩	28.6	単剥離面打面縦長剥片素材　表面両側縁二次加工　側縁鋸歯状
172-2	二次加工ある剥片	SM60	NO36		クロ４	珪質頁岩	25.2	縦長剥片素材　表面右側面と裏面右側面二次加工
172-3	二次加工ある剥片	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	132.8	縦長剥片素材　素材全周に両面から大形の二次加工　表面に礫皮面残る
172-4	二次加工ある剥片	SM60	NN37	S36	Ⅱb	珪質頁岩	119.2	複剥離面打面縦長剥片素材　裏面両側縁から末端縁に大形の二次加工
172-5	二次加工ある剥片	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	19.0	横長剥片素材か　素材全周に両面から二次加工　表面アスファルト付着
173-1	二次加工ある剥片	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	108.8	縦長剥片素材　素材裏面下側側縁と打瘤周辺に二次加工　上側側縁に敲打痕
173-2	二次加工ある剥片	SM60	NQ37	RP211	クロ４	珪質頁岩	185.6	単剥離面打面縦長剥片素材　素材表面右側縁・左側縁末端と裏面右側縁に二次加工　側縁鋸歯状
173-3	二次加工ある剥片	SM60	NR38杭	RQ1		珪質頁岩	163.0	単剥離面打面縦長剥片素材　裏面両側縁に二次加工　側縁鋸歯状
174-1	異形石器	SM60	NS36		クロ１	珪質頁岩	0.8	素材ほぼ全面に両面から二次加工施し三方向に尖頭状突出部作出　左下突出部先端折損
174-2	異形石器	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	2.6	素材全周に両面から二次加工施し三方向に突出部作出　上端折損
174-3	異形石器	SM60	NO36		クロ３	珪質頁岩	3.8	素材ほぼ全周に両面から二次加工施し左下と右下に突出部作出
174-4	異形石器	SM60	NP36		クロ２	珪質頁岩	10.4	素材ほぼ全周に両面から二次加工　上半つまみ状　下半扇形
174-5	異形石器	SM60	NR38		クロ１	珪質頁岩	4.8	素材全周に両面から二次加工　上半尖頭状　下半二叉状突出
174-6	異形石器	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩	4.0	素材ほぼ全周に両面から二次加工　弧状か
174-7	異形石器	SM60	NQ37	RQ260	クロ４	珪質頁岩	1.2	素材全面に両面から二次加工　弧状　下端針状
174-8	異形石器	SM60	NQ37		クロ２	珪質頁岩	1.8	折断整形素材か　素材下側両面から二次加工施し針状に整形
174-9	異形石器	SM60	NQ37		クロ３	珪質頁岩	3.8	素材全周に両面から二次加工　弧状　下端横方向の小突出部つく尖頭状
174-10	異形石器	SM60	NQ37			珪質頁岩	11.0	折断整形素材か　素材ほぼ全周に両面から二次加工　弧状　下端に抉り
174-11	異形石器	SM60	NQ37		クロ４	珪質頁岩	2.0	両面全面二次加工　弧状　下端針状　小突出部３か所
175-1	異形石器	SM60	NR37		クロ２	珪質頁岩	0.8	両面全面二次加工　上下端に小突出部各４か所
175-2	異形石器	SM60	NQ36		クロ１	珪質頁岩	1.8	素材全周両面から二次加工　小突出部４か所
175-3	異形石器	SM60	NQ36	RP162	クロ３	変質珪質頁岩(碧玉化)	7.2	素材全周に両面から二次加工　上下端不整尖頭状　右側縁小突出部３か所
175-4	異形石器	SM60	NP36		クロ４	珪質頁岩	1.6	素材全周に両面から二次加工施し全周に刺状突出部作出
175-5	異形石器	SM60	NR37		クロ４	珪質頁岩	5.8	素材全周に両面から二次加工　僅かに湾曲する針状　右側中位に抉り２か所
175-6	異形石器	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	28.6	素材全周に両面から二次加工　左上つまみ状　右から下半二叉状　全周に刺状突出部５か所
175-7	異形石器	SM60	NP37	RQ85	クロ４	珪質頁岩	24.2	素材全周に両面から二次加工　僅かに湾曲する針状　上下端尖頭状　右側中位に小突出部３か所　表面僅かに赤色顔料付着
176-1	石核	SM60	NN37	RP9	Ⅱb	珪質頁岩	56.8	立方体状　表面の上方から長さ２cm前後の小形剥片剥離
176-2	石核	SM60	NP37		クロ１	珪質頁岩	79.0	直方体状　表面と両側面の上方から長さ２cm前後の小形剥片剥離
176-3	石核	SM60	NQ38	RP89	クロ３	珪質頁岩	71.4	表面上方および裏面下方から長さと幅が近似する剥片剥離
176-4	石核	SM60	NQ35	RP153	クロ３	珪質頁岩	106.0	立方体状　表面と両側面の上方から長さ３cm前後の剥片剥離
177-1	石核	SM60	NP37		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	120.6	表面の上方から縦長剥片剥離
177-2	石核	SM60	NR35		クロ２	珪質頁岩	81.2	表裏面を作業面と打面とに入れ替え小形横長剥片剥離
177-3	石核	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	75.6	表面と上下面を作業面と打面とに入れ替え横長剥片剥離
178-1	石核	SM60	NO36		クロ４	珪質頁岩	166.8	表裏面および下面を作業面と打面とに入れ替え横長剥片剥離
178-2	石核	SM60	NR35	RQ81	クロ３	珪質頁岩	156.4	表面の上方と下方から剥片剥離
178-3	石核	SM60	NS36		クロ３	珪質頁岩	306.6	表面の周囲から求芯状に剥片剥離
179-1	石核	SM60	NQ37	RP90	クロ３	珪質頁岩 (砂質)	217.8	表裏面の周囲から求芯状に剥片剥離
179-2	石核	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩 (砂質)	178.8	表裏面の周囲から求芯状に剥片剥離
179-3	石核	SM60	NR36		クロ３	珪質頁岩	246.6	表裏面の周囲から求芯状に剥片剥離
180-1	石核	SM60	NP38		クロ２	珪質頁岩 (砂質)	221.8	表裏面の周囲から求芯状に剥片剥離
180-2	石核	SM60	NP37		クロ３	珪質頁岩 (砂質)	555.8	直方体状　表面と左右側面の上方から横長剥片剥離
181-1	石核	SM60	NQ36	S354	クロ４	珪質頁岩 (砂質)	1,290.0	直方体状　打面と作業面を90˚もしくは180˚前後転移して大形剥片剥離
181-2	石核	SM60	NO38	S115	クロ４	珪質頁岩 (砂質)	1,260.0	表裏面の上下方から大形の横長剥片剥離
182-1	石核	SM60	NR36		クロ２	珪質頁岩	232.4	直方体状　打面と作業面を90˚もしくは180˚前後転移して剥片剥離
182-2	石核	SM60	NR36		クロ３	珪質頁岩 (砂質)	225.8	表面上方から剥片剥離
182-3	石核	SM60	NP36	S99	クロ４	珪質頁岩	900.0	表裏面上方から横長剥片剥離
183-1	凹石類	SM60	NP36		クロ２	ホルンフェルス	290.0	亜角礫素材　正面上位敲打痕１か所　裏面下位僅かに敲打痕と不整線状痕　敲石か
183-2	凹石類	SM60	NP37	RQ7	クロ３	珪質頁岩	850.0	柱状亜角礫素材　表面上位浅い敲打痕　下端表裏から二次加工施し両刃状　使用痕不明
183-3	凹石類	SM60	NQ38	S347	クロ４	輝石安山岩	1,020.0	円礫素材　表面浅い敲打痕３か所
183-4	凹石類	SM60	NO38	S95	クロ４	輝石安山岩	1,170.0	亜円礫素材　表面浅い敲打痕１か所
183-5	凹石類	SM60	NP36		クロ２	輝石安山岩	660.0	円礫素材　表面中央盲孔状敲打痕１か所　周囲浅い敲打痕
183-6	凹石類	SM60	NS36	S14	クロ２	輝石安山岩	256.9	円礫素材　表面中央浅い敲打痕１か所
183-7	凹石類	SM60	NO37	S72	クロ４	安山岩	570.0	亜円礫素材　表面稜状の狭い平坦面中央に盲孔状敲打痕
183-8	凹石類	SM60	NS37	S72	クロ４	輝石安山岩	222.3	亜円礫素材　表面中央浅い敲打痕　磨面不明　ほぼ全面赤色顔料付着
183-9	凹石類	SM60	NO38	S152	クロ４	輝石安山岩	1,230.0	円礫素材　表面盲孔状敲打痕２か所　右側面敲打整形による平坦面　摩耗　裏面被熱による割れか
183-10	凹石類	SM60	NO37	RP43	クロ４	凝灰岩	154.9	亜角礫素材　表面盲孔状敲打痕１か所
184-1	凹石類	SM60	NQ37	RQ178	クロ４	輝石安山岩	238.7	円礫素材　表面盲孔状敲打痕２か所　周囲浅い敲打痕　裏面中央浅い敲打痕
184-2	凹石類	SM60	NQ36		クロ３	安山岩	340.0	円礫素材　表裏面中央浅い敲打痕各１か所
184-3	凹石類	SM60	NP36	S108	クロ４	安山岩	246.9	円礫素材　表面中央浅い敲打痕　裏面中央盲孔状敲打痕　周囲浅い敲打痕
184-4	凹石類	SM60	NQ36	S324	クロ４	輝石安山岩	257.8	扁平円礫素材　表裏面中央浅い敲打痕各１か所
184-5	凹石類	SM60	NN36		Ⅱb	輝石安山岩	650.0	円礫素材　表裏面中央浅い敲打痕各１か所　右側面浅い敲打痕１か所
184-6	凹石類	SM60	NR37	RP113	クロ２	凝灰岩	156.5	亜角礫素材　表裏面盲孔状敲打痕各１か所
184-7	凹石類	SM60	NO38	S153	クロ４	安山岩	238.1	円礫素材　表面中央浅い敲打痕　裏面盲孔状敲打痕１か所　周囲浅い敲打痕
184-8	凹石類	SM60	NQ36	S205	クロ４	輝石安山岩	820.0	表面上位浅い敲打痕　裏面中央・上位浅い敲打痕各１か所　下端浅い敲打痕
184-9	凹石類	SM60	NQ38	S157	クロ４	輝石安山岩	500.0	円礫素材　表面浅い敲打痕２か所　裏面長軸線上浅い敲打痕
185-1	凹石類	SM60	NQ36	S358	クロ４	輝石安山岩	280.0	円礫素材　表面中央ほぼ平坦な磨面　敲打痕なし　中心に赤色顔料付着
185-2	凹石類	SM60	NO38		クロ４	輝石安山岩	550.0	円礫素材　表面中央平坦な磨面　摩耗程度弱い
185-3	凹石類	SM60	NO38		クロ４	安山岩	520.0	円礫素材　表面中央微かな凸面状磨面
185-4	凹石類	SM60	NP36	S109	クロ４	輝石安山岩	520.0	円礫素材　表裏面中央凸面状磨面
185-5	凹石類	SM60	NQ36	S202	クロ４	角閃石輝石安山岩	950.0	円礫素材　表面中央凸面状磨面　磨面一部平坦面をなす　摩耗程度強い　裏面中央剥離痕　剥離後周囲磨面　摩耗程度強い
185-6	凹石類	SM60	NQ37	S238	クロ４	輝石安山岩	1,220.0	円礫素材　表面中央凸面状磨面　裏面ほぼ平坦な磨面
185-7	凹石類	SM60	NS37		クロ４	安山岩	1,070.0	円礫素材　表裏面微かな凸面状磨面　摩耗程度強い
185-8	凹石類	SM60	NN36		Ⅱb	安山岩	630.0	円礫素材　両面中央ほぼ平坦な磨面　摩耗程度強い
185-9	凹石類	SM60	NP37	S109	クロ４	輝石安山岩	1,930.0	円礫素材　表裏面中央平坦な磨面
186-1	凹石類	SM60	NO38		クロ１	輝石安山岩	900.0	円礫素材　表面盲孔状敲打痕２か所　周囲浅い敲打痕　裏面盲孔状敲打痕２か所側面敲打痕　摩耗
186-2	凹石類	SM60	NR36	S360	クロ４	安山岩	890.0	円礫素材　表裏面浅い敲打痕各２か所
186-3	凹石類	SM60	NP37	S152	クロ４	多孔質輝石安山岩	770.0	表面中軸線上盲孔状敲打痕２か所　裏面中軸線上盲孔状敲打痕３か所
186-4	凹石類	SM60	NO37		クロ１	角閃石輝石安山岩	550.0	円礫素材　表面盲孔状敲打痕２か所　周囲浅い敲打痕　裏面平坦な磨面　摩耗程度弱い
186-5	凹石類	SM60	NQ37	S199	クロ４	輝石安山岩	700.0	円礫素材　表面長軸線上浅い敲打痕　周囲磨面　上端浅い敲打痕
186-6	凹石類	SM60	NQ37		クロ１	輝石安山岩	1,490.0	円礫素材　表面中央浅い敲打痕　周囲磨面　裏面中央ほぼ平坦な磨面
187-1	凹石類	SM60	NQ38	RP88	クロ３	輝石安山岩	970.0	円礫素材　表面中央浅い敲打痕　表裏面から側面磨面　摩耗程度弱い　ほぼ全面赤色顔料付着
187-2	凹石類	SM60	NQ36	S203	クロ４	輝石安山岩	1,030.0	円礫素材　表面中央浅い敲打痕　周囲磨面　裏面上位浅い敲打痕　下面浅い敲打痕

第48表　石器・石製品一覧(6)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
187-3	凹石類	SM60	NQ38	S112	クロ４	安山岩	760.0	円礫素材　表面から側面浅い敲打痕　表面全体にくぼむ　裏面中央磨面
187-4	凹石類	SM60	NQ37		クロ４	輝石安山岩	690.0	円礫素材　表面盲孔状敲打痕３か所　周囲浅い敲打痕　中央赤色顔料付着　裏面敲打整形により全体くぼむ　盲孔状敲打痕４か所
187-5	凹石類	SM60	NQ38	RP104	クロ４	輝石安山岩	490.0	円礫素材　正面中央大形盲孔状敲打痕　周囲浅い敲打痕　裏面中央大形盲孔状敲打痕　盲孔状敲打痕摩耗
188-1	凹石類	SM60	NQ36	S207	クロ４	輝石安山岩	1,350.0	表裏面長軸線上盲孔状敲打痕各２か所　右側面平坦な磨面
188-2	凹石類	SM60				安山岩	740.0	立方体状　表面中央盲孔状敲打痕１か所　周囲浅い敲打痕　全面磨面
188-3	凹石類	SM60	NR37	S69	クロ４	安山岩	1,270.0	円礫素材　全体敲打整形か　表面中央浅い敲打痕１か所　上下面平坦　下面磨面
188-4	凹石類	SM60	NR37	S369	クロ４	輝石安山岩	510.0	円礫素材　右側面二次加工　上下面両側面敲打整形　上下面厚い蛤刃状摩耗面
189-1	石皿	SM60	NO37 NP38		クロ４	多孔質安山岩	30,300.0	表面凹んだ磨面　裏面敲打痕　３地点から出土した破片が接合
189-2	石皿	SM60	NP37	S97	クロ４	多孔質安山岩	4,970.0	表面右側凹んだ磨面　左側平坦な磨面　裏面未加工
189-3	石皿	SM60	NQ38	S342	クロ４	多孔質安山岩	10,700.0	表面凹んだ磨面　表裏面皿状に敲打整形
190-1	台石	SM60	NR37	S349	クロ４	輝石安山岩	3,700.0	表面中央浅い敲打痕
190-2	台石	SM60	NQ37	S280	クロ４	凝灰岩	100.0	表裏面中央盲孔状敲打痕
190-3	台石	SM60	NS37	S89	クロ４	凝灰岩	1,100.0	表面中央盲孔状敲打痕３か所
191-1	磨製石斧	SM60	NQ38	S253	クロ４	緑色岩(変砂岩)	400.0	上下端刃部作出　下端円刃片刃　上端円刃両刃　身部中央両側抉り　整形時の剥離痕と敲打痕僅かに残る　刃部刃こぼれ　独鈷石の変異形か
191-2	磨製石斧	SM60	NO37		クロ３	珪質頁岩	219.5	扁平円礫素材か　円刃両刃　両側面平坦　刃部刃こぼれ
191-3	磨製石斧	SM60	NO37杭		クロ２	角閃石輝石安山岩	251.6	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基部折損
191-4	磨製石斧	SM60	NP38		クロ２	変質安山岩	108.2	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基部折損
191-5	磨製石斧	SM60	NS37		クロ３	斑れい岩	264.8	側面・基端部平坦　刃部折損
191-6	磨製石斧	SM60	NQ37	RQ256	クロ４	輝緑岩	170.5	側面平坦　刃部折損
191-7	磨製石斧	SM60	NR36		クロ１	凝灰質砂岩	194.7	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基部折損
191-8	磨製石斧	SM60	NQ38		クロ３	輝石安山岩	320.0	側面平坦　刃部折損　表裏面・上下端面敲打痕　刃部破損品を敲石に転用か
191-9	磨製石斧	SM60	NO38	RP88	クロ４	ホルンフェルス	180.8	側面平坦　刃部・基端部折損後敲打痕　楔に転用
191-10	磨製石斧	SM60	NS37		クロ２	凝灰質砂岩	125.0	側面平坦　刃部折損　基端部剥離痕
191-11	磨製石斧	SM60	NQ37		クロ４	曹長岩	126.2	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基部折損
191-12	磨製石斧	SM60	NQ38		クロ４	緑色岩	78.5	側面平坦　刃部折損　基部一部敲打痕
192-1	磨製石斧	SM60	NS37		クロ１	ひん岩	34.2	側面平坦　刃部折損
192-2	磨製石斧	SM60	NQ36		クロ１	ひん岩	71.5	直刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基端部敲打痕
192-3	磨製石斧	SM60	NR38		クロ４	斑れい岩	61.6	直刃両刃　側面平坦　刃部折損
192-4	磨製石斧	SM60	NP36		クロ４	曹長岩	42.1	円刃両刃　側面平坦　基端部折損
192-5	磨製石斧	SM60	NQ37		クロ２	緑色岩	28.2	円刃両刃　側面平坦　基部左右非対称　基端部剥離痕
192-6	磨製石斧	SM60	NR37		クロ３	ひん岩	20.0	偏刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基端部剥離痕
192-7	磨製石斧	SM60	NR35		クロ２	緑色岩	20.2	直刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基部一部剥離痕　被熱による剥落か
192-8	磨製石斧	SM60	NP37		クロ１	ひん岩	16.1	直刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基端部から基部の一部剥離痕
192-9	磨製石斧	SM60	NQ38	RQ133	クロ４	曹長岩	14.3	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ
192-10	磨製石斧	SM60	NP36		クロ４	曹長岩	6.1	円刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基端部折損
192-11	磨製石斧	SM60	NQ37	RQ231	クロ４	曹長岩	5.6	直刃両刃　側面平坦　刃部刃こぼれ　基端部折損
192-12	礫器	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	92.3	扁平円礫素材　素材表面左側縁から下端縁と裏面下端縁に二次加工
192-13	礫器	SM60	NP38	RQ48	クロ２	珪質頁岩	274.5	亜角礫素材　素材下端縁に両面から二次加工　表面敲打痕
192-14	礫器	SM60	NO38		クロ２	珪質頁岩	137.2	扁平円礫素材　素材表面上下端縁に二次加工
192-15	礫器	SM60	NR37		クロ３	珪質頁岩	118.9	亜角礫素材　素材下端縁に両面から二次加工
192-16	礫器	SM60	NP38		クロ３	珪質頁岩	310.0	亜角礫素材　素材下端縁に両面から二次加工
192-17	礫器	SM60	NR36	RP84	クロ２	珪質頁岩	164.4	亜角礫素材　素材両側縁に両面から二次加工
193-1	石剣類	SM60	NQ38	RQ153 RQ303 RQ326	クロ４	細粒砂質千枚岩	640.0	全面研磨　体部基部境界２条１組横位線刻２組巡らす　線刻間一段凹む　線刻周辺一部敲打痕残す　NQ38区内の４地点から出土した破片が接合
193-2	石剣類	SM60	NQ38	RQ327 RQ328	クロ４	菫青石ホルンフェルス	430.4	全面研磨　体部基部境界２条１組横位線刻２組巡らす　線刻間一段凹む　線刻周辺一部敲打痕残す　約70cm離れて出土した破片が接合
193-3	石剣類	SM60	NR36 NR37	RQ148 RQ223	クロ２ クロ４	菫青石ホルンフェルス	377.8	全面研磨か　体部基部境界くぼむ　先端部折損　約４m離れて出土した破片が接合
194-1	石剣類	SM60	NP36	RQ74	クロ４	菫青石ホルンフェルス	124.6	全面研磨　裏面節理面で破損後再研磨か　基部側折損
194-2	石剣類	SM60	NQ35	RQ125	クロ２	菫青石ホルンフェルス	131.3	全面研磨　基部側折損
194-3	石剣類	SM60	NO36		クロ２	緑色千枚岩	30.4	全面研磨　体部側折損
194-4	石剣類	SM60	NQ37	RQ205	クロ４	珪質千枚岩	116.5	全面研磨　横断面扁平　先端部・基部側折損
194-5	石剣類	SM60	NT36		クロ３	菫青石ホルンフェルス	151.3	全面研磨か　先端部・基部側折損
194-6	石剣類	SM60	NS38		クロ２	砂質千枚岩	31.4	全面研磨　先端部２条１組横位線刻２組・体部３条１組横位線刻１組表裏面から左側面に巡る　横断面方形　下半部折損　折損部にも横位線刻巡る　石製装飾品か
195-1	石剣類	SM60	NR35	RQ151	クロ３	ホルンフェルス	147.9	全面研磨　体部側折損
195-2	石剣類	SM60	NQ37	RQ174	クロ３	珪質千枚岩	101.8	全面研磨　横断面扁平　体部側折損
195-3	石剣類	SM60	NR38	RQ67	クロ４	菫青石ホルンフェルス	84.3	全面研磨か　基部体部境界横位線刻数条　体部側折損
195-4	石剣類	SM60	NR37	RQ160	クロ３	菫青石ホルンフェルス	162.4	全面研磨か　基部体部境界横位線刻１条巡る　体部側折損
195-5	石剣類	SM60	NP37		クロ３	黒色千枚岩	34.0	全面研磨　体部基部境界横位線刻１条　線刻下位敲打痕残す　体部側および裏面折損
195-6	石剣類	SM60	NQ37	RQ204	クロ４	ホルンフェルス	95.2	全面研磨　基部体部境界横位線刻２条　線刻上位敲打痕残す　基端面潤巻き状凹線痕残す盲孔　体部側および裏面折損
195-7	石剣類	SM60	NP38	RQ146	クロ４	黒色千枚岩	132.7	全面研磨　基部体部境界に横位線刻２条　線刻間敲打痕残す　体部側および基端部折損
195-8	石剣類	SM60	NQ36		クロ１	砂質千枚岩	51.3	全面研磨　基部体部境界に横位線刻１条巡らす　基部表裏面に対向する三角形彫り込み各１組　三角形彫り込み間に中心に横位線刻を加えた同心円状線刻を充填　体部側折損
196-1	石剣類	SM60	NR37	RQ325	クロ４	菫青石ホルンフェルス	212.2	全面研磨　先端部・基部側折損
196-2	石剣類	SM60	NS36		クロ３	菫青石ホルンフェルス	137.9	全面研磨か　上端横位線刻か　体部側折損
196-3	石剣類	SM60	NR36		クロ２	菫青石ホルンフェルス	86.9	全面研磨か　横断面扁平　体部側折損
196-4	石剣類	SM60	NQ35		クロ１	菫青石ホルンフェルス	221.1	全面研磨か　先端部・基部側折損
196-5	石剣類	SM60	NR37	RQ224	クロ４	ホルンフェルス	271.8	全面研磨　先端部・基部側折損
197-1	石剣類	SM60	NQ36	RQ251	クロ４	細粒砂岩	37.4	全面研磨　先端部・基部側および裏面折損
197-2	石剣類	SM60	NR37		クロ１	菫青石ホルンフェルス	17.5	全面研磨か　先端部・基部側および裏面折損　折損面研磨か
197-3	石剣類	SM60	NR37		クロ１	菫青石ホルンフェルス	24.0	全面研磨か　先端部・基部側および裏面折損　折損面研磨か
197-4	石剣類	SM60	NO37	RQ39	クロ４	菫青石ホルンフェルス	36.3	全面研磨　先端部・基部側および裏面折損
197-5	石剣類	SM60	NP38		クロ２	菫青石ホルンフェルス	7.1	体部破片　裏面敲打痕後研磨か
197-6	石剣類	SM60	NR37		クロ１	黒色千枚岩	9.9	全面研磨　体部破片
197-7	石剣類	SM60	NQ37	RQ72	クロ３	流紋岩	7.8	全面研磨　基部横位線刻１条巡る　両側面線刻下に横位短線刻１条加える　石製装飾品か
197-8	石剣類	SM60	NQ38	RP306	クロ４	デイサイト	17.5	小形柱状円礫素材　円礫上下端に横位不整線刻巡らす　小形石棒か
197-9	石剣類	SM60	NS37	RP88	クロ４	凝灰岩	4.1	全面研磨か　上端尖頭状　下端平坦　横断面方形　石製装飾品か
198-1	岩版	SM60	NR36		クロ１	緑色凝灰岩	20.0	全面研磨か　表面中軸上位に盲孔　盲孔下中軸線上に正中線
198-2	岩版	SM60	NQ36	RP131	クロ２	凝灰岩	90.1	全面研磨　表面中軸線上に正中線　表裏面渦巻き状Ｃ字文
198-3	岩版	SM60	NQ36?			凝灰岩	9.7	表裏面Ｃ字文
198-4	岩版	SM60	NP37		クロ１	凝灰岩	11.6	表面正中線　表面Ｃ字文　裏面Ｃ字文・Ｓ字文
198-5	岩版	SM60	NQ37	RQ71	クロ３	変質凝灰質砂岩	70.3	表面渦巻き文　裏面渦巻き文・Ｓ字文
198-6	岩版	SM60	NR37	RP102	クロ２	凝灰質砂岩	70.5	表面入組Ｃ字文・Ｓ字文　裏面渦巻き状Ｃ字文　赤彩
198-7	岩版	SM60	NP38 NR38		クロ２ クロ４	砂質凝灰岩	27.8	表裏面渦巻文　赤彩　４m以上離れて出土した破片が接合
198-8	岩版	SM60	NS36	RP56	クロ３	砂質凝灰岩	21.6	表面正中線　表面渦巻き状Ｃ字文　裏面渦巻き状Ｃ字文・多重菱形文
198-9	岩版	SM60	NR38		クロ４	凝灰岩	13.1	表裏面渦巻き文・不整Ｃ字文
198-10	岩版	SM60	NQ37			凝灰岩	15.1	表裏面渦巻き状Ｃ字文
199-1	岩版	SM60	NR36		クロ４	凝灰質砂岩	110.7	表裏面渦巻き状Ｃ字文　赤彩
199-2	岩版	SM60	NR36	RP219	クロ３	砂質凝灰岩	48.1	表面不整円文・Ｃ字文
199-3	岩版	SM60	NR35	RQ78	クロ３	凝灰岩	54.5	表裏面三角文・Ｃ字文　側面方形文
199-4	岩版	SM60	NR38		クロ１	凝灰岩	3.8	左上穿孔　表面Ｃ字文　裏面と上面・左側面不整短線刻
199-5	岩版	SM60	NR37		クロ１	凝灰岩	102.7	表裏面多重Ｃ字文　赤彩
199-6	岩版	SM60	NS36		クロ２	凝灰岩	12.3	表面多重Ｃ字文
199-7	岩版	SM60	NQ38		クロ１	緑色凝灰岩	8.7	表裏面多重Ｃ字文
200-1	円盤状石製品	SM60	NS36		クロ４	凝灰質砂岩	8.2	両面摩滅　周縁研磨整形か
200-2	円盤状石製品	SM60	NP36		クロ２	輝石安山岩	46.7	扁平円礫素材　素材周縁両面から二次加工
200-3	円盤状石製品	SM60	NP36	S92	クロ４	流紋岩	35.3	分割礫素材か　素材表面上下・左縁辺に裏面から二次加工
200-4	円盤状石製品	SM60	NP38		クロ２	ホルンフェルス	36.7	分割角礫素材　素材右側縁両面から二次加工
200-5	円盤状石製品	SM60	NQ37	RQ299	クロ４	輝石安山岩	58.7	扁平円礫素材　素材周縁両面から二次加工
200-6	円盤状石製品	SM60	NS35		クロ２	ホルンフェルス	38.2	分割板状礫素材　素材上端両面から二次加工
200-7	円盤状石製品	SM60	NR36	S369	クロ４	輝石安山岩	70.4	円礫片素材　素材周縁両面から二次加工
200-8	円盤状石製品	SM60	NP35		クロ３	角閃石輝石安山岩	52.0	分割礫片素材　素材両側縁両面から二次加工
200-9	円盤状石製品	SM60	NR38杭	RQ14		輝石安山岩	92.4	扁平円礫素材　素材ほぼ全周縁両面から二次加工
200-10	円盤状石製品	SM60	NQ35		クロ１	輝石安山岩	78.3	扁平亜円礫素材　素材上端・両側縁両面から二次加工
201-1	円盤状石製品	SM60	NQ35		クロ１	輝石安山岩	84.1	扁平円礫素材　素材周縁両面から二次加工
201-2	円盤状石製品	SM60	NS37		クロ３	安山岩	82.8	扁平円礫素材　素材ほぼ全周縁両面から二次加工

第49表　石器・石製品一覧(7)

番号	器種	遺構	出土区	遺物番号	層	石質	重量(g)	特徴
201-3	円盤状石製品	SM60	NR37杭	S8		輝石安山岩	93.7	扁平亜角礫素材　素材周縁両面から二次加工
201-4	円盤状石製品	SM60	NQ37	RP292	クロ４	輝石安山岩	79.2	扁平円礫素材　素材上端から左側縁両面から二次加工　右側欠損
201-5	円盤状石製品	SM60	NP38	S17	クロ３	輝石安山岩	108.9	扁平円礫素材　上端・両側縁両面から二次加工
202-1	円盤状石製品	SM60	NS36	RP43	クロ３	輝石安山岩	95.5	板状礫片素材　素材周縁両面から二次加工
202-2	円盤状石製品	SM60	NQ38	S160	クロ４	安山岩	142.9	扁平亜角礫素材　素材両側縁両面から二次加工
202-3	円盤状石製品	SM60	NQ35		クロ１	輝石安山岩	130.4	扁平円礫素材　主に素材下端に両面から二次加工
202-4	円盤状石製品	SM60	NP38		クロ２	輝石安山岩	183.4	扁平亜角礫素材か　周縁両面から二次加工
203-1	小玉	SM60	NQ36		クロ１	ひすい	6.1	片面穿孔
203-2	小玉	SM60	NT37		クロ１	緑色凝灰岩	0.4	片面穿孔
203-3	小玉	SM60	NQ36	RQ192	クロ３	緑色凝灰岩	1.2	両面穿孔
203-4	小玉	SM60	NS36		クロ２	緑色凝灰岩	1.1	片面穿孔か　右側欠損
203-5	有孔石製品	SM60	NR38		クロ３	ひすい	16.0	勾玉状　片面穿孔
203-6	有孔石製品	SM60	NR37		クロ４	凝灰質砂岩	17.5	勾玉状　両面穿孔　上端左側面横位線刻
203-7	有孔石製品	SM60	NQ37		クロ４	砂質凝灰岩	2.9	勾玉状　両面穿孔　上端部刻み目
203-8	有孔石製品	SM60	NP37		クロ４	凝灰岩	3.8	研磨により弧状平面整形　両面穿孔３か所　左右穿孔箇所欠損　右端欠損後研磨
203-9	有孔石製品	SM60	NQ37	RP231	クロ４	緑色凝灰岩	3.0	両面穿孔　上半欠損　勾玉状か
203-10	有孔石製品	SM60	NQ37	RP143	クロ３	緑色凝灰岩	2.7	両面穿孔　下端尖る　左端欠損
203-11	有孔石製品	SM60	NQ37		クロ３	変質流紋岩	2.5	両面穿孔　未貫通
203-12	有孔石製品	SM60	NP37		クロ１	凝灰岩	23.0	棒状整形　表面線状痕　上下端・左側縁に両面穿孔各１か所　被熱か
203-13	有孔石製品	SM60	NR37	RP154	クロ３	緑色凝灰岩	2.5	勾玉状研磨整形　表面上位小盲孔
203-14	有孔石製品	SM60	NR37		クロ４	玉髄	5.5	牙状亜円礫素材　上位両面穿孔　他は未加工
204-1	有孔石製品	SM60	NO37		クロ３	緑色凝灰岩	3.2	ボタン状　両面穿孔
204-2	有孔石製品	SM60	NQ37			凝灰岩	3.0	ボタン状　裏面からの片面穿孔か
204-3	有孔石製品	SM60	NO38		クロ３	流紋岩	12.7	ボタン状　両面穿孔
204-4	有孔石製品	SM60	NQ38	RP124	クロ４	凝灰岩	19.8	ボタン状　両面穿孔
204-5	有孔石製品	SM60	NQ36	RP70	クロ１	砂質凝灰岩	15.1	ボタン状　両面穿孔　表面赤彩
204-6	有孔石製品	SM60	NO36		クロ１	凝灰岩	32.1	ボタン状　両面穿孔　表面渦巻き状線刻
204-7	有孔石製品	SM60	NO37	RQ36	クロ４	凝灰岩	12.1	蝶形　中央両面穿孔２か所　表面三叉状線刻　裏面四角形線刻
204-8	石製品	SM60	NR37		クロ３	凝灰岩	14.1	下端尖る角柱状　正面盲孔４か所と縦位・横位線刻　裏面盲孔３か所と横位・斜位線刻　上面盲孔１か所と線刻による突起表出
204-9	石製品	SM60	NO37		クロ３	緑色凝灰岩	0.8	小形棒状　上下端丸み　体部上下位２条１組横位線刻　体部中位３条１組横位線刻　線刻浮き彫り状
211-7	石鏃		NT36		クロ上	珪質頁岩	2.8	片脚　裏面一部素材剥離面残る　凹基鏃欠損再加工品もしくは異形石器か
211-8	石鏃		南北畦		クロ上	珪質頁岩	1.2	凹基　両面全面二次加工
211-9	石鏃		NS31		クロ２	珪質頁岩	5.0	尖基　両面全面二次加工
211-10	石鏃		NS36		クロ上	珪質頁岩	10.0	尖基　両面素材剥離面残る
211-11	石鏃		NR36		クロ上	珪質頁岩	4.0	尖基　両面素材剥離面残る
211-12	石鏃		NR36		クロ上	珪質頁岩	1.4	尖基　両面全面二次加工
212-1	石鏃		NS36		クロ上	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工
212-2	石鏃		NO37		クロ上	珪質頁岩	1.0	有茎　両面一部素材剥離面残る　茎部折損
212-3	石鏃		NS35		クロ上	珪質頁岩	1.8	有茎　両面一部素材剥離面残る
212-4	石鏃		NR36		クロ上	珪質頁岩	0.4	有茎　両面全面二次加工　先端部折損
212-5	石鏃		NR37		クロ上	珪質頁岩	1.4	有茎　両面全面二次加工
212-6	石鏃		NR36		クロ上	玉髄	2.0	有茎　両目素材剥離面残る
212-7	石鏃		NS31		クロ２	珪質頁岩	1.0	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　先端部・茎部折損
212-8	石鏃		NT36		クロ上	珪質頁岩	1.2	有茎　表面素材剥離面残る
212-9	石鏃		NT37		クロ上	珪質頁岩	1.6	有茎　表面素材剥離面残る
212-10	石鏃		NQ36		クロ上	珪質頁岩	1.8	有茎　両面全面二次加工
212-11	石鏃		NR34		クロ１	珪質頁岩	2.8	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　茎部折損
212-12	石鏃		NR34		クロ３	珪質頁岩	2.8	有茎　両面全面二次加工　茎部アスファルト付着　茎部折損
212-13	石鏃		NR36		クロ上	変質珪質頁岩	0.6	有茎　表面右側縁と左側縁下半裏面から急角度の二次加工　裏面右側縁上半二次加工　石鏃模造品か
212-14	石錐		NP35		攪乱	珪質頁岩	1.4	棒状　表裏面素材剥離面僅かに残る　錐部先端摩耗痕
212-15	石錐		NR36		クロ上	珪質頁岩	2.0	有茎石鏃状　両面全面二次加工　錐部先端摩耗痕
212-16	石錐		NR36		クロ上	珪質頁岩	2.0	基部表裏面素材剥離面残る　錐部先端摩耗痕
212-17	石錐		南北畦		クロ上	珪質頁岩	4.8	錐部針状　基部表裏面素材剥離面残る　錐部使用痕不明
212-18	石錐		NP36		攪乱	珪質頁岩	5.4	錐部針状　基部両縁両面から二次加工施しつまみ状に整形　錐部使用痕不明
212-19	石錐		NS31		クロ２	珪質頁岩	2.0	錐部針状　基部未加工　錐部使用痕不明
212-20	石錐		NS34		クロ３	珪質頁岩	9.0	横長剥片素材か　錐部針状　基部表裏面素材剥離面残る　錐部先端折損　使用痕不明
213-1	石錐		NS34		クロ３	珪質頁岩	3.0	単剥離面打面縦長剥片素材　錐部針状　表面両側縁二次加工　裏面未加工　錐部使用痕不明
213-2	石錐		NS36		クロ上	珪質頁岩	20.2	単剥離面打面縦長剥片素材　表裏面素材剥離面残る　表面右側に錐状小突出部　錐部・小突出部使用痕不明
213-3	石匙		NO37		クロ上	珪質頁岩	26.8	縦長剥片素材　素材打面横に両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部未加工
213-4	石匙		NT36		クロ上	珪質頁岩	4.6	節理面打面縦長剥片素材　打面両側両面から二次加工施しつまみ部作出　刃部表面両縁二次加工
213-5	石匙				排土	珪質頁岩	15.4	縦長剥片素材　素材打面側両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁に二次加工施し尖頭状刃部作出
213-6	石匙		NP36		攪乱	珪質頁岩	10.6	縦長剥片素材か　素材打面側両面から二次加工施しつまみ部作出　裏面右側縁二次加工後表面全面二次加工
213-7	石匙		NO37		クロ上	珪質頁岩	9.4	縦長剥片素材　素材打面側両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁から末端縁に二次加工施し尖頭状刃部作出
214-1	石匙		OA27		攪乱	珪質頁岩	50.8	縦長剥片素材　素材打面側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁から末端縁に二次加工施し刃部作出
214-2	石匙		OC36		Ⅲ	珪質頁岩	16.0	縦長剥片素材　素材打面側両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面両側縁から末端縁に二次加工施し刃部作出
214-3	石匙		NP38		クロ上	珪質頁岩	16.0	横長剥片素材か　裏面一部素材剥離面残る
214-4	石匙		NS31		クロ２	珪質頁岩	34.0	縦長剥片素材　素材打面側折損　素材折損部側表面と素材右縁両面に二次加工施しつまみ部作出　素材両側縁から末端縁に両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
214-5	石匙		OD32		クロ１	珪質頁岩	11.0	横長剥片素材か　素材左側縁側に両面から二次加工施しつまみ部作出　素材表面右側縁に二次加工施し刃部作出
214-6	石匙		NP38		クロ上	珪質頁岩	13.0	両面素材剥離面残る　左右両端尖頭状刃部
215-1	石匙		NS36		クロ上	珪質頁岩	25.6	両面ほぼ全面二次加工　左右両端尖頭状刃部
215-2	石匙		NP38		クロ上	珪質頁岩(玉髄化)	27.6	両面全面二次加工　左右両端尖頭状刃部
215-3	石匙		NP38		クロ上	珪質頁岩	20.6	裏面一部素材剥離面残る
215-4	石篦		OH33		Ⅰb	珪質頁岩	76.8	撥形　両面全面二次加工
215-5	スクレイパー		OA30		クロ１	珪質頁岩	12.4	素材周縁両面から二次加工施し尖頭状刃部作出
215-6	スクレイパー		NR37		クロ上	珪質頁岩	7.4	表面全面二次加工　裏面両側縁から末端縁二次加工　石器未成品か
216-1	スクレイパー		OH33		Ⅲ	珪質頁岩	69.4	単剥離面打面縦長剥片素材　表面両側縁に急角度の二次加工施し刃部作出
216-2	スクレイパー		OK29		Ⅲ	珪質頁岩	21.4	横長剥片素材　素材表面打面側と裏面末端縁に二次加工施し刃部作出
216-3	スクレイパー		NS37		クロ上	珪質頁岩	31.6	表面一部素材剥離面残る　裏面全面二次加工　表面上端と左端に小突出部　異形石器か
216-4	楔形石器		NO37		クロ上	黒曜石	2.3	上下端縁階段状剥離痕　表面礫皮面残る　両極剥片か　男鹿産黒曜石素材
216-5	二次加工ある剥片		NR37		クロ上	珪質頁岩	6.4	折断整形剥片素材　素材側縁から折断面に二次加工
216-6	二次加工ある剥片		NS36		クロ上	珪質頁岩	3.8	両面全面二次加工　左右非対称　石鏃か
216-7	二次加工ある剥片		NR37		クロ上	珪質頁岩	5.8	左側面素材剥離面残る　裏面縮状突出部残る　石鏃未成品
216-8	二次加工ある剥片		NS35		クロ上	珪質頁岩	3.2	縦長剥片素材　素材両側縁に両面から二次加工　石鏃未成品か
216-9	二次加工ある剥片		NP36		クロ上	珪質頁岩	3.2	素材表面側縁の一部二次加工　裏面打面側と末端縁に急角度の二次加工
217-1	二次加工ある剥片		NP36		攪乱	珪質頁岩	35.6	横長剥片素材　素材表面打面側急角度の二次加工　上端縁鋸歯状
217-2	二次加工ある剥片		NP37		クロ上	珪質頁岩	12.4	表面左側縁二次加工　裏面全面二次加工
217-3	異形石器		OD28		クロ１	珪質頁岩	57.6	素材打面横に両面から二次加工施しつまみ状突出部２か所作出
217-4	石核				排土	珪質頁岩	660.0	立方体状　打面と作業面を90°前後入れ替えて横長剥片剥離
217-5	小玉		NS37		クロ上	変質流紋岩	0.2	表面から片面穿孔か
217-6	小玉		NT37		クロ上	緑色凝灰岩	0.3	表面から片面穿孔か

第５章　自然科学的分析

第１節　土器の胎土材料

藤根　久・今村美智子(パレオ・ラボ)

１．はじめに

土器の胎土分析は、一般的には製作地の推定を目的として行われる場合が多い。しかしながら、例えば胎土中に含まれる岩石片の特徴から、これら砂粒物の示す地域がいずれであるかを推定することは容易でない。

土器胎土は、基本材料として粘土と砂粒などの混和材から構成されるが、粘土材料は比較的良質とも思える粘土層から採取され、混和材としての砂粒物は、これら粘土採取の際に粘土層の上下層に分布する砂層などを採取したことが、粘土採掘坑の調査から推察される(藤根・今村、2003)。

東海地域には、弥生時代後期の赤彩を施したパレススタイル土器が知られているが、これら３分の１程度の土器では、砂粒物として火山ガラスが多量に含まれるが(藤根、1998；車崎ほか、1996)、これら火山ガラスは、粘土採取の際に近接地に分布するテフラ層を採取したことが予想される。このように、胎土中の混和材は、地層の特徴である可能性が高く、現河川砂とは大きく異なることから、現在の河川砂との比較では問題が大きい。

土器胎土は、第一に土器に使用した粘土や混和材がどのような特徴を持つかを十分理解することが重要であり、こうした特徴を持つと思われる粘土層や砂層などと比較検討すべきと考える。

ここでは、向様田Ｄ遺跡の調査において出土した縄文土器の胎土材料について調べ、材料から見た土器材料の採取地域の推定の可能性について若干検討した。

２．試料と方法

試料は、大洞式土器など縄文時代の土器30試料である(第50表)。

これら土器は、次の手順に従って偏光顕微鏡観察用の薄片(プレパラート)を作成した。

(1)試料は、始めに岩石カッターなどで整形し、恒温乾燥機により乾燥した。全体にエポキシ系樹脂を含浸させ固化処理を行った。これをスライドグラスに接着し平面を作成した後、同様にしてその平面の固化処理を行った。

(2)さらに、研磨機およびガラス板を用いて研磨し、平面を作成した後スライドグラスに接着した。

(3)その後、精密岩石薄片作製機を用いて切断し、ガラス板などを用いて研磨し、厚さ0.02㎜前後の薄片を作成した。仕上げとして、研磨剤を含ませた布板上で琢磨し、コーティング剤を塗布した。

試料は、始めに任意位置において、50μm前後以上の微化石類や岩石片および鉱物を200個体程度同定・計数した。さらに、土器の特徴を記載するために、薄片全面について微化石類(放散虫化石、珪藻化石、骨針化石、胞子化石)や大型粒子などの特徴について観察・記載を行った。なお、ここで採用した各分類群の記載とその特徴などは以下の通りである。

第50表　胎土分析を行った土器試料の詳細と肉眼的特徴

No.	整理番号	出土区	遺物番号	層	時期 (型式)	機種	部位	色相 明度/彩度	色	中黒層の有無	粒子の肉眼的特徴								その他の特徴
											白色	透明	赤色	黒灰色	輝石類	雲母類	ガラス	軽石	
1	945	NQ36		クロ2	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　3/1	黒褐	全体黒色	◎					○			
2	954	NQ36	RP74	クロ2	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　4/2	灰黄褐	有		◎						◎	
3	955	NQ36	RP155	クロ3	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　6/3	にぶい黄橙	なし	◎	○	△						細粒質胎土
4	981	NQ37	RP84	クロ3	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　4/2	灰黄褐	内側半分黒色		△					◎		
5	982	NQ37		クロ2	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　4/3	にぶい黄褐	内側半分黒色	△	△		△				△	
6	987	NQ37	RP217	クロ4	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	2.5Y　8/3	淡黄	内側半分黒色	○	○		○					
7	992	NQ37		クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　5/2	灰黄褐	有	◎	○							細粒質胎土
8	998	NQ37	RP234	クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　4/2	灰褐	有	○	◎		◎					
9	1023	NQ37		クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　5/3	にぶい黄褐	なし	○	○		○				○	
10	1024	NQ37		クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	2.5Y　2/1	黒	全体黒色	◎	◎							粒度揃う
11	1033	NP38		クロ3	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　5/2	灰黄褐	なし	△	◎		△					
12	1041	NP38南北畦		クロ4	縄文晩期前半	浅鉢形土器	口縁部～体部	5YR　6/6	橙	有	△	△		◎					黒色粒子目立つ
13	1053	NQ35		クロ2	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　3/1	黒褐	全体黒色	△								
14	1054	NQ35		クロ2	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5Y　4/1	褐灰	なし							◎		
15	1072	NQ38		クロ3	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　4/1	褐灰	なし	○	◎							
16	1079	NQ38		クロ4	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　3/1	黒褐	なし	◎	○					△		
17	1080	NP38	RP82	クロ3	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　5/4	にぶい褐	有	○								
18	1081	NP38		クロ2	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　7/3	にぶい黄橙	有		◎		△	△			○	
19	1088	NP38	RP97	クロ3	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　7/3	にぶい橙	内側半分黒色		◎		△				○	
20	1099	NQ38		クロ１	大洞C2式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　3/1	黒褐	全体黒色	○	○		○					
21	1102	NQ38	RP276	クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　4/2	灰褐	全体黒色	◎								
22	1120	NO36		クロ１	大洞C1式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　4/2	灰黄褐	なし	◎	○		◎					
23	1121	NO36		クロ上	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　7/4	にぶい黄橙	有		◎	△	○				△	
24	1122	NO36		クロ3	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　3/1	黒褐	全体黒色	△	△							
25	1153	NP35		クロ2	大洞BC式	鉢形土器	口縁部	10YR　6/2	灰黄褐	有							◎	○	非常に細粒質胎土
26	1178	NP37南北畦		クロ3	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　7/3	にぶい黄橙	有		◎		○					
27	1190	NP37	RP72	クロ3	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　6/4	にぶい橙	全体黒色	○	◎						△	
28	1191	NP37		クロ4	大洞BC式	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　4/3	褐	全体黒色		△						○	
29	1199	NP38		クロ2	縄文晩期前半	鉢形土器	口縁部～体部	7.5YR　6/3	にぶい褐	有	○	◎							
30	1351	NP36南北畦		クロ4	大洞B2式	鉢形土器	口縁部～体部	10YR　2/2	黒褐	全体黒色	◎	○		○					

［放散虫化石］

放散虫は、放射仮足類に属する海生浮遊性原生動物で、その骨格は硫酸ストロンチウムまたは珪酸からなる。放散虫化石は、海生浮遊性珪藻化石とともに外洋性堆積物中によく見られる。

［骨針化石］

海綿動物の骨格を形成する小さな珪質、石灰質の骨片で、細い管状や針状などを呈する。海綿動物は、多くは海産であるが、淡水産としても日本において23種ほどが知られ、湖や池あるいは川の水底に横たわる木や貝殻などに付着して生育する。

［珪藻化石］

珪酸質の殻をもつ微小な藻類で、その大きさは10～数百μm程度である。珪藻は海水域から淡水域に広く分布し、個々の種類によって特定の生息環境をもつ。最近では、小杉(1988)や安藤(1990)によって環境指標種群が設定され、具体的な環境復原が行われている。ここでは、種あるいは属が同定できるものについて珪藻化石(淡水種)と分類し、同定できないものは珪藻化石(？)とした。なお、各胎土中の珪藻化石は、その詳細を記載した。

［胞子化石］

胞子状粒子は、珪酸質と思われる直径10～30μm程度の小型無色透明の球状粒子である。これらは、水成堆積中で多く見られるが、土壌中にも含まれる。

［植物珪酸体化石］

植物の細胞組織を充填する非晶質含水珪酸体であり、大きさは種類によっても異なり、主に約10～50μm前後である。一般的にプラント・オパールとも呼ばれ、イネ科草本、スゲ、シダ、トクサ、コケ類などに存在することが知られている。ファン型や亜鈴型あるいは棒状などがあるが、ここでは大型のファン型と棒状を対象とした。

［石英・長石類］

石英あるいは長石類は、いずれも無色透明の鉱物である。長石類のうち後述する双晶などのように光学的に特徴をもたないものは石英と区別するのが困難である場合が多く一括して扱う。なお、石英・長石類(雲母)は、黄色などの細粒雲母類が包含される石英または長石類である。

［長石類］

長石は大きく斜長石とカリ長石に分類される。斜長石は、双晶(主として平行な縞)を示すものと累帯構造(同心円状の縞)を示すものに細分される(これらの縞は組成の違いを反映している)。カリ長石は、細かい葉片状の結晶を含むもの(パーサイト構造)と格子状構造(微斜長石構造)を示すものに分類される。また、ミルメカイトは斜長石と虫食い状石英との連晶(微文象構造という)である。累帯構造を示す斜長石は、火山岩中の結晶(斑晶)の斜長石にみられることが多い。パーサイト構造を示すカリ長石はカコウ岩などのSiO_2%の多い深成岩や低温でできた泥質・砂質の変成岩などに産する。

ミルメカイトあるいは文象岩は火成岩が固結する過程の晩期に生じると考えられている。これら以外の斜長石は、火成岩、堆積岩、変成岩に普通に産する。

［雲母類］

一般的には黒雲母が多く、黒色から暗褐色で風化すると金色から白色になる。形は板状で、へき開(規則正しい割れ目)にそって板状には剥がれ易い。薄片上では長柱状や層状に見える場合が多い。カコ

ウ岩などのSiO_2%の多い火成岩に普遍的に産し、泥質、砂質の変成岩および堆積岩にも含まれる。なお、雲母類のみが複合した粒子を複合雲母類とした。

［輝石類］

主として斜方輝石と単斜輝石とがある。斜方輝石（主に紫蘇輝石）は、肉眼的にビールびんのような淡褐色および淡緑色などの色を呈し、形は長柱状である。SiO_2%が少ない深成岩、SiO_2%が中間あるいは少ない火山岩、ホルンフェルスなどのような高温で生じた変成岩に産する。単斜輝石（主に普通輝石）は、肉眼的に緑色から淡緑色を呈し、柱状である。主としてSiO_2%が中間から少ない火山岩によく見られ、SiO_2%の最も少ない火成岩や変成岩中にも含まれる。

［角閃石類］

主として普通角閃石であり、色は黒色から黒緑色で、薄片上では黄色から緑褐色などである。形は細長く平たい長柱状である。閃緑岩のようなSiO_2%が中間的な深成岩をはじめ火成岩や変成岩などに産する。

［ガラス質］

透明の非結晶の物質で、電球のガラス破片のような薄くて湾曲したガラス（バブル・ウォール型）や小さな泡をたくさんもつガラス（軽石型）などがある。主に火山の噴火により噴出された噴出物と考える。なお、濁ガラスは、非晶質でやや濁りのあるガラスで、火山岩類などにも見られる。

［流紋岩質］

流紋岩質は、顕著な斑晶質を示し基質は著しく細粒である。複合石英類（微細）に類似した構造を示すが、基質部ではガラス質を伴うことから区別される。これらの構造を示す岩石は、流紋岩のほか石英斑岩などであるが、火山岩類の一部と考えられる。

［斑晶質・完晶質］

斑晶質は斑晶（鉱物の結晶）状の部分と石基状のガラス質の部分が明瞭に確認できるもの、完晶質は、ほとんどが結晶からなり石基の部分が見られないか、ごくわずかのものをいう。これらの斑晶質、完晶質の粒子は主として玄武岩、安山岩、デイサイト、流紋岩などの火山岩類を起源とする可能性が高い。

［凝灰岩質］

凝灰岩質は、ガラスや鉱物、火山岩片などの火山砕屑物が固化したもので、非晶質でモザイックな文様構造を示す。起源となる火山により鉱物組成は変わる。溶結凝灰岩とは、高温で固結した凝灰岩で流理構造状の組織が見られる。

［複合鉱物類］

構成する鉱物が石英あるいは長石以外に重鉱物を伴う粒子で、雲母類を伴う粒子は複合鉱物類（含雲母類）、輝石類を伴う粒子を複合鉱物類（含輝石類）、角閃石類を伴う粒子を複合鉱物類（角閃石類）とした。

［複合石英類］

複合石英類は石英の集合している粒子で、基質（マトリックス）の部分をもたないものである。個々の石英粒子の粒径は粗粒のものから細粒なものまで様々である。ここでは、便宜的に個々の石英粒子の粒径が約0.01㎜未満のものを微細、0.01～0.05㎜のものを小型、0.05～0.1㎜のものを中型、0.1㎜以上のものを大型と分類した。また、等粒で小型の長石あるいは石英が複合した粒子は、複合石英類（等

粒)として分類した。この複合石英類(等粒)は、ホルンフェルスなどで見られる粒子と考える。
［砂岩質・泥岩質］
石英、長石類、岩片類などの粒子が集合し、それらの間に基質の部分をもつもので、含まれる粒子の大きさが約0.06㎜以上のものを砂岩質とし、約0.06㎜未満のものを泥岩質とする。
［不透明・不明］
下方ポーラーのみ、直交ポーラーのいずれにおいても不透明なものや、変質して鉱物あるいは岩石片として同定不可能な粒子を不明とする。

３．各胎土の特徴および計数の結果

各胎土中の微化石類や岩石片あるいは鉱物の粒子組成を第51表および第220図に示す。

さらに、微化石類や鉱物･岩石片を記載するために、プレパラート全面を精査･観察した。以下では、粒度分布や0.1㎜前後以上の鉱物・岩石片の砂粒組成あるいは計数も含めた微化石類などの記載を示す。なお、不等号は、概略の量比を示し、二重不等号は極端に多い場合を示す。

№1：100～300μmが多い(最大粒径1㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉斜長石(双晶)、雲母類、斑晶質、角閃石類、ガラス質、単斜輝石、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属多い、不明種)、骨針化石多い、胞子化石、植物珪酸体化石少ない
№2：500μm～1㎜が多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉斜長石(双晶)、［完晶質、斑晶質］、雲母類、単斜輝石、ジルコン、ガラス質、放散虫化石、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属、不明種)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない
№3：300～500μmが多い(最大粒径2.3㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉砂岩質〉斑晶質、単斜輝石、完晶質、ジルコン、ガラス質、放散虫化石(2個体)、珪藻化石(淡水種*Pinnularia*属多い、*Eunotia*属、*Diploneis*属、*Surirella*属、*Cymbella*属、不明種)、骨針化石、胞子化石多い、植物珪酸体化石
№4：100～250μmが多い(最大粒径1.8㎜)。ガラス質》軽石型ガラス〉石英・長石類、胞子化石、植物珪酸体化石少ない
№5：100～500μmが多い(最大粒径1.2㎜)。石英・長石類〉斑晶質〉複合石英類(微細)〉斜長石(双晶)、凝灰岩質、［複合石英類］、単斜輝石、ジルコン、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない
№6：300～600μmが多い(最大粒径1.6㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉斑晶質〉斜長石(双晶)、［複合石英類、ガラス質］、完晶質、カリ長石(ﾊﾟｰｻｲﾄ)、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属、*Stephanpxis*属、淡水種*Cymbella*属、不明種)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない
№7：150～700μmが多い(最大粒径1.2㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉斑晶質・完晶質、ガラス質、放散虫化石、珪藻化石(海水種*Arachnoidiscus ehrenberggi*、*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属)、骨針化石、植物珪酸体化石
№8：50～700μmが多い(最大粒径1.5㎜)。石英・長石類〉完晶質・斑晶質〉複合石英類(微細)、斜長石(双晶)、単斜輝石、ガラス質、［凝灰岩質］、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属)、植物珪酸体化石少ない
№9：100～600μmが多い(最大粒径1.3㎜)。斜長石(双晶)－ガラス付着〉斑晶質〉軽石型ガラス〉複合

石英類(微細)、斜長石(累帯)、単斜輝石、角閃石類(ガラス付着)、胞子化石

№10：100～200μmが多い(最大粒径750μm)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉斜長石(双晶)、完晶質、ガラス質、単斜輝石、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus marginatus*、*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属、不明種)、骨針化石、植物珪酸体化石

№11：100～600μmが多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉斜長石(双晶)－ガラス付着〉斑晶質〉完晶質、複合石英類(微細)、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属)、骨針化石、植物珪酸体化石少ない

№12：300～700μmが多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類、斜長石(双晶)、凝灰岩質、複合石英類(微細)、斑晶質、完晶質、斜方輝石、単斜輝石、ガラス質、雲母類、植物珪酸体化石少ない

№13：100～250μmが多い(最大粒径1㎜)。石英・長石類〉斑晶質・完晶質〉複合石英類(微細)〉斜長石(双晶)、ガラス質、珪藻化石(淡水種*Pinnularia*属、不明種)、植物珪酸体化石少ない

№14：50～200μmが多い(最大粒径1㎜)。ガラス質〉軽石型ガラス》石英・長石類、角閃石類

№15：100～700μmが多い(最大粒径1.8㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉完晶質〉斑晶質〉斜長石(双晶)、複合石英類、斜長石(累帯)、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus marginatus*、*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属、淡水種*Pinnularia*属、不明種)、骨針化石、植物珪酸体化石少ない

№16：300～600μmが多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉斑晶質、斜長石(双晶)、斜長石(累帯)、植物珪酸体化石少ない

№17：50～150μmが多い、凝灰岩質胎土(最大粒径1.3㎜)。ガラス質〉石英・長石類、珪藻化石(淡水種*Pinnularia*属、*Cymbella*属)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№18：50μm前後、砂粒少ない(最大粒径1.3㎜)。石英・長石類〉斜長石(累帯)〉斑晶質〉完晶質〉斜長石(双晶)、珪藻化石(淡水種*Pinnularia*属、*Cymbella*属)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№19：500～1000μmが多い(最大粒径1.7㎜)。斜長石(双晶)－ガラス付着、石英・長石、斑晶質、単斜輝石、凝灰岩質、放散虫化石(1個体)、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属、淡水種*Pinnularia*属、不明種)、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№20：300～600μmが多い(最大粒径1㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉完晶質・完晶質、植物珪酸体化石少ない

№21：300～500μmが多い(最大粒径1.1㎜)。斑晶質〉石英・長石類〉完晶質〉斜長石(累帯)、斜長石(双晶)、複合石英類(微細)、凝灰岩質、骨針化石、植物珪酸体化石少ない

№22：200～500μmが多い(最大粒径850μm)。石英・長石類、完晶質、凝灰岩質、複合石英類(微細)、斜長石(双晶)、斜長石(累帯)、軽石型ガラス、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№23：500～1500μmが多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類〉斑晶質〉凝灰岩質〉斜長石(双晶)、斜長石(累帯)、珪藻化石(淡水種*Epithemia turgidula*)、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№24：50～400μmが多い(最大粒径1.8㎜)。石英・長石類〉複合石英類(微細)〉斑晶質、斜長石(双晶)－ガラス付着、斜長石(累帯)－ガラス付着、完晶質、軽石型ガラス

№25：50～200μmが多い(最大粒径350μm)。軽石型ガラス〉ガラス質〉》石英・長石類、雲母類、角閃石類、植物珪酸体化石少ない

№26：200～500μmが多い(最大粒径2.5㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉斑晶質・完晶質〉斜長石(累帯)、

ガラス質、斜長石(双晶)、珪藻化石(海水種*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№27：500～1000μmが多い(最大粒径1.7㎜)。石英・長石類〉凝灰岩質〉斜長石(双晶)〉斑晶質〉斜長石(累帯)、単斜輝石、骨針化石、植物珪酸体化石少ない

№28：50～350μmが多い(最大粒径1.5㎜)。石英・長石類〉軽石型ガラス〉ガラス質〉複合石英類(微細)〉斜方輝石(双晶)、発泡斑晶質

№29：500～1000μmが多い(最大粒径1.6㎜)。石英・長石類〉斑晶質・完晶質〉凝灰岩質、斜長石(双晶)、斜長石(累帯)、斜方輝石、珪藻化石(淡水種*Cymbella*属、*Pinnularia*属、不明種)、骨針化石、胞子化石、植物珪酸体化石少ない

№30：400～800μmが多い(最大粒径2.4㎜)。石英・長石類〉斑晶質・完晶質〉複合石英類(微細)〉凝灰岩質、斜長石(双晶)、斜長石(累帯)、[ガラス質]、ジルコン、発泡斑晶質

４．考察

ⅰ)微化石による材料粘土の分類

検討した胎土中には、その薄片全面の観察から、放散虫化石や珪藻化石あるいは骨針化石などが検出された。これら微化石類の大きさは、放散虫化石が数百μm、珪藻化石が10～数100μm、骨針化石が10～100μm前後である。なお、植物珪酸体化石が10～50μm前後である。一方、砕屑性堆積物の粒度は、粘土が約3.9μm以下、シルトが約3.9～62.5μm、砂が62.5μm～2㎜である(地学団体研究会・地学事典編集委員会編、1981)。このことから、植物珪酸体化石を除いた微化石類は胎土の材料となる粘土中に含まれるものと考えられ、その粘土の起源を知るのに有効な指標になると考える。なお、植物珪酸体化石は、堆積物中に含まれていること、製作場では灰質が多く混入する可能性が高いなど、他の微化石類のように粘土の起源を指標する可能性は低いと思われる。

検討した胎土は、微化石類により、a)海水成粘土を用いた胎土、b)淡水成粘土を用いた胎土、c)水成粘土を用いた胎土、d)その他の粘土を用いた胎土、に分類される。以下では、分類される胎土についてその特徴を述べる。なお、第53表中において(淡水成)や(海水成)とした試料は、胎土中に含まれる珪藻化石が少ない場合である。

ａ)海水成粘土を用いた胎土(７胎土)

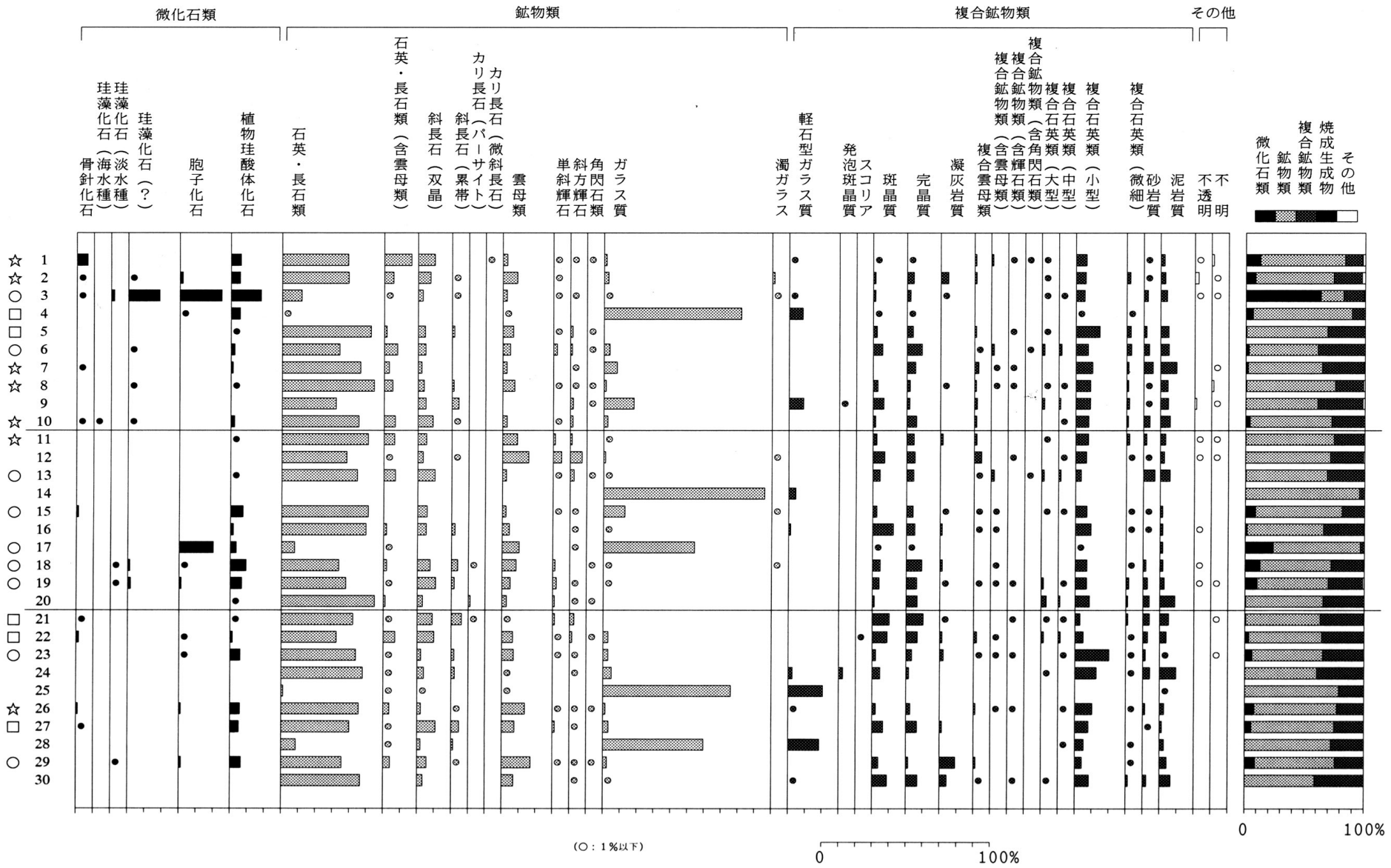
これら胎土中には、海水種珪藻化石の*Coscinodiscus marginatus*、*Coscinodiscus*属/*Thalassiosira*属などが含まれていた。また、外洋性堆積物起源の放散虫化石を含む胎土も２試料ある。これ以外の淡水種珪藻化石などは含まれていない。

放散虫化石あるいは海水種珪藻化石を含むような海成層は、遺跡近接地では分布していないが、能代地域や秋田地域あるいは本庄地域などに分布する鮮新世(約520万年～164万年前)の笹岡層や天徳寺層、前期更新世(約164万年～78万年前)の中沢層などはかつて外洋域で堆積した海成層である(生出・中川・蟹沢、1989)。こうした地層は、土器の材料としてかなり固結した堆積物であるため、これらを母材として後の時代に堆積した段丘堆積物中の粘土層などを利用しているものと推定される。

なお、鷹巣盆地の西側地域に分布する中期～後期更新世(約78万年～1万年)の鮪川層・湯車層・湯

第51表　土器胎土中の粒子組成一覧表

分類群	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
微化石類																														
骨針化石	16	1	3	−	−	−	2	−	−	1	−	−	−	−	4	−	−	−	−	−	1	3	−	−	−	3	1	−	−	−
珪藻化石（海水種）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
珪藻化石（淡水種）	−	−	8	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−
珪藻化石（？）	−	1	80	−	−	1	−	1	−	2	−	−	−	−	−	−	−	3	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
胞子化石	−	4	107	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	34	2	3	−	−	1	1	−	−	3	−	−	3	−
植物珪酸体化石	15	12	77	8	2	4	3	1	−	6	1	−	1	−	24	4	6	20	15	2	1	3	14	−	−	16	11	−	14	−
鉱物類																														
石英・長石類	99	86	50	1	140	60	107	138	55	117	128	76	92	−	165	117	13	72	84	142	95	66	102	113	2	124	85	13	77	100
石英・長石類（含雲母類）	41	12	1	−	4	14	7	13	−	17	16	1	14	−	−	4	1	4	2	3	1	14	1	2	1	10	2	1	9	−
斜長石（双晶）	25	16	12	−	11	8	5	9	8	23	13	6	21	−	18	12	−	16	24	8	20	20	5	9	1	6	23	3	12	7
斜長石（累帯）	−	1	1	−	4	−	−	3	7	2	−	1	−	−	−	5	−	8	4	−	14	−	4	5	−	2	10	2	2	−
カリ長石（パーサイト）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	3	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
カリ長石（微斜長石）	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
雲母類	7	19	11	1	17	8	6	18	−	7	22	31	5	−	7	10	17	18	11	7	1	13	16	1	1	37	16	−	37	15
単斜輝石	1	1	3	−	1	4	−	2	−	1	3	10	1	−	1	−	−	3	5	3	3	2	1	−	−	2	3	−	1	−
斜方輝石	1	−	1	−	4	2	1	2	3	4	3	14	5	−	2	1	1	−	1	1	6	3	1	1	−	1	1	−	1	2
角閃石類	2	−	−	−	1	1	−	2	1	−	−	−	1	−	−	−	−	2	−	1	−	1	−	−	−	2	−	−	1	−
ガラス質	4	6	2	120	−	6	18	3	31	6	1	2	2	157	41	2	92	1	1	−	−	6	7	12	129	4	7	90	5	2
濁ガラス	−	3	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	1	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
複合鉱物類																														
軽石質ガラス	1	−	1	12	−	−	−	−	15	−	−	−	−	7	−	3	−	−	−	−	−	−	−	6	35	2	−	28	−	2
発砲斑晶質	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	6	−	−	−	−	−	−
スコリア	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
斑晶質	1	3	6	1	6	10	−	7	11	4	6	14	9	−	8	29	1	10	9	3	23	18	5	11	−	6	14	−	8	19
完晶質	2	9	10	1	10	16	12	5	3	15	11	10	9	−	13	12	1	20	14	17	23	14	8	4	−	7	14	−	3	15
凝灰岩質	−	10	2	−	−	−	−	2	−	−	4	−	−	−	2	3	−	3	2	−	1	3	5	−	−	−	3	−	20	9
複合雲母類	3	3	−	−	3	1	6	3	3	4	4	9	2	−	1	2	−	−	1	−	−	4	2	−	−	3	−	−	3	2
複合鉱物類（含雲母類）	3	−	−	−	−	3	2	1	−	−	−	−	4	−	2	1	−	1	1	−	−	1	1	−	−	1	−	−	−	−
複合鉱物類（含輝石類）	2	−	−	−	1	−	1	1	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1	−	2	−	1	−	−	1	−	−	−	1
複合鉱物類（含角閃石類）	1	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
複合石英類（大型）	1	2	2	−	1	3	−	1	3	−	1	−	3	−	2	−	−	−	3	8	1	3	−	1	−	−	−	−	−	1
複合石英類（中型）	−	−	4	−	−	3	−	2	2	1	−	1	3	−	2	−	−	−	2	3	1	3	2	−	−	1	−	1	−	−
複合石英類（小型）	16	13	23	1	38	13	23	22	15	20	19	13	7	−	22	22	1	15	15	22	7	10	47	30	−	28	17	8	9	18
複合石英類（微細）	−	5	−	1	7	5	3	3	3	3	5	1	−	−	1	2	−	2	4	3	3	1	2	2	−	2	−	1	1	3
砂岩質	2	1	11	−	5	6	13	2	1	10	5	1	14	−	3	2	−	4	6	10	9	6	4	10	−	4	2	−	−	5
泥岩質	6	6	17	−	13	9	22	11	8	15	8	5	12	−	5	4	3	4	6	23	12	8	2	23	1	7	3	4	9	14
その他																														
不透明	2	5	1	−	−	−	−	−	2	−	1	1	−	−	−	1	−	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
不明	3	1	2	−	−	−	1	3	1	−	1	1	−	−	−	−	−	−	2	−	1	−	2	−	−	−	−	−	−	−
総ポイント数	255	220	436	147	268	178	232	255	173	259	252	199	207	164	324	236	170	214	222	259	226	204	233	236	170	272	212	151	217	215



第220図　土器胎土中の粒子組成図（すべての分類群を表示）

西層は、浅海成～陸成堆積物であり、同時に堆積した河成段丘堆積物も分布する(生出・中川・蟹沢、前出)。

ｂ)淡水成粘土を用いた胎土(９胎土)

これらの胎土中には、淡水種珪藻化石が明瞭に検出された。また、不明種珪藻化石や骨針化石なども検出された。なお、外洋性堆積物起源の放散虫化石や海水種珪藻化石も付随して出現したことから、前述した外洋域で堆積した海成層に隣接した地域の地層を利用していると考える。

ｃ)水成粘土を用いた胎土(５胎土)

この胎土中には、水成堆積物に由来する不明種珪藻化石や骨針化石が検出された。

ｄ)その他の粘土を用いた胎土(９胎土)

この胎土中には、水成環境を指標するような微化石類は含まれていなかった。

ii)砂粒組成による分類

ここで設定した複合鉱物類は、構成する鉱物種や構造的特徴から設定した分類群であるが、地域を特徴づける源岩とは直接対比できない。このため、各胎土中の鉱物、岩石粒子の岩石学的特徴は、地質学的状況に一義的に対応しない。

ここでは、比較的大型の砂粒について起源岩石の推定を行った。起源岩石の推定は、砂岩質や複合石英類(微細)が堆積岩類、斑晶質や完晶質が火山岩類、ガラス質がテフラ(火山噴出物)、複合石英類(大型)や複合鉱物類(含雲母類など)が深成岩類、凝灰岩質が凝灰岩類、流紋岩質が流紋岩類である。

砂粒組成の分類は、最も多く出現する分類群(第１出現群)と次いで多く出現する分類群(第２出現群)の組合せに従った(第52表)。

第52表　胎土中岩石片の分類と組み合わせ

			第２出現群						
			A	B	C	D	E	F	G
			片岩類	深成岩類	堆積岩類	火山岩類	凝灰岩類	流紋岩類	テフラ
第２出現群	a	片岩類		Ba	Ca	Da	Ea	Fa	Ga
	b	深成岩類	Ab		Cb	Db	Eb	Fb	Gb
	c	堆積岩類	Ac	Bc		Dc	Ec	Fc	Gc
	d	火山岩類	Ad	Bd	Cd		Ed	Fd	Gd
	e	凝灰岩類	Ae	Be	Ce	De		Fe	Ge
	f	流紋岩類	Af	Bf	Cf	Df	Ef		Gf
	g	テフラ	Ag	Bg	Cg	Dg	Eg	Fg	

その結果、堆積岩類を主体として火山岩類を伴うＣｄ群が７胎土、凝灰岩類を主体として火山岩類を伴うＥｄ群が６胎土、火山岩類を主体として堆積岩類を伴うＤｃ群が５胎土、火山岩類を主体とし

て凝灰岩類を伴うＤｅ群が４胎土、テフラを主体としたＧ群が３胎土、テフラを主体として堆積岩類を伴うＧｃ群が１胎土、テフラを主体として火山岩類を伴うＧｄ群が１胎土、凝灰岩類を主体として堆積岩類を伴うＥｃ群が２胎土、凝灰岩類を主体としてテフラを伴うＥｇ群が１胎土、それぞれ検出された(第53表)。

iii)胎土の分類

前項では、胎土中に含まれる微化石類により海水成粘土、淡水成粘土、水成粘土、その他粘土に分類した。また、胎土中の大型の砂粒組成により９群に分類した。

ここでは、土器の材料の特徴から材料採取域を推定するために、土器胎土を大まかに分類した。分類は、いずれの起源の砂粒が主体であるかは無視して、堆積岩類と火山岩類からなるＣｄ群とＤｃ群を一括して新たにⅠ群、火山岩類と凝灰岩類からなるＥｄ群とＤｅ群およびＥｃ群とＥｇ群を一括して新たにⅡ群、テフラからなるＧ群とＧｃ群およびＧｄ群を新たにⅢ群とした。なお、試料№17は、火山岩類を含まないがⅡ群とした。

さらに、これらは特徴的な地層を指標すると思われる微化石類の有無に従って、放散虫化石または海水種珪藻化石を含む胎土をa、淡水種珪藻化石のみを含む胎土をb、水成粘土をc、その他粘土をdとして細分した(第53表の総合分類の項)。

その結果、Ⅰa群が６胎土、Ⅰb群が１胎土、Ⅰc群が３胎土、Ⅰd群が２胎土、Ⅱa群が５胎土、Ⅱb群が４胎土、Ⅱc群が１胎土、Ⅱd群が３胎土、Ⅲc群が１胎土、Ⅲd群が４胎土である。

iv)周辺の粘土および砂粒組成と胎土材料の比較

遺跡は、森吉町字向様田家ノ下モ14-1外に所在し、小又川の右岸の段丘面上に位置する。

遺跡周辺の地質は、南側には森吉火山体を形成する輝石安山岩類、北側から西側にかけて中新世の安山岩類や玄武岩質溶岩あるいは酸性火砕岩、上流域には鮮新・更新世の溶結凝灰岩類などが分布している(工業技術院地質調査所、1978)。こうした状況から当遺跡の砂粒組成(段丘堆積物中の砂層の組成)は、火山岩類や凝灰岩類を主体とした組成と考えられる。

一方、土器胎土の粗粒組成は、凝灰岩類や火山岩類からなるⅠ群は12胎土検出されている。しかし、試料№２や№15、№19や№26では、粘土部分において放散虫化石や海水種珪藻化石を含んでいることから、先の海成層分布域を考慮すると遺跡隣接地の可能性は低く、前述の外洋性海成層が分布する地域を想定する必要があると思われる。なお、砂粒組成は異なるが、海水成粘土とされる試料№1、№3、№6、№7、№8、№10、№11、№15についてもこうした外洋性海成層が分布する地域が想定される。

テフラを特徴的に含む胎土のうち、試料№４や№14あるいは№25は火山ガラス以外の他起源の砂粒をほとんど含まないことから、テフラ層を採取して混和材として利用した可能性が高い。なお、これら胎土は火山ガラスの形態が類似していること、粒度が200μm前後と良く揃っていることから、比較的遠方から飛来したテフラ層と思われ、類似したテフラである可能性も考えられる。すでに述べたように、東海地域には、弥生時代後期の赤彩を施した祭祀に用いられたパレススタイル土器が知られ、これら３分の１程度の土器では砂粒物として火山ガラスが多量に含まれているが(藤根、前出；車崎ほか、前出)、これら火山ガラスは、粘土採取の際に近接地に分布するテフラ層を採取したこと

第53表　土器胎土中の粘土と砂粒および鉱物の特徴

No.	時期(型式)	粘土の特徴									砂粒の特徴								鉱物の特徴					その他の特徴	総合分類
		分類	種類	放散虫化石	海水種珪藻化石	淡水種珪藻化石	不明種珪藻化石	骨針化石	胞子化石	植物珪酸体化石	分類	片岩類	深成岩類	堆積岩類	火山岩類	凝灰岩類	流紋岩類	テフラ	角閃石類	輝石類	ジルコン	ｻﾌｸﾛ石類	雲母類		
1	大洞BC式	☆	海水成		○			◎	△	△	Cd			++	+			+	+	+			+	砂粒の粒度300μm前後揃う	Ⅰa
2	大洞BC式	☆	(海水成)	△	△			△	△	△	Ed				+	++		+		+	+		+		Ⅱa
3	縄文晩期前半	○	淡水成	△	△	◎	○	△	◎	○	Cd			+++	+			+		++	+		+		Ⅰa
4	大洞BC式	□	(水　成)					△	△	△	G							+++					(+)	粒度200μm前後揃う	Ⅲc
5	大洞BC式	□	(水　成)					△	△	△	Dc		(+)	+	++				+	++	+		+		Ⅰc
6	縄文晩期前半	○	(淡水成)		△	△		△	△	△	Cd		(+)	++	+			+	+	+			+		Ⅰa
7	大洞BC式	☆	(海水成)	△	△			○	△	△	Cd			++	+			+		+			(+)		Ⅰa
8	大洞BC式	☆	(海水成)		△			△		△	Dc			+	++	(+)		+	+	+			+		Ⅰa
9	大洞BC式		その他						△		Gd			+	+			++	+	+				輝石・角閃石類はガラス付着、大型軽石型ガラス含む	Ⅲd
10	大洞BC式	☆	海水成		○		△	△		△	Cd			++	+			+		+			(+)	砂粒の粒度300μm前後揃う	Ⅰa
11	大洞C1式	☆	(海水成)		△			△		△	Ec			+	+	++		(+)		+			+	斜長石(双晶)などガラス付着	Ⅱa
12	縄文晩期前半		その他								Ec			+	+	++		(+)	+	++			+		Ⅱd
13	大洞C1式	○	(淡水成)			△	△			△	Dc			+	++			(+)	+	+			(+)	粒度200-400μm前後揃う	Ⅰb
14	大洞C1式		その他								G							+++						粒度200μm前後揃う	Ⅲd
15	縄文晩期前半	○	(淡水成)		△	△		△		△	Ed		(+)		+	++		+		+			(+)		Ⅱa
16	縄文晩期前半		その他							△	Ed				+	++		(+)		+			(+)		Ⅱd
17	大洞BC式	○	(淡水成)			△		△	△	△	Eg					+++		+		+			+	テフラを少し含む凝灰質粘土	Ⅱb
18	縄文晩期前半	○	(淡水成)			△		△	△	△	Ed			(+)	+	++		(+)	+	+			+		Ⅱb
19	縄文晩期前半	○	(淡水成)	△	△	△			△	△	De				++	+		(+)		+			(+)		Ⅱa
20	大洞C2式		その他								Cd			++	+				+	+			(+)		Ⅰd
21	大洞BC式	□	水　成					△		△	Dc			+	++	+				+			(+)		Ⅰc
22	大洞C1式	□	水　成					△		△	De			+	++	+		+	+	+			+	軽石型ガラス含む	Ⅰc
23	縄文晩期前半	○	(淡水成)			△			△	△	De				++	+		+		+			+		Ⅱb
24	大洞BC式		その他								Cd			++	+			+		+			(+)		Ⅰd
25	大洞BC式		その他								G							+++	+				(+)	粒度200μm前後揃う、	Ⅲd
26	縄文晩期前半	☆	(海水成)		△			△	△	△	Ed				+	++		(+)	+	+			+		Ⅱa
27	縄文晩期前半	□	水　成					△		△	Ed				+	++		+		+			+		Ⅱc
28	大洞BC式		その他								Gc			+	(+)			+++						大型軽石型ガラス目立つ	Ⅲd
29	縄文晩期前半	○	(淡水成)			△		△	△	△	De				++	+		(+)	+	+			+		Ⅱb
30	大洞B2式		その他								Dc			+	++	+		(+)		+	+		(+)		Ⅱd

が予想されている。

なお、試料№17の胎土は、粒子組成ではテフラ起源のガラス質が相対的に高く検出されているが、絶対量は少なくテフラを混和したとは言い難い。また、試料№28の胎土は、№４などのテフラとは異なり大型の軽石を含むことから、他起源のテフラと考える。

ｖ）土器材料について

土器材料は、粘土と適度な混和材を混ぜて作ったとされるが、第一に良質と思える粘土の採取が必要と思われる。これは、適度に砂粒物を含む粘土を捜し求めるよりは、良質粘土を採取して適度に砂粒物を混和した方が合理的であり、意図した土器成形が可能であると思われる。こうした状況は、粘土採掘坑の対象粘土層の特徴や微化石類が示す堆積物の特徴から理解される。

ここで検討した土器のうち、試料№４や№14あるいは№25は火山ガラス以外の他起源の砂粒をほとんど含まないことから、テフラ層を採取して混和材として利用した可能性が高いと思われるが、粘土は微化石類を含まない粘土を利用している。

なお、ここで検討した土器胎土中には、放散虫化石や海水種珪藻化石を含む海水成粘土を用いたことが推定されているが、候補とされる海成粘土はかなり固結した地層であることから、これらの地層を母材として後の時代(たとえば後期更新世)において堆積した比較的軟質の粘土層(たとえば段丘堆積物中の粘土層など)を利用したことが予想される。こうした事情は、該当する地域において詳細な調査を行う必要がある。

５．おわりに

土器作りは、一般的に微化石類を良好に含むことから、相当良質の粘土層を利用したことが考えられるが、第一に該当する地域において材料として利用できる粘土層が如何なる範囲で分布しているかを把握する必要がある。そこで、こうした利用可能な粘土層の分布域において、粘土層の堆積環境や上下層の砂層の鉱物・岩石の特徴を調べると言った方法を採用する。

今後、材料として良質の粘土層の広域的な地質調査が不可欠であり、こうした粘土層の上下層に伴う砂層やテフラ層の岩石学的特徴を検討することにより、土器作りあるいは製作地などについてのより具体的な様子を明らかにしたい。

引用文献

安藤一男(1990)淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用．東北地理，42，2，73-88.

地学団体研究会・地学事典編集委員会編(1981)『増補改訂 地学事典』，平凡社，1612p.

藤根　久(1998)東海地域(伊勢－三河湾周辺)の弥生および古墳土器の材料．第６回東海考古学フォーラム岐阜大会、土器・墓が語る、108－117.

藤根　久・今村美智子(2001)第３節　土器の胎土材料と粘土採掘坑対象堆積物の特徴．「波志江中宿遺跡」、日本道路公団・伊勢崎市・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、p.262-277.

小杉正人(1988)珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究，27，1-20.

車崎正彦・松本　完・藤根　久・菱田　量・古橋美智子(1996)(39)土器胎土の材料－粘土の起源を中心に－．日本考古学協会第62回大会研究発表要旨、153-156.
工業技術院地質調査所(1978)「弘前および深浦」20万分の1地質図
生出慶司・中川久夫・蟹沢聡史(1989)日本の地質２「東北地方」．共立出版、338p.

第54表　秋田地域の新生界の対比（生出ほか(1989) より引用）

時代		大館 井上ほか (1973)	能代 大沢ほか(1983, 1984, 1985)	秋田 藤岡ほか(1977) 大沢ほか(1981)	本荘 大沢ほか (1977)	大曲 臼田ほか (1978)
完新世		沖積層	十和田火山噴出物	砂丘砂 沖積層	砂丘砂 沖積層	沖積層
更新世	後期	河成段丘堆積物	安戸六層	河成段丘堆積物	河成段丘堆積物	河成段丘堆積物
			潟西層			
	中期		石倉山層			
	前期		中沢層	高岡層		
鮮新世	後期		笹岡層	笹岡層	笹岡層	
	前期		天徳寺層	天徳寺層 羽黒山D	天徳寺層	天徳寺層
中新世	後期	遠部層	船川層	船川層	新山A 福山A 船川層	姫神山A 船川層
		一通層	素波里A	組山V		
	中期	大滝層	女川層	女川層	女川層	女川層
		大葛層	早口川層	鵜養層 砂子渕層	権現山層	須郷田層	大森層
	前期	保滝沢層	黒石沢層	大倉又層		畑村層	畑村層
漸新世		目名 市沢層	藤倉川層	萩形層		鹿ノ爪層	横根峠層
						大築層	
				大又層		山内層	
先第三紀			白神岳 花こう岩類	太平山深成 変成岩類		

A：安山岩
D：デイサイト
V：火山岩類